

2005 (平成17) 年度

授業計画

経済学部

駒澤大学

授 業 計 画

目 次

経済学科フレックス A・商学科

I	全学共通科目	
1	宗教教育科目	11
2	教養教育科目	25
3	外国語科目	105
4	保健体育科目	235
II	専門教育科目	281
III	他学部履修科目	449
IV	「日本語」・「日本事情」科目	477

経済学科フレックス B

I	全学共通科目	
1	宗教教育科目	501
2	教養教育科目	509
3	外国語科目	537
4	保健体育科目	569
II	専門教育科目	585
III	他学部履修科目	671

経済学科フレックス A・商学科	全学共通科目	宗教教育
	全学共通科目	教養教育
	全学共通科目	外国語
	全学共通科目	保健体育
経済学科フレックス B	専門教育科目	「日本語」
	他学部履修科目	「日本事情」
	全学共通科目	宗教教育
	全学共通科目	教養教育
経済学科フレックス B	全学共通科目	外国語
	全学共通科目	保健体育
	専門教育科目	他学部履修科目
	他学部履修科目	他学部履修科目

経済学科フレックスA

商 学 科

I 全 学 共 通 科 目

1. 宗教教育科目

1. 宗教教育科目

仏教と人間 (経A)	〈岡 部 和 雄〉	11
仏教と人間 (経A)	〈金 沢 篤 篤〉	11
仏教と人間 (経A・商)	〈松 田 陽 志〉	12
仏教と人間 (経A)	〈永 井 政 之〉	12
仏教と人間 (商)	〈石 井 修 道〉	13
仏教と人間 (商)	〈片 山 一 良〉	13
仏教と人間 [再クラス]	〈晴 山 俊 英〉	13
仏教と人間 [再クラス]	〈福 田 孝 雄〉	14
仏教と人間 [再クラス]	〈村 松 哲 文〉	14
仏教と人間 [再クラス]	〈吉 津 宜 英〉	15
文化と宗教	〈長谷部 八 朗〉	15
社会と宗教	〈池 上 良 正〉	16
自然と宗教	〈小 川 順 敬〉	16
坐禅	〈佐藤 秀孝・熊本 英人〉	17

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	おがべかずお 岡部和雄	経A1必	4

講義のねらい

仏教の全体像をなるべくわかりやすく講義する。現代において仏教を学ぶことの意義をたえず念頭におきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義のはじめに提示する。

成績評価の方法

年度末の試験による。

教科書

特定のものを用いない。

参考書等

必要があれば講義の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	かなざわあつし 金沢篤	経A1必	4

講義のねらい

ほぼ2,500年前に遥か遠隔の地インドで成立をみた仏教の基本と、それが持つ多様な側面を易しく概説する。人間にとっての大事な資源たる仏教にともかくも関心を持つことから始めた。

講義の内容・授業スケジュール

仏教の成立と展開を歴史的なパースペクティブの下に捕えた後に、順次、仏教の諸相について概説する。

履修上の留意点

仏教への関心を読書週間を培う形で醸成すると共に、読み書き等の日本語力を高めてほしい。

成績評価の方法

成績評価は、夏・冬の年2回実施するレポート課題と年度末の定期試験によって行うが、出席状況に基づく平常点を考慮する場合もある。

教科書

渡辺照宏著『仏教（第二版）』（岩波新書）740円

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	まつだ ようじ 松田陽志	経A・商1必	4

講義のねらい

本学が建学の理念とする仏教・禅の考え方について講義する。釈尊以来、インド・中国・日本と伝わってきた仏教は、我々のごく身近な生活の中に現在も息づいている。今日の日本における仏教・禅の姿とその依って立つ歴史や基本的な教えを知り、その仏教・禅が講義を受ける自分自身にとってどのような意味を持ち得るのかということを考えてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

インドより日本に至る仏教の歴史と、その基本的な考え方について講義した上で、現在の日本の寺院などでおこなわれる仏教行事及び葬祭儀礼の持つ意味と今日的役割についても触れていく。

履修上の留意点

自分自身の生活やこれまでの人生の中で、仏教・禅と関係すると思われることは何かと考え、自分自身の問題として仏教・禅を考えてもらいたい。

成績評価の方法

前期末のレポートと年度末試験によって評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	なが い まさし 永井政之	経A1必	4

講義のねらい

入学式ではじめて知った方もあろうが、駒澤大学は日本仏教の宗派の一つである曹洞宗が設立の母体になっている。したがって4年間の大学での生活の中では、さまざまな機会に「宗教的」なものに触れるであろう。

ところで学生諸君は、「宗教」とか、「仏教」という言葉を聞いたとたん、「辛気くさいもの」「前近代的なもの」「怪しげなもの」などの、漠然とした感想を持たれるものと想像する。実際、ここ1年間の、宗教、特に「仏教」をとりまくさまざまな事件——オウム真理教にせよ宗教学法人法の改正にせよ——は、興味の対象とはなっても、そのイメージを好転させる方向にはないようである。現代人の多くが、宗教に関心を失った原因の過半は、既成の教団にその責任があるように私は考えている。したがって若者が宗教に無関心であったり、あるいは過度の期待を抱くことを批判することはできない。

ただ今から2,500年前にシャカによって総称された「仏教」は、けっして「おどろおどろしい」ものではないし、前近代的なものでもない。きわめて理性的な教えといってもよいであろう。そんなオーソドックスな「仏教」そして「禅」の立場を考えてみたい。

なお「宗教教育科目」という名称ではあるが、「個人の信仰」の領域にまで踏み込んで信仰を強制するものではない。

講義の内容・授業スケジュール

広い意味での「宗教」を考えることから、「仏教」はなにをめぐしているか、「禅」の立場はいかなるものかを、歴史に生きた人々を具体的に挙げつつ見ていきたい。

履修上の留意点

授業には必ず出席すること（出席をとります）。初めの授業で課題図書を出すので、年末にはレポートを提出すること。期末には試験を行い、それらを総合的に評価して成績とする。

成績評価の方法

授業には必ず出席すること（出席をとります）。初めの授業で課題図書を出すので、年末にはレポートを提出すること。期末には試験を行い、それらを総合的に評価して成績とする。

教科書

必要に応じてプリントを配布したり、参考文献を指示する。課題図書は購入すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	石井修道	商1必	4

講義のねらい

「仏教と人間」は、本学の宗教教育科目である。宗教、特に仏教は何を説き、その教えが一人一人とどうかかわるかを学びたい。

仏教の教えを基本に、道元禪師の教えとそれらがどのように関連をもつのか。また、道元禪師は、中国の禪者をどのように取り上げ、自己の主張にどのように継承されているかを具体的に明らかにして行きたい。

特に道元禪師の説かれる「坐禪」は、如何なる特色があるか、それがわれわれの生き方に何を教えているかを述べたい。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 宗教と自己との関係。(2) 釈尊の伝記と教え(七回)。(3) 中国禪者の個性と特色(六回)。(4) 日中交流と仏教(三回)。(5) 道元の伝記と思想(五回)。(6) 坐禪。(7) 曹洞宗(二回)。

履修上の留意点

「仏道をならうとは、自己をならうなり」(道元)をいかに主体的に考えるかを常に心がけて欲しい。

成績評価の方法

レポート(夏休み後に提出)20点と学年末試験80点満点で評価し、出席数も考慮する。

教科書

鎌田茂雄『仏陀の観たもの』(講談社学術文庫)273円

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	片山一良	商1必	4

講義のねらい

人間にとって宗教とは何かを考える。宗教としての仏教とは何かを考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期は宗教一般について、すなわち宗教と呪術、神話と儀礼、民族宗教と世界宗教などについて講じる。後期は仏教の基本的な教えについて、すなわち縁起と四諦、智慧と慈悲、戒と禪などについて講じる。いずれも現代の我々にある身近な問題の中で取り上げ、考えたい。

履修上の留意点

「人間学」として把握し、学ぶことが望ましい。

成績評価の方法

レポート(夏期)および年度末テストによる。

教科書

とくに使用しない。随時、資料プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	晴山俊英	経A・商2・3・4年	4

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況(不定期に出欠をとります)を加味して評価する。

参考書等

授業において適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	福 田 孝 雄 <small>ふく だ たか お 雄</small>	経A・商2・3・4年	4

講義のねらい

無数に存在する世界の諸宗教の中で、仏教とは一体どういう宗教であり、その特徴、特質は何であり、いかなる可能性をもっているのか。それらを学んでいく上でまず、一般的宗教現象を一通り学び、宗教の共通の要素や性格を知っておくことも必要であるから、宗教学的基礎を学ぶことから始め、最終的に、仏教の基本的特色や特質を概観していくことにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

宗教学的の基礎的な構造としての宗教現象、宗教経験、宗教儀礼などを概説し、最終的に仏教思想の基本構造、仏教各団、経典の組織などについて学んでいくことにする。

成績評価の方法

出席点及びレポートなどにより総合的に評価する。

参考書等

講義の進行に従って、その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	村 松 哲 文 <small>むら まつ てつ ぶん</small>	経A・商2・3・4年	4

講義のねらい

東洋世界で生きている我々にとって、仏教は身近な宗教のはずである。ところが案外と知らないことが多いのではなかろうか。いうまでもなく駒澤大学は、仏教精神により建てられた大学である。本学に在籍していることも何かの縁であり、これを機会に仏教を知り、深遠な仏教世界を理解してもらいたい。本講義では、釈尊の生涯、仏教の伝播などについて考察し、宗教の存在意義や宗教と人間との関わりについて考えを深めてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕 釈尊の生涯（1～3）、釈尊の教え（4～8）、経典の内容（9～12）、仏教的世界観（13～14）、大乘仏教と小乗仏教（15・16）
〔後期〕 中国の仏教受容（17）、中国仏教の展開（18）、日本の仏教受容（19）、日本仏教の展開（20）、仏教と仏画で見る仏教（21～30）

履修上の留意点

仏教が日常の社会・生活に如何に関わっているのか考えながら講義に臨むこと。

成績評価の方法

定期試験、レポート、授業態度、出席率などを総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	よしづよしひで 吉津宜英	経A・商2・3・4年	4

講義のねらい

先ず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」という位に広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどのようなイメージを抱き、どのような意見を持っているのでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もいるかもしれませんが、これまで関心の無かった人もあり、また宗教批判者もあるかもしれません。私は宗教に対して肯定的な人にも否定的な方にも先ず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古からいろいろな様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、他には多くの神を信仰したり、仏教のように仏を主張するものもあります。なぜ人間は宗教を求めるのでしょうか。この講義では先ず様々な宗教の多様性の確認から始めます。そして、宗教は社会の中でどのような機能を果たしているのかを考えます。また、宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起こり、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると、公共の福祉に反する社会的問題を引き起こします。講義全体としては、仏教を含めた宗教の功罪両面を考えてゆくことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

前期には宗教の様々な形態について概説します。そして、世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会の様々な問題を取り上げます。新新宗教と呼ばれる存在にも注目します。また、政教分離などの宗教と政治の問題、民族紛争絡みの宗教戦争の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、遺伝子工学など生命倫理の問題と宗教との関わり等のテーマを順次取り上げます。毎回、必ずあるタイトルを明示して、講義を行います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、年間で2～3回の課題提出を御願いし、最後に期末試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しないが、出来るだけ参考資料としてのプリントを配布します。

参考書等

授業の中で随時参考図書などを紹介します。

その他

私の講義中でも挙手して質問して下さい。ただ、私語は厳禁です。あまり目立つ場合には退場を要請しますので、あらかじめご承知おき下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化と宗教	ほせべほちろう 長谷部 八朗	経A・商選	4

講義のねらい

本講義は、我が国の近代以降、各時代状況の中で、宗教が社会とどのようにかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を及ぼしたかを、仏教を中心にみていく。具体的には、寺院の中でもいわゆる教会・結社組織に焦点を据え、それらが、仏教と民衆をつなぐ接点として果たしてきた役割を探ってみる。仏教諸宗派の中でも教会・結社活動の盛んであった曹洞宗や日蓮宗を主軸に講述する。

また、そうした教会・結社と新宗教・新新宗教を比較検討し、両者に対する民衆のニーズとそれに対する対応の仕方の類似点および相違点を明らかにしていきたい。

成績評価の方法

開講後に決定する。授業時に1、2回小論文を課し、評価の一部に加える予定である。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会と宗教	池上良正 <small>いけがみ よし まさ</small>	経A・商選	4

講義のねらい

宗教学・宗教社会学などの理論的成果をふまえて、「近代社会と宗教」というテーマを中心に講義する。近代という特異な時代が成立する過程において宗教はどのような関わりをもったのか、様々な問題を抱えた近現代社会のなかで宗教はどのような形態で存続し、またどのような意義や役割を担っているのか、といった問題を考える手がかりを探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、宗教が近代社会の形成に果たした役割についての考察からスタートして、世俗化論、私事化論などの検討する。後期は、現代世界における宗教の動態的理解、近代日本の社会変動と民衆宗教の展開、といった問題を考える。近年の精神世界ブームや新宗教の動向などにも触れる予定。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然と宗教	小川順敬 <small>おがわ とし ゆき</small>	経A・商選	4

講義のねらい

人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拜の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような「説明のつかない力」をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。

この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりを諸相を紹介していくことにしたいと考えています。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日的評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験（もしくはレポート試験）により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

原則として教科書は用いません。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
坐 禅 (前期)(後期)	佐藤 秀孝・熊本 英人	経A・商選	2

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの回りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を拠り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょ。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。

講義の内容・
授業スケジュール

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法を修得)

4～13「坐禅実習」(1回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵-坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます)

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。また、まじめに授業を受けられることを要望します。

成績評価の方法

出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。

教科書

適宜、プリントにて配布します。

参考書等

『坐禅-講本-』(更生社) 2, 226円

2. 教 養 教 育 科 目

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックスBの頁を参照してください。(→P. 509)

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

文学	[外国文学「アメリカ文学」]	〈田中保〉	25
文学	[日本文学「近代」]	〈川島淳史〉	25
文学	[外国文学「中国文学」]	〈清水浩子〉	26
歴史学	[東アジア考古学]	〈千葉基次〉	26
芸術学	(1) [日本美術]	〈北野良枝〉	27
芸術学	(2) [西洋美術]	〈矢野陽子〉	27
芸術学	(3) [音楽]	〈赤羽由規子〉	28
哲学	[西洋思想の源流]	〈河谷淳〉	29
哲学	[近代の人間観と世界観]	〈古田知章〉	30
論理学	[科学方法論と現代論理学]	〈河谷淳〉	30
論理学	[知の技法]	〈伊古田理〉	31
論理学	[知の技法]	〈箭野浩司〉	31
科学史	[近代科学の成立と展開]	〈長岡亮介〉	32
倫理学	(1) [人間観]	〈古田知章〉	32
倫理学	(2) [応用倫理学]	〈黒崎剛〉	33
倫理学	(3) [価値観]	〈滝沢正之〉	33
倫理学	(4)(7) [応用倫理学]	〈箭野浩司〉	34
倫理学	(5) [制度とモラル]	〈滝口清栄〉	34
倫理学	(6) [東洋倫理]	〈水口拓寿〉	35
宗教学	(1) [比較宗教文化]	〈池上良正〉	35
宗教学	(2) [聖と俗]	〈田中かの子〉	36
宗教学	(3) [世界観と儀礼]	〈小川順敬〉	37
宗教学	(4) [日本人の宗教]	〈洗建〉	37
宗教学	(5) [生活と宗教]	〈菅原壽清〉	38
宗教学	(6) [民俗宗教の諸相]	〈佐藤憲昭〉	38
人文地理学	(1) [風土と文化]	〈竹林和彦〉	39
人文地理学	(2) [風土と文化]	〈高橋健太郎〉	39
人文地理学	(3) [空間と行動]	〈山口太郎〉	40
人文地理学	(4) [空間と行動]	〈伊藤修一〉	41
教育の思想	〈伊藤茂樹〉	42	
教育の思想	〈萩原建次郎〉	42	
教育の思想	〈坂本信昭〉	43	
教育の思想	〈豊田千代子〉	43	
教育の思想	〈北村三子〉	44	
教育と社会	〈伊藤茂樹〉	44	
教育と社会	〈萩原建次郎〉	45	
教育と社会	〈坂本信昭〉	46	
教育の社会	〈豊田千代子〉	46	
教育の社会	〈北村三子〉	47	
発達と学習の心理学	〈大浜幾久子〉	47	
発達と学習の心理学	〈三國隆子〉	48	
発達と学習の心理学	〈夏堀陸〉	48	
発達と学習の心理学	〈角野善司〉	49	
カリキュラムと学習	〈大浜幾久子〉	49	

カリキュラムと学習〈三 國 隆 子〉	50
カリキュラムと学習〈夏 堀 陸〉	50
カリキュラムと学習〈角 野 善 司〉	51

(2) 社 会 分 野

社会学〔現代社会を考える〕〈呉 炳 三〉	51
〔現代文化を考える〕	
統計学〔社会現象の統計的分析〕〈田 中 光 正〉	52
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕〈鈴 木 一 馨〉	53
文化人類学〔社会変化と価値観〕〈内 山 明 子〉	54
法学・憲法〔法と社会生活〕〈和 知 恵 一〉	55
法学・憲法〔法と国家〕〈新 田 浩 司〉	56
法学・憲法〔法と権利〕—夏季集中—〈池 田 実〉	57
政治学〔社会生活とデモクラシー〕〈清 滝 仁 志〉	58
経済学〔現代経済理解へのガイド〕〈佐 藤 綾 野〉	59
社会科学論〔社会認識の思想〕〈大 石 雄 爾〉	60
教育学〔デス・エデュケーション〕〈柳 堀 素 雅 子〉	61
教育心理〔大学生の心理—教育臨床心理学の立場から—〕〈野 中 弘 敏〉	61

(3) 自 然 分 野

生物学〔生態と進化〕〈清 水 善 和〉	62
地球科学〔地球の変遷・生命の進化〕〈小 池 敏 夫〉	63
自然環境論〔生命と環境〕〈持 丸 真 理〉	63
自然環境論〔変動する地球と環境〕—夏季集中—〈山 本 由 弦〉	64
自然誌〔現代の自然像〕〈清 水 善 和・篠 原 正 雄 持 丸 真 里〉	65
数学(1)〔微積分学入門〕〈小 沢 誠〉	66
数学(2)〔線型代数学入門〕〈小 沢 誠〉	66
数学(3)〔現代数学入門〕〈福 田 賢 一〉	67
情報数学〔情報と論理〕〈坂 野 井 和 代〉	67
物理学〔光と物質〕〈篠 原 正 雄〉	68
化学〔衣食住の化学〕〈持 丸 真 理〉	69
宇宙科学〔星と銀河〕〈篠 原 正 雄〉	69
コンピュータ基礎(1)(4)(6)(9)(10)〔コンピュータの実際〕〈小 沢 誠〉	70
コンピュータ基礎(2)(7)〔コンピュータの実際〕〈山 本 博 信〉	71
コンピュータ基礎(3)(8)〔コンピュータの実際〕〈小 川 健 次 郎〉	72
コンピュータ基礎(5)〔コンピュータの実際〕〈澤 口 隆〉	73
コンピュータ基礎(11)〔コンピュータの実際〕—夏季集中— 〈元 木 光 雄〉	74
コンピュータ基礎(12)〔コンピュータの実際〕—夏季集中— 〈坂 野 井 和 代〉	75
コンピュータ基礎(13)(17)〔コンピュータの実際〕—夏季集中— 〈山 本 博 信〉	76
コンピュータ基礎(14)〔コンピュータの実際〕—夏季集中— 〈長 坂 浩 史〉	77
コンピュータ基礎(15)(16)(18)〔コンピュータの実際〕—夏季集中— 〈小 川 健 次 郎〉	78
コンピュータ基礎(19)(20)〔コンピュータの実際〕〈坂 野 井 和 代〉	79
コンピュータ応用(1)(2)〔コンピュータの原理〕〈坂 野 井 和 代〉	80

人類学(1)(2)〔人類の進化〕	〈篠田謙一〉	80
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	〈加藤博己〉	81
心理学〔心を科学する〕—夏季集中—	〈堀内正彦〉	82

(4) 総合分野

総合Ⅰ(1)〔仏教と自然〕	〈四津谷孝道〉	83
総合Ⅰ(2)〔仏教と社会〕	〈熊本英人〉	83
総合Ⅱ(2)〔自然観察入門富浦をめぐる人と自然〕	〈清水善和 他〉	84
総合Ⅲ(1)〔人権と社会問題〕	〈ピアス, D. M.〉	85
総合Ⅲ(2)〔欧米の教育と日本の教育〕	〈岡崎寿一郎〉	86
総合Ⅲ(3)〔女性学・男性学〕	〈杉山秀子〉	87
総合Ⅳ(1)〔現代アメリカ事情〕	〈林明人〉	87
総合Ⅳ(2)〔シアトル市のNPOとまちづくり〕	〈西村祐子〉	88
総合Ⅳ(3)〔ポスト・モダンの世界〕	〈丸小哲雄〉	88
総合Ⅴ(1)〔イギリス文化探訪〕	〈川股陽太郎〉	89
総合Ⅵ(1)〔民族とは何か〕	〈大野祐二〉	90
総合Ⅵ(2)〔イスラム〕	〈吉田京子〉	90
総合Ⅵ(3)〔フェミニズム・ジェンダー〕	〈早川紀代〉	91
総合Ⅶ(1)〔トラブルと法的解決〕	〈藤本茂 他〉	92
総合Ⅶ(2)〔都市論〕	〈内海麻利 他〉	93
総合Ⅷ	〈休講〉	

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文 学 〔外国文学「アメリカ文学」〕	田 中 保 <small>た なか たもつ</small>	経A・商・経B選	4

講義のねらい

アメリカは1776年の独立宣言から数えて230年足らずの歴史の短い国である。それ故にアメリカ文学の歴史も浅いといえる。アメリカ文学の大潮を辿りながら、主要な作家とその代表作を取り上げ講義する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は講義形式でアメリカ文学を概観し、受講者各自で興味ある作家を主要作家一覧表から1人選び、その作家の作品を1編選んで読み、その作家紹介と作品の内容・主題についてレポートを提出してもらう。

後期は受講者各自が主要作家一覧表から関心をもつ作家を1人選び読んで、1人もしくはグループ編成をし、発表形式で授業を行います。

履修上の留意点

作品はすべて翻訳本で読んでもらいますが、アメリカ文学にいささかでも関心のある学生の受講を希望します。

成績評価の方法

レポート・発表・出席等を総合的に評価する。

教科書

教科書は使用しません。

参考書等

授業の際に、適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文 学 〔日本文学「近代」〕	川 島 淳 史 <small>かわ しま あつ し</small>	経A・商・経B選	4

講義のねらい

日本近代文学の成立期における西欧文化の受容と反動について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

明治新政府は積極的に欧化政策を推進してきたが、やがてその極端な欧化主義に対する反発と揺り戻しから、国粹的な傾向が強まっていった。思想の面でも欧化主義を批判する言説が現れ始める。徳富蘇峰は民友社を創設し平民主義を、三宅雪嶺は政教社を結成し国家主義を唱えた。文学もまたこのような動きと無縁ではなく、文学者たちによって新しい文学の創出が試みられていったのである。

今年度は明治開化期から二十年代にかけての時代状況を俯瞰し、それがいかに文学作品の中に投影されているのかを考えてみたい。戯作から翻訳小説や政治小説の隆盛を経て、坪内逍遙の『小説神髓』、二葉亭四迷の『浮雲』に至る過程を中心に考察していきたいと思う。

履修上の留意点

この講義では可能な限り多くの作品を取り上げたいと考えている。当然のことながら、予告された作品は事前に読んでおき、受講する際は必ず携行してこること。また、受講後は各自紹介された文献を探し、レポート作成の準備をしておくこと。

成績評価の方法

講義で問題提起した事柄を各自考察し、レポートを作成する。出席状況と三回ないし四回のレポートの内容によって評価する。提出の期日を過ぎてしまった場合は受け取らないので注意すること。

教科書

詳しくは最初の時間に指示する。必要に応じてプリントを配布するが、文庫本などの入手しやすいものは各自で購入してもらう。

参考書等

その都度、講義の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文 学 〔外国文学「中国文学」〕	清 水 浩 子 し みづ ひろ こ	経A・商選	4

講義のねらい	前期の前半は中国神話・伝説について解説する。その後はテキストを講読し、『風俗通義』の作者応劭の神話・伝説・俗説についての考え方を知る。
講義の内容・授業スケジュール	神話・伝説・俗説について、テキストに従って講読・解説を行う。
履修上の留意点	毎時間、その日の講義に対する意見を書き、それを提出してもらう。
成績評価の方法	年間3～4回のレポートと毎時間の意見文を参考に総合的に判断する。
教科書	中村璋八・清水浩子著『風俗通義』（明德出版社）
参考書等	授業時に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴 史 学 〔東アジア考古学〕	千 葉 基 次 ち ば もと つぐ	経A・商・経B選	4

講義のねらい	長城地帯から極東アジア地域で民族・特定文物・組織その他から、一つのキーワードを選び出し、授業の主題とする。
講義の内容・授業スケジュール	授業題目の研究史から始め、個々の研究内容を解説し、最後に今後の課題を示す。
履修上の留意点	板書事項もあり、薄くて充分なので専用のノートを用意することが望ましい。
成績評価の方法	毎時出席を確認し、平常授業を評価の基とする。レポートについては出欠状況を見て決める。
教科書	特になし。
参考書等	授業の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
芸 術 学 (1) 〔日本美術〕	きたのよしえ 北野良枝	経A・商選	4

講義のねらい

室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回スライドを使用する。

講義の内容・授業スケジュール

前期 室町から桃山時代の絵画
 (1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識
 (3) ～ (7) 室町時代の水墨画 (8) 阿弥派
 (9) 関東水墨画 (10) 土佐派
 (11) 狩野正信・元信 (12) ～ (13) 狩野永徳と桃山画壇
 後期 江戸時代の絵画
 (14) 江戸時代の狩野派 (15) ～ (18) 琳派
 (19) ～ (20) 浮世絵 (21) 南蘋派
 (22) 文人画 (23) 秋田蘭画と司馬江漢
 (24) 円山四条派 (25) 伊藤若冲と曾我蕭白
 (26) 江戸から明治へ

履修上の留意点

ペンライトなどを持参し、スライドで映写する内容についてもノートをとることが望ましい。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
芸 術 学 (2) 〔西洋美術〕	やのようこ 矢野陽子	経A・商選	4

講義のねらい

ひとつの美術作品が制作されるにあたっては、芸術家の個性や技術のみならず、その時代と地域の宗教・文化・政治状況などさまざまな要因も関係しています。この講義では私たちとは異なる文化から生まれた西洋美術のうち、およそ15世紀から18世紀までの美術、つまりイタリア・ルネサンス期からフランス革命期頃までの美術を対象とします。まず美術作品に表現された内容を理解し、その表現様式の特徴を考えながら、美術の主要な流れを把握することを目的とします。さらに芸術家と注文主や鑑賞者との関係、美術が社会のなかで占めていた位置についても考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 15・16世紀の美術
 イタリア初期ルネサンス／15世紀の北方美術／イタリア盛期ルネサンス／北方ルネサンス／マニエリスム
 (後期) 17・18世紀の美術
 バロック美術 (イタリア、ネーデルラント、スペイン、フランス)／ロココ美術／新古典主義美術

履修上の留意点

初回にガイダンスを行うので必ず出席してください。スライドで作品を見ながら時代順に講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席することが望まれます。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験とを合わせて評価します。

教科書

高階秀爾監修『カラー版西洋美術史』(美術出版社) 1,900円

参考書等

参考文献は授業中適宜紹介します。

その他

授業では毎回スライドを使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 (3) 〔音楽〕	<small>あかばゆきこ</small> 赤羽由規子	経A・商選	4

講義のねらい

前期 民族音楽学——日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子どもの遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えていきたい。

後期 20世紀と音楽——20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

前期 民族音楽学——日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子どもの遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えていきたい。

後期 20世紀と音楽——20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

夏期レポートと学年末試験で採点する。

教科書

印牧由規子著『現代からの音楽史』（公論社）2,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔西洋思想の源流〕	かわ 谷 淳 <small>かに あつし</small>	経A・商・経B選	4

講義のねらい

この授業ではギリシア哲学（古代哲学）とキリスト教哲学（中世哲学）とを主要なテーマとして取り上げることで「考える」ということがどのような営みなのかを一緒に考えることにしたい。これらふたつの哲学思想は西洋思想の二大源流に対応するものであり、それぞれは知と信という対立のもとに理解することができよう。しかしながら、ふたつの源流は不連続と同時に連続性という側面も併せ持ち、複雑に分岐・合流を繰り返しながら近現代の思想へと流れ込んでいる。そうだとすれば現代の私たちが古代・中世哲学について考えるということは現代哲学の一形態であると言ってもよいであろう。授業ではできるだけ具体的な事例を挙げることで哲学を身近に感じてもらえるように努めたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義では次のような内容を取り扱う。

前期：(1)ギリシア哲学：哲学の始まり
ソクラテス以前の哲学
ソクラテスの「無知の自覚」
プラトンのイデア論
アリストテレスの質料形相論

後期：(2)キリスト教哲学：信仰と合理性
神の存在証明
普遍論争（唯名論と実在論）

(3)近代哲学：認識論的転回
大陸合理論：デカルトにおける「私」
イギリス経験論：ロック、バークリ、ヒューム
カント哲学：コペルニクスの転回

履修上の留意点

授業を受け身的に聴くというよりは一緒に問題を考えていくという積極的な姿勢が望ましい。

成績評価の方法

中間・期末試験（論述タイプのテストでそれぞれ40点満点）と夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔近代の人間観と世界観〕	ふるたともあき 古田知章	経A・商・経B選	4

講義のねらい

現代に生きる我々は、様々な場面で西洋的なものに直面し、また、我々自身、知らず知らずのうちに西洋的な人間観・世界観に基づいて判断あるいは行動していることも多い。そして、この西洋的なものは、古代ギリシア以来の伝統のもと多岐にわたる曲折を経て、近代ヨーロッパにおいて現れた人間観・世界観に強く影響を受けている。したがって、西洋的なものの理解のためにも、また、現代に生きる我々の自己理解のためにも、近代ヨーロッパの人間観・世界観がどのような伝統と時代意識のもとに形成され、いかなる形で現代社会へと流れ込んでいるのかを学ぶことは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。

〔前期〕近代の人間観・世界観の源流

1. 哲学における基礎的な問題の整理 一人間と世界について問うこと一
2. 古代ギリシアの思想 一哲学的探求の始まり一
3. キリスト教思想と中世の哲学 一思索の新たな展開一
4. 中世から近世への連続と変動 一様々なルネサンスについて一

〔後期〕近世・近代の人間観・世界観

1. ルネサンスから近世の思想 一人間観・世界観の変革一
2. 科学の発展と世界観の変化との関係 一人間の位置について一
3. 現代の存在論 一見えるものを支える見えない枠組み一

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	かわたにあつし 河谷淳	経A・商・経B選	4

講義のねらい

私たちが日常生活においてまとまった文章を書いたりまとまった話をする場合、そこには思考の何らかの「流れ」が要請されている。また、何気ない発言にしてみても、反省してみれば、それもまた暗黙の前提命題からの「流れ」の帰結であることに気づく場合がある。アリストテレス以来の歴史を持つ論理学とはそうした前提から結論への妥当な推論形式とはどのようなものであるのかを考える学だと言うことができよう。本講義の目的は、論理的であるとは一体どういうことなのかを考え、さらに、様々なタイプの推論の妥当・非妥当性を判定するトレーニングをつむところにある。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では概ね次のような内容を取り扱う。

前期：伝統的論理

- (a) 論理学の基本概念（概念・命題・推論）
- (b) 演繹推理（定言・仮言三段論法の妥当性の判定）
- (c) 帰納推理（ミルの方法、仮説演繹法）

後期：現代論理（記号論理）入門

- (d) 命題論理（日常言語の記号化と推論の証明）
- (e) 述語論理（日常言語の記号化と推論の証明）

履修上の留意点

継続して授業に出席することは言うまでもなく、毎回の授業内容を積極的に復習することが望ましい。

成績評価の方法

中間・期末試験（それぞれ40点満点）と夏休みレポートと出欠の総合点で評価する。

教科書

『新しい認識への論理』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔知の技法〕	伊古田 理 <small>いこた まさる</small>	経A・商選	4

講義のねらい

本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際のノウハウの習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。

履修上の留意点

以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。

成績評価の方法

随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほかに、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいっさい実施しない。

教科書

本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんでものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。
教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版）
副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

参考書等

そのつど指示する。

その他

上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔知の技法〕	野 浩 司 <small>の ひろ し</small>	経A・商選	4

講義のねらい

ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション、ネゴシエーションのスキルアップを目的とします。日本の教育制度はこの四つの能力を育成しようとしませんが、民主主義社会の一員として、ビジネスパーソンとして、国際社会の一員として、これからの時代を生きてゆくためには武器となるスキルです。

初めての参加者は、人に何かを伝えようとする前に、恥ずかしい、言うことがない、意見がない、何も思いつかないといった状況に直面することになるかもしれませんが、それを乗り越えることも目的の一つとします。

講義の内容・授業スケジュール

まずディベートから始めて、ディスカッション、プレゼンテーション、ネゴシエーションのどれか、あるいはすべてに挑戦してもらいます。オプションとして、司会術、情報分析、ビジュアル戦略、ユーザー・クレーム、ビジネス・マナーを検討します。

履修上の留意点

単位よりも能力が欲しいことを参加条件とします。参加人数を減らすために、四回休んだら単位は出ません。単位のいらぬ人やリピーターの参加は歓迎します。
昨年は学生からの提案で〈論理王決定戦〉と題するトーナメントを行いました。盛り上ったので、今年もやりたいと思います。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、やる気、スキルの修得度などで評価します。

教科書

プリントを配布しますが、現在、教科書を作成中です。

参考書等

その都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
科学史 〔近代科学の成立と展開〕	ながおか りょうすけ 長岡 亮介	経A・商選	4

講義のねらい 我々の今日の文化と文明が、高度の発達した科学と科学に裏付けられた技術に深く依存していることはいうまでもない。むしろ近年ではそれが当たり前すぎて、科学を支えている「方法」や「思想」、あるいは輝かしい技術の背後に潜む非科学性に目が向かないため、「科学」を標榜する似非科学的独善や技術についての非科学的盲信すら目立つ状況にある。本講義は、この科学と技術に歴史を通じて接近することにより、先端的な科学や技術についての個別的な知識なしに今日の社会が直面する諸問題を科学的に深く理解する可能性を探る試みである。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、いわゆる科学的な素養なしに理解しやすい古代や中世の科学と技術の話題から出発し、次第に現代へと接近する。学生諸君の希望によっては、先端科学や情報科学の諸問題にも触れる。

履修上の留意点 いわゆる自然科学についての具体的な知識は前提としないが、講義の中で現れる諸概念を必要に応じて調べ理解する積極的な態度は受講の最低要件である。

成績評価の方法 出席状況・随時のレポートおよび定期試験の結果を合算して評価する。なお、試験については、手書きノートの参照は可とする。

教科書 特に指定しない。

参考書等 講義の際に随時、指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (1) 〔人間観〕	ふるた ともあき 古田 知章	経A・商・経B選	4

講義のねらい われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール 教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。

〔前期〕 人間観の形成の歴史

1. 人間と倫理 ―人間であるために―
2. 古代ギリシア思想における人間観の諸相
3. 中世キリスト教思想における人間観
4. 人間観の転換 ―ルネサンス・宗教改革―

〔後期〕 新しい時代の人間観

1. 出発点としてのデカルト《思惟する私》
2. 自己の内面性と他者の問題
3. 人格 ―ロックを手がかりに―
4. 人間存在と自由

成績評価の方法 二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書 『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等 講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (2) 〔応用倫理学〕	黒崎剛	経A・商・経B選	4

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとなみなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定

1. 生命の倫理——講義の課題概説
2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
3. 人工妊娠中絶
4. 安楽死と尊厳死
5. 脳死と臓器移植
6. 「生殖革命」——人工生殖の現状と問題点
7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (3) 〔価値観〕	滝沢正之	経A・商・経B選	4

講義のねらい

倫理学の主要な潮流を概説する。
我々は日常、道徳的な善悪について語る。たとえば、親は子供に「それは悪いことだからしてはいけません」と言うだろう。しかし、少し反省してみると、道徳的な善悪というものはそのほど自明ではない。
そもそも、何が善いことで何が悪いことなのだろうか。たとえば、人は殺してはいけない、とよく言うが、世の中には死刑もあるし戦争もある。
また、少し前までは、性別や人種で差別することが当然のように行われていた。それが悪いことではない、と思われていたのだ。善悪は時代や場所によって変わってしまう、ただの決まりごとなのだろうか。
このように、道徳的な善悪の本性とは、実のところ、よくわからないものなのだ。そこで、道徳についての哲学的考察、すなわち倫理学が登場することになる。

講義の内容・授業スケジュール

倫理学の主要な潮流を互いに対決させつつ紹介する。具体的には、カントの義務論、功利主義、ニーチェの道徳批判、徳論の四つとなる予定。

成績評価の方法

基本的に中間試験および期末試験により評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (4)(7) 〔応用倫理学〕	矢野 浩司	経A・商・経B選	4

講義のねらい

例えば、自動車でスーパーマーケットに行つて、パックされた牛肉を買つて、ポリエチレン製の袋に入れてもらつて、家に持って帰つて食べる場合、人はさまざまな選択を行っています。しかし、多くの人々は自分が選択を行っているという意識を持っていません。それはシステムや文明によるマインドコントロールを受けている状態であり、考えて行動する力を奪われている状態であるとも言えます。この授業の目的は、そのような問題の存在に気づき、自分にインストールされた行動様式の外にいったん出ることによって、考えること、意見を持つこと、判断を下すことをシミュレートすることです。応用倫理学とは、理論の応用ではなく、問題に参加することで生き方を模索する学問です。

講義の内容・授業スケジュール

毎回異なる問題を扱います：安楽死、遺伝子操作、劣化ウラン弾、地雷、パレスチナ問題、チェチェン問題、アメリカとイラク、代理母、中絶、女性器切除、AIDS、18トリソミー、IT犯罪、IT汚染、天皇制、南京虐殺、教科書問題、自衛隊、自動車、食料、難民、刑務所、死刑、売買春、おたく、わいせつ、引きこもり、化粧、ファッション、美容整形、地域通貨、資本主義、徴兵制、温暖化、ヒートアイランド、煙草、アイドル、アメリカ映画、内部告発、メディア倫理、ビジネス倫理など。(一年間ですべての問題を扱うことはできないので、この中からセレクトすることになります。)

履修上の留意点

今年から一日二回講演になりましたので、座ることができると思います。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、リアクションペーパーで評価します。

教科書

プリントを使用しますが、現在、教科書を作成中です。

参考書等

その都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (5) 〔制度とモラル〕	滝口 清栄	経A・商・経B選	4

講義のねらい

人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代によりあるいは地域により違いが見られるが、そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代にあつても人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえなくなっている。歴史的視野をもち以上の思想的営みをふりかえっておくことが、今日の問題を考へていく上でも大切な土台となるであろう。本講義では、西洋倫理思想史のなかで古代、近代、現代からいくつかの思想をピックアップし、まず人間観の特徴をつかみ、そして人間のよりよき生を可能にするよりよき制度をめぐり思索のあとを検討する。制度はもちろんそれを担うことのできる人間を必要とする。そこにはモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布する。

履修上の留意点

講義は平明を心がける。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法

中間テスト(10月上旬を予定)と学年末テストにより成績を評価する。

教科書

久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』(公論社) 3,200円

参考書等

高木・末延・宮沢編『人権宣言集』(岩波文庫)
シンガー『私たちはどう生きるべきか』(法律文化社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (6) 〔東洋倫理〕	みなくちたくじゅ 水口拓寿	経A・商・経B選	4

講義のねらい 「無礼者」や「親孝行」という言葉には、皆さんもなじみがあるでしょう。この授業では、私たち東アジア人の思考や行動を二千年以上にわたり規定してきた「礼」と「孝」の精神を探りあげ、その原像・伝統・現在を見つめてみましょう。歴史的にも思想的にも、これら二文字に含まれる意味は、思いがけないほど深いのです。

講義の内容・授業スケジュール 初めに「倫理」という概念そのものや、「道徳」「規範」との異同について考察します。次に「礼」をめぐる、教科書Aの章節に沿いながら講義します。続いて「孝」をめぐる、教科書Bの章節に沿いながら講義します。教科書は共に「儒教」を表題にしていますが、この授業では儒教という言葉に必ずしもこだわらず、東アジアに今も息づく「礼」や「孝」を、身近なところから探り当てることに務めましょう。

履修上の留意点 私は教科書を朗読するだけの係ではありませんし、著者たちの代弁役でもありません。むしろ学説の一例として批評的に吟味する態度を、皆さんにも共有してほしいと思います。

成績評価の方法 学期末に提出してもらったレポートを、主な評価材料にします。授業中には出席状況の調査も兼ねて、講義内容の感想などを書いてもらう場合があります。

教科書 A 小島毅『東アジアの儒教と礼』（山川出版社、世界史リブレット）
B 加地伸行『儒教とは何か』（中央公論社、中公新書）
受講時には必ず持参して下さい。いずれも持ち運びやすく廉価な本です。

参考書等 必要に応じて、主に授業中に指示します。私の作成したプリントを、参考資料として配る場合もあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教学 (1) 〔比較宗教文化〕	いけがみよしまさ 池上良正	経A・商・経B選	4

講義のねらい 宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール 大きなテーマとして、次の三つを考えている。(1)「宗教」概念の成立とその意義。(2) 人類史と宗教。(3) 現代社会に生きる「宗教」。

成績評価の方法 年度末に筆記試験。

教科書 特に指定しない。

参考書等 授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (2) 〔聖と俗〕	田 中 かの子 <small>た なか こ</small>	経A・商・経B選	4

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあって「聖と俗」という対立概念をみるのは、人間に固有の宗教的価値観がはたらいているからにはほかならない。「聖」と「俗」にいかなる内容を盛るかは、神の啓示や仏の理法、あるいは大自然の威力など、信仰対象の特質によって多様化する。それはあたかも諸宗教間の相違を生むものであるかのようにみえる。しかし「聖と俗」の観念が生活のなかで活かされる時、それは、無力にして至らぬ自己を「不浄から清浄」「苦しみから救い」「罪から改悛」へのプロセスに向かわせるという、どの宗教にとっても重要な、ひいては日々新たに生まれかわろうと欲する人間に共通の問題となる。本講では、現代に生きる諸宗教の信奉者たちと「聖なるもの」との関わりを実際の見聞にもとづいて解説し、各宗教の特殊性よりは普遍性について講じてゆく。それにより、本来は聖俗不分の如実なる世界に立ち返り、日常の大切さ、いのちの尊さに思い到ることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、Ⅰ. 宗教学の基本的立場、Ⅱ. 原始時代の宗教、Ⅲ. 一宗教の諸相、多宗教の比較、Ⅳ. 諸宗教の構成要素一覧、Ⅴ. 聖なる母性の比較美術、Ⅵ. 仏陀とキリスト、後期は、Ⅶ. ゴロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化について解説する。

履修上の留意点

講義を聴き、板書を写すにとどまらず、その過程で考えたことをノートに取り、独創性や文章力を養うのに役立てよう。

成績評価の方法

各自の創意工夫と知識の応用力を問う論述式の学年末試験、レポート。

教科書

田中かの子著『比較宗教学—「いのち」の探究—』（北樹出版）2004年

参考書等

「いのち」を尊ぶ書物ならどれでも。

その他

講義担当者の現地調査によるスライドと録音テープを活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (3) 〔世界観と儀礼〕	小 川 順 敬 <small>がわ とし ゆき</small>	経A・商・経B選	4

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその世界観について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の世界観を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

未定。授業開始後、紹介します。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (4) 〔日本人の宗教〕	洗 建 <small>あらい けん</small>	経A・商・経B選	4

講義のねらい

日本人の多くは、自分は無宗教であると思っている。しかし、その同じ人が、正月には神社仏閣に初詣に行き、お彼岸にはお墓参りに行っている。これはどういう事なのであろうか。まず、日本人の宗教意識と宗教生活の実態を事実を即して明らかにし、それを形成してきた宗教伝統の理解を目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

前半には、諸種の統計資料によって、日本人の宗教生活の実態を明らかにし、なぜそのようなになってきたのかを考察する。後半は、日本人の宗教を形成してきた伝統、就中、その基層を流れている神道的なるものをたどって、日本文化の世界観的特徴を考察する。

履修上の留意点

個々の事実を覚えることよりも、問題を理解し、共に考えることを目指したいので、出席して共に考えて欲しい。原則として出席をとりたいが、受講者多数の場合は出席に代わるレポートを夏休み前に提出して貰う。

成績評価の方法

原則として期末試験により成績評価する。その結果が合格点にやや届かない場合には、出席またはレポートの結果を配慮する。

教科書

教科書は使わない。

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (5) 〔生活と宗教〕	菅原 とし 清	経A・商・経B選	4

講義のねらい 人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠な問題であると思われます。そこで、本講義では宗教人類学の視点から、「生活と宗教」というテーマで、人びとの宗教的営みについてとらえてみたいと思います。

授業は講義形式とし、はじめに宗教学・宗教人類学についての基礎的な概説を行います。次に、日本を含めたアジアの多様な姿について、人々の宗教的な営みを中心に、その分布や特徴について述べます。さらに、日本と東南アジア、および中国の西南地域の人々の暮らしなどから、その宗教形態に注目して、仏教と民俗宗教との関係や、その展開過程について、それぞれの地域の具体的な事例を取り上げながら、展開したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 宗教学・宗教人類学とは
2. 日本とアジア、その多様な姿
3. アジアの人々の生活と宗教
4. 日本の人々の生活と宗教

成績評価の方法 試験+出席点+レポート点（詳細は、講義の時説明）

教科書 指定なし

参考書等 『宗教学ハンドブック』（世界書院）

その他 授業の方法—講義、ビデオ・スライドなども使用

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (6) 〔民俗宗教の諸相〕	佐藤 のり 憲 昭	経A・商・経B選	4

講義のねらい 宗教学は、宗教文化について価値中立的立場から研究する学問である。通常、宗教といえば、仏教やキリスト教などのように、特定の教義、儀礼、教団などが整備されている成立宗教を連想することが多い。だが、これと並んで他方には、仏教やキリスト教などの外来宗教と、日本の土着宗教とが混じり合い、生活に合った形で展開している宗教の存在を忘れてはならない。このような生活場面で展開している宗教を「民俗宗教」と呼ぶ。この講座では、民俗宗教の諸局面を通して日本人の心とその文化に迫ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、宗教学の学問的特徴と、宗教文化に関する基本的な用語などについて具体的に解説する。次に、民俗宗教の概念を明らかにした上で、「憑霊（ひょうれい）信仰の諸相」「仏教と民俗宗教」などのテーマのもとに考察する。なお、「憑霊」とは、神霊または呪力が人間その他に乗り移り、あるいは影響を与えて、人間や事物に聖なる変化を生じさせると信じられている現象のことである。

履修上の留意点 欠席をする場合（または欠席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出のこと。

成績評価の方法 学年末の筆記試験で評価する。合格の基準は、講義内容を踏まえて、みずからの言葉でどのように論じているかという点にある。不合格の場合には、レポート点（卒業年次生のみ該当）と出席点を加算して最終評価を行う。

卒業年次生のみ提出のレポートは、次の通り。〔課題〕宗教文化に関する書物を読み、その感想文を作成する。〔字数〕本文は2000字。〔提出先と時期〕授業時に随時受けつける。ただし、授業時以外は受理しない。〔その他〕表紙をつけること。

教科書 使用しない。

参考書等 授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (1) 〔風土と文化〕	たけばやし かず ひこ 竹 林 和 彦	経A・商選	4

講義のねらい

人文地理学の基本的概念や思考対象について、具体的な事例を取り上げながら検討してゆく。特に本講義のサブテーマである「風土と文化」について、文化地理学的アプローチを紹介しながら検討していく。講義でアジアを主に取り上げていくが、適宜ヨーロッパ・アメリカ等の地域と比較検討する。講義は、スライドやOHP等を使用し、事例として取り上げる地域を具体的にイメージできるように進める。

講義の内容・
授業スケジュール

1. ガイダンス 10. 文化景観
2. 人文地理学の学問的性格 11. 文化伝播
3. 人文地理学の基本概念 12. 東南アジアの風土と文化
4. 人文地理学の思考対象とその方法 13. 東アジアの風土と文化
5. 人文地理学と地誌学 14. 市場の風景
6. 地理学にとって文化とは何か? 15. 都市での居住 (都市の文化)
7. 地域とは (地域の概念) 16. 都市と農村
8. 文化地域 17. まとめ
9. 文化生態～主に人間と自然環境のかかわり～

履修上の留意点

授業には必ず地図帳 (中学・高校で使用したものでもよい) を持参すること。

成績評価の方法

定期試験80%、平常点20%

教科書

特に指定しない。必要に応じて講義中に指示する。

参考書等

特になし。必要に応じて講義中にプリントにて配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (2) 〔風土と文化〕	たかばし けんたろう 高 橋 健太郎	経A・商選	4

講義のねらい

人々の世界観や価値観、生活様式といった文化的側面と、地域社会の特徴や変容とを関連づけて考えるという、人文地理学の基本概念について理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

全体的には、自分の生活または異文化について考える際に、空間的側面からの視点がいかに重要であるかということについて検討する。
 具体的には、講義内容として次の項目を予定している。(1) 人文地理学の位置づけ、(2) 大衆文化と文化景観、(3) 日本の基層文化の地域性、(4) 照葉樹林文化、(5) プナ帯文化、(6) 文化生態、(7) 地域文化と観光、(8) 地図、(9) 地名、(10) 空間認知。

履修上の留意点

講義内容についての理解の程度を把握するため、また一部を講義の資料として使用するため、頻繁に教場にてレポートを作成し提出してもらう。

成績評価の方法

教場レポートの内容 (30%) と定期試験の結果 (70%) で採点する。

教科書

使用しない。授業時にプリントを配布する。

参考書等

主な参考書は次のとおり (授業スケジュール順に掲載)。その他については、授業中に適宜紹介する。

- 高橋伸夫ほか1995.『文化地理学入門』(東洋書林)
 鈴木秀夫1988.『風土の構造』, 講談社 (講談社学術文庫)
 佐々木高明1993.『日本文化の基層を探る』(日本放送出版会)
 田畑久夫2003.『照葉樹林文化の成立と現在』(古今書院)
 市川健夫ほか1984.『日本のプナ帯文化』(朝倉書店)
 中島峰広1999.『日本の棚田』(古今書院)
 溝尾良隆2003.『観光学』(古今書院)
 若林幹夫1995.『地図の想像力』, 講談社 (講談社選書メチエ)

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (3) 〔空間と行動〕	やまぐち たろう 山口太郎	経A・商選	4

講義のねらい

この講義は、都市を歩くことによって都市を体験し、都市への批判的なまなざしを養うことを目的とする。前期はまち歩きをするための準備という位置付けで、東京に関する地理的知識と先達の都市観察・記述を紹介する。渋谷、原宿、新宿、田園調布など、東京のさまざまな場所を事例に進めていく。後期は都市に関する諸理論・さまざまなテーマ別に、都市を批判的に見つめるまなざしを養う。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

- 1 東京の自然史
- 2 東京の歴史社会地理
江戸から東京へ、モダニズム・大衆文化、高度経済成長、都市論ブーム、バブルの時代、郊外居住、都心回帰
- 3 先達による都市観察・記述
小田内通敏、今和次郎、陣内秀信、正井泰夫、路上観察学会、江波戸昭、川本三郎、泉麻人、石井實、奥田道大、ライフヒストリー

(後期)

- 4 都市の中の差異
都市計画、時間地理学、認知地図
- 5 商品としての都市
場所のイメージ、ディズニーランド化、創られた伝統
- 6 都市民の憂鬱
選好地図、まなざしの権力性、故郷、集団の風景、住民参加のまちづくり

履修上の留意点

出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課することがある。

成績評価の方法

夏休みのレポートと後期試験で評価する。平常点も若干評価の対象とする。

教科書

前期に以下のテキストを使用する。
正井泰夫監修2003『図説歴史で読み解く東京の地理』（青春出版社）1,000円

参考書等

講義中に随時紹介していくが、さしあたり以下の文献を挙げておく。
エドワード・レルフ著（高野・神谷・岩瀬訳）『都市景観の20世紀』（筑摩書房）
田島則行・久野紀光・納村信之編『都市／建築フィールドワークメソッド』（INAX 出版）
若林幹夫『都市への／からの視線』（青弓社）

その他

この講義は、各人が積極的にまち歩きを行うことが前提となる。教室は、東京や都市に関する知識の埋め込みの場というよりもむしろ、都市についていろいろ考える場としたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人 文 地 理 学 (4) 〔空間と行動〕	伊 藤 修 一 <small>いとうしゅういち</small>	経A・商選	4

講義のねらい

日常生活の中の多くの場面で、我々は個々の意思の基に行動する。ところがその行動には規則性や一般性が認められることが少なくない。特に、都市には多様な人々が活動しており、そこには都市のもつ特徴が大きく反映されている。この講義では、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することを目的とする。

前期には、都市がどのように形成されて今日のように分布することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説する。後期には、都市の形成や変化に大きな影響を与える人口動態と移動の傾向を把握した上で、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきを、具体的な研究事例を通して説明する。

講義の内容・授業スケジュール

[前期] イントロダクション (1)、地図 (2)、都市の分布と立地 (3～7)、地域の結びつき (8・9)、都市の内部構造 (10)

[後期] 人口変動と分布・人口移動 (1・2)、都市の居住構造の形成過程とその変化－郊外化・再都市化 (3～8)、都市と余暇活動 (9)、都市空間における知覚と認知 (10)

履修上の留意点

講義では簡単な数式を用いることがある。高校数学や統計学などの基礎知識を持っていることが望ましい。

成績評価の方法

原則として年度末の試験結果から評価し、出席状況も若干考慮する。

教科書

講義ではプリントを随時配布する。

参考書等

北川建次編 (2004)『現代都市地理学』(古今書院)
坂本英夫・浜谷正人編 (1985)『最近の地理学』(大明堂)
富田和暁・藤井 正編 (2001)『図説 大都市圏』(古今書院)
なお、高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。

その他

プロジェクターを用いて講義を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	伊藤 茂樹 <small>いとう しげき</small>	経A・経B2選	2

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的帰納について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
・近代社会と教育
・学校という場

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	萩原 建次郎 <small>はぎ わら けんじろう</small>	経A・商・経B2選	2

講義のねらい

この授業では、第一に自分自身の教育体験のふりかえりを出発点として、「学ぶこと」「教えること」「生きること」の意味を考える機会をもちたい。第二に自己の体験と他者の体験を交流させながら、多様なものの見方を学ぶと共に、教育に対する自分の視点がどこにあるのかさぐっていききたい。第三に各自の体験知だけにとどまらずに教育学が蓄積してきた学問知（主に教育史・教育哲学）との交流によって、これまで暗黙のうちに了解してきた「教育目的」「学習」「人間の発達」などの意味について深く捉える感性と知性を養いたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 自らの教育・学習体験をふりかえる—「学びのマップ」・「私のライフライン」「学びの自分史」をつくる
- ② 自己と他者との体験知の交流—「学びのマップ」・「私のライフライン」「学びの自分史」を他の受講生と相互コメントを行う
- ③ 教育をめぐる体験知と学問知との交流
 - (1) 近代教育が前提としてきた人間観と教育目的・理念の歴史を学ぶ
 - (2) 発達の思想を学ぶ
 - (3) 学習の思想を学ぶ

履修上の留意点

この授業は講義だけではなく、受講者自身の作業が多く含まれる参加型学習である。よって授業の質は各自の積極的な参加姿勢に大きくかかわっていることを留意願いたい。また、小レポートを毎回提出してもらおう。

成績評価の方法

小レポート、作品の提出状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して評価する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

そのつど紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。一回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得したものは、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	坂本信昭	商・経B2選	2

講義のねらい

民主主義的教育思想はルソー、ペスタロッチ、フレーベル、エレン・ケイ、デューイなど多くの思想家によって生み出され、継承されて今日に至り、教育思想と実践の面で多様な展開を示した。

20世紀の教育思想を生み出し、継承することに貢献した思想家たちの教育思想・教育目的を概観することを手初めに、次のようなテーマを取り上げて進める。

講義の内容・授業スケジュール

- ・教育の理想と目的
- ・わが国の教育目的の変遷
- ・現代・社会の変化と教育目的
- ・その他（大村はま、林竹二などから学ぶものは何か）

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

参考書等

西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円
デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	豊田千代子	経B2選	2

講義のねらい

この授業では、「子どもの権利条約を思想として読む」ことをめざす。1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」は、ポーランドによって提案された。この背景の一つには、第一次世界大戦および第二次世界大戦下で多くのポーランドの子どもたちが戦争の犠牲になった（第二次大戦では、とくにユダヤ系ポーランド人の子どもたちの人権が守られなかった）という歴史的事実とそのことへの反省がある。

ユダヤ系ポーランド人の教育者であり医者であり、また作家でもあったヤヌシュ・コルチャック（本名ヘンリク・ゴールドシュミット、1878～1942）は、当時、孤児院の子どもたちのくらしや教育に携わっていたが、それらにみられる「コルチャック先生」の教育の思想、とりわけその核をなす子ども観は、子どもの権利条約の思想的基礎となっているとも言われている。

このようなコルチャック先生の教育の思想を土台にしつつ、わが国の教育をめぐる子どもたちの現状について考えたり、子どもの権利条約を読んでみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ・自分たちの受けてきた教育のふり返し
- ・教育をめぐる子どもたちの現状
- ・コルチャック先生の思想
- ・子どもの権利条約とコルチャック先生

成績評価の方法

出席点、レポート等により成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

樋渡直哉『子どもの権利条約とコルチャック先生』（ほるぷ出版）

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	きたむらみつこ 北村三子	経B2選	2

講義のねらい

日本の教育界に大きな影響を与えた教育思想を学び、それを手がかりに自分なりの教育観を培っていくことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

20世紀の代表的な思想家の一人、ジョン・デューイの教育思想を、『経験と教育』を中心として学んでいきます。子ども自身の経験を基礎に構築されたその教育論を丁寧に読み、私達の日常経験や教育体験を考え直します。具体的な授業計画は、初回の講義でお話します。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートによります。

教科書

ジョン・デューイ『経験と教育』 講談社学術文庫 798円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	いとうしげき 伊藤茂樹	経A・経B2選	2

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。

- ・現代の教育問題
- ・教育改革の現在

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	はぎわら けんじろう 萩原 建次郎	経A・商・経B2選	2

講義のねらい

80年代半ばから不登校問題とともに「居場所」という言葉がマスコミに登場したが、いまや教育学、心理学、社会学においてもキーワードになっている。居場所の喪失感が静かに広がる中で、私たちはそこにどのような人間の姿、世界の在り様を感じるのだろうか。

この授業ではまず、子どもの自己形成空間と若者の文化変容、大人と子ども・若者の関係性の変容を読み解きながら、「居場所」が何において生まれ、何において失うのかを探っていく。次に「居場所」となりうる場のデザインを目指した具体的な方法論はあるのか、子ども・若者の居場所にかかわるいくつかの実践を手がかりに検討し、教育の可能性を考えていく。

この授業を通して、「居場所」を切り口として今いる自分を見つめなおしながら、他者（子ども・友人・親・先生など）とのかかわりの質を問い直し、さまざまな場面での教育実践に応用していける視点と感性を養ってもらいたいと願っている。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 「居場所」をめぐる言説の登場
- (2) 「居場所」の意味を読み解く
- (3) 子ども・若者の自己形成空間の変容
- (4) 子ども・若者の居場所空間をデザインする
- (5) 「居場所」に関わる指導者論
- (6) 「居場所」と子どもの参加論

履修上の留意点

授業はできるだけ参加型学習をとりいれたいので、積極的な姿勢が求められる。小レポートを毎回提出してもらう。

成績評価の方法

小レポート、出席状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して判断する。

教科書

田中治彦編著『子ども・若者の「居場所」の構想－「教育」から「関わり」へ－』（学陽書房）3,000円

参考書等

久田邦明編著『子ども・若者の居場所』（萌文社）
ロジャー・ハート著『子どもの参画』（萌文社）

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	坂本 信昭 <small>さかもと のが あき</small>	商・経B 2選	2

講義のねらい

人間の社会に余暇をもつ少数の人々が生まれたときに学校は生まれた。いわば余暇とともに学校は生まれたのである。もし余暇がすべての人々のものとなるとき、それは、社会そのものが全体として学習と教育の場所、つまり学校になるときであるかも知れない。

講義の内容・授業スケジュール

講義で取り上げるテーマとしては、次のようなものを考えている。

- ・学校教育のあゆみ
- ・学校の社会的機能
- ・学校教育の現実と課題
- ・その他（教師論集）

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

参考書等

西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円
 デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	豊田 千代子 <small>とよ た ちよこ</small>	経B 2選	2

講義のねらい

教育と社会とは、相互に緊密な関係にある。教育は社会のあり方に影響を受けるとともに、社会にも影響を及ぼしている。したがって、教育を考える場合、それを社会と切り離して考えることはできず、社会の中での教育・教育の中にみられる社会という視点からの検討が不可欠であろう。授業では、現代における教育の諸問題を総合的にとらえる力を形成するために、このような視点を養うことをめざしたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ・学習体験のふり返し
 自分たちが受けてきた教育をふり返し、その中でみえてきた教育のさまざまな問題を、社会の歴史や構造等との関連で検討する。
- ・教育と人権
 障害者、女性、在日外国人、義務教育未修了者などの教育に焦点を当て、それらの教育と社会との関係を考える。

成績評価の方法

出席点、レポート等により成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
 この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	きた 北 村 三 子	経B 2選	2

講義のねらい

近代の社会システムと教育はどのような関係にあるのでしょうか。私たちが体験してきた日本の学校教育のあり方を社会との関係から考察することを通して、私たちがどのように社会的に形成されてきたのかを考えます。

講義の内容・授業スケジュール

日本という国家と教育との関係を歴史的に考察するとともに、近代的な組織とその構成員との間に働く力について原理的に考察します。また、そうした観点から、今日の学校教育をめぐる諸問題を考えていきます。詳細は初回の授業でお話します。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートによります。

参考書等

教場で指示します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	おお はま きくこ 大 浜 幾久子	経A・商・経B 2選	2

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

定期試験(学期末)の成績に小レポートの成績を加味する予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	三 國 隆 子 <small>みくに りゅうこ</small>	経A・商・経B 2選	2

講義のねらい

- ・子どもから大人へ。人の発達過程について概観する。
- ・発達や個に応じた学習や教育について学ぶ。
- ・以上を踏まえ、学校現場で行われる教育や指導のあり方について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ・発達とは何か
- ・発達の特徴と発達理論
- ・発達観の変遷と教育
- ・学習とは何か
- ・学習と評価
- ・意欲と学習（1）動機づけ理論
- ・意欲と学習（2）自己効力感

成績評価の方法

- ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。
- ・学期末に筆記試験を行う。
- ・小テストや課題の提出状況と学期末テストを総合して評価を行う。

教科書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

その他

この科目は、平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	夏 堀 睦 <small>なつ ほり ちか</small>	経A・商・経B 2選	2

講義のねらい

幼児、児童・生徒の発達と学習のメカニズム、および援助、指導の方法について、教育心理学の見地から概説する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①発達とは何か
- ②知能・創造性・思考の発達
- ③対人関係（と人格）の発達
- ④特別な教育的ニーズを持つ子どもへの援助（障害児・才能を持つ子ども）
- ⑤新しい「学習」の捉え方
- ⑥多重知能理論に基づく教育実践

履修上の留意点

学期末試験の成績を中心に評価します。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

開講時に指示します。

その他

講義形式で行います。授業中に小レポートを課す場合もあります。
この科目は、平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	すみの 野 善 司	経B 2選	2

講義のねらい

教育心理学は、教育現場に対して心理学的にアプローチする学問であり、教師が、生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどうしたらよいかを、多様な観点から心理学的に考えようとするものです。この科目では、教育心理学の中でも、特に発達と学習に焦点を当てていきます。講義を通じて学び、考えたことを、生徒と接する際のヒントにしてほしいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 教育心理学とは (2・3) 発達観の変遷 (4・5) 発達の規定因 (6) 教育の最適期 (7) 発達段階と発達課題 (8) 学習への動機づけ (9) 内発的動機づけ (10) 学習性無力感 (11) 原因帰属 (12) 学習目標と遂行目標 (13・14) 補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目として履修する学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思しますので、それを承知の上で受講してください。

成績評価の方法

免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書

使用しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせ、適時紹介します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	おおはま 幾久子	経A・商・経B 2選	2

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、現行の新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出(定期試験期間)を中心とした評価の予定である。

参考書等

『(小学校・中学校・高等学校)学習指導要領』文部科学省
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
カリキュラムと学習 (後期)	三 くに りゅう こ 國 隆 子	経A・商・経B2選	2

講義のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領から読み取れる、日本の教育課程を理解する。 ・カリキュラムと学習の効果について学ぶ。 ・学校現場で行われているカリキュラムの実際と課題について理解する。
講義の内容・ 授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の教育課程 ・学習指導要領の変遷 ・教授と学習の効果 ・カリキュラムと学習の効果 ・学校教育（1）教育制度・カリキュラムの実際について ・学校教育（2）教育評価・今後の課題について
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。 ・学期末に筆記試験を行う。 ・小テストや課題の提出状況と学期末テストを総合して評価を行う。
教科書	教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
カリキュラムと学習 (後期)	なつ ぼり ちか 夏 堀 睦	経A・商・経B2選	2

講義のねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1) カリキュラム—教授—評価のサイクルを中心に、教育活動を構成する諸要素について学習する。 2) 現行学習指導要領の特徴をふまえて、実践案作成課題に取り組む。
講義の内容・ 授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> ① カリキュラムの意義 ② 現行学習指導要領の基本方針 ③ 総合的学習の意義 ④ 総合的学習の設計に関わる教授理論と評価法 ⑤ C—I—A サイクルの構成 ⑥ ポートフォリオ評価法を使ったC—I—A サイクルの設計
成績評価の方法	授業中の小レポートと学期末試験の成績によって評価します。
教科書	開講時に指示します。
参考書等	授業中に適時紹介します。
その他	一回目の講義のなかで実践案作成課題について説明を行います。必ず出席するようにして下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	すみ の ぜん し 角 野 善 司	経B 2選	2

講義のねらい

この科目では、カリキュラムの編成・実施を中心テーマとして取り上げ、それが生徒の学習をどう規定し、どう導いていくかを検討していきます。これからの教育がどのようなカリキュラムで行われていくべきかを、各自考えてほしいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

(1) カリキュラム (教育課程) とは (2) カリキュラムに関する法制 (3) カリキュラム編成の原則 (4) 学習指導要領改訂の歴史 (5-7) 平成10年学習指導要領改訂の経緯と基本方針 (8-10) 平成15年学習指導要領一部改正の経緯と基本方針 (11-12) 平成10年改訂学習指導要領 (平成15年一部改正) の下での教育評価 (13-15) 補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目として履修する学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思しますので、それを承知の上で受講してください。

成績評価の方法

免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以上ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書

『中学校学習指導要領』『中学校学習指導要領解説 総則編』『高等学校学習指導要領』講義は、図表などを載せた資料プリントも活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせ、適時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 [現代社会を考える] [現代文化を考える]	お びよん さん 呉 炳 三	経A・商・経B選	4

講義のねらい

社会学が対象とするのは個人、集団、社会などである。その分野においても、「恋愛」「家族」「教育」「文化」「政治」「犯罪」「法律」「経済」「宗教」など様々である。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何だろうか。また、これらの諸問題を解決するためにはどのような手段が有効であろうか、本講義で分析していく。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では、前期は社会学の基礎について講義する。後期は、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な諸問題について考察を深めていく。

- (1) 社会の変動にともなう家族の変化をおう。これは、乳幼児における親との関わりや家族生活における様々な要因によって、青春期や高齢期に様々な問題が現れる。また、少子・高齢社会といった家族に関する諸問題などを検討する。
- (2) 近年、凶悪な少年犯罪が多く、犯罪と家族との関係についても分析する。
- (3) 「恋愛」「性」「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー：社会的な性」などの諸問題を考える。
- (4) 現代のIT文化が若者文化(ユース・カルチャー)に与える影響について、または現代において果たす役割とは、など日本の若者の心を分析していく。
- (5) 現代における企業活動の意義、または企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題について考える。

履修上の留意点

この講義は、出来る限り受講生自分自身で調べ、考え、答えを出す方向で講義を持っていくので、授業を聴く、考える姿勢が望まれる。また、毎回辞書を持参すること。曖昧な日本語を使う学生、日本のことを知らない学生のために宿題を出すことがあるので、宿題が出来る学生の受講を勧める。

成績評価の方法

前・後期末に筆記試験を行うなど。詳細は開講時に説明する。

教科書

労働・福祉研究会『21世紀の労働と福祉』(学文社) 2,500円

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計学 〔社会現象の統計的分析〕	たなかまさみつ 田中正光	経A・商・経B選	4

講義のねらい

現代社会では、官庁統計、企業の経営上のデータ、アンケート調査結果など社会の諸相を反映した様々な数値が身近に氾濫している。これらのデータから各自が必要とする情報を適格に選出・分析するためにはある程度の統計的知識とパソコン操作が必要である。この数値データの整理・分析の作業は特に実社会に出たときに様々な場面で必要とされるものである。この講義では、この作業に慣れることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期後期を通じて、統計的基礎知識の概略の説明に3回程度費やし、4回日に実際に計算ソフト・エクセルを使って（パソコンルームの確保が前提）実際ないし架空の数値による統計的分析を行う。

年間を通して、この作業（3回講義+1回パソコンを使った統計分析作業）を繰り返す予定である。

【前期】

- 1～3：統計データの代表値
平均値、中央値、最頻値などの代表値。
- 4：前3回で講義した内容の復習作業（パソコン使用）
- 5～7：データの散らばり
分散、標準偏差、度数分布など。
- 8：前3回で講義した内容の復習作業（パソコン使用）
- 9～11：2変数の関係
相関、単純回帰分析など。
- 12：前3回で講義した内容の復習作業（パソコン使用）

【後期】

- 1～3：標本と確率分布
母集団と標本、正規分布、二項分布などの確率分について。
- 4：前3回で講義した内容の復習作業（パソコン使用）
- 5～7：標本分布と推定
推定量の望ましい性質、点推定および区間推定など。
- 8：前3回で講義した内容の復習作業（パソコン使用）
- 9～11：仮説検定
正規母集団に対する仮説検定、カイ二乗検定など。
- 12：前3回で講義した内容の復習作業（パソコン使用）

履修上の留意点

パソコン操作、特にエクセルの操作を行う場面が多くなるので、パソコン操作があまり嫌いでないこと。また通常講義では電卓などの持参が望ましい。

成績評価の方法

前期末と後期末に試験を実施し、この結果に通常授業における練習問題の結果を加味して判断する。

教科書

なし

参考書等

室淳子+石村貞夫著『Excelでやさしく学ぶ統計解析』（東京図書）
森田優三著『統計概論』（日本評論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔諸民族とコスモロジー〕	すずき いっけい 鈴木 一 馨	経A・商・経B選	4

講義のねらい

文化人類学は、人類の特徴的な活動とその表現である「文化」というものを、さまざまな方向から検討して「人類とはなにか」を問う学問である。これを学ぶことは、多様な文化を理解する術を得るばかりではなく、自己の存在意義を問うことにもつながる。

この講義では、前期にまず「文化」とそれを研究する「文化人類学」、また文化の共通性を帯びる「民族」について基礎的な知識を得た上で、コスモロジーとはどのようなものを学ぶ。後期はこの基礎に立ち、コスモロジーの具体例として「風水」を成り立たせている様々なコスモロジーと、現実空間への対応、そしてそのことが人間社会にとってどのような意味を持つのかを学ぶ。これらを通して、人類が文化を持つことの意味や、ひいては人類の中の一存在である自己の存在意義を考えてもらう。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部. 文化人類学と民族
 (1～3)「文化」と「文化人類学」 (4～6)「民族」とはなにか
- 第2部. 民族とコスモロジー
 (7～8)「コスモロジー」とはなにか (9～10)天とひとつのコスモロジー (11～13)
 世界の断絶と連続
- 第3部. 風水のコスモロジー
 (14～20) 風水を構成する宇宙論 (21～22) 風水による現実空間の意味付け (23～26)
 風水と人間社会

履修上の留意点

学生諸君が授業中の質問に答えたり、レポート提出などで見せる積極的な姿勢、そして社会人予備軍としての常識性を重視する。なお、復習をきちんとしないといけない。

成績評価の方法

出欠状況・期末試験・小テスト・受講態度など、評価につながるものは全て考慮する。

教科書

プリントを使用する。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門（増補改訂版）』（中公新書560、1990年）840円
 国立歴史民俗博物館編『異界談義』（角川書店、2002年）1,470円
 渡邊欣雄『風水思想と東アジア』（人文書院、1990年）1,995円
 鈴木一馨『陰陽道一呪術と鬼神の世界』（講談社選書メチエ244、2002年）1,575円

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔社会変化と価値観〕	うちやまあきこ 内山明子	経A・商・経B選	4

講義のねらい

文化人類学は、研究者が属す世界と正反対の全く異質な世界に属す「他者」、すなわち「未開」に代表される近代文明以外／以前の社会を調査対象とすることで、多様性に富んだ人類の姿を提示したり、全人類に普遍的な特徴を求めたりしてきた学問である。また、そのような「他者」を調べることによって、「他者」の目に映る近代文明の姿を描き批判していく学問としても大きな役割を果たしてきた。実際にはそのような「他者」たちは、私達と同じ近代文明世界の一員として、市場経済に組み込まれ、植民地、そして、その後は国民国家の中で生きてきたのだが、文化人類学はそのことに長いあいだ目をつぶってきたのだった。しかし、1980年代頃からそのような文化人類学に対して、他の学問や、今まで調査対象とされてきた人々の間から厳しい批判の声があがるようになり、文化人類学の側からも学問の基本的な枠組みの見直しが積極的に進められてきた。

本講義では、従来の文化人類学がどのように批判されどう見直されようとしているのかに重点を置くことで、社会変化と価値観をめぐる諸問題を扱っていくことにする。地球規模で人々やモノが移動し、テクノロジーが猛スピードで変化している今日に生きる私達は、それまで当然のこととして受け入れていた諸概念を次々と見直していく必要に迫られている。そのために必要な柔軟なものを見方をしていく切っ掛けとして、文化人類学を学んでくれることを期待している。

講義の内容・授業スケジュール

- I 文化人類学の基本的な考え方(文明と未開、フィールドワークと民族誌、主要な学説紹介、親族、世界観)
- II 社会変化と価値観(文化や社会についての新しい考え方、近代化と文化人類学—世界システム論、植民地主義と新植民地主義、民族国家成立と民族問題)

成績評価の方法

学期末の筆記試験を成績評価の中心に据えるが、他に夏休みの課題レポート、及び授業で取り上げるビデオに関する感想文提出なども成績評価のさいに考慮していく。

教科書

教科書は指定しない。参考文献を授業中に紹介していく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と社会生活〕	わちけいいち 和知恵一	経A・商・経B選	4

講義のねらい

現代社会は、高密度に人が集合し、高度に発展した複雑な社会を構成している。その構成員である我々は、社会にとって必要不可欠である多くの法によって、取り囲まれている。たとえば、電車やバスに乗ること、コンビニで文具を買うこと、アパートを借りることなど、すべて、法的な側面を持っている。自分は法と無縁であると思っている人は、そのことを知らずにいるだけなのである。講座名は、「法学・憲法」であるが、サブタイトルに（法と社会生活）とあるように、本講義においては、「良き社会人として生活していくために、社会にある『法』とは何であるかの理解をすること、またその『法』を社会生活の上で活かしていく能力を身につけること」を主眼とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義形式で進める。が、講義はどうしても一方通行になりがちなので、授業中に多数の質問を行い、挙手により解答してもらおう。つまり、全員が参加する授業を目指す。授業中では、「三茶の駅頭で『うまい儲け話がある』とさそわれ、出資金の手付として1万円を払ってしまった。後で冷静に考えると失敗したと思う。この契約の効力はどうか、どうしたら『手付け金』を返してもらえるか」など、数多くの事例を挙げ、具体的に話を進める。さらに、たとえば「今朝の新聞に、官僚が『収賄罪』で逮捕された記事が掲載されていたが、どんな罪なのか、また逮捕に際し憲法上の問題があるとあったが、どんな点で、なにが問題なのか」など、より up to date な話題を提供したい。

講義は、おおよそ以下のスケジュールで進める。憲法については、特別にテーマを定めることをせず、関連するテーマが出てきたときに、随時、該当条文に当たり、年間を通してほぼすべての条文に触れられるよう配慮する。

- (1) 法学
 1. 法学を学ぶにあたって
 2. 法とは何か
 3. 法の体系と分類
 4. 法の目的
 5. 法と裁判
 6. 裁判の基準（法源）
 7. 法の解釈
 8. 法と道徳をめぐる問題
- (2) 社会生活と法（以下の項目より受講生の関心の高いものをいくつかやりたいと思う）
 9. 犯罪と刑罰
 10. 財産生活と法（人・物・契約など）
 11. 家族生活と法（婚姻・親子・相続など）
 12. アクシデントと法（交通事故・医療事故・欠陥商品など）
 13. 企業と法（就職と労働契約・会社・手形小切手など）

履修上の留意点

楽しい授業・わかる授業・全員参加型の授業を行う必要からも私語はいっさい認めない。また出席は重視する。原則的に、欠席・遅刻・早退を認めない。教科書・特に六法は毎回準備すること。できるだけ板書したいと思うが、その単なる写し作業で終わらないでほしい。つまり、授業の中で十分考察し、理解することを要求する。したがって単に教場にいるだけでは出席とは認めない。真剣に授業を受けようという意識のある者だけに履修してほしい。

成績評価の方法

出席を重視し、きちんと出席したものに、期末試験の受験資格を与える。その試験の得点に平常点を加味して評価する。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法（新版）』（八千代出版）
塩野宏等編『ポケット六法（平成17年版）』（有斐閣）
※すでに持っている六法があれば、それで構わない。

参考書等

大久保治男監修『トピックスくらしの法』（芦書房）
その他授業の中で、随時紹介する。

その他

最初の講義日に受講票を提出してもらおう。特別な事情のない限り、最初の講義の回から出席のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法学・憲法 〔法と国家〕	新田 浩司 <small>ひろし</small>	経A・商・経B選	4

講義のねらい

法は社会のルールであり、憲法は政府と我々国民の関係という国家生活の基本的ルールを決めたものといえる。我々の生活にとって法や憲法を無視することは不可能である。法や憲法を良く知ることは、とりもなおさず我々日本国民がより幸福に生きるために不可欠な作業である。

ここでは、我々が国民として住民として生活する上で必要な法というものの考え方、及び国家の根本法である憲法について、現実には発生する様々な問題にも言及しつつ講義を進める。

講義の内容・
授業スケジュール

- | | | | |
|------|---------------|-------|-----------|
| 第1回目 | ガイダンス | 第9回目 | 精神的自由権① |
| 第2回目 | 法学の基礎知識① | 第10回目 | 精神的自由権② |
| 第3回目 | 法学の基礎知識② | 第11回目 | 経済的自由権 |
| 第4回目 | 法学の基礎知識③ | 第12回目 | 社会権 |
| 第5回目 | 憲法の基礎知識 | 第13回目 | 参政権、国家請求権 |
| 第6回目 | 日本国憲法の制定過程 | 第14回目 | 統治機構① |
| 第7回目 | 日本国憲法の基本原理 | 第15回目 | 統治機構② |
| 第8回目 | 国家の安全保障（戦争放棄） | | |

履修上の留意点

社会で起こる様々な問題は、憲法をはじめとする法律問題でもあり、この講義を履修して法的思考を養ってもらいたい。

成績評価の方法

夏期レポート及び学年末試験の成績により評価する。
なお、授業の出席状況も参考とする。

教科書

佐伯宣親・酒井憲郎・高乘正臣編『現代法学と憲法』（成文堂）2,500円＋税
※小六法（何でも可）があれば持参することが望ましい。

参考書等

小六法（何でも可）があれば持参することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕(夏季集中)	いけだみのる 池田実	経A・商・経B選	4

講義のねらい

〈法学〉家庭生活、社会生活、政治参加、経済活動など、私たちの日常が「法」とどのようにかわり、規制されているかをさまざまな具体例を通して考察し、それが最終的に日本国憲法に定めるとどのような諸原理・精神に結びついているかを明らかにします。

〈憲法〉政治の法である憲法にかかわる問題には、“唯一絶対の正解”というものほとんどありません。すっきり明瞭で断定的な解答を求めるのではなく、現代国家の病理やその複雑さに悩みながら、政治生活のあるべき姿をじっくり考えるきっかけにしていれば、と思います。

講義の内容・授業スケジュール

〈法学〉(1) 授業案内・導入 (2) 国家と法 (3) 実定法ガイド (4) 裁判制度ガイド (5) 夫婦と法 (6) 子どもと法 (7) 自己決定権 (8) プライバシーと法 (9) 生命倫理と法 (10) 社会保険と公的扶助 (11) 介護と扶養 (12) マルチメディアと法 (13) 国際社会と法 (14) (15) 補遺・総括
 〈憲法〉(1) 憲法の基本概念 (2) 日本国憲法の沿革 (3) 国会 (4) 選挙・政党 (5) 内閣 (6) 天皇 (7) 地方自治 (8) 人権総論 (9) 自由権・受益権 (10) 社会権 (11) 新しい人権 (12) 裁判所 (13) 戦争の放棄 (14) (15) 補遺・総括

成績評価の方法

出席および授業中に提出するレポート類により総合的に評価します。

教科書

抱喜久雄編『新・初めての法学』（法律文化社）
 野畑・池田・渡邊・清水『テキストブック日本国憲法』（嵯峨野書院）平成17年4月刊行予定
 上記2冊を用います。

参考書等

授業時に適宜指示します。

その他

授業日程

前半		1	2	3	4	5	後半		1	2	3	4	5
7月29日	金						8月29日	月	○	○	○	○	○
8月1日	月						8月30日	火	○	○	○	○	○
8月2日	火	△	△	△	△	△	8月31日	水	○	○	○	○	○
8月3日	水						9月1日	木	○	○	○	○	○
8月4日	木						9月2日	金	○	○	○	○	○
8月5日	金						9月5日	月	○	○	○	○	○

(△は予備日)

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 〔社会生活とデモクラシー〕	きよ たか ひと し 清 滝 仁 志	経A・商・経B選	4

講義のねらい

この講義では、グローバル化を中心課題において、社会の変化を政治学の観点から学んでいきます。皆さんの生きている時代は今までになく将来が見えない状況となっています。たとえば「定年まで同じ会社にいる」「土地は値上がりする」「銀行はつぶれない」など以前における社会常識の多くが通用せず、この状況は、ほとんど誰もが経験していません。

講義では、この社会変化を考察しながら、将来自分がどのような知的態度をもって対応すべきか、を解明する手がかりとなるような内容をめざします。授業を通じ、自分で未来を切り開くための知識と知的習慣を身につけ、どのように自分が能力を磨き、何をしたいのかを考えることを期待しています。

講義の内容・授業スケジュール

詳細は初回の授業で説明

- 1 グローバル社会における諸問題
 - (1) グローバル化の時代—市場と国家の新たな関係—
 - (2) 市場経済の展開—「大きな政府」から「小さな政府」へ—
- 2 日本における「構造改革」の推進
 - (1) グローバル化と日本—日本型経済システムとその限界—
 - (2) 日本の政治と「構造改革」
- 3 政治制度の比較考察
 - (1) 選挙制度と日本の政党政治
 - (2) アメリカ大統領制の考察
- 4 日本における政策課題
 - (1) 福祉国家の形成と動揺
 - (2) 地方分権と地方自治
 - (3) 日本農業の変革と国際化

履修上の留意点

この講義では次のことをおこないます。

- 1 身近な時事問題を取り上げ、そのポイントの解説
- 2 授業の冒頭で皆さんの質問に答え、復習
- 3 授業中、文章の表現能力を身につけるための練習
さらに公務員試験等に対応できるように配慮します。

成績評価の方法

定期試験を中心としますが、レポート、出席状況を勘案。講義を通じて、いかに力をつけたか、を評価します。

教科書

文献は講義・HPを通じて随時紹介します。

参考書等

毎回、レジюмеと資料を配布します。レジюмеはHPを通じても入手可。

その他

講義を受け身に聴くのではなく、取り上げた話題を自発的・積極的に考えていくことを期待します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学 〔現代経済理解へのガイド〕	佐藤綾野	経A・商・経B選	4

講義のねらい

本講義では、基礎的な経済理論をできる限り平易に解説し、また社会的に関心の高いトピックを多く取り上げ経済学の重要性を解説します。また学生の皆さんにも積極的に授業に参加してもらうことを希望します。

講義の内容・授業スケジュール

本講義は、「社会人の教養」として、あるいは「本格的な経済学へ向かう導入部分」となるよう、経済学全般にわたって解説します。

講義を進めるにあたり、経済学の中での基本的なテクニカルタームの解説からはじめ、ニュースや新聞などで報道されているような具体的な経済現象を「経済学的視点」から考えていきます。

講義終了後には、学生の皆さんが現代経済事象に関心をもち、自ら学ぶインセンティブをつけてもらうことを目標としています。

最後に、経済学は学生の皆さんの日常生活においても、とても役に立つ学問です。頑張って習得してください。

成績評価の方法

平常点・レポート・試験を中心に評価します。

教科書

第一回目の講義で指定します。

参考書等

講義のなかで適宜指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	おお いし ゆう じ 大 石 雄 爾	経A・商・経B選	4

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はいまだに「複合不況」とよばれる深刻な経済スランプから抜け出せていません。近年、危機に見まわれたアジア諸国の人々も、貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も大きくゆらいでいます。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようと前向きな姿勢を示しているときに、他方では、中東などの地域には戦闘の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように捉えればよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。

社会科学は、17世紀におけるイギリス資本主義経済の発展とともに芽生え、19世紀、機械制大工業の確立とともに体系的なものへと発展してきました。社会の変化とともに、社会を支配する法則の認識も発展してきたのです。

この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点をあてて、社会的諸関係を把握する方法について考えてゆきます。とくに、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および思想をとり上げ、現代的な意味について考えます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 思考する楽しみ
2. 社会科学とは何か
3. 社会の歴史的発展と社会思想
4. 社会科学の生誕：ホップスとロック
5. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
6. 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
7. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
8. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的な諸問題についても時折とり上げ、解説してみるつもりです。

履修上の留意点

講義を聴きながらノートをとるという作業を1年間続けることによって、皆さんの理解力、書写能力も飛躍的に高まります。講義には、毎回欠かさず出席することを望みます。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成してもらうことがあります。成績は、この小レポートと後期に行なわれる定期試験の点数の合計点で評価します。再試験は実施しません。

教科書

特に指定しない。

参考書等

高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）
 平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
 城塚登編著『社会思想史の構図』（八千代出版）
 大石雄爾『商品の価値と価格』（創風社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育学 〔デス・エデュケーション〕	やなぎ ぼり 柳 堀 素雅子	経A・商選	4

講義のねらい

人間の生と死の問題を多角的な方向から考察していく。その際に重要となることは、どのような視点から人間の生と死を考察していくかということである。医学的、生物学的に見た人間の生と死、文化や民族や国や宗教によって異なる死生観、環境問題と人間の関係などの問題を考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

戦争と人間の死の問題。
環境問題と人間の関係。
先端医療と人間の生と死の問題

履修上の留意点

単に知識を詰め込むだけでなく、情報を分析し、自分の見解を明確に論じることができるようになることが必要である。出席状況が悪いと講義の内容についていけないので、講義には必ず出席するように。

成績評価の方法

レポートの提出状況、出席状況などを総合的に評価する。

教科書

なし

参考書等

授業中にその都度紹介する。

その他

ビデオ、DVDも豊富に使用する。
参加人数が少なければ、討論も取り入れる予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育心理 〔大学生の心理－教育臨床心理学の立場から－〕	の なか ひろ とし 野 中 弘 敏	経A・商選	4

講義のねらい

「心の健康」なる言葉を耳にすることがありますが、人がいろいろな意味でできる限り「豊かに」生きていこうとするのはなかなか大変なことのようです。そして様々ないきさつから、人が「心のつまずき」を経験することも少なからずあるようですし、それぞれ生い立ちや出会った人々、とりまく環境も様々な人間の「心を理解する」といっても、それについてただ一つの公式があるというわけでもなさそうです。

「心理学」と一口に言っても、人間の心の作用や行動などに関して、焦点を当てる領域や研究方法はきわめて多岐にわたっています。この講義では、主に臨床心理学の立場から、「心のつまずき」に対する広い意味での「心理臨床的援助」の実際と、そのような援助の手がかりとなる基本的な考え方を紹介したいと思います。また、心理臨床的援助の実際のありようを通じて、人のこころや他者との関係の構造・成り立ち・はたらきについて、これまでの理論でどのような仮説が与えられてきたか、などをお話しできればと思います。

講義の中で紹介する理論や話題を、自分の体験や身の回りで触れる出来事などについて考えてみるきっかけに生かしてもらえたら幸いです。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下のトピックをとりあげる予定です。

- ・「心理的異常」の考え方をめぐって
- ・人間の心理－社会的発達
- ・人格の構造と機能
- ・心理臨床的アセスメント（心理検査など）
- ・心理療法の基本的考え方
- ・さまざまな心理臨床現場での実際

成績評価の方法

夏休み（前）のレポートと年度末の試験（持込不可）とを併せて考慮します。

参考書等

一読をお勧めしたい文献などは、その都度の講義の中で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物学 〔生態と進化〕	しみず 清水 よし 善和	経A・商・経B選	4

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後に連続と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を背負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この多様、複雑な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の進化、多様性、遺伝子を3つのキーワードにして、生物の分類や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟
 - (1) 生命の歴史性 (2) 遺伝子と生命現象 (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡
 - (1) 地質年代図 (2) マーグリスの共生説 (3) カンブリアの爆発 (4) 生物の上陸 (5) 大量絶滅
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない
 - (1) リンネ式分類体系 (2) 生物五界説 (3) 種の定義と属性 (4) 分子時計 (5) 動物と植物の系統
- 第4章 行動と進化－生き物は誰がために生きるか
 - (1) 動物行動学の歩み (2) 適応度とゲーム理論 (3) 性選択と性比 (4) 利他的行動と血縁淘汰 (5) 利己的遺伝子
- 第5章 生物の人口論－産めよ殖えよ地に満てよ
 - (1) 潜在的な増殖率 (2) 密度効果とr-K戦略 (3) 食う・食われるの関係 (4) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲
 - (1) 種間関係(共生と寄生) (2) 花と昆虫の共進化 (3) 菌根 (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り
 - (1) 霊長類の系統 (2) ヒトの発展段階 (3) ホミニゼーション(ヒト化) (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する
 - (1) ダーウィン以前 (2) ダーウィン進化論 (3) ネオ・ダーウィニズム (4) 進化論と宗教
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で
 - (1) 生態系(エコ・システム) (2) 食物連鎖と生物濃縮 (3) 光合成と呼吸 (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも
 - (1) 物質循環の大原則 (2) 水の循環 (3) 炭素の循環 (4) 窒素の循環 (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に
 - (1) 遷移のモデル (2) 遷移の実例 (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり
 - (1) 3つの多様性 (2) 多様性の尺度 (3) 生物地理区と植生帯 (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバリゼーション
 - (1) 里山の生物 (2) 都市化と生物 (3) 帰化種の侵入

成績評価の方法

前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。

教科書

講義内容を記述した「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。受講者は清水のHPより自由にダウンロードして利用できる。

参考書等

「web版教科書」にて章ごとに紹介する。講義で必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地球科学 〔地球の変遷・生命の進化〕	小池 敏夫 <small>こいけ としお</small>	経A・商・経B選	4

講義のねらい

地球は誕生以来、地球内部のエネルギー循環により、大規模な変動を繰り返してきたこと、それに伴う自然環境の変化と関わりながら生命は進化してきたことを学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

地球は、その深部に貯えた熱エネルギーを大規模に放出するイベントを繰り返してきた。そのため、大陸の合体・分裂や大規模な火山活動が生じ、太陽エネルギーの受容量や大気中の二酸化炭素の濃度は大きく変化、地球は全面凍結や灼熱の地獄を経験した。地球上に誕生した生命は、自然環境の大変動による大量絶滅、あるいは新しい環境への適応放散を経ながら、多様性を増してきたのである。前期は地球の変動の主役、大陸の合体・分裂とそれに関わる地質事象（日本列島の成立、火山活動、地震）を中心に、後期は生命進化と自然環境の変動との関わりについて解説、学生諸君に考察してもらう。

1. 海と陸の地質的特徴
2. 大陸移動の証明
3. 大陸の合体・分離の原動力
4. 日本列島の生い立ち
5. 地震の予知と対策
6. 地球環境の変動と生物進化
7. 分子生物学から知る生命の繋がり
8. ヒトの起源・現代人のルーツ

成績評価の方法

毎週、授業の内容に関する様々な問題について考察し、筆記してもらう。それに基づいて成績評価を行なう。

教科書

特に定めない。

参考書等

授業の中で、そのつど紹介する。

その他

配布資料に基づいて授業を進める。必要に応じ OHP などを用いる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔生命と環境〕	もちまるま 持丸真里	経A・商・経B選	4

講義のねらい

生物を中心とした自然環境の仕組みを理解した上で、現代の人間活動が生態系へもたらしている諸問題について考えることを目的とする。講義では、基礎知識として、生物の基本構造と多様性、物質及びエネルギー代謝、生態系の成り立ちなどについて解説した上で、生化学・生態学的な視点を要求される現代の諸問題について各論的に取り上げてゆく。また、これらの事例を通して、生態系の保全のためにどのような姿勢が要求されるか考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- (前期) (1)生態系の成り立ち (2)生物とは何か (3)生命の誕生と地球環境
(4)地球温暖化 (5)生態系内の物質循環 (6)生産者の働きと生態系
(7)森林破壊
- (後期) (8)生態系の浄化作用 (9)化学物質による生態系汚染
(10)ダイオキシン問題 (11)環境ホルモン (12)オゾン層破壊
(13)近代農業の問題

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に勧めて行く。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

参考書等

大石正道『入門ビジュアルエコロジー生態系と地球環境のしくみ』（日本実業出版社）
1,500円
その他、講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔変動する地球と環境〕(夏季集中)	やまもと ゆづる 山本 由弦	経A・商・経B選	4

講義のねらい

自然環境の変化を考えるためには、人類による物理的・化学的環境汚染など社会的要因によるものと、地震や火山活動に代表される自然的要因をあわせて考えることが必要とされる。本講義では、後者の自然的要因に焦点を絞り、これらの諸現象とその地球科学的背景についての理解を深めることをねらいとしている。特に日本列島がプレートテクトニクスなど地球科学体系の中でどういった位置にあるのかを理解することを最初期の目的とし、最新の研究成果を紹介しながら災害や自然環境変化の要因を考える。また、日本列島とは異なった地球科学的背景が見られる世界各地の例も一部紹介する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 地球の構造と日本列島の地球科学的な位置
2. 日本を構成するもの－付加体・衝突帯・火山列
3. 地震と断層
4. 斜面崩壊と液状化
5. 日本の地球科学的環境－関東周辺・南九州
6. 世界の地球科学的環境－大陸：米国・アジア 造山帯：米国・英国

成績評価の方法

出席およびレポート

教科書

使用しない

参考書等

講義の中で紹介

その他

液晶プロジェクターもしくはOHPを使用
授業日程

前半		1	2	3	4	5	後半		1	2	3	4	5
7月29日	金	○	○	○	○	○	8月29日	月	△	△	△	△	△
8月1日	月	○	○	○	○	○	8月30日	火					
8月2日	火	○	○	○	○	○	8月31日	水					
8月3日	水	○	○	○	○	○	9月1日	木					
8月4日	木	○	○	○	○	○	9月2日	金					
8月5日	金	○	○	○	○	○	9月5日	月	△	△	△	△	△

(△は予備日)

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然誌 〔現代の自然像〕	清水 善和・篠原 正雄 持丸 真里	経A・商選	4

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここにいるのか？ 大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは、我々を取り巻く自然環境が100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえのないものであることを語っている。一方で、科学技術の発展は、このかけがえのない自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえない。社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。本講義では自然科学教室の専門を異にする3名の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラル・ヒストリー（博物学、自然誌）の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向けいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員3人により、1人8回程度の輪講形式で行われる。宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄

- (1) 宇宙の起源（自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源）
- (2) 星の進化と物質の進化（星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域）
- (3) 太陽系と地球の起源（太陽系起源仮説、牡牛座T型星、宇宙の有機化合物）
- (4) 太陽と地球の進化（地球の核の形成、大気と海の起源、太陽の進化と地球環境）
- (5) 宇宙の中の地球（太陽放射の変動、地球軌道の変化、隕石、銀河系）

第2講 生命の起源と進化 清水善和

- (1) 生命の起源（生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説）
- (2) 生物の進化と進化論（生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論）
- (3) 人類の進化（霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニゼーション）
- (4) 生物の多様性（分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布）

第3講 産業の発達と環境の変化 持丸真里

- (1) 人口増加とエネルギー消費の歴史
- (2) エネルギー消費と「豊かさ」
- (3) 化石燃料の化学
- (4) 大気環境の変化（古典的大気汚染からグローバルな環境問題へ）
- (5) 未来へ向けて－石油代替エネルギーの開発とその評価

履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、教員ごとに計3回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

成績評価の方法

各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に3人の採点を合算して成績評価とする。追再試験は行わないので、教員ごとの指示に従ってそのつど評価を受けること。

教科書

特になし。

参考書等

各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (1) 〔微積分学入門〕	小沢 誠 <small>おざわ まこと</small>	経A・商選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである微積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、直線と2次曲線・三角関数・指数関数と対数関数を学び、それらの導関数を求める。また、基本的な関数の微分が出来るようにする。後期に、平均値の定理とマクローリン展開・関数の増減とグラフの凹凸・偏微分と極値、不定積分・置換積分と部分積分・定積分と面積を学ぶ。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

石村園子『やさしく学べる基礎数学—線形代数・微分積分』(共立出版) 2,100円(税込)

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (2) 〔線形代数学入門〕	小沢 誠 <small>おざわ まこと</small>	経A・商選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである線形代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、平面と空間のベクトル・行列・行列の基本変形・連立1次方程式の解・逆行列の求め方を学ぶ。後期に、行列式の定義・行列式の性質・クラメル公式・ベクトル空間と1次変換・固有値と固有ベクトルを扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

石村園子『やさしく学べる基礎数学—線形代数・微分積分』(共立出版) 2,100円(税込)

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (3) 〔現代数学入門〕	福 田 賢 一 <small>ふく だ けん いち</small>	経A・商選	4

講義のねらい

現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない数理的抽象化を計り、実践な応用力の養成を目指す。
本年度は情報環境への理解を深めるため、基礎情報理論・情報数理分野を充実させる。また、時間が許せば、経済工学・金融工学の基礎もともに学びたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期： 論理の基礎と言語、情報理論の数理と論理、論理設計、情報機器の理解、コンピュータ・携帯電話、通信機器の理解と数理、線型代数とその応用、
後期： 線型計画法、確率現象と社会現象、微積分とその応用、数値解析とその応用、交通・運輸の数理、経営の数理

履修上の留意点

予備知識は特に必要としない。高校数学の基礎的な知識があれば十分理解できる。しかし、数学は系統性の強い分野であるから、基本的な定義、性質を明確にする必要がある。また、社会・経済現象に対する認識を深める必要もある。

成績評価の方法

前後期試験結果を中心に、レポート、出欠状況を加味し、総合的に判断する。

教科書

使用しない。教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。

参考書等

必要となり次第指示する。配布する教材、資料等に提示する。

その他

教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。再配布ができない事もあるので注意。講義に対する要望、質問等は積極的に行うこと。疑問点、理解不十分なところを放置しないように努める事。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報数学 〔情報と論理〕	坂野井 和 代 <small>さかの い かず よ</small>	経A・商・経B選	4

講義のねらい

情報処理・情報科学等で使用する基礎的な数学について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、記数法など基礎的な数学知識について学んだ後、情報処理において必要となる概念である集合と論理、確率と統計について学ぶ。後期は、主に形式言語理論の基礎について学ぶ。

履修上の留意点

予備知識・教科書は特に必要とせず、その都度、資料配付や説明を行う。ただし、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

野々山隆幸監修、石原光／小堆光喜共著『入門 情報処理数学』（実教出版）2,200円
J. ホップクロフト、R. モトワニ、J. ウルマン共著、野崎昭弘、高橋正子、町田元、山崎秀記共訳『オートマトン 言語理論 計算論 I [第2版]』（サイエンス社）2,800円
ISBN4-7819-1027-0

科目名	担当者名	配当学科	単位
物理学 〔光と物質〕	篠原まさお のほらま 正雄	経A・商選	4

講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光などの電磁波を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取ります。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきました。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げます。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及びます。

講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理学的な目で世界を見ることを体験していただくことです。数式は物理学に不可欠な言葉ですが、数式により表現された物理的な意味の方が大切です。数式の使用は極力避け、用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するので、数学的な予備知識はいりません。

講義の内容・授業スケジュール

次のような項目について講義します。

波としての光

光線 影 鏡 屈折 蜃気楼 透明人間
光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色

電磁波としての光

電気と磁気 電磁波 光の速度と電磁気学 電波望遠鏡 電子レンジ
色即是波長？ 虹の七色 vs 三原色 茶色い光の波長？ X線とガンマ線
光子 熱と光 星の色 人の光 原子構造と光 光波は粒子・電子は波

光と宇宙

光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

履修上の留意点

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

学年末に実施する簡単な期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となります。しかし、期末試験の比重は10%程度です。数回のテストを含む平常点を中心に評価します。

教科書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）1,800円

参考書等

本間三郎・山田作衛著『電気の謎をさぐる』（岩波新書）563円
その他、講義の中で適宜紹介します。

その他

理解を深めるためにほぼ毎回問題を考えてもらいます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
化学 〔衣食住の化学〕	もち丸真里 持丸真里	経A・商選	4

講義のねらい

現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。講義では、はじめに、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学及び生化学の基礎について解説する。その後、衣食住の化学として、各論の解説を行う予定である。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1) 有機化学・生化学の導入 (2) 物質の成り立ち (3) 水の性質 (4) 有機化学の基礎 (5) 合成繊維 (6) 染料 (7) 合成洗剤と水質汚濁
後期 (8) タンパク質 (9) 遺伝子 (10) 遺伝子情報の社会への影響 (11) 遺伝子組み換え食品 (12) 食品の安全性 (13) 住環境の化学物質汚染

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に進めていく。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宇宙科学 〔星と銀河〕	しのはらまさお 篠原正雄	経A・商選	4

講義のねらい

現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介します。
観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展しています。星と銀河についての知識のほとんどは20世紀になって明らかにされました。前世紀の成果をふり返り、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進めます。宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は恒星をとりあげます。
太陽： 構造 エネルギー源
恒星： 研究の手法 恒星の分類 恒星の進化 太陽系の起源
後期は銀河をとりあげます。
銀河系： 星団 星雲 恒星の運動 星生成領域
銀河： 銀河の距離 分類 銀河団 宇宙の大規模構造
宇宙： 宇宙膨張 ビッグ・バン

履修上の留意点

この講義は毎回完結の物語ではありません。前の講義で学んだことを前提として進めます。欠席したときは自分の責任で補っておかないとついていけなくなります。

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教科書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』(地人書館) 1,800円

その他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する予定です。
なお、履修者数によっては、シラバス通りの講義の実施が物理的に不可能になることもあり得ます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (1)(4)(6)(9)(10) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	お ざわ まこと 小 沢 誠	経A・商選	2

- 講義のねらい** ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語であるHTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みのCSS (Cascading Style Sheet)、作成したHTML・CSSファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。
- 講義の内容・授業スケジュール** まず前半部分にHTML、後半部分にCSSの基礎を学びます。HTMLでは基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTMLが一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTPのやり方を説明します。
- 履修上の留意点** パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。
この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。
- 成績評価の方法** レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。
- 教 科 書** <http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> のHTMLとCSSを教科書として使用します。
- 参 考 書 等** 『改訂第4版オールカラーHTMLポケットリファレンス』(株)シーズ著 定価1,659円
- そ の 他** <http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/>等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも重要です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (2)(7) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	やま もと ひろ のぶ 山 本 博 信	経A・商選	2

講義のねらい

この授業では、コンピュータの基本的な操作方法だけではなく、インターネットやワープロソフト、その他のアプリケーションの利用法を理解し、レポートや論文の作成、および、データ処理などの基礎を学習することを目的とします。そのため、パソコンの操作だけでなく、練習問題や演習問題などを含みます。

前期では、特にキータッチの基本、ワープロソフトによる文書作成・編集・印刷、電子メールやWWWブラウザの基本を取り上げます。これらのアプリケーションソフトを活用しながら、基本ソフトを操作すれば、Windowsデスクトップを作業場とみなすことができるようになります。後期には特に文書によるコミュニケーションおよび表計算ソフトを学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1・2) 基本ソフトの基礎
- (3・4) キータッチの基本
- (5) ActiveMailを用いたメールの操作、パスワードの変更、日本語入力・メールの送受信
- (6～7) ワープロソフトと日本語変換
- (8～10) ワープロソフトによる文書作成・保存・印刷
- (11～12) WWWブラウザを用いたホームページの閲覧、レポート作成
- (13) 総合演習

履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとします。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となります。

成績評価の方法

評価は、(1)出席状況、(2)授業期間中に適宜行う演習やレポート(成果物)、(3)授業の最終回で行う実技試験および筆記試験を総合的に評価します。

教科書

未定(毎回、プリントを配布します。)

参考書等

参考書は必要に応じて紹介します。

その他

実習が多いために、計算機室で講義を行います。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもあります。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (3)(8) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	小川健次郎 <small>おがわ けんじろう</small>	経A・商選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて紹介する。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎(5) 〔コンピュータの実際〕 (前期)	さわ ぐち たかし 澤 口 隆	経A・商選	2

講義のねらい

DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用した CAD イメージ、映画などで用いられるリアルな CG 映像や、インターネットブラウザ上での FLASH アニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理や CG でのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CG の基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OS は Windows を用い、アプリケーションは Adobe Photoshop および Adobe Illustrator を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。

Web サイトを構築する上でのデザイン手法や HTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

初心者を対象とするので予備知識は必要としない。最低限、Windows の基本操作はマスターしているほうが望ましい。授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(11) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	もと き みつ お 元 木 光 雄	経A・商選	2

講義のねらい

コンピュータの原理とインターネットの原理や原則を学ぶ。特に、インターネットで実現されている様々なサービスを実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータの動作原理、特にOSの役割やファイルシステムについて学ぶ。また、多数のコンピュータがネットワークで相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上でどのようなサービスが利用できるのか、実際のサービスを利用しながら理解する。具体的には、インターネット上のサービスとして、電子メール、WWWなどのサービスをとりあげ、実習の形で利用する。このようなサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄も、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となるので、必ず事前に総合情報センターで利用申請をして電子メールのアドレスを取得しておくこと。取得していない場合、単位取得に支障がある可能性がある。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う予定である。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて紹介する予定である。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程
コンピュータ基礎(11)

前半						後半							
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
7月29日	金	○	○	○			8月29日	月					
8月1日	月	○	○	○			8月30日	火					
8月2日	火	○	○	○			8月31日	水					
8月3日	水	△	△	△			9月1日	木					
8月4日	木	○	○	○			9月2日	金					
8月5日	金	○	○	○			9月5日	月					

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎(12) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	さかのい かず 坂野井 和 代	経A・商選	2

講義のねらい

コンピュータの基礎的な操作方法、およびインターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータの基礎的な操作方法を学んだ後、多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。具体的に電子メールやwwwなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってよいのか、何をやってはいけないのか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。夏季集中の授業なので、就職活動や教育実習などで1回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は授業中にも使用するため、必ず携帯すること。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎(12)

前半									後半								
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6				
7月29日	金			○	○	○	8月29日	月									
8月1日	月			○	○	○	8月30日	火									
8月2日	火			○	○	○	8月31日	水									
8月3日	水			○	○	○	9月1日	木									
8月4日	木			○	○	○	9月2日	金									
8月5日	金			△	△	△	9月5日	月									

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (13)(17) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	やま もと ひろ のぶ 山 本 博 信	経A・商選	2

講義のねらい

コンピュータを道具として、書き方、描き方を実習を通じて技術として把握します。コンピュータは、文字や画像をデジタル化して処理します。コンピュータによる情報処理によって、表現がどのように把握されるかについて理解します。言語のレベルにありながら画像に属するものとしての技法についてパソコンを道具として身につけます。

講義の内容・授業スケジュール

パソコンなどの情報機器やいろいろなソフトウェアが、企業をはじめ一般社会でも急速に普及しています。日常生活でも、パソコンなどに接する機会が増えてきました。パソコンの高性能化やLANの普及によって、ユーザは自分たちで情報を収集して発信することができるようになりました。パソコンでどのようにして画像などを作成してWebページを作成するかについて理解します。すなわち、アプリケーションソフトの活用を、縦軸を現場(業務)ごとの特質とし、横軸をファイル形式などの基礎をみながら行います。表現能力はパソコンを活用する上でとても大事なものです。ここでは特に描き方(ビジュアル表現)についてペイント系グラフィックソフトやドロー系グラフィックソフトなどを活用しながら理解します。

- (1) コンピュータによる情報処理について
- (2) 表計算ソフトの基礎、応用
 - ・計算の自動化・運用とセキュリティ・マクロの作成など
- (3) グラフィックデータの作成
- (4) 画像効果の作成
 - ・トリミング・切抜き・明るさや色の調整など
- (5) 最適化処理
- (6) HTML ファイルの作成
- (7) ブラウザによる確認

履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習は必ず解いているものとします。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となります。

成績評価の方法

出席状況、授業期間中に適宜行う演習や最終日に実施する確認試験によって総合的に評価します。

教科書

未定(毎回、プリントを配布します。)

参考書等

参考書は必要に応じて紹介します。

その他

実習の閉める割合が高いために、計算機室で講義を行います。コンピュータの数に限りがあるので受講生数を制限することもあります。

授業日程
コンピュータ基礎(13)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
7月29日 金	△						8月29日 月						
8月1日 月	○	○	○				8月30日 火						
8月2日 火	○	○	○				8月31日 水						
8月3日 水	○	○	○				9月1日 木						
8月4日 木	○	○	○				9月2日 金						
8月5日 金	○	○	○				9月5日 月						

△は予備日

コンピュータ基礎(17)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
7月29日	金							8月29日	月	○	○	○			
8月1日	月							8月30日	火	○	○	○			
8月2日	火							8月31日	水	○	○	○			
8月3日	水							9月1日	木	○	○	○			
8月4日	木							9月2日	金	○	○	○			
8月5日	金							9月5日	月	△					

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎(14) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	なが さか ひろ かつみ 長 坂 浩 史	経A・商選	2

講義のねらい

初心者を対象にして、コンピュータの概要の把握と一通りの基本的な操作能力の習得を目標とする。また、Web ページ作成の基本を学び、それによってインターネットを利用した情報収集・発信の実習をする。

講義の内容・授業スケジュール

情報教育センターのパソコン (OSはWindows) を使用し、実習を行う。ワープロソフトによる文章加工、Excelによる表計算・データ処理、インターネット上のサービス利用(電子メール、WWW) 等を一通り体験したあと、これらを総合した簡単な資料の作成をしてもらう。この資料はWeb ページの体裁で作成してもらうので、HTMLの入門等、Web ページ作成のための基本も学ぶことになる。

履修上の留意点

初心者を対象としていることに注意。
予備知識は仮定しないが、短期集中講義なので毎回出席し、課題は必ず提出すること。
また授業開始前に情報センターの利用登録をしておくこと。(課題は基本的にファイルの形で提出してもらうが、各自バックアップ用の領域を持っていたほしい。そうでなければ、初日・2日目はフロッピーディスクを持参すること。)

成績評価の方法

課題に対する提出物によって判断する。
実習という授業の性質上、毎日の基本課題をクリアしていれば、概ね厳しい評定はつかないと思っていよい。

教科書

使用しない。適宜、簡単な資料を配布する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎(14)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
7月29日	金	○	○	○				8月29日	月						
8月1日	月	○	○	○				8月30日	火						
8月2日	火	○	○	○				8月31日	水						
8月3日	水	○	○	○				9月1日	木						
8月4日	木	○	○	○				9月2日	金						
8月5日	金	△	△	△				9月5日	月						

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (15)(16)(18) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	小川 健次郎 <small>おがわ けんじろう</small>	経A・商選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。夏季集中の授業なので、就職活動などで1度でも休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。必ず事前に総合情報センターで利用申請しておくこと。

なお、本講義はコンピュータ初心者対象である。

成績評価の方法

評価は授業時間中に行う演習やレポートによって行う。

教科書

必要に応じて適宜指定する予定である。

参考書等

必要に応じて紹介する予定である。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎 (15)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
7月29日	金	○	○	○				8月29日	月						
8月1日	月	○	○	○				8月30日	火						
8月2日	火	○	○	○				8月31日	水						
8月3日	水	○	○	○				9月1日	木						
8月4日	木	○	○	○				9月2日	金						
8月5日	金	△	△	△				9月5日	月						

△は予備日

コンピュータ基礎 (16)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
7月29日	金				○	○	○	8月29日	月						
8月1日	月				○	○	○	8月30日	火						
8月2日	火				○	○	○	8月31日	水						
8月3日	水				○	○	○	9月1日	木						
8月4日	木				○	○	○	9月2日	金						
8月5日	金				△	△	△	9月5日	月						

△は予備日

コンピュータ基礎 (18)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
7月29日	金							8月29日	月	○	○	○			
8月1日	月							8月30日	火	○	○	○			
8月2日	火							8月31日	水	○	○	○			
8月3日	水							9月1日	木	○	○	○			
8月4日	木							9月2日	金	○	○	○			
8月5日	金							9月5日	月	△	△	△			

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (19)(20) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	さかのい かず 坂野井 和 代	経A・商選	2

講義のねらい

コンピュータの基礎的な操作方法、およびインターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータの基礎的な操作方法を学んだ後、多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。具体的に電子メールやwwwなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。夏季集中の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は授業中にも使用するため、必ず携帯すること。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ応用 (1)(2) 〔コンピュータの原理〕	さかのい かずよ 坂野井 和代	経A・商選	4

講義のねらい

コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また、これらのプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

まず初めに、コンピュータの動作原理およびプログラミングについて簡単に学ぶ。その後、Visual Basic という言語を使ってプログラミングの基礎を学ぶ。さらにいくつかの問題に対して、実際にプログラムを作成する。最後に、このようなプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを実習により確かめる。

履修上の留意点

プログラミングに対する予備知識は必要としない。しかし必要最低限のコンピュータの操作（ウィンドウ操作、電子メール、wwwの利用など）はマスターしていること。またプログラムの比較の部分で、数学に関する知識（関数 log など）が多少必要となる。講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

山本信雄著『Visual Basic Vol.1 はじめてのプログラミング』（翔泳社）1,900円
ISBN4-88135-718-2

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人類学 (1)(2) 〔人類の進化〕	しのだ けんいち 篠田 謙一	経A・商選	4

講義のねらい

人類学はひとことで言えば「人間の生物学」ということですが、その包含する分野は漠然としていて、簡単に捉えることは難しいものです。本講義では、現在「人類学」の名の下に行われている具体的な研究内容を紹介し、人類学とはどのような学問であるのかを理解することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容をそれぞれ1回ないし2回で講義します。前期は基本的には人類の進化を、後期は日本人の起源を中心とした話になります。
「人類学の歴史と包括する分野」「霊長類学」「化石人類の発見史」「霊長類の進化と猿人」「原人から新人への進化」「現代人の起源」「分子人類学」「日本人の起源」「歴史時代における日本人の変化」「成長」「新大陸の人類学」

履修上の留意点

出席を重視しますので、講義に参加できることを前提に履修してください。

成績評価の方法

毎回、課題もしくは小試験を行い、その成績を総合して評価します。

教科書

R. ルーウィン著、保志 宏訳『ここまでわかった人類の起源と進化』（てらべいあ）
3,200円 ISBN：4-88699-013-4

参考書等

特に指定しませんが講義の中で紹介します。

その他

本講義では、単に講師の話聞くだけでなく、皆さんに考えて頂くような講義をしたいと思っていますので、主体的に参加していただくことを望みます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔ヒューマン・ウォッチング〕	加藤博己 <small>かとうひろき</small>	経A・商・経B選	4

講義のねらい

この講義では、哲学から独立し、120有余年の学問的背景を有する心理学の歴史と研究法の概略を知るとともに、人間観察・理解に重点を置きつつ、記憶、学習、性格、情動、動機づけ、発達、認知、社会、臨床等の基礎分野を概観し、心理学の基礎知識の習得を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

(可能な限り半期ごとに纏まりとなるように計画、1回ないし2回毎の小項目を記載)
前期：記憶、学習、性格、情動、動機づけ
後期：発達、認知、社会、臨床、心理学基礎論

履修上の留意点

本授業は講義形式なので、一方通行の講義とならないよう、毎授業において、意見を求めるとともに、前回の講義の理解度を確かめるための小ワークを行う予定である。従って、単に授業に出席しているだけでは、単位取得は困難となるかも知れない。

成績評価の方法

定期試験期間内に、筆記試験を行う予定である。詳細は、初回のオリエンテーション授業で述べる。

教科書

中村昭之（編）『心理学概説』（八千代出版）1,835円（本体1,748円＋税）ISBN 4 - 84290 - 890 - 4

参考書等

随時紹介する。

その他

年間を通して、数回の簡単な実験や心理検査を行う予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心 理 学 〔心を科学する〕(夏季集中)	ほり うち まさ ひこ 堀 内 正 彦	経A・商・経B選	4

講義のねらい

人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、そればかりではなく、人間が一般的にもつ特性を知ることを含む。例えば、物の見え方や判断の仕方などのような様々な場面で何気なく行っている活動全般について理解するということである。

講義の内容・授業スケジュール

心理学の概略、行動の基本様式、感覚・知覚、記憶、学習、思考、発達、社会的行動などについて講義する予定である。

履修上の留意点

この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいふべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。なお、その他の細かい点については以下の通りである。

- (1) 私語は厳禁である。
- (2) 講義中に分からないことがあった場合には、講義をさげざって質問してもよい。また、E-mailでの質問も受け付ける。
- (3) 1回の講義において2回目以降に私語を中止された学生は、その講義に限り退場とする。

成績評価の方法

試験の結果を重視する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

講義の中で紹介する。

そ の 他

授業日程

前半						後半					
	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
7月29日	金	○	○	○	○	8月29日	月	△	△		
8月1日	月	○	○	○	○	8月30日	火				
8月2日	火	○	○	○	○	8月31日	水				
8月3日	水	○	○	○	○	9月1日	木				
8月4日	木	○	○	○	○	9月2日	金				
8月5日	金	○	○	○	○	9月5日	月				

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合 I (1) 〔仏教と自然〕	よつや こう どう 四津谷 孝 道	経 A・商選	4

講義のねらい

「エコロジー」というものが、大きな社会的な且つ学問的な課題になって久しいが、仏教学の分野においても「エコロジー」との関連ですでに多くの研究が蓄積されつつある。本講座では、それらの研究を参照しながら、いくつかの具体的テーマに焦点をしばって、仏教と自然に関する検討を進めてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、本講座において扱うところの「仏教」並びに「自然」というものについて明確な説明を加える。それを前提にして、「肉食」というテーマを、仏教思想を包括する意味でのインド思想全体の関連の中で検討する。

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

特になし。必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。

参考書等

特になし。必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合 I (2) 〔仏教と社会〕	くま ちと えい にん 熊 本 英 人	経 A・商選	4

講義のねらい

日本の社会の諸問題を、仏教とのかかわりから考える。

講義の内容・授業スケジュール

社会とは、人間の言語、慣習、規範、制度などによって規定された世界であり、人間は、その社会のあり方を思索し、理想的な社会の実現に努力している。
仏教は、社会とどのようにかかわり、影響を与え、あるいは運動を起こしてきたか。生死、人権、女性、家族、平和といったキーワードから、仏教の立場、仏教の功罪、仏教への期待などをみていくことで、現代社会への問題提起を行いたい。

成績評価の方法

適宜レポートを課す。年度末の筆記試験と合わせて評価する。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総 合 II (2) [自然観察入門富浦を めぐる人と自然]	し みず 清水 よしかず 善和 お ざわ 小沢 まこと 誠 お だか 小高 しやういち 昭一 しのはら 篠原 まさお 正雄 はしづめ 橋詰 なれみち 直道 ちかまる 持丸 ま り 真里 やなぎさわ 柳澤 のりお 紀夫	経 A・商選	4

講義のねらい

教場での通常の講義では、自然の現物を示せないもどかしさがある。自然を理解するためには、自然を観察し、データをとり、解析し、結果を出すという科学的な研究手法の一部を実体験することが重要だからである。一方、我々の身近に接する自然は、生の自然ではなく、人間の営みの内にある自然である。ある地域の自然を理解するためには、自然をめぐる歴史的、地理的な背景を知る必要がある。本科目では、前期半期で植物、鳥類、地形・地質、天体、環境などの観察やデータ処理の方法を紹介し、一部の講義では駒沢公園を利用した実習を行う。また、夏休み中に千葉県富浦町にある駒澤大学富浦セミナーハウスにて、泊まり込みの集中講義と野外実習を行い、富浦周辺の自然をトータルに理解することを試みる。夜には天体観測の実習も行う。これらの講義や実習を通して、自然の見方、自然科学的な考え方を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

次のような内容で前期の講義と富浦での実習を行う。内容に応じて、合計8名の教員が交代しながら講義と実習を担当する。
 前期半期：本校での講義（一部実習を含む）
 (1) ガイダンス (2) 自然観察の方法 (3) 植物の観察1 (4) 植物の観察2 (5) パードウォッチングの方法 (6) パードウォッチングの実習 (7) 化学的な見方1 (8) 化学的な見方2 (8) 地球科学的な見方1 (10) 地球科学的な見方2 (11) 天体観測の方法1 (12) 天体観測の方法2 (13) 富浦実習に向けて
 富浦での講義と実習：7月17日(日)午後-7月21日(木)午前(4泊5日)
 午前の講義、午後の野外実習、夜の天体観測など。

履修上の留意点

前期半期の講義と夏休みの実習の両者を合わせて単位を認定するので、富浦の実習に参加できない人は履修できない。前期の講義に毎回欠かさず出席し、夏休みの実習に参加する人のみ履修すること。採点の都合上、本科目を9月卒業のための単位に加えることはできないので注意すること。富浦への旅費とセミナーハウスの宿泊費は学生の自己負担とする(予約の都合上、宿泊費1万6千円を4月中に徴収する)。実習を伴う科目の性格上、履修人数の上限を30名とする。4月の初回講義で詳しいガイダンスを行い、履修希望者が定員を越える場合には、その場で抽選を行うので、履修希望者は必ず初回の講義に出席すること。

成績評価の方法

合計7名の教員が分担して講義と実習を行うので、各分担者が適宜、レポート、小テストなどを課して評価を行う。また、富浦の実習については、現地での実習をふまえた総合的なレポートを課す。以上の評価と講義・実習の出席点とを総合して最終的な成績の判定を行う。なお、科目の性格上、追試、再試は行わない。

教科書

特になし。

参考書等

各担当教員が必要に応じて紹介する。

その他

抽選の可能性があるので、履修希望者は必ず初回の講義に出席すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ (1) 〔人権と社会問題〕	ピアス, D.M.	経A・商選	4

講義のねらい

This being the most advanced English course available, its first intention is to prepare for studying abroad. Students will get a partial experience of what it is like to take a university-level course in a foreign country, and thereby have more success from studying abroad. Students will not study English; they will study something *in* English. Lectures, compositions, and conversation practice will concentrate on international social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Alternatively, programs in the history of economic and political thought, and in American sociology, may be used as lecture material.

Elementary level English conversation will not be taught, but there will be intensive practice every period in spoken English on, quotidian, opinion exchange, and intellectual levels. Emphasis is placed on learning to converse *intelligently*, that is, to communicate thought in spoken language. Time will be devoted to English composition and to listening comprehension practice.

The format of the course is not based fundamentally upon the lecture series; during most of the class time students will be actively producing, in writing and speaking.

講義の内容・授業スケジュール

Attendance and active participation are most important; only practice improves English. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

履修上の留意点

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; all examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade is the quality of the employment that you can find after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time. Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for intellectual English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A", in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A" because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *Rights*. Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or an electronic dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅲ (2) 〔欧米の教育と日本の教育〕	おが ぎき としちろう 岡 崎 寿一郎	経 A・商選	4

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのバカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ 〔女性学・男性学〕	すぎやま ひでこ 杉山 秀子	経A・商選	4

講義のねらい

まず本講座では、日常生活において男女の意識や役割の区分が長い年月をかけて文化的につくられてきたことの歴史的経過を理解し、ジェンダー（社会的、文化的性差）の概念を正しく把握することにより、ジェンダーの視点から、社会的人間関係や、社会構造について新たな考察を展開したい。そもそも女性学とはこれまで男性中心に出来上がっている社会を女性の視点から新たに洗い直し、批判的に分析するための学問として成立した。従って女性学の主要な課題は男性によってこれまでつくりあげられたバイアス志向（男の視点によるものの方の偏向性）による既成の社会や、政治、経済の仕組みや、道徳観、思考などにメスをいれ、批判的に解剖することであった。女性学のこの華々しい出現に対して、男性達も男性優位の社会のなかで必ずしもそれが自分達にとって都合のよいことではないということ、男性中心社会が、女性にとっても快適な社会でないのと同様に男性にとっても居心地がよくないということが、男性自身にも近年ようやく気づきはじめられてきた。現在日本でも遅ればせながら、男性社会を男性の目でもう一度読み直そうとする男性学研究の気運が年々高まってきているのである。本講座ではこれらの最新の情報を踏まえながら、女性学、男性学の基礎を学んでいきたい。

授業のやり方としては、以下の項目の問題点をまず教員が基本的に提議、説明し、そのあと具体的な問題点を各人にディベートしてもらい、問題の所在を明らかにする事により、お互いに切磋琢磨し、意識を高めあいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 女性学、男性学とはなにか？
- 2) 性差とはなにか？
- 3) 男らしさ、女らしさとはなにか？
- 4) 性のダブル・スタンダード
- 5) 性の商品化
- 6) セクシュアル・ハラスメント
- 7) ジェンダー・ハラスメント
- 8) ジェンダー・トラブル
- 9) 家庭と性別役割分担
- 10) 現代日本の家族が抱える諸問題……非婚化、夫婦別姓、出生率低下と高齢社会
- 11) 労働とジェンダー
- 12) まとめ

成績評価の方法

授業中に何回かにわけて小論文を書いてもらい、提出する。
また年一回課題を出し、レポートを提出する。

教科書

プリントその他を必要におうじて配布する。
場合によってはビデオ、映画などを見る。

参考書等

参考書はその都度列挙する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ 〔現代アメリカ事情〕	はやしあきと 林 明人	経A・商選	4

講義の内容・授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード（abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill等）を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

成績評価の方法

前・後期のレポート、出席の総合評価。

教科書

プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ (2) 〔シアトル市のNPOとまちづくり〕	にしむらゆうこ 西村祐子	経A・商選	4

講義のねらい

アメリカのNPO、NGO（非営利組織）は日本に比べ、非常にアクティブであるといわれる。前期はまちづくり（コミュニティビルディング）において市民と自治体の協働が盛んなワシントン州、シアトル市のNPOのいくつかをとりあげてみる。前期のシアトルに続き、後期はアメリカと日本の比較に移る。主に日本におけるまちづくりとNPOのあり方を比較し、日米のまちづくり政策や移民政策などと深くかかわるNPOの役割を考えてみる。

講義の内容・授業スケジュール

授業は通年で以下のようなテーマを中心におこなわれる。
 前期：アメリカの非営利組織と日本の非営利組織との違い
 コミュニティ・ビルディングとNPO
 シアトルのまちづくり
 シアトル・アジア系住民のまちづくりとNPO
 アメリカにおける移民とNPO
 自治体とNPOの協働について
 後期：日本のまちづくりとシアトルのまちづくりの比較
 日本のまちづくり政策とNPO
 世田谷区のまちづくりとNPO
 まちづくり協議会とNPO
 兵庫県・神戸市と神奈川県・横浜市におけるまちづくりとNPO
 日本における移民政策とNPO

履修上の留意点

マルチメディア教場で講義をおこない、インターネットやビデオなどを毎回使う。受講人数は50名に限定。授業でコンピュータにアクセスするためにコンピュータ用IDを必ず取得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席率、レポート内容）重視。

教科書

『草の根NPOのまちづくり：シアトルからの挑戦』勁草（けいそう）書房

参考書等

教場にて指定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ (3) 〔ポスト・モダンの世界〕	まるこてつお 丸小哲雄	経A・商選	4

講義のねらい

近代思想批判としてのポストモダンの世界を分析して、合理化と絶対世界に対する相対化と主体化の問題を取り上げて、それを乗り越えるための方法を見出すように講義します。

講義の内容・授業スケジュール

モダニズムからポストモダニズムへの移行過程における問題を扱う。たとえば、近代の啓蒙思想の問題、合理性の問題、理性の暴力（排除されたもの）、相対化の問題、狂気の問題、建築・モード（ファッション）・エロス、携帯電話といったヴィジュアル系文化の問題、そして主体化過程を講義していきます。

履修上の留意点

私語厳禁

成績評価の方法

配布されたリーディング・リストに基づいて前期と後期にそれぞれテキストを読み、レポートを作成し提出する。最後にタームペーパーにまとめて、「ポストモダンにおける〈主体性〉のあり方」という表題でレポートを提出すること。なお出席を重視します。

教科書

読書リスト配布
プリント配布

参考書等

リーディング・リスト配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合 V (1) 〔イギリス文化探訪〕	かわ また ようたろう 川 股 陽太郎	経 A・商選	4

講義のねらい

ある民族の文化、ある国の文化を理解するのはそうたやすいことではない。わたし達がわたし達の文化をどれほど知っているかを考えてみると、はなはだ心もとない思いを抱くことを考えれば容易に察しがつくであろう。ここでは「イギリスとはイギリス人とはなんであろう」ということを、ごく限られた時間で、しかし出来る限り様々な視点から見たいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

現代のイギリス人およびイギリスの文化を、現代から過去へ、過去から現代へ行きつ戻りつしながら、「イギリス」というものを文化的側面から眺めてみたい。一つの文化を理解しようとするとき、言語・風俗・習慣はもちろんのこと、政治・経済・文化を切り離して考えることはできない。それゆえ、原則として、たえず現代と関連させながら、様々な角度から「イギリス」というものを考察してみたい。

例えば、「イギリス」というものを、「地理的な面」と「人種的な面」から眺めてみるとしよう。イングランド地方・スコットランド地方・ウェールズ地方・コーンウォール地方という地理的側面と、イングランド人・スコットランド人・ウェールズ人・コーンウォール人という人種的側面から理解して見るのも一つのやり方である。一人の人間がどの部族に属するのか、どの人種に属するのかを決めるのは、土地と無縁ではありえないし、その地域の文化（言語、風俗、習慣）と無縁ではあり得ない。しかし、「血」もさることながら、それを決定するのはその人の「所属意識」である。

ビクトルおよびケルトの時代、キリスト教の普及、アングロ・サクソン人およびヴァイキングの侵入、ノルマン人のイングランド征服等、また封建社会の特異性と其の崩壊過程、大英帝国の出現、産業革命、中産階級の出現等をテーマ別にみながら、今日のイギリスおよびイギリス人が持つ多様性を理解するように努める。

また、一つの文化を理解しようとするとき、同じテーマで比較・検討することによって、よりいっそう明確にその認識を深めることが可能となる。それは、自分の所属する社会形態と、ある社会が有する社会形態を比較することによって、それぞれの文化が持つ特性をよりいっそう明確に認識するようになるということである。

善し悪しは別にして、「日本の常識は世界の非常識」であることが多いことも事実である。これは己と他を比較して初めて認識できるものである。いわゆる「国際化」の時代にあって最も大切なことの一つは、己と他の違いを認識し、理解し、尊重できるように常に自己を訓練しておくことである。そのためにも自国の文化はいわずもがな、他国の文化を理解することが肝要である。

偽政者と都市計画、町並みと生活権、古代ローマと今日の道路・交通機関、大学の置かれている現状等々、比べてみると面白い。

履修上の留意点

イギリスの文化を含め、「文化」そのものに興味がある学生を、特に「文明」と「文化」に関心のある学生を歓迎する。

成績評価の方法

レポートによる。レポートはレポート用紙10枚程度のものを、12月末迄に提出。「引用文」には注（書名と頁数）を付し、参考文献名を記入すること。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じ講義のレジメ、参考文献、資料等を適宜配布する。

その他

講義形式をとる。その一助として、視聴覚機材（VHS、DVD、PC、書画カメラ）等を用い、映像、写真、絵図、資料を提示しつつ、年間講義予定表に基づき講義を進めていく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ (1) 〔民族とは何か〕	おののゆうじ 大野祐二	経A・商選	4

講義のねらい

この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論(文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など)についてが中心になります。

後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。

履修上の留意点

講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとりまします。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

成績評価の方法

前後期の定期試験(またはレポート)、および小テストで評価します。

教科書

詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

参考書等

原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』(筑摩書房)
吉野耕作著『文化ナショナリズムの社会学』(名古屋大学出版会)
李孝徳著『表象空間の近代』(新曜社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ (2) 〔イスラム〕	よしだきょうこ 吉田京子	経A・商選	4

講義のねらい

現在、最も注目される思想、文化体系としてのイスラームに関する日本人の知識不足を補うための授業。国際社会の一員として最低限知っておくべき教養としての範囲のイスラームに関する知識を習得することが本講義の最大の目的である。多様な「イスラーム」認識の方法論の中から、イスラームの宗教的側面、信仰の概略、思想の根本を理解するため宗教学的のアプローチを中心に講義を行う。従って、国際関係論的、政治学的、社会学的、文化人類学的視座に基づくイスラーム概説とは異なる点を注意されたい。

講義の内容・授業スケジュール

神話、儀礼、救済、聖性の四側面から、宗教としてのイスラームにアプローチする予定。各5回から6回の授業を行う。

履修上の留意点

宗教学的、思想的側面からのイスラーム論なので、社会学的、歴史学的、政治学的、国際関係論的アプローチの前段階の内容となる。そのため、そのような意味でのイスラーム論を期待する学生には不適當である場合もある。

成績評価の方法

後期末の試験により成績を決定する。

教科書

特になし

参考書等

授業中紹介

その他

数回のビデオ上映を予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ (3) 〔フェミニズム・ジェンダー〕	はやかわのりよ代 早川紀代	経A・商選	4

講義のねらい

この世のなかには、男性と女性、女性と男性の両性から成りたっています。この両性の関係は私たちの社会の中で、どんな風に構成されているだろうか。男も女も人間らしくいきいきとすることができる両性関係はどんな関係だろうか。私たちが理想とする両性関係をどんな風にしてつくっていったらよいか、皆さんとともに考えます。

講義の内容・授業スケジュール

前期

a. ジェンダーってなに？

フェミニズムやジェンダーという考え方が生まれた歴史背景と私たちがもっている女らしさ、男らしさの内容を考えます。

b. 労働とジェンダー

企業の雇用戦略が大変貌をとげている現在、男女の企業における配置はどのようになっているか、その原因はなにか、雇用機会均等法は機能しているか、家族と労働生活は両立できるのか、など、私たちが直面している問題を考えます。

後期

c. 家族とジェンダー

皆さんの来歴をたどりながら、現在の家族の変貌、そこからでてくる問題をとりあげ、未来の家族像を考えます。恋愛や結婚、夫妻、親子の歴史を簡単に古代からふりかえりながら、私たちの将来像を考えます。

d. セクシュアリティとジェンダー

今日程、性のありかたが多様になって、変化している時代はないでしょう。性同一障害やホモセクシャルな関係、性暴力の問題など、人間の性のありかたを考えます。

履修上の留意点

毎回ではありませんが、感想や意見を書いたもらいます。それが出席評価になりますから、就職活動や病気などを除いて欠席しないこと。

成績評価の方法

出席回数、夏休みレポート、後期期末試験（論述）によって成績評価する。講義の内容がいかされているかが評価の基準になる。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

資料を随時配布する。

その他

授業は講義、討論、映画鑑賞をふくむ。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VII (1) 〔トラブルと法的解決〕	藤本 茂・荒木 正孝 竹中 智香・原田啓一郎 日笠 完治・山口 邦夫	経 A・商選	4

講義のねらい

日常生活は、常に順調と言うわけにはいかない。社会生活につきまとうトラブルを法的に解決することを考える。

法的トラブルにはどのようなパターンがあるか。それをどう解決すればよいのか、あるいは、トラブルを未然に防ぐにはどうすればよいのか。これらの点について、市民として知っておくべき基礎的知識を、各法領域の教員が交替で講義する。

講義の内容・授業スケジュール

第1回目の講義で、履修上の注意点と各法領域での講義内容の概要を説明する。受講希望者は必ず、出席すること。

担当教員の順番や講義内容は、「詳細情報画面」を参照すること。各領域3回から4回を予定している。ここでは、各担当教員のテーマを上げるに止める。

- 1 日笠 完治 トラブルを憲法的観点から考える
- 2 山口 邦夫 刑事事件と法定手続
- 3 竹中 智香 変化する市民生活と民法
- 4 荒木 正孝 現代社会と商法
- 5 藤本 茂 現代雇用社会と労働法
- 6 原田啓一郎 大学生活と社会保障の法的トラブル

履修上の留意点

各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。
私語は慎むこと。携帯電話のスイッチはOFFにすること。

成績評価の方法

各担当教員がそれぞれの担当枠の最後に実施する試験の成績を総合して評価する。講義に出席することはもとより、各担当教員の実施する試験は必ず受け、レポートが出されれば必ず、その担当期間内に提出すること。

追・再試験は、講義の形態上、行わない。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

各担当教員が講義に際し、必要に応じて、その都度開示する。
六法は毎回忘れずに、持参すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VII 〔都市論〕	うらみ 内海 麻利・浦田 早苗 まのし 坂井 文・品田 ともみ はるか 早川 純貴・保坂 よしろう 尚郎	経 A・商選	4

講義のねらい

大都市は多様な問題が集積する場である。過密化と空洞化、犯罪、失業、ゴミ問題、再開発、国際化など。しかしこれらは、独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返すと都市社会が示す多様な表象にほかならない。都市の現状を政治学や経済学、あるいは社会や建築及び都市計画学の観点から概観し、その将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール

6名の講師により、各々4回講義を担当する。その順序、時期と講義内容は以下の通り。

内海麻利『都市論』ガイダンス（1回：4月）

品田知美「都市の変容と生活様式」（4回：4月・5月）

多くの人々が集う都市には、独特の生活様式が見いだせる。本講義では、大都市圏を中心とした日本の都市的生活様式を、主に2つの視角から振り返る。(1) 環境：都市のかたちは、エネルギーや資源の消費とどう関係するか。(2) 家族：都市は、新しい家族のかたちを生み出す。異質な人々にとって、都市とはどういう場であるか。過去を知り、現在を理解しながら、ともに近未来を考えたい。

保坂尚郎「都市と労働」（4回：5月・6月）

都市における労働では、快適な通勤の実現や子育てとの両立などが課題となる。この講義では、通勤と関わる需要サイドを重視した交通政策「TDM」の展望や裁量労働制、SOHOワークなど新たな働き方と保育制度改革のあるべき方向などを検討し、「痛勤」からの解放と労働と子育ての両立を考える。

浦田早苗「イギリスの都市はおいしい」（4回：6月・7月）

イギリス一般市民の都市生活を、食事、娯楽、居住などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。

内海麻利 「都市計画制度とその動向」（4回：9月・10月）

都市の物的な計画、実現手段である都市計画制度は、土地利用や道路・公園等の都市施設整備、市街地開発など、都市を形成するための様々なルールや仕組みを提供してきた。本講義では、社会情勢を踏まえ着目すべき都市計画制度を概観するとともに、その動向に見られる都市づくりのあり方を考える。

早川純貴「まちづくりと住民参加」（4回：10月・11月）

いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。

坂井 文 「都市を公共空間から読む」（4回：11月・12月）

都市の形成とともに、広場や公園などの近代公共空間は形成されてきた。公園の誕生にともなって、伝統的な都市空間の社会的な意味はどう変化してきたのだろうか。ロンドンと江戸・東京の都市の歴史を振り返り、また現在の政策を考察しながら、都市における公共空間のあり方を考える。

履修上の留意点

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。

成績評価の方法

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判断し、それらを内海が総合して評価する。

3. 外国語科目

外
国
語

3 . 外国語科目

外国語

〔 英 語 〕

英語 I A (經 A)	〈田 中 保〉	105
英語 I A (經 A)	〈横 森 正 彦〉	105
英語 I A (經 A)	〈川 崎 浩 太 郎〉	106
英語 I A (經 A)	〈三 輪 久 惠〉	106
英語 I A (經 A)	〈池 上 賀 英 子〉	106
英語 I A (經 A)	〈岩 屋 玉 江〉	107
英語 I A (經 A)	〈三 芳 康 義〉	107
英語 I A (經 A)	〈三 輪 久 惠〉	107
英語 I A (商)	〈相 馬 美 明〉	108
英語 I A (商)	〈川 崎 浩 太 郎〉	108
英語 I A (商)	〈水 崎 野 里 子〉	108
英語 I A (商)	〈尾 形 重 政〉	109
英語 I A (商)	〈丹 治 弘 昌〉	109
英語 I A (商)	〈桧 山 晋〉	109
英語 I A (經 A・商)	〈丸 小 哲 雄〉	110
英語 I B (經 A)	〈川 股 陽 太 郎〉	111
英語 I B (經 A)	〈大 庭 直 樹〉	111
英語 I B (經 A)	〈伊 良 部 祥 子〉	112
英語 I B (經 A)	〈山 田 照 子〉	112
英語 I B (經 A)	〈大 庭 直 樹〉	112
英語 I B (商)	〈石 原 孝 哉〉	113
英語 I B (商)	〈山 田 照 子〉	113
英語 I B (商)	〈伊 良 部 祥 子〉	113
英語 I B (商)	〈川 股 陽 太 郎〉	114
英語 I B (經 A・商)	〈石 原 孝 哉〉	114
英語 II A (經 A)	〈伊 勢 村 定 雄〉	115
英語 II A (經 A)	〈伊 藤 幸 一〉	116
英語 II A (經 A)	〈萩 原 輝〉	116
英語 II A (經 A)	〈岩 山 義 春〉	116
英語 II A (經 A)	〈丹 治 弘 昌〉	117
英語 II A (經 A)	〈鈴 木 美 貴 子〉	117
英語 II A (經 A)	〈足 田 和 人〉	117
英語 II A (商)	〈伊 勢 村 定 雄〉	118
英語 II A (商)	〈萩 原 輝〉	118
英語 II A (商)	〈牧 野 輝 良〉	119
英語 II A (商)	〈安 齋 薫〉	119
英語 II A (商)	〈西 田 義 和〉	119
英語 II B (經 A)	〈吉 川 直 澄〉	120
英語 II B (經 A)	〈山 口 晃〉	120
英語 II B (經 A)	〈塚 本 利 男〉	121
英語 II B (經 A)	〈渡 部 孝 治〉	121
英語 II B (經 A)	〈植 村 惠 子〉	122
英語 II B (經 A)	〈児 林 英 子〉	122
英語 II B (經 A)	〈井 出 功 一〉	123
英語 II B (商)	〈伊 藤 美 代 子〉	123

英語ⅡB (商)	〈佐藤孝一〉	124
英語ⅡB (商)	〈小布施圭佐三〉	124
英語ⅡB (商)	〈高柳文江〉	125
英語ⅡB (商)	〈岩原康夫〉	125

〔ドイツ語〕

ドイツ語ⅠA (経A・商)	〈河上和史〉	126
ドイツ語ⅠB (経A・商)	〈柴野博子〉	126
ドイツ語ⅡA (経A)	〈柴野博子〉	126
ドイツ語ⅡA (経A)	〈本橋右京〉	127
ドイツ語ⅡA (商)	〈柴野博子〉	127
ドイツ語ⅡA (商)	〈飯塚公夫〉	128
ドイツ語ⅡB (経A)	〈飯塚公夫〉	128
ドイツ語ⅡB (商)	〈森公成〉	129
ドイツ語ⅡB (商)	〈堀内美江〉	129

〔フランス語〕

フランス語ⅠA (経A・商)	〈伊藤なお〉	130
フランス語ⅠB (経A・商)	〈遠山博雄〉	130
フランス語ⅡA (経A)	〈小玉齊夫〉	131
フランス語ⅡA (経A)	〈沼倉広子〉	131
フランス語ⅡA (商)	〈前田祝一〉	132
フランス語ⅡA (商)	〈遠山博雄〉	132
フランス語ⅡB (経A)	〈菅谷暁〉	132
フランス語ⅡB (商)	〈畑中千晶〉	133
フランス語ⅡB (商)	〈小玉齊夫〉	133

〔中国語〕

中国語ⅠA・ⅠB (経A・商)	〈戸張嘉勝・三田村圭子〉	135
中国語ⅠA・ⅠB (経A・商)	〈宮本厚子・陳洲挙〉	135
中国語ⅡA (経A)	〈釜屋修〉	136
中国語ⅡA (経A)	〈佐藤普美子〉	136
中国語ⅡA (経A)	〈李雲〉	136
中国語ⅡA (経A)	〈松本丁俊〉	137
中国語ⅡA (商)	〈松本丁俊〉	137
中国語ⅡA (商)	〈福地桂子〉	137
中国語ⅡA (商)	〈李雲〉	138
中国語ⅡA (商)	〈弘兼加奈子〉	138
中国語ⅡB (経A)	〈岩崎皇〉	138
中国語ⅡB (経A)	〈平石淑子〉	139
中国語ⅡB (経A)	〈弘兼加奈子〉	139
中国語ⅡB (商)	〈根岸政子〉	139
中国語ⅡB (商)	〈張宏波〉	140
中国語ⅡB (商)	〈松本丁俊〉	140

〔スペイン語〕

スペイン語 I A (経A・商)	〈荻野雅司〉	141
スペイン語 I A (経A・商)	〈亀山晃一〉	141
スペイン語 I B (経A・商)	〈上野勝広〉	141
スペイン語 I B (経A・商)	〈真下祐一〉	142
スペイン語 II A (経A)	〈大岩功〉	142
スペイン語 II A (経A)	〈福本久美子〉	143
スペイン語 II A (商)	〈真下祐一〉	143
スペイン語 II A (商)	〈上野勝広〉	143
スペイン語 II B (経A)	〈大岩功〉	144
スペイン語 II B (商)	〈福本久美子〉	144

〔ロシア語〕

ロシア語 I A・I B (経A・商)	〈大須賀史和・木村英明〉	146
ロシア語 II A	(経A・商) 〈木村英明〉	146
ロシア語 II B	(経A・商) 〈木村英明〉	147

《再履修クラス》

〔英 語〕

英語 I A	〔再クラス〕	〈松 堂 啓 子〉	148
英語 I A	〔再クラス〕	〈岩 井 洋 美〉	148
英語 I A	〔再クラス〕	〈朝 川 真 紀〉	148
英語 I A	〔再クラス〕	〈塙 美 智 子〉	149
英語 I A	〔再クラス〕	〈吉 江 正 雄〉	149
英語 I A	〔再クラス〕	〈西 村 祐 子〉	150
英語 I A	〔再クラス〕	〈外 池 一 子〉	150
英語 I A	〔再クラス〕	〈高 柳 文 江〉	151
英語 I A	〔再クラス〕	〈桧 山 晋 晋〉	151
英語 I A	〔再クラス〕	〈岩 原 康 夫〉	151
英語 I A	〔再クラス〕	〈丸 小 哲 雄〉	152
英語 I B	〔再クラス〕	〈熊 沢 和 明〉	152
英語 I B	〔再クラス〕	〈木 村 克 彦〉	152
英語 I B	〔再クラス〕	〈江 田 幸 子〉	153
英語 I B	〔再クラス〕	〈牧 野 正 秀〉	153
英語 I B	〔再クラス〕	〈石 原 孝 哉〉	153
英語 I B	〔再クラス〕	〈真 砂 久 晃〉	154
英語 I B	〔再クラス〕	〈高 柳 文 江〉	154
英語 I B	〔再クラス〕	〈熊 沢 和 明〉	154
英語 I B	〔再クラス〕	〈近 藤 真 彫〉	155
英語 I B	〔再クラス〕	〈飯 沼 好 永〉	155
英語 II A	〔再クラス〕	〈菅 原 典 子〉	155
英語 II A	〔再クラス〕	〈太 田 美 智 子〉	156
英語 II A	〔再クラス〕	〈岡 崎 寿 一 郎〉	156
英語 II A	〔再クラス〕	〈佐 藤 江 里 子〉	156
英語 II A	〔再クラス〕	〈岡 崎 寿 一 郎〉	157
英語 II A	〔再クラス〕	〈塚 本 利 男〉	157
英語 II A	〔再クラス〕	〈太 田 由 紀 子〉	157
英語 II A	〔再クラス〕	〈矢 島 直 子〉	158
英語 II A	〔再クラス〕	〈相 馬 美 明〉	158
英語 II A	〔再クラス〕	〈川 島 弘 之〉	158
英語 II A	〔再クラス〕	〈町 田 尚 子〉	159
英語 II A	〔再クラス〕	〈三 浦 眞 理〉	159
英語 II A	〔再クラス〕	〈山 岸 二 郎〉	160
英語 II B	〔再クラス〕	〈佐 藤 江 里 子〉	160
英語 II B	〔再クラス〕	〈長 谷 川 公 一〉	160
英語 II B	〔再クラス〕	〈川 手 浩 一〉	161
英語 II B	〔再クラス〕	〈太 田 美 智 子〉	161
英語 II B	〔再クラス〕	〈長 谷 川 公 一〉	161
英語 II B	〔再クラス〕	〈田 中 保 保〉	162
英語 II B	〔再クラス〕	〈落 合 和 昭〉	162
英語 II B	〔再クラス〕	〈川 股 陽 太 郎〉	162
英語 II B	〔再クラス〕	〈町 田 尚 子〉	163
英語 II B	〔再クラス〕	〈本 間 俊 一〉	163
英語 II B	〔再クラス〕	〈山 縣 裕 裕〉	164
英語 II B	〔再クラス〕	〈手 島 敬 子〉	164

〔ドイツ語〕

ドイツ語 I A	〔再クラス〕	〈志 真 斗美恵〉	165
ドイツ語 I A	〔再クラス〕	〈井 村 行 子〉	165
ドイツ語 I A	〔再クラス〕	〈薮 下 紘 一〉	165
ドイツ語 I A	〔再クラス〕	〈本 橋 右 京〉	166
ドイツ語 I B	〔再クラス〕	〈飯 塚 公 夫〉	166
ドイツ語 I B	〔再クラス〕	〈堀 内 美 江〉	167
ドイツ語 I B	〔再クラス〕	〈本 橋 右 京〉	167
ドイツ語 I B	〔再クラス〕	〈井 村 行 子〉	168
ドイツ語 II A・II B	〔再クラス〕	〈森 公 成〉	168
ドイツ語 II A・II B	〔再クラス〕	〈本 橋 右 京〉	168
ドイツ語 II A・II B	〔再クラス〕	〈岡 本 時 子〉	169

〔フランス語〕

フランス語 I A	〔再クラス〕	〈前 田 祝 一〉	170
フランス語 I A	〔再クラス〕	〈芦 原 睿〉	170
フランス語 I A	〔再クラス〕	〈小 玉 齊 夫〉	170
フランス語 I A	〔再クラス〕	〈菅 原 猛〉	171
フランス語 I A	〔再クラス〕	〈谷 川 かおる〉	171
フランス語 I B	〔再クラス〕	〈菅 谷 暁〉	171
フランス語 I B	〔再クラス〕	〈今 関 ア ン〉	172
フランス語 I B	〔再クラス〕	〈伊 藤 な お〉	172
フランス語 I B	〔再クラス〕	〈長谷川 光 明〉	173
フランス語 II A・II B	〔再クラス〕	〈畑 中 千 晶〉	173
フランス語 II A・II B	〔再クラス〕	〈沼 倉 広 子〉	173
フランス語 II A・II B	〔再クラス〕	〈前 田 祝 一〉	174

〔中国語〕

中国語 I A・I B	〔再クラス〕	〈江 林 英 基〉	174
中国語 I A・I B	〔再クラス〕	〈秋 元 翼〉	174
中国語 I A・I B	〔再クラス〕	〈塩 旗 伸一郎〉	175
中国語 I A・I B	〔再クラス〕	〈佐 藤 普美子〉	175
中国語 I A・I B	〔再クラス〕	〈根 岸 政 子〉	175
中国語 I A・I B	〔再クラス〕	〈張 宏 波〉	176
中国語 I A・I B	〔再クラス〕	〈曹 泰 和〉	176
中国語 I A・I B	〔再クラス〕	〈戸 張 嘉 勝〉	177
中国語 I A・I B	〔再クラス〕	〈三田村 圭 子〉	177
中国語 I A・I B	〔再クラス〕	〈小 川 隆〉	177
中国語 I A・I B	〔再クラス〕	〈徳 間 佳 信〉	178
中国語 I A・I B	〔再クラス〕	〈弘 兼 加奈子〉	178
中国語 I A・I B	〔再クラス〕	〈蘭 明〉	178
中国語 II A	〔再クラス〕	〈平 石 淑 子〉	179
中国語 II A	〔再クラス〕	〈岩 崎 皇〉	179
中国語 II A	〔再クラス〕	〈大久保 明 男〉	179
中国語 II B	〔再クラス〕	〈李 雲〉	180
中国語 II B	〔再クラス〕	〈李 雲〉	180
中国語 II B	〔再クラス〕	〈蘭 明〉	180

[スペイン語]

スペイン語 I A・I B [再クラス]	〈大 岩 功〉	181
スペイン語 I A・I B [再クラス]	〈大 岩 功〉	181
スペイン語 I A・I B [再クラス]	〈ナバロ, ホワン J.〉	182
スペイン語 I A・I B [再クラス]	〈亀 山 晃 一〉	182
スペイン語 I A・I B [再クラス]	〈大 岩 功〉	182
スペイン語 I A・I B [再クラス]	〈荻 野 恵〉	183
スペイン語 I A・I B [再クラス]	〈佐 藤 麻里乃〉	183
スペイン語 II A・II B [再クラス]	〈福 本 久美子〉	183
スペイン語 II A・II B [再クラス]	〈大 岩 功〉	184
スペイン語 II A・II B [再クラス]	〈亀 山 晃 一〉	184

[ロシ ア 語]

ロシア語 I A・I B [再クラス]	〈廣 田 英 靖〉	185
ロシア語 I A・I B [再クラス]	〈佐 野 朝 子〉	185
ロシア語 I A・I B [再クラス]	〈木 村 英 明〉	186
ロシア語 I A・I B [再クラス]	〈安 徳 ニーナ〉	186
ロシア語 II A・II B [再クラス]	〈クロチコフ, Y.・大須賀 史和〉	186
ロシア語 II A・II B [再クラス]	〈安 徳 ニーナ〉	187

《 選 択 科 目 》

英 文 講 読	〈林 明 人〉	188
英 文 講 読	〈矢 島 直 子〉	188
英 文 講 読	〈牧 野 輝 良〉	188
時 事 英 語 研 究	〈竹 村 恵 都 子〉	189
時 事 英 語 研 究	〈林 明 人〉	189
時 事 英 語 研 究	〈岸 本 茂 和〉	190
時 事 英 語 研 究	〈丹 治 弘 昌〉	190
時 事 英 語 研 究	〈矢 島 直 子〉	191
マ ル チ ・ メ デ ィ ア	〈落 合 和 昭〉	191
マ ル チ ・ メ デ ィ ア	〈大 庭 直 樹〉	192
マ ル チ ・ メ デ ィ ア	〈西 村 祐 子〉	192
英 会 話 I	〈ウエルズ, J. K.〉	193
英 会 話 I	〈ソルタ, P. N. F.〉	194
英 会 話 I	〈ピアス, D. M.〉	195
英 会 話 I	〈ラッセル, S. J.〉	196
英 会 話 I	〈ラージ, R.〉	197
英 会 話 I	〈レーン, C. M.〉	198
英 会 話 II	〈ラッセル, S. J.〉	199
英 会 話 II	〈レーン, C. M.〉	200
英 会 話 II - 夏 季 集 中 -	〈ピアス, D. M.〉	201
英 会 話 III	〈ウエルズ, J. K.〉	202
英 会 話 III	〈ラージ, R.〉	203
英 会 話 III - 夏 季 集 中 -	〈レーン, C. M.〉	204
英 語 L L I	〈太 田 雅 子〉	205
英 語 L L I	〈甲 斐 捷 子〉	205
英 語 L L I	〈加 藤 佐 和 子〉	206
英 語 L L I	〈久 保 ひ さ 子〉	206
英 語 L L I	〈西 村 祐 子〉	206
英 語 L L I	〈埴 美 智 子〉	207
英 語 L L II	〈太 田 雅 子〉	208
英 語 L L II	〈外 池 一 子〉	208
英 語 L L II	〈西 村 祐 子〉	209
英 語 L L III	〈レーン, C. M.〉	210
英 語 L L III	〈久 保 ひ さ 子〉	211
英 語 L L III	〈西 村 祐 子〉	211
ド イ ツ 語 外 国 書 講 読	〈柴 野 博 子〉	212
時 事 ド イ ツ 語	〈野 島 利 彰〉	212
上 級 ド イ ツ 語	〈柴 野 博 子〉	212
ド イ ツ 語 L L I	〈小 林 ゲ ア リ ン デ〉	213
ド イ ツ 語 L L II	〈小 林 ゲ ア リ ン デ〉	213
ド イ ツ 語 I A (選)	〈五 十 嵐 信 子〉	214
ド イ ツ 語 I B (選)	〈薮 下 紘 一〉	214
ド イ ツ 語 II (選)	〈薮 下 紘 一〉	214
フ ラ ン ス 語 外 国 書 講 読	〈遠 山 博 雄〉	215
時 事 フ ラ ン ス 語	〈桑 田 禮 彰〉	215
上 級 フ ラ ン ス 語	〈小 玉 齊 夫〉	216
フ ラ ン ス 語 L L I	〈ラ リ ア ・ 三 倉, M.〉	216

フランス語 L L II	〈ラリア・三倉, M.〉	216
フランス語 I A (選)	〈出口 雅 敏〉	217
フランス語 I A (選)	〈遠 山 博 雄〉	217
フランス語 I B (選)	〈菅 原 禮 彰〉	217
フランス語 II (選)	〈桑 田 禮 彰〉	218
中国語 外国書講読	〈佐 藤 普美子〉	218
時事 中国語	〈塩 旗 伸一郎〉	219
上級 中国語	〈釜 屋 修 修〉	219
中国語 L L I	〈岩 崎 皇 皇〉	220
中国語 L L II	〈小 川 隆 隆〉	220
中国語 I A (選)	〈釜 屋 修 修〉	220
中国語 I A (選)	〈宮 本 厚 子〉	221
中国語 I B (選)	〈蘭 明 明〉	221
中国語 II (選)	〈松 本 丁 俊〉	221
スペイン語 外国書講読	〈真 下 祐 一〉	222
時事 スペイン語	〈真 下 祐 一〉	222
上級 スペイン語	〈上 野 勝 広〉	222
スペイン語 L L I	〈ナバロ, ホワン J.〉	223
スペイン語 L L II	〈ナバロ, ホワン J.〉	223
スペイン語 I A (選)	〈亀 山 晃 一〉	223
スペイン語 I B (選)	〈ナバロ, ホワン J.〉	224
スペイン語 II (選)	〈荻 野 雅 司〉	224
ロシア語 外国書講読	〈廣 田 英 靖〉	224
時事 ロシア語	〈木 村 英 明〉	225
上級 ロシア語	〈クロチコフ, Y.〉	225
ロシア語 L L I	〈安 徳 ニーナ〉	225
ロシア語 L L II	〈安 徳 ニーナ〉	226
ロシア語 I A (選)	〈クロチコフ, Y.〉	226
ロシア語 I B (選)	〈木 村 英 明〉	227
ロシア語 II (選)	〈クロチコフ, Y.〉	227
朝鮮語 I A・I B (選)	〈白 賢 美〉	228
朝鮮語 II (選)	〈白 賢 美〉	228

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	たなか たもつ 田 中 保	経 A 1 年	2

講義のねらい

英語圏世界で、日常生活を送る場合に最低限必要と思われる英会話運用能力を培う。日常英会話表現やトラベル英会話も取り入れて、英語運用能力を高める。

講義の内容・授業スケジュール

授業はテキストにそって進めるが、予習を前提とした発表形式によって行なう。

履修上の留意点

必ず予習をして授業に臨むこと。

成績評価の方法

授業時の発表・前期後期の試験・小テスト・出席状況・プレゼンテーション・レポート等を総合的に検討して評価します。

教 科 書

最初の授業のときに教室で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	よこもり まさ ひこ 横 森 正 彦	経 A 1 年	2

講義のねらい

日常的なテーマを扱い、異文化間コミュニケーションの能力を身につける。特に経済・経営面で世界史上重要なのが日米です。日米文化の一面を知ることがねらいです。

講義の内容・授業スケジュール

日米文化の差異についての会話。その中の Grammar check。センテンス・レベルの作文養成 (日米文化の学習舎)。パラグラフ・レベルへの発展。

履修上の留意点

授業は予習してくること。演習中心におこなう。

成績評価の方法

日常の発表、TOEIC 等のプリントを配布 (小テスト)。前後期テストの結果を入れて総合的評価をする。

教 科 書

『異文化の理解に向けて』(旺史社) 1,360円+税

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	川崎 浩太郎 <small>かわ さき こうたろう</small>	経A1年	2

講義のねらい	入学時の英語を基礎として、英語運用能力の向上を目的とします。単発の発話、作文ではなく、ある程度まとまった長さを持つ文章の中で、自分の考えをより効果的に表現できるようになることをめざします。
講義の内容・授業スケジュール	E-mailなどで使われる比較的口語的な表現を学び、大学生が日常生活で遭遇する様々な場面に対応できるような表現力を身につけていってもらいます。また、教科書のUnitごとに適切な課題を出すので、それによってエッセイライティングも行ってもらいます。TOEICのリスニングなども行う予定です。
履修上の留意点	毎時間辞書を必ず持ってくること。
成績評価の方法	出席点、発表点40%、レポート60%。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。
教科書	『Subject: E-Mail――大学生のEメール英作文』黒川裕一著 南雲堂 1,900円(税別) ISBN4-523-17396-6

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	三輪 久恵 <small>みわ ひさえ</small>	経A1年	2

講義のねらい	講義のねらい：コミュニケーションにおいて、他文化（異文化）の視点からものを見て問題解決することの重要性を学びます。
講義の内容・授業スケジュール	シチュエーションや英語表現を正しく受けとめる語学能力と共に、文化的背景の違いからくる受けとめ方の違いを分析する能力、多角的な観点に立つ柔軟なものの見方を、合わせて養うことをめざします。
履修上の留意点	予習をしてることが重要です。内容を理解しているかどうかをチェックする質問から始めます。水曜日・1時限
成績評価の方法	単元が終る毎に30分程度のクイズ・小テストを実施。必然的に、出席及び平常点重視となります。
教科書	Culture Riddles――America : In Intercultural Communication Joseph Shaules 他著（南雲堂）1,400円+tax

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	池上 賀英子 <small>いけがみ かえこ</small>	経A1年	2

講義のねらい	入学時の英語力を基礎として英語の運用能力を養う。
講義の内容・授業スケジュール	ヒヤリング、スピーキング、ライティングの、より高度な運用能力練習をする。ビデオ(VHS、DVD)等も使用する。
履修上の留意点	3分の2以上出席し、授業に参加すること。
成績評価の方法	発表を中心とする平常点と定期試験の成績を総合し評価する。
教科書	プリント教材を適宜配布、使用する。教科書は未定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	いわや たまえ 岩屋玉江	経A1年	2

- 講義のねらい** これまでに培ってきた英語の基礎知識の拡充とより英語らしい表現力の養成を目標とします。テキストは英米人の思想や文化的背景を端的に表わしているイディオムに焦点を絞ったものを使用します。
- 講義の内容・授業スケジュール** 授業は予習復習を前提とした発表形式でおこないます。
- 履修上の留意点** 予習をして授業に臨むこと。辞書は毎回持参すること。
- 成績評価の方法** 出席および演習への参加状況・小テスト・期末試験の結果を総合しておこないます。
- 教科書** 『Writing with Idioms』(南雲堂) 1,600円 ISBN4-523-17139-4

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	みよし やすよし 三芳康義	経A1年	2

- 講義のねらい** TOEICのような学外の英語検定試験に出題される文法事項を確認しながら、実用英語の総合的な運用能力の向上を目指します。また、日常会話に用いられる慣用句を適宜練習します。
- 履修上の留意点** 授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。
- 成績評価の方法** 授業中の口頭発表、出席率、小テスト(4回~6回)などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。
- 教科書** 鳥本たい子・宮野智靖・Jodi Flowers『TOEIC®テスト基礎文法トレーニング』(マクミラン・ランゲージハウス)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	みわ ひさえ 三輪久恵	経A1年	2

- 講義のねらい** 海外へ出た時に独力でコミュニケーションをとることが出来る英語能力を養う。対処の仕方等を通して日本とは異なる文化・物の考え方も学ぶ。
- 講義の内容・授業スケジュール** 旅行中に出あう様々な場面で役立つ英語表現の習得をめざす。DialogのListeningを中心に、練習問題形式で語彙・英語表現の習得を主眼とし、合わせて文化的・民族的背景等をも学習する。
- 履修上の留意点** 予習をして授業に臨んで下さい。辞書は、中辞典程度のもの必携。
- 成績評価の方法** 単元が終る毎に30分程度のクイズ・小テストを実施。必然的に、出席及び平常点重視となります。
- 教科書** Joseph S.Cravotta 他著 Trouble-Free Travel (郁文堂) 1,800円+税
- その他** 水曜日・3時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	相馬 美明	商1年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、様々な英語の運用能力（発話・読解・聴解）を身につける。プリントを用いた文法問題、及び教科書による読解問題を通じ、精読・多読の両面から英語の基本的な運用能力を身につける。また、様々な検定対策も対応すべく、TOEIC のリスニング・セクションの問題等にも触れ、聴解力を高めてゆく。

成績評価の方法

全授業日数の3分の2以上の出席を基本とし、前・後期に行う試験、及び授業で行う小テスト、また授業態度等を総合的に評価する。

教科書

Hiroko Nishida・William Gudykunst, American Communication Patterns (金星堂) 1,200円
Mitsuho Sugawara, 10-Minute Listening (Introductory) (桐原書店) 780円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	川崎 浩太郎	商1年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英語運用能力の向上を目的とします。単発の発話、作文ではなく、ある程度まとまった長さを持つ文章の中で、自分の考えをより効果的に表現できるようになることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

E-mailなどで使われる比較的口語的な表現を学び、大学生が日常生活で遭遇する様々な場面に対応できるような表現力を身につけていってまいります。また、教科書のUnitごとに適切な課題を出すので、それに従ってエッセイライティングも行ってもらいます。TOEIC のリスニングなども行う予定です。

履修上の留意点

毎時間辞書を必ず持つてくること。

成績評価の方法

出席点、発表点40%、レポート60%。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

教科書

『Subject: E-Mail - 大学生のEメール英作文』黒川裕一著 南雲堂 1,900円(税別) ISBN4-523-17396-6

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	水崎 野里子	商1年	2

講義のねらい

英語の歌を聴きながら、リスニングと英語のリズムを聞き取る練習をする。英語に慣れること、英語を楽しく学ぶことも目的である。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを使用し、一授業に一課を予定している。なお、授業の進行具合によって、副読本を使用する。

履修上の留意点

遅刻、欠席には出来るだけ留意して欲しい。ヒアリングの授業であるので、遅れずに来て欲しい。

成績評価の方法

平常点と試験の点を総合し、評価する。

教科書

Hiromi Nema『フォークソングでリズムからリスニングへ』(英宝社) 1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I A	お ^{がた} 尾 ^{しげ} 形 ^{まさ} 重 政	商1年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英語による意思伝達力の把握に努めます。特に会話表現では、日常基本表現からダイアログまでの理解と運用能力を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進めると同時に、英字新聞の記事や英語検定問題も使用します。

履修上の留意点

授業は予習してくること。

成績評価の方法

積極的な授業参加度を重視し、前期後期の試験結果を入れて総合的に判断します。

教 科 書

第1回の授業時に教室で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I A	た ^ん 丹 ^じ 治 ^{ひろ} 弘 昌	商1年	2

講義のねらい

著名な映画より印象的な場面を選び、語彙、表現法、ニュアンスなどを学びます。

講義の内容・授業スケジュール

4月—語彙、文法の基礎知識について
 5月—『ローマの休日』
 6月—未定
 7月—表現のまとめ、期末テスト
 10月—『地獄の黙止録』
 11月—未定
 12月—表現のまとめ、期末テスト

成績評価の方法

平常の出席と時おりの小テスト、それに前期と後期の期末テストによって評価します。なお期末テストは授業の最終日に行うので留意のこと。

教 科 書

『Poetry of Film』（金星堂）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I A	ひ ^{やま} 山 ^{すすむ} 晋	商1年	2

講義のねらい

英語での受信・発信の基礎力習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 基礎を固める。(後期) 応用力を伸ばす。

履修上の留意点

私語厳禁。授業中何度も発言を求める。欠席・遅刻回数等は自己管理すること（問合せには応じない）。携帯電話を授業中に鳴らした者は退室。毎回小テストを行う。

成績評価の方法

小テスト、出席、授業参加、発表等の平常評価50%、前期・後期試験50%。全授業日数の3分の1以上を欠席した者は自動的に不合格。3回以上連続して欠席した場合は説明する文書と診断書等を提出（未提出者は名簿から削除）。

教 科 書

第一回目の授業で指示。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔基礎英語特別クラス〕	まるこてつお 丸小哲雄	経A・商1年	2

講義のねらい

基礎文法に焦点を合わせて、英語コミュニケーション能力の向上を目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

リスニング・タイムを総理解として、コミュニケーション能力のために実践的 TOEIC を利用していきます。

履修上の留意点

私語厳禁

成績評価の方法

出席、平常テスト、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教 科 書

テキスト：英語表現法入門（英宝社）
リスニング・サブテキスト：Starting out on the TOEIC Test（成美堂）

参 考 書 等

随時指示し、タイムリーな時事英語ニュースのコピーも配布します。

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	かわ また よう たろう 川 股 陽太郎	経 A 1 年	2

講義のねらい	入学時の英語を基礎として、英語の読解力をやしなう。
講義の内容・授業スケジュール	より高度な英語の読解力をやしなうと同時に、大意の把握練習をする。視聴覚教材 (VHS、DVD、PC 等) も併用する。プリント教材を適宜配布、使用する。
履修上の留意点	3分の2以上出席し、授業に参加すること。
成績評価の方法	発表、小テスト、定期試験の成績を総合して評価する。
教科書	未定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	おお ぼ なお き 大 庭 直 樹	経 A 1 年	2

講義のねらい	このクラスは英文を多読するクラスである。多くの英文を読んで、内容を要約する力を養うことに重点をおく。
講義の内容・授業スケジュール	このクラスは、読む内容の分野は限定せず、いろいろな分野の読み物をプリントで配布する。プリントは、年間30枚以上になり、教室で扱わないものは内容を要約して提出してもらう。教室での発表に加えて、提出課題もかなりの数になる。
履修上の留意点	予習に全力を注ぐこと。
成績評価の方法	成績は、3分の2以上の出席と、発表に重点をおく。課題の提出、ミニクイズも頻繁に行う。そして前期と後期にそれぞれ定期試験を行う。
教科書	テキスト：教場で指示する
その他	火曜日・2時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	伊良部 祥子 <small>いらいぶ あまき こ</small>	経A1年	2

講義のねらい

英字新聞雑誌から様々な分野の記事を読み、語彙を増やし読解力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

英文記事を読み、考え、要約し、自分の意見を述べる。語彙や構文の演習を行う。

履修上の留意点

あらかじめ、テキストを読んでおくこと、つまり、予習が必要である。演習科目なので出席を最重視する。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、授業時の発表、課題の提出、出席状況で総合評価する。

教科書

ニュースメディアの英語—2005版（朝日出版社）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	山田 照子 <small>やま だ てる こ</small>	経A1年	2

講義のねらい

英文の読解力を身につけることを目的とします。テキストのトピックスに興味と関心を覚え、読み進むうちに読解を中心とした技術を修得し、「本物の英語力」を自分のものにできるようにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを中心に学んで行きますが、他の資料も使用します。1回に1章のペースで進む予定です。

履修上の留意点

発表形式で行ないますから、予習が必要です。

成績評価の方法

発表、出席率、前期と後期の試験、レポート等によって総合的に評価します。

教科書

土屋他『A Complete College English Program—大学英語総合ナビゲーター読解スキル養成編（Book 2）—』（金星堂）1,850円 ISBN4-7647-3796-5 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	大庭 直樹 <small>おお ば なお き</small>	経A1年	2

講義のねらい

このクラスは講読のクラスなので、年間を通して、多読と精読を平行しておこなっていく。

講義の内容・授業スケジュール

このクラスでは、キリスト教をテーマにして文献を読み込んでいく。テキストには、新約聖書物語を選び、それを精読していく。テキスト以外に、プリントとして、キリスト教の成立と歴史についての文献、キリスト教とヨーロッパ文明の関わりを講じたものなどを配布する。

履修上の留意点

予習を十分にすること

成績評価の方法

成績は、3分の2以上の出席と、発表に重点をおく。課題の提出、ミニクイズも頻繁に行う。そして前期と後期にそれぞれ定期試験を行う。

教科書

『新約聖書物語』（成美堂）
プリントは教場で配布する

その他

火曜日・1時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	いし ばら こう さい 石 原 孝 哉	商1年	2

講義のねらい	世界で話される多くの英語に接しながら、読解力のアップを目指します。		
履修上の留意点	必ず予習して出席すること。		
成績評価の方法	中間、期末試験のほか、レポート、出席を重視します。		
教科書	The Whole Story (南雲堂フェニックス) 1,600円 配布プリント		
その他	火曜日・3時限		

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	やま だ てる こ 山 田 照 子	商1年	2

講義のねらい	英文の読解力を身につけることを目的とします。効率的な読解のスキルを訓練し、テキストを読み進むうちに、その技術を確実に身につけることができるようにしたいと思います。		
講義の内容・授業スケジュール	テキストを中心に学んでいきますが、他の資料も使用します。1回1章のペースで進む予定です。		
履修上の留意点	発表形式で行ないますから、予習が必要です。		
成績評価の方法	発表、出席率、前期と後期の試験、レポート等によって総合的に評価します。		
教科書	N. J. Anderson・川又正之『Intermediate Skills for Reading (リーディングスキルの実践演習)』(成美堂) 1,700円 ISBN4-7919-0069-3		

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	いらぶ あき こ 伊良部 祥 子	商1年	2

講義のねらい	TOEIC に対応できる英文速読およびリスニング能力を養う。		
講義の内容・授業スケジュール	テキストに沿って内容に関する質問、重要構文の演習を行う。毎回、単語および重要構文のテストを行う。		
履修上の留意点	あらかじめ、テキストを読んでおくこと。演習科目なので出席を最重視する。		
成績評価の方法	前・後期の定期試験、授業時の発表、課題の提出、出席状況で総合評価する。		
教科書	Rapid Reading with TOEIC Test Vocabulary (成美堂) 1,900円		

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	川 股 陽太郎 <small>かわ また ようたろう</small>	商1年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英語の読解力をやしなう。

講義の内容・授業スケジュール

より高度な英語の読解力をやしなうと同時に、大意の把握練習をする。視聴覚教材（VHS、DVD、PC等）も併用する。プリント教材を適宜配布、使用する。

履修上の留意点

3分の2以上出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

発表、小テスト、定期試験の成績を総合して評価する。

教科書

未定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔基礎英語特別クラス〕	石 原 孝 哉 <small>いし はら こう さい</small>	経A・商1年	2

講義のねらい

日常会話を中心に、基礎力アップを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

ビデオの映像とカセットの音声を利用して、英語会話の基礎を学びます。

履修上の留意点

所定の期間までに一定の短文を覚えることが義務付けられます。

成績評価の方法

中間試験（2～3回）と期末試験のほか、レポート、出席率などを含めて総合的に評価します。

教科書

First Step Abroad（金星堂）2,000円

その他

火曜日・4時限

英 語 II A

〈英語ⅡAの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	伊勢村 定雄 <small>いせむら きたあき</small>	経A2年	2

講義のねらい

音読とダイアログの暗唱により、英語の発音と表現を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

4月 ガイダンス
 〈本文音読・訳読→ダイアログの音読・訳読→練習→ダイアログのテスト〉のサイクルで授業は展開。以下月ごとのテスト予定。
 5月 オーラルテスト (1回)
 6月 オーラルテスト (2回)
 〃 (3回)
 7月 オーラルテスト (4回)
 9月 後期ガイダンス及び授業
 10月 オーラルテスト (5回)
 〃 (6回)
 11月 オーラルテスト (7回)
 〃 (8回)
 12月 オーラルテスト (9回)
 都合9回のテストを実施予定。

履修上の留意点

予習は必ずして出席のこと！ 辞書持参。

成績評価の方法

主にオーラルテストによる。他出席状況及びその態度。

教科書

伊勢村定雄・David W.Chapman『オーラルコミュニケーション英語演習』(北星堂書店) 1,900円

参考書等

なし

その他

上記「講義の内容・授業スケジュール」を参照。演習形式。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	伊藤幸一	経A2年	2

講義の内容・授業スケジュール

人と地球社会が抱える多くの問題に、著者は解決の糸口を与えてくれる、とテキストにはある。毎回、着席順に当てるので予習して出席されたい。そして、復習の為に宿題レポートを3回（5月末、夏休み、大学祭後）課し、最終授業時に「まとめ」のテストの予定。

成績評価の方法

以上、3点、予習・復習・「まとめ」の成果による。詳細は最初の授業時に説明する。

教科書

『Topics for Global Citizenship』（金星堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	萩原輝	経A2年	2

講義のねらい

これまで学んできた英語を基礎として、自分の考えや意見を英語で表現できる能力の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

4月から6月は、“Happiness”と“Money”と“Work”についての章を学ぶ。7月は前期のまとめと、前期試験を実施。9月から12月は、“Love and Hate”と“Humor and Laughter”と“Experience”についての章を学ぶ。1月は後期試験を実施する。

履修上の留意点

いつでも自分の考えや意見を英語で表現出来るようにするために、自主的に勉強する態度を身に付けて欲しい。なお、教科書、英和・和英辞典を毎時間持参すること。

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席、授業態度、試験の結果等の総合評価。

教科書

Jim Knudsen 著『名句で英語を学ぶ』（南雲堂）1,957円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	岩山義春	経A2年	2

講義のねらい

この授業では、パラグラフを作成するための基本的なルールを学び、自分の考えを短いエッセイの形にできるようになることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

英文を書く上での基本的な事項(punctuation marks,dangling modifiers,wordiness等)をしっかり学びます。前・後期を通じて、エッセイ(A4で2枚)を4回提出することが課せられる。

履修上の留意点

成績評価は、3分の2以上の出席とプリント問題、作文、期末テスト等の総合評価で行います。

成績評価の方法

前・後期末試験を全評価の40%とし、エッセイ(4回)とclass activitiesを全評価の60%とする。全授業回数の1/3以上を欠席した学生はこの授業をパスできないものとする。

教科書

プリントを使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II A	たん し ひろ まさ 丹 治 弘 昌	経A2年	2

講義のねらい

テレビドラマから印象的な場面をリッピングして、ヒアリングや表現を学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

4月—語彙の初歩的知識
5月—簡単なエピソード
6月—やや難しいエピソード
7月—表現のまとめ、期末テスト
10月—語彙表の作成
11月—上記の応用と練習
12月—表現のまとめ、期末テスト

成績評価の方法

平常の出席と時おりの小テスト、それに前期と後期の期末テストによって評価します。なお期末テストは授業の最終日に行うので留意のこと。

教 科 書

特になし。例文の多い英和辞典または電子辞書を使用すること。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II A	すず き みき こ 鈴 木 美 貴 子	経A2年	2

講義のねらい

エッセイを書く為の構成を理解し、書けるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストに従って演習する。モデルエッセイを読み、論理構成を理解した上で、その構成を用いて書く練習をする。

履修上の留意点

常に辞書（英和・和英）持参。

成績評価の方法

出席状況、前・後期試験、提出物により総合的に評価する。

教 科 書

石谷由美子 Emma Andrews『構造で書く英文エッセイ Skills for Better Writing』
(南雲堂、1,800円) ISBN4-523-17448-2 C0082

そ の 他

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II A	あし だ かず ひと 足 田 和 人	経A2年	2

講義のねらい

英作文および英会話の運用能力向上をめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

演習形式で授業を行う。

成績評価の方法

毎時間小テストを行い平常点とし、前後期試験の点数を評価して加える。

教 科 書

WHAT'S UP? 2004-5 Intermediate (桐原書店)

参 考 書 等

必要に応じて配布・紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	伊勢村 定雄 <small>いせむら まだ お</small>	商2年	2

講義のねらい

音読とダイアログの暗唱により、英読の発音と表現を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月 ガイダンス
 〈本文音読・訳読→ダイアログの音読・訳読→練習→ダイアログのテスト〉のサイクルで授業は展開。以下月ごとのテスト予定。
 5月 オーラルテスト (1回)
 6月 オーラルテスト (2回)
 〃 (3回)
 7月 オーラルテスト (4回)
 9月 後期ガイダンス及び授業
 10月 オーラルテスト (5回)
 〃 (6回)
 11月 オーラルテスト (7回)
 〃 (8回)
 12月 オーラルテスト (9回)
 都合9回のオーラルテストを予定。

履修上の留意点

予習は必ずして出席のこと！辞書持参。

成績評価の方法

主にオーラルテストの結果による。他出席状況及びその態度。

教科書

伊勢村定雄・David W. Chapmon『オーラルコミュニケーション英語演習』（北星堂書店）1,900円

参考書等

中型英語辞典なら何でも可。

その他

上記「講義の内容・授業スケジュール」を参照。演習形式。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	萩原 輝 <small>はぎ わら てる</small>	商2年	2

講義のねらい

これまで学んできた英語を基礎として、自分の考えや意見を、英語で表現出来る能力の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

4月から6月は、“Happiness”と“Money”と“work”についての章を学ぶ。7月は前期のまとめと、前期試験を実施。9月から12月は、“Love and Hate”と“Humor and Laughter”と“Experience”についての章を学ぶ。1月は後期試験を実施する。

履修上の留意点

いつでも自分の考えや意見を英語で表現出来るようにするために、自主的に勉強する態度を身に付けて欲しい。なお、教科書、英和・和英辞典を毎時間持参すること。

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席、授業態度、試験の結果、等の総合評価。

教科書

Jim Knudsen 著『名句で英語を学ぶ』（南雲堂）1,957円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	まきののてるよし 牧野輝良	商2年	2

講義のねらい

より高度な英文を身につけること。

講義の内容・授業スケジュール

各課毎に英文を詳細に読み、英文中の重要な構文、語句の用い方を覚え、英作文に応用する。

履修上の留意点

英文を和訳出来るようによく自習しておくこと。

成績評価の方法

毎時間の課題提出、3課毎の小テスト、期末テスト等を総合して評価する。単位認定には原則的に2/3以上の出席が必要である。

教科書

『ケンブリッジ プラクティカル・リーディング』（朝日出版社）1,262円
ISBN4-255-15214-4 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	あんざいのかおる 安齋薫	商2年	2

講義のねらい

「日本文化」をテーマにして英文解釈、英作文、基本表現の習得を目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

発表形式を取り入れながら毎回テキストを進めていきます。

履修上の留意点

予習をしてきて下さい。

成績評価の方法

出席状況、前期後期試験、レポートから総合的に評価します。

教科書

『LET'S WRITE ABOUT JAPAN 日本文化を英語で表現』（成美堂）1,600円
ISBN4-7919-5033-X

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	にしだのよしかず 西田義和	商2年	2

講義のねらい

英語学習の基本的な方法は、英文を正しく読み、訳し、内容を理解することである。この授業ではこうした観点から全部（前期・後期）で18章からなっている英語の構造を用いて英文和訳、和文英訳等を行うことにより学習の徹底をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

前期・後期を通じて毎時間多くの学生にやってもらい、その後説明を補足し、また予習の結果生じた疑問に答えていきたい。

履修上の留意点

予習や復習は必ずしてください。また、辞書は必ず持参すること。

成績評価の方法

出席状況、授業態度、発表の内容、テスト等を総合して評価を行う。なお、単位取得は、三分の二以上の出席を前提とする。

教科書

四月の開講時に指示する。

英 語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading : I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	吉川直澄 <small>きつかわ なお ぢみ</small>	経A 2年	2

講義のねらい

IB を基礎として、専門書を読むための訓練となりうる論説文（比較的短いコラム）、つまり著者がある見解を論理的に述べ、読者を説得しようとする知的な文章を正確に読む。その経験を積むことにより、論理的思考力と精神的耐久力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

前期は3人のコラムニストの作品を隔から隔まで理解するつもりで精読し、英語に慣れ親しむのを目的とする。後期は3人それぞれの文体に注目し、ある言葉が何故選ばれたのか、その必然性について考察してみたい。また、読む速度をあげるため、量をこなす宿題や、大意を把握して要約する授業内課題も必要に応じて提出してもらおう。

履修上の留意点

全授業数の3分の1以上欠席した学生には原則的に単位を認定しない。遅刻や欠席をせず意欲をもって授業に参加する姿勢を求める。なお、欠席と遅刻の回数についての問い合わせには一切応じない。

成績評価の方法

3分の2以上の出席、授業内提出物、宿題、前期後期試験を総合して評価する。

教 科 書

安西徹雄「英文読解術」(ちくま新書) 680円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	山口晃 <small>やまぐち あきら</small>	経A 2年	2

講義のねらい

英文をしっかり読み、深く理解する。

講義の内容・授業スケジュール

環境、生活に関する教材を使いながら、日本語と英語の相違に気づくようになってもらう。

履修上の留意点

辞書は毎回必ず持ってきてもらう。遅刻のないように。

成績評価の方法

前期、後期のテスト。他にレポートの提出。それに平常点を加えて、評価。

教 科 書

授業中にプリントを配布。

参 考 書 等

授業中に紹介する。

そ の 他

リーディングの内容について質問し、ディスカッションまで持っていくようにしたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	塚 本 利 男 <small>つか もと とし お</small>	経 A 2 年	2

講義のねらい

絶えず構文の理解・文法・語彙などの知識の増強を図りながら、できるだけ多くの英文を速く、正確に読むことを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストとして、簡潔明瞭な文体で書かれている『私達の地球と健康』を読みます。1回の授業で1 Unitを読み終える予定でいます。毎回、授業の総仕上げとして、予習を兼ねる意味でテキストの問題を提出してもらいます。

履修上の留意点

授業の予習をして下さい。

成績評価の方法

授業における発表・小テストと前・後期の定期試験に基づく。特に、平常授業を重視しますので、全授業の3分の2以上は、必ず出席して下さい。

教 科 書

『私達の地球と健康』(成美堂) 1,700円+税 ISBN4-7919-4075-X C1082

外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	渡 部 孝 治 <small>わた べ こう じ</small>	経 A 2 年	2

講義のねらい

英語の運用能力の向上を目指す。読解、作文を中心に行うが、リスニングにも力を入れたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の内容・授業スケジュールについては開講時に指示する。

履修上の留意点

会話にも活かせる基本的な表現を学び、さらに応用表現も学ぶ。

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席とそれぞれの期末テストによって行います。

教 科 書

テキストについては、開講時に指示する。

参 考 書 等

参考書についても開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	植村恵子	経A2年	2

講義のねらい

新聞・放送の英語ニュースの基本用語と語学的特質を知った上で、政治・経済・外交・軍事・環境保護からスポーツに至るまで多方面の英語ニュースを読んでいきたい。これにより新聞英語ニュースや放送英語ニュースの内容が理解できるようになることを最終目標としたい。(そのためにも今、日本や世界で何が起きているのか、新聞・ニュースをよく読み、聞いて欲しい。)

講義の内容・授業スケジュール

使用するテキストは各課6ページから成り、まずは関連記事頻出用語を学び、次に2ページに渡るNewsを読んで内容を把握し、そしてExercises1の問題を解きながら読み、最後にExercises2でディクテーション(聞いて書き取る)を行なう、という作業を前期・後期を通じて進めていきたい。

履修上の留意点

授業には必ず予習をして臨み、テキストを忘れた場合はコピーを準備しておくこと。

成績評価の方法

出席状況(実授業回数の少なくとも2/3以上の出席が原則)、平常点(授業態度、予習や授業時発表の内容、復習の意味での授業後の小テスト)及び前期・後期試験による。

教科書

藤井・内野『時事英語の総合演習—2005年度版—』(朝日出版社) 1,500円
ISBN4-255-15408-0

参考書等

『リーダーズ英和辞典』(研究社)
『現代用語の基礎知識』(自由国民社) 2,450円
『イミダス』(集英社) 2,500円
『知恵蔵』(朝日新聞社) 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	児林英子	経A2年	2

講義のねらい

英語を英語のために学ぶのではなく、英語を通して、英語圏の文化にふれることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

演習科目であり、主体は学生諸君にあります。予習して来た内容を、授業で確認するつもりで授業に臨んでいただきたい。

履修上の留意点

毎回予習をして、休まないで授業にでること。辞書を常に持ってくること。

成績評価の方法

各学期最低二回のテストを行う。受験資格者は、全出席日数の三分の二以上出席している者に限る。遅刻は、授業開始より十分以内に入室の場合とする。遅刻三回をもって欠席一回と見なす。

教科書

最初の授業で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	井 出 功 一	経 A 2 年	2

講義のねらい

テキストは、私たちの身のまわりの経済生活の知恵を、平易な英語で綴った『くらしの経済学』である。「お金の役割」、「収入と支出」、「国の経済は誰が動かすか」など私たちのくらしがテーマになっている。

講義の内容・授業スケジュール

経済学は私たちの日常生活そのものなので、そこに出てくる英文を十分聞いたり、読んだりして、英語を正しく捉える力を養う。内容は、「国の経済は家の経済と同じ」、「お金とは何か」など。

履修上の留意点

全授業日数の3分の2以上の出席、予習、辞書の携帯が必要。

成績評価の方法

前後期テスト、平常テスト、レポート、出席による総合評価。

教 科 書

George Soule『Economics for Living (くらしの経済学)』(南雲堂) 1,400円

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	伊 藤 美 代 子	商 2 年	2

講義のねらい

I Bを基礎として、より高度で実社会に直結した生の英文の理解をめざす。また、リーディングだけでなく、スピーキング、ヒヤリング、ライティングも行い、総合的な英語力を強化する。

講義の内容・授業スケジュール

原則として和訳は行わず、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用するが、構文等の説明は日本語で行う。

履修上の留意点

予習が絶対条件である。また、半期に、4回以上欠席したものには、単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と数える。

成績評価の方法

各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、小テスト、平常点、提出物により計算する。

教 科 書

1. Naoko Ogawa, Yumiko Yoshida, Mariko Miyajima『パラグラフ中心の英語基礎演習』(金星堂) 1,950円
2. 伊藤美代子(編著)『さらばジャパニーズイングリッシュ』(北樹出版) 1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	佐藤孝一	商2年	2

講義のねらい

授業では、基本的に英文を正しく読めて、正しく理解できたかをチェックしていきます。授業中に英語を学習していくのは困難であると思います。予習・復習を通して段々に英語力を高めていく意欲や動機付けを自覚し、実行してもらいたいを思っています。

講義の内容・授業スケジュール

テキストはアメリカの文化や社会など多種多様な内容を学んでいきます。異文化理解に関してアメリカの文化が学生に身近に感じられると思っています。全体で100章ありますので、毎時間5章を消化するのをノルマにします。発表者は事前に内容をテープに吹き込んできてください。希望者には、テキストのテープをコピーします。授業以外でも自主的にテープを用いた学習を強く望みます。リーディングの他に、リスニング能力の向上を計り TOEIC 教材を用いる予定です。毎時間5人の人に発表をしてもらいますが、事前に割り振りします。

成績評価の方法

基本的に前期・後期の試験と発表点、レポート等で総合的に評価します。出席点はありません。

教科書

- (1) M. ドライバー著 It's as American as hot dogs, apple pie, and Chevrolet (World Communication) 1,700円
- (2) TOEIC テキストに関しては未定。授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	小布施圭佐三	商2年	2

講義のねらい

この授業の目的は、パラグラフ・リーディング、リスニング、及び表現力を養成することにあります。教科書の題材は、英国の歴史が中心になっています。魅力ある内容になっているので興味をもって飽きずに読めるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

- 《前期》
Chapter 1 (The Celts) ~Chapter10 (Elizabethan England)
- 《後期》
Chapter11 (Shakespeare) ~Chapter20 (Margaret Thatcher)

履修上の留意点

授業形態は演習形式で行います。

成績評価の方法

出席点/授業の貢献度/レポート/定期試験(前・後期)などを加味して総合評価します。

教科書

和久豊/ Bill Benfield, Britain: Historical Tales (三修社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	高柳文江 <small>たかやなぎふみえ</small>	商2年	2

講義のねらい

英文の逐一の翻訳ではなく、英文を速やかに、かつ、正確に理解する事をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

世界の中で現在生じている様々な問題について書かれた簡潔な文章を基にまずそのListeningとComprehensionを行います。その後、章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法についての演習問題を行い、更なる理解を深めます。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には2/3以上の出席が要求されます。座席指定。

成績評価の方法

試験（前期試験・後期試験）60%、日常点（出席、小テスト、提出物、授業への取り組み方等）40%

教科書

『World Today—文化の諸相』（鳳書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	岩原康夫 <small>いわはらやすお</small>	商2年	2

講義のねらい

社会学的な問題や科学の問題などを扱った教材を用い、英語特有の論理と表現に注意を払った読解力の養成を目標とした。

講義の内容・授業スケジュール

クラスは基本的にテキストに沿って読み進む。

履修上の留意点

学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。

成績評価の方法

前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける予習及び発表によって判断する。

教科書

Gerald and Vivienne Mosback, *Practical Faster Reading* (朝日出版) 1,262円
ISBN4-255-15214-4

〔ドイツ語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A	かわ しみ かず ひと 河 上 和 史	経A・商1年	2

講義の内容・ 授業スケジュール

近代化の歩み、敗戦とその後の経済的繁栄など、ドイツは日本と多くの共通点を持つ国です。しかしその一方、ドイツは日本と対照的な面も多く持っています。今、我々と我々の国が直面している様々な問題を考えようとするとき、「ドイツ」はいろいろなヒントを与えてくれるはずです。知っているようで意外に知らない「ドイツ」、そして「ヨーロッパ」とあらためて出会うために、これから一年間「もう一つの外国語」を学びます。授業は単に「文法」の習得だけでなく、「話す」練習にかなり時間を使い、またビデオなどによって多角的で楽しいものにするつもりです。

成績評価の方法

授業と試験を総合して判断する。

教科書

「独和辞典」は必ず必要ですが、最初の授業でいくつか紹介しますので、あわてて買う必要はありません。教科書は「プリント」を使います。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B	しば の ひろ こ 柴 野 博 子	経A・商1年	2

講義のねらい

この授業では、ドイツ人の生活や文化についてのある程度まとまった文章を読んで、文法で学ぶ表現形式が実際の場でどのように使われているかを見ていきます。ドイツ語の学習を通して、ドイツの文化にも関心を持っていただければと思っています。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強には、一步一步積み重ねていくことが非常に大切です。できるだけ休まずに出席して下さい。

成績評価の方法

年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。

教科書

小塩節『希望のドイツ語（新訂版）』（朝日出版社）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 II A	しば の ひろ こ 柴 野 博 子	経A2年	2

講義のねらい

中級程度の文章で書かれた、ドイツ人のものの見方をテーマにしたテキストを読んでいきます。私達が、ドイツあるいは日本文化について考えるきっかけになれば、と思っています。

講義の内容・ 授業スケジュール

はじめは、1年生の文法を復習あるいは補足しながら、ゆっくり進んでいきます。後半は、少し速度を早め、11月にはテキストを読み終える予定です。予定通りに進めば、12月には更なる長文を読んでみましょう。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強は、短い時間でも、毎日つづけることが大切です。予習、復習をして、特別の事情がない限り、毎回出席して下さい。

成績評価の方法

年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。

教科書

大谷弘道『ドイツ人を知る9章』（三修社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA	もと はし う きょう 本 橋 右 京	経A2年	2

講義のねらい

これまで学んだ初級文法項目を再確認しながら、まとまった文章を読み、より総合的なドイツ語力を涵養します。

講義の内容・授業スケジュール

リライトされたグリム童話を読みます。
全体で22課。収録されているのは「Katze und Maus in Gesellschaft」、「Der gestiefelte Kater」、「Haensel und Gretel」および「Der Eisenofen」の4話。
後期に時間的余裕があれば、観光政策としての Maerchenstrasse について学びます。

履修上の留意点

テキストには丁寧な文法問題が用意されています。しっかり予習して授業に臨んで下さい。予習はもちろん、授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

Wundt・本橋『グリム童話で学ぶドイツ語』（郁文堂）2,000円＋税

参考書等

『グリム童話』には、さまざまな翻訳があります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA	しば の ひろ こ 柴 野 博 子	商2年	2

講義のねらい

中級程度の文章で書かれた、ドイツ人のものの見方をテーマにしたテキストを読んでいきます。私達が、ドイツあるいは日本文化について考えるきっかけになれば、と思っています。

講義の内容・授業スケジュール

はじめは、1年生の文法を復習あるいは補足しながら、ゆっくり進んでいきます。後半は、少し速度を早め、11月にはテキストを読み終える予定です。予定通りに進めば、12月には更なる長文を読んでみましょう。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強は、短い時間でも、毎日つづけることが大切です。予習、復習をして、特別の事情がない限り、毎回出席して下さい。

成績評価の方法

年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。

教科書

大谷弘道『ドイツ人を知る9章』（三修社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA	飯塚公夫	商2年	2

講義のねらい

一年で習ったドイツ語の補習とその応用。辞書を引くことに慣れること。勉強する根気を養うこと。

講義の内容・授業スケジュール

おおよそのスケジュール
 前期前半：一年の文法の復習と、未修部分があればその部分の補習
 (コピー練習問題中心)
 前期後半：練習問題と平行して、読解中心のテキストを読む
 後期：テキストの読解

履修上の留意点

辞書を毎回持ってくること(完全に予習している人は持ってこなくてもよろしい)。予習が必要になるので、予習時間を自分の生活スケジュールに組み込める人の参加が望ましい。

成績評価の方法

前期後期各1回の筆記試験及び平常点(=発表点)

教科書

Rolf Kralovitz 著「ブーヘンヴァルト10090」 同学社 1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB	飯塚公夫	経A2年	2

講義のねらい

一年で習ったドイツ語の補習とその応用。辞書を引くことに慣れること。勉強する根気を養うこと。

講義の内容・授業スケジュール

おおよそのスケジュール
 前期前半：一年の文法の復習と未修部分があればその部分の補習(コピー練習問題中心)
 前期後半：練習問題と平行してテキストの読解
 後期：テキストの読解

履修上の留意点

辞書を毎回持ってくること(完全に予習をしている人は持ってこなくてもよろしい)。予習が必要になるので、予習時間を自分の生活スケジュールに組み込める人の参加が望ましい。

成績評価の方法

前期後期各一回の筆記試験及び平常点(=発表点)

教科書

Andreas Raab 他著『時事ドイツ語 '04年トピックス』 朝日出版社
 1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB	もり 森 ころ 公 せい 成	商2年	2

- 講義のねらい** ドイツ語ⅠAとⅠBを基礎とした、初級から中級にかけての講読中心の授業です。文法の復習をしながら、いろいろなタイプのドイツ語に触れます。ドイツの歌もいくつか紹介します。
- 講義の内容・授業スケジュール** 用意したプリントによって授業を行います。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。
- 履修上の留意点** 最初の授業時にドイツ語で読んでみたいものを書いていただきますので、あらかじめ考えておいてください。授業への積極的な参加を希望しています。また、3分の1以上休んだ場合は（遅刻と早退は2回で1回休みとみなします）、原則として定期試験の成績いかに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。
- 成績評価の方法** 定期試験（年2回）、出席率、夏期休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。
- 教科書** テキストはこちらで用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB	ほり 堀 うち 内 み 美 え 江	商2年	2

- 講義のねらい** このドイツ語の授業では、1年次に勉強した基礎的なドイツ語の知識を復習しながら、さらに会話、聞き取り、テキスト理解の能力をバランスよく訓練していきます。また教科書を通して、ドイツの大学生の視点からドイツの社会のさまざまな場面を眺め、日本とは違う文化と歴史を持つということはどういうことか、という異文化理解も促していきたいと思えます。
- 講義の内容・授業スケジュール** 皆さんの理解度を確認しながら、授業を進めていきます。会話の練習と文法の復習、新しい語彙の学習が各課の主な学習項目ですが、できるだけ皆さんの視覚資料（雑誌やビデオ、映画など）も使って行く予定です。
- 履修上の留意点** 1年次の学習内容を思い出ししながら、ゆっくりと授業を進めていきますので、まずは毎回出席を心がけてください。毎回会話や発話練習をしますので、あまり緊張せずにはっきりと声を出してみましょう。
また、授業には辞書を必ず携帯してください。質問はいつでも受け付けますので、授業内容以外でも、ドイツに関することならなんでもどうぞ。
- 成績評価の方法** 出席点と平常点、前後期のテストと課ごとの小テストの点数を組み合わせた総合評価となります。
- 教科書** 坂山真由美他著『自己表現のためのドイツ語2』（三修社）
- 参考書等** 随時授業中にご紹介します。

[フランス語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A	伊藤 ^{どう} なお	経A・商1年	2

講義のねらい

一年かけてフランス語文法の基礎を習得します。

講義の内容・授業スケジュール

日常よく使われる単語と表現を用いて基礎的な文法を体系的に学んでいくとともに、発音練習と音読に力を注ぎます。テキストにそって各文法事項を理解したうえで、聴き取り問題も含めた練習問題に取り組みます。またテキスト付属のビデオによってフランス文化の一端にも触れてもらいます。

履修上の留意点

授業にはただ出席するだけでなく、積極的に参加して下さい。毎回与えられる宿題を必ずしてから授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

平常点、小テスト、前・後期試験によって判定します。

教科書

太田浩一、明石伸子他『フランス語文法の《基礎》』（駿河台出版社）本体2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I B	遠 ^{とお} 山 ^{やま} 博 ^{ひろ} 雄 ^お	経A・商1年	2

講義のねらい

ある程度まとまったやさしい文章やスケッチを読み取り、発音できるようになること。

講義の内容・授業スケジュール

必要な文法事項の説明をしてから、辞書を使って応用していきます。リスニングと発音練習もあわせて行ないます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で取り組むこと。大きな声を出すこと。遅刻をして説明を聞きもらさぬこと。

成績評価の方法

筆記試験を2回行なうこと。その中にリスニングも含まれます。必要に応じて動詞の書き取りもあります。

教科書

中村敦子著『友だちとフランス語を』（白水社）2,520円 ISBN4-560-06060-6

参考書等

最初の授業で仏和辞典のガイダンスをします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA	小 ^こ 玉 ^{たま} 齊 ^{なり} 夫 ^お	経A2年	2

講義のねらい

中級程度のフランス語で書かれた、フランス語の新聞記事を、読んでいきます。自分自身の、日本あるいはフランス文化に対する思いを確定していく、そのきっかけになれば、という意図で、授業をすすめていくつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

初めは、文法的な事項の再確認を重視して、ゆっくりと読んでいきますが、後期からは、フランス語長文読解・把握の練習として、いささか速度を早めた読み方も試みてみます。可能であれば、フランス語の作文も、宿題として、書いてもらいます。

履修上の留意点

仏和辞典を駆使して、フランス語としての言葉のつながり方を理解するつもりで、授業に出ること。生活に必要な単語を、フランス語として、覚えること。特別の事情がないかぎり、毎回、授業に出ること。

成績評価の方法

宿題などの提出状態、前期・後期の試験によって、総合的に評価します。

教科書

滝川 等著 『やさしく読めるフランス語新聞 (2005年度版)』 (第三書房) 1,700円
ISBN4-8086-2675-6 C1085

参考書等

『現代和仏小辞典』(白水社)が、フランス語の単語を使えるようになるためには、便利です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA	沼 ^{ぬま} 倉 ^{くら} 広 ^{ひろ} 子 ^こ	経A2年	2

講義のねらい

辞書を使いこなして文章を読む力をつける

講義の内容・授業スケジュール

ビデオを見ながらフランス各地の風土や歴史を通してフランスの文化を知る

履修上の留意点

文法の勉強もするので、休まない事が肝要

成績評価の方法

前後期とも試験を行うが、平常点を大いに重視する

教科書

藤田裕二著 『彼女は食いしん坊 2 —フランス美味探訪の旅—』
朝日出版社 2,500円
ISBN-255-35166-X C1085

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡA	まえ だ のり かず 前 田 祝 一	商2年	2

講義のねらい

レベルを中級フランス語に設定します。したがって、一年生で学んだフランス語の後半部分を学習し直し、さらに豊かなフランス語の世界への参入を試みます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って進め、細かいニュアンスの把握にも挑戦しましょう。

履修上の留意点

初級フランス語ⅠA・ⅠBの単位の未修者は、自分で参考書などで勉強する覚悟でいて下さい。

成績評価の方法

基本的には前・後期のペーパー・テストで成績を評価しますが、授業中の課題や出席の状況にも配慮します。

教科書

『セクション・時事フランス語Ⅱ』（朝日出版社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡA	とお やま ひろ お 遠 山 博 雄	商2年	2

講義のねらい

辞書を使ってやさしいフランス語の文章を読み、発音すること。あわせて口語的な表現を覚えること。

講義の内容・授業スケジュール

1年次でやり残した文法事項の説明をまずすませ、その他の文法事項は復習したり追加しながら、辞書を片手に熟読していきます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席すること。

成績評価の方法

2回の筆記試験を行ないます。リスニングも含まれます。

教科書

浜名エレヌ著『ア・ラ・カルト』（駿河台出版社）2,625円 ISBN4-411-01336-3

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡB	すが や さとる 菅 谷 暁	経A2年	2

講義のねらい

教科書はフランスの最近の新聞や雑誌の記事をやさしく書き直したものです。フランス語を読む力を養うとともに、フランス文化についての理解を深めます。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験によります。

教科書

ボームルー著『セクション・時事フランス語』（朝日出版社）1,800円

そ の 他

毎回数人の担当者をあらかじめ決めておくので、その者は担当部分を正確に発音し、訳せるようにしておいてください。なお必要な文法事項は詳しく説明し、発音はカセットテープを利用して練習します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡB	はた なか ち あき 畑 中 千 晶	商2年	2

講義のねらい

リスニング力を強化しながら、フランス語でコミュニケーションする能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

初回の講義の際に年間スケジュールを配布します。

履修上の留意点

自宅学習とクラスでの活動を連動させることで、力が伸びていきます。宿題には必ず取り組むようにしてください。

成績評価の方法

前期末試験30%、学年末試験30%、平常点（宿題、小テストなど）20%、夏期休暇の課題10%、出席10%

教科書

中井珠子『コミュニケーションのためのフランス語リスニング入門（教科書版）』（白水社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡB	こ だま なり お 小 玉 齊 夫	商2年	2

講義のねらい

クレールさんの料理講義を読みながら、でもむしろ、フランス語を聞き取り、話し、書く力を養うことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

一週に一課を終わらせる、という速度で進んでいきます。

履修上の留意点

毎回出席して、その都度、新たな知識をたくわえていって下さい。覚えることは沢山あります。予習・復習も必要です。

成績評価の方法

平常の提出物、授業への「参加」の様子等、それに前期および後期の試験で評価します。

教科書

藤田 裕二 著 『彼女は食いしん坊 2』
（朝日出版社 2,500円）
ISBN4-255-35166-X C1085

中国語

中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・文型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかりと覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA-ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA-ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けて乗り切るということは絶対に不可能である。

中国語ⅡA

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1~2篇の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中区勇程度の語彙・文法・文型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内面的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

中国語ⅡB

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のⅡAに対し、ⅡBの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA-ⅠBに準ずる。

【辞書について】

- ・松岡榮志ほか『クラウン中日辞典』（三省堂） 4,000円
- ・上野恵司『基礎中国語辞典』（NHK出版） 3,500円
- ・武信 彰『プログレッシブ中国語辞典』（小学館） 3,500円
- ・相原 茂『講談社中日辞典〔第2版〕』（講談社） 6,500円

ここに挙げた以外にも、同規模あるいはさらに小型の、また中日・日中を1冊で間に合わせるような辞書が幾つか出版されているが、内容が粗雑であったり、古かったり、学習に必要な配慮を欠いていたりで、薦められない。なお、日中辞典は必携ではないが、以下のものが手元があれば重宝するであろう。

- ・北京・对外経済貿易大学『日中辞典〔第2版〕』（小学館） 7,000円 2002年
- ・倉石武四郎、折敷瀬興『岩波 日中辞典〔第2版〕』（岩波書店） 5,000円 2001年

○3年次以降も継続して学習する場合は、以下のうち、実際に手に取ってみて気に入ったものを選ぶとよい。かなり値が張るものが多いが、じっくりと親しみ使い込むほどに、大枚を叩いた以上の恩恵が身にしみるのもこれらの書である。

- ・相原 茂『講談社中日辞典〔第2版〕』（講談社） 6,500円
- ・伊地智善継『白水社中国語辞典』（白水社） 7,800円
- ・商務印書館・小学館『中日辞典』（小学館） 6,800円
- ・愛知大学『中日辞典〔増訂第2版〕』（大修館書店） 8,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	と 戸 張 嘉 勝 み た ひら よし かつ	経A・商1年	2
中国語 I B	三 田 村 佳 子 み た ひら よし かつ		

講義のねらい

発音（ピンイン＝中国語の表音ローマ字発音法）と基本文法を覚え、そして会話や文章の基本表現を習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①文字・語義・文法・表現などの面から日中両語を比較し、その異同を認識すると同時に学習上の注意事項や学習要領を覚える。
- ②発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などを反復練習する。
- ③文法は教科書の展開に従い、文型を解析する。文法を理解してから応用会話や作文練習を行なう。

履修上の留意点

出欠は成績に加味するので、欠席数の多い学生は単位をとるのが難しい。

成績評価の方法

前期と後期の中間試験、前期と後期の期末試験、授業態度や発表などの平常点と出席率によって評価する。

教科書

牧田英二・楊立明『新編 例文中心初級中国語』（同志社）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	み や 宮 本 厚 子 ち ん ちゅう しょう こ	経A・商1年	2
中国語 I B	陳 洲 拳 ちん しゅう けん		

講義のねらい

中国語で簡単な日常会話ができ、平易な文章が読めるようになることを目標に、基本的な短文の暗記と徹底した発音訓練をする。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめは発音をマスターするために、中国語の発音表記（ピンイン）を反復練習し、その後、文法事項を確認しながら多くの文章を読みこなしてゆく。

履修上の留意点

授業は真剣勝負の時間である。特に語学は積み重ねが大切なので、真摯な態度で授業に臨むこと。

成績評価の方法

前期・後期の試験、授業中の小テスト、出席率などを総合評価する。

教科書

陳洲拳・劉光赤・水野麗子編著『耳留学中国語』（陸美出版）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	釜屋修 <small>かまや おさむ</small>	経A2年	2

講義のねらい

I AB等で学んだ初級の内容を改めて確認し定着させることをめざす。テキストに初級テキストを用いたのはそのためである。このクラスでは口頭練習に力をいれる。

講義の内容・授業スケジュール

全員参加、全員出演を基本とする。

履修上の留意点

出席し、積極的に発声し、中国語の文法現象に興味と探求心を持ち、教師を質問で追いつめること。

成績評価の方法

学習態度とテストにより判断。

教科書

相原茂・陳淑梅ほか『恋する莎莎』（朝日出版社）2,625円 CD付。

参考書等

開講後に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	佐藤普美子 <small>さとう ふみこ</small>	経A2年	2

講義のねらい

中国語Ⅰで習った文法事項を復習しながら最後のユニットでは中国人が書いた文章を読めるように、段階的に学習を進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール

各課の本文は「暗記」、練習問題は「宿題」とし、翌週にチェックします。

履修上の留意点

ともかく「出席する」と、声に出して課文を復習することが大切です。

成績評価の方法

前後期末試験、出席点、暗記・宿題等の平常点を総合して評価。

教科書

董燕・遠藤光暁『読む中国語』（朝日出版社）2,310円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	李雲 <small>り うん</small>	経A2年	2

講義のねらい

講読と文法をかねたテキストを用いて、易しい読み物を通して中国語の発音、基礎的な文法の勉強を行う。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを使用し、だいたい3週間に2課の進度で授業を進めていく。

履修上の留意点

授業中、私語をしないこと。ちゃんと予習と復習をすること。

成績評価の方法

出席状況、日常の学習態度、並びに小テストによって成績評価を行います。

教科書

阪口直樹等『構造から学ぶ入門中国語』（朝日出版社）2,415円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	まつもと あつとし 松本 丁俊	経A2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

中国の故事や民話、人民の生活、新聞記事、名作等から講読や鑑賞にふさわしい文章を選び、難易度に応じて、優しい文章から順に学習。長文学習は、単に読解力の向上にとどまらず、中国人の生活、風俗習慣、ものの見方、考え方なども垣間みることが出来る。巻末に練習があり、短文を作る様に工夫されている。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とし、普段の授業中に、あてられた訳が出来ているか、練習をしているか、さらに出席状況も加味して、総合的に採点する。

教科書

陳榮生・頼石傳・蔡柱国『現代中文読本』（神保出版）1,650円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	まつもと あつとし 松本 丁俊	商2年	2

講義のねらい

初級中国語から一段あげた中級中国語のレベルに到達する事。

講義の内容・
授業スケジュール

単なる中国紹介ではなく、1人の女性の体験を通して中国にふれる。

1. 「重点」には、対話形式の例文
2. 「比較」には、類義語、類義表現
3. 「詞句」には、常用される多義語、関連表現
4. 「練習」には、ピンインの漢字変換、穴埋め、並べ替え、作文

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とし、通常授業中に発音のチェック、練習などと小テスト、さらに出席点を加味する。

教科書

荒川清秀・周閔『中国見たり聞いたり15章』（光生館）1,890円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	ふくち けいこ 福地 桂子	商2年	2

講義のねらい

自分で辞書をひいて、簡単な文章が読めることを目指す。
文法は中国語Ⅰで学んだ基礎を定着させ、さらに接続詞を使った複文表現を学ぶ。
中国語Ⅰに引き続き、正確な発音の練習に力を入れる。
中国の社会文化に対する理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

中国の最新事情を紹介した文章を読む。
文法事項を体系的に把握する。
下記の教科書を用い、だいたい2週間に1課の進捗で進めていく。

履修上の留意点

必ず予習してくる事。授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

期末テスト(前後期各1回)、小テスト、授業での発表内容(予習してあるかどうかを重視)、出席状況を総合して評価する。

教科書

山下輝彦『今日の中国トピック12』（金星堂）1,943円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	李雲	商2年	2

講義のねらい

講読と文法をかねたテキストを用いて、易しい読み物を通して中国語の発音、基礎的な文法の勉強を行う。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを使用し、だいたい3週間に2課の進度で授業を進めていく。

履修上の留意点

授業中、私語をしないこと。ちゃんと予習と復習をすること。

成績評価の方法

出席状況、日常の学習態度、並びに小テストによって成績評価を行います。

教科書

三宅登之・張国璐・石黒ひさ子『公式でわかる初級中国語』（朝日出版社）2,310円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	弘兼加奈子	商2年	2

講義の内容・授業スケジュール

中国人の生活を「出生」に始まり、「教育制度」や「結婚」等、8項目に分けて授業を行なう。翻訳が中心となるが、発音・声調も重視していく。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

池上貞子・張国璐『中国人の暮らし』（朝日出版社）1,995円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	岩崎皇	経A2年	2

講義のねらい

中国語の音声に慣れることが目標です。そのためには、大きな声で練習する必要があります。また、限られた回数で憶えてしまえるよう集中力が要求されます。

講義の内容・授業スケジュール

ビデオを利用しつつ、テキストに沿って練習していきます。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、クラブ活動等）により欠席する場合でも、6回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提とした上で、授業態度及び試験で判断します。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語北京篇2』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡB	平石淑子	経A2年	2

講義のねらい

初級で習得した事柄を実際にコミュニケーションの手段として活用できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

中国語の正しい発音の習得に力を入れ、あわせて中国語の表現方法（語順）を学ぶ。一週間に一課進むことを目標とし、随時小テストなどを実施する。

履修上の留意点

(1) 四分の三以上の出席を求める。(2) 必ず予習をしてくること。(3) 指定された宿題は必ずやってくること。

成績評価の方法

平常点（小テストを含む）、及び期末試験による。

教科書

塚本慶一監修 劉穎著『2年生のコミュニケーション中国語』（白水社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡB	弘兼加奈子	経A2年	2

講義の内容・授業スケジュール

空欄のある本文とドリル等から構成されているテキストを使用する。授業前にはCDを聞く等、必ず予習してほしい。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

相原茂・玄宜青『中国語スピーキング倶楽部』（朝日出版社）2,415円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡB	根岸政子	商2年	2

講義のねらい

1年次に習得した基本文法を復習しながら、身近な会話をもとにして「読む」「聞く」「話す」を中心とした中国語の習得をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

会話を中心としたテキストを使用し、3回で2課のペースで進めていく。

履修上の留意点

平常の反復練習が上達への鍵であるから、大きな声を出して何回も読むこと。必ず予習を行うこと。

成績評価の方法

前期後期の試験、小テスト、出席状況、授業への参加度などで評価する。

教科書

相原茂・郭雲輝・田禾『新概念・中国語会話 訊くが勝ち』（朝日出版社）2,310円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	張 宏 波 <small>ちやう こう は</small>	商2年	2

講義のねらい

一年次に習得した発音、基本構文を確認しながら、実用的な中国語表現を読み、聞き、話し、書くというコミュニケーション中心の授業をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に沿って基本的には二回で一課を進める。要領は以下の通りである。
 ・授業開始後10分間程度は、前回の内容を練習問題にして復習し、習得度を確認する。
 ・新出単語は授業前に予習しておく。
 ・基本項目を確認しながら、構文・会話を反復練習し、「いきた」中国語に「慣れ」る。

履修上の留意点

授業時のみの学習では大きな効果が上げられないのが語学学習である。まずは、授業に積極的に取り組み、自ら正しく発音し音を聞き分けられるよう、頭で理解するより大きな声で繰り返し練習する必要がある。それに加えて、授業外の時間には、使用頻度の高いセンテンスを暗唱できるようにし、付属CDを用いて予習・復習に活用する必要がある。

成績評価の方法

授業に取り組む姿勢、小テスト、出席率、期末テストの結果から総合的に評価する。

教科書

尹 景春・竹島 毅『新版 中国語さらなる一歩』(白水社) 2,200円

参考書等

推奨辞書は教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	松 本 丁 俊 <small>まつ もと あつ とし</small>	商2年	2

講義のねらい

基本動詞の意味合い、取るべき目的語など重点的に列挙し、中級中国語を足もとから固める。

講義の内容・授業スケジュール

中国から日本に来て感じた事を題材に、学生生活、日常生活からバイト先で得たさまざまな体験、日本社会において相手の不可解な反応に当惑し、違和感をもち、中国人と日本人の考えかたの違いを感じ取り、不安と模索のなかで日本を理解しようとする文を読む。毎課に動詞を取り上げ、使い方を説明。それに練習として3問の作文が実力向上に役立つ。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とし、通常授業の練習問題、発音などをチェック、又出席点を加味する。

教科書

牧田英二・楊立明『留学生的的心声』(同学社) 2,600円

[スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A	おまきのまさし 菟野 雅 司	経A・商1年	2

講義のねらい

スペイン本国のスペイン語に限らず、中南米で今日常用されているものも含めて、スペイン語の全体を概観することを狙いとしています。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って初級スペイン語を学習して行きますが、言葉のみでなく、出来るだけヒスパニック圏の人々の物の考え方や文化、習慣を学ぶことで、communication がより容易に行えるようになります。
さらに、このクラスはスペイン語の理解を促進するために、英語の語法との対比を常時行うことを特徴の一つとしています。

成績評価の方法

原則として年2回正規のテストを行いますが、総合的な成績の評価に当たっては、良くても、悪くてもテストの結果のみによってこれを行いません。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価します。

教科書

橋本定久他著『スペイン語の広場』（大学書林）

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A	かめやまこういち 亀 山 晃 一	経A・商1年	2

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I B	うえのかつひろ 上 野 勝 広	経A・商1年	2

講義のねらい

スペイン語の基礎（発音・文法・語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課～5課まで、後期は6課～10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。

履修上の留意点

少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。
また最低限の復習も欠かせません。

成績評価の方法

年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。

教科書

上野勝広『新世紀のスペイン語』（同学社）2,200円

参考書等

初回の授業で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠB	真下祐一 <small>ましも ゆういち</small>	経A・商1年	2

講義のねらい

世界中で用いられているスペイン語の初歩を学びます。読み書きの練習を通し文法や語彙に関する知識を少しずつ蓄えていながら、正確な発音で生き生きとした表現ができるよう、また話し相手の言うことが確実に理解できるよう、総合的なスペイン語能力の開発を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の目次に沿って進めます。はじめに各課のテーマについて解説を行い、次に練習問題によって理解を確実にします。

履修上の留意点

初級の授業ゆえ根気よく勉強を続ける必要があります。学習の動機を保てるよう常日頃スペイン語圏のニュースに注意していただきます。また、大きな声ではっきりと話す習慣が身につくよう積極的な姿勢で授業にのぞんでください。毎回かならずあたります。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストの結果で評価します。

教科書

西川 喬 『スペイン語の基礎』（第三書房）

参考書等

西和辞典を一冊。『改訂版現代スペイン語辞典』（白水社）など。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA	大岩功 <small>おおいわ いさお</small>	経A2年	2

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりとやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教科書

寿里順平他著『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）
教科書は教場で販売します。
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社）
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA	福本久美子	経A2年	2

講義のねらい

接続法・命令法を中心に基礎文法を全て終える。また訳読を通して現代スペインの社会や文化、政治、経済、教育などの基礎的理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

始業時に「授業方針」のプリントを配布する。

成績評価の方法

前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。

教科書

西川喬共著『スペインを知るために』（第三書房）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA	真下祐一	商2年	2

講義のねらい

一年次に学んだスペイン語の基礎を完成し、以降の学習につなげていくための授業です。復習にも力を入れましょう。読み、書き、聞き、話す四つの能力の総合的なトレーニングです。

講義の内容・授業スケジュール

前期 一年次の復習の後、接続法過去まで学びます。
後期 スペインの歴史や文化をテーマにした短いテキストを読みます。

履修上の留意点

予習・復習は欠かせません。また常にスペイン語圏のニュースに注意していること。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストの結果で評価します。

教科書

『基礎固めのスペイン語』荻野恵 サンティアゴ・マルティン 同学社

参考書等

西和辞典を一冊。『改訂版現代スペイン語辞典』（白水社）など

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA	上野勝広	商2年	2

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した基礎（発音・文法・語彙）を確認しながら発展させるクラスです。また日本文化をスペイン語でいかに表現するかについても触れてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課～4課まで、後期は5課～7課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。
またテキスト後半のエッセイを随時取り上げ、読解力の向上を図ります。

履修上の留意点

休まず遅れずきちんと授業に参加することが肝要です。スペイン語本文の音読や練習問題は、指名して読んだり答えてもらいます。原則的に毎回課題があり、翌週の授業でチェックします。

成績評価の方法

年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。

教科書

荻野 恵／サンティアゴ・マルティン『基礎固めのスペイン語』（同学社） 2,500円

参考書等

初回の授業で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡB	おお いわ いきお 大 岩 功	経A2年	2

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した内容をさらに発展させ、簡単な新聞記事などのスペイン語の原文を読めるようになることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習しながら、簡単な文章を読んでいます。その後、さらに新しい文法項目の学習と平行して、少しずつ複雑な文章の読解にチャレンジします。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、授業中に適宜行う小テストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教科書

国本伊代著『スペイン語でニュースを読む』朝日出版社

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社）
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡB	ふく もと くみこ 福 本 久美子	商2年	2

講義のねらい

接続法・命令法を中心に基礎文法を全て終える。また訳読を通して現代スペインの社会や文化、政治、経済、教育などの基礎的理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

始業時に「授業方針」のプリントを配布する。

成績評価の方法

前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。

教科書

西川喬共著『スペインを知るために』（第三書房）2,100円

ロシア語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキア語、セルビア語、マケドニア語等、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです。これからの国際化時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多に価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。

なお、一週間に学ぶロシア語の時間は現状では圧倒的に不足していますが、与えられた時間を最大限に有効に使うために次のような目標をたて、年間スケジュールで授業はすすめられます。

I A・I B：発音や聞きとり、発話を中心に学び、やさしい基本文法を一年間で修了させます。細目は以下の授業内容を参考にしてください。なお、一部のクラスはパソコンによるロシアサイトをリアルタイムでみたり、聞いたりする時間ももちます。

II A・II B：一年のI A・I Bのロシア語を基礎にさらに会話や聞きとり、読解力をつけます。また一年でやりのこした文法の能動・被動、副動詞、などの事項や、より複雑な文章を理解する練習をします。

なお、最後に参考として辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』（研究社）東郷正延他著
- 『露和辞典』（岩波書店）和 久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』（博友社）木村彰一他編
- 『和露辞典』（研究社）藤沼 貴著
- 『和露辞典』（講談社）佐藤 勇著

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A	大須賀 史和	経A・商1年	2
ロシア語 I B	木村 英明		

講義のねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。 4) 基礎的な初等文法を学びます。 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。 はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。
--------	---

講義の内容・授業スケジュール	2名の教員が、連携しながら、週に2回授業をします。前期は、イントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。
成績評価の方法	何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。
教科書	『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円+税
参考書等	『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 II A	木村 英明	経A・商2年	2

講義のねらい	1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ○アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。 ○日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。 ○やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。 ○かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。 ○中等文法のエッセンスを勉強をします。
成績評価の方法	出席と平常点を重視します。
教科書	『やさしいロシア語読本』(大学書林)。1年次に使用した教科書と文法表。
その他	プリント配布。教場にて指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 II B	木 村 英 明 <small>きむら ひであき</small>	経 A・商 2 年	2

講義のねらい

正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。
さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- ・日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- ・やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- ・かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- ・中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教 科 書

『やさしいロシア語読本』(大学書林)。1年で使用した教科書、および1年のときに渡した文法表。

そ の 他

プリント配布。

《再履修クラス》

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	まつ どう ひろ こ 松 堂 啓 子	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

基礎的な文法事項を確認しながら、表現力を高めていく。

履修上の留意点

出席を重視する。単位取得には、三分の二以上の出席が必要。

成績評価の方法

出席状況・小テスト・定期試験の結果を総合的に評価する。

教 科 書

English for your Future 1 (マクミラン・ランゲージハウス) ISBN4-89585-483-3

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	いわ い ひろ み 岩 井 洋 美	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

日常的な表現を用いて意志伝達できるようにします。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストの質疑応答、聞き取り、英作文を含む練習問題を行ないながら日常的な表現を覚え、自分のことを伝えることができますようにします。期末試験の他に前、後期数回の小テストも行ないます。

履修上の留意点

出席と熱心に取り組む姿勢を重視します。追、再試験、またそれに代わるものは実施しませんので遅刻、欠席をしないようにして下さい。

成績評価の方法

前、後期試験、小テスト、発表、出席を総合して評価します。

教 科 書

『NEW CROSSROADS 学んで楽しい会話作文』(マクミラン・ランゲージハウス)
2,100円 ISBN4-7773-6026-1

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	あさ かわ ま き 朝 川 真 紀	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

英文法の運用能力を磨き、英語のコミュニケーション能力を高めることを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

映画のスク립トに焦点をあて、そこで使われている実用的なフレーズを習得し、映画の内容に関してディスカッションを行います。

履修上の留意点

予習をしてくること。3分の1以上欠席した場合は単位を与えません。遅刻は授業開始30分以内まで認め、3回遅刻をすると1回欠席になります。

成績評価の方法

平常点、課題、定期試験を総合的に評価します。

教 科 書

『映画英語ワークショップ—漆塗り英語学習法で伸ばす総合運用能力—』(朝日出版社)
1,700円 ISBN4-255-15400-7

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	はなわ 美智子 みちこ	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

英語の運用能力養成をめざす。日常基本表現から多様な会話表現の理解と運用能力の養成をめざす。同時に文章表現も学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの中から多様な英語表現を習得する。日本語に訳さないで英語の表現として身につける習慣をつけていく。

履修上の留意点

辞書を使う場合も出来るだけ英英辞典を使う習慣を身につけていく。

成績評価の方法

日常の出席状況を重視し、普段の授業態度、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

『Effective reading & listening—Learning About Different Cultures— 読解・聴解のための効果的学習ブック』（松柏社）1,800円

参考書等

その都度黒板に板書し案内する。

その他

大切なことばを一つでも多く頭に入れ必要な時すぐに使える様に毎日の生活の中で英語のことばについても関心を持っているようにする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	よし え まさ お 吉 江 正 雄	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

英文の美しさを理解し、また広く、世界史や言語の成り立ちを学ぶ。尚、文法事項や構文についても詳しく説明するので、広い知識を身に付ける事ができるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

H.G.Wellsの“A Short History of the World”というテキストを通読する。まず辞書をひきながら丹念に英文を逐語訳することから始める。その後、それを誰が読んでもしっかりと日本語として理解出来る文章になるように指導する。

履修上の留意点

予習を必ずし、問題意識をもって授業に参加し、質問するようにして欲しい。また、評価の対象にもなるので、積極的に自ら発表をするよう努めて頂きたい。

成績評価の方法

前・後期試験の結果に、平常点（授業中での発表）を加味して評価する。出席点は無い。すなわち、学生は全時間数の三分の一以上出席して始めて受験資格（単位取得の資格）を得ることになる。

教科書

H.G.Wells 著『A Short History of the World（ウェルズの簡約世界史）』（こびあん書房）教室で販売する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	にしむら ゆうこ 西村祐子	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

基本的な英語の文章の聞き取りと基本的な英作文ができる訓練をコンピュータを使用して行う。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：聞き取り訓練 CD-Romの英語会話を聞きながら質問に答える形式で英語を学んでいく。
9-12月：作文訓練 作文の教科書を用いて、基本的な表現を学んでいく。英作文では実際にクラスの中でコンピュータでタイプしながら表現を学ぶ作業を中心にする。

履修上の留意点

コンピュータIDを必ず事前に習得しておくこと。MSワードを使うのでタイピングに慣れておくこと。

成績評価の方法

平常点による。

教科書

教場にて指定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	とのいけ かずこ 外池一子	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

日常生活の様々な場면을テーマにした会話の聞き取りを中心にリスニング力の向上と共に、それを基にスピーキングの力をつけることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

授業はテキストに沿って進めます。

履修上の留意点

予習は当然ですが、復習をきちんとすること。各レッスンのポイントとなる表現は必ず覚えること。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	高柳文江 <small>たかやなぎふみえ</small>	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

この授業においては、自分の思っていることを英語で如何に表現するかを、Writing だけでなく、Speaking 両面から出来るように成ることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

皆さんが度々出くわす様々な状況で自分の思っていることをどのように表現していくか、教科書の会話を通じて学びます。導入は Listening と Speaking により行われますが、あくまでも Writing に重点が置かれます。演習問題を中心に Writing は行われますがその問題に関する文法的な点にも及んで説明がなされます。

履修上の留意点

授業の内容上、予習は必ず必要です。単位を取るためには、2 / 3 以上の出席が課されます。座席指定

成績評価の方法

試験（前期試験・後期試験） 60%
平常点（出席、小テスト、提出物、授業への取り組み） 40%

教科書

“From Writing to Speaking”[作文から会話へ] 羽鳥博愛著
弓プレス ISBN4-8034-1128-X

参考書等

テープレコーダー使用

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	山晋 <small>ひやますすむ</small>	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

英語での受信・発信の基礎力習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 基礎を固める。(後期) 応用力を伸ばす。

履修上の留意点

私語厳禁。授業中何度も発言を求める。欠席・遅刻回数等は自己管理すること（問合せには応じない）。携帯電話を授業中に鳴らした者は退室。毎回小テストを行う。

成績評価の方法

小テスト、出席、授業参加、発表等の平常評価50%、前期・後期試験50%。全授業日数の3分の1以上を欠席した者は自動的に不合格。3回以上連続して欠席した場合は説明する文書と診断書等を提出（未提出者は名簿から削除）。

教科書

第一回目の授業で指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	岩原康夫 <small>いわはらやすお</small>	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

英語による日常的なコミュニケーション力の向上を狙いとする。そのために、一定の基本的な動詞の構文と用法を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらう。

履修上の留意点

学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。

成績評価の方法

前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける予習及び発表によって判断する。

教科書

Cultivating Writing Skills (朝日出版) 2,000円 ISBN4-255-15280-2

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	丸 小 哲 雄	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい	基礎英語に立ちかえりながら、速読ができるようにパラグラフの構成のあり方とそのコメント力の涵養に努めます。
講義の内容・授業スケジュール	リスニング・タイムを総合理解をとして、リーディング・タイムで日本文化論を読み、自己表現できるように発信型の能力も涵養してゆきます。レポート提出を課題とします。
履修上の留意点	私語厳禁
成績評価の方法	出席、平常テスト、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。
教科書	リーディング・テキスト：The Compact Culture（英宝社） リスニング・サブテキスト：Listening closer to English（英宝社）
参考書等	随時指示し、タイムリーな時事英語ニュース記事をコピーも配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	熊 沢 和 明	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい	平易な英文（手紙形式）を読んで、基本的な読解力を身につけると同時に、会話形式の表現を聞き取る能力をつけることをめざします。
講義の内容・授業スケジュール	リスニングおよび会話表現を習得するためのペアワークも行います。
履修上の留意点	語学トレーニングの科目なので積極的な参加姿勢を求められます。
成績評価の方法	平常点重視。ただし毎週単語の小テスト。年2回の期末試験を実施します。
教科書	Why Is That?（金星堂）
その他	月曜日・1時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	木 村 克 彦	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい	やや平易な英文を精読することにより、徐々に実際の運用面も補っていきたい。テキストには各課ごとに練習問題があるが、これらを、本文を再読せずに解ければ、最も望ましいであろう。また、適宜、「エコノミスト誌」や「フォーチュン誌」の記事も訳読してゆきたい。
成績評価の方法	基本的には、前・後期の定期試験によるが、それ以上に授業態度を重視する。私語厳禁。
教科書	『アクティブ・リーディング』（朝日出版社）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	江田 幸子	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

英語の基本的な構文の読み取り方を重点的にチェックしながら一ページ程度の英文を精読します。トピックの違う内容を15編読みます。今年度はハリウッド映画の内容を要約した英文を読みます。時折ビデオを観て話される英語を聞いてみます。各々に面白い映画が扱われているので、楽しく英文を読めたら、と思っています。

英語は一見平易ですが読解力をつけるのに勉強になる構文や表現法が使われていて、楽しく読みながら読解力をつけるのには適しているでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

クラスでは授業中が自宅学習のようにして英語学習を進めて行きますので必ずテキスト、辞書、ノートを持参して下さい。解らないところは授業中に辞書をひいて、皆で学習して解るようにしていきます。

成績評価の方法

再履修クラスは出席を特に重視します。ほとんど毎回、辞書を使いながら小テストをして平常評価点とします。前期・後期の期末テストよりこの平常点を重視して評価点を出していきます。10回行う小テストの内、上位5回分の成績の平均点を最終評価点とします。欠席回数が多い人は平均点が当然悪くなりますので注意して下さい。出席者には最低50点を出しますが欠席者は0点になります。

教科書

映画英語教育学会九州支部著『Every Movie Tells a Story：映画が語る現代社会』1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	牧野 正秀	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

再履修クラス故に過去において何らかの理由より、単位を修得できなかった人たちと思う。いかなる理由によりこのクラスに参加するにせよ、真面目に授業に取り組んでほしい。その上で、基本的な英語の再確認、再復習を重ね基礎の習得をねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

語学の授業は講義ではなく演習が中心なので、指名されたら必ず積極的に発表して下さい。

履修上の留意点

必ず予習して授業に参加してください。今日は自分の発表ではないのだと言わんばかりに雑談したり、居眠りを決め込まないように。

成績評価の方法

授業中の発表や予習の度合いといった平常点に、前、後期の試験結果を加味して総合的に単位を認定します。

教科書

開講時教室で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	石原 孝哉	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

このクラスでは国際共通語としての英語にスポットを当てます。具体的にはアメリカ、イギリスばかりでなく、オーストラリア、インド、ドミニカ、ナイジェリアなど世界各地で使われている英語を、短編を教材にして学びます。教科書は全て英語、練習問題も英語なので英英辞典があると便利です。

成績評価の方法

成績は中間試験、期末試験のほかレポート等から総合的に評価し、出席を重視します。

教科書

The Whole Story (南雲堂フェニックス) 1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I B 〔再クラス〕	まなご ひさあき 真 砂 久 晃	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい	英文読解の基礎力をつける。
講義の内容・授業スケジュール	初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。
履修上の留意点	出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。
成績評価の方法	成績 = (前期の成績 + 後期の成績) ÷ 2 前期、後期共、成績は(100点満点) = 出席点(20~30%) + テスト(70~80%)となる。
教科書	<i>A Guide to Effective Reading</i> (金星堂) 1,900円 + 税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I B 〔再クラス〕	たかやなぎ ふみえ 高 柳 文 江	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい	英文の逐一の翻訳ではなく英文を速やかに、かつ、正確に理解する事をめざします。
講義の内容・授業スケジュール	簡潔な文章を基に現代アメリカの文化と社会を色々な角度から考察します。授業ではReadingだけでなくListeningにも重点が置かれ、章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法についての演習問題により、更なる理解を深めるよう構成されています。
履修上の留意点	授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には2/3以上の出席が要求されます。座席指定。
成績評価の方法	試験(前期試験、後期試験)60%、日常点(出席、小テスト、提出物、授業への取り組み等)40%。
教科書	第1回の授業において発表します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I B 〔再クラス〕	くまざわ かずあき 熊 沢 和 明	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい	平易な英文(手紙形式)を読んで、基本的な読解力を身につけた上で、同時に会話表現を聞き取る能力をつけることをめざします。
講義の内容・授業スケジュール	訳読だけでなく、リスニング、ペアワークなどを含んだトレーニングの方式となります。
履修上の留意点	毎回の出席と参加を求めます。メールを利用した指導も対応します。
成績評価の方法	総合評価。単語小テスト、年2回の期末試験実施。
教科書	<i>Why Is That?</i> (金星堂)
その他	土曜日・3時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	近藤 真 彫 こん どう ま ほり	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

時事問題を扱った英文を読んで、ニュース記事の読解力をつけながら、その内容について意見が述べられるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

新聞やインターネットのニュースサイトからの記事を用い、単語や表現に注意しながら読解する。その上で、英語での意見の表現法を学び記事内容について話し合う。

履修上の留意点

必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

定期試験の成績と通常点で総合的に評価する。

教科書

授業で配布するハンドアウトを使用する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	飯沼 好 永 いい ぬま よし なが	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

様々な英語の文章を読みながら、より正確な内容理解と、それに必要な基本的な文法事項も合わせて習得することに努める。

履修上の留意点

リーディングの力を向上させるには、多くの英文に触れることが大切であるが、受身の姿勢では、自己の英語力を向上させることは難しいので、積極的に授業に参加してください。特に英語に対して苦手意識のある人は、予習に力を入れてください。

成績評価の方法

出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）

教科書

Reading Landmarks of the world（三修社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II A 〔再クラス〕	菅原 のりこ すが わら のり こ	経A・商3・4年	2

講義のねらい

ウィットとユーモアあふれる短編を題材に、英語の運用能力向上をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進めながら、練習問題もやっていきます。

履修上の留意点

授業は予習をしてくること。

成績評価の方法

前期後期の試験の結果をベースに、日常の発表、出席状況、小テスト、態度等を入れて総合的に評価します。

教科書

L. A. Hill、安藤賢一 *Witty Tales—Readings and Exercises—*（成美堂）1,680円（税込）
ISBN4-7919-4032-6 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	おお たら みちこ 太田美智子	経A・商3・4年	2

講義のねらい

コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

英語の歌を素材として、様々な表現を幅広く学ぶ。広範な基本フレーズを覚えることにより、状況に合わせて応用できる基礎力を培うべく、多くの表現方法を身につける。

履修上の留意点

必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持つ。単に椅子に座しているのみで、授業参加していない場合には出席とはみなさない。

成績評価の方法

平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。

教科書

Say It In Song (マクミラン・ランゲージハウス)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	おか さき としいちろう 岡崎寿一郎	経A・商3・4年	2

講義のねらい

語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席 (50%)、前期試験に代わる夏季レポート (25%)、後期試験 (25%) の総合評価とします。

教科書

長谷川潔 編注『ことばのはじめ』(金星堂) 1,400円

その他

月曜日・5時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	さ とう えりこ 佐藤江里子	経A・商3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを基本とし、演習形式で授業を進めていく。その他に補足プリントを配布し、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力を身につけることをめざす。

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。各自目標をもって積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

前期後期試験 (50%) と平常点 (50%) による総合評価。なお、全授業日数の3分の2以上を出席しなければ、試験を受けることができない。平常点には出席状況、授業態度が含まれる。

教科書

教場にて指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	岡崎 寿一郎 <small>おか ぎき としちろう</small>	経A・商3・4年	2

講義のねらい

語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）の総合評価とします。

教科書

岡崎寿一郎『禅と日本文化』（太陽社）1,470円

その他

火曜日・4時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	塚本 利男 <small>つかもと としお</small>	経A・商3・4年	2

講義のねらい

絶えず文法・語彙などの知識の増強を図りながら、英語で考えて、英文を書けるように英作文の練習を通して作文力を向上させることが、この講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

1回の授業で1Unit（3～4ページ）を学習します。第一部、英文を書く時に注意すべき重要事項、第二部、パラグラフの書き方、第三部、各種書式の書き方までを読み終えたいと思います。毎回、授業の総仕上げとして、英語表現力の実践の場になるように現実に議論や論争を巻き起こし易い題名（例えば、高齢化社会、体罰が必要か、死刑制度など）で小論文を書いて提出してもらいます。

履修上の留意点

授業の予習をして下さい。

成績評価の方法

授業における発表・小論文と前・後期の定期試験に基づく。特に、平常授業を重視しますので、全授業の3分の2以上は、必ず出席して下さい。

教科書

『基礎からパラグラフ・ライティングへ』（成美堂）1,600円＋税
ISBN4-7919-5037-2 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	太田 由紀子 <small>おおた ゆきこ</small>	経A・商3・4年	2

講義のねらい

アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの『自伝』を教材とすることで、様々な種類の英語表現に親しむ。また彼の監督・主演映画の鑑賞を通じて会話やナレーションに馴染み、自ら応用できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

『自伝』や映画から得られるいろいろの英語表現：具体的には状況説明文、意見や感想文、手紙、会話などをまず理解し、次にこれを応用して自己表現力を養う。

履修上の留意点

予習・復習をすること。

成績評価の方法

授業時の応答、前期・後期の試験結果を総合する。

教科書

Charles Chaplin, *My Autobiography* (Penguin Modern Classics Non-Fiction) UK £9.99
ISBN: 0141011475

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	矢島直子	経A・商3・4年	2

- 講義のねらい 教科書を使って、英語を聞く力と表現する力をつけるような勉強をします。
- 履修上の留意点 毎回授業でどんどん当てますから、辞書を引いて意味が分かるようにしてから、授業に出席して下さい。
- 成績評価の方法 平常点と前期末・後期末試験の結果を総合して成績をつけます。全出席数の3分の1以上欠席すると、原則として受験できません。
- 教科書 最初の授業で知らせます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	相馬美明	経A・商3・4年	2

- 講義の内容・授業スケジュール IAの英語を基礎として、様々な英語の運用能力(発話・読解・聴解)を身につける。また、様々な検定試験などにも対応すべく、TOEIC、TOEFLのリスニング・セクションの問題等にも触れ、聴解力を高めてゆく。
- 成績評価の方法 出席に関しては、基本的に全出席を期待し、前期・後期に行う試験、および授業で課すレポート、また授業態度等を総合的に評価する。
- 教科書 開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	川島弘之	経A・商3・4年	2

- 講義のねらい 英語を楽しんでもらうことを目指す。
- 講義の内容・授業スケジュール 学生が強い関心と興味を抱いているロック音楽を教材として使う。学生にもロック音楽等のリクエスト曲を出してもらおう。現代の若者にとって、ロック音楽の歌詞はかつての英詩にとって代るものであり、現代詩の一翼をになっている。その歌詞の中には「生きがい」や「Love」についての深い考え方や感性がこめられているので味わってもらいたい。
ロック音楽を通して、人間の心が揺さぶられ、英語音声の感性が磨かれ、人間と社会、人間と自然、人間と人間を見る眼が深まることを望む。
- 履修上の留意点 他の学生の発表に関心、興味、理解を抱くよう努力することを望む。
- 成績評価の方法 他の学生の発表に関心をもつこと、日常の発表、レポート、前後期の定期試験等、総合的に評価します。前期のテストは英語の歌を歌うことで行うこともできる。授業の欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。
- 教科書 『ロックの心』(大修館書店) 1,339円 ISBN4-469-24066-4
その他 DVD の映像を使用する。
- 参考書等 『ロックで読むアメリカ』(近代文芸社)
『ロックの意味』(草思社)
『ロック・ミュージックとアメリカ』(シンコーミュージック)
『ロック音楽と現代社会』(マクミラン・ランゲージハウス)
- その他 DVD の映像を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	まちだ なおこ 町田尚子	経A・商3・4年	2

講義のねらい

英語ⅡAの履修に再挑戦するにはそれぞれ異なる理由がある、と考えています。英語は次の10年間で、世界の3人に一人が学習する言語になるだろう、といわれています。好むと好まざるにかかわらず、共通語としての英語に付き合わざるを得ないでしょう。もし不幸にも苦手意識が英語学習の妨げとなっているとしたら、それを払拭する手助けをするのが、この授業です。英語と日本語の言語構造上の違い、発想の違いに注目しながら、英語での意思疎通を習得します。英文メールの書き方を手はじめとする予定です。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容を読み、この授業で再挑戦を決意して、第一回目の授業に出席した方の意向を、アンケート等で把握し、使用教材・テキストと具体的な授業の進行方法を決める予定です。

履修上の留意点

プリント教材は前もって渡します。疑問点を持って授業に臨んでください。欠席する場合はメール等で連絡してください。プリント教材、課題等の指示をします。連絡変更事項はKOMSYの講義内容詳細修正に記載します。必ず確認すること。

成績評価の方法

授業中の小テスト、質問への解答成績を平常点とし、中間・定期試験の成績と同等の扱いとして成績評価点数を出します

教科書

教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	みうら まり 三浦真理	経A・商3・4年	2

講義のねらい

英文によって異文化理解、コミュニケーション論等を題材にした英文を読み、国際ビジネスにおける習慣やマナー、エチケット等を身につけ、実践的なビジネス英語を学習します。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進め、基本的な英語読解力、単語力、思考力を身につけることを目指します。また、実践的なビジネス会話の聞き取りをおこないます。

履修上の留意点

受験は予習を必ずしておくこと。

成績評価の方法

日常の発表、出席重視し、小テスト、前期、後期の試験の結果を総合して評価します。

教科書

Global Understanding Success in International Business (成美堂) 1,785円
ISBN4-7919-4066-0

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	やま ぎし 山 岸 じ ろう 山 岸 二郎	経A・商3・4年	2

講義のねらい	ひとつのまとまった考えや意見を英文で表現できるようにする。
講義の内容・授業スケジュール	上記の目標達成のために、比較的短い英文を、語順に注意しながらある程度の量を学習し、同時に文法事項の整理を行なう。ここで行なう短文の学習量が、パラグラフ・ライティングの質を左右することになる。
履修上の留意点	予習を欠かさない。予習範囲内の小テストも行なう。
成績評価の方法	平常の学習を重視する。小テスト及びテスト等総合的に評価する。
教科書	未定。
参考書等	教室で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	さ とう えりこ 佐 藤 江里子	経A・商3・4年	2

講義の内容・授業スケジュール	テキストを基本とし、演習形式で授業を進めていく。スピード・リーディングはもちろん、リスニングの力を向上させるため、毎回テープを使ったリスニング演習も行う。
履修上の留意点	必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。各自目標をもって積極的に授業に参加すること。
成績評価の方法	前期後期試験（50％）と平常点（50％）による総合評価。なお、全授業日数の3分の2以上を出席しなければ、試験を受けることができない。平常点には出席状況、授業態度が含まれる。
教科書	教場にて指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	は せ がわ こう いち 長谷川 公 一	経A・商3・4年	2

講義のねらい	平易な英文を正確に読むことによって、読解力の向上を目指します。また、ガンジーの＜非暴力＞の理念は、開発途上国インドが、宗主国であるイギリスに対し、清廉潔白、正直、真実の表明などの徳目の面で優位に立つというねらいを持った現実主義の側面もあります。つまり、読解力の向上と、国際政治の中でのインドの植民地としての行動についての学生の理解という一石二鳥の効果をねらいました。
成績評価の方法	出席率プラス前後期2回のテストによって採点します。
教科書	『ガンジーその不滅の生涯』（英潮社）本体価格590円
その他	月曜日・4時限目

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	川手浩一 <small>かわ て ひろ かず</small>	経A・商3・4年	2

講義のねらい	現代アメリカの文化と社会をいろいろな角度から考察し、ひいては我が国の将来の方向を模索する手がかりになればと考えている。
講義の内容・授業スケジュール	カリフォルニア、テキサス、ニューイングランド等の地域的なものから、日常的な衣食住に至る多様な局面を扱っている。
履修上の留意点	授業は予習してくること。
成績評価の方法	日常の学習を重視し、試験の結果を入れて総合的に評価します。
教科書	『Looking at America 素顔のアメリカ』（誠美堂）1,600円 ISBN4-7919-4009-1 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	太田美智子 <small>おお た みちこ</small>	経A・商3・4年	2

講義のねらい	コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	テキストに沿って授業をすすめる。時にはプリントや映像を使用する。
履修上の留意点	必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持つ。単に椅子に座しているのみで、授業参加していない場合には出席とはみなさない。
成績評価の方法	平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。
教科書	<i>Animal Watching</i> (南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	長谷川公一 <small>はせがわ こういち</small>	経A・商3・4年	2

講義のねらい	まず第一に、やさしい英文を正確に読む力、つまり読解力の向上を最重視します。次に、非暴力による抵抗運動の旗印の下に、1950年代のアメリカで黒人に対する差別撤廃運動を率いて、歴史的な大成果をおさめた黒人キリスト教牧師マーチン・ルーサー・キング師の生涯を理解することに力点を置きます。キング師はキリスト教の隣人愛、同胞愛の立場から公民権運動をくりひろげ、黒人のみならず、白人の人達にも多大の影響を与えました。
成績評価の方法	出席率+前後期2回のテストで評価します。
教科書	『マーチン・L・キング』（桐原書店）400円
その他	月曜日・5時限目

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	田中保	経A・商3・4年	2

講義のねらい	英文の構文を理解し、読解力を培う。また、大意の把握にも心がけ、読む速度を高めていくように学習をする。
講義の内容・授業スケジュール	授業はテキストにそって進めますが、予習を前提とした発表形式によって行ないます。
履修上の留意点	必ず予習をして授業に臨むこと。
成績評価の方法	授業時の発表・前期後期の試験・出席・レポート等を総合的に検討して評価します。
教科書	『数が語る世界』(南雲堂) 1,800円 ISBN4-523-17218-8

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	落合和昭	経A・商3・4年	2

講義のねらい	このクラスのレベルは英語の中級(英検準二級、二級、準一級)程度とし、現代口語英語で書かれた文章とヒヤリングを通して、口語表現に慣れ、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験(英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等)の受験準備にも役立つようにする。
講義の内容・授業スケジュール	一回の講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階は、ヒヤリングや書き取りのなかで使用されている慣用表現の意味や用法を、テキストを通して、確認する。第四段階は、学生に会話文の発音練習をしてもらう(一人でする場合と、対話形式の場合がある)。
履修上の留意点	授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。
成績評価の方法	前・後期定期試験が全評価の40%、課題・授業中の発表・小テスト等が60%(課題は年間約20回程度提出。授業中の発表等に関しては、一回の授業中に、最低一回は当てるつもりでいる)。出席率が3分の2を越えなければ、成績は「不可」とする。
教科書	Longman Pocket Phrasal Dictionary 1,480円 ISBN0582776422 『コミュニケーションのための口語英作文』(成美堂) 1,600円 ISBN4-7919-5026-7 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	川股陽太郎	経A・商3・4年	2

講義のねらい	IBを基礎として英語の読解力をやしなう。
講義の内容・授業スケジュール	より高度な英語の読解力をやしなうと同時に、大意把握の練習をする。随時、視聴覚教材(VHS、DVD、PC等)を使用し、プリント教材は適宜配布する。
履修上の留意点	3分の2以上出席し、授業に参加すること。
成績評価の方法	発表と小テスト、および定期試験の成績を総合して評価する。
教科書	未定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	まち だ なお こ 町 田 尚 子	経A・商3・4年	2

講義のねらい

英語ⅡBの履修に再挑戦するにはそれぞれ異なる理由がある、と考えています。英語は次の10年間で、世界の3人に一人が学習する言語になるだろう、といわれています。好むと好まざるにかかわらず、共通語としての英語に付き合わせるを得ないでしょう。もし不幸にも苦手意識が英語学習の妨げとなっているとしたら、それを払拭する手助けをするのが、この授業です。英語と日本語の言語構造上の違い、発想の違いに注目しながら、英語で書かれたニュース記事や特集記事を読む予定です。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容を読み、この授業で再挑戦を決意して、第一回目の授業に出席した方の意向をアンケート等で把握し、使用教材・テキストと具体的な授業の進行方法を決める予定です。

履修上の留意点

プリント教材は前もって渡します。疑問点を持って授業に臨んでください。欠席する場合はメール等で連絡してください。プリント教材、課題等の指示をします。連絡変更事項はKOMSYの講義内容詳細修正に記載します。必ず確認すること。

成績評価の方法

授業中に担当した要旨等の発表内容、質問への解答をA-D4段階で評価する平常点と中間・定期試験成績を同等の扱いとし、成績評価点数を出します。平常評価の素点換算はAプラス=90以上、A=85、A マイナス=80、B=79-70、C=69-61、D=60です。通年で5回が発表担当の最低基準です。

教科書

教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	ほん ま とし かず 本 間 俊 一	経A・商3・4年	2

講義の内容・授業スケジュール

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書

Checknote For Business Trends (金星堂) 1,100円 ISBN4-7647-3717-5

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	やまがた 山 縣 裕	経A・商3・4年	2

講義のねらい	大学生にふさわしい質と量の英単語・熟語を修得し、同時に日本人のおかしやすい英語のミスを学んでいく。
講義の内容・授業スケジュール	英単語・熟語集とテキストを併用する。小テストも行う。
履修上の留意点	予習をしてくること。辞書を持ってくること。
成績評価の方法	平常点・小テスト・定期テストを総合的に評価する。
教科書	『日常会話に役立つ英語ミニ知識』（成美堂）1,700円 ISBN4-7919-4071-7 『データベース5500』（桐原書店）950円 ISBN4-342-01330-4

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	てじま 手 島 敬 子	経A・商3・4年	2

講義のねらい	本科目では「英文読解力向上」を目標に出来る限り多くの英文を読むことで英文に慣れ、読解力および読解速度を引き上げることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	テキストは比較的平易な英語で書かれたものを使用し、短時間に効率よく、また的確に内容を読み取る練習を行っていきます。
履修上の留意点	英和辞典を必ず持参。
成績評価の方法	中間、定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などに基づき総合的に行います。
教科書	開講時指示

〔ドイツ語〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I A	し ま 真 斗 美 恵	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

ABCの発音からはじめて、ドイツ語の初級文法の基礎を学習します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にしたがって、文法事項を説明した後、その内容を理解するための練習問題を課し、提出していただきます。

履修上の留意点

さまざまな理由で再履修になった方、編入学した方が受講していると思います。授業に参加していれば理解できる内容です。新しい語学を覚えるのは楽しいことです。休まず出席してください。

成績評価の方法

平常点（毎回の練習問題の提出・小テスト）と前・後期試験で総合的に評価します。

教 科 書

清水薫著『ドイツ文法・100語の世界』（同学社）2,300円

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I A 〔再クラス〕	い 井 村 行 子	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎を復習します。

講義の内容・授業スケジュール

基本的な文法事項を説明しながら、簡単な問題を練習します。

履修上の留意点

なにはともあれ出席を心がけてください。

成績評価の方法

学期末に試験を行います。場合によっては授業内に小テストを行うかもしれません。

教 科 書

教科書販売時までに決定して、書店の方に連絡しておきます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I A 〔再クラス〕	やぶ した こう いち 数 下 紘 一	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

昨年はドイツ語と戦って負けましたね。今年こそI Aの単位を取りましょう。

講義の内容・授業スケジュール

教科書はまだ未定ですが昨年とは別でしょうから気分を変えてもう一度挑戦しましょう。文法むずかしいですが、外国人が日本語を習うのもどんなに苦しいかを思ってください。彼らも苦勞してますよ。

履修上の留意点

是非休まず出席して下さい。1回でも休むとわからなくなります。

成績評価の方法

成績は、前期・後期の試験と平常点で決めます。

教 科 書

教科書は4月の1講日に決めます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	もと ほん 橋 右 京	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい	やさしい文章を読みながら、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得します。
講義の内容・ 授業スケジュール	文法を初めから復習し、場合によっては補足します。文法によってドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに練習問題で以って、理解を確実なものとしします。
履修上の留意点	予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。
成績評価の方法	前期後期の試験や出席などで総合評価します。
教科書	諏訪田清『新訂・ドイツ文法18歩』（同学社）2,200円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	いい づか きみ お 飯 塚 公 夫	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい	正規の授業と同じで、ドイツ語の基本を振り出しからやっていますが、発音と内容の読み取りを重視します。
講義の内容・ 授業スケジュール	教科書通りに、文法説明・発音練習・文章の読解といった手順でやっていきます。
履修上の留意点	出席ただけでは単位になりません。日常から頭をきりっとして生きている必要があります。あとはまじめであれば十分です。
成績評価の方法	前期後期各一回の筆記試験と平常点（＝発表点）。
教科書	荻野歳平他著『ビデオ教材 ドイツこころのふるさと ビデオで学ぶメルヘンと伝説』（朝日出版社）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	堀内 美江	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

簡単な会話やヒアリングを取り入れながら、文法や語彙の学習もバランスよく取り入れた学習を行います。
またドイツ語を通して、日本とは違う環境や文化、歴史や人々の生き方なども経験していただきたいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

皆さんの理解度にあわせて、ゆっくりと確実に学んでいきます。会話を通じた発話練習と文法習得、そしてヒアリングが各課の学習項目となります。機会を見て、視聴覚資料も導入する予定です。

履修上の留意点

語学は特に最初はやはり、出席すればするほど理解度もアップします。とにかく出席しましょう。
辞書とノートと教科書は必ず持ってくる。わからないことがあったら、どうぞすぐに質問してください。

成績評価の方法

出席点と平常点、前後期の試験および適宜導入する小テストを加えた総合評価を行います。

教科書

秋田静男他『ドイツ語インフォメーション』（朝日出版社）

参考書等

授業中に機会をみてお伝えします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	本橋 右京	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがって、やさしい文章をできるだけ多く読み、運用能力の涵養を期します。

講義の内容・授業スケジュール

文法を初めから復習し、場合によっては補足します。文法によってドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに練習問題で理解を確かなものとしします。

履修上の留意点

テキストには丁寧な練習問題が用意されています。しっかり予習して授業に臨んでください。予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

小黒・日野・佐藤 『ともかく話そうドイツ語』（郁文堂）2,500円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	井村 行子 <small>いむら ゆきこ</small>	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい	ドイツ語の基礎を復習します。
講義の内容・ 授業スケジュール	文法事項を確認しながら、簡単なテキストを読んでいきます。
履修上の留意点	なにはともあれ出席を心がけてください。
成績評価の方法	学期末に試験を行います。場合によっては授業内に小テストを行うかもしれません。
教科書	『ドイツ語70』（三修社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 II A〔再クラス〕	森 公 成 <small>もり こうせい</small>	経A・商3・4年	2
ドイツ語 II B〔再クラス〕			

講義のねらい	ドイツ語 I A と I B を基礎とし、それを実践的に発展させる授業です。文法の復習をしながら、総合的なドイツ語能力の向上をめざします。
講義の内容・ 授業スケジュール	一年をかけて下記の教科書を終わらせます。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。
履修上の留意点	授業への積極的な参加を希望します。また、3分の1以上休んだ場合は（遅刻と早退は2回で1回休みとみなします）、原則として定期試験の成績いかに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。
成績評価の方法	定期試験（年2回）、出席率、夏期休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。
教科書	Susanne Schermann／篠原敏昭／岡田恒雄『CD付きドイツ語万華鏡』（三修社） ISBN4-384-13079-1 C1084

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 II A〔再クラス〕	本橋 右京 <small>もと はし うきょう</small>	経A・商3・4年	2
ドイツ語 II B〔再クラス〕			

講義のねらい	やさしい文章を読み、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得します。
講義の内容・ 授業スケジュール	初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んでゆきます。その際、ローリングプレイなどを折り込みます。基本表現はできるだけ覚えましょう。
履修上の留意点	テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。
成績評価の方法	前期・後期の試験や出席などで総合評価します。
教科書	山本淳 『新・じゃあ、またあした!』（同学社）2,500円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕 ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	おがもとときこ 岡 本 時 子	経A・商3・4年	2

講義のねらい

これまでに学んだドイツ語を復習しながらドイツ語の基礎力を更に高めていくことが授業の主たる目標ですが、ドイツ語圏の文化や歴史等単なる語学学習以外の点にも目を向けていきたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

授業の具体的な内容と進度は履修者のドイツ語力や関心に応じて決めていきます。

履修上の留意点

この授業の評価は能力検定のように皆さんのドイツ語の実力を評価するのではなく、あくまでもこの授業において皆さんが学んだことを評価するものですので、授業にきちんと出席することが大切です。

成績評価の方法

成績は年間を通しての出席状況と前期後期の計2回の試験の結果を総合して評価します。その他積極的に授業に参加・貢献した場合にも前向きに評価します。

教 科 書

開講時に指定します。

参 考 書 等

必要に応じて授業中に説明します。

〔フランス語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	まえだのりかず 前田 祝 一	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

初めてフランス語を学習するものとして、ABCの基礎から開始します。

講義の内容・授業スケジュール

練習問題をくりかえし教室で実践して、その積み重ねで少しずつ理解を深めてもらいます。

履修上の留意点

毎週の授業が、その前までの学習成果の上に乗っての新しい項目の勉強ですから、決して欠席しないこと。欠席を重ねると取り残されてしまいますから、ご用心。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績評価をしますが、出席状況や教室での課題の消化状況にも配慮します。

教科書

『新フランス文法要説』（朝日出版社）2,000円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	あしはらけん 芦原 眷	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

教科書

野村二郎著『キャロット』（白水社）1,325円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	こだまなりお 小玉 齊 夫	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語の規則を、しっかりと覚えていきます。辞書を活用し、読み方を確実にして、簡単なフランス語文を読み解けるようになることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

一回の授業で、一課を学習する、という速度で、進んでいきます。各課終了時に、まとめとしての小テストを行い、より確実な記憶・学習をめざします。

履修上の留意点

特別な事情がないかぎり、毎回必ず出席すること。知識の確認を、授業のたびごとに、行うこと。

成績評価の方法

上記の小テストならびに前期・後期の試験によって、判定します。

教科書

佐藤 久美子 等 著 『アベセデ フランセ』
（白水社）2,500円
ISBN4-560-06054-1 C3085

参考書等

辞書については、初めの授業時に、説明します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A 〔再クラス〕	菅原 猛 <small>すが わら たけし</small>	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

英語以外にも外国語を一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。

講義の内容・
授業スケジュール

1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。

履修上の留意点

教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。

成績評価の方法

再履修クラスですから、欠席は許されません。年2回の定期試験の他、授業時間内に行う平常試験の成績を重視します。

教科書

久富健『基礎入門、タブロー・グラメール』（朝日出版社）2,200円
ISBN4-255-35137-6 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A 〔再クラス〕	谷川 かおる <small>たに がわ</small>	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語の基礎をゆっくりと学び直します。

講義の内容・
授業スケジュール

文法の基礎を学んだ後に、なるべく数多くの練習問題を行い、基礎力を養います。毎回、小テストを行い、重要な項目を暗記します。

履修上の留意点

出席重視。辞書は毎回持参すること。

成績評価の方法

前期・後期試験、および小テストなど。

教科書

太田『フランス語文法の〈基礎〉新訂版』CD付（駿河台出版社）2,500円

参考書等

授業中に紹介する。

その他

全員参加の演習方式ですので、積極的に参加してください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I B 〔再クラス〕	菅谷 暁 <small>すが や さとる</small>	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

初歩のフランス語を、コミュニケーション能力の学習に力点を置いて勉強します。

履修上の留意点

休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験、および小テストによります。

教科書

藤田著『彼女は食いしん坊！』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	いま せき 今 関 アン	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい 一年時に習得できなかった箇所を確実なものにし、フランス語検定5級程度の力を付ける。

講義の内容・授業スケジュール テープの聞き取り、単語調べ、その場での会話訓練および訳読、練習問題など。

履修上の留意点 2/3の出席は最低条件である。なお教科書・辞書も携行せず、漫然と椅子に座っていて出席点を貰おうなどと考えるのは言語道断である。予習し、積極的に授業に参加し、課題の提出を持って初めて出席と見なす。就職活動・疾病などでやむを得ず欠席する場合は、出席に相当する課題を出す。

成績評価の方法 2/3以上の出席(25%) + 夏休みの課題『ふらんす夏休み学習号』白水社の実力テスト(25%) + 前・後期定期試験(50%)

教科書 清岡智比古著『ボンボン・ショコラ』(白水社) 2,100円

参考書等 仏和辞典、『ふらんす夏休み学習号』(白水社)(7月中に大学内紀伊國屋書店で購入)
清岡智比古著『フラ語入門、わかりやすさにもホドがある』(白水社) 1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	い とつ 伊 藤 なお	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい フランス語の基礎を学習しながら、実用に適した知識を身につけます。

講義の内容・授業スケジュール 必要な文法事項を解説し、日常会話と練習問題によってフランス語表現の習得と定着を図ります。音としてのフランス語に馴染んでもらうため、簡単な会話練習を盛り込んだ問題にも取り組みます。また、テキストの文化・社会紹介欄をもとにフランスがどのような国か、日本とどう異なるかについて知ってもらいます。

履修上の留意点 多少なりともフランス語に触れたことがあるはずの皆さんのなかには、フランス語を聴き取ったり、音に出すことに困難を感じた人もいるでしょう。しかし何度も聴き、繰り返し発話していれば、その困難さも解消されます。そのためには、積極的に授業に取り組み、ためらわずに発話練習に参加することが必須です。必ず初回から出席し、毎回与えられる課題をしてから授業に臨んで下さい。

成績評価の方法 平常点、小テスト、前・後期試験によって判定します。

教科書 フランソワ・ルーセル、丸川誠司『トーム・アン』(第三書房) 本体2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅠB 〔再クラス〕	はせがわ みつあき 長谷川 光明	経A・商2・3・4年	2

- 講義のねらい** 初級文法を復習しながら、フランス語の表現能力を徐々に高めていくことを目標とします。
- 講義の内容・授業スケジュール** 下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。試験は前期末と後期末の計二回行います。また、授業の最後に毎回小テストを実施します。
- 履修上の留意点** 基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。
- 成績評価の方法** 前期、後期の試験と小テストおよび平常点の総計。
- 教科書** 沼田五十六他『カジュアルにフランス語』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA〔再クラス〕	はた なか ちあき 畑 中 千 晶	経A・商3・4年	2
フランス語ⅡB〔再クラス〕			

- 講義のねらい** 易しいフランス語で書かれた笑い話を読みながら、読解力を伸ばしていく。日本語に訳すことよりも、内容を素早く的確に把握する読み方ができるようになることを目指す。また、読解と連動させて、語彙・文法・コミュニケーションなどの力も総合的に伸ばしていきたい。
- 講義の内容・授業スケジュール** 初回の講義の際に年間スケジュールを配布します。
- 履修上の留意点** 毎回、辞書を持参してください。
- 成績評価の方法** 前期末試験30%、学年末試験30%、平常点（宿題など）20%、夏期休暇の課題10%、出席10%
- 教科書** リリアンヌ・ラタンジオ、村松定史『続・小さなコント―読解からコミュニケーションへ―（CD付）』（駿河台出版社）2004年 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA〔再クラス〕	ぬま くろ ひろこ 沼 倉 広 子	経A・商3・4年	2
フランス語ⅡB〔再クラス〕			

- 講義のねらい** 辞書を使いこなして、文章を読む力をつける
- 講義の内容・授業スケジュール** 文化、地理などを題材にフランスの現在を知る
- 履修上の留意点** 文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要
- 成績評価の方法** 前後期とも試験を行うが、平常点を大いに重視する
- 教科書** 野村二郎著『フランス、言葉と歴史の旅』（第三書房）2,400円
ISBN4-8086-2099-5 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA〔再クラス〕	まえ だ のり かず 前 田 祝 一	経A・商3・4年	2
フランス語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい	中級フランス語ですが、初級の後半部分を重点的に復習しつつ、平易な物語を少しずつ読み進めてゆきます。
講義の内容・授業スケジュール	学生の側が主体的に授業参加できるように、工夫しましょう。
履修上の留意点	フランス語ⅠA・ⅠBの単位未修者は自分で参考書などを求めて、勉強するよう努めて下さい。
成績評価の方法	成績は基本的には、前・後期のペーパー・テストで評価しますが、出席状況や課題にも配慮します。
教科書	数江編『合本・愉快的なコント』（第三書房）1,100円

〔中国語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA〔再クラス〕	こう りん ひで もと 江 林 英 基	経A・商2・3・4年	2
中国語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい	授業は発音とピンイン表記を再学習後、各課の文法を解説しながら本文と会話の文型を説明し、学生諸君に順番に朗読させ、正しい発音と声調を求める。
講義の内容・授業スケジュール	テキストは中国人が日常生活でよく使用する単語と簡単な文型を内容とするものであり、全20課、各課の本文のあとに基礎文法の解説と会話の例文を付してある。その内容も易から難へと自然な順序で配列されている。
成績評価の方法	小テスト、宿題、年2回の定期試験及び出席状況と学習態度を総合して判定する。
教科書	上野恵司『標準中国語（基礎編）』（白帝社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA〔再クラス〕	あき もと たすく 秋 元 翼	経A・商2・3・4年	2
中国語ⅠB〔再クラス〕			

講義の内容・授業スケジュール	発音の基礎からやり直し、初級文法・簡単な会話・簡単な文を学ぶ。特にピンインの習得に重点を置く。受講生の理解度に応じ復習をしながら一回一課ずつ進み、一年で教科書一冊を学び終える。分かる授業、楽しい授業にしたい。
履修上の留意点	ピンインに対する苦手意識をなくすことを目標に、今年は絶対単位を取る気で積極的に授業に望んで欲しい。4分の3以上の出席が必要。
成績評価の方法	平常の学習態度や到達度と、中間・期末のテストの結果によって総合的に評価する。
教科書	守屋宏則・柴森『聞く・話す フォーアップ初級中国語』（同学社）2,625円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A〔再クラス〕	しお はた しんいちろう 塩 旗 伸一郎	経A・商2・3・4年	2
中国語 I B〔再クラス〕			

講義のねらい

まずは中国語の表音記号である拼音（ピンイン）を全て声に出して読めるようになることが第一目標。

中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や、表現の背景にある文化、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解しよう。それは私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことにも繋がるだろう。

講義の内容・授業スケジュール

音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ呪んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の出題を含め、評価の半分以上を音声的要素が占める。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを行う。

履修上の留意点

携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、欠席扱いとする。

4年生の就職活動等で已むを得ず欠席する場合は、必ず事前に、もしかなわぬ場合は直後に申し、相談すること。後になって言ってきたも受けつけない。

成績評価の方法

定期試験+小テスト+平常点-欠席点。
「平常点」とは「出席点」ではない。ただ坐っていれば評価されると期待するのは大いなる誤解である。

欠席は年間3回を超えると10点づつ減点。遅刻2回で欠席1回に換算する。ただし4年生の就職活動等による欠席のうち真に已むを得ない理由で、且つ事前に相談のあった場合は、考慮される。

教科書

戸沼・石田・ほか『縁日はとてもにぎやか（スリム版）』（郁文堂）2,520円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A〔再クラス〕	き とう ふみこ 佐 藤 普美子	経A・商2・3・4年	2
中国語 I B〔再クラス〕			

講義のねらい

中国語の基礎になる発音、語彙、基本文法をしっかり身につける。中国式ローマ字表記（ピンイン）を正確に読み、書けるようにする。

履修上の留意点

授業時は、耳、口はもちろん、手もフルに活用して言葉の整理定着をはかるので、気力及び体力がないと継続受講は難しくなるだろう。覚悟が必要。私語厳禁。

成績評価の方法

学期末テストも行うが、小テスト、平常点（出席、授業時の意欲）を重視する。

教科書

戸沼市子ほか『縁日はとてもにぎやか（スリム版）』（郁文堂）2,520円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A〔再クラス〕	ね ぎし まさこ 根 岸 政 子	経A・商2・3・4年	2
中国語 I B〔再クラス〕			

講義のねらい

中国語の発音と基本文法を習得する。

履修上の留意点

最初の3、4回は中国語の発音を中心に進めるので、必ず出席すること。やさしい教科書なので、3回に2課のペースで進む。学習したことが力になっているかを確認するために随時小テストを行う。

成績評価の方法

前期後期のテスト、小テスト、出席状況などで評価する。

教科書

関根謙『〔改訂版〕基礎固め中国語—4つのステージ』（同学社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	ちょう 張 こう 宏 は 波	経A・商2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義のねらい

体系的に初級中国語を学ぶ。発音・声調、簡体字、基本構文・会話をしっかりと身につけ、確実な基礎づくりをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に沿って、基本的には二回で一課を進める。要領は以下の通りである。
 ・授業開始後10分間程度は、前回の内容を練習問題にして復習し、習得度を確認する。
 ・新出単語は授業前に予習しておく。
 ・発音を磨きながら、構文・会話を反復練習し、「いきた」中国語に「慣れ」ていく。

履修上の留意点

授業時のみの学習では大きな効果が上げられないのが語学学習である。まずは、授業に積極的に取り組み、自ら正しく発音し音を聞き分けられるよう、頭で理解するより大きな声で繰り返し練習する必要がある。それに加えて、授業外の時間には、使用頻度の高いセンテンスを暗唱できるようにし、付属 CD を用いて予習・復習に活用する必要がある。
 なお、出席率が四分の三に満たないようでは、初級といえども中国語を身につけることは不可能なため、不合格とする。

成績評価の方法

授業に取り組む姿勢、小テスト、出席率、期末テストの結果から総合的に評価する。

教科書

尹景春・竹島毅『最新版 中国語はじめての一步』(白水社) 2,310円

参考書等

推奨辞書は教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	そう 曹 たい 泰 わ 和	経A・商2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義のねらい

バラエティに富む楽しいテキストで、実際に役立つような会話文を習う。基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

授業を通して、北京のを中心にして中国のさまざまなことを学ぶ。

履修上の留意点

元気よく、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。

教科書

相原茂・李貞愛『北京コレクション』(朝日出版社) 2,500円

参考書等

開講時に説明する。

その他

辞書を一冊買ったほうがよい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A [再クラス]	と ばり よし かつ 戸 張 嘉 勝	経A・商2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義のねらい

中国語の発音（ピンイン）と基礎文法（文型）を覚え、会話の基本表現を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①文字・語義・文法・表現などの面から口中両語を比較し、その異同を認識すると同時に学習上の注意事項や学習要領を覚える。
- ②発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などの反復練習により、正確な発音を習得する。
- ③書取や質問に答えるなど、口と耳の活用が多く取り入れる。講義の内容や文法などは教科書の展開順序に従って行なう。

履修上の留意点

出欠は成績に加味するので、欠席数の多い学生は単位をとるのが難しい。

成績評価の方法

前期と後期の中間試験、前期と後期の期末試験、授業態度や発表などの平常点と出席率によって評価する。

教科書

関中研（関西大学中国語教材研究会）共著『中国語@キャンパス会話編』（朝日出版社）本体2,415円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A [再クラス]	み た むら けい こ 三田村 圭 子	経A・商2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義のねらい

中国語の発音とピンイン・文法の基礎を短い文例を学びながら、習得する。

講義の内容・授業スケジュール

最初の2ヵ月は、「ピンイン」の表記と、発音を中心に進める。その後は、練習問題で文法の基礎を固める。
後期には、会話のビデオを見ながら学習の進行を確認する。

履修上の留意点

前回の失敗を繰り返さないこと。宿題は毎回提出すること。

成績評価の方法

前期・後期テストと2回の中間テストを行う。また、5題ほどの小テストを5回行い、出席等と合わせて評価する。

教科書

大石智良編『ポイント学習中国語初級 [新装版]』（東方書店）2,900円

参考書等

第1回の授業時に。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A [再クラス]	お がわ たかし 小 川 隆	経A・商2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

履修上の留意点

発音と文法の基礎をゼロから学び直す。1年生のとき、なぜ失敗したか、自分でその原因をしっかりと反省して授業にのぞむこと。やり直したからといってしよげる必要はないが、同じ失敗はくり返さないでほしい。授業ではまったくの基礎からいねいに学び直すので、やり直しの良い機会だと考えて、前向きに取りくんでもらいたい。

成績評価の方法

年間1～5回のテストと平常点。出席は最重視。必ず第1回の授業から出席すること。当たり前だが、遅刻・私語は厳禁。とくに卒業年次生は必ず初回に指示を受けること。

教科書

山下輝彦『你好！中国語』（金星堂）2,310円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	とく ま よしの 徳 間 佳 信	経A・商2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

- 講義のねらい** 中国語の発音の方法、中国式ローマ字の発音表記（ピンイン）を理解しながら、発音の仕方を習得する。音声を通して、基礎的な単語や単語の結び付き方、配列順序、基本的な文句や表現を学び、簡単な文章や会話を「聞き」・「話す」基礎力を養成する。コトバだけではなく、コトバの勉強を通して中国文化への理解を高める。
- 講義の内容・授業スケジュール** 前期の前半は、発音の習得が中心となる。前期の後半は、発音を復習しながら、本文を通して簡単な日常会話ができるようにする。後期は、本文の学習によって、初級レベルに相当する語彙、文法を習得し、聞き、話し、読み、書く能力を総合的に身につけることを目標とする。
- 履修上の留意点** 発音の習得には授業への出席と復習がカギとなる。出席と復習を心掛けてほしい。より楽しい授業を目指すため、授業中の積極性を高く評価したい。
- 成績評価の方法** 平常の学習態度（30%：出席・宿題による評価）、小テスト（30%）を重視し、各期末のテスト（40%）とあわせて評価する。
- 教科書** 渡辺晴夫・徐祖瓊『はじめて習う中国語』（白水社）2,205円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	ひろ かね かのこ 弘 兼 加奈子	経A・商2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

- 講義の内容・授業スケジュール** 当初は、発音や基本的な文法の内容の確認を行なう。希望としては、後半少しスピードアップして授業を進めて行きたい。
- 履修上の留意点** 中国語が苦手な学生も、欠席せずに積極的に授業に参加してほしい。
- 成績評価の方法** 成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。
- 教科書** 八木章好・鄭麗媚『はじめての中国語ぶうとんほあ』（朝日出版社）2,310円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	らん めい 蘭 明	経A・商2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

- 講義の内容・授業スケジュール** 前期は最初の一ヵ月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。
- 成績評価の方法** 出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。
- 教科書** 董燕・遠藤光暁『理香と王麗』（朝日出版社）2,835円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ A 〔再クラス〕	ひら いし よし こ 平 石 淑 子	経A・商3・4年	2

講義のねらい

中国語の基礎を確認しながら、やや長い文章に慣れると同時に、それを通して現代の中国に対する知識を深める。

講義の内容・授業スケジュール

現代の中国事情に関する知識を深められるようなテキストを選び、発表形式で講読を進める。

履修上の留意点

(1) 四分の三以上の出席を求める。(2) 必ず予習・復習をすること。(3) 授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

小テスト、レポートなどを含む平常点、及び期末試験による。

教科書

三浦正道・陳祖蔭『2005年版 時事中国語の教科書』(朝日出版社) 1,995円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ A 〔再クラス〕	いわ さき ひろし 岩 崎 皇	経A・商3・4年	2

講義のねらい

中国語の文章を読むための文法知識の獲得及び語彙を増やすことが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、始めに本文を各自訳してもらった後、解説をするという形になります。単語のプリントを配布しますが、まず自分で訳さなければなりません。その際、疑問点は自由に質問して構いません。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、クラブ活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提とした上で、試験の成績により評価します。試験は前期2回、後期2回行う予定です。

教科書

原田松三郎『エベンディのとんち話』(金星堂) 1,850円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ A 〔再クラス〕	おおく ぼ あき お 大久保 明 男	経A・商3・4年	2

講義のねらい

中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指す。

履修上の留意点

積極的に授業に参加すること。毎回予習、復習すること。

成績評価の方法

出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。

教科書

尹景春・竹島毅『中国語さらなる一歩』(白水社) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	李雲	経A・商3・4年	2

講義のねらい

基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書

黄名時・高瀬利恵子・角屋明彦著『漢語街』（白帝社）2,400円

その他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。
水曜日・4時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	李雲	経A・商3・4年	2

講義のねらい

基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書

黄名時・高瀬利恵子・角屋明彦著『漢語街』（白帝社）2,400円

その他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。
水曜日・5時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	蘭明	経A・商3・4年	2

講義のねらい

基礎文型を復習し、日常生活でよく使う表現を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

発音の練習・基礎文法の確認・会話文の暗誦という三つの内容を中心に進めていく。

履修上の留意点

授業時には大きな声で読むこと。欠席しないこと。

成績評価の方法

出席を重視する。宿題など提出物も評価に加味する。

教科書

葉燕・遠藤光暁『理香と王麗』（朝日出版社）2,835円

〔スペイン語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	おお いわ いさお 大 岩 功	経A・商2・3・4年	2
スペイン語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説を演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、かならず予習をして授業に臨むよう心がけてください。授業には辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

数回のテストと小テストの得点、および日頃の出席状況、受講態度を総合して評価します。

教科書

寿里順平他著『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）
その他、必要なプリント教材を適宜用意します。

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社）
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

その他

火曜日・5時限目

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	おお いわ いさお 大 岩 功	経A・商2・3・4年	2
スペイン語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい

スペイン語初級文法の基礎を概観し、日常会話に最低限必要な知識の獲得、およびスペイン語圏の文化に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説と演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

原則として毎回、小テストを行います。授業には辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

毎回行う小テストと前期・後期期末テストの得点、および出席状況、受講態度を総合して評価します。

教科書

NHK テレビ『スペイン語会話』テキスト 2005年4月号～9月号（NHK出版）
その他、必要なプリント教材を適宜用意します。

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社）
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

その他

水曜日・5時限目

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A〔再クラス〕	ナバロ, ホワン J.	経A・商2・3・4年	2
スペイン語 I B〔再クラス〕			

講義のねらい	スペイン語の初歩を学びます。基本文法とやさしい会話の習得を目指します。
講義の内容・授業スケジュール	はじめに文法についての説明があり、次に練習問題で理解を確実にします。各課の会話文や読み物は日本語に訳してもらいます。
履修上の留意点	出席はもちろん積極的な授業参加を期待します。各課の新出単語を調べておくなど予習はかせません。
成績評価の方法	出席と2回の期末試験の結果で評価します。
教科書	ホワン, J, ナバーロ <i>Español dinámico</i>

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A〔再クラス〕	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	経A・商2・3・4年	2
スペイン語 I B〔再クラス〕			

講義のねらい	初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。
履修上の留意点	決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。
成績評価の方法	数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。
教科書	開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A〔再クラス〕	おお いわ いさお 大 岩 功	経A・商2・3・4年	2
スペイン語 I B〔再クラス〕			

講義のねらい	初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	文法事項の解説を演習をベースに、教科書の会話文に応じて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。
履修上の留意点	予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、かならず予習をして授業に臨むよう心がけてください。授業には辞書を必ず持参すること。
成績評価の方法	平常授業中に適宜行う小テスト、前期・後期末テストの得点、および出席状況、受講の積極性を勘案して総合的に評価します。
教科書	福嶋教隆著『生き活きスペイン語』朝日出版社
参考書等	推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社) 参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』(三修社) 寿里順平著『基礎スペイン語文法』(東洋書店)
その他	月曜日・5時限目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	おぎの 萩野 めぐみ 恵	経A・商2・3・4年	2
スペイン語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい ス페인語文法の基礎を固めると同時に、イベリア半島の文化に関する平易な文章を通じて講読力を培う。

成績評価の方法 成績は出席、課題、年2回のテストを総合して評価する。

教科書 萩野・浜岡『イベリア文化への誘い』（大学書林）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	さとう まりの 佐藤 麻里乃	経A・商2・3・4年	2
スペイン語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい 文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容・授業スケジュール 教科書にそって解説を行い、関連する練習問題を解いて提出後、答え合せをする。性数変化、動詞の変化（現在形・過去形）、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。

履修上の留意点 教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。授業時の提出物により評価するので、欠席をしないこと。

成績評価の方法 毎回の授業内で行う課題による（このため出席は必須である）

教科書 寺崎英樹『スペイン語文法のシステム』（同学社）

参考書等 小学館『ポケット・プログレッシブ西和・和西辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	ふくもと くみこ 福本 久美子	経A・商3・4年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい 基礎文法を一通り終えることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 始業時に、「授業方針」のプリントを配布する。

履修上の留意点 初心に戻り、やる気を持って授業を受けていただきたい。始業時は必ず出席して欲しい。

成績評価の方法 前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。

教科書 西川喬著『やさしく くわしいスペイン語の基礎』（第三書房）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	おお いわ いさお 大 岩 功	経A・商3・4年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい	スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。
講義の内容・授業スケジュール	初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。
履修上の留意点	予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。授業には必ず辞書を持参すること。
成績評価の方法	出席状況と年数回のテストの得点、適宜行う小テストの得点、および授業に臨む姿勢などを勘案して総合的に評価します。
教科書	寿里順平他著『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社） その他、必要なプリント教材を適宜用意します。
参考書等	推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社） 参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社） 寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	経A・商3・4年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい	基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って困らない為のコミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより習得した知識を定着させる。
履修上の留意点	決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。
成績評価の方法	数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。
教科書	開講時、指示します。

〔ロシア語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	ひろた ひでやす 廣 田 英 靖	経A・商2・3・4年	2
ロシア語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つ型をみっちりやります。
 - 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボディ・ランゲージを含む）を身につけます。
 - 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
 - 4) 基礎的な初等文法を学びます。
 - 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音、イントネーションに力点をおき、後期はやさしい短文の聞きとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	さの あさこ 佐 野 朝 子	経A・商2・3・4年	2
ロシア語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	木村英明	経A・商2・3・4年	2
ロシア語ⅠB〔再クラス〕			

- 講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。
 会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。
- 履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。
- 成績評価の方法

平常点を重視します。
- 教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	安徳ニーナ	経A・商2・3・4年	2
ロシア語ⅠB〔再クラス〕			

- 講義のねらい

基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。
- 講義の内容・授業スケジュール

教科書に基づいて講義を進める。
- 履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。
- 成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。
- 教科書

桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）
- 参考書等

必要に応じてその都度資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	クロチコフ, Y.・大須賀史和	経A・商3・4年	2
ロシア語ⅡB〔再クラス〕			

- 講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。
 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
- 成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。
- 教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』（大学書林）
- 参考書等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	あん とく 安 徳 ニーナ	経A・商3・4年	2
ロシア語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい

一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書に基づいて講義を進める。

履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教科書

桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布する。

《選択科目》

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	はやし 林 あきと 明人	経A・商1・2・3・4選	4

講義の内容・
授業スケジュール

現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようにすれば幸いです。

成績評価の方法

試験、発表、レポート、出席の総合評価。

教科書

教員が作成したものを uses。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	や 矢 しま 島 なお 直 こ 子	経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

イギリスの現代戯曲を読む勉強をします。取りあげる作品は、2004年8月にロンドンで見た評判のよかった芝居です。少々難しいかもしれませんが、基本的にコメディです。文学と歴史の勉強をする高校生が描かれています。中でフランス語が使われていますが、その部分は私がします。

履修上の留意点

毎回全員に当てるつもりですから、辞書を引いて意味が分ってから授業に出席して下さい。

成績評価の方法

平常点と前期末・後期末試験の結果を総合して成績をつけます。全出席数の3分の1以上欠席すると、原則として受験できません。

教科書

Alan Bennett *The History Boys* (faber & faber) ISBN0-571-22464-4

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	まさ 牧 の 野 てる 輝 よし 良	経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

内容のある高度な英文を正確に読む訓練をする。

講義の内容・
授業スケジュール

毎時間3頁読む。指名された受講生はテキストを読み、和訳する事。時々全員に1頁ほどのパラグラフの和訳を紙に書き、担任者の前で読み上げ、評価を受ける作業を課す。

履修上の留意点

指名されたら和訳出来るようによく予習しておくこと。

成績評価の方法

毎時間毎の口答による和訳と記述試験。

教科書

『真の国際化とは』（成美堂）980円 ISBN4-7919-1236-5

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	たけむら えつこ 竹村恵都子	経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

今後の情報化時代に伴い、世界の動きに目を向け、国際社会の実状を的確に把握する必要があります。本授業では、基礎的な英語力を土台に、英文ニュースを学びます。新聞に使用される英語表現は、斬新な語句やイディオム、字句の省略など様々な特徴があります。日頃から内外の英字新聞を読むよう心掛けて下さい。十分な予習を望みます。

成績評価の方法

評価は前期・後期の試験を主とし、平常点（授業態度・発表も含む）、出席率及びレポートなどを総合的に判断し評価します。

教科書

未定

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	はやし あきと 林明人	経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

CNN,Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読みます。

尚、履修希望者が70名を越えた場合は、4月の第1回目の授業で抽選となります。

講義の内容・授業スケジュール

CNN,Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読んだりします。

成績評価の方法

試験、レポート、出席の総合評価です。

教科書

教員が作成したものを用います。

参考書等

Sanseido's Dictionary of News English（三省堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	岸本茂和 <small>きし もと しげ かず</small>	経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

アメリカ合衆国第16代大統領エイブラハム・リンカーンの生涯を読む。
 少年少女たちはリンカーンといえば「かわいそうな黒人奴隷を開放したおひげをはやしたやさしいのっぽのおじいさん」というイメージをもっているようだがはたしてそうか。どうもそれだけではないらしいことがつかめればこの授業の目標は達したといえる。

講義の内容・授業スケジュール

この授業はいわゆる講義ではなくふつうの英語のクラスだ。
 「時事英語研究」と銘うちながら新聞・雑誌をよまないのを不審におもうのももっともだが、新聞はインキのおいがするあいだだけがいもち、それが消えてしまえば捨て去ってかえりみるものはない。だから新聞はよまない、雑誌はよまない。
 一年間でこの作品を読み通すためにクラスをいくつかのグループに分け、一部を夏季休暇の課題にしたり通常授業でもそのグループの「自主研究」を重んじてゆく。作品は1987年度「ニューベリー賞」受賞。

履修上の留意点

授業にはかならず英和辞書をもってくること。予習は必須。

成績評価の方法

試験は、前期・後期の2回。出席はとる。欠席が授業日数の3分の1をこえたばあいは「不可」とする。

教科書

Russell Freedman. - *Lincoln: A Photobiography*. (Clarion Books, USA)
 (テキストは担当者が手配し授業第一週時に受講希望者にも買ってもらう予定)

その他

受講者は40人を上限とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	丹治弘昌 <small>たん じ ひろ まさ</small>	経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

英語の週刊誌の最新号を読みながら、語彙、表現法、文化的な背景を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

次の三項目を中心に行う。
 (1) 基礎語彙表による単語を記憶する。
 (2) 英文記事を毎回プリント2枚分を読解し、内容の把握する。
 (3) パソコンを使って電子スクラップを作成して、データの処理を学習する。

成績評価の方法

平常の出席と時おりの小テスト、それに前期と後期の期末テストによって評価します。なお期末テストは授業の最終日に行うので留意のこと。

教科書

プリント使用。

その他

(注) 受講者多数の場合には人数制限あり。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	矢島直子	経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

BBC News Onlineと日本の英字新聞Daily Yomiuriのニュースを基にした教科書を使って、英語のニュースをしっかりと読む勉強をします。

履修上の留意点

毎回どんどん当てますから、辞書を引いて意味が分ってから、授業に出席するようにして下さい。

成績評価の方法

平常点と前期末・後期末試験の結果を総合して成績をつけます。全出席数の3分の1以上欠席すると、原則として受験できません。

教科書

柏原英則『英文ニュース入門 2005/2006年版』(成美堂) 1,800円(税別)
ISBN4-7919-4827-0

科目名	担当者名	配当学科	単位
マルチ・メディア	落合和昭	経A・商1・2・3・4選	2

講義のねらい

このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級(二級、準一級)程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験(英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等)の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞(せりふ)を再現しながら、会話練習をする(一人の場合と、対話形式の場合がある)。授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

履修上の留意点

このクラスの受講生はすでに現代口語英語を一年以上学んでいることが望ましい。初めて口語英語を学ぶ学生には、かなりつらい授業になるかもしれない。課題、小テスト、授業中の発表等で、かなりのことを要求するので、そのつもりで受講してもらいたい。また、受講を希望する学生は、最初の授業の時に、必ず、担当者の許可を得なければならない。教場は48名しか入れない教場を使用するので、48名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

定期試験は全評価の40%とする。その内訳は前期試験が10%(現代口語英語の和訳)、後期試験は30%(ヒヤリングが10%、会話英作文が20%)である。課題、小テスト、授業中の発表等は全評価の60%とする。課題は、一回の量はそれほど多くはないが、年に20回程度、小テストは5~10分程度のを20回程度、授業中の発表は、一回の授業に、全員が最低一回は当てるように努める。出席率が3分の2を超えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 1) 『イディオム表現のマルチ習得法』(北星堂) 1,700円 ISBN4-590-01180-8 C3082
- 2) 映画総合教材『シャイン』(松柏社) 2,000円 ISBN4-88198-561-2 C3082
- 3) Longman Pocket Phrasal Verbs Dictionary ISBN0582776422

科目名	担当者名	配当学科	単位
マルチ・メディア	おおば なおき 大庭直樹	経A・商1・2・3・4選	2

講義のねらい

このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。
 第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいく、ことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。
 第二の課題は、研究、文献・資料整理等、カード型のデータベースの作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。具体的には、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使い、自分用の英語彙データベースをつくる。
 第三の課題として、Wordと電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。
 第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらおう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

その他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
マルチ・メディア	にしむら ゆうこ 西村祐子	経A・商1・2・3・4選	2

講義のねらい

インターネットとコンピュータを使用して、パワーポイントを使った英語プレゼンテーション素材の作り方やインターネットの情報収集の仕方について学ぶクラス。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：CDRom教材を利用し、パワーポイントをつかって内容を英語で説明していく。
 9-12月：インターネットを使って与えられた課題に答える。海外の文化や社会について情報を収集し、パワーポイントでまとめる訓練を繰り返しおこなう。

履修上の留意点

教場の都合で受講は50名に限定。

成績評価の方法

平常点（出席点、提出物など）で評価。定期試験は行わない。

教科書

教場にて指定。

参考書等

特になし。

英 会 話 I

〈英会話 I の授業内容と履修上の留意点〉

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL®のスコアー450点、TOEIC®のスコアー500点程度。各担当者の講義内容(syllabus)をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

1 クラスの受講人数に制限があるので、希望通りに選択できない場合もあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ウェルズ, J.K.	経A・商1・2・3・4選	2

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I !!

Come to my class and learn to speak English by question and answer in pairwork. Learn proper pronunciation and challenge yourself. The 1 st semester will be question and answer, while the 2 nd semester will be role playing activities.

講義の内容・ 授業スケジュール

WELCOME to my class! The following is an example of my class.

- ・ quizzes 25%
- ・ tests 25%
- ・ attendance 50%

Assignments will be given weekly, with emphasis on group or pairwork

No one will be able to miss more than 3 classes

Let's have fun !

成績評価の方法

However, attendance is very important ! Small tests and quizzes will also be given.

LET'S HAVE FUN

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ソルタ, P.N.F.	経A・商1・2・3・4選	2

外
国
語

講義のねらい

English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. The course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

講義の内容・
授業スケジュール

A textbook with 15 units and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

履修上の留意点

It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where the instructor will speak only English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam (30%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will be given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used.

教 科 書

Communicate: book 1 a / David Paul / Macmillan Language House, 1, 230
ISBN0-435-26119-3

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ピアス, D.M.	経A・商1・2・3・4選	2

講義の内容・
授業スケジュール

Please join this class together with your friends! During most of the class period you will be talking to each other in groups. You will not be learning any more English; all you have to do is to start using what you already know. By the end of the course you should be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the usual things in everyday life. Our textbook will guide you through everything. You will learn all the conversation patterns for everyday situations such as buying things, getting information, making reservations. The course also aims at helping you to find good employment in the future, and so we will concentrate on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC. There will also be a lot of intensive practice in English composition, which you can practice together in groups. It's a lot of fun!

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter - grade less than what the student would otherwise have received.

Apart from the two final - semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure: an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A," because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教 科 書

We will probably use *Sociological Notes*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English - Japanese dictionary or a battery - powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

そ の 他

Your final grade is how good your employment will be after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for employment; you will be able to get better employment if you improve your English this year. You are taking a high - quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ラッセル, S. J.	経A・商1・2・3・4選	2

講義のねらい

English Conversation I is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

講義の内容・
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教 科 書

Fifty - Fifty Book 1 ISBN0-13-920000-2 (Published by Longman)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ラーズ, R.	経A・商1・2・3・4選	2

講義のねらい

The goal of this class is to give students simple fluency and confidence in English conversation by developing listening skills, asking questions and communicating information about themselves, their families, interests, homes and neighborhoods. Special attention is given to pronunciation. Students are given basic exposure to the differences in English spoken in the U.S. and U.K.

講義の内容・授業スケジュール

Vocabulary building and conversations in Present Simple and Present Continuous tense (some introductory use of future and past tense) about the following subjects: Personal information and meeting people; home and classroom objects, places around town and everyday activities; nationalities, professions and describing people and things; describing the weather; talking about family members, activities and events; asking directions, describing locations, describing and asking questions about neighborhoods and apartments; clothes, colors, going shopping; likes and dislikes, feelings; numbers; speaking about days of the week, months, years.

The class meets once a week for 90 minutes. After roll call, students follow modeled exercises in the text. Additional vocabulary is introduced and practiced. Once the model is established, pair-work, group-work and conversations around and beyond the model are practiced. To enhance listening skills "conversations on tape" are played. Students listen and answer relevant questions. Homework consists of memorizing the new vocabulary and models, and completing grammar exercises in the Workbook. Extra materials including vocabulary, grammar exercises and conversation games are used in addition to the text.

履修上の留意点

Students must be punctual. They must bring their Textbooks and Workbooks for every class. They should be ready for unannounced quizzes and tests.

成績評価の方法

There is no final exam. Students will be marked for (i) Speeches (on predetermined topics) and answering questions on the speech (ii) 3 or 4 written tests over the year (iii) effort and class participation (hard work and improvement over the year). Students absent for more than 2 / 3 of the year will fail the course.

教科書

I) *Side by Side (Third Edition) Book 2 Student's book* by Steven J. Molinsky & Bill Bliss. Published by Pearson Longman. ISBN# 0-13-183935-7
 II) *Side by Side (Third Edition) Book 2 Activity Workbook* by Steven J. Molinsky & Bill Bliss. Published by Pearson Longman. ISBN# 0-13-026750-3

参考書等

Supplementary materials may also be supplied by the teacher.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	レーン, C.M.	経A・商1・2・3・4選	2

講義のねらい

This language course offers students a chance to improve speaking and listening skills thus enabling them to feel comfortable in communicating in English in simple everyday situations.

講義の内容・
授業スケジュール

Emphasis will be placed on controlled speaking practice and improvement of listening skills. Journal writing will also be compulsory and will give students a chance for freer expression as well as being a good way of having more personal contact with the teacher.

履修上の留意点

Classes will be taught entirely in English with students working in pairs or small groups.

成績評価の方法

50% Class participation and attendance
25% Journal
25% Semester exams

As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教 科 書

Book used will be decided on after the course starts to ensure the correct level of text is chosen.

参 考 書 等

A good English / Japanese dictionary

そ の 他

Message for Students
Speaking English can be fun, but to make any progress the student must be prepared to try to speak as much as possible.

英 会 話 II

〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFL[®]のスコア480点、TOEIC[®]のスコア700点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	ラッセル, S. J.	経A・商1・2・3・4選	2

講義のねらい

English Conversation II is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

講義の内容・授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to prompt class discussion.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a good dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教 科 書

Within Your Reach: Keys to Conversation (NAN'UN-DO)
ISBN4-523-17444-X C0082

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	レーン, C.M.	経A・商2・3・4年	2

外
国
語

講義のねらい

This language course offers students a chance to improve speaking and listening skills thus enabling them to feel more comfortable in communicating in English on a variety of different topics.

講義の内容・
授業スケジュール

Emphasis will be placed on speaking practice and improvement of listening skills. students will be invited to give their opinion on a number of different issues, as well as general conversational practice. Journal writing will also be compulsory and will give students a chance for freer expression as well as being a good way of having more personal contact with the teacher.

履修上の留意点

Classes will be taught entirely in English with students working in pairs or small groups.

成績評価の方法

50% Class participation and attendance
25% Journal
25% Semester presentations

As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教 科 書

Book used will be decided on after the course starts to ensure the correct level of text is chosen.

参 考 書 等

A good English / Japanese dictionary

そ の 他

Message for Students
Speaking English can be fun, but to make any progress the student must be prepared to try to speak as much as possible.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 —夏季集中— II	ピアス, D.M.	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

Please join this class together with your friends, or make new friends in class! During most of the class period you will be talking to each other in groups. Concentration will be upon communication rather than simple expressions. Students will improve their conversational ability by expressing opinions on topics of their own interest. You will not be learning any more English; all you have to do is to start using what you already know. Students will be free to make their own groups and carry out discussions and make presentations. By the end of the course you should be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the usual things in everyday life. Our textbook will guide you through everything. You will learn all the conversation patterns for everyday situations such as buying things, getting information, making reservations. The course also aims at helping you to find good employment in the future, and so we will concentrate on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC. There will also be a lot of intensive practice in English composition, which you can practice together in groups. It's a lot of fun!

外国語

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A," because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *Sociological Notes*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

Adam Pelagius *Sociological Notes*, Themis Research Group, 2003

その他

Your final grade is the quality of the employment that you can find after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will be able to get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time.

授業日程

前半						後半					
	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
7月29日	金	○	○	○	○	8月29日	月				
8月1日	月	○	○	○	○	8月30日	火				
8月2日	火	○	○	○	○	8月31日	水				
8月3日	水	○	○	○	○	9月1日	木				
8月4日	木	○	○	○	○	9月2日	金				
8月5日	金	○	○	○	○	9月5日	月				

英 会 話 Ⅲ

〈英会話Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFL[®]のスコア500点以上、TOEIC[®]のスコア900点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ウェルズ, J.K.	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

Welcome to my class! This is not a class to be shy. It is a chance to speak openly.
Students must have taken English conv.Ⅱ to be a member of the class. A short interview will be given the first day of class. If you speak well already, please join the class and get better attendance is important!
I'm waiting to meet you and to improve your English. . .

成績評価の方法

However, attendance is very important! Small tests and quizzes will also be given.
LET'S HAVE FUN

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ラーズ, R.	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

The goal of this class is to give students fluency and confidence in English conversation by developing listening skills, and by discussing simple to moderately abstract / complex subjects. Students read stories and articles and extrapolate content verbally through questions and answers. Special attention is given to improvement in pronunciation and grammar.

講義の内容・
授業スケジュール

Conversations using present, past and future tense: talking about oneself, other people, families, one's likes and dislikes, professions and neighbors; forms of communication and communities around the world, cultural patterns and traits, travel: human interests and hobbies, habits, possessions; going shopping, shopping districts and specialties, currencies and numbers; crime; asking and giving directions; feelings and needs, etc. Some introductory explanation of word roots, English slang and commonly used phrases.

The class meets once a week for 90 minutes. After roll call, students follow the text that has a number of stories or essays with questions and answers and grammar exercises. Additional vocabulary is introduced and explained. After modeling a few examples, the text is discussed through pair-work and group-work. To enhance listening skills 'conversations on tape' are played. Students listen and answer relevant questions. Homework consists of revising, memorizing new vocabulary, written assignments and completing exercises in the Workbook. Extra materials including vocabulary and conversation games, and grammar exercises are used in addition to the text.

履修上の留意点

Students must be punctual. They must bring their Textbooks and Workbooks for every class. They should be ready for unannounced quizzes and tests.

成績評価の方法

There is no final exam. Students will be marked for (i) Speeches (on predetermined topics) and answering questions on the speech (ii) written tests and papers (iii) effort and class participation (hard work and improvement over the year). Students absent for more than 2 / 3 of the year will fail the course.

教 科 書

- I) *New Headway English Course Pre - Intermediate Student's Book* by John and Liz Soars. Published by Oxford University Press. ISBN # 0 - 19 - 436670 - 7
- II) *New Headway English Course Pre - Intermediate Workbook* by John and Liz Soars. Published by Oxford University Press. ISBN # 0 - 19 - 436672 - 3

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 会 話 Ⅲ —夏季集中—	レーン, C.M.	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

The main aim of this class is to help students take control of their own learning and to help them gain confidence speaking English in front of groups of people. This will be achieved through presentations and small group discussions. The course will also concentrate on cultural and/or controversial issues and will teach the students to view value systems, which are different from their own.

講義の内容・授業スケジュール

Each week one student will be in charge of the content of the class. This means that they will at the beginning of the class they will give a presentation on their chosen subject. Then they will provide a discussion sheet related to their topic, which will be discussed either as a class activity or else in small groups. Students will be required to give two such presentations during the academic year.

The teacher will prepare some discussion subjects as well. How many will depend on how many students decide to enrol in the class. Also, the teacher will choose the material to be discussed only after consultation with the students as a whole. This is because it is felt that students tend to contribute much more when they are actually interested in the topic up for discussion.

履修上の留意点

1. The presentations and discussion sheets must be shown to the teacher at least one week before the student's presentation, so that the teacher can help the student with corrections and ideas.
2. Students must be able to communicate, or at least be willing to try to participate, within group discussions. Failure to do so will result in the student failing the course.

成績評価の方法

There is no exam for this course. However, students will be graded by the quality of their presentations and by the amount of their week-to-week participation.
 20%two take home essays (10%each essay)
 40%two presentations, with discussion sheet (20%each presentation)
 40%participation within the class (20%each semester)

教科書

There is no required textbook for this course. However students will be required to have a good dictionary and to buy a binder to keep the handouts and presentation copies in.

参考書等

Dictionary

その他

Method of Teaching. Each lesson will have a central theme. A short explanatory lecture will introduce the topic and then students will be invited through pair work or group discussions to express their opinions. Depending on the interest generated by the topic within the groups, students will be encouraged to produce short presentations, role plays and situational conversations. All classes will be conducted entirely in English.

授業日程

前半						後半					
	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
7月29日 金	○	○	○	○	○	8月29日 月					
8月1日 月	○	○	○	○	○	8月30日 火					
8月2日 火	○	○	○	○	○	8月31日 水					
8月3日 水	○	○	○	○	○	9月1日 木					
8月4日 木	○	○	○	○	○	9月2日 金					
8月5日 金	○	○	○	○	○	9月5日 月					

英 語 L L I

〈英語 LL I の授業内容と履修上の留意点〉

情報メディア機器（1号館3・4階PC教場）を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とデジタル化されたテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFL®のスコア450点、TOEIC®のスコア500点程度を達成目標とする初級レベルです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。1クラスの定員が30名ですから、希望通りに選択できない場合もあります。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	おお た だ まさ こ 太 田 雅 子	経A・商1・2・3・4選	2

講義のねらい

授業の前半はテキストを用いて英語の難しい音のききとりを徹底的に学習する。そして後半は映画の中の natural English をききとれるように練習を重ねる。又、その中の expression を応用して、英語での自己表現力を養成する。

履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には、単位を認定しない。その他履修上の注意点は第1回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

教 科 書

矢作三蔵 *Basics of Natural English*（開文社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	か い かつ こ 甲 斐 捷 子	経A・商1・2・3・4選	2

講義のねらい

外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音の習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から初めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同じような発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なリスニング力、会話力が身につきます。小中学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは全22章からなり、各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期はゆっくり、後期は力がついてきますので、進度を早めながら、全章を終了します。

履修上の留意点

別売りのカセットテープを繰り返し聴いて、リスニング力を高める自己努力が必要です。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

教 科 書

Sounds Right! Sounds Good!
Hisako Murakawa 著 MacMillan Languagehouse 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	加藤 佐和子	経A・商1・2・3・4選	2

講義のねらい

発音・アクセント・イントネーションを学習し、ネイティブ・スピーカーとのコミュニケーションが円滑にとれるようにする。TOEIC スコア500を目標にする。

講義の内容・授業スケジュール

毎回テキストを1 Lesson 進む。更に、ヒットソング・映画の一場面・ニュース報道などのディクテーションをし、スピーキング・リスニングの力をつけていく。TOEIC 受験のための学習も行う。

履修上の留意点

各自カセット・テープを用意すること。必ず復習をすること。

成績評価の方法

毎回の小テスト・授業参加度50%
まとめテスト50%

教科書

『English20』（英進社）
『10分間 TOEIC リスニング演習』（桐原書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	久保 ひさ子	経A・商1・2・3・4選	2

講義のねらい

現地で、一人で、病院に行き、薬局で薬をもらって帰って来られるようにするために、病気や医療場面別に、一回で通じる短い、英会話文を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

医療英会話の短文を、パソコン使用で、聞き取り、書き取り、反復練習する。小テストあり。

履修上の留意点

実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

試験と授業実習と小テストの合計点。

教科書

尾崎哲夫『病気になっても困らない英会話』（南雲堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	西村 祐子	経A・商1・2・3・4選	2

講義のねらい

基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。説明は前期は日本語でおこなうが、後期にはすべて英語による授業になる。

講義の内容・授業スケジュール

4 - 7月：英語の会話ビデオを見基本的な会話表現を学習する。ディクテーションによって会話を書き取ってタイプし、ペアワークのなかで覚える。

9 - 12月：ビデオをみながら話の内容を英語で説明する。概略を MS ワードでタイプして提出する。英語で簡単なプレゼンテーションを毎回行う。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員駒澤大学のコンピュータ ID を取得しておくこと。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点（出席率、発表など）重視。

教科書

教場で指定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 L L I	ほなわ 埴 美智子	経A・商1・2・3・4選	2

講義のねらい

PC教室を使い英語の発音、アクセント、イントネーション等を習得し、明確な英語が使える、話せる様にする。自分のことばで表現する力を養成する。

講義の内容・授業スケジュール

日常生活の中で実際に話されている生きたことばを教材に用い、音声聞き、繰り返し練習する。聞き、話す力を高めていく。

履修上の留意点

表現について研究したり、ことばの広がりをも自分なりに探す習慣をつける。

成績評価の方法

日常の授業を重視し、出席状況、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

『Talk of the Town—Adaptive language skills— 生きた英語から学ぶ会話ストラテジー』
(マクミラン・ランゲージハウス) 1,600円

参考書等

その都度黒板に板書し、案内する。

その他

いろいろなテーマが出てくるので、英語文化についても知識を増やしていく努力をする。

英 語 L L II

〈英語 LL II の授業内容と履修上の留意点〉

中級：LL I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL®のスコア480点、TOEIC®のスコア700点程度をめざします。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	おお た まさ こ 太 田 雅 子	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

テレビニュース、映画などを利用して、ヒアリングの力を向上させる。

履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には、単位を認定しない。その他履修上の注意点は第1回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

教 科 書

BBC World Understanding the News in English 2

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	との いけ かず こ 外 池 一 子	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

最初はVOA、その後CNN・BBCなどの主に最新のニュースを教材にリスニング力の向上を目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

前期はテキストに沿って進み、授業の進度に合わせて最新のニュースを取り入れて行きます。

履修上の留意点

英語ニュースの聞き取りにはニュースに関する背景知識が欠かせません。毎日新聞を読むこと。予習は当然ですが、復習をきちんとすることが重要です。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教 科 書

開講時に指示する。

そ の 他

英語LL Iを受講済みの学生、もしくは同程度のリスニングの力がある学生が受講対象です。初回にテストを行いますから必ず出席してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	にしむら ゆうこ 西村祐子	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベルⅠを終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベルⅡではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得し、概略を説明していく作業を繰り返す。また、テキストを使用してより正確な表現、高度な表現ができる訓練をおこなう。電子メールで提出する課題英作文による書く訓練、多様な文章を読む訓練も併用する。授業はすべて英語でおこない、質問も英語でのみ受けつける。学生同士の英語での話し合いやペアワークなどもとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標はTOEIC700-750程度。LLⅠにくらべ、難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：基本的な会話表現の復習と聞き取り、プレゼンテーション。教科書はUnit 1-5まで。
9-12月：LLⅢへの橋渡しとして、書き方とプレゼンテーションに力点をおいた授業。教科書はUnit 6-10までを学習。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員駒澤のコンピュータIDを取得しておく。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点重視（出席率、発表内容など。）

教科書

テキスト：*New Headway pre-intermediate* (Oxford Univ. Press.)
使用ビデオ：Headway elementary、および pre-intermediate、その他。

参考書等

使用ビデオ：New Headway (elementary)、および (pre-intermediate)、その他。

英 語 L L III

〈英語 LL III の授業内容と履修上の留意点〉

上級：LL II を修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検 1 級、TOEFL® のスコア 500 点以上、TOEIC® のスコア 900 点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L III	レーン, C.M.	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

The main aim of this class is to help students gain confidence in speaking and listening to English. This will be achieved using a special interactive listening video course. The course will concentrate on cultural and news items. It will teach students to be able to understand and view American Television without subtitles.

The problem with most listening courses is that many English as a second language tapes or videos slow down the speech to help students understand every word.

However, when the students go out into the real world they suddenly find that they are consequently unable to understand anything. This course, therefore, teaches students, not only to listen, but also to watch and guess from context. This is because about 40% of what people generally say is actually conveyed through body language, gestures or can be guessed due to the context of the situation.

This course will also teach basic conversational structures helping students to gain confidence speaking and having fun expressing their ideas.

講義の内容・授業スケジュール

Each week students will watch one ABC news story and through the use of specially designed vocabulary and listening exercises will by the end of the lesson be able to completely understand the related news story.

The teacher will also sometimes prepare other listening exercises, using real material, such as, music or popular TV dramas.

Students will also have time to practice speaking and to try to express their ideas using all the facilities of the new language laboratory.

履修上の留意点

1. To really improve their listening students must be prepared to attend every class and actively participate within the classroom setting.

2. Since the lesson is only once a week, students must also take control of their own learning and must be prepared to study other listening activities outside of the classroom. They should ideally get into the habit of listening to some form of English everyday. Only then will students see a marked improvement in their listening skills.

成績評価の方法

20% attendance
40% exams
40% participation within the class

教科書

There is no textbook as photocopies will be provided. However, students need to buy a folder to keep all the copies together.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L III	久保 ひさ子	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

英語講演等を、大半、理解でき、さらに、ディスカッションできる程度をめざしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを、聞き取り、書き取り、再生、反復練習する。自己紹介、ビデオ、ディベートも含む。

履修上の留意点

実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

試験と授業実習の合計点

教科書

World Times of Japan, "Michigan Action English Step 6"

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L III	にしむら ゆうこ 西村 祐子	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

レベルⅡでは日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざしたが、このレベルⅢはそれより一層高度な会話表現力およびプレゼンテーション能力を習得することをめざす。また、欧米の大学留学のための準備クラスとして、多様な英文を読み、概略を英語でまとめたり、いくつかのトピックについてのプレゼンテーションをおこなったりもする。LLⅡ同様、授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語でのみ受けつける。毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、グループワークも取り入れる。LLレベルⅡを終了し、英検準一級程度（TOEIC レベル700以上）の学生を対象とする。このレベルに達していない学生はレベルⅡを受講することをすすめる。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：教科書のUnit 1-5まで。ビデオのサマリーを中心としたプレゼンテーション。
9-12月：教科書のUnit 6-10まで。多様な文章を読みながら感想を記述し、発表する訓練を繰り返し行う。ビデオの英語による概略説明も続ける。

履修上の留意点

大学のコンピュータIDを必ず事前に取得しておく。レベルⅢは例年高度なクラスなので途中で落伍しないためにも履修の前にLLⅡの内容とよく比較して検討してほしい。

成績評価の方法

平常点重視（出席率、プレゼンテーションなど）。定期試験はおこなわない。

教科書

New Headway Upper Intermediate. (Oxford Univ. Press)

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語外国書講読	柴野博子	経A・商3・4選	4

講義のねらい

他国の文化を理解し、またそれを通して自国の文化を反省することは、国際化の進展する今日、非常に大切なことだと思います。そこでこの授業では、日本とドイツの間の異文化理解の問題を扱ったいくつかの文章を読んでいきます。それによって、ドイツ語の文章に慣れると同時に、ドイツあるいは日本の文化についても、理解を深めることができればと思っています。

成績評価の方法

年1回の試験と平常点で行います。

教科書

教科書は使用しません。教材はコピーしてお渡しします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事ドイツ語	野島利彰	経A・商3・4選	4

講義のねらい

ドイツの新聞の面白さは辛辣さです。政治風刺漫画を見ても日本とは大違いです。記者一人一人が手厳しい批判性を備えています。この点を味わいながらドイツで現在問題になっていることのみならず、広くEU諸国で起きている事柄にも触れ、EU全体のイメージを得たいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

フランクフルター・アルゲマイネ新聞を中心とし、ドイツ・オーストリアの有力紙の記事を読みます。予習しやすいよう文法事項、時事用語、難しい語については毎回詳しく説明します。

履修上の留意点

訳読は原則として希望者に任せますが、少人数クラスなので一回の授業で必ず一度は訳読の順番が回って来ることを予定してください。

成績評価の方法

成績評価は授業に対する貢献度によります。

教科書

教材には記事のコピーを配布します。

参考書等

初級用の辞書では載っていない単語が多いと思います。出来る限り前もって説明しますが、余裕のある人はより高度の辞書を持つことを望みます。

その他

テーマとは別に記事にはこれまで高校や大学で学んできたさまざまな事柄が登場します。いわば皆さんはこれまで得た知識全体で記事を読むことになります。新聞記事のみならずさまざまなテーマを日本語でよく読んでいることが、ドイツの記事を理解する早道です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級ドイツ語	柴野博子	経A・商3・4選	2

講義のねらい

ドイツの文化をはじめ、その歴史、政治、社会など、今日のドイツ——さらにはヨーロッパ——をめぐるさまざまなテーマを論じた文章を読んでいきます。それを通して、日本の文化についても考えるきっかけになれば、と思っています。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、1,2年生の文法事項を補足しながら、ゆっくり進みます。
後半は、ドイツ語の文章にも慣れるでしょうから、できれば、ドイツの新聞や雑誌の記事なども読んでみたいと思っています。

成績評価の方法

年1回の試験と、平常の学習態度を総合して、評価します。

教科書

教材は、コピーしてお渡しします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 L L I	<small>こばやし</small> 小林ゲアリンデ	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教 科 書

テキストは教室で配布する。

そ の 他

ビデオ、カセットを使用する。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 L L II	<small>こばやし</small> 小林ゲアリンデ	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拡げることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教 科 書

Themen I neu

そ の 他

ビデオを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A (選)	^{い が ら し のぶ こ} 五十嵐 信子	経A・商1・2・3・4年	2

講義のねらい

1年間でドイツ語の基礎的な力をつけることを目指します。発音からはじまり、動詞、冠詞、名詞、形容詞、前置詞…とすすんで一通りの文法を学び、1年の最後には、辞書を引きながらやさしいドイツ語の文章を読むことができるようになるでしょう。ドイツ語を身につけることは、ドイツ語圏への鍵を手に入れることになるのです。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) ドイツ人の発音のテープを聞き、それを声に出して発音することで、ドイツ語を聞き取り、また正しく発音することを学びます。
- 2) ドイツ語の文法をしっかり理解し、くりかえし練習して身につけます。
- 3) 同時に良いドイツ語の例文に多く触れて、楽しくそのルールを感得します。
- 4) やさしいドイツ語会話を学びます。

履修上の留意点

新しい言葉を学ぶことは、本来楽しいことです。それは新しい世界への発見の旅だからです。しかし言語はどの部分も不可欠な建造物のようなものです。それゆえこの時間は、休まず出席して下さい。

成績評価の方法

年2回の試験および時間内の小テストを行ない、これに出席、授業への参加態度などを加味して評価します。

教科書

橋本政義・橋本淑恵著『楽しく身につくドイツ文法』(白水社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B (選)	^{やぶ した こう いち} 数下 紘一	経A・商1・2・3・4年	2

講義のねらい

はじめにドイツ語を習う皆さんに一寸苦しんでもらいます。短い易しい文から始めましょう。

履修上の留意点

できるだけ教室に来てください。出欠をとります。

成績評価の方法

前期・後期の試験で評価します。時々ミニテストもやりますか。

教科書

教科書は4月に決めます。

参考書等

特に参考書はなくていいと思います。辞書については4月の第1回目の講義の時4冊程挙げますので、それを参考にして各自買って下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 II (選)	^{やぶ した こう いち} 数下 紘一	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

1年生で習った事を元にして、辞書を引きながら読めるようにします。

講義の内容・授業スケジュール

前期は易しい物をゆっくり、後期は2年生らしい文を読みます。

履修上の留意点

出席は是非して下さい。サボるとわからなくなりますから。

成績評価の方法

成績は前期・後期の試験+平常点で決定します。平常点も入ります。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語外国書講読	と お や ま ひろ お 遠 山 博 雄	経A・商3・4選	4

- 講義のねらい フランス語で書かれた短編小説ややさしい詩を読むこと。
- 履修上の留意点 与えられた課題をやった上で、必ず辞書を持って出席すること。
- 成績評価の方法 平常点での評価を原則としますが、必要があれば年度末に筆記試験を行いません。
- 教科書 プリントを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事フランス語	くわ た のり あき 桑 田 禮 彰	経A・商3・4選	4

- 講義のねらい フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。
- 講義の内容・授業スケジュール 比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一歩踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。
- 履修上の留意点 最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
- 成績評価の方法 ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
- 教科書 荒木善太他著『ヴァリエテ・フランセーズ2005』（朝日出版社）本体1,900円＋税
- 参考書等 そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級フランス語	小 ^こ 玉 ^{たま} 齊 ^{なり} 夫 ^お	経A・商3・4選	2

講義のねらい

「上級フランス語」クラスでは、フランス語検定試験に合格することをめざして、文法事項の再確認とともに、聞きとり、作文、ならびに会話についての実力を養うことを目指しています。さしあたっては4級および3級に受かるように、1、2年次の知識を復習し、視聴覚教材も用いて、可能なかぎり、総合的なフランス語能力を身につけるよう、勉強していく予定です。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書を用いますが、他に、こちらで準備するプリント教材あるいはビデオ教材なども、使っていく予定です。前期は、主として、これまでの復習に、後期は、その展開という風に、段階を追って進んでいくつもりです。

履修上の留意点

出席するのが楽しい授業、でなくては、会話などに心を配る余裕が出てきません。つとめて、そのようにしたいと思いますので、「遊び心」も持って参加して下さい。フランス語の聞き取りは、「ある日、突然に」、それまで理解できなかった表現も、分かってくるものです。初めの「難しさ」にめげずに、突然訪れて来る「その日」をめざして、地道に練習を続けていく心構えがたいせつです。

成績評価の方法

随時提出する宿題や、年末の試験で評価しますが、仏検に合格することも目標なので、従って評価に含まれることにもなります。

教科書

M-E Muramatsu 著『ピコティ・ピコタ 2』
(駿河台出版社) 2,500円
ISBN4-411-00923-4 CI085

参考書等

『現代和仏小辞典』(白水社)。フランス語彙を増やすためにも、必要です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 L L I	ラリア ^ら ・三倉 ^{みくら} , M.	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

フランス人講師や教材のフランス語を聞きながら、学生が簡単なフランス語で表現力を身につけることを学ぶ。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と簡単な口頭面接評価。

教科書

H. TAKAHASHI, S. GIUNTA 『P.P.P (ペーペーパー) Presenter Pratiquer Produire』(第三書房) 2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 L L II	ラリア ^ら ・三倉 ^{みくら} , M.	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語の基礎学習の経験のある学生のためのクラスです。生徒は小さなグループにわかれ、フランス語会話をたくさんすることで発音、表現力の向上をめざします。尚、ビデオで現在のフランスの若者の生活パターンが多く紹介されているので、それに触れながら楽しく学習できます。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と口頭面接評価。

教科書

MONNERIE 著 BIENVENUE EN FRANCE TOME 1 (Didier HATIER)
プリント資料を学生に与えますので、学生は、格別に教科書を買う必要がありません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A (選)	出口 雅敏	経A・商1・2・3・4選	2

講義のねらい この授業では、フランス語文法の基礎を学習してゆきます。文法の基礎をしっかりと身につけることは、フランス語の世界に入ってゆくための大切なプロセスです。ですから、この入口で躓かぬよう、じっくり基礎固めをすることが授業の目的です。

講義の内容・授業スケジュール テキストは、文法事項の簡潔なまとめと練習問題から成っています。授業は、文法事項の具体的説明の後、練習問題に取り組む、という形で進行します。加えて、フランス語の読み方や仏和辞書の引き方についても慣れてもらいます。

履修上の留意点 辞書を持参して下さい。やむをえず欠席する場合は、理由を書面にて提出して下さい。

成績評価の方法 前期・後期の期末試験と通常点によって評価します。

教科書 斎藤昌三『《新版》ル・フランセ』(白水社) 1,750円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A (選)	遠山 博雄	経A・商1・2・3・4選	2

講義のねらい 基礎的な文法事項をきちんと身につけること。

講義の内容・授業スケジュール はじめに詳しい説明をし、その後で練習問題をやります。単純な事項から複雑な事項に順を追って進んでいきます。

履修上の留意点 必ず辞書を持って出席し、自分で問題に取り組む姿勢が必要です。遅刻をして説明を聞きもらさないこと。

成績評価の方法 3回の筆記試験を行ないます。

教科書 佐藤久美子他著『フロレゾン』(白水社) 2,100円 ISBN4-560-06036-3

参考書等 最初の授業で仏和辞典のガイダンスをします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B (選)	菅原 猛	経A・商1・2・3・4選	2

講義のねらい 英語以外にも外国語を一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。

講義の内容・授業スケジュール 1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。

履修上の留意点 教科書・辞書を持参し、可能なかぎり出席すること。

成績評価の方法 年2回の定期試験の他、授業時間内に行う平常試験の成績を重視します。

教科書 石井洋二郎『新フランス文法要説』(朝日出版社) 2,000円 ISBN4-255-35165-1 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語Ⅱ(選)	桑田禮彰 <small>くわ た のり あき</small>	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。

講義の内容・
授業スケジュール

比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一步踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

プリント配布

参考書等

そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語外国書講読	佐藤普美子 <small>さとう ふみこ</small>	経A・商3・4選	4

講義のねらい

《声に出して読みたい》中国語で書かれた文学作品（主として詩歌、エッセイ、短篇小説）を読んでいます。

講義の内容・
授業スケジュール

一つの作品を読み終えた後、必ずその文章（の一節）を暗誦してもらいます。

履修上の留意点

予習は不可欠です。

成績評価の方法

出席、予習の有無、暗誦テストによって総合的に評価します。

教科書

開講時、プリントを配布します。

参考書等

辞書は必ず用意して下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事中国語	しお 塩 なた 旗 しんいちろう 伸一郎	経A・商3・4選	4

講義のねらい

インターネットで中国の各サイトを訪れ、見出し&リードの速読と記事精読の2種のアプローチにより、ニュースの文体を読み解く力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

「速読」篇は、ピンインのルビを振るソフトの導入により、その場で声に出して読み、大意を掴む。「精読」篇は、文を構造的に捕える練習を積む。
併せて、ニュースの聴き取り、単語の構造分析クイズ、中国語入力・検索の体験学習などを行なう。

履修上の留意点

精読教材は予習が不可欠。
教材等、授業に関する情報は下記 URL に掲示するので常時チェックすること。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~siop/jiji.html>

成績評価の方法

平常点。

教科書

ネット上で採取し、上記 URL に掲示。

参考書等

辞書は『現代漢語詞典』（中国商務印書館）、『中日辞典』（小学館）、『中日大辞典』（大修館書店）、『講談社中日辞典』、『白水社中国語辞典』を推奨する。
これらより薄いものや、中日・日中を一冊で兼ねる安あがりな辞書は、役に立たない。

その他

PC 教場使用を要望しているが、教場変更の可能性もあるので、掲示に注意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上級中国語	かま や 釜屋 おさむ 修	経A・商3・4選	2

講義のねらい

より正確な発音、基本文法の応用とより深い理解、生きた中国語へのさらなるアプローチを旨とし、会話文・掌篇小説（ショート・ショート）を素材とする。

講義の内容・授業スケジュール

全員参加形式。

履修上の留意点

予習を前提とする。

成績評価の方法

総合的な学力を判定する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

中辞典以上の辞書を必要とする。辞書は開講後に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 L L I	岩崎 皇	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

コンピュータ教場のLL機能を使って、中国語の音声聞き取り能力を養うことが目標です。これは会話の前提となる能力でもあり、練習を通して、自然な発音ができるようになるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの音声教材をメインにして練習していきます。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、クラブ活動等）により欠席する場合でも、6回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提に、授業態度及び試験結果で判断します。

教科書

楊達他著『聞こえる中国語初級テキスト』（南雲堂） 1,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 L L II	小川 隆	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

最初に発音の復習を行い、その後テープを使って、中級ていどの会話と聞き取りの練習をする。週1回、年20数回の授業では、練習量が絶対的に不足なので、授業のほかに毎日の音読と暗誦を課す。それさえ怠らないなら、現在の基礎学力に自信がない人でも、充分について行けると思う。

履修上の留意点

短期・長期の留学をめざす人は、ぜひこの科目をとるようにして下さい（個別に学習の相談に応じます）。

成績評価の方法

出席および毎回の暗誦の成果をもとに平常点評価。

教科書

楊凱榮『表現する中国語』（白帝社）2,400円（CD付）
※「スリム版」でなく旧版の方を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A（選）	釜屋 修	経A・商1・2・3・4選	2

講義のねらい

正確な発音を習得し、基本文法のいちばん基礎となるところを重点的に学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

週一回の授業なので欠席なく持続的な学習に心がけてもらうが、授業展開も継続性に留意する。

履修上の留意点

週一回の授業なので、一回の欠席は大きな学習欠落となる。出席に注意せよ。

成績評価の方法

出席状況、各種テストにより総合的に評価する。

教科書

董燕・遠藤光暁『中国語プロムナード』（好文出版）2,400円 CD付

参考書等

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (選)	宮本厚子 <small>みやもとあつこ</small>	経A・商1・2・3・4選	2

講義の内容・
授業スケジュール

発音を学んだ後、会話文を通して、基本的な文法を学び、語彙を増やしてゆく。

履修上の留意点

毎回暗誦あるいは聞き取り（小テスト）を行うので十分に復習をして授業に臨むことが求められる。

成績評価の方法

年に4回の筆記試験（前後期末試験を含む）と平常点（暗誦・小テストを含む）で評価する。

教科書

プリント配布。

その他

詳細は開講時に説明する。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I B (選)	蘭明 <small>らんめい</small>	経A・商1・2・3・4選	2

講義の内容・
授業スケジュール

前期は最初の一か月（4回に分け）において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『理香と王麗』（朝日出版社） 2,835円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 II (選)	松本丁俊 <small>まつもとあつとし</small>	経A・商2・3・4選	2

講義の内容・
授業スケジュール

中国の故事や民話を題材にし、人民の生活、新聞記事、名作等から講読や鑑賞にふさわしい文章を選び、難易度に応じて、易しい文章から順に学ぶ。巻末に練習があり、短文を作る様に工夫されている。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とし、普段授業中に、発音のチェックや、作文の練習などを見る。出席点も参考にする。

教科書

陳榮生・頼石傳・蔡柱国『現代中文読本』（神保出版）1,650円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語外国書講読	真下祐一	経A・商3・4選	4

講義のねらい

新聞記事から文学作品まで様々な分野のスペイン語テキストの読解力を養います。精密な読解力は個性ある表現力の基礎ともなります。思考力を鍛え、感覚を研ぎ澄まし、感情を豊かにするための場として講読を役立ててください。

講義の内容・授業スケジュール

今年は日本で暮らすスペイン語圏の人々をテーマにしたテキストを読む予定です。

履修上の留意点

現代のスペイン語文に親しんでもらうため、できるだけ多量のテキストを読んでもらいます。予習復習は欠かせません。また個々の受講者の興味、関心、専攻と結びつけてテキストに関してのコメントを求めます。動機を明確にしておきましょう。

成績評価の方法

毎回の積極的な授業参加と各回の達成度チェックによって評価します。

教科書

初回の授業でテキストと入手方法を伝えます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事スペイン語	真下祐一	経A・商3・4選	4

講義のねらい

新聞記事や雑誌のコラムを読みながら、スペイン語の報道言語、論説文に親しみます。日本で発行されているスペイン語新聞やインターネットを通して、日本の出来事がどのように伝えられているかにも目を向けます。

講義の内容・授業スケジュール

前期 新聞記事のスペイン語、世界の出来事をスペイン語で読む。
後期 スペイン語で見た日本

履修上の留意点

予習・復習は欠かせません。予習してきた文書を読むほか、その場での速読も課します。スペイン語圏に真面目に関心のある学生の受講を期待します。

成績評価の方法

毎回の授業参加と、各回の達成度チェックによります。

教科書

随時プリントを配布します。インターネットも活用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級スペイン語	上野勝広	経A・商3・4選	2

講義のねらい

このクラスでは、スペイン語検定試験（3級・4級）に合格することを目標にします。既習の文法事項を随時復習しながら、聴解・会話・読解・作文の各技能を伸ばし、総合的なスペイン語力を身につけられるようレッスンを進めます。

講義の内容・授業スケジュール

作文については年間を通じ下記のテキストを用いて、1回の授業で10ページくらい進めます。読解はインターネットのオンライン教材およびプリント、聴解・会話はビデオ・CD等の視聴覚教材を利用してゆきます。

履修上の留意点

「継続こそ力なり」です。休まずさばらず日標に向かって頑張れる意欲に満ちた受講者を歓迎します。また授業の学習成果を最大限あげるために、何より集中力が大切です。

成績評価の方法

前期末・学年末試験の結果（60%）と平常点（40%）を総合して評価します。

教科書

小池和良『スペイン語作文の方法・構文編』（第三書房）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 LL I	ナバロ, ホワン J.	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

教科書

Viaje al español
テキスト及びVTR教材

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 LL II	ナバロ, ホワン J.	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

教科書

『Viaje al español 上級編』
テキスト及びビデオ教材

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A (選)	<small>かめ やま こう いち</small> 亀山晃一	経A・商1・2・3・4選	2

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I B (選)	ナバロ, ホワン J.	経A・商1・2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の基本文法を学びながら、中級程度の会話能力の養成を目指します。動詞の過去形の練習に力をいれます。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに文法についての説明があり、次に練習問題で理解を確実にします。各課の会話文や読み物は日本語に訳してもらいます。

履修上の留意点

出席はもちろん積極的な授業参加を期待します。各課の新出単語を調べておくなど予習はかせません。

成績評価の方法

出席と2回の期末試験の結果で評価します。

教科書

ホワン・J・ナバーロ『Español dinámico』(印刷中)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 II (選)	おまのまさじ 荻野雅司	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語 I で学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々を行う communication の術を身に付けることを狙いとしています。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語 I で得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接して行きます。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。

成績評価の方法

成績の評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

教科書

寺崎英樹著『スペイン語文法システム』(同学社)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語外国書講読	ひろたひでやす 廣田英靖	経A・商3・4選	4

講義のねらい

1~2年で得たロシア語の基礎力のうえにさらに読解や表現力の応用を身につけることを目標とします。最新ロシア情勢をふまえた読みもの、クロコディール、ノーヴォエ・プレーミヤ等を取りあげて様々なスタイルのロシア語文に馴れるようにします。ロシア語の文章を眼で追うだけでなく、その中に書かれている内容を正しく伝達することも重要です。このためには正しいイントネーション、発音、表現が必要なことは言うまでもありません。

授業では簡単な読みものを読むだけではなく、普通に話しているロシア人の声もきき、発話の練習もしてもらいます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

プリント配布

参考書等

『露和辞典』

その他

状況に応じて、PC 教場の新システムを利用し、インターネットによるロシアのメディアをリアルタイムに解説、紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事ロシア語	木村英明	経A・商3・4選	4

講義のねらい

1991年のソ連邦崩壊以降、長く政治的、経済的に迷走を続けてきたロシア社会だが、この数年はプーチン政権下で一定の安定を取り戻しつつある。豊かな天然資源、人的資源に恵まれたロシアの国際政治に及ぼす影響力や、21世紀の文化創造に向けて秘めている潜在力は看過できない。この授業では、そんなロシアの動向にじかにロシア語で触れていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ロシアの政治、経済、文化に関する平易な記事や論文を講読する予定だが、ビデオ等の映像教材も用いることにする。テキストは適宜プリントの形で配布する。

履修上の留意点

各自が、授業を通じて自分の問題意識と出会えるよう、アクティブな授業参加を望む。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級ロシア語	クロチコフ, Y.	経A・商3・4選	2

講義のねらい

会話練習。
簡単な新聞、雑誌の記事、文学書を辞書を用いて講読します。
講読した内容について自由会話を行う。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

教場にて指示します。プリント配布。
学生の要望も考慮してテキストを選びます。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 L L I	安徳 二一	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

ロシア語 I、II で学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。
日常の話題等についても自由に会話が出来ようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

SKHAVRONINA 著 RUSSIAN AS SPEAK IT (ナウカ社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 L L II	安徳 ニーナ	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

資料にもとづいて会話形式に講義を進めます。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。(学生の希望も考慮します。)

その他

講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話もします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A (選)	クロチコフ, Y.	経A・商1・2・3・4選	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディ・ランゲージを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に慣れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音やアクセントに重点をおき、後期は短文の読みや文法をくり返し学びます。

成績評価の方法

テストは行わず、平常点で評価。

教科書

『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円、プリント配布。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I B (選)	木村英明 きむら ひであき	経A・商1・2・3・4選	2

講義のねらい

日本の隣国ロシアはソ連崩壊後の長い混沌から抜け出し、21世紀の経済的、文化的飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は日本でも高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの習慣や文化にも触れていきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

桑野隆『エクスプレス・ロシア語』（白水社）をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 II (選)	クロチコフ、Y.	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』（大学書林）

参考書等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
朝鮮語 I A (選)	白 賢 美 <small>へく ひょん み</small>	経A・商1・2・3・4選	2
朝鮮語 I B (選)			

- 講義のねらい** 同一の教員が同一の教科書をもって週2回の授業を行う。Aクラスは会話中心、Bクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。(IA(選)、IB(選)のどちらか一方のみの履修でもよい)
- 講義の内容・授業スケジュール** 文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはAクラスでは、口頭の練習および聞き取りと書き取り、Bクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。
- 履修上の留意点** 最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。
- 成績評価の方法** 授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。
- 教科書** 木内 明著『基礎から学ぶ韓国語講座(初級)』(国書刊行会)
- 参考書等** 野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社) 1,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
朝鮮語 II (選)	白 賢 美 <small>へく ひょん み</small>	経A・商1・2・3・4選	2

- 講義のねらい** 初級における基本的な文法の内容をふまえ、日常生活での基礎会話が話せるようにする。また、韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試み、資料の読解及びビデオの鑑賞を通して実践的な習得を目指す。
- 講義の内容・授業スケジュール** テキストをもって基本的な文法及び表現に基づいた文型練習を行う。また、口頭練習を通して聞き取り及び書き取りの能力を、プリントの資料をもって作文や読解の能力を強化していく。
- 履修上の留意点** テキストの復習・予習など、積極的な授業への参加が望ましい。
- 成績評価の方法** 授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。
- 教科書** 木内 明著『基礎から学ぶ韓国語講座(中級)』(国書刊行会)
- その他** 書き取りと聞き取りの練習のため、ノートを必ず持参すること。

4. 保健体育科目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

4 . 保健体育科目

健康・スポーツ実習 (ジョギング)	〈内山雅博・佐藤政之〉	235
健康・スポーツ実習 (卓球)	〈内山雅博・竹田幸夫〉	235
健康・スポーツ実習 (テニス)	〈江口淳一〉	237
健康・スポーツ実習 (室内球技)	〈川村正義・竹田幸夫〉	238
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	〈佐藤政之・館岡儀秋・三幣晴三〉	239
健康・スポーツ実習 (空手道)	〈高橋俊介〉	240
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	〈館岡儀秋〉	241
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	〈光永吉輝〉	242
健康・スポーツ実習 (体操&ウォーク)	〈三幣晴三〉	243
健康・スポーツ実習 [再クラス] (室内球技)	〈田中佳孝・長濱友雄〉	244
健康・スポーツ実習 [再クラス] (室内球技)	〈鈴木淳平〉	245
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (トレーニング)	〈秋田浩一〉	245
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (卓球)	〈川村正義・山口良博〉	246
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (バドミントン)	〈牧野茂〉	247
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (ソフトボール)	〈高橋俊介・村松誠〉	248
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (室内球技)	〈鈴木淳平〉	249
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (トレーニング&太極拳)	〈光永吉輝〉	250
生涯スポーツ実習 I~IV前期・後期/基礎 (簡化太極拳)	〈大石武士〉	251
生涯スポーツ実習 I~IV前期・後期/基礎 (バドミントン)	〈長濱友雄〉	252
生涯スポーツ実習 I~IV前期・後期/基礎 (室内球技)	〈鈴木淳平〉	253
生涯スポーツ実習 I~IV前期・後期/基礎 (卓球)	〈牧野茂〉	254
生涯スポーツ実習 I~IV前期・後期/基礎 (バスケットボール)	〈牧野茂〉	255
生涯スポーツ実習 I~IV前期・後期/応用 (簡化太極拳)	〈大石武士〉	256
生涯スポーツ実習 I~IV前期・後期/応用 (ニュースポーツ)	〈大石武士〉	257
生涯スポーツ実習 I~IV前期・後期/応用 (バドミントン)	〈長濱友雄〉	258
生涯スポーツ実習 I~IV前期・後期/応用 (室内球技)	〈鈴木淳平〉	259
生涯スポーツ実習 I~IV前期・後期/応用 (バドミントン)	〈鈴木淳平〉	259
生涯スポーツ実習 I~IV前期・後期/応用 (卓球)	〈牧野茂〉	260

生涯スポーツ実習 I～IV 前期・後期／応用 (バスケットボール)

	〈牧野 茂〉	261
生涯スポーツ実習 (集中前期) (テニス集中)	〈江口 淳一〉	262
生涯スポーツ実習 (集中後期) (テニス集中)	〈江口 淳一〉	263
生涯スポーツ実習 (集中後期) (ゴルフ集中)	〈三幣 晴三〉	264
生涯スポーツ演習 (シーズン前期) (ゴルフ)	〈村松 誠 他〉	265
生涯スポーツ演習 (シーズン後期) (スキー・スノーボード)	〈竹田 幸夫 他〉	266
健康・スポーツ論 1	〈竹田 幸夫〉	267
健康・スポーツ論 1	〈高橋 俊介〉	268
健康・スポーツ論 2	〈大石 武士〉	269
健康・スポーツ論 2	〈村松 誠〉	270
健康・スポーツ論 2	〈牧野 茂〉	271

「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

	1時限 (経済-1)		2時限 (商)		3時限 (経済-2)	
火曜日	※佐藤	ジョギング	※三幣	体操&ウォーク	※館岡	ゴルフ
	光永	トレーニング	高橋	空手道	川村	室内球技
	三幣	ゴルフ	竹田	卓球	高橋	空手道
	竹田	室内球技	川村	室内球技	光永	トレーニング
	館岡	ソフトボール	佐藤	ゴルフ	三幣	体操&ウォーク
	江口	テニス	江口	テニス	江口	テニス
	内山	卓球	内山	ジョギング	内山	卓球
		館岡	ソフトボール			

保健体育

※は、科目の担当

「生涯スポーツ実習 I ~ IV」開講種目一覧

(於：本校体育館)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
1時限						
2時限	長	前期・基礎	大	前期・応用	牧	前期・応用
		バドミントン		ニュースポーツ※		卓球
	濱	後期・基礎	石	後期・応用	野	後期・応用
		バドミントン		ニュースポーツ※		卓球
3時限	長	前期・応用	大	前期・基礎	鈴	前期・基礎
		バドミントン		簡化太極拳※		室内球技
	濱	後期・応用	石	後期・基礎	木	後期・基礎
		バドミントン		簡化太極拳※		室内球技
4時限	大	前期・応用		前期・基礎	鈴	前期・応用
		簡化太極拳※		室内球技		バドミントン
	石	後期・応用		後期・基礎	木	後期・応用
		簡化太極拳※		室内球技		バドミントン

※印の科目は、本校修道館（第2体育館）にて実施し、それ以外は、本校第1体育館で実施します。

保健体育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	うちやま まさひろ さとう まさゆき 内山 雅博・佐藤 政之	経A・商1必	2

講義のねらい

健康、体力の維持増進を目的として行なわれる走運動、それがジョギングである。普及し始めて約25年位になる比較的新しい種目でもある。健康作りの運動はひとりひとりの体力に応じた運動処方が必要であり、指導者任せのトレーニングにすることなく、その処方を自分自身の手によって立案し、安全に実施することのできる能力を高めることを学習目標とする。実際の内容については、エクササイズ・ウォーキング（速歩）によってジョギングに必要な技術と体力を高めながら、30～60分程度のジョギングを実施することとする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：心拍数測定・諸注意・体重測定
- 2 時限目：エクササイズ・ウォーキング（速歩）
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：〃
- 5 時限目：ジョギング（時間走、距離走、初歩のインターバルランニング）
- 6 時限目：〃
- 7 時限目：〃
- 8 時限目：12分間走
- 9 時限目：ジョギング（前半より幾分高度な時間走、距離走、初歩のインターバルランニング、野外走、クロスカントリー）
- 10 時限目：〃
- 11 時限目：〃
- 12 時限目：〃
- 13 時限目：〃
- 14 時限目：12分間走
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

事前にメディカルチェック（心電図、負荷心電図、その他）を受けることが望ましいが、体調を整えて受講とする。（食事をとること、睡眠時間の充分なこと）ジョギングによって相当量の発汗を伴うため着替えの用意が必要である。

成績評価の方法

出席を最重視するが、12分間走に於ける走行距離を得点に加えて評価する。

そ の 他

雨天時は走のための補強トレーニング

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (卓球)	うちやま まさひろ たけだ ゆきお 内山 雅博・竹田 幸夫	経A・商1必	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10 時限目：ダブルスゲームのやり方。ダブルスゲームの練習
- 11 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 12 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 13 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 14 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。とくにゲームの班分けをした後の授業参加は認めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (テニス)	江 口 淳 一 <small>え ぐち じゆん いち</small>	経A・商1必	2

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで様々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目的とする。

さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時 限 目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時 限 目：ラケットイング、ボレー、ミニストローク
- 3 時 限 目：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4 時 限 目：バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 5 時 限 目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6 時 限 目：スマッシュ、サーブの基本技術
- 7 時 限 目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8 時 限 目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9 時 限 目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 10 時 限 目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 11 時 限 目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12 時 限 目：ダブルスゲームを楽しむ
- 13 時 限 目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14 時 限 目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15 時 限 目：まとめ

履修上の留意点

1. 服装は一般的な運動服装とする。
2. テニスシューズを必ず用意すること。
3. ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうか、または、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	かわむら まさよし たけだ ゆきお 川村 正義・竹田 幸夫	経A・商1必	2

講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフコート 2 対 1、ゲーム (1 次リーグ)
- 4 時限目：ハーフコート 3 対 2、ゲーム (1 次リーグ)
- 5 時限目：ハーフコート 4 対 3、ゲーム (1・2 次リーグ)
- 6 時限目：ハーフコート 3 対 3、ゲーム (2 次リーグ)
- 7 時限目：ゲーム (2 次リーグ)
(バレーボール)
- 8 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム (リーグ戦)
- 9 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム (リーグ戦)
- 10 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：ゲーム (トーナメント)
(バドミントン)
- 12 時限目：ラケットティング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13 時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14 時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。担当教員によって時間配分を多少変更することがある。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技点 (20点)、態度点 (10点)、60点以上を合格とする。

そ の 他

ストレッチ体操の各種、器具のいらないトレーニング方法 (単独法、対人法) などを各時間に詳しく講義する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	佐藤 政之・館岡 儀秋 三幣 晴三	経A・商1必	2

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。
生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時 限 目：オリエンテーション
- 2 時 限 目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時 限 目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4 時 限 目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時 限 目：打撃練習（5アイアン）
- 6 時 限 目：打撃練習（5アイアン）
- 7 時 限 目：打撃練習（W1・W3）
- 8 時 限 目：打撃練習（W1・W3）
- 9 時 限 目：打撃練習（アプローチ）
- 10 時 限 目：打撃練習（アプローチ）
- 11 時 限 目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12 時 限 目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13 時 限 目：ラウンド（模擬コース）
- 14 時 限 目：ラウンド（模擬コース）
- 15 時 限 目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (空手道)	たか はし しゆん すけ 高 橋 俊 介	経A・商1必	2

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

そ の 他

授業の進行状況に応じて、課題となっている技のビデオ、ならびに体操競技の競技会のビデオを観る。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	たて かね よし あき 館 岡 儀 秋	経A・商1必	2

講義のねらい

ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームである。野球が体育実技で取り上げづらいのは、ある種の経験を要するからであり、ソフトボールは、チームの中で1～2名の未経験者がいてもゲームはある程度成立する。野球は、9回の攻守に対してソフトボールは7回と、時間の区切られた実技に適している。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時 限 目：基本練習(キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他)
- 2 時 限 目： 〃
- 3 時 限 目：試合 (勝ち点制)
- 4 時 限 目： 〃
- 5 時 限 目： 〃
- 6 時 限 目： 〃
- 7 時 限 目： 〃
- 8 時 限 目：審判の仕方 (球審、1・3塁審)
- 9 時 限 目： 〃
- 10 時 限 目：試合 (勝ち点制)
- 11 時 限 目： 〃
- 12 時 限 目： 〃
- 13 時 限 目： 〃
- 14 時 限 目： 〃
- 15 時 限 目：まとめ

履修上の留意点

用具：貸与
 服装：ユニフォームの着用の必要はないが、実技のできる服装とする。
 シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは不可とする。

成績評価の方法

出席を重視し、試合毎の勝ち点も加えて評価する。

そ の 他

雨天時は、視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	みつなが よしてる 光 永 吉 輝	経A1必	2

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の状態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないしていると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・
授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1 時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2 時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5 時限目：トレーニング
- 6 時限目：トレーニング
- 7 時限目：トレーニング
- 8 時限目：負荷を男子は2 kg up、女子は1 kg up
- 9 時限目：トレーニング
- 10 時限目：トレーニング
- 11 時限目：トレーニング
- 12 時限目：負荷を男子は2 kg up、女子は1 kg up
- 13 時限目：トレーニング
- 14 時限目：トレーニング
- 15 時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。

成績評価の方法

出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

そ の 他

ストレッチ体操の各種、器具のいらないトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 (体操&ウォーク)	三 幣 晴 三	経A・商1必	2

講義のねらい

「体操」という種目を広義に捉え、健康体操やストレッチ体操、ならびに器械運動を含めた体操の実技を行なう。「Walk」は戸外で新鮮な空気に触れて実施し、それによって自分の感性を豊かにする。健康体操・ストレッチは体のバランスをチェックし矯正する。器械運動は、マットや鉄棒、さらにトランポリンなどの種目を中心にしてやさしい技から難しい技へと段階的に技を修得する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：健康体操とストレッチ体操
- 3 時限目：同
- 4 時限目：器械運動（マット・トランポリン）
- 5 時限目：同
- 6 時限目：Walk
- 7 時限目：健康体操とストレッチ体操
- 8 時限目：同
- 9 時限目：器械運動（男子：あん馬、つり輪、平行棒、跳馬）
（女子：平均台、段違い平行棒、跳馬）
- 10時限目：同
- 11時限目：Walk
- 12時限目：健康体操とストレッチ体操
- 13時限目：自主練習
- 14時限目：同
- 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川体育館1階の体操場で行なう。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、授業時間内の指示を守ること。Walkはグラウンドや戸外で実施する。

成績評価の方法

健康体操・器械運動・Walkは、毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。とくに器械運動は、技を習得していく過程にも魅力を見出すことのできるスポーツ種目である。したがって、成績は出席点70点、実技点30点の割合で評価する。器械運動ではやさしい技から難しい技まで約40～50の課題を設定してあるので、受講生はそこから自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。技の達成度の評価は、受講生同士で行なう。

その他

授業の進行状況に応じて、課題となっている技のビデオ、ならびに体操競技の競技会のビデオを観る。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 (室内球技)	田中 佳孝・長濱 友雄 <small>たなか よしたか ながはま ともお</small>	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

室内で行なう球技（卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール）の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓 球（ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム）
- 3 時限目：〃（サービスとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム）
- 4 時限目：〃（シングルスゲーム）
- 5 時限目：〃（シングルスゲーム）
- 6 時限目：〃（ダブルスゲームの進め方、ゲーム）
- 7 時限目：〃（ダブルスゲーム）
- 8 時限目：〃（まとめと評価）
- 9 時限目：バドミントン（ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム）
- 10 時限目：〃（ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス）
- 11 時限目：〃（ルール解説、シングルスゲーム）
- 12 時限目：〃（ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム）
- 13 時限目：〃（ダブルスゲーム）
- 14 時限目：〃（ダブルスゲーム）
- 15 時限目：〃（まとめと評価）

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：バレーボール（パスとサーブの技術、ミニゲーム）
- 3 時限目：〃（アタックとブロックの技術、ルール解説）
- 4 時限目：〃（フォーメーション、ゲーム）
- 5 時限目：〃（ゲーム）
- 6 時限目：〃（ゲーム）
- 7 時限目：〃（ゲーム）
- 8 時限目：〃（まとめと評価）
- 9 時限目：バスケットボール（パス、ドリブル、ショットの基本技術）
- 10 時限目：〃（レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説）
- 11 時限目：〃（ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム）
- 12 時限目：〃（ゲーム）
- 13 時限目：〃（ゲーム）
- 14 時限目：〃（ゲーム）
- 15 時限目：〃（まとめと評価）

履修上の留意点

遅刻は認めない。実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

そ の 他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、「履修要項」を確認の上履修すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 (室内球技)	すずき じゆん べい 鈴 木 淳 平	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要である積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集中授業コース(トレーニング)	あき た こう いち 秋 田 浩 一	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

基礎的な体力要素である筋力、持久力、柔軟性、敏捷性を高めることを目的にして、さまざまなトレーニングを実践する。また、自分の体力の特徴を知ることによって、それに応じたトレーニングの方法を学ぶことを主なねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目 午前：オリエンテーション、体力測定
- 1日目 午後：カイザーカムⅡの使用法の説明、最大筋力の測定
- 2日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 2日目 午後：トレーニング
- 3日目 午前：ストレッチ体操、マッサージ法
- 3日目 午後：トレーニング
- 4日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 4日目 午後：12分間走
- 5日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 5日目 午後：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意すること。実技は、おもに体育館地下のトレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：（前期）7月17日（日）～21日（木）
（後期）12月21日（水）～25日（日）
7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合
 - (2) 実施時間：午前 10：00～12：00
午後 13：00～15：30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集中授業コース(卓球)	かわむら <small>まきよし</small> やまぐち <small>よしひろ</small> 川村 正義・山口 良博	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、フォアハンドの基本形。
- 1 日目午後：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 2 日目午前：バックハンドショットの打ち方、バックハンドゲーム
- 2 日目午後：カットの打ち方と返球の方法、シングルスゲーム
- 3 日目午前：シングルスゲーム、ダブルスゲームのやり方
- 3 日目午後：ダブルスゲームの練習
- 4 日目午前：ダブルスゲーム
- 4 日目午後：ダブルスゲーム
- 5 日目午前：トーナメント形式の試合
- 5 日目午後：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(日)～21日(木)
(後期) 12月21日(水)～25日(日)
7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合
 - (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(バドミントン)	まきの 牧 野 茂	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、ストロークの基本技術（回内、回外）
 1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク
 (1) (スマッシュ、ドロップ)、コート反面のシングルス・ゲーム
 2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
 (2) (スマッシュ、クリアー、ドライブ)、サービス
 2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク
 (1) (クリアー、ヘアピン・ショット)、サービス、コート反面のシングルス・ゲーム
 3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク
 (2) (ロブ、クロス、ネットショット)、シングルス・ゲーム
 3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、サービス、シングルス・ゲーム
 4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
 (3) (カット、ブッシュ)、総合練習、ダブルス・ゲーム
 4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム
 5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム
 5日目午後：総合練習、トーナメント形式のゲーム

履修上の留意点

- (1) 服装は、一般的な運動服とする。
- (2) 体育館シューズを用意すること。
- (3) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(日)～21日(木)
 (後期) 12月21日(水)～25日(日)
 7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合
 - (2) 実施時間：10：00～12：00
 13：00～15：30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(ソフトボール)	たかはし しゅんすけ むらまつ まこと 高橋 俊介・村松 誠	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1日目 午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスパッティング、走塁練習、その他）
午後：同上
- 第2日目 午前：ゲーム
午後：〃
- 第3日目 午前：〃
午後：審判法・ゲーム
- 第4日目 午前：〃
午後：〃
- 第5日目 午前：〃
午後：〃

履修上の留意点

一般的の体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(日)～21日(木)
(後期) 12月21日(水)～25日(日)
7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(室内球技)	すずき じゅん べい 鈴 木 淳 平	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の愉しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・バドミントン等の種目を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。スケジュール(どの種目をどの程度やるか等)は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア(上下)、スポーツシューズ(室内用として履き分ける)の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(日)～21日(木)
(後期) 12月21日(水)～25日(日)
7月17日及び12月21日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合すること。
- (2) 実施時間：10:00～12:00 (昼食・休憩) 13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館他
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(トレーニング&太極拳)	みつなが よし てる 光 永 吉 輝	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

この講義では午前、体力の基礎である、筋力、持久力、柔軟性をトレーニングの授業で学び、午後の講義では、バランス、集中力、呼吸法によるリラクソスの方法を太極拳で学ぶことをねらいとしている。

簡化太極拳は、簡単なものから複雑なものへ、やさしいものから難しいものへと構成されていて、学びやすく、覚えやすいようになっている。全コース八組(24式)あって、練習では全コース通してやってもいいし、あるいは一組が2~4式となっているが、ここでは、第一組から第四組(11式)までを学ぶねらいとする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- | | | |
|-----|----|------------------------|
| 1日目 | 午前 | オリエンテーション・体力測定 |
| | 午後 | オリエンテーション・基本動作・第一組(3式) |
| 2日目 | 午前 | カイザーカムⅡの使用説明、最大筋力測定 |
| | 午後 | 第一組、第二組(3式) |
| 3日目 | 午前 | トレーニング |
| | 午後 | 第一組、第二組、第三組(2式) |
| 4日目 | 午前 | トレーニング |
| | 午後 | 第一組、第二組、第三組、第四組(3式)、総合 |
| 5日目 | 午前 | 体力測定 |
| | 午後 | 総合(1~11式)、テスト |

履修上の留意点

服装は、トレーニングウェア。実技は、体育館地下一階トレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。尚、太極拳は、最終日に演武テストを行う。

そ の 他

再クラス、集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(日)~21日(木)
(後期) 12月21日(水)~25日(日)
7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合
- (2) 実施時間：午前10:00~12:00
午後13:00~15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館地下トレーニング場
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	おお いし たけ し 大 石 武 士	経 A・商 1 選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ		経 A・商 2 選	
生涯スポーツ実習Ⅲ		経 A・商 3 選	
生涯スポーツ実習Ⅳ		経 A・商 4 選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬚・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館 2 階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (バドミントン)	なが はま とも お 長 濱 友 雄	経A・商1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			経A・商2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			経A・商3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			経A・商4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。

また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。

- (1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
- (2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4 時限目：反面での簡易ゲーム
- 5 時限目：〃
- 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時限目：
- 10 時限目： } 総合練習・ゲーム (シングルス)
- 11 時限目： } 総合練習・ゲーム (ダブルス)
- 15 時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (室内球技)	すずき じゆん へい 鈴 木 淳 平	経A・商1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			経A・商2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			経A・商3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			経A・商4選	

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

- スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。
- 定員は50名とする。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (卓球)	まきの野 しげる茂	経A・商1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			経A・商2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			経A・商3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			経A・商4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. 卓球の技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り込むことが出来る基本的技能を身につける。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) フォアバンド、バックハンドとも使うことが出来る。
(2) スマッシュを打つことが出来る。
(3) ゲームの中で各種技術を使うことが出来る。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
 - 2 時限目：ラケットの持ち方、サーブ
 - 3 時限目：サーブ、サーブレシーブ、ラリー
 - 4 時限目：サーブ、フォアハンドドライブ
 - 5 時限目：サーブ、バックハンドの使い方、ラリー
 - 6 時限目：サーブ、フォアハンド、バックハンド
 - 7 時限目：シングルスゲームの練習
 - 8 時限目：
 - 9 時限目：
 - 10 時限目：
 - 11 時限目：
 - 12 時限目：
 - 13 時限目：
 - 14 時限目：
 - 15 時限目：
- 総合練習、シングルスゲーム練習
- 総合練習、ダブルスゲーム

履修上の留意点

1. 定員は50名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽で動きやすいものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (バスケットボール)	まさの 牧野 しげる 茂	経A・商1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			経A・商2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			経A・商3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			経A・商4選	

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、基本的な技術やルールを学びながらゲームの楽しみ方を身につけるとともに、体力や運動能力の向上をはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともにスポーツを生涯にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力をも養うことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、ハーフコート2マン・パス
- 3 時限目：フルコート2マン・パス（1）、ハーフコート2対1、ミニゲーム
- 4 時限目：フルコート2マン・パス（2）、ハーフコート3対2、ミニゲーム
- 5 時限目：フルコート3マン・パス、シューティング・ドリル、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：2マン・ファースト・ブレイク（1）、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：2マン・ファースト・ブレイク（2）、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE（1）ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE（2）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE（3）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 13時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) 大石 武 士 (簡化太極拳)	経A・商1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ		経A・商2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ		経A・商3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ		経A・商4選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分ゾン・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・転身左ドン脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 転身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (ニュースポーツ)	おお いし たけ し 大 石 武 士	経A・商1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			経A・商2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			経A・商3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			経A・商4選	

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時限目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時限目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時限目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時限目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時限目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 9 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 10 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 11 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 12 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズについてはオリエンテーションの時に説明する。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	なが はま とも お 長 濱 友 雄	経A・商1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		経A・商2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		経A・商3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (バドミントン)		経A・商4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度をを養う。
また技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1)スマッシュ、ドロップショットを打つことが出来る。
(2)ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドライブ
- 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 4時限目：総合練習
- 5時限目：総合練習
- 6時限目： } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10時限目： }
- 11時限目： } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (室内球技)	すずき じゅん べい 平 鈴 木 淳 平	経A・商1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			経A・商2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			経A・商3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			経A・商4選	

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

- スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。
- 定員は50名とする。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バドミントン)	すずき じゅん べい 平 鈴 木 淳 平	経A・商1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			経A・商2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			経A・商3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			経A・商4選	

講義のねらい

生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4 時限目：反面での簡易ゲーム
- 5 時限目：〃
- 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 11時間目： }
- 12時間目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 15時間目： }

履修上の留意点

- 1. 定員は40名とする。
- 2. 実技は本校第1体育館で行なう。
- 3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
- 4. シューズは体育館専用のものを用意する。
- 5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (卓球)	まきの野 しげる茂	経A・商1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			経A・商2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			経A・商3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			経A・商4選	

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、サーブレシーブ
- 3 時限目：サーブ、ラリー
- 4 時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 8 時限目： }
- 9 時限目：総合練習、ダブルスゲーム練習
- 10 時限目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 13 時限目： }
- 14 時限目：総合練習、シングルス勝ち抜き戦
- 15 時限目：総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バスケットボール)	まきの野 しげる茂	経A・商1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			経A・商2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			経A・商3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			経A・商4選	

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート 2 対 1
- 3 時限目：2 ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3 対 3 ゲーム
- 4 時限目：2 マン・ファースト・ブレイク、フルコート 2 対 1、3 対 3 ゲーム
- 5 時限目：3 マン・ファースト・ブレイク、フルコート 3 対 2、ゲーム (リーグ戦)
- 6 時限目：4 マン・ファースト・ブレイク、フルコート 4 対 3、ゲーム (リーグ戦)
- 7 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE (1) ハーフ・コート 2 対 2、ゲーム (リーグ戦)
- 8 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE (2) ハーフ・コート 3 対 3、ゲーム (リーグ戦)
- 9 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE (3) ハーフ・コート 3 対 3、ゲーム (リーグ戦)
- 10 時限目：モーション・オフENSE (1) ハーフ・コート 2 対 2、ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：モーション・オフENSE (2) ハーフ・コート 3 対 3、ゲーム (リーグ戦)
- 12 時限目：モーション・オフENSE (3) ハーフ・コート 4 対 4、ゲーム (リーグ戦)
- 13 時限目：総合練習、ゲーム (リーグ戦)
- 14 時限目：総合練習、ゲーム (リーグ戦)
- 15 時限目：実技テスト、ゲーム (リーグ戦)

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技テスト (20点)、態度点 (10点)

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) (テニス集中)	え ぐち しゆん いち 江 口 淳 一	経A・商選	1

講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習では、フォアハンド・バックハンド グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど打球技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスは打球技術の習得ばかりでなく《あがり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通した人間関係を広げ深めることの楽しさを知ることを目標とする。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前：フォアハンド・バックハンド グラウンドストロークの基本技術の確認
- 1日目午後：ラリーの応用練習
- 2日目午前：より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ
- 2日目午後：より正確でスピーディーなテニスを目指す。
- 3日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 3日目午後：ダブルス（平行陣への移行）
- 4日目午前：ダブルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 4日目午後：シングルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 5日目午前：団体戦形式の試合
- 5日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

その他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：12月21日（水）～25日（日）
12月21日更衣の上、午前10時に玉川テニスコート集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) (ゴルフ集中)	みぬめさ はるみ 三 幣 晴 三	経A・商選	1

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。

本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講者同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）
講義：スイングの基本
- 2日目実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）
講義：マナーとエチケット
- 3日目実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）
講義：ゴルフルール
- 4日目実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）
講義：ゴルフコースとラウンドについて
- 5日目実技：打撃練習（総合的打撃練習）

履修上の留意点

- (1) 服装：一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）
- (2) グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

そ の 他

- (1) 実施期間：12月21日（水）～25日（日）
12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎グラウンド集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎グラウンド
- (4) 費用：受講者の上達によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、1,000円程度必要である。
- (5) 定員：40名
- (6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限（後期）

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) (ゴルフ)	むらまつ まつ まこと 村 松 誠 他	経A・商選	2

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。
生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション 1 回目 4月9日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2 回目 4月16日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。
1 回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2 回目を実施します。
- 事前授業 7月22日(金) 13:00~16:00 2研-102教場「ゴルフの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1 日目 9月5日(月) 実技:12:50~17:20 打撃練習
講義:10:40~12:10 17:30~18:00 《ゴルフスイングの基本》
※注意:1 日目は、玉川校舎で実施する。
 - 2 日目 9月6日(火) 実技:13:30~16:30 打撃練習
講義:19:00~21:00 《ゴルフのマナーやエチケット》
 - 3 日目 9月7日(水) 実技:9:00~16:30 打撃練習・ラウンド
講義:19:00~21:00 《ゴルフのルール・ラウンドについて》
 - 4 日目 9月8日(木) 実技:9:00~16:30 打撃練習・ラウンド
講義:19:00~21:00 《ラウンドの反省と総括》
 - 5 日目 9月9日(金) 実技:9:00~12:00 ラウンド

履修上の留意点

- 生涯スポーツ演習シーズン前期・基礎/応用 ゴルフを履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。
- 実習日程:9月5日(月)~9月9日(金)の3泊5日(現地集合解散)
 - 場 所:(1)宿 泊 ホテル安比グランド電話0195-73-6400 FAX0195-73-5025
岩手県岩手郡松尾村安比高原
(2)練習場 玉山ゴルフクラブ電話019-683-3100 FAX019-683-3100
(3)コース 安比高原ゴルフクラブ電話0195-73-5311
FAX0195-73-5044
 - 定 員:40名
 - 集合解散:現地(ホテル安比グランド)
※希望者多数であれば、格安なバスの利用も可能です。詳細については、オリエンテーションにおいて説明します。
 - 受講料:39,350円(左記金額には、交通費は含まれない)
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間:5月23日(月)~6月4日(土)
 - 服装・用具
 - (1)一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
 - (2)ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - (3)グローブは、必ず各自で用意すること。
 ※ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)によって2単位が認められる。成績は、講義・実技の出席状況、講義・実技テスト、実習参加態度等、総合的に評価される。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階資料室)に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) (スキー・スノーボード)	たけだ ゆきお 他 竹田 幸夫 他	経A・商選	2

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

○スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。

○スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション 1回目 4月9日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2回目 4月16日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業 12月21日(水) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 2月13日(月)
午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目 2月14日(火)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3日目 2月15日(水)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4日目 2月16日(木)
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目 2月17日(金)
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習シーズン後期・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成18年2月13日(月)～2月17日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グランド 電話(0195)73-5019
- 3) 定 員：スキー 30名
スノーボード 20名(但し、初心者に限る)
- 4) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：平成17年5月23日(月)～6月4日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生の追再試、1～3年生の追試験と重なっているため特に注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ論 1(後期)	たけだ ゆきお 竹 田 幸 夫	商1選	2

講義のねらい

「健康は人間が自分に贈れる最大のプレゼントである」ことを忘れず、生涯にわたり健康的でより豊かな生活の実現に必要な身体にかかわる教養を高めることをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目 講義のねらいと内容説明
- 2 時限目 からだの組織と機能について
- 3 時限目
- 4 時限目 身体活動量と健康について
- 5 時限目 ・スポーツマンは長生きか
- 6 時限目 ・寝て暮らしたらどうなるか
- 7 時限目 ・女性はなぜ長生きか
- 8 時限目 健康づくりの運動と栄養
- 9 時限目 ・有酸素運動と健康づくり
- 10時限目 ・筋力トレーニングの必要性
- 11時限目 ・脂肪と運動
- 12時限目 生活習慣病について
- 13時限目 健康に関する時事問題
- 14時限目 まとめ・「健康寿命をのばし自分の意志で自由に行動できる長生きほど幸せな生涯はない」
- 15時限目 筆記試験

保健
体育

成績評価の方法

出席状況と筆記試験で評価する。

教科書

特に指定しない。資料を配布。

参考書等

- 『健康と運動の科学』（大修館書店）
- 『運動・健康とからだの秘密』（近代科学社）
- 『スポーツと寿命』（朝倉書店）

その他

講義形式を基本とするが、運動生理の医学ビデオも使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 1(後期)	たか 高 橋 俊 介 はし しゅん すけ	経A・商1選	2

講義のねらい

健康スポーツ論学習の内容は健康で楽しい社会生活を送るためにもスポーツを行なうことは心身をリフレッシュさせ、体力の維持、健康の増進には欠かすことのできないことですが、体育とは何か、体育とは何をめざして行うのか、また現在のスポーツがどのような変革の道を進んで今日に至ったのか、その歴史を知ることによって体育の意義を知り、健康を考えることに役立てるものである。

- I 1時限目：運動はなぜ必要か
 2時限目：人類が生命を維持するのに必要な労働本能から生まれた運動
 3時限目：一人の人間の健康が、国家、社会、団体に与える問題と運動
 4時限目：体育によってどのような教育が考えられるか
 5時限目：学校体育による教育
 6時限目：社会体育による教育
 7時限目：生涯体育による教育
 8時限目：現在行なわれている運動がどのような経緯で生まれてきたか
 9時限目：実用の面から生まれてきた運動
 10時限目：健康の面から生まれてきた運動
 11時限目：ホモルーデンスの面から生まれてきた運動
- II “レポート提出” 授業時間内に課題に対する独自の見解をレポートする。
 12時限目：(例) スポーツの文化性、芸術性について
 13時限目：(例) スポーツマン精神について
 14時限目：(例) 大衆スポーツ論
 15時限目：(例) スポーツと政治

成績評価の方法

出席を重視し、特にペーパーテストは行なわないが、レポート提出によって試験に代え評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ論 2(前期)	おお いし たけ し 大 石 武 士	経A・商選	2

講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はどこかで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病気や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病気・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10 時限目：熱中症、やけど（熱傷）、凍傷
- 11 時限目：R・I・C・E 処置、創傷、創傷のない障害
- 12 時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13 時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 時限目：体力について
- 15 時限目：テスト

成績評価の方法

出席・実習および学期末試験で評価する。

参 考 書 等

- 1 駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』（カヅサ出版）1,700円
- 2 『最新図解救命救急－応急手当の手引き－』（小学館）700円

そ の 他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 2(前期)	むら まつ 村 松 誠	経A・商選	2

講義のねらい

現代は健康の時代の不健康な時代と言われる。健康に関する情報は、マスコミに溢れている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、健康とは何であるかというしっかりした健康観をもつことは、適切な選択をするために大切なことである。そして、学生時代は人生の中でもっとも健康な時期と言われるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この年代より多くは始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯にわたっての健康を考えて行く。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康観の変遷
- 3 時限目：現代の健康観
- 4 時限目：健康の成立要因
- 5 時限目：健康の成立条件
- 6 時限目：病気の原因
- 7 時限目：疾病構造の変遷と病気の予防
- 8 時限目：現代の感染症
- 9 時限目：喫煙と健康
- 10時限目：飲酒と健康
- 11時限目：ストレスと健康
- 12時限目：食べ物と健康
- 13時限目：運動と健康
- 14時限目：環境と健康
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

数回の小テストを行なう予定。

成績評価の方法

小テストとその他などを加味して評価する。

教 科 書

教科書は特に指定しないが、保健体育部編『保健体育概論』を参考図書とする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ論 2(前期)	まきの 牧 野 <small>しげる</small> 茂	経A・商選	2

講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：目的と課題の把握 全体ガイダンス、アンケートとその解説
- 2 時限目：健康とは何か (1) 語源・定義・性格
- 3 時限目：健康とは何か (2)
- 4 時限目：健康とは何か (3)
- 5 時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6 時限目：健康の成立条件 健康を規定する条件
- 7 時限目：健康の保持増進 (1) 科学的研究、健康教育
- 8 時限目：健康の保持増進 (2) 保健衛生サービス、健康の獲得
- 9 時限目：健康指標 WHOの総合健康指標
- 10時限目：日常生活と健康 (1) 運動・栄養・休養 (1)
- 11時限目：日常生活と健康 (2) 〃 〃 〃 (2)
- 12時限目：日常生活と健康 (3) 嗜好品と健康
- 13時限目：感染症について (1) インフルエンザ、結核
- 14時限目：感染症について (2) 性行為感染症
- 15時限目：筆記試験

成績評価の方法

筆記試験において、60点以上を合格とする。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参考書等

『保健体育概論』（カズサ出版部）1,700円
他は、講義のなかで紹介する。

保健体育

Ⅱ 専 門 教 育 科 目

経 済 学 科 フ レ ッ ク ス A
商 学 科

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックスBの頁を参照してください。(→P.585)

科
專
門
教
育
目
錄

Ⅱ. 専門教育科目

※印の科目については、経済学科フレックスBの頁を参照してください。

経済学概説《経A》〈森岡仁〉	281
経済学概説《経A》〈浅野克巳〉	282
経済学概説《経A》〈荒木勝啓〉	283
経済理論ⅠA・資本の原理《経A》〈有井行夫〉	283
経済理論ⅠA・資本の原理《経A》〈大石雄爾〉	284
流通論基礎〈大吹勝男〉	285
〔平成15年度以前入学生：商学総論〕	
経営学基礎〈百田義治〉	286
〔平成15年度以前入学生：経営学総論〕	
会計学基礎《商》〈石川祐二〉	287
〔平成15年度以前入学生：会计学総論〕	
経済理論Ⅱ・ミクロ経済学〈梶中貴〉	288
経済理論Ⅱ・ミクロ経済学〈松井柳平〉	289
経済理論Ⅱ・マクロ経済学〈荒木勝啓〉	290
経済理論Ⅱ・マクロ経済学〈浅野克巳〉	291
経済学史〈福原好喜〉	292
経済史〈斎藤英里〉	293
経済政策〈飯田泰之〉	294
財政学〈里中恆志〉	295
金融論〈福光寛〉	296
社会政策〈光岡博美〉	297
日本経済論〈小林正人〉	298
国際経済論〈徳永俊明〉	299
基礎ゼミ〈齊藤正、小西宏美、佐藤和子〉	300
経済学基礎〈森田成也〉	301
〔平成15年度以前入学生：経済学概説〕	
簿記論〈福島隆〉	302
簿記論〈渡邊智〉	303
簿記論〈森田佳宏〉	304
企業論基礎〈安藤陽〉	305
ファイナンス基礎〈須藤時仁〉	306
情報入門Ⅰ〈岩波文孝〉	307
情報入門Ⅱ〈岩波文孝〉	308
キャリア・デザイン〈前期：竹下睿騏、後期：光岡博美〉	309
経済理論ⅠA・資本の原理《商》〈大石雄爾〉	310
経済理論ⅠB・経済システムの原理〈阿部弘〉	311
経済数学〈池田宏〉	312
応用ミクロ経済学〈荒木勝啓〉	312
応用マクロ経済学〈吉野紀〉	313
計量経済学〈田中正光〉	314
統計原論〈吉野紀〉	315
景気循環論〈野村信廣〉	316
現代資本主義論〈長島誠一〉	317
社会思想史〈阿部弘〉	318
日本経済史〈渡邊恵一〉	319

西洋経済史	〈友松憲彦〉	320
農業政策	〈溝手芳計〉	321
工業政策	〈奥山雅之〉	322
経済地理	〈矢延洋泰〉	323
中小企業論	〈吉田敬一〉	324
公共経済学	〈鈴木伸枝〉	325
財政政策	〈休講〉	
地方財政論	〈篠原章〉	326
国際金融論	〈田中綾一〉	327
人口論	〈森岡仁〉	328
教育経済論	〈谷敷正光〉	329
労働経済論	〈休講〉	
環境経済論	〈山口由二〉	330
アジア経済論	〈鄭章淵〉	331
中国経済論	〈休講〉	
アメリカ経済論	〈瀬戸岡紘〉	332
ヨーロッパ経済論	〈休講〉	
EU統合論	〈清水卓〉	333
現代西欧経済論	〈清水卓〉	334
ロシア・東欧経済論	〈山縣弘志〉	335
※貿易実務	〈荒畑治雄〉	(611)
※通関実務	〈荒畑治雄〉	(612)
会計学総論《経A》	〈寺坪修〉	336
情報・経済ネットワーク論	〈中濟光昭〉	337
プログラミング論	〈濱本和彦〉	338
基礎情報処理Ⅰ	〈岩瀬弘和〉	339
基礎情報処理Ⅱ	〈岩瀬弘和〉	340
応用情報処理Ⅰ	〈岩瀬弘和〉	341
応用情報処理Ⅱ	〈岩瀬弘和〉	341
憲法	〈内田真利子〉	342
民法一部	〈竹中智香〉	343
民法二部	〈織田晃子〉	344
商法一部	〈荒木正孝〉	345
商法二部	〈川口幸美〉	345
経済法	〈若林亜里砂〉	346
労働法	〈藤本茂〉	347
行政法	〈小林弘人〉	348
国際法	〈齋藤洋〉	349
※税法Ⅰ	〈奥村正郎〉	(622)
※税法Ⅱ	〈奥村正郎〉	(623)
原書講読Ⅰ・Ⅱ〔英語〕	〈岩波文孝〉	349
原書講読Ⅰ・Ⅱ〔英語〕	〈鈴木伸枝〉	350
原書講読Ⅰ・Ⅱ〔英語〕	〈溝手芳計〉	350
原書講読Ⅰ・Ⅱ〔独語〕	〈福原好喜〉	351
原書講読Ⅰ・Ⅱ〔中国語〕	〈休講〉	
原書講読Ⅰ・Ⅱ〔ロシア語〕	〈山縣弘志〉	351
原書講読Ⅰ・Ⅱ〔朝鮮語〕	〈鄭章淵〉	351
現代経済事情Ⅰ	〈休講〉	
現代経済事情Ⅱ〔日本の中小企業とアジア経済〕	〈高田好章〉	352

現代経済事情Ⅲ〔エネルギー資源最前線〕	〈兼松通彦〉	353
現代経済事情Ⅳ	〈休講〉	
現代産業事情Ⅰ	〈休講〉	
現代産業事情Ⅱ	〈代田純〉	353
※現代産業事情Ⅰ	〈阿部弘〉	(626)
※会計資格特別演習	〈鈴木勝浩〉	(627)
※情報資格特別演習Ⅰ	〈永井勇〉	(628)
※情報資格特別演習Ⅱ	〈井川俊実〉	(629)
※教員試験特別演習	〈谷敷正光〉	(630)
流通経済論	〈大吹勝男〉	354
商業政策	〈岩下弘〉	355
マーケティング	〈江上哲〉	356
商品学	〈石崎悦史〉	357
交通論	〈塩見英治〉	358
商業史	〈休講〉	
消費経済論	〈休講〉	
口ジステック	〈石原伸志〉	359
経営管理論	〈名取修一〉	360
労務管理論	〈堀龍二〉	361
経営戦略論	〈田淵泰男〉	362
企業統治論	〈岩波文孝〉	363
現代企業論	〈休講〉	
財務管理	〈休講〉	
経営学史	〈休講〉	
非営利組織論	〈休講〉	
経営情報システム論Ⅰ	〈斉藤隆〉	364
経営情報システム論Ⅱ	〈斉藤隆〉	365
財務会計論	〈小栗崇資〉	366
会計監査論	〈森田佳宏〉	367
会計情報論	〈石川純治〉	368
管理会計論	〈石川祐二〉	369
原価計算論	〈休講〉	
税務会計論	〈柳裕治〉	369
経営分析	〈休講〉	
上級簿記	〈福島隆〉	370
コンピュータ会計Ⅰ	〈鈴木勝浩〉	371
コンピュータ会計Ⅱ	〈鈴木勝浩〉	372
貿易論	〈古沢紘造〉	373
銀行論	〈休講〉	
銀行システム論	〈斉藤正〉	374
現代銀行事情	〈斉藤正〉	375
証券市場論	〈広田真人〉	376
保険論	〈本間照光〉	377
ビジネス事例研究	〈百田義治〉	378
ビジネス英会話Ⅰ・Ⅱ	〈清水絹代〉	379
ビジネスインターンシップ	〈小栗崇資・堀龍二〉	380
現代産業事情Ⅲ	〈休講〉	
演習Ⅰ	〈浅野克巳〉	381
演習Ⅰ	〈阿部弘〉	381

演	習	I	〈荒	木	勝	啓	382
演	習	I	〈有	井	行	夫	382
演	習	I	〈飯	田	泰	之	383
演	習	I	〈石	川	純	治	384
演	習	I	〈石	川	祐	二	384
演	習	I	〈岩	下	弘	385	
演	習	I	〈岩	波	文	孝	385
演	習	I	〈大	石	雄	爾	386
演	習	I	〈大	吹	勝	男	386
演	習	I	〈小	栗	崇	資	387
演	習	I	〈小	杉	修	二	387
演	習	I	〈小	林	正	人	388
演	習	I	〈齊	藤	正	388	
演	習	I	〈清	水	卓	389	
演	習	I	〈代	田	純	389	
演	習	I	〈鈴	木	伸	枝	390
演	習	I	〈瀬	戸	岡	絃	390
演	習	I	〈鄭	章	淵	391	
演	習	I	〈德	永	俊	明	392
演	習	I	〈友	松	憲	彦	393
演	習	I	〈中	濟	光	昭	394
演	習	I	〈百	田	義	治	395
演	習	I	〈福	原	好	喜	396
演	習	I	〈古	沢	絃	造	397
演	習	I	〈堀	龍	二	397	
演	習	I	〈松	井	柳	平	398
演	習	I	〈溝	手	芳	計	399
演	習	I	〈光	岡	博	美	399
演	習	I	〈森	岡	仁	400	
演	習	I	〈森	田	佳	宏	400
演	習	I	〈谷	敷	正	光	401
演	習	I	〈山	縣	弘	志	401
演	習	I	〈吉	田	敬	一	402
演	習	I	〈吉	野	紀	402	
演	習	I	〈渡	邊	惠	一	403
演	習	II	〈淺	野	克	巳	403
演	習	II	〈阿	部	弘	404	
演	習	II	〈荒	木	勝	啓	404
演	習	II	〈有	井	行	夫	405
演	習	II	〈飯	田	泰	之	405
演	習	II	〈石	川	純	治	406
演	習	II	〈石	川	祐	二	406
演	習	II	〈岩	下	弘	407	
演	習	II	〈岩	波	文	孝	408
演	習	II	〈江	上	哲	408	
演	習	II	〈大	石	雄	爾	409
演	習	II	〈大	吹	勝	男	409
演	習	II	〈小	栗	崇	資	410
演	習	II	〈小	杉	修	二	410

演	習	Ⅱ	〈小	林	正	人	411
演	習	Ⅱ	〈齊	藤	正	正	411
演	習	Ⅱ	〈里	中	恆	志	412
演	習	Ⅱ	〈清	水		卓	412
演	習	Ⅱ	〈代	田		純	413
演	習	Ⅱ	〈鈴	木	伸	枝	413
演	習	Ⅱ	〈瀬	戸	岡	紘	414
演	習	Ⅱ	〈鄭		章	淵	415
演	習	Ⅱ	〈德	永	俊	明	416
演	習	Ⅱ	〈友	松	憲	彦	416
演	習	Ⅱ	〈中	濟	光	昭	417
演	習	Ⅱ	〈百	田	義	治	417
演	習	Ⅱ	〈福	原	好	喜	418
演	習	Ⅱ	〈古	沢	紘	造	418
演	習	Ⅱ	〈堀		龍	二	419
演	習	Ⅱ	〈溝	手	芳	計	420
演	習	Ⅱ	〈光	岡	博	美	420
演	習	Ⅱ	〈森	岡		仁	421
演	習	Ⅱ	〈森	田	佳	宏	421
演	習	Ⅱ	〈谷	敷	正	光	422
演	習	Ⅱ	〈山	縣	弘	志	422
演	習	Ⅱ	〈吉	田	敬	一	423
演	習	Ⅱ	〈吉	野		紀	423
演	習	Ⅱ	〈渡	邊	恵	一	424
演	習	Ⅱ	〈浅	野	克	巳	424
演	習	Ⅱ	〈阿	部		弘	425
演	習	Ⅱ	〈小	栗	崇	資	425
演	習	Ⅱ	〈齊	藤		正	426
演	習	Ⅱ	〈清	水		卓	426
演	習	Ⅱ	〈代	田		純	427
演	習	Ⅱ	〈德	永	俊	明	427
演	習	Ⅱ	〈友	松	憲	彦	427
演	習	Ⅲ	〈浅	野	克	巳	428
演	習	Ⅲ	〈阿	部		弘	428
演	習	Ⅲ	〈荒	木	勝	啓	429
演	習	Ⅲ	〈有	井	行	夫	429
演	習	Ⅲ	〈飯	田	泰	之	429
演	習	Ⅲ	〈石	川	純	治	430
演	習	Ⅲ	〈石	川	祐	二	430
演	習	Ⅲ	〈岩	下	弘	弘	431
演	習	Ⅲ	〈岩	波	文	孝	431
演	習	Ⅲ	〈江	上		哲	432
演	習	Ⅲ	〈大	石	雄	爾	432
演	習	Ⅲ	〈大	吹	勝	男	432
演	習	Ⅲ	〈小	栗	崇	資	433
演	習	Ⅲ	〈小	杉	修	二	433
演	習	Ⅲ	〈小	林	正	人	434
演	習	Ⅲ	〈齊	藤	正	正	434
演	習	Ⅲ	〈里	中	恆	志	435

演	習	Ⅲ	〈清	水	卓	435
演	習	Ⅲ	〈代	田	純	435
演	習	Ⅲ	〈鈴	木	枝	436
演	習	Ⅲ	〈瀨	岡	絃	436
演	習	Ⅲ	〈鄭	章	淵	437
演	習	Ⅲ	〈德	永	俊	437
演	習	Ⅲ	〈友	松	憲	438
演	習	Ⅲ	〈中	濟	光	438
演	習	Ⅲ	〈百	田	義	439
演	習	Ⅲ	〈福	原	好	439
演	習	Ⅲ	〈古	沢	絃	439
演	習	Ⅲ	〈堀		龍	440
演	習	Ⅲ	〈溝	手	芳	440
演	習	Ⅲ	〈光	岡	博	441
演	習	Ⅲ	〈森	岡	仁	441
演	習	Ⅲ	〈森	田	佳	441
演	習	Ⅲ	〈谷	敷	正	442
演	習	Ⅲ	〈山	縣	弘	442
演	習	Ⅲ	〈吉	田	一	443
演	習	Ⅲ	〈吉	野	紀	443

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学概説	もり森 おか岡 じん仁	経A1必	4

講義のねらい

この授業では私たちが日常的に行なっている経済活動と経済学がどのように関係しているかを考える。したがってその範囲は広範なものになるが、内容は分かりやすく、身近で関心深い課題を取り上げる。

講義の内容・
授業スケジュール

I. 社会科学としての経済学、II. 経済学者の学説と社会観、III. 経済分析の基礎理論、IV. 現代社会の経済問題

履修上の留意点

欠席せず、積極的な発言を希望する。

成績評価の方法

学年末試験。

教科書

兼清弘之『経済学の考え方』（文化書房博文社）1,980円 ISBN4-8301-0685-9

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学概説	あさの かつみ 浅野 克巳	経A1必	4

講義のねらい

現代経済学は「マクロ理論」と「ミクロ理論」からなる。「マクロ」とは大きいという意味を持ち、「ミクロ」は小さいという意味を持つ。このコースでは経済全体の動きを分析する「マクロ理論」の基礎を勉強する。具体的に言うと、景気のよし悪しは何によって決まるか？物価の変動はどのような要因によるものか。現在わが国の失業率は上昇傾向にあるというが、その要因は何か？さらに政府の経済活動についてどのように考えるべきか。また輸出・輸入、経常収支といった外国との経済関係をどのように捉えたらよいか。マクロ理論はこれらの疑問に答えるさきめて日常的で身近な分野であるといえる。しっかり勉強すれば、面白くてためになる「一粒で二度おいしい」経済学入門コースだ。なお、上に述べたように「ミクロ理論」とはベアであるから、必ず両コースを履修することが現代経済学を体系的に勉強するためには不可欠である。

講義の内容・授業スケジュール

年間のスケジュールは以下のとおりであるが、理解しにくいトピックスには十分時間をかけ説明するが、テキストなどで「読めばわかる」箇所は簡単に済ませ時間の節約を心がけたい。

1. マクロ経済活動とマクロ経済学の考え方
2. 国民経済計算と国民所得の考え方
3. GDPとは何か、それはどのようにして決まるのか
4. 独立支出の変化とGDPの関係
5. 消費と投資
6. IS-LMモデルと財政金融政策
7. インフレとデフレについて
8. 国際貿易
9. 政府の経済的役割
10. 総需要と総供給
11. 貨幣とマクロ経済
12. 貨幣政策と金融政策
13. 為替市場と金融政策
14. 経済成長と景気循環

専
門
教
育
目
的

履修上の留意点

現代経済学を勉強する上で不可欠なことは、実際の経済問題に強い関心を持つことだ。これらはさまざまなメディアをとおしてあふれるほど提供されている。とくに『日本経済新聞』やその他の新聞には毎日必ず目をとおすこと。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけスクラップブック等に整理しておくことよ。これは授業だけでなく、将来の就職活動に際しても役立つおすすめ。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的コースで使う数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要に応じて授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れる！」のつもりで反復練習に限る。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学情報センター」に常備されている。それらを使ってシミュレーションしてみることも、面白く経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席し、ノートをしっかりととり、予習復習を実行すれば100点取るの夢じゃない。なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと、ケイタイなどもってのほか、以上厳守。守れない者は直ちに退席してもらう！

成績評価の方法

定期試験とレポートの成績を総合評価する。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）1995年。

参考書等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）2004年。これは公務員試験の問題集だけでなく他の国家試験の受験対策にも十分通用する。できる限り問題練習をすることも理解を確実にする近道だ。自分で復習をかねて解いてみることをとくにお勧めする。

その他

毎回の授業の内容や主なトピックスをKOMSYに掲載するから、必要に応じ参考にしてください。また授業中わからないこと、その他問題点などあったら、いつでも質問相談に応じます。オフィスアワーを設けていますので利用してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学概説	あら き よし ひろ 荒木 勝 啓	経A1必	4

講義のねらい

題名：「経済学・7つの難問」……人々は経済のパラドキシカルに見える難問の解決に、いかにして取り組んできたか。その足跡をたどることで自ずと経済学的な見方と定式化の方法が身につくことになるであろう。

講義の内容・授業スケジュール

1. 重商主義・重金主義が国民をなぜ貧困に追いやるか？……ケネーの経済表からレオンチェフの産業連関表まで
2. 貿易はなぜ行われるか？……比較優位説から一般均衡分析まで
3. 不変の価値尺度は存在するか？……リカードからスラッファまで
4. 客観価値論は体系として数理的に完結するか？……スミスから森嶋・シートンの定理まで
5. 主観価値論は生き延びたか？……限界革命からフォン・ノイマンまで
6. 豊かになるほど失業が増えるのはなぜか？……セー法則からケインズまで
7. すべての人が満足する社会は存在するのか？……パレート最適から市場の失敗まで

履修上の留意点

ノートをとることを欠かさないこと。経済学のエッセンスがすべて凝縮された内容なので、あとから文献等で調べようとすると膨大な量になる。

成績評価の方法

定期試験、ただしノート持込可。コピー不可。

教科書

特になし。

参考書等

講義の中で随時示す。

科 専
門 教
育 目 録

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済理論 I A・資本の原理	あり い ゆき お 有 井 行 夫	経A1・2・3・4必	4

講義のねらい

経済のエネルギーとは、水力や火力、電力、原子力など自然力一般ではなく、人間自身のエネルギー、すなわち労働力です。地中における諸資源の地質学的生成、原生林や大気の生成など、人間エネルギーの関与しない自然的生成は経済関係を構成しません。経済システムとは、人間自身のエネルギーを組織しバランスよく発揮させている仕組みなのです。そして今日の経済システムは、かぎりない利潤追求を活動動機とする企業の商品生産にもとづいて実現されています。

さて、企業のかぎりない利潤追求を意味づけているのは、利潤の再投資運動、すなわちお金を産むお金の運動です。この運動のことを資本といいます。資本こそは、現代の経済システムの編成原理です。経済理論 IA は、資本の存在と意味について、経済活動の原点から掘り下げます。なお、経済理論 IB は、資本の意義の理解を前提して資本による社会的諸制度の意味づけをとらえる IA の発展コースです。また、経済理論 II の系列（マイクロ経済学、マクロ経済学）は、おなじく現代経済システムの構造を原理的に考察しますが、経済理論 I 系列とはアプローチの方法がちがいます。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1-4) 序章=経済学の対象と方法(経済理論 IA の「3つの精神」)。(5-8) 第1篇第1章=市場経済。(9-13) 第2-6章=資本と増殖。
(後期) (14-20) 第7-10章=資本と蓄積。(21-26) 第2篇=資本の流過程。

履修上の留意点

骨格的内容の理解に時間を集中します。卒業年次生について、「再試験」を実施します。

成績評価の方法

授業中にアンダーラインを指示した箇所から出題した実力試験によります。

教科書

大谷禎之介『図解社会経済学』(桜井書店) 3,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済理論 I A・資本の原理	おお いし ゆうじ 大石雄爾	経A1・2・3・4必	4

講義のねらい

私たちが生活している資本主義社会は、利潤追求を目的とする資本が支配的な力となり、生産・分配・消費のあり方を規定している社会です。現代社会はますます複雑なものとなっているため、まず資本主義経済の一般的な仕組みや法則についてきちんと理解することが必要となります。この「経済理論 I A」では、科学的方法に基づいて打ち立てられたマルクス経済学の理論を中心に講義してゆきます。

この講義では、経済理論と現実の経済問題との関連についてもできる限り触れてみたいと考えています。受講生の皆さんも、新聞・テレビ・ラジオなどの報道に注意を向け、世界や日本国内で生じている政治・経済問題について考えるように心がけていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

この講義は次のようなテーマに沿って進められます。

1. 経済学とはどういう学問か
2. 商品の2要因と商品生産社会
3. 貨幣の本質と諸機能
4. 資本の一般的定式
5. 資本の生産過程
6. 賃金とは何か
7. 資本の蓄積過程
8. 資本の循環と回転
9. 社会的総資本の再生産と流通
10. 利潤と利潤率
11. 平均利潤率と生産価格
12. 資本主義経済の長期的傾向

成績評価の方法

授業時間中に、小レポートを数回書いていただく。成績評価は、後期に実施される定期試験の点数を基礎に、小レポートの点数を勘案しつつ行います。再試験は実施しない。

教科書

金子ハルオ編著『資本主義の原理と歴史』（青木書店）2,000円

参考書等

大石雄爾著『商品の価値と価格』（創風社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
流 通 論 基 礎	おお ぶき かつ お 大 吹 勝 男	商1選必(16以降入学生)	4
商 学 総 論		経A 2・3・4選	
		商1・2・3・4選必(15以前入学生)	

講義のねらい

この授業では、「流通論基礎」を講義するのですが、どのような内容の講義であるのか。まず、「流通論」の「基礎」を講義することは解るでしょう。それでは、「流通論」とは何を論じるものなのか。すくなくとも、「流通」について論じるものであることも解るでしょう。しかし、問題はここからです。以上ではまだ何も解っていないということは解っていますね。あるいは、これから論じる「流通」とは何か、ということは知っていますか。諸君は、この授業で、「流通」に関する理論、のさらにその「基礎」を学習することになるのですが、現代企業の経営戦略において重要性を増している物流問題を考えるうえで、その基礎となる理論について主きをおいて講義するとともに、ロジステックスおよびサプライチェーン、そしてそれらのマネジメントについても検討する予定です。

講義の内容・授業スケジュール

授業の内容は下記の通りです。

- (1) 商品について。
- (2) 商品の生産について・商品がなければ流通はありません。
- (3) 商品の流通について。
- (4) 商品の売買について・いまの社会ではわれわれ消費者は商品を買わなければ生活できません。
- (5) 商品を販売するためには、それまで保管されなければなりません。
- (6) 商品を販売するためには、市場まで輸送されなければなりません。

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねたレポートの提出も評価します。また、各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深めるようにします。期末試験では、テキストおよびノートの参照は可とします。しかし、この措置は、私自身、学生時代に非常に疑問に思っていたことでありますが、君たちに、受験生のような暗記の勉強を早く卒業してもらい、十分な準備(学習)をして試験に望んでもらいたいということがあります。いうならば、問題のわからないレポート試験とでもいえばよいかもしれません。したがって、容易に単位が取得できるという意味ではありませんから誤解のないように。いつまでたっても、そのことがわからない学生がいます。また、出欠をとらなくなると、途端に授業にこなくなる学生が、2年になっても、3年になってもいますが、こういう学生は何を考えているのでしょうかねえ。出席するだけで単位が取れるとも思っているのでしょうか。全く悪い風習です？。

教 科 書

大吹勝男著『流通諸費用の基礎理論』(梓出版社) 1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営学基礎	ひやく た よし はる 百 田 義 治	商1選必(16以降入学生)	4
経営学総論		経A2・3・4選 商1・2・3・4選必(15以前入学生)	

講義のねらい

この講義では、大学に入学して初めて経営学を学ぶ学生を対象に、できるだけやさしくその体系と内容を解説することを目的としています。

20世紀の科学として生成・発展した経営学は、21世紀を迎えて、ますます進展するグローバル化と情報技術革新のなかで、大きく変容しています。この講義では、できるだけこのような新しい経営現象を素材として、経営学の考え方や分析の仕方を理解できるようにします。もちろん、これまでの経営学の理論や企業経営の歴史的発展を学ばなければ、新しい経営現象を深く理解することはできません。楽しく講義しますが、学生諸君も積極的に取り組む姿勢を大切にして参加してください。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経営学（マネジメント）とは何か？
- II. 経営学100年の歴史から学ぶ（1）—効率性追求の歴史的発展—
1. 科学的管理法 2. フォード・システム 3. トヨタ・システム
- III. 経営学100年の歴史から学ぶ（2）—人間性追求の歴史的発展—
1. 人間関係論 2. 行動科学的管理論 3. 人的資源管理論
- IV. 経営組織における官僚制と民主制
- V. 経営環境と経営戦略
- VI. 企業の社会性と組織間関係
- VII. 国際経営の進展と経営組織
- VIII. 企業倫理と組織文化
- IX. 21世紀のビジネス・モデル
- X. 企業倫理・企業の社会的責任

履修上の留意点

新聞を読み、テレビのニュース・報道特集などをみて、企業の経営・管理問題に関心を持って授業に参加して欲しい。現代の企業経営を巡る話題に関連づけて講義を進めます。

成績評価の方法

学年末試験およびレポートによって評価します。授業スケジュールにある項目ごとの小レポートも成績評価に加えます。

教科書

百田義治編著『経営学基礎』（中央経済社）2005年4月
 稲村毅・百田義治編著『経営組織の論理と変革』（ミネルヴァ書房）2005年4月

参考書等

小林俊治・百田義治編『社会から信頼される企業』（中央経済社）2004年7月

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計学基礎 会計学総論	いし かわ ゆう じ 石 川 祐 二	商1選必(16以降入学生) 商1・2・3・4選必(15以前入学生)	4

講義のねらい

大学で会計に関する学習を進めるうえで、必要不可欠な基礎知識を獲得すると同時に、会計に関わる事象を分析するうえでの基本的な見方を養うことを最大の目的とする。また、2年生以降の会計専門科目をどのように学ぶのかということについて、専門科目間の関係性を踏まえつつ、説明を行う。そのことによって、より高度な学習内容を理解するための土台をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

以下のような内容について、順次講義を進める。

- 1 会計とは何か
- 2 取引と簿記・原価計算の基礎
- 3 財務会計の基礎
- 4 管理会計の基礎
- 5 監査の基礎

履修上の留意点

電卓を利用する機会が多いので、持参すること。
同時に「簿記論」を履修すること（または履修済・認定済）が望ましい。

成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。再試験は実施しない。

教科書

プリントを配布する。一年間の講義をつうじて蓄積されたプリントが、学生個々人の成果を反映したテキストとなる。

参考書等

講義において適宜指示する。

その他

講義においては問題練習を行い、知識の定着を目指す。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済理論Ⅱ・ミクロ経済学	はたなか たかし 島 中 貴	経A1・2・3・4選必	4
		商2・3・4選	

講義のねらい

ミクロ経済学の基礎的な内容（家計が行っている経済活動、企業が行っている経済活動、市場メカニズムが果たしている基本的な役割、市場メカニズムがうまく機能しないケース）を一通り講義する。

この講義の目標とするところは、以下の二点である。

- (i) 経済のありさまを自分なりに把握するための技術を身につける。
- (ii) 論理的な思考ができるようになる。

講義の内容・授業スケジュール

スケジュールは以下の通り。

- (前期) (1) ガイダンス (2) 経済主体と市場 (3・4) 需要曲線、供給曲線 (5・6) 価格および取引数量の変化 (7・8) 予算制約 (9) 無差別曲線 (10・11) 需要曲線の導出 (12) 需要関数 (13) 前期末試験
- (後期) (14・15) 生産関数 (16・17) 利潤最大化問題、費用最小化問題 (18~20) 限界費用と微分 (21・22) 供給曲線の導出 (23) 純粋交換経済 (24・25) 厚生経済学の基本定理と市場の失敗 (26) 情報の不完全性

履修上の留意点

数学は議論を単純化し論理の厳密性を実現する上でとても有益な道具であり、ミクロ経済学の醍醐味を味わうためには、ぜひとも初歩的な数学をマスターする必要がある。初歩的な数学（関数、微分）も併せて一から講義するので、数学に苦手意識を持っている人は覚悟を決めて講義に臨むこと。抽象的な議論の多いミクロ経済学の修得には努力と根性が必要であるが、根気よく予習・復習を行い、1年を通して頭を働かせ続けたなら、自分の頭でものを考える力を伸ばすことができ、自分の頭に自信が持てるようになるであろう。高く飛ばんと欲すれば、深く学ばざるべからず。

成績評価の方法

基本的に二度の期末試験の総合評価。前期末試験、後期末試験のうちどちらか一方でも受けていなければ、単位を与えることはできないので注意すること。追・再試験は実施する。

教科書

第1回目の授業で指示をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済理論Ⅱ・ミクロ経済学	まつ い りゅう へい 松 井 柳 平	経A1・2・3・4選必 商2・3・4選	4

講義のねらい

理論的な経済分析の基礎となるミクロ経済学の理論を、ゲーム理論をベースとして解説する。消費者や企業などの個別経済主体が自発的かつ合理的に行動しているとき、どのような社会・経済状態が実現するか考察する。その際、その帰結の理解よりもむしろ、その帰結に至る論理展開、つまり分析方法の理解に重点を置く。

講義の内容・授業スケジュール

<前期>
 ガイダンス 講義の概要等説明
 あるパン屋の話
 支配戦略
 ナッシュ均衡
 バックワード・インダクション
 サブゲーム完全均衡
 交渉ゲーム
 <後期>
 不完備情報ゲーム
 バイズ完全均衡
 オークション
 市場取引
 消費者理論
 金融市場と一般均衡

履修上の留意点

数の大小比較、四則演算（足し算、引き算、かけ算、わり算）、分数の計算、簡単な方程式の変形について、完全な理解ができていることが、受講生には求められる。
 公務員試験、経済学検定試験、その他各種資格試験を将来、受験しようという学生は、この科目やマクロ経済学を履修した後、さらに、価格理論、国民所得論、公共経済学などの科目を履修することが望まれる。

成績評価の方法

成績は基本的に、100点満点の後期試験に基づく。さらに、追加点として、授業中に発表して内容がよかった人には、1回につきプラス10点を与える。
 また、夏期休暇中のレポート課題も1点～10点で評価する。
 以上より、素点としては100点を超える学生も出るであろうが、そのような学生の、成績の最大値は、最終的な成績評価の段階で、100点とする。
 成績評価は、絶対評価であり、したがって、好成績の学生がいるからといって、それによって他の学生の評価が相対的に悪くなるということはない。

教科書

梶井・松井『ミクロ経済学—戦略的アプローチ』（日本評論社）ISBN4-535-55202-9

参考書等

岩田『経済学を学ぶ』（筑摩書房）（ちくま新書）ISBN4-480-05602-5
 船木『演習ゲーム理論』（新世社）ISBN4-88384-072-7
 神戸『入門ゲーム理論と情報の経済学』（日本評論社）ISBN4-535-55414-5

その他

基本的に講義形式で行うが、問題演習等において自発的に解答を発表してくれる受講生を歓迎する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済理論Ⅱ・マクロ経済学	あら き よし ひろ 荒 木 勝 啓	経A1・2・3・4選必 商2・3・4選	4

講義のねらい

乗数理論の完全理解、貨幣の役割と信用創造理論、IS-LM-BP 曲線による国際経済と国内経済の関係の理解、経済成長と技術進歩の理解という5つのメインテーマを中心にマクロ経済理論を学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

授業の内容は次の通り。

- | | |
|-------------------|---------------------------------------|
| 1. 国民経済の成立 | 13. LM 曲線 |
| 2. 所得の循環図式 | 14. 投資関数 |
| 3. 国民所得の概念 | 15. IS 曲線 |
| 4. 国民所得の決定 | 16. IS=LM 曲線による均衡実質国民所得の決定 |
| 5. 政府・輸出入の導入 | 17. マンデル=フレミングの定理 |
| 6. 乗数理論 | 18. IS=LM=BP 曲線による国際経済と国内経済の
関係の理解 |
| 7. ビルト=イン=スタビライザー | 19. コブ=ダグラス生産関数に基く経済成長率の算出 |
| 8. 貨幣とは何か | 20. ハロッド=ドーマーモデル |
| 9. 信用通貨の成立 | 21. 新古典派成長理論 |
| 10. 信用創造理論 | 22. 期待理論その1 |
| 11. 貨幣数量説と古典派学説 | 23. 期待理論その2 |
| 12. 流動性選好説 | |

成績評価の方法

再試験実施。

教 科 書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済理論Ⅱ・マクロ経済学	あきの 浅野 かつみ 克巳	経A1・2・3・4選必	4
		商2・3・4選	

講義のねらい

現代経済学は「マクロ理論」と「ミクロ理論」からなる。「マクロ」とは大きいという意味を持ち、「ミクロ」は小さいという意味を持つ。このコースでは経済全体の動きを分析する「マクロ理論」の基礎を勉強する。具体的に言うと、景気の良し悪しは何によって決まるか？物価の変動はどのような要因によるものか。現在わが国の失業率は上昇傾向にあるというが、その要因は何か？さらに政府の経済活動についてどのように考えるべきか。また輸出・輸入、経常収支といった外国との経済関係をどのように捉えたらよいか。マクロ理論はこれらの疑問に答えるきわめて日常的で身近な分野であるといえる。しっかり勉強すれば、面白くてためになる「一粒で二度おいしい」基礎コースだ。なお、上に述べたように「ミクロ理論」とはペアであるから、必ず両コースを履修することが現代経済学を体系的に勉強するためには不可欠である。

講義の内容・授業スケジュール

年間のスケジュールは以下のとおりであるが、理解しにくいトピックスには十分時間をかけ説明するが、テキストなどで「読めばわかる」箇所は簡単に済ませ時間の節約を心がけたい。

1. マクロ経済活動とマクロ経済学の考え方
2. 国民経済計算と国民所得の考え方
3. GDPとは何か、それはどのようにして決まるのか
4. 独立支出の変化とGDPの関係
5. 消費と投資
6. IS-LMモデルと財政金融政策
7. インフレとデフレについて
8. 国際貿易
9. 政府の経済的役割
10. 総需要と総供給
11. 貨幣とマクロ経済
12. 貨幣政策と金融政策
13. 為替市場と金融政策
14. 経済成長と景気循環

科専門教育 目

履修上の留意点

現代経済学を勉強する上で不可欠なことは、実際の経済問題に強い関心を持つことだ。これらはさまざまなメディアをとおしてあふれるほど提供されている。とくに『日本経済新聞』やその他の新聞には毎日必ず目をとおすこと。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけスクラップブック等に整理しておくことよ。これは授業だけでなく、将来の就職活動に際しても役立ちおすすめ。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的コースで使う数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要に応じて授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れる！」のつもりで反復練習に限る。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学情報センター」に常備されている。それらを使ってシミュレーションしてみることも、面白く経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席し、ノートをしっかりととり、予習復習を実行すれば100点取るのも夢じゃない。なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと、ケイタイなどもってのほか、以上厳守。守れない者は直ちに退席してもらう！

成績評価の方法

定期試験とレポートの成績を総合評価する。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）1995年。

参考書等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）2004年。これは公務員試験の問題集だけけど他の国家試験の受験対策にも十分通用する。できる限り問題練習をすることも理解を確実にする近道だ。自分で復習をかねて解いてみることをとくにお勧めする。

その他

毎回の授業の内容や主なトピックスをKOMSYに掲載するから、必要に応じて参考にしてください。また授業中わからないこと、その他問題点などあったら、いつでも質問相談に応じます。オフィスパワーを設けていますのでご利用ください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学史	ふくばらよしの 福原好喜	経A1・2・3・4選必	4
		商2・3・4選	

講義のねらい

学問としての経済学の成立は、近代ブルジョア社会の生誕と軌を一にしている。例えばイギリスの重商主義、フランスの重農主義、ドイツの歴史学派、そして又イギリスの古典学派などの経済諸理論は、一方では世界資本主義の発展段階に、そして他方ではその国民経済の編成過程によって色濃く規定されている。経済学の歴史を単に経済学者による経済理論の受容、継承の歴史としてではなく、近代ブルジョア社会の成立、並びにその変容の過程の中で捉えようと思う。近代における経済学の成立・体系化の歩みを、近代資本主義の成立並びに確立過程の中に位置づけるというのが私の基本的視角である。講義は重商主義段階からマルクス経済学の成立までを包括する。経済学の歴史とはまさしく近代ブルジョア社会の自己認識の歴史に他ならない。かかる観点から、学生諸君に経済学及び経済学史に対する心底からの興味を喚起できればと思っている。授業ははじめに近代ヨーロッパの生成史を英、仏、独について概括し、後半で各国経済学の成立史を講義する。授業は学生の興味ある具体的な話から始める。経済学史が単なる訓誥学とならないために、極力現代の問題も取り上げる。

専科
教育
目

履修上の留意点

出席点を40点つけるので不真面目な人はとらないでほしい。大人数の授業となるので、私語居眠りは厳禁、ひどい場合は退場願う。

成績評価の方法

出席もせず単位がほしいなどという不屈きな学生がいるので出席を頻繁にとる。テストも厳格につけるつもりなので、それでもという熱意のある学生のみとってほしい。前期レポート、後期試験。再試実施。

その他

経済に興味を持ってもらうために経済の今の問題にも言及する。一部で横道の話の方が面白いという風評がある。学生の次元で経済学の話をしようという意図であって、本人には少し不本意な評価である。授業には全力投球する。ケイタイ PHS 禁止。

履修者多数で授業の混乱が予想される場合、履修者を、教室定員(300名)に制限する。第1回目の授業は必ず出席のこと。今年度どうしてもとりたい人は最初の時間に申し出ること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経 済 史	さいとう えいり 齋藤英里	経A1・2・3・4選必 商2・3・4選	4

講義のねらい

資本主義経済はどのような歴史的条件のもとで成立・展開し、各国に影響を与えてきたのか？その動向を長期的かつ国際的視野のもとで講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

以下の各テーマで数回ずつ講義する。

前期

- ・経済史の方法と課題
- ・大航海時代とその影響
- ・近世におけるヨーロッパ列強の興亡（1）
—ポルトガルのアジア進出—
- ・近世におけるヨーロッパ列強の興亡（2）
—植民地帝国スペインの繁栄と没落—
- ・近世におけるヨーロッパ列強の興亡（3）
—中継貿易国家オランダの繁栄と没落—
- ・イギリスにおける資本主義の成立と展開
- ・産業革命期イギリス社会の諸相

後期

- ・後発国の工業化—ドイツ・ロシア・日本—
- ・イギリス経済の衰退
- ・アメリカの台頭と成長
- ・大恐慌と世界経済
- ・第二次大戦後の世界経済
- ・東アジア諸国の発展
- ・社会主義体制の解体
- ・グローバル化の時代

履修上の留意点

世界史の基礎知識が必要。受講の際には、マナーを守ること。定刻主義。

成績評価の方法

筆記試験を中心に評価する。

教科書

使用しない

参考書等

講義のなかで指示する。

その他

できるだけ関連資料を提示したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 政 策	飯 田 泰 之 <small>い いい だ だ や や す す ゆ ゆ き き</small>	経A1・2・3・4選必	4
		商2・3・4選	

講義のねらい

経済に関する諸問題についてその政策的な対応のあり方を論じる。

複雑な現状を理解し、対応策を探るためにも問題を整理し、論理的に把握することが必要である。経済問題に関してその導きの糸となるものこそが経済理論に他ならない。本講では基本的なミクロ経済学・マクロ経済学の知識を援用し「経済学的に妥当な政策」を論じることを中心的な課題とする。

講義全体に必要な基本ツールの学習後

- (1)理論的な枠組みを解説し
 - (2)それを用いて政策的課題を論じ
 - (3)現実の事例・データで確認する
- というプロセスを繰り返すことで講義を進めていく。

講義の内容・
授業スケジュール

0. 経済学の基本思考
1. データを用いた議論
2. 需給均衡分析
3. 市場の失敗
4. 情報の経済学
5. 価格硬直性
6. 法と経済学（時間に余裕があれば）
7. GDP 統計
8. マクロ経済学の基礎知識
9. 金融市場と金融政策
10. 国際収支統計
11. 日本経済の現状
12. デフレ危機とその対策
13. 昭和恐慌とリフレーション（時間に余裕があれば）
14. おわりに

履修上の留意点

出席は問わないかわりに講義中の私語等には厳しく対応する。

成績評価の方法

2回のレポート提出と後期試験。再試験は行わない。

教 科 書

飯田泰之『経済学思考の技術』（2003年 ダイアモンド社）

参 考 書 等

その他の参考文献に関しては講義の中で紹介する。

専 門 教 育 目 的

科目名	担当者名	配当学科	単位
財政学	里中恆志	経A1・2・3・4選	4
		商2・3・4選	

講義のねらい

財政意志の形成、租税負担配分、歳出の効率と合理性等について基礎的な判断力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

(第1回) 年間授業計画の説明、(第2回) 公共財と公共部門、(第3回) 財政収入の歴史、(第4回) 予算編成と査定、(第5回) 予算編成と政党、(第6回) 予算政府案と議会審議、(第7回) 予算の執行と競争入札、(第8回) 予算の政治過程、(第9回) 租税原則学説、(第10回) 給与所得税、(第11回) 申告所得税と累進課税、(第12回) 法人税と徴税技術、(第13回) 国際化と移転価格税制、(第14回) 一般消費税と付加価値、(第15回) 地方税と地方歳出、(第16回) 地方財政調整の制度、(第17回) 機関費と純粋公共財、(第18回) 公共事業費と費用＝便益分析、(第19回) 公共事業費と公共財産の形成、(第20回) 社会保障関係費と所得再分配、(第21回) 補助金とスピルオーバー、(第22回) 公債と公債費負担、(第23回) 総需要管理政策と国民所得、(第24回) 課税乗数と均衡予算定理、(第25回) 公債による財源調達と債券価格、(第26回) 大量国債の累積と限界、(第27回) 財政金融政策と国際収支、(第28回) 財政投融资と政府貯蓄、(第29回) 試験と評価についての説明、(第30回) 試験

履修上の留意点

関連科目として「価格理論」、「国民所得論」、「行政法」の履修が望ましい。

成績評価の方法

年度末テストとして行われる筆記試験による。試験は論述式による。自筆のノート持込可。

教科書

里中恆志＝八巻節夫編著『新財政学』（文真堂）3,200円 ISBN4-8309-4195-2 C3303

参考書等

北川力編『図説日本の財政』各年度版（東洋経済新報社）
中谷巖著『入門マクロ経済学』（日本評論社）

その他

授業の方法は講義形式による。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
金融論	ふくみつひろし 福光寛	経A1・2・3・4選必	4
		商2・3・4選	

講義のねらい

金融政策という視点から金融に関する大学学部レベルの知識を学習し習得することが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容案は以下のとおりです。ただし、これは現時点での考え方で、実際には皆さんの希望などを取り入れて変更します。

- ① 金融 二つの意味
- ② 貨幣と銀行
- ③ 決済システム
- ④ 中央銀行
- ⑤ 物価政策
- ⑥ 景気対策
- ⑦ 短期金融市場
- ⑧ 為替政策
- ⑨ 預金保険制度
- ⑩ BIS 規制
- ⑪ 金融規制
- ⑫ 金融の新しい流れ

履修上の留意点

判らないことは質問して下さい。

成績評価の方法

年末の試験とレポート、そしてできれば、出席状況を組み合わせる予定です。詳細は授業の中で説明します。評価方法の詳細・変更とも授業での説明が優先します。

教科書

未定

参考書等

福光寛・高橋元編著『ベーシック証券市場論』（同文館出版）
 福光寛『金融排除論』（同文館出版）
 福光寛『銀行政策論』（同文館出版）
 福光寛『金融規制緩和の経済学』（日本経済評論社）
 福光寛『証券分析論』（中央経済社）

その他

講義。理解度を確認するよう工夫するつもりです。たとえば、授業で説明した内容について、授業終了時に皆さんに逆に質問することを考えています。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会政策	みつおかはくみ 光岡博美	経A1・2・3・4選必	4
		商2・3・4選	

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の半ばに、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対峙していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問は発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々々の社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととした。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。但し、受講者が多い場合は実施できない場合もある。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本経済論	小林 正人 <small>こばやし まさと</small>	経A1・2・3・4選必 商2・3・4選	4

講義のねらい

日本経済の(第二次世界大)戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本の経営システムの役割について検証する。さらに、平成不況のなかで浮き彫りになってきた日本の経済システムの課題について述べる。

日本経済は高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」——とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高——をのりこえてきた。しかし長年の平成不況の中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。これまでの発展の条件が、地球規模での技術発展と競争環境の中で、逆の条件に転化したのである。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむために、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- 戦後日本経済の展開過程
景気の現状と雇用情勢
戦後改革
日本の高度経済成長：歴史とその原因
産業政策の役割
石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
- 日本の経済発展とイノベーション
イノベーションと産業構造の変化
主要産業の歴史と現状：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械
日本的経営システム／経済システム（欧米諸国との比較）
製品の安全性とPL法
- 日本の経済発展の総括と展望
平成不況の意義
IT革命のインパクト

履修上の留意点

講義資料をひんぱんに配布する。一度しか配布しないので確実に収集し、保管しておいて、定期試験にそなえることが必要である。教場の前面のスクリーンに講義資料を表示しながら講義をすすめるので、見やすい位置に着席すること。板書はあまりせず、プレゼンテーション中心の講義である。なお、ほとんどの講義資料は「小林研究室」のウェブサイト (<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>) の「講義」の「日本経済論」のサイトにもできるだけ載せるようにしている。

成績評価の方法

定期試験の成績と、講義の節目に実施する数回の小テストとの総合評価による。試験は主に論述式である。再試験は実施しない。

教科書

なし

参考書等

適時紹介する。なお、経済学の概念や経済用語に関する辞典あるいは事典を一つは用意しておきたい(有斐閣、岩波書店、東洋経済新報社などから出版されている)。

その他

講義についての質問や成績質疑応答への参加を歓迎します。ただしそのときは、関連する講義資料を持参することが必要です(有意義な回答のため)。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際経済論	徳永俊明 <small>とくながとしあき</small>	経A1・2・3・4選必	4
		商2・3・4選	

講義のねらい

学問への出発点は「私はどこにいるのか?」という問いにあります。実際、私たちはアマゾンの密林で生活しているわけではありませんし、江戸時代の農村に生きているわけでもありません。では「どこ」にいるのでしょうか。

「世界の中にいる」と言っても、「日本にいる」と言ってみても、これらは答えになりません。どのような世界なのか、どのような日本にいるのか——少なくともこれをつかまなければ先の問いに対する答えにはなりません。今日の世界社会、今日の日本社会の〈内容〉を理解しなければなりません。

ところで、世界経済は、今日、世界社会・日本社会の〈土台〉をなしているものです。世界経済という〈土台〉なしには、世界社会も日本社会も成り立ちません。世界と日本を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本構造〉の解明をめざします。ただし、私の力量からして“社会主義”経済に十分言及することはできません。資本主義世界経済に限定して検討します。

この講義のキーワードは〈階級的支配関係〉と〈民族的支配関係〉です。世界経済は、資本主義という社会の誕生とともに成り立ち始め、資本主義社会の〈上台〉として、またその〈産物〉として推移してきました。資本主義社会は、言うまでもなく、〈階級的支配関係〉を命綱としていますが、同時に、世界の諸民族の間の〈民族的支配関係〉をもう1本の命綱としていることが重要な特徴です。これら二つの支配・従属の関係は資本主義社会のいわば2本柱をなすものです。そして、〈民族的支配関係〉こそ世界経済の〈基本構造〉として機能してきたのです。そこで、この講義では、この〈民族的支配関係〉の問題を座標軸にして世界経済の基本的な理論と歴史、現状そして展望を検討したいと思います。

〈国際化〉の問題がいよいよ重大になっているいま、多くの諸君の主体的な受講を期待します。

講義の内容・授業スケジュール

〈講義のテーマ(予定)〉

前期は、世界経済の歴史を跡づけ、今日の世界経済の歴史的段階を確認します。

後期は、歴史的知識を念頭において、今日=第2次世界大戦後の世界経済の〈基本構造〉を形づくっている主な柱の一つずつ検討します。

前期——世界経済の歴史的推移

- (1) 〈講義の趣旨〉および〈講義テーマ〉の説明
- (2) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制
- (3) 産業革命と自由貿易植民地体制
- (4) 帝国主義と帝国主義植民地体制
- (5) 第1次世界大戦と世界経済
- (6) 戦間期の世界経済

後期——今日の世界経済

- (1) 第2次世界大戦と世界経済
- (2) 「アメリカ中心体制」
- (3) 新植民地主義と世界経済
貿易・国際通貨制度・資本輸出——〔援助〕と多国籍企業・〈南北問題〉と新国際経済秩序
- (4) 世界経済の現段階
- (5) 日本経済と世界経済
- (6) われわれの選択

〈講義の方法〉

教場では毎回資料をプリントして配布し、それを説明するという形で講義をすすめます。

成績評価の方法

成績は世界経済の基本事項、世界経済の“枝葉”ではなく、“幹”の理解度をミニ・レポート(3回予定)および学年末レポートで評価します。(レポート評価のため追・再試験は行ないません。)

参考書等

講義の中で適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 ゼ ミ (前 期)	齊藤 正・小西 宏美 佐藤 和子	商1選(17入学生のみ)	2

講義のねらい

基礎ゼミは、勉学意欲に燃えて入学してきた新入生の皆さんに、入学後の学習の道案内をするとともに、学習のための基礎知識とスキル（学習技術）を身につけてもらおうという目的で設けられた科目です。

新聞を広げてみると、私たちの暮らす社会は実に様々な問題があることがわかります。社会科学、とくに経済学や商学・会計学・経営学を学ぶということは、新聞に載っているさまざまな問題がなぜ生まれてくるのか、その問題をどのように解決すれば良いのかということについて、事実を正確に認識した上で、考えることです。そのためには、まず基礎知識を身に付けていただきたいのです。その過程で、どのような問題であろうと興味・関心が湧いてくればしめたものです。

興味・関心が芽生えた問題をさらに追求しようとするとき、基本として「聴く、読む、調べる、整理する、書く」といった学習技術が大いに役立ちます。たとえば、講義で聴いたことをノートにとるだけでもそれなりのコツが必要です。ノートはとったけれども、後で見直してみたらサッパリ、というのでは役に立ちません。基礎ゼミでは、具体的な問題を皆さんに紹介して興味・関心を喚起しながら、同時にそれを題材にして学習のための知識と技術を演習形式で身に付けていただきます。

講義の内容・授業スケジュール

内容は、大別して(1)基礎知識の習得(5回程度)、(2)学習技術の習得(4回程度)、(3)基礎知識・学習技術の活用としてのレポート作成とプレゼンテーション(4回程度)の3つを柱とします。

基礎ゼミは、商学科の新入生を対象としていますので、ここでの基礎知識とは、たとえば、高校の政治・経済のテキストで扱われているような基本的・常識的レベルの知識を指しています。

学習技術の内容は、ノートのとり方、本の読み方と要約の仕方、資料・情報収集の仕方と整理の方法、レポートの書き方、などです。これらを具体的な問題を題材にしながら実習します。

最後に、それぞれ興味・関心のあるテーマについてレポートを作成し、プレゼンテーションしていただきます。

履修上の留意点

基礎ゼミが1年次の「全員履修科目」となっているのは、この科目の重要性を示しています。理由なく欠席することのないことを望みます。

成績評価の方法

出席、レポート、プレゼンテーションで評価します。

教 科 書

第1講時に担当者がそれぞれ指示します。

参 考 書 等

担当者が適宜紹介します。

そ の 他

基礎ゼミで基礎知識と学習技術を習得し、社会・経済問題への興味・関心を養い、4年間の勉学に大いに役立てられることを期待します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経済学基礎 経済学概説	もり 森 田 成 也	商1選(16以降入学生) 商1必(15以前入学生)	4

講義のねらい

経済学は、人々の生活や仕事にとって最も重要な領域を科学的に解明しようとするものです。経済学は決して、難しいカタカナ言葉や数式が飛び交う世界だけではありません。労働と生活に密着し、人々がよりよい、より人間らしい生活と労働を展望し、実現していくために必要不可欠なものです。しかしながら、この学問は同時に、自然科学などと違って、経済を論じるその人の立場によって大きく左右されるものでもあります。普通の生活者や働く人々の視線で経済を見ていくことを学びます。

講義ではまず、前期で、基本的な経済学の基礎理論を学び、資本主義経済の基礎的な運動法則を学びます(多少、後期にくだむ可能性あり)。後期では、それをふまえて実際に日本のいくつかの経済現象を具体的に理論に照らし合わせて検討し、どこまでが一般理論で説明ができ、どこからが特殊な日本的な条件によって説明されるべきなのかを学んでいきたいと思いません。

講義の内容・ 授業スケジュール

(前期) 基礎的な経済理論を学ぶ

(1) はじめに (2, 3) 商品・貨幣 (4, 5, 6) 資本と剰余価値 (7) 賃金 (8, 9) 資本の蓄積 (10, 11) 利潤と利潤率 (12, 13) 利子生み資本と株式資本 (14, 15) 独占資本、国家、外国貿易 (16) 世界市場と帝国主義 (17) 19世紀資本主義と20世紀資本主義

(後期) 日本経済の基本構造を学ぶ

(18, 19) 戦前の日本と戦後日本経済の出発 (20, 21) 現在の日本の基本形を作り出した高度経済成長 (22, 23) 企業社会の形成と日本的働き方の確立 (24) 低成長期以降の企業社会の肥大化 (25) 企業社会と女性 (26) クルマ社会日本 (27, 28) 経済大国日本とバブル経済 (29, 30) 長期不況と構造改革下の日本経済 (31) 日本経済の未来

科 専
門 教
育 目

履修上の留意点

ノートをがんばってとってください。試験にも役立ちます。

成績評価の方法

学年末の試験が中心です。

教科書

教科書はとくにありません。

参考書等

松石勝彦『現代経済学入門』(青木書店)

科目名	担当者名	配当学科	単位
簿記論	ふくしま 福島 たかし 隆	商1選(16以降入学生)	4
		商1・2・3・4選必(15以前入学生)	
		経A2・3・4選	

講義のねらい

本講義では、複式簿記について学習します。簿記とは、企業活動を貨幣額で記録し、測定し、その結果を報告するための技術です。今日では企業活動を行ったり、実際のビジネスを理解したりする際には、簿記の知識が必要不可欠です。また簿記は、会計諸学(会計学、財務会計論、経営分析論、管理会計論、原価計算論等)の基礎であるため、これらの学習をするには簿記の知識が必要になります。本講義では、簿記の初心者を対象として、日商簿記3級のレベルを目安に、なるべく具体的に分かりやすく講義したいと考えています。その際、簿記の技術だけを講義するのではなく、理論や実際の企業活動との係り合いについても説明する予定です。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、テキストに沿って、次のようなスケジュールを予定しています。なお、中間試験を何度か行う予定です。

(前期)

- (1) ガイダンス (簿記の意義) (2) 簿記の基礎概念 (3) 勘定と仕訳 (4) 帳簿の記入 (5・6) 決算 (1) (7・8) 現金預金 (9・10) 商品売買 (11・12) 売掛金と買掛金 (13) その他の債権と債務

(後期)

- (14・15) 手形 (16) 有価証券 (17) 固定資産 (18・19) 収益と費用 (20) 資本金と引出金・税金 (21) 帳簿と伝票 (22・23) 決算 (2) (24・25) 財務諸表の作成 (26) 財務諸表の読み方

履修上の留意点

簿記は積み重ねが重要であるので、毎回出席して、復習に時間を当てることを希望します。また、受講生は毎回必ず電卓を持参して下さい。なお、遅刻は原則として欠席扱いなので、この点注意すること(特別な理由がある場合を除く)

成績評価の方法

評価は、平常点(出席・課題)(20%)、中間試験(30%)、定期試験(50%)を目安に総合的に行います。

教科書

『新検定簿記講義3級商業簿記』(中央経済社)680円
『新検定簿記ワークブック3級商業簿記』(中央経済社)680円
ワークブックは自宅学習用です。この他に必要に応じてプリントを随時配布します。

その他

授業の詳細については、1回目のガイダンスで説明しますので、履修を考えている学生は出席してください。
再試験は行いません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
簿 記 論	わた なべ まとし 渡 邊 智	商1選(16以降入学生)	4
		商1・2・3・4選必(16以前入学生)	
		経A2・3・4選	

講義のねらい

企業が行う様々な取引は、会計的に処理され、帳簿に記入されてゆきます。企業は、このような帳簿の記録をもとにして、損益計算書や貸借対照表をはじめとする財務諸表を作成しています。簿記とは、企業による記帳の方法を学ぶものです。この講義は、簿記に関する基本的な知識を身に付けるとともに、自ら簡単な記帳を行うことができるようにすることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1) ガイダンス (2) 簿記の歴史 (3) 複式簿記の基礎 (4～6) 記帳
(7～9) 決算 (10～12) 商品 (13) まとめ
(後期) (14～15) 現金預金 (16～18) 債権債務 (19～20) 手形
(21) 有価証券・固定資産 (22) 引当金・資本 (23～25) 決算
(26) まとめ

履修上の留意点

簿記は日頃の地道な学習を必要とします。自分で考え、計算し、根気強く練習を繰り返して下さい。
予習・復習を欠かさず行って下さい。
遅刻・欠席および早退はしないで下さい。
電卓を用意して下さい。

成績評価の方法

出席状況、学習意欲、レポートの内容および試験の結果などから総合的に判断して評価します。再試験は実施しません。

教科書

必要な資料があれば配布します。教科書は開講時に指示します。

参考書等

参考書等は開講時に紹介します。

その他

授業の方法は講義形式です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
簿 記 論	もり 森 た よし 田 田 佳 ひろ 佳 宏	商1選(16以降入学生)	4
		商1・2・3・4選必(15以前入学生)	
		経A2・3・4選	

講義のねらい

今日わが国で一般に用いられている複式簿記は、明治6年(1873年)に刊行された福沢諭吉訳「帳合の法」に始まる。

複式簿記とは、現金の収支、商品の売買、債権債務の発生や消滅、建物・備品の購入や売却など、さまざまな企業活動を記録・計算・整理し、もって企業の財政状態および経営成績を明らかにするための技術である。

このような簿記の技術や知識は、税理士や公認会計士などの会計専門家を志す人にとっては必要不可欠なものであるとともに、企業の経営者が合理的な経営管理を行うためにも、投資者や債権者が企業に対して投資・融資を行う場合にも、また、企業に対して税金を課す税務当局者にとっても欠かすことのできない基本的なものである。

講義の内容・授業スケジュール

本講義においては、日商簿記検定試験3級レベルをマスターすべく、簿記一巡の手続きを手順を追って説明するとともに、簿記の技術的性格を重視して練習問題を多く取り入れる。

履修上の留意点

簿記では特に、毎回の講義内容の完全な理解が重要であり、その積み重ねがないと、最終的な目標である貸借対照表と損益計算書の作成に到達することが困難となる。基本的なしくみさえマスターすれば、簿記は決して難しいものではないので、頭で考えるだけでなく、実際にペンと電卓を手にとり、ワークブックに取り組んでもらいたい。

成績評価の方法

原則として期末試験の結果により評価する。

教 科 書

加古宜上、渡部裕亘編著『新検定簿記講義 3級商業簿記』(中央経済社) 680円
加古宜上、渡部裕亘編著『新検定簿記ワークブック 3級商業簿記』(中央経済社) 680円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
企業論基礎	あん どう 安 藤 あきら 陽	商1選	4
		経A2・3・4選	
		経B1・2・3・4選	

講義のねらい

本講義は、「企業とはなにか」をテーマに、企業形態、企業の支配・統治構造を中心に検討する。企業の基礎理論を学ぶとともに、株式会社の特徴の理解を通じて、現代企業の意義と役割を解明する基礎を身につけてもらうことを主たる内容とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は「企業とはなにか」を理解し、企業形態の展開の意味を考える。
 I 企業の基礎理論
 II 企業組織形態
 III 企業集中形態
 後期は企業の支配・統治構造を理解するとともに、私企業と対比させながら公企業等の公的・社会的性格をもつ企業像の意義を考える。
 IV 企業の所有・支配構造
 V 企業の統治構造
 VI 新しい企業像

履修上の留意点

経営学の基礎理論を平行して学ぶか、学んでいることが望ましい。

成績評価の方法

前期と後期に筆記試験をおこない成績を評価する。また、講義の理解度と出席の確認のために3～4回のレポートを書いてもらい、筆記試験の成績を補完したい。

教科書

劉永『企業論基礎』（税務経理協会）2005年（刊行予定）を予定している。

参考書等

講義で指示するが、まず小松章『企業形態論第2版』（新世社）2000年をあげておく。

その他

資料を配布し講義を進めるが、可能な限りレポート回答や質疑応答も交えて、講義内容を理解してもらえるように努めたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ファイナンス基礎	須藤 ひととき 仁	商1選	4
		経A2・3・4選	
		経B1・2・3・4選	

講義のねらい

この講座では、企業ファイナンスの基礎を、市場の性格とメカニズムを知ることによって理解することを目的としています。企業が資金を調達する場合、大別して銀行からの融資と、株式市場および債券市場を通じて調達する方法とがあります。前者を間接金融、後者を直接金融と言います。わが国では間接金融による資金調達が中心と言われていましたが、80年代からは株式市場を通じて、90年代からは債券市場を通じた資金調達が増えてきています。

前期は、間接金融と直接金融との相違および両者の関係を理解することを主目的とします。後期は、資金調達を行なう中心的な市場である株式市場と債券市場の性格とメカニズムについて詳細に考察します。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1-4) 金融制度と金融機関 (5-7) 金融システムの形成とその変遷
 (9-13) 金融機関の資金調整 (短期金融市場での資金調達)
 (後期) (14-18) 債券市場を用いた資金調達 (19-23) 株式市場を用いた資金調達
 (24-26) まとめと今後の展望

成績評価の方法

基本的に学年末の定期試験で行います。(夏休みに提出自由形式でレポートを課すことを考えていますが、その場合には提出者についてレポートの成績を加味します)

教科書

日本証券経済研究所編『詳説 現代日本の証券市場 2004年版』(日本証券経済研究所)

参考書等

講義の中で適宜指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報入門 I (前期)	岩波文孝 <small>いわ なみ ふみ たか</small>	商1選(17入学生のみ)	2

講義のねらい

コンピュータを活用して情報収集やレポート作成、プレゼンテーションを行うことは、大学で学ぶ上で欠かせない要素となってきた。さらにこうした能力は社会においても必須である。

本講義では、商学を学ぶ上で必要な「ツールとしてのパソコンの扱い方・ソフトウェアの使い方」を予備知識のない前提で行う。コンピュータの扱いに慣れることとインターネット（電子メールや WWW）を利用できるようになること、さらには Word による文書の作成技法を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 教場の使い方、コンピュータの起動・終了方法、受講上の注意など
- 2) パソコンの仕組み、Windows の基本的な使い方、タイピング練習
- 3) インターネットとネチケット、インターネット用語の説明、ブラウザの使い方、電子メールの使い方
- 4) Word の基本操作、文書の作成・印刷
- 5) Word の使い方 表の作成、文書レイアウト
- 6) Word の使い方 図の作成、図の挿入

履修上の留意点

- 1) この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、研修会社より派遣された講師の指導のもと実習を行う。
積極的に知識を吸収することを期待している。
- 2) コンピュータ使用経験のない初心者を対象とした講義を行う。経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定であるので講師に申告すること。
- 3) 実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。
- 4) 商学科 1 年次は原則としてこの講義を履修登録すること。
- 5) 2 年次以降の履修は出来ないので注意すること。
- 6) 評価に関わる各試験の追試験は行わない。合理的な事由を文書によって申告した時のみ考慮する。
- 7) 後期の情報入門 II の履修登録ミスが目立っています。後期の情報入門 II も忘れずに履修登録すること。

成績評価の方法

定期試験の他、初回講義時のテストと各カテゴリー終了時に行うテストの結果から総合的に評価する。
高度な課題を提出した者は別途加点する。

教科書

『情報活用の基礎』2,300円
情報入門 II (後期) でも使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 入 門 Ⅱ (後 期)	いわ なみ みみ たか 岩 波 文 孝	商1選(17入学生のみ)	2

講義のねらい

本講義は「情報入門Ⅰ」の単位取得者を対象とした講義に位置づけられる。コンピュータの基本的操作を習得していることを前提として、表計算ソフト(Excel)によるデータ処理法、Power Pointによるプレゼンテーション技法を習得することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 表計算 Excelの基本操作
- 2) 表計算 データ集計、関数の利用、表の書式(罫線・列幅の変更など)・印刷
- 3) 表計算 グラフの作成
- 4) 表計算 Wordとの連携
- 5) プレゼンテーションとは何か?
- 6) プレゼンテーション グループ分け、発表内容検討
- 7) プレゼンテーション Power Pointの基本操作、スライドの作成、スライドショー
- 8) プレゼンテーション 文字修飾、図の挿入、アニメーション機能
- 9) プレゼンテーション グループ毎の発表

履修上の留意点

- 1) この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、研修会社より派遣された講師の指導のもと実習を行う。積極的に知識を吸収することを期待している。
- 2) 「情報入門Ⅰ」の単位取得者を前提に講義を進める。EXCEL経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定であるので講師に申告すること。
- 3) 実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。
- 4) 商学科1年次は原則としてこの講義を履修登録すること。
- 5) 2年次以降の履修は出来ないので注意すること。
- 6) 評価に関わる各試験の追試験は行わない。合理的な事由を文書によって申告した時のみ考慮する。
- 7) 4月の履修登録時、当科目も必ず履修届に記入して登録すること。
- 8) 後期の情報入門Ⅱの履修登録ミスが目立っています。後期の情報入門Ⅱも忘れずに履修登録すること。

成績評価の方法

定期試験の他、各カテゴリー終了時に行うテスト、プレゼンテーション資料及びグループ発表の結果から総合的に評価する。高度な課題を提出した者は別途加点する。

教 科 書

『情報活用の基礎』2,300円(前期に使用したテキスト)および『Power Point』1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
キャリア・デザイン	前期：竹下 睿 ^{なげした えい} 駿 ^{みづわか} 後期：光岡 博 ^{ひろみ} 美 ^み	経A・商・経B 2選 (16以降入学生)	4

講義のねらい

【前期】講義「キャリア・デザイン」——「キャリア」とは、組織の一員として自分の能力を発揮し、自分自身の人生を生きていくことを意味します。自分らしい生き方を実現するためには、どのような知識・技能を身につければよいか考え、実践することが「キャリア・デザイン」(人生設計)です。21世紀の生涯学習社会において個人が自立するためには、職業人として、家族やコミュニティの一員として、遊びや学びの主体として、自分の能力を生かし、「キャリア・アップ」や「キャリア・チェンジ」を行うことが重要になります。

この講義では、個性的創造的キャリア形成のために自ら考え、判断し、意思決定をしていくうえで必要な基礎能力を身につけてもらいたいと思います。

【後期】ゲスト講師による「キャリア・デザイン(人生設計)論」——後期は、広く各分野で生きる人々をゲスト講師として迎え、さまざまな「キャリア」=それぞれの方の労働・生活・人生の喜怒哀楽の実際を紹介・評価してもらいます。各講師の個性あふれる「人生」の姿はきっと大きなヒントになるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

- 【前期】
- 21世紀はどんな時代・社会になるのか?——生涯学習社会と「キャリア・デザイン」
 - ライフサイクルと職業生活——就職と就労の意味について
 - 企業による雇用システムの変化と「就職戦線超氷河期」への対応——学業と就職準備活動の両立
 - 「キャリア・デザイン」と大学の役割——学問を学び、多様な人びとと交流することの意義
 - 大学生活をどのように過ごすか?——進路選択(職探し)は自分探しである。
- 【後期】各ゲストの講義は1回ずつです。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

前期・後期各50点満点とし、合算して100点満点とします。

【前期】記述形式の試験を行います。出席点と試験の結果を総合して評価します。

【後期】毎回の出席と期末のレポートによる評価を予定していますが、履修人数や講義の展開の状況などによって変更されることもあります。

教科書

【前期】教科書は使用しません。講義のつど参考書を紹介します。

【後期】教科書・参考書とも、特にありません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済理論 I A・資本の原理	おお いし ゆう じ 大 石 雄 爾	商2・3・4選	4

講義のねらい

私たちが生活している資本主義社会は、利潤追求を目的とする資本が支配的な力となり、生産・分配・消費のあり方を規定している社会です。現代社会はますます複雑なものとなっているため、まず資本主義経済の一般的な仕組みや法則についてきちんと理解することが必要となります。この「経済理論 I A」では、科学的方法に基づいて打ち立てられたマルクス経済学の理論を中心に講義してゆきます。

この講義では、経済理論と現実の経済問題との関連についてもできる限り触れてみたいと考えています。受講生の皆さんも、新聞・テレビ・ラジオなどの報道に注意を向け、世界や日本国内で生じている政治・経済問題について考えるように心がけていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

この講義は次のようなテーマに沿って進められます。

1. 経済学とはどういう学問か
2. 商品の2要因と商品生産社会
3. 貨幣の本質と諸機能
4. 資本の一般的定式
5. 資本の生産過程
6. 賃金とは何か
7. 資本の蓄積過程
8. 資本の循環と回転
9. 社会的総資本の再生産と流通
10. 利潤と利潤率
11. 平均利潤率と生産価格
12. 資本主義経済の長期的傾向

成績評価の方法

授業時間中に、小レポートを数回書いていただく。成績評価は、後期に実施される定期試験の点数を基礎に、小レポートの点数を勘案しつつ行います。

再試験は実施しない。

教科書

金子ハルオ編著『資本主義の原理と歴史』（青木書店）2,000円

参考書等

大石雄爾著『商品の価値と価格』（創風社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経済理論ⅠB・経済システムの原理	阿部 弘 <small>あべひろし</small>	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	4

講義のねらい

現代の私たちの経済社会の運動は「資本」の運動原理に基づいている。この講義の前半部分は〈ⅠA〉としてその原理の根本を明らかにしてきたが、この後半部分では、現実の資本の運動がどのようなことに基づいているのかを明らかにして、現代社会が直面している諸問題に取り組んでいきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- A：利潤の生産
- 1 剰余価値と利潤
 - 2 利潤の生産と生産価格体系の形成
 - 3 社会的虚偽の価値体系の形成
- B：利潤体系の運動
- 1 利潤体系とその構成要素
 - 2 利潤の分配と再分配
 - 3 資本の商品化
- C：恐慌と独占
- 1 過剰生産恐慌とその必然性
 - 2 失業とその産業予備軍機構化
 - 3 労働組合と独占体

履修上の留意点

この科目は経済理論の応用部分を含むので、積み重ねが肝要である。したがって、出席は重視される。

成績評価の方法

成績の評価は出席とレポートによる。
レポートは年間4～6回の予定である。

参考書等

教科書は用いないが、次の文献を重要参考書として掲げておく。
マルクス『資本論』（大月書店）国民文庫1～9分冊
レーニン『帝国主義論』（大月書店）国民文庫
ヴァルガ『資本主義経済学の諸問題』（岩波書店）1996

そ の 他

[連絡体制]
講師の住所等を次に記載しておく：
〒179-0072練馬区光が丘6-1-4-204
阿部 弘
Tel（自宅）：03-3976-7984（FAX 兼用）
Tel（職場）：03-3418-9360（第2研究棟5F No. 2538研究室）
03-3418-9343（経済学部事務室）
E-mail: xupabe@nifty.com

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済数学	池田 宏	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	4

講義のねらい

経済学に必要な道具としての数学、およびその道具として使う数学を修得するために必要な数学的基礎の理解を目的とする。経済学で使う道具としての数学で基礎となるのは線形代数と微分積分である。本講義ではこの2分野のなかで経済学で使う事柄のうちの基本的方法の修得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期：線形代数 1. ガイダンス (2. 3) ベクトルと行列の定義と計算 (4. 5. 6) 1次変換と固有値、固有ベクトル (7. 8) 行列式の定義と計算 (9. 10) 連立1次方程式 (掃き出し方) (11. 12) 線形計画法 (13) 試験
後期：微分積分 (1. 2. 3) 微分の基礎 (4. 5) 接線、増減、極値 (6. 7. 8. 9) 基本関数の微分 (10) 高次導関数 (11. 12) 多変数関数と偏微分 13. 試験

履修上の留意点

高校2年までに学習した程度の微分の基礎知識が必要である。

成績評価の方法

前後期に各一回行う試験 (70%) と平常点 (30%)

教科書

田代嘉宏著『数学概論 線形代数/微分積分』(裳華房) 2,060円

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用ミクロ経済学	荒木 勝 啓	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

金融経済学、金融工学に必要な最低不可欠な理論的フレームワークを基礎の基礎から教える。本来この分野の標準的な数値は非常に高く、学ばなければならない知識も膨大であるが、この講義では比較的易しい最低限の5つのテーマに絞って講義する。将来銀行、金融、証券、貿易(為替)などの方面に進みたいと考えている学生はこの授業の内容が金融スペシャリストのほんの入り口にすぎないということをよく認識した上で手法を完全にマスターして欲しい。というよりこの授業の内容程度の知識を身につけていなければ、この方面で世界に出ることはできないといってもよい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 基礎となる数学の復習——解析と線形代数。基礎から図解入りで説明するので高校のときに数学をあまりやっていた人でもよく理解できると思う。
2. 条件付き最適化問題 (静学)
3. 最適制御問題
 - (1) 固定端点
 - (2) 自由端点
 - (3) 無限端点
 - (4) 確率制御問題
4. 資産選択・投資理論
 - (1) 静学的方法
 - (2) 動学的方法
5. 利子理論
 - (1) 債券価格とさまざまな利子率
 - (2) デュレーション
 - (3) イミュニゼーション

履修上の留意点

ノートをとることを欠かさないこと。金融工学のエッセンスが凝縮された内容なので、あとから文献等で調べようとするとう膨大な量になる。

成績評価の方法

定期試験、ただしノート持込可。コピー不可。

教科書

特になし。

参考書等

池田昌幸『金融経済学の基礎』(朝倉書店) 2000年
板垣有記輔『動的最適化と経済理論』(多賀書店) 1995年

科目名	担当者名	配当学科	単 位
応用マクロ経済学	吉野 紀 <small>よしの ねき</small>	経A・商2・3・4選	4
		経B1・2・3・4選	

講義のねらい

為替レートや株価はなぜ減価したり、高騰するのか。失業率はなぜ上昇するのか。物価の変動はどのような影響を我々の生活に及ぼすのか。これらはいずれもマクロ経済学の主要な課題である。

失業率5.4%といえば実数にして300万人余の労働力人口が失業していることを意味する。特定の個人が終業しているか失業しているかは、その個人のスキル（能力）などによるところが大きく、国民経済全体の失業率とは直接の関係はない。しかし、後者は国民経済全体の景況状態の良い指標ともなる。

この授業では相対的な国民経済の動きを説明することが主題となる。個々人の日常的な経済活動の意志決定は受動的に大きな影響を受けるが、能動的に影響を及ぼすことを直感的にも経験的にも把握することは難しい。したがって、マクロ経済の仕組みを理解するには豊かな想像力と鋭い推理力が求められる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」…………… 5 回
《参考》経済企画庁「平成13年日本経済の循環図」（配布資料）
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」…………… 4 回
《参考》中谷巖『入門マクロ経済学』（日本評論社）第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」…………… 8 回
《参考》伊達邦春（編）『マクロ経済学』（八千代出版）第9章
4. 「金融政策、財政政策」…………… 4 回
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学（上）』（CAP出版）第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」…………… 5 回

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は実施。

教科書

RJ. ゴードン『現代マクロエコノミクス（上）』（第6版）（多賀出版）

その他

本講は旧「国民所得論」からの名称変更である。

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
計量経済学	田中まさみつ 中正光	経A・商2・3・4選	4
		経B1・2・3・4選	

講義のねらい

経済学で学んだ消費関数や投資関数などが現実の経済にどの程度適用できるか検証を行うには、関連データを集めこれら諸関数の構造方程式を推定し、それらのパラメータを様々な角度から評価する作業が必要になる。

こうした経済の構造の解明を目指すためのツールとして、また経済予測を行うためのツールとして計量経済学がある。本講義では計量経済学の概略とツールとしての有用性を理解することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

前期では、計量経済学に最低限必要な基礎的な統計学、行列演算、および行列演算の応用ともなる産業連関分析について学ぶ。

1. 統計学の基礎知識 1
2. 統計学の基礎知識 2
3. 行列演算
4. 産業連関分析

【後期】

後期では、計量経済モデルの推定に主として用いられる最小二乗法を中心に勉強する。そして単一方程式及び連立方程式などの推計作業も試みる。

1. 単回帰分析
2. 重回帰分析
3. 回帰分析に関する諸問題
4. 連立方程式

※前期後期を通して数値を使った実際の計測作業をできる限り取り入れ、式の持つ意味と計算の実際とに慣れることを目指す。

履修上の留意点

講義中に簡単な計算を行う場合があるので、電卓などの持参が望ましい。

成績評価の方法

前期末と後期末に試験を実施し、この結果に通常授業における演習問題の結果を加味して判断する。

参考書等

白砂堤津耶『初歩からの計量経済学』（日本評論社）
 唯是康彦『excelで学ぶ計量経済学』（東洋経済新報社）
 蓑谷千風彦『計量経済学』（東洋経済新報社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計原論	吉野 紀 <small>よし の おさむ</small>	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代の統計学の基本は推測統計学にあるという認識に立って講義を進めてゆく。それでは、推測統計学の基本とは何であろうか。サミュエル・バトラーは「人生とは、不十分な証拠から十分な結論を引き出す芸術である」と言っているが、この文言の「人生」を「統計学」に置き換えるならば、相当の部分を言い当てていることになろう。「相当の」であって「完全に」ではない理由は、元来、人生には偶然性や不確実性がつきものであると、偶然が支配しているとしか思えないデータから何がしかの決定や判断を下すためには、すべての経験に裏打ちされた人間性・人格を総動員して粗なデータをインテリジェンス（情報）へと昇華させなければならず、その過程こそ人生そのものであるからである。

統計学の扱う世界は不確実性が支配する世界であり、人間はこの偶然性に長い間悩まされてきた。「偶然とは、おそらく、神が自分の名をサインしなくなかったときの、神の仮名であろう」（アナトール・フランス）。端的に言えば、統計学の住む世界では、どのような結論が下されようとも、そこには確実に誤りが何パーセントかの確率で含まれるのである。この世界の住人たることに何がしかの面白味を感得してもらえればと期待する。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|---|--|
| <p>1. 記述統計——標本データの整理——
度数分布表
統計値（平均値、中央値、最頻値）
散らばりを表す統計値（分散、標準偏差）</p> <p>2. 確率変数と確率分布
2項分布
ポアソン分布
正規分布</p> <p>3. 標本抽出と標本分布
ランダム・サンプリング
中心極限定理
t分布</p> <p>4. 統計的推定
推定とは何か
平均値の区間推定</p> | <p>5. 仮説検定
検定とは何か
平均値の検定</p> <p>6. 回帰分析 I
単純回帰モデル
最小2乗法
回帰と相関</p> <p>7. 回帰分析 II
回帰における統計的推測
多変量回帰（重回帰）</p> |
|---|--|

履修上の留意点

授業は1-201教場を使って、あらかじめサーバーに保存してあるデータを各自のパソコンで開き、加工する方法で進行させる。したがって、机上のパソコンにアクセスするためのパスワード、KOMAnetのユーザIDを得ておくことが望ましい（総合情報センターで割当てられる）。

数学上の知識は特に必要としない。

成績評価の方法

再試験は実施。

教科書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
景気循環論	の野 村 信 廣 むら のぶ ひろ	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

景気（循環）への関心が極めて高い。それは（1）景気循環が多くの人の生活に影響する（2）景気循環の姿がその時々で変化する（3）景気循環が経済・政治の諸問題に影響する一などのためである。講義では（1）景気循環を把握する方法（2）景気循環を引き起こす原因とメカニズム（3）景気循環を応用しての景気の現状把握や将来予測一などを学ぶ。学生達が一般の景気判断に対する理解・評価能力を習得し、自分自身で景気判断や予測が出来るようにする。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 景気の読み方
- (2) 景気の現状認識
- (3) 景気循環と景気指標
- (4) 景気循環を引き起こす要因とメカニズム
- (5) 景気循環の歴史
- (6) 景気循環の理論
- (7) グローバリゼーションと景気循環
- (8) 財政・金融政策と景気循環
- (9) 景気予測の方法と実践

履修上の留意点

日々の経済動向に興味を持つ。

成績評価の方法

レポート（前期）、定期試験（後期）、出席状況を加味して評価する。

教科書

景気循環学会・金森久雄『ゼミナール・景気循環入門』（東洋経済新報社）

参考書等

適宜参考資料を配布する。

その他

講義中心だが、質問や討議を歓迎する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 資 本 主 義 論	ながしませいいち 長 島 誠 一	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

第2次大戦以後の資本主義を国家独占資本主義と規定し、その概念・構造・循環・発展について、戦後の日本資本主義を説明しながら考察する。人間の解放（自立した個の連帯）視点から企業と市場の社会（資本主義社会）を批判的に解明する。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書に沿って以下の順序で講義する。

- (a) 戦後復興
- (b) 戦後資本主義と日本の資本体制
- (c) 戦後日本資本主義の社会体制
- (d) 戦後日本資本主義の循環と発展
- (e) 高度成長期の景気循環
- (f) スタグフレーション下の景気循環
- (g) バブルの形成と景気循環
- (h) バブル崩壊後の景気循環
- (i) 日本資本主義の構造変化と構造危機
- (j) 日本社会の構造改革
- (k) 21世紀の社会主義像

履修上の留意点

教室になるべく出ること。教科書を用意すること。歴史としての現代に関心を持ってほしい。

成績評価の方法

前期（夏休み中）に臨時試験。後期に定期（教場）試験。成績は前・後期の総合判断による。

教 科 書

長島誠一著『戦後の日本資本主義』（桜井書店）2001年、本体3,000円

参 考 書 等

拙著『経済学原論』（青木書店）1996年

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会思想史	あ べ ひろし 阿 部 弘	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

テーマ：市民と経済学
「経済学」という科学は人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持つ。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入って、ヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしている。
さて「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた「帝王学」的な政治・経済の倫理・政策論に求められる。この場合に重要なのは古代中国で培われてきた「経世済民」という考え方である。
この論は21世紀「市民社会」、そして現代の日本の社会でも機能している。そこで講義体系の前半部分で「経世済民」論の成立過程を明らかにして、現代にあってこの論の持つ意義を観ていく。
次に、「経済学」の成立は「市民社会」の発達との関係なしにはあり得ない。そこで近代ヨーロッパ社会での、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」およびその後登場してくる「プロレタリアート」が「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察する。そのうえで、現代社会で「経済学」は何を問題提起しているのかを受講生諸君と共に考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1部：「経世済民」思想
第1章：古代中国での「経世済民」思想
第2章：日本の江戸時代の「経世済民論」
第3章：「経世済民論」と現代
第2部：「市民社会」の発達と「経済学」の形成過程
第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開
――マンデヴィル思想から「道徳感情論」へ
第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程
第3章：現代の経済的諸問題

履修上の留意点

この科目は講師からの一方通行的講義によるものではなくて、受講生の社会思想を通じた参加型のカリキュラムを目指しているため、受講生の積極的参加が重要視される。したがって次のようになる：
1 出席の確認（授業中に適宜実施される）
2 年間4～6回のレポートの作成

成績評価の方法

「成績評価」は以上の形で行い、「定期試験」は実施しない。したがってこの「定期試験」に伴う、「追試験」等を行わないので注意して欲しい。

教科書

教科書は次のものを批判的に用います：
阿部弘『労働と所有』（八千代出版）

参考書等

適宜授業中に指定する。

その他

〔連絡体制〕
講師の住所等を次に記載しておく：
〒179-0072練馬区光が丘6-1-4-204
阿部 弘
TEL（自宅）：03-3976-7984（FAX 兼用）
TEL（職場）：03-3418-9360（第2研究棟5F No. 2538研究室）
03-3418-9343（経済学部事務室）
E-mail: xupabe@nifty.com

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 史	わた なべ けい いち 渡 邊 恵 一	経A・商2・3・4選	4
		経B1・2・3・4選	

講義のねらい

本講義の目的は、日本経済を歴史的な視点から理解することである。各時代における個別具体的な問題については、研究史上の論争、最新の実証研究などをわかりやすく紹介しながら、検証・考察を進めていく。現代の問題とのかかわりにも随時触れ、日本経済をより広い視野から見ることのできる力を養いたい。

講義の内容・
授業スケジュール

序. 日本経済史の課題と方法
 1. 幕藩制下の経済発展
 2. 幕末開港の歴史的意義
 3. 明治前期の経済政策
 4. 日本産業革命の展開
 5. 両大戦間期の日本経済
 6. 戦時から戦後へ
 終. まとめと展望

履修上の留意点

出席は取らないが、ストーリー性のある内容なので、欠席すればその分だけ話の前後がつながらなくなる。

成績評価の方法

期末試験で評価するが、必要に応じて小テスト等の結果を加味する。

教 科 書

老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史—太閤検地から戦後復興まで—』（税務経理協会）2002年
 その他、補助教材として、資料・図表をまとめたプリントを講義時に配布する予定。後日になって再び参照する資料もあるので、各自ファイルして毎回持参すること。

参 考 書 等

上記教科書の巻末に掲載。個別の問題に関する文献は、講義の中でその都度紹介する。

そ の 他

日本史の知識不問（挫折者歓迎）。

科 専
門 教
育 目 録

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋経済史	ともまっよしひこ 友松憲彦	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は15・6世紀以降の近代ヨーロッパと北アメリカの経済発展の歴史について説明しますが、中心になるのは工業化（産業革命）の問題です。

現在、世界経済の3つの中心は、EUとして政治経済的統合を進める「ヨーロッパ」、アメリカ合衆国を核とする「北アメリカ」、そして近年成長めざましい日本を中心とする「東アジア」です。これらの地域は、いずれも工業化に成功したか、あるいは成功しつつあるという共通の歴史的経験をもっています。

工業化とはなにか、それはどのようにしておこり、経済や社会をいかに変化させたのか。この講義では世界最初の工業化に成功したヨーロッパ（とりわけイギリス）の事例を中心に説明します。さらに、ヨーロッパの工業化は他の地域にいかなる影響を与え、世界経済をどう変容させたのか、工業化がもたらした光だけでなく影にも注目します。

近代の西洋資本主義の歴史をたどることによって、現在の世界経済の成立過程と、それが抱える諸問題を理解するうえでの手がかりを得ることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

1. 講義のねらい
 - (1) 現代の世界
 - (2) 近代と前近代の経済
2. 前近代の経済 - 封建制 -
 - (1) 農村と農業
 - (2) 都市と商工業
3. 資本主義の成長
 - (1) 「封建制の危機」と資本主義の誕生
 - (2) 農村工業の成長
 - (3) 海外市場の発達
 - (4) 国内市場の発達
4. 資本主義の確立 - イギリス産業革命（工業化）
 - (1) 産業革命の原因
 - (2) 産業革命の過程
 - (3) 産業革命の結果
 - (4) 経済・社会問題の改革
5. 世界資本主義の形成
 - (1) イギリス経済と世界経済
 - (2) 後発国の産業革命
 - (3) 脱工業化
6. 資本主義の変質
 - (1) 「大不況」と資本主義の構造変化
 - (2) 国際経済
 - (3) 帝国主義と植民地
7. 現代の経済

成績評価の方法

期末試験、授業中の小レポートに出席状態を加味します。再試験実施。

教科書

とくに指定しませんが毎回資料を配布します。

参考書等

岡田泰男編著『西洋経済史』（八千代出版）1996年
 長岡・太田・宮本編著『世界経済史入門』（ミネルヴァ書房）1992年
 石坂・船山・宮野・諸田著『新版西洋経済史』（有斐閣）1994年

科目名	担当者名	配当学科	単位
農業政策	みぞ 溝 手 芳 計	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

“工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、、、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO 農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していくことが必要です。

授業では、現代の主要な農業問題と農業政策をいくつか取り上げて、経済学の視点から説明します。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「農業政策」とは（2回）
2. 食料問題と食料政策（5回程度）
3. 農産物価格問題と価格・所得政策（5回程度）
4. 農業の特質と現代農業（4回程度）
5. 戦後日本の農業問題と農業政策－農業構造問題を中心に－（6回程度）

履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は定期試験を基本とします。再試験は行いません。

教科書

田代洋一『新版農業問題入門』（大月書店）
※ 授業中には使いませんが、予復習してください。

参考書等

大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』（有斐閣）
F. マグドフ他編（中野一新監訳）『利潤への渴望』第5章（大月書店）
梶井功『新基本法と日本農業』（家の光協会）

科目名	担当者名	配当学科	単位
工業政策	おくやま まさゆき 奥山雅之	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

現在、わが国の工業は、長引く不況や生産の海外化等の影響で厳しい状況にあります。しかし、将来においても「ものづくり」は、日本にとって重要であることに変わりありません。この講義では、わが国における工業の特徴を確認しながら、それに対する政策の課題と方向性について考察します。

前期では、わが国の工業の役割と状況変化を中心に、日本社会を支える「ものづくり」について様々な観点からみていきます。後期では、環境調和、CSR（企業の社会的責任）、産学連携、知的財産、企業再生など、「ものづくり」をめぐる今日的な題材を取り上げて検討を加えます。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期 (1～3) わが国の工業の役割と特徴
(4～6) 戦後における工業の発展と工業政策
(7～9) 工場立地の変化と工業集積の効果
(10～13) 生産の海外化と空洞化問題
- 後期 (14～16) 工業の業種別課題（自動車産業、繊維産業ほか）
(17・18) 「ソフトなものづくり」産業（アニメーション産業ほか）
(19) 産学連携 (20) 知的財産の創造・保護・活用
(21・22) 工業の環境調和とCSR
(23・24) 資金調達が多様化とベンチャー・企業再生
(25) 規制緩和と構造改革特区 (26) まとめ

履修上の留意点

1年間の講義を通して「ものづくり」を中心とした産業課題に対する問題意識や提言力を身につけてもらうのが目標です。日頃から新聞の経済・産業関連記事に接することが望まれます。

成績評価の方法

成績は学年末試験とレポート提出で評価します。試験およびレポートの内容については、講義に積極的に参加していた人が有利になるように配慮します。追試・再試は行いません。

教科書

特に指定しません。配布する資料によって講義を行います。

参考書等

加藤秀雄『地域中小企業と産業集積』（新評論）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経 済 地 理	矢 延 洋 泰	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

地域の空間構造の中で経済の諸活動の地理的現象は、大旨経済地理学の対象となる。その対象領域は大変広く、網羅的にとり上げることは不可能であり、また余り意味もない。従ってここでは世界が構造的変化をみせる中で、とりわけ大きな動きをみせる東アジアを視座に、多面的に分析してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (カッコ内は時数)
- A アジア経済発展の系譜 〈前期〉
1. 植民地遺制の光と陰 (2)
 2. 「儒教・漢字文化圏」はプロテスタンティズムに替わり得るのか (2)
 3. 経済開発と人権・秩序 (2)
 4. NICS から NIES への変化 (2)
 5. ASEAN 諸国の開発政策 (2)
 6. 非難される開発独裁 (1)
 7. ハブ&スポークスの夢競争 (1)
 8. 21世紀の開発戦略：シンガポールの OHQ 制度と“ビジネスハブ”を考える (2)
- B 国際化と地域化 〈後期〉
1. ASA から ASEAN へ (2)
 2. 冷戦後の構造変化：新世界秩序の模索 (2)
 3. EAEC 構想から AFTA 誕生まで (2)
 4. APEC10年 (2)
 5. FTA (Free Trade Agreement) 締結の流れ (2)
 6. アジア経済開発の課題 (2)

履修上の留意点

積極性と意欲を期待したい。

成績評価の方法

学年末試験結果に出席を加味。

教科書

教科書はなし。適宜プリントを配布。

参考書等

矢延洋泰著『インサイト東南アジア』(勁草書房)
鶴見良行者『東南アジアを知る』(岩波新書)

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中小企業論	よし だ けい いち 吉 田 敬 一	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、戦後日本の経済発展において中小企業が果たしてきた重要な役割を自動車工業を事例として明らかにすること、これまでの中小企業政策の特徴を学ぶこと、最後に下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容・授業スケジュール

〈前期の講義概要〉

- I 中小企業の基礎理論
 - I-1 独占段階固有の中小企業問題
 - I-2 中小企業の法的規定
 - I-3 中小企業の経営類型
 - I-4 中小企業の企業形態
 - I-5 日本型下請構造の特質
- II 日本型下請システムの形成過程
 - II-1 日本経済復活期の生産分業構造
 - II-2 高度経済成長期の下請管理の合理化
 - II-3 自動車工業の急成長と日本型下請構造の確立

〈後期の講義概要〉

- II-4 自動車大国への飛躍と下請構造の成熟
- II-5 グローバル化と下請構造の大転換
- III 戦後日本の中小企業政策
 - III-1 復興期の中小企業政策
 - III-2 高度成長と中小企業近代化政策
 - III-3 中小企業政策の大転換
- IV 中小企業の経営問題
 - IV-1 不公正取引と下請け問題
 - IV-2 中小企業の金融問題

履修上の留意点

中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているため、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は学年末試験を基準とし、夏季休暇中のレポートを加味して行なう。また再・追試験は実施します。

教科書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。毎年刊行される『中小企業白書』を読んでおくことが望ましい。

参考書等

- 吉田・永山・森本編著『産業構造転換と中小企業』（ミネルヴァ書房）
- 吉田敬一『転機に立つ中小企業』（新評論）
- 中小企業庁編『中小企業白書』（大蔵省印刷局）
- 巽・佐藤編『新中小企業論を学ぶ』（有斐閣）
- 渡辺・小川・黒瀬・向山『21世紀中小企業論』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公 共 経 済 学	鈴 木 伸 枝 <small>すずき のぶ へ</small>	経A・商2・3・4選	4
		経B1・2・3・4選	

講義のねらい

社会福祉や環境政策はなぜ必要か。どのような政策が望ましいのか。理想をすべて満たすような政策はあるのか。ないとすれば、どのような政策なら実現可能なか。そして実施された政策はどんな効果をもたらすのか。公共経済学では、こうした問題を経済学的手法を用いて考えます。

この講義では、まずは最低限の基礎的な理論を学びます。そして次に、環境問題や年金などの現実の諸問題に関連付けながら、より高度な理論を紹介していきます。この講義をしっかり理解すれば、講義時間内で扱いきれない多くの政策についても習得した理論を応用して自分で考えたり、専門書を読んでさらに知識を深めることができるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|-----------------|--|
| 1. ガイダンス | 7. 外部性 |
| 2. 政府の役割 | 8. 公共財 |
| 3. 日本の政府 | 9. 環境問題 |
| 4. 数学 | 10. 医療 |
| 5. ミクロ経済学 | 11. 年金 |
| 6. 競争均衡の効率性・公平性 | 12. 時間に余裕があれば、寡占・独占、所得再分配政策、課税の理論、政治過程・政府の失敗、分権化・民営化、地方財政、政策の動学的整合性の中から、多数決で1～2つ選んでとりあげます。 |

科 専 門 教 育
目 録

履修上の留意点

板書の間には合わない学生は、講義ノートを自分でダウンロードして持ち込んで下さい。

成績評価の方法

出席点・レポート・試験で評価します。(再試験あり)

教科書

特に指定しません。講義ノートは <http://hakuba.int.komazawa-u.ac.jp/~nsuzuki/pub/>にて公開します。

参考書等

適宜紹介します。

その他

授業情報ページ：<http://hakuba.int.komazawa-u.ac.jp/~nsuzuki/pub/>

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方財政論	篠原 章 <small>しの はら あきら</small>	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

地方財政の枠組みを理解するとともに、地方財政の基本問題を分析するための基礎的な手法を学ぶことを主眼とする。時事問題なども、折に触れて取り上げる予定である。

講義の内容・授業スケジュール

年間を通じて以下の項目を講義する予定である。

[基礎編] (主として前期)

1. 地方財政論を学ぶということ
2. 地方公共支出の役割
3. 地方公共支出の現状
4. 地方公共支出と公共財供給
5. 租税体系と地方税
6. 地方税制度の歴史と現状
7. 負担と受益
8. 地方債の基礎知識

[応用編] (主として後期)

1. 分権と集権
2. 地方財政調整の実態
3. ケーススタディ：沖縄問題と地方分権
4. 地方財政と地域開発
5. 地方財政制度の国際比較
6. ケーススタディ：高齢化と地方財政
7. ケーススタディ：「東京」の社会経済学

履修上の留意点

初学者を対象としたコースだが、財政学の知識があれば、より深く理解することができる。したがって財政学の履修経験があるか、財政学を履修中であることが望ましい。

成績評価の方法

学期末の筆記試験と授業時の課題（レポート）等によって総合評価する。再試験実施。

教科書

片桐昭泰・兼村高文・星野泉共編著『地方財政論』（税務経理協会刊）2,800円（本体価格）

参考書等

参考書・参考文献・資料等は随時指示する。

その他

テキスト・参考書以外に、新聞等の時事的な資料やビデオ資料等もしばしば利用する予定である。質問等については電子メール（akirashinohara@ma2.justnet.ne.jp）でも受けつける。また、篠原ホームページ（<http://www.daito.ac.jp/~akirashi/>）にも講義関連の情報を掲示するので活用してほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国際金融論	田中綾一 <small>たなか りょういち</small>	経A・商2・3・4選	4
		経B1・2・3・4選	

講義のねらい

国境を越えた金融取引が引き起こす様々な問題を取り扱うのが国際金融論である。前期では国際収支や国際決済、外国為替相場などの基本的な事項を取り扱い、後期では国際通貨体制の変遷や昨今の諸問題などの発展的な事項を取り扱う。新聞記事を読みこなせる程度の国際金融に関する知識を獲得してもらうことが講義の目標である。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- (1) 国際収支統計の基礎
 - ・構成項目の内容
 - ・国際収支の赤字と黒字
 - ・国民所得と国際収支
- (2) 国際決済と国際通貨
 - ・国際決済の方法
 - ・為替調整取引と為替媒介通貨
- (3) 外国為替市場と為替相場
 - ・外国為替市場の構造
 - ・外国為替相場の見方

後期

- (4) 国際通貨体制の歴史
 - ・国際通貨体制とは
 - ・IMF体制の成立
 - ・IMF体制の変容
- (5) 国際金融の諸問題
 - ・ドル体制の現状と課題
 - ・欧州通貨統合の歴史と現状

履修上の留意点

出席はとらないが、深い理解のためには毎回の出席が不可欠である。

成績評価の方法

学年末試験（60％）と夏休みのレポート（40％）の合計。なお、授業中の私語は減点対象とするので注意すること。

教科書

奥田宏司・横田綾子・神沢正典編『国際金融のすべて』（法律文化社）

参考書等

講義中に適宜指示する。

その他

国際金融に関係のある（と自分が思う）TVニュースや新聞記事に日頃から関心を持つておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人口論	もり森 おか岡 じん仁	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

人口に関わる学問分野は数多く存在するが、とくに経済学との関係から接近しようとするところにこの授業の特徴がある。経済と人口との関係はどちらかが一方的に他に働きかけるというのではなく、互いに作用しあう相互依存の関係にある。1970年代に成立しその後大きな発展を遂げた経済人口学は、この点に注目する人口学の一分野であるが、本講義も経済人口学の立場に立って、経済と人口の相互依存の関係を理論的、実証的に追求するものである。そこにおいては、日本を含む世界全体の人口について、過去から現在、そして可能なかぎり将来に及ぶ人口現象にまで論及してみたい。ことに、先進工業諸国に現在共通してみられる少子化と年齢構造の高齢化の問題は、わが国においても経済との関係から早急に解決を迫られている関心事であり、将来益々その重要度を高めていく。

一方発展途上諸国に生じている人口増加の問題は、貧困からの脱却のため、あるいは資源・環境の観点からも緊急に解決しなければならない困難な課題を提起している。このようにみえてくると、今や人口問題は地球規模で考え、そして解決していかなければならないことが理解されよう。しかしながら、人口を取り巻く関連分野が広範囲に及ぶことから、はたしてどこまでが人口の問題であり、どこまでが他の分野の問題であるのかを的確に見極めることが重要になってくる。真の人口問題が不明確だとすれば、それに対応する政策も不適切なものにならざるをえない。的確な事実判断の下に適切な政策を施すには、しっかりとした理論的知識を備えていなければならない。ここでは、経済人口学の成立と発展の過程を辿ることによって、人口理論の基礎的知識を養い、政策論にも言及してみたい。

この授業では人口という眼鏡を通じて経済をじっくりと眺めることによって、一人でも多くの学生諸君が人口に関心を抱くようになってほしいと考えている。なぜなら近年の先進諸国においては子供を公共財的に扱う傾向があり、人口問題が国民一人一人の問題になっているからである。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経済人口学の生成と発展
- II. 日本の人口と経済発展
- III. 人口高齢化の経済的諸問題
- IV. 人口政策

履修上の留意点

履修に当たっての条件というものはとくに無いが、近年大きな関心事になっている人口の“高齢化”や“少子化”に関する知識を、どのような手段をつうじてでも良いから得ておくことが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験、出席状況。
再試験を実施する。

教科書

大淵 寛・森岡 仁『経済人口学』（新評論）1981年

参考書等

大淵寛『少子化時代の日本経済』（日本放送出版協会）1997年
阿藤誠『現代人口学』（日本評論社）2000年

その他

授業の方法：講義

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 経 済 論	や し き た だ み つ 谷 敷 正 光	経A・商2・3・4選	4
		経B1・2・3・4選	

講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を解明するとともに、一連の教育改革を行ってきた。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「アメリカ教育法」、イギリスの「教育改革法」「学校の水準と枠組み法」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の人材教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 先進国の経済発展と教育
 - (1) 日本の産業化とリテラシー 1 「識字率と児童労働」
 - (2) 日本の産業化とリテラシー 2 「江戸時代―工業化の準備機能」
 - (3) アメリカの教育最前線 (ビデオ)
 - (4) レーガン政権の経済と教育 1 「危機に立つ国家」(一部ビデオ)
 - (5) レーガン政権の経済と教育 2 「国家は応える」(一部ビデオ)
 - (6) ブッシュ政権の経済と教育 1 「全米教育サミット」(一部ビデオ)
 - (7) ブッシュ政権の経済と教育 2 「2000年のアメリカ」(一部ビデオ)
 - (8) クリントン政権の経済と教育「アメリカ教育法」(一部ビデオ)
 - (9) サッチャー政権の経済と教育「教育改革法」(一部ビデオ)
 - (10) ブレア政権の経済と教育 1 「福祉のニューディールとオプティミズム」(一部ビデオ)
 - (11) ブレア政権の経済と教育 2 「学校の水準と枠組み法」・ビーコンスクール
2. 戦前日本の経済発展と実業教育政策
 - (12) 学制時代における経済と教育 1 富国強兵・殖産興業 (映画)
 - (13) 学制時代における経済と教育 2 学制公布と「行政管理学校」
 - (14) 教育令時代における経済と教育 1 工場払下と産業の勃興 (一部ビデオ)
 - (15) 教育令時代における経済と教育 2 教育令公布と職工学校・機業地学校
 - (16) 学校令時代における経済と教育 1 産業革命と紡績業の発展 (一部ビデオ)
 - (17) 学校令時代における経済と教育 2 学校令公布と実業補習学校・徒弟学校
 - (18) 実業学校令時代における経済と教育 1 重工業の発展と資本主義の確立 (一部ビデオ)
 - (19) 実業学校令時代における経済と教育 2 実業学校令公布と「委託教育」「工場内学校」
3. 戦後日本の経済発展と産業教育政策
 - (20) 復興期の経済発展と教育 産業教育振興法 (一部ビデオ)
 - (21) 高度成長第 1 期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
 - (22) 高度成長第 2 期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
 - (23) 高度成長第 3 期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
 - (24) 高度成長終焉後の経済発展と教育

履修上の留意点

- ① 年間 5 ～ 6 回程度小テストを実施し、平常点とする。
- ② 現実的理解のためにビデオ・映画を使用する。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。
- ④ 毎時間板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席のこと。

成績評価の方法

- ① 授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する。
- ② 再試験を実施する。

教科書

毎時間、講義の教材として年間40～50枚のプリントを配布するので、教科書は特に使用しない。

参考書等

参考文献は講義の中で適宜紹介するので、興味のある人は読んで講義の参考にして下さい。
 小林泰宏『アメリカで進む教育改革』（朝日新聞社）
 森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』（岩波新書）
 G・メイナード『サッチャーの経済革命』（日本経済新聞社）
 舟場正富『ブレアのイギリス』（PHP新書）
 プライアン・サイモン『現代の教育改革・イギリスと日本』（エイデル）
 A・グリーン、J・ハリスン『英国病』（新評論社）
 玉川寛治『製糸工女と富国強兵の時代』（新日本出版社）
 猪木武徳『学校と工場』（読売新聞社）
 三好信浩『日本の女性と産業教育－近代産業社会における女性の役割－』（東信堂）
 岡崎哲二『工業化の軌跡』（読売新聞社）
 沼口博『学校教育と経済発展』（学文社）
 その他は講義の中で紹介します。

専科
 専門教育
 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
環境経済論	やまぐち ゆうじ 山口 由二	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

産業革命以降、人類は無敵とも思える生産力を得て、それまでとは比べものにならない急速な経済発展・成長を成し遂げてきた。この大量生産、大量消費を美德とする社会における経済成長は、すべての人々に文化的で豊かな生活を与えるものとして、これまで、声高に異議を唱える者はほとんどいなかった。しかし、21世紀が間近にせまる現在、様々な矛盾が露呈してきている。そのもっとも大きな問題が、環境問題である。

現在の環境問題は、かつての水俣病に代表される公害問題のように加害者と被害者が明確に分離されるものばかりではなく、地球温暖化のように、ほとんどすべて人々が加害者であると同時に被害者となりうる問題や、熱帯雨林の破壊や、酸性雨問題のように、貧しさゆえに引き起こされ、そのことが南北問題にまで発展しているより複雑な問題もある。

本講義では、経済成長と環境の相互関係を歴史的視点と理論的視点の両視座から論じると共に、様々な事例を提示して経済成長の意味や、経済成長と環境破壊とのトレードオフの関係について論じる。この講義を通して、受講者の方々に環境経済学への問題意識を喚起したい。

講義の内容・
 授業スケジュール

前期では、おもに、資源・環境問題、及び環境経済学を理論的に論じる。その上で、後期では、地球温暖化問題、国有林や東京湾の漁業のコスト・ベネフィット分析、捕鯨問題、自動車の社会的費用、ダイオキシンの問題、農業の環境問題など様々な事例を取り扱う。

履修上の留意点

本講義は、近経の基礎的知識を必要とするが、講義過程でその都度、簡単に復習を行いたい。環境経済学は、まだ確固とした学問体系が出来上がっておらず、発展的余地があり今後ますます重要となる研究分野である。この講義で積極的な質問や議論ができることを希望する。

成績評価の方法

前期はレポート、後期はテストを行う。
 また、適宜に簡単なレポートを提出していただき、これも考慮する。再試験を実施する。

教科書

未定、最初の授業時に指定する。

参考書等

- ・K.W. カップ著 篠原泰三訳『私的企業と社会的費用』（岩波書店）
 環境経済学の古典的名著。生産過程で第三者や社会が受ける、公害、環境汚染による損失を社会的費用として、大気汚染、水質汚染、動植物の絶滅、人災、エネルギーの枯渇、森林の濫伐等について理論と実際の両面から分析を試みている。1905年に原著は刊行されている。
- ・宇沢弘文著『自動車の社会的費用』（岩波書店）
 若い人ならば皆大好きで、現代社会においてこれなしには成り立たないと思われる自動車の外部不経済性を徹底的に追求した名著。私が自動車の免許を取らないのもこの本を読んだため？。宇沢氏は日本の近経の一人者で、ノーベル賞をもらってもまさか文化勲章はもらえないと思っていましたが…。ちょっと古い本だがおすすめ。
- ・宮本憲一著『環境経済学』（岩波書店）3,600円ぐらい
 筆者は公共経済学者、政治経済学者の立場から長年様々な公害問題に立ち向かってこられた。環境経済学を「容器の経済学」と称し、環境をあらゆる経済活動の「容器」としてとらえている。やはり、読んでおいてほしい本。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア ジ ア 経 済 論	ちよん 鄭 ちやん 章 よん 淵	経A・商2・3・4選	4
		経B1・2・3・4選	

講義のねらい

この講義では、受講生諸君に東アジア経済に対する理解を深めてもらうために、東アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、できるだけ経済発展の全体像に迫る予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化する東アジアの経済発展を20世紀後半期(冷戦期)に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾の弁証法的メカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来「アジア経済論」(典型的には新古典派開発経済学)のように工業化の本格化した1960年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」(植民地期や戦後1950年代までの時期)も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、1960年代以降の工業化過程において経済発展をリードしてきた東アジア諸国の政府の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまでも「アジア」に軸足を置きつつも、東アジア経済がこれまで外部環境から様々な影響を受けてきた事実を考慮し、その時々の世界経済の動向にも注意を払うつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

1. 東アジア経済の全体像
 - (1) アジアの「多様性」
 - (2) 「東アジア」の範疇
2. 東アジア経済と経済理論
 - (1) 従来経済理論
 - (2) 今日経済理論
3. 東アジアの経済発展
 - (1) 工業化の「前史」
 - (2) 東アジアの経済発展過程
 - (3) 経済発展の特徴
4. アジア NIEs の経済発展
 - (1) 用語説明
 - (2) 経済発展の特徴
 - (3) 韓国の開発独裁体制

〔後期〕

5. 東南アジア諸国の経済
 - (1) 主要各国の経済発展過程
 - (2) ASEANの歴史
6. アジア社会主義諸国の経済
 - (1) 中国の開放政策
 - (2) その他社会主義国の現状
7. アジア通貨危機
 - (1) 危機の背景・原因・特徴
 - (2) 危機への対応策
8. アジアの地域経済協力
 - (1) 地域経済協力の歴史と現状
 - (2) 東アジア経済圏の展望
9. 東アジア経済と日本
 - (1) 東アジアと日本の関係史
 - (2) 東アジアと日本の展望

科 専 門 教 育 目

成績評価の方法

前期および夏期休暇のレポートと学年末の定期試験で総合的に評価する。

教 科 書

特に定めないが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。
大野健一・桜井宏二郎著『東アジアの開発経済学』(有斐閣アルマ) 2,000円(税別)

参 考 書 等

参考文献については、講義中に随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア メ リ カ 経 済 論	せとおか 瀬戸岡 ひろし 紘	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅広くわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。
 ◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇
 ヴェンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学
 技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリ
 ティー、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、
 ◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリ
 カとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、
 つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとりいれ
 た授業です。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のたてまえか
 ら、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。それゆえ再試験
 も実施しません。

教 科 書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随
 時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカ
 ものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、
 グリーンバーグ『資本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳 青木書店）1994年
 瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』（桜井書店）2003年
 をおすすめします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
E U 統 合 論 (前 期)	し 清 み 水 た かし 卓	経A・商2・3・4選	2
		経B1・2・3・4選	

講義のねらい

EU 統合論 (前期)

この講義では、EUの目的、政策、制度の形成プロセスと現状について解説します。1952年にその基礎となった欧州石炭鉄鋼共同体が生まれた時には6カ国に過ぎなかったですが、2004年には新たに10カ国の新規加盟国を迎え現在は25カ国、人口4億5000万人へと拡大してきました。今年にはEU憲法制定が各国での国会審議や国民投票にかけられます。2001年に流通が始まった通貨ユーロは存在感を増しています。このようなEUを知らずして世界の動きは理解できません。民主主義と資本主義経済の生誕地であり成熟した福祉制度など市民社会を実現したEU諸国から学ぶべきことは依然として多いのです。

講義の内容・
授業スケジュール

(大きな項目は次の通りですが、項目や順序が変更されることもあります) I. 欧州統合の拡大と深化 II. 経済統合 (1) 石炭鉄鋼共同体からEECへ (2) 市場統合の完成 (3) 通貨統合 III.EUの制度 (1) 権力構造 (2) 民主主義の欠陥 (3) EU憲法 IV.EUの政策 (1) 環境政策 (2) 地域政策 (3) e-EUROPE (4) 共通農業政策

履修上の留意点

EUは25の国の上に立つもう一つの国家(超国家)といえる大きな存在ですから、その全体像を理解するには、授業だけでは不十分です。授業ではEUの骨格を解説するだけです。日々変化するEU諸国の動向に注意を払いながら授業に臨めば知識も増え、理解も深まります。新聞・雑誌・インターネット・TV特集番組など身近にあるEU情報にアクセスしてください。

成績評価の方法

学期末の試験と中間に提出を求める宿題を基本に評価します。出席状況も考慮します。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

- (1) 田中友義・久保広正「ヨーロッパ経済論」ミネルヴァ書房、2004年刊、3200円
- (2) 田中素香・長部重康・久保広正・岩田健治「現代ヨーロッパ経済論」有斐閣、2001年刊、2500円

その他

選択科目ですからEUに関心を持っている学生の皆さんのみ歓迎。

科 専
門 教
育 目 録

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代西欧経済論（後期）	しみず たかし 清水 卓	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	2

講義のねらい

第2次世界大戦の結果作られたアメリカ中心の世界システムが、その後、いくつかの挑戦を受けながら、今日なお、イラク戦争という単独行動主義のかたちで世界的覇権を維持していることは否定できません。独・仏など大陸 EU 諸国は国際連合中心の国際協調主義の立場からアメリカの単独行動主義に距離を置いています。その背景には市場統合や通貨統合を達成し、さらに政治統合まで踏み込むに至った戦後の欧州統合の発展があります。欧州を戦場とした20世紀の大戦争による疲弊から立ち直った欧州各国の戦後の経済発展と社会の変容を解明し、そこから、わが国の将来を構想する際の教訓を導きます。

講義の内容・授業スケジュール

（大きな項目は次の通りですが、項目や順序が変更されることもあります）

- I. 世界大戦の歴史的意義
- II. 戦後復興の課題（1）戦後西欧資本主義の危機（2）マーシャル援助（3）西欧経済の「近代化」
- III. 経済成長の「限界」（1）経済成長（2）欧州通貨危機（3）スタグフレーション（4）経済政策の転換
- IV. EU 統合の現段階と各国経済（1）福祉国家 vs グローバル化（2）「ポスト工業化段階」の経済・社会的課題

履修上の留意点

履修上の留意点 授業ではアメリカ中心の戦後国際経済の中での欧州諸国経済の発展過程を跡付けし、今日の経済社会の課題を歴史的視点か位置付けることを学びますが、現状をどう見るかといことが出発点です。日々変化する EU 諸国の動向に注意を払いながら授業に臨めば知識も増え、理解も深まります。新聞・雑誌・インターネット・TV 特集番組など身近にある EU 情報にアクセスしてください。

成績評価の方法

学期末の試験と中間に提出を求める宿題を基本に評価します。出席状況も考慮します。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

- （1）中友義・久保広正「ヨーロッパ経済論」ミネルヴァ書房、2004年刊、3200円
- （2）田中素香・長部重康・久保広正・岩田健治「現代ヨーロッパ経済論」有斐閣、2001年刊、2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア・東欧経済論	やまがたひろし 山 縣 弘 志	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることができないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・
授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに応えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論とマルクス
 - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への転換
 - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立と実態
 - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
 - (1) 経済構造の特質と軍事生産
 - (2) 工業生産力と工業技術
 - (3) 農業問題
5. 停滞からペレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) プレジネフと停滞の時代
 - (3) ペレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧の文化と社会
 - (2) 資本主義化の諸問題
 - (3) ロシアと日本——比較経済史——

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。再試験実施。

教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

その他

教科書はないので、授業中にノートを取るのとは当然のことになるだろう。

科 専 門 教 育
目 録

科目名	担当者名	配当学科	単 位
会計学総論	寺坪修 <small>てら つぼ おさむ</small>	経A2・3・4選	4

講義のねらい

経済学専攻の学生にとっても、会計学の知識は不可欠といえます。国民経済単位（マクロ）および個別経済単位（ミクロ）の運動（活動）を計数でとらえる会計のうち、営利企業を対象とする会社会計を取り上げます。前期は会計の知識体系および複式簿記の基本原則を身につけるようにします。後期は財務諸表の作成と分析を学習したうえで、管理会計の基本知識を身につけるようにします。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1) 会計・知の体系 (2) 会計帳簿の作成 (複式簿記原理)
(後期) (3) 財務諸表の作成 (4) 財務諸表の分析 (5) 会計による経営の管理

履修上の留意点

会計は積み重ねの学習によって理解が深まります。極力、休まずに受講して下さい。

成績評価の方法

学年末試験と随時行う課題の提出により総合的に評価します。

教科書

寺坪修『会社会計論〈改訂版〉』（創成社）2004年4月刊 3,990円

参考書等

参考書等は指定しませんが、適宜、プリントを配付します。

その他

講義は教科書中心に行いますので、毎回教科書を持参して下さい。また、電卓を使用することがあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報・経済ネットワーク論	なか すみ みつ あき 中 済 光 昭	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、情報が経済学でどのように扱われているのかについて議論します。具体的には「経済学と情報」「デジタルエコノミーとはなにか」「ITによって何が変わるのか」「情報ネットワーク経済の基盤となる情報システムとは」「電子商取引とは」について理解し、事例を通じてインターネット上の電子商取引、オンラインバンキング、オンライントレーディングなどについて理解を深めていきます。講義では、コンピュータを操作して情報システムについて実習し、また電子掲示板などを活用し教員と皆さんが双方向に意見を交換するようにしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 教場のパソコンの使い方、受講上の注意など
- 2) グループウェアで共同作業を行なう
- 3) インターネットで株取引シミュレーションをやってみる
- 4) 経営情報システムの実例 (SAP R/3)
- 5) 情報経済システム論 - 情報とは、カジノテーブルと収穫逓増の法則、情報の非対称性、デジタルエコノミーとは
- 6) 情報システム概論 - コンピュータのコスト構造、組織変革論、技術概論
- 7) 電子商取引概論 - 電子商取引のインパクト、電子決済概論、法制度
- 8) インターネットビジネス概況 - マイクロソフトにみる情報ビジネス戦略、インターネットビジネスを覆う危機
- 9) 事例研究 (amazon.com, yahoo.com などについてビジネスモデルを調査・分析する)

科 専
門 教
育 目 録

履修上の留意点

ワープロ、表計算、メール、ホームページ検索などの基本的操作ができる前提で講義を行います。課題提出や講義中の議論には、パソコンやインターネットを活用します。パソコン初心者の方は、まず情報入門Ⅰ・Ⅱ、基礎情報処理Ⅰ・Ⅱやコンピュータ基礎を履修することをお勧めします。

成績評価の方法

講義時の課題と小テスト、夏季・冬季休業時に課すレポートによります。実習を含むため、追・再試験は行いません。卒業年次生においても期限までにレポートを提出しないものは、単位を認めません。

教科書

初回の講義で指示

参考書等

初回の講義で指示

その他

- ・本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがあります。初回の講義に「必ず」出席すること。卒業年次生についても例外は認めません（事前に相談すること）。
- ・KOMAnet に登録している前提で講義を行なうので、KOMAnet 未登録者は4月初旬に4号館1F自習室に行き、登録手続きを行なうこと（登録なしに受講することは講義内容上困難）。
- ・講義に関する質問などは、事前予約の上、第二研究館4F 2437研究室 (tel: 03-3418-9352) に来室するか、nakasumi@komazawa-u.ac.jp にメールすること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
プログラミング論	はまもと かず ひこ 濱 本 和 彦	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

現在の社会においてコンピュータはあらゆる分野で使用されており、その重要性は非常に高い。それに伴いソフトウェアの機能強化が必要とされており、ソフトウェアの開発におけるプログラミング技術の重要性はますます高くなっている。またコンピュータの使用環境もスタンダードアローンからインターネットなどのネットワーク上での利用へと変化し、それに伴って供給されるソフトウェアを記述するプログラミング言語も変化している。

本講義ではまず、ソフトウェア開発におけるプログラミング技術の位置づけを明らかにするために、ソフトウェア工学の基礎について講義する。次にプログラミング技法とプログラミング言語について講義する。プログラミング言語としてはC言語とJavaを扱い、実際にソフトウェアを作成しながら包括的なプログラミング技術、ソフトウェア開発について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

まず、ソフトウェア工学の基礎とプログラミング技法（構造化やオブジェクト指向）について講義する。次に、プログラミング言語について実際に演習（ソフトウェア作成）を交えながら講義する。言語としてはC言語とJavaを扱う。前期にC言語、後期にJavaを扱う予定である。C言語は基本情報技術者試験レベルを目標として、各種データ構造からポインタ、関数、構造体、ファイル操作まで講義する。Javaでは、主に、インターネットのWWW上でプログラムを発信するためのJavaアプレットについて講義する。いずれも実際に演習を行い、「アルゴリズムの作成」、「流れ図の作成」、「コーディング」、「コンパイル」、「実行」、「デバッグ」、というソフトウェア開発の流れを学習する。

履修上の留意点

できるだけコンピュータの初心者に対しても理解しやすいように講義を行うが、各自の予習復習が理解のためには必要である。なお、メールによる出席調査、課題提出を行うため、履修予定学生は大学のメールアドレスの取得手続きを行っておくこと。なお、最初の数回の講義においてプログラミングの実習のためのコンピュータの操作方法について説明するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

講義中に出す課題、長期休暇中に課すレポート、および中間試験、期末試験により評価する。なお、再試験を実施する。

教科書

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

講義中に指定する。

その他

講義は実際にコンピュータの画面をプロジェクトで見せながら行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎情報処理 I (前期)	いわ せ ひろ かず 岩 瀬 弘 和	経A1・2・3・4選	2
		商2・3・4選	

講義のねらい

本講義では、経済学を学ぶ上で必要な「ツールとしてのパソコンの扱い方・ソフトウェアの使い方」を予備知識のない段階から始める。コンピュータの扱いに慣れることとインターネット（電子メールやwww）を利用できるようになること、さらにはWordによる文書の作成技法を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 教場の使い方、コンピュータの起動・終了方法、受講上の注意など
- 2) Windowsの基本的な使い方、各種アクセサリの使い方
- 3) インターネットとネチケット、インターネット用語の説明、ブラウザの使い方
- 4) 検索エンジン・掲示板の利用法
- 5) プライントタッチ習得
- 6) 日本語入力MS-IMEの使い方
- 7) エクスプローラの使い方、フォルダ・ファイルのコピー・移動
- 8) ネットワークコンピュータ利用法、FDの使い方
- 9) 電子メールの使い方（その1）電子メールの作法、署名挿入法
- 10) Wordの使い方（その1）文字の入力と編集
- 11) Wordの使い方（その2）ビジネス文書の作成
- 12) Wordの使い方（その3）表の作成
- 13) Wordの使い方（その4）図の作成、図の挿入
- 14) 電子メールの使い方（その2）添付ファイルの利用
- 15) まとめ

科 専
門 教
目 育

履修上の留意点

コンピュータ使用経験のない初心者を対象とした講義を行うが、実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。

成績評価の方法

毎回の講義終了時に課す課題および出席状況により評価する。

教 科 書

初回の講義で指示する。

参 考 書 等

- 『Windowsによる情報処理入門（改訂版）』（実況出版）2002年 2,600円
- 『超図解 Windows2000Professional 総合編』（エクスメディア）2003年 1,680円
- 『超図解 WORD2002for Windows 基礎編』（エクスメディア）2001年 950円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎情報処理Ⅱ（後期）	いわ せ ひろ かず 岩 瀬 弘 和	経A1・2・3・4選	2
		商2・3・4選	

講義のねらい

本講義は、「基礎情報処理Ⅰ」の履修者を対象とした講義に位置づけられる。コンピュータの基本的操作を習得していることを前提として、表計算ソフト（Excel）によるデータ処理技法、PowerPointによるプレゼンテーション技法、さらにはHTMLによるWebページ作成技法を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 表計算（その1）Excelの基本操作
- 2) 表計算（その2）データ集計、関数の利用
- 3) 表計算（その3）グラフの作成
- 4) 表計算（その4）絶対参照・相対参照とその混合
- 5) 表計算（その5）LOOKUP関数の利用
- 6) 表計算（その6）総合演習
- 7) プレゼンテーション（その1）PowerPointの基本操作、スライドの作成
- 8) プレゼンテーション（その2）オブジェクトの作成、図の挿入、アニメーション機能
- 9) プレゼンテーション（その3）グループ毎で発表資料の作成
- 10) プレゼンテーション（その4）グループ毎の発表
- 11) Webページ（その1）ホームページの設計、タグの使用法
- 12) Webページ（その2）表の作成、画像の表示、リンク機能
- 13) Webページ（その3）ホームページ作成
- 14) Webページ（その4）ホームページの公開
- 15) まとめ

履修上の留意点

「基礎情報処理Ⅰ」の履修者を前提に講義を進めるため、コンピュータの基本的操作に関しては習得しておく必要がある。実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。前期に開講される「基礎情報処理Ⅰ」の第一回目の授業に出席し、担当教員より受講許可書を得た上で、履修届に記入して登録してください。

成績評価の方法

毎回の講義終了時における課題および出席状況により評価する。

教科書

初回の講義で指示する。

参考書等

- 『Windowsによる情報処理入門（改訂版）』（実況出版）2002年 2,600円
- 『超図解 EXCEL2002for Windows 基礎編』（エクスメディア）2001年 950円
- 『超図解 PowerPoint2002for Windows』（エクスメディア）2001年 1,380円

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用情報処理Ⅰ（前期）	いわ せ ひろ かず 岩 瀬 弘 和	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	2

講義のねらい

本講義では、経済分析を行う際のバックグラウンドを養い、実践的経済分析手法について学習する。すなわち、経済学において必要不可欠である経済データ処理技能を習得することを目的とする。そのため、計量経済学および経済統計を、実際の経済分析の中でいかに活用するかを、実践的にコンピュータを操作しながら学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ・インターネットによる経済統計資料収集・Excelによる基本的なデータ分析
- ・Excelにおけるデータベース機能の活用
- ・ピボットテーブルの活用
- ・データ分析機能の活用（シナリオ、ゴールシーク、ソルバー）
- ・Excelによる回帰分析
- ・時系列データ分析（季節調整やトレンドの計測、自己回帰モデルによる予測など）

履修上の留意点

コンピュータの基本的操作を習得しており、Excelの使用経験を有していることが望ましい。実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。

成績評価の方法

毎回の講義終了時に課す課題および出席状況により評価する。

教科書

初回の講義で指示する。

参考書等

『実践ワークショップ Excel 徹底活用統計データ分析』（秀和システム）2003年 2,500円
『インターネット時代の数量経済分析法－基礎からニューフロンティアまで－』（多賀出版）1999年 2,800円

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用情報処理Ⅱ（後期）	いわ せ ひろ かず 岩 瀬 弘 和	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	2

講義のねらい

高度情報化社会といわれる現代社会において、コンピュータグラフィックス（CG）は様々なところで利用されており、今後、インターネットにおける技術向上やコンピュータの家庭内への普及とともに、CGを作成したり鑑賞したりする機会が急速に増大するものと予想される。

この講義では、CGの概要から始まり、CG作成のための基本的な理論を学習していく。その際、既存のCG作成ソフトを使用しながらその技術を習得するとともに、CG理論の理解を深めていく。さらに、現在CGが応用されている分野を知り、今後どのようにCGが活用され、発展していくのかについて議論する。

講義の内容・授業スケジュール

- ・コンピュータグラフィックスとその展開
 - ・2次元CGの作成と変換理論の習得
 - ・3次元図形の表示技術（投影方法と透視変換、陰線処理と陰面処理など）
 - ・自由曲線の種類とその理論（ベジエ曲線、Bスプライン曲線など）
 - ・自由曲面の種類とその理論（ベジエ曲面、Bスプライン曲面など）
 - ・3次元モデリングの実際、コンピュータアニメーションなど
- 上記の理論を学習するとともに、Photoshop、VRMLなどの使用方法についても習得する。

履修上の留意点

パソコン使用経験者が望ましい。前期に開講される「応用情報処理Ⅰ」の第一回日の授業に出席し、担当教員より受講許可書を得た上で、履修届に記入して登録してください。

成績評価の方法

出席状況及び提出課題にて評価する。

教科書

配布資料

参考書等

田中成典・小林孝史（編）『VRMLの達人』（森北出版）1,900円
黒瀬能幸（著）『3次元図形処理工学』（共立出版）2,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
憲 法	うちだまりこ 内田真利子	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

市民と公権力との関係、個人と集団との関係、少数者と多数者との関係において、憲法の存在意義を再確認すること。受講者が、自分自身に関わる問題として憲法に興味を持つためのきっかけにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

政治の動向、社会的事件、受講者にとっての身近な関心事などを題材に選び、「憲法」の視点から問題点の整理および検討を行う。具体的なテーマは、現実社会の変化に応じて、また受講者からの要望に応じて、適宜選択していく。網らする領域は幅広い、というよりほとんど制限がないと言ってもよい。あくまでも一例を以下に挙げる。環境、平和、象徴（日の丸・君が代・天皇制）、家族と法、子どもの人権、職場における人権、医療と人権、性愛の自由、外国人の人権、宗教と人権、犯罪と法、報道と人権、表現の自由、性差別……。

履修上の留意点

授業に毎週出席できることが履修の最低条件。また、単に教室に来るだけではなく、主体的に授業に参加できる人にも受講してほしい。

成績評価の方法

通常授業時間中に年数回、テストを行う。このテストのほか、授業中の発言、授業後の質問、自主提出レポート等についても成績評価の対象とする。

教 科 書

授業で指示する。ここでは、参考のため、昨年度のテキストを紹介しておく。川人博編著「テキストブック現代の人権 [第二版]」（日本評論社）

参 考 書 等

六法（出版社、サイズは問わない）、少なくとも日本国憲法の全条文。

そ の 他

追試は行わない。やむをえない理由によりテストを欠席した場合、レポート提出をもってテスト受験に替えることを認める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
民法一部	たけなか 竹中智香	経A・商2・3・4選	4
		経B1・2・3・4選	

講義のねらい

民法典のうち、民法典全体に適用される一般規定である第1編「総則」と、特定の物を直接支配する権利に関する第2編「物権」を取り上げます。とくに民法典の導入部である「総則」は、民法の勉強を放棄したくなるほど抽象性が高い規定が多いことから、具体的な事案を提示しながら説明をし、学生諸君の理解を図ります。指定した教科書に沿って、前期では第1編「総則」を概説し、後期では第2編「物権」の説明に入ります。

講義の内容・授業スケジュール

- | [前期] | [後期] |
|-------------------------|--------------|
| (1) 導入 | (1～2) 法人 |
| (2) 民法における個人 | (3) 抵当権 |
| (3) 権利能力 | (4) 先取特権、留置権 |
| (4) 意思能力と行為能力 ～成年後見制度 | (5) 質権 |
| (5) 所有権の概念 | (6) 譲渡担保 |
| (6) 所有権の効力 | (7) 代理制度 |
| (7) 契約とその効力 | (8) 無権代理 |
| (8) 契約にもとづく不動産の物権変動 [1] | (9) 表見代理 |
| (9) 契約にもとづく不動産の物権変動 [2] | (10) 法律行為 |
| (10) 契約にもとづく動産の物権変動 [1] | (11) 消滅時効 |
| (11) 契約にもとづく動産の物権変動 [2] | (12) 取得時効 |

科 専
目 門
教 教
育 育

履修上の留意点

民法典の中でも非常に抽象度が高い分野ですから、講義の前の予習は必ず必要となります。また、講義後に復習することで、理解の定着を図ってください。

成績評価の方法

学年末の筆記試験の他、出席状況などの平常点も重視します。

教科書

山野目章夫『民法 総則・物権』（有斐閣）1,700円

参考書等

六法
『法律学小辞典』（有斐閣）4,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
民法二部	おだてるこ子 織田晃子	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

民法二部の講義は債権総論と債権各論を対象とする。条文で言うと、399条～724条であり大変広範囲である。一年間でこれらすべてを網羅することは到底無理である。よって、まず日常の普通の取引、例えば、だれでも思い浮かべるであろう不動産の売買をとりあげ、売買の交渉から契約の成立、その履行にいたるまでの財産法上の問題をとりあげ、次に売買契約が履行されなかった場合の法的処理、すなわち債務不履行による損害賠償や解除に進む。

講義の内容・
授業スケジュール

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 売買の交渉から契約の成立、その履行 <ol style="list-style-type: none"> (1) 契約の成立 (2) 契約の履行過程 (3) 契約の履行終了 (4) 登記の移転 (5) 債権譲渡 2 契約不履行の場合の法的処理 <ol style="list-style-type: none"> (1) 債務不履行 (2) 契約の解除 (3) 他人の物の売買 (4) 瑕疵担保責任 (5) 債権者代位権 (6) 詐害行為取消権 | <ol style="list-style-type: none"> 3 その他
第三者による債権侵害、多数当事者の債権関係等。 |
|--|---|

履修上の留意点

六法は必ず持参すること

成績評価の方法

期末試験の成績による。再試験実施。

教科書

『民法（4）債権総論』（第4版増補版）（有斐閣双書）

参考書等

『コンパクト六法』（岩波）

科目名	担当者名	配当学科	単位
商法一部	荒木正孝 <small>あらかき まさたか</small>	経A・商2・3・4選	4
		経B1・2・3・4選	

講義のねらい

この講義では、会社法（総則、合名会社、合資会社、有限会社、株式会社）の基礎的かつ基本的な事項について解説するが、とくに現代の経済活動において重要な役割を果たしている株式会社の法規制について多くの時間を割くつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

大企業は全て株式会社の形態をとり、その株式会社が現代の経済を担い、商品やサービス、そして労働の場を提供するという社会的機能を通して国民の生活に計り知れない大きな影響を及ぼしている。そこで、この講義では、株式会社の生成、機能、構造、消滅などの私法的側面を中心に規制する株式会社法に重点を置き、そこでの重要問題を探り上げ、判例や学説の対応、実務の取り扱いなどを検討し、会社法の基本原理を理解してもらうつもりである。

履修上の留意点

会社法は商法の重要な部分であり、その中心は、商法第二編会社、有限会社法などの諸規定である。ところで、商法は、民法を一般法とする特別法であるから、商法を学ぶ際には、その基礎となる民法総則、物権法、債権法などの知識があると一層分かりやすい。もっともここでは、講義の内容を理解するために必要な範囲で民法＝財産法の規定や基本概念にも触れるつもりであるから、財産法の全てを履修していなくても受講には差し支えない。

平成13、14年、15年および16年度に重要な商法の改正が行なわれたので、必ず平成17年度版の六法をもって出席して下さい。

成績評価の方法

年度末のペーパーテストの点数で評価します。

教科書

荒木正孝著『新企業法』（成文堂）2003年

参考書等

鴻・落合・江頭編『会社判例百選』第5版（有斐閣）
 奥島・中島編『商法演習Ⅰ（会社法）第3版』（成文堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
商法二部	川口幸美 <small>かわぐち ゆきみ</small>	経A・商2・3・4選	4
		経B1・2・3・4選	

講義のねらい

現代の企業間取引では、手形や小切手等の有価証券が多数用いられている。手形には為替手形と約束手形があり、わが国では為替手形はほとんど用いられていない。したがって本講義では約束手形を中心に振出から裏書、支払いについて説明し、最後に小切手を取り扱うものとする。

講義の内容・授業スケジュール

約束手形を中心に以下のトピックスを、具体的な事例を用いて各1～2回で解説する。

- | | |
|-----------------|------------|
| ①講義ガイダンスと手形の仕組み | ②手形法のキーワード |
| ③手形行為と意思表示の瑕疵 | ④手形行為独立の原則 |
| ⑤他人による手形行為 | ⑥変造と抹消 |
| ⑦裏書 | ⑧善意取得 |
| ⑨取り立て委任裏書 | ⑩手形抗弁 |
| ⑪支払い | ⑫利得償還背請求権 |
| ⑬白地手形 | ⑭小切手 |

履修上の留意点

授業時には六法を持参すること。また理解を深めるために民法の既習者・あるいは既習中の学生が望ましい。

成績評価の方法

中間試験（50点）期末試験（50点）の評価による。試験の日程については授業内で連絡し、また掲示を出すので注意すること。

教科書

川村正幸『手形小切手法（第2版）（新法学ライブラリ）』（新世社）

参考書等

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 法	わかばやし 若林 亜理砂	経A・商2・3・4選	4
		経B1・2・3・4選	

講義のねらい

経済法の中心をなす独占禁止法を理解することを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持をになうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解ができるように進める予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

成績評価の方法

期末試験により評価を行う。

教 科 書

丹宗・厚谷編『新現代経済法入門（第2版）』（法律文化社）

参 考 書 等

別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選（第六版）』（有斐閣）

そ の 他

授業は毎回配布するレジュメに基づいて進めることとする（基本的には教科書に沿ったものとなる予定である）。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
労働法	藤本 茂 <small>ふじもと しげる</small>	経A・商2・3・4選	4
		経B1・2・3・4選	

講義のねらい

今日、雇用社会は、能力主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

この時期、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。たとえば、労働基準法改正、労働時間、男女雇用平等、人事異動などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に、基礎的な知識を身につけてもらうことを念頭においています。

講義の内容・授業スケジュール

下記事項について、基礎的な知識を学びつつ、現代的課題に言及します。

詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 集団的労働条件の決定・変更－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外・休日労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 労働災害など

履修上の留意点

出席を心がけてください。私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo。そして無断で席を立つこともNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。憲法、民法、社会保障法、社会政策は履修してほしい科目です。

成績評価の方法

成績は、学年末試験がメインで、レポートなどとともに、総合的に評価します。追・再試験は実施します。

教科書

道しるべとして、浜村彰ほか著『ベーシック労働法』（有斐閣）か浅倉むつ子ほか著『労働法』（有斐閣）のうち1冊を購入して自宅学習に使ってください。受講者は必ず、1冊は用意してください。

参考書等

概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において紹介します。六法は最新のもの（法律改正や制定があるので特に注意）。そして、労基法施行規則の載っているものを用意してください。

その他

各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を挙げながら授業を進めます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
行政法	こばやし ひろ ひと 小林 弘 人	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、行政法総論の基礎的概念について、具体的事例をとりあげながら、わかりやすく解説します。
行政法に関する知識は市民生活を営んでいくためには、常識として覚えておく必要があると思います。
また、各種の公務員試験の受験を考えている人は、受講されるのが望ましいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

これについては、主たる項目を列記しておきます。
(1) 行政とは (2) 行政法とは (3) 行政主体 (4) 行政の態様 (5) 行政立法
(6) 行政行為 (7) 約款 (8) 取消と撤回 (9) 行政手続 (10) 即時強制 (11) 行政強制 (12) 行政契約 (13) 行政指導 (14) 行政計画 (15) 行政上の制裁 (16) 損失補償 (17) 損害賠償 (18) 不服申立 (19) 行政訴訟

履修上の留意点

あたり前のことですが、教場内では他人に迷惑をかけるような言動はしないこと。

成績評価の方法

平常点および期末テストなど総合的な観点から評価します。

教科書

桜井昭平編著『現代行政法』（八千代出版）

参考書等

講義初日に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際法	さいとう 齋藤 洋	経A・商2・3・4選	4
		経B1・2・3・4選	

講義のねらい

国際社会で日々生起している諸現象・諸事件を法学の視点から捉えられるようにするために、その基礎となる知識や原則・ルール of 習得をめざす。本講義は各法制度を法の発展過程の中で理解しようとする傾向をもつ。それは、担当者が現在という時間に区切って現行法制度を理解しようとするのではなく、過去から将来に続く一連の法発展過程の一時期の状態という視点で、現行法制度、特に国際法学を研究していることから生ずる傾向である。したがって講義内容も、狭大な法解釈・判例研究ではなく、当該法制度あるいは判例が人類社会もしくは国際社会の発展の中で如何なる意味を有するのか、それが社会にどのような影響を与えるのか、といったことを中心として、現行法制度の基本ルールを説明することになる。

講義の内容・授業スケジュール

前期：戦争観念と国家主権観念、国家と国際法（承認論、責任論、承継論、対外機関、条約法など）、地的管轄権（1）（主として海洋法）
後期：地的管轄権（2）（主として航空法・宇宙法）、人的管轄権（国籍、外国人問題、犯罪人引渡、難民など）、国際機関（法主体性論、国連、その他）、紛争解決（平和的解決手段、WTOの紛争処理、国際裁判など）

履修上の留意点

国際法は我々の日常生活に最も縁遠い法制度である。したがって、法学、憲法や民法、国際関係論、外交史などを履修した上で、3年次以上になってからの受講が望ましい。換言すればそれだけの予備知識がないと、1年生、2年生の履修は可能であるが、理解に困難を感ずると思われる。

また受講生は、毎日必ず新聞を読むこと。自ら図書館で判例を調べるくらいの気持ちが必要である。

成績評価の方法

学年末の定期試験の成績で評価する。夏期休暇中の課題は原則として課さない。

教科書

齋藤洋『国際法講義ノート・資料2005』（虹有社）予価2,000円＋税

参考書等

授業中、適宜指示する。

その他

受講にあたって、私語を慎み、一所懸命ノートをとること。このノートが定期試験に威力を発揮するはずである。

科目名	担当者名	配当学科	単位
原書講読Ⅰ〔英語〕	いわなみ ふみ たか 岩波文孝	経A・商2・3・4選	4
原書講読Ⅱ〔英語〕		経B1・2・3・4選	
		経A・商・経B2・3・4選	

講義のねらい

本講義は、企業経営や経営学に関する英語文献を講読し、英文で書かれた経営学の専門書の読解力をつけることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカ企業のAnnual ReportやNYSEの報告書を読み、専門用語に慣れるとともに、コーポレート・ガバナンスが問題とされる社会経済的背景の理解を深めていき、コーポレート・ガバナンスに関する専門的文献の講読を考えています。なお、授業の進め方については、輪読形式による授業を行います。

履修上の留意点

受講者は事前に授業範囲の予習を行ったうえで、受講してもらいたい。

成績評価の方法

平常点により評価します。出席状況、分担報告による総合評価を行います。再試験なし。

教科書

開講時にプリントを配布します。

参考書等

随時支持します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
原書講読Ⅰ〔英語〕	すずき のぶ え 枝 鈴 木 伸 枝	経A・商2・3・4選	4
原書講読Ⅱ〔英語〕		経B1・2・3・4選	
		経A・商・経B2・3・4選	

講義のねらい

ノーベル経済学賞の受賞講演録を輪読します。経済学用語を習い、経済学の専門書や学術論文を英語で読む力を養うとともに、これまで経済学者たちがどのような問題に着目し研究してきたかを垣間見て刺激を受ける機会にもなるでしょう。

必修科目の英語や時事英語を学んだだけでは、英語で書かれた経済学の文献を読みこなすことはできません。卒業論文を書くときに英語の本も参考にしたい、あるいは大学院進学を考えているといった学生には、この講義は大きな助けになるはずです。もちろん、こうした特定の目的がない学生も、読解力の向上や音読の上達を見込めます。

成績評価の方法

出席状況・予習状況・分担状況の平常点により評価します。(再試験なし)

教科書

ノーベル経済学賞 (<http://www.nobel.se/economics/>) の受賞講演録から何点か選びます。具体的にどれを読むかは、初回の授業で話し合って決めます。

その他

授業情報ページ：<http://hakuba.int.komazawa-u.ac.jp/~nsuzuki/gensho/>

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
原書講読Ⅰ〔英語〕	みぞ て よし かず 溝 手 芳 計	経A・商2・3・4選	4
原書講読Ⅱ〔英語〕		経B1・2・3・4選	
		経A・商・経B2・3・4選	

講義のねらい

英語の経済学文献を原書で読むことにより、(1) 経済学の基本文献にふれ、著者の考え方をしっかり学ぶとともに、(2) 経済・経済学に関する専門用語や言い回しの読解力を高めようと思います。大切なことは、著者が何を考えているのかをしっかりと読みとることです。英語の語学力は問いませんが、学習意欲のある学生の受講を希望します。

講義の内容・授業スケジュール

21世紀の世界全体の食料需給予測については悲観説と楽観説が併存していますが、途上国における慢性的栄養不足問題が容易に解決されないことは間違いないようです。その背景には、途上国における人口急増に食料生産が追いつかないといった事態にとどまらず、先進国と途上国との国際関係上の問題が横たわっています。スーザン・ジョージは、この点に焦点を合わせて途上国の貧困問題を分析した先駆者です。講義では、スーザン・ジョージの代表作で20世紀の古典ともいえるべき『How the Other Half Dies: The Real Reasons for World Hunger』(邦題『なぜ世界の半分が飢えるのか—食糧危機の構造』) をとりあげます。本年度は第2章を中心に学習します。

履修上の留意点

授業は、輪読形式です。受講に当たっては、必ず事前に予習してください。

成績評価の方法

出席、予習、分担報告等、平常点により評価します。再試験はございません。

教科書

随時、コピーを配布します。

参考書等

スーザン・ジョージ (小南祐一郎・谷口真里子訳) 『なぜ世界の半分が飢えるのか—食糧危機の構造』(朝日選書)、朝日新聞社

科目名	担当者名	配当学科	単位
原書講読Ⅰ〔独語〕	ふく ほん よし のぶ 福 原 好 喜	経A・商2・3・4選	4
原書講読Ⅱ〔独語〕		経B1・2・3・4選	
		経A・商・経B2・3・4選	

講義のねらい

カール・マルクス『資本論』（ドイツ語）を講読する。在職中に第三巻の終りまで行くのが私の夢である。今年度は恐らく価値形態論を読むことになろう。講義は訳のみでなく、内容の詳しい説明検討を行う。授業は少人数なのでゼミのような雰囲気である。学生諸君から希望があれば、夏休みなど泊まり込みで勉強することもある。受講者は、第二外国語としてドイツ語をとった人、あるいは独学でもドイツ語の素養のある人が望ましい。（夏休みには私のところにドイツ人の家族が泊りに来るので彼らと交歓の機会が持てたらと思っている。）

一昨年は男子1名、女子2名、昨年は男子1名の受講者であったが、本年はもう少し多くの受講生が来てくれればと思っている。ドイツ語及びドイツ文化の好きな人は来てほしい。ドイツ、オーストリア及び日本でオペラの監督として活躍中の高嶋勲氏はこの独書講読より育って行った。

履修上の留意点

授業は固苦しい話ばかりでなく、ドイツ人の酒の飲み方や夫婦のあり方などよもやま話しも含めて、ユツタリとしたものになりたいと思っている。

成績評価の方法

平常点と試験により評価します。再試験なし。

その他

よく出来た時は、コーヒーもでる。

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名	配当学科	単位
原書講読Ⅰ〔ロシア語〕	やま がた ひろ し 山 縣 弘 志	経A・商2・3・4選	4
原書講読Ⅱ〔ロシア語〕		経B1・2・3・4選	
		経A・商・経B2・3・4選	

講義のねらい

ソ連邦解体以後、あらゆる教科書が使いものにならない状態となっているが、解体以前から、社会科学分野で批判的な読み方を要求しないものはなかったと言ってよい。従って主体的な読み方はいつでも必要であったし、今後も必要である。

成績評価の方法

平常のパフォーマンスを評価する。再試験なし。

教科書

Книга первая, М. Города Подмосковья в трех книгах.、1979

科目名	担当者名	配当学科	単位
原書講読Ⅰ〔朝鮮語〕	ちよん ちやん よん 鄭 章 淵	経A・商2・3・4選	4
原書講読Ⅱ〔朝鮮語〕		経B1・2・3・4選	
		経A・商・経B2・3・4選	

講義のねらい

韓国の経済発展に関する朝鮮語文献を講読して、韓国経済について理解を深めてもらうことを目的とする。受講生には予め朝鮮語に対する基礎的な理解力が求められるが、講義では、受講生の習熟度に合わせてできるだけ平易な解説に努めるつもりである。朝鮮語に自信のない諸君も奮って参加してほしい。

成績評価の方法

定期試験、出席率、レポート回数などを加味して、総合的に評価する。

教科書

初回講義時にプリントを配布する。
また、辞書や文法書などについても当日紹介する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代経済事情Ⅱ（前期） 〔日本の中小企業とアジア経済〕	たか だ よし あき 高 田 好 章	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	2

講義のねらい

日本の経済の国際化は、アジア、特に東アジア地域を中心に、輸出入から技術移転・直接投資さらに海外進出にすすみ、その波は中小企業をも巻き込んでいます。それは、資本のあり方だけでなく、技術のあり方、経営のあり方、労働のあり方、生活のあり方を大きく変貌させてきています。そのような視点から、中小企業とアジアを一緒に考えましょう。

講義の内容・ 授業スケジュール

以下のテーマを軸に、時事の問題に関連させながら講義いたします。◇日本経済の国際化と海外展開 ◇海外進出と地場産業、産業空洞化 ◇グローバル化と東アジア地域 ◇東南アジアの中小企業の視点から ◇技術移転と経済の自立化 ◇海外展開と労働問題 ◇東アジア広域化と地域の不均等発展 ◇経済の国際化と国際分業 ◇国際的ネットワークと中小企業の経営戦略 ◇日本における競争と共生、アジアとの共存

履修上の留意点

授業中の質問は大歓迎。専門用語、時事用語等、わからない言葉はその場で解決しましょう。複雑な問題は講義後も考えて、次回に質問するか、メールで問い合わせてください。

成績評価の方法

成績評価はレポートによりますので、追試験・再試験は行いません。レポートは受講中に適宜課題を出します。また自発的に提出されたレポート・感想文・質問文等は評価に加味します。

教 科 書

出来れば、以下を読んでおいてください：鈴木茂・大西広・井内尚樹編『中小企業とアジア』（昭和堂）3,000円。

参 考 書 等

参考文献等は講義の中で、随時紹介いたします。

そ の 他

図や表などの具体的な資料を紹介し、時事問題のビデオも使って講義をすすめます。毎講義にアンケートをお願いし、それらを取り上げながら双方向の授業を念願しています。また、受講生からの講義テーマに関するレポート、感想文、質問文（以上メールでも可）は大いに歓迎します。講義に使用したレジュメ、図・表などの資料はホームページに掲載いたしますので、復習・レポート執筆等の参考にして下さい。

E-mail: ytakada@komazawa.com

ホームページ: <http://homepage1.nifty.com/ytakada/>

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代経済事情Ⅲ（後期） 〔エネルギー資源最前線〕	かねまつ 兼 松 通彦	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	2

講義のねらい

人類はエネルギーを活用することによって、文明を発展させてきた。その結果20世紀末でエネルギー資源の消費は頂点に達し、環境破壊が急激に進んでいる。人類が破滅を回避するためには、エネルギー資源の賢明な利用を地球的規模で実行しなければならない。

講義の内容・授業スケジュール

9月～12月12回にわたり、エネルギー資源の変遷、今世紀中に化石燃料（石炭、石油）は枯渇する見通し、石油代替燃料（天然ガス、原子力発電）の特質、天然ガスへの期待（利用技術の進展）、省エネルギー政策の推進、エネルギー市場の自由化、エネルギーと地球環境のバランス、温室ガス（気候変動の最大の要因）削減への挑戦、水素エネルギー社会への展望

履修上の留意点

ロシアの参加により京都議定書が2月に批准されると、エネルギー関連情報が、来年は質量ともに激変する。日々の新聞、月刊誌、テレビ報道特集に注目してもらいたい。

成績評価の方法

理解度、関心の度合いを試すために小論文の提出で成績評価したい。

教科書

森島宏著『天然ガス新世紀』（ガスエネルギー新聞）1,800円
傍島眞著『原子力は何が問題か』（ERC 出版）1,800円

参考書等

日本科学者会議編『原子力発電』（合同出版）
林健著『燃料電池のすべて』
昇昭三『隠れたる成長産業・都市ガス』（ガスエネルギー新聞）
山口正康著『LNGチェーン物語』（ガスエネルギー新聞）

その他

授業の方法：講義による。

科専門教育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代産業事情Ⅱ（後期）	しろた 代 田 純	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	2

講義のねらい

日本経済新聞社の協力により、日本経済新聞の記事を解説し、日本経済に関する入門講座とする。

講義の内容・授業スケジュール

12回の授業のうち、8回ほどは日本経済新聞の編集委員、編集長が日経新聞に関する解説を行う。その他は、代田によるガイダンス等となる。

履修上の留意点

新聞の読み方、その使い方、文章の書き方についても取り扱う予定。マスコミ志望の学生にも対応します。

成績評価の方法

出席とレポートにより、単位認定と評価をします。

教科書

なし。資料を配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
流 通 経 済 論	おおぶきかつお 大 吹 勝 男	商・経A・経B2・3・4選	4

講義のねらい

近年ますます大学においても、学問が軽視される風潮にあります。そして大学は、「企業に貢献する人材を育成」しなければならない、として実用主義・実学主義を売りものにする大学や、大学は社会的要請に応えねばならないとして、その実、社会ではなく、会社・企業のために諸君を育成しろというマスコミや評論家等々、そして学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は君たち自身のためにあり企業のためにあるものではありません。大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を身につけることです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。諸君が、悩みに悩み、迷いに迷って、大人になっていくところが、大学という場です。「即戦力になる人材の育成」をうたい文句にした大学も続々と出現していますが、企業は即戦力が必要ならば、そのような人材を中途採用します。キャリアを積んだビジネスマンから多く聞くことは、学生時代に「学問」をしておくべきであったということです。諸君も、過労死や過労自殺をすることなく、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に物事を考える能力を身につけてください。そして、社会人として現実に困難な問題に直面しても、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策を学習するための基礎理論を提供するものでもあります。さらに、本講義の理解を助けるものとして「流通論基礎」の履修を薦めます。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目のようになります。

- (1) 商品論
- (2) 生産過程論
- (3) 流通過程論
- (4) 資本の回転と流通資本
- (5) 商業資本の本質・機能論
- (6) 商業資本の自立化論・卸売り排除論（中抜き論）
- (7) 商業利潤論
- (8) 商業労働論・ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）
- (9) 商業資本の回転と価格
- (10) 大規模商業資本論・独占的商業資本論

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねてレポートを課す。また、各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とします。期末試験では、テキストおよびノート参照は可とします。しかし、この措置は、私自身、学生時代に非常に疑問に思っていたことでありますが、君たちに、受験生のような暗記の勉強を早く卒業してもらい、十分な準備（学習）をして試験に望んでもらいたいということでもあります。いうならば、問題のわからないレポート試験とでもいえばよいかもしれません。したがって、容易に単位が取得できるという意味ではあはせんから誤解のないように。再試は実施します。

教 科 書

大吹勝男著『商業資本の基礎理論』（梓出版社）4月刊行予定

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 政 策	いわ <small>した</small> <small>ひろし</small> 岩 下 弘	商2・3・4選(16以降入学生)	4
		商1・2・3・4選必(15以前入学生)	
		経A2・3・4選	

講義の内容・
授業スケジュール

- 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造
 - 1 90年代の小売商業構造 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造
 - 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造
- 二 わが国の流通政策論
 - 1 中小小売商保護政策論 2 流通近代化政策論 3 流通システム化計画論
 - 4 流通革命論
- 三 流通ビジョンと流通政策
 - 1 70年代の流通 2 80年代流通産業ビジョン 3 90年代流通ビジョン
 - 4 21世紀へ向けた流通ビジョン
- 四 わが国の小売商業調整政策の展開過程
 - 1 百貨店法
 - 1) 第一次百貨店法 2) 第二次百貨店法
 - 2 中小小売商業振興法
 - 3 小売商業調整特別措置法
 - 4 大店法
 - 1) 1973年法 2) 1979年改正法 3) 1991年改正法
 - 5 凍結宣言、要綱及び条例
 - 6 通産省による行政指導=抑制措置
 - 7 規制緩和
 - 1) 規制緩和の流れ-前川レポート、行革審報告 2) 日米構造問題協議
 - 3) 適正化措置
 - 8 特定商業集積法
 - 9 街づくりと都市計画
- 五 流通政策の転換
 - 1 大店立地法 2 中心市街地活性化法
- 六 海外の流通政策
 - 1 イギリス
 - 1) 出店調整政策-都市・農村計画法 2) 日曜営業問題-商店法
 - 2 フランス-ロワイエ法
 - 3 ドイツ-土地利用計画
 - 4 アメリカ-ゾーニング規制

科 専
目 門
教 教
育 育

成績評価の方法

定期試験、レポート、出席により評価。再試験は実施しない。

教 科 書

指定しない。

参 考 書 等

その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
マーケティング	江上 哲 <small>えがみ さとし</small>	商2・3・4選(16以降入学生)	4
		商1・2・3・4選必(15以前入学生)	
		経A2・3・4選	

講義のねらい

前期ではマーケティングの基礎というべき4Pを中心に講義します。後期においては、①マーケティング管理 ②マーケティングと経営組織 ③マーケティングとブランドを講義します。本講義の目的は、マーケティングの諸活動を通じて社会を見る眼を培うことです。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- 第1回目 寡占経済とマーケティングの生成
- 第2回目 マーケティング論研究の発展
- 第3回目 フォーダイズムとマネージャリアルマーケティング
- 第4回目 製品戦略—製品差別化論
- 第5回目 製品戦略—市場細分化論
- 第6回目 価格戦略—非価格競争論
- 第7回目 価格戦略—管理価格論
- 第8回目 流通経路戦略—商業排除論
- 第9回目 流通経路戦略—流通系列化論
- 第10回目 販売促進戦略—広告と情報
- 第11回目 販売促進戦略—人的販売と営業
- 第12回目 前期まとめ

後期

- 第1回目 市場創造とマーケティング
- 第2回目 マーケティング組織論
- 第3回目 マーケティング活動と経営組織
- 第4回目 製品ポートフォリオ論
- 第5回目 消費者行動論
- 第6回目 ブランドマーケティング①
- 第7回目 ブランドマーケティング②
- 第8回目 日本型消費者のマーケティング
- 第9回目 ウェブマーケティング①
- 第10回目 ウェブマーケティング②
- 第11回目 マーケティングと消費者問題
- 第12回目 後期まとめ

成績評価の方法

レポートを前期と後期に1回課します。基本的には定期試験を評価の対象の主たるものとします。

教科書

講義がはじまって指定します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 品 学	いし ぎき よし ふみ 石 崎 悦 史	商・経A・経B2・3・4選	4

講義のねらい

現在の商品の進化は激しい。企業と消費の力関係。行政の規制などによって出現するのである。現在の状況を打開していくのは新商品開発であるから、商品の進化がもたらす社会生活の変化を考えてみたい。商品がもたらす問題は商品によって解決するしかない。現実のなかから、新しい商品学の体系を作りだすことを目的としたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期のテーマは商品の競争力であり、社会における商品のあり方が問題となる。後期は商品を使った戦略である。具体的な商品のデザイン、ブランド、規格などをとりあげて、その戦略的な使い方について考えたい。

履修上の留意点

商品学は現実の商品が対象なので、自分の購買・使用経験や商品広告、あるいはアルバイトでの経験を材料にして考えることができるので、生かしてもらいたい。

成績評価の方法

前・後期に筆記試験をおこないます。再試験も実施します。試験の結果で成績評価をします。

教 科 書

石崎悦史『商品知識イノベーション戦略』（同友館）1,600円

参 考 書 等

石崎悦史『商品学と商品戦略』（白桃書房）
 石崎悦史『商品競争力の理論』（白桃書房）
 石崎・橋本『商品学と技術』（白桃書房）
 片岡寛編著『拡大する栄養ドリンク市場』（中央経済社）
 見目洋子『「生活福祉」を実現する市場創造』（中央経済社）

そ の 他

例年受講者が多いので、大教室での講義になるが、勉強をおもしろくする方向性の提示と工夫を考えています。勉強が生きる力になることを期待しています。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
交 通 論	しお み えい じ 塩 見 英 治	商・経A・経B2・3・4選	4

講義のねらい

現代における交通が直面するさまざまな問題とその解決策について、経済学の視点から考察を行う。とくに交通市場と規制・緩和政策との関連について検討を行う。今年度前半では、総論をとりあげ、後半では、各論、応用分野として航空輸送をとりあげ、さまざまな角度から検討を行う。

講義の内容・授業スケジュール

〈前半〉

1. 交通経済論の対象
2. 交通経済論の目的と方法
3. 交通サービスの生産と交通技術
4. 交通サービスの生産の特徴と生産方式
5. 交通事業の形態と産業組織
6. 商品生産と自己生産の対比—公共交通対自家用車
7. 情報化と交通サービス
8. 交通サービスの需要と価格
9. 交通サービスの市場的供給と財の性格
10. 交通サービスの市場的供給と規制
11. 規制緩和の潮流
12. 規制緩和の要因と理論

〈後半〉

13. 航空産業の規制政策の展開
14. 航空産業のネットワークと経済的特質
15. 航空の規制緩和の理論と実際
16. 航空の規制緩和と市場構造
17. 航空の規制緩和環境と経営適応
18. 国際航空の自由化と提携
19. 国際航空の自由化と提携
20. 航空の企業行動と競争政策
21. 航空の企業行動と競争政策
22. スロットの配分と競争政策
23. 交通政策の総合性と課題
24. まとめ

履修上の留意点

出席につとめること。

成績評価の方法

課題レポートと期末テストの総合評価によって行う。

教 科 書

前半は授業時に資料を配布し、後半は、塩見英治著『米国航空政策の研究—規制緩和と競争政策の展開』（仮称）を使用の予定でいる。

参 考 書 等

衛藤卓也『交通経済論の展開』（千倉書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロジスティクス	いし ほん じ 石 原 伸 志	商・経A・経B2・3・4選	4

講義のねらい

グローバル・ロジスティクスやSCM構築のためには、従来の物流に関する知識の他に、貿易実務やマーケティング及び海外の物流事情等についての幅広い知識が不可欠になっている。本講義では、現場で蓄積したノウハウをベースに、ロジスティクス構築に際して必要と思われる内容全般について講義する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

- ①前期は、グローバル・ロジスティクスを理解するために必要な基礎をベースに講義する予定である。
- ②後期は、グローバル・ロジスティクスを理解するために必要な海外の物流事情や貿易実務等の応用編について講義する予定である。

履修上の留意点

ロジスティクスは学生にとって馴染みが薄い分野で解りづらいかもしれないが、物流の必要性と面白さが解ってくればと思う。

成績評価の方法

1年間の講義を通して、ロジスティクスの必要性や重要性をどの程度理解できたか、を成績評価の対象とする所存である。

教科書

手造りのテキスト使用予定

参考書等

中田信哉・湯浅和夫・橋本雅隆・長峰太郎『現代物流システム論』（有斐閣アルマ）2,000円
 山田晃久『貿易・為替の基本』（日経文庫）1,000円
 汪正仁『ビジュアルでわかる国際物流』（成山堂書店）2,800円
 石原伸志『貿易物流実務マニュアル』（成山堂書店）8,840円
 斉藤実・矢野裕児・林克彦『現代企業のロジスティクス』（中央経済社）2,800円

その他

講義形式

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営管理論	名取修一	商2・3・4選(16以降入学生)	4
		商1・2・3・4選必(15以前入学生)	
		経A2・3・4選	

講義のねらい

企業は、特定の目的を達成するためにヒト・モノ・カネといった諸資源が体系的に統合化された組織体である。経営者・管理者は、それぞれの立場で会社全体、各部署、職場で従業員や部下の個々の行動を調整し、全体行動として統合化する。本講義では、こうした経営者・管理者の行動基準を検討するなかで、管理とは何か、管理作用の持つ意味は何かを考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期の目標

前期は、主として経営管理活動の歴史的・理論的展開を講義する。本講義の対象は企業経営活動にある。そこで、まず企業経営がどのような活動基準を有しているのかを明確にする。また、企業経営活動としての私有財産制に基づいた利潤生産および商品生産を通じて、広く社会的存在としての姿が認識できる。この考え方に立って、経営管理の理論的変遷を考察し、それぞれの内容理解とそれら管理技術の展開の理解を目指す。

後期の目標

これまでの理論的理解の上に立って、現実の企業経営に視点を当ていくつかのケースを取り上げる。今日、わが国における生産・消費活動は、大きくその構造を変え、経営管理技術もまた変貌期にある。そのフィールドは、国際化や情報ネットワーク化とともに経済的・政治的・社会的な諸側面の総合化と地球規模への広がりの中で管理基準は大きく変化しつつある現状を考える。

履修上の留意点

受講生は、自らのノートを積極的に創ること。

成績評価の方法

受講態度・定期試験により評価する。

教科書

名取修一・中山 健他著『現代経営管理の研究』(信山社)

参考書等

参考資料等は、その都度提示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 務 管 理 論	ほり 堀 龍 二	商2・3・4選(16以降入学生)	4
		商1・2・3・4選必(15以前入学生)	
		経A2・3・4選	

講義のねらい

最近急激な変化をみせているわが国の労務管理の基本的動向と特徴を把握することをねらいとしている。高度経済成長期に形成されたいわゆる「日本的経営」ないし「日本的労務管理」は年功賃金、終身雇用、企業別組合を柱としていた。1970年代以降、大企業は基本的にはこうした労務管理慣行ないし制度の利点と有効性を認識しながらも、他方で「画一的年功制からの脱皮」を目指して「能力主義管理」を推進して、その再編・強化を図った。こうして「日本的労務管理」は今まで「良好なパフォーマンス」を示してきた。ところが、近年における日本経済の低迷のなかで、中高年層を中心に正規従業員の大量リストラが断行されるとともに、雇用形態の多様化、年俸制の導入などにみられる賃金・処遇の成果主義化、職能資格制度の再編、採用方法の柔軟化、退職金・年金制度の改編等々、雇用と賃金・処遇に関する基本的な制度・慣行にかつてない変化が進行してきている。これらの変化は従来の「日本的労務管理」からの脱却であり、そこにみえるのは人事労務への市場原理の導入、内容的にはその流動化、個別化、成果主義化という傾向である。こうした傾向・特徴の内実を明らかにし、その背景にあるものと今後の展望を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

大略すれば、まず「日本的労務管理」の形成過程とその構造や機能についてまとめる。ついで能力主義管理に関して同様のまとめを行う。とくに、職務給、職能給・職能資格制度、人事考課といった賃金・処遇制度に焦点を当てる。これら日本的労務管理と能力主義管理の整理を踏まえて、現在進行中の労務管理の「地殻変動」の現状と特徴を把握するという段取りを考えている。なお、初回講義において具体的なガイダンスを行う予定であるが、およその予定は以下のとおりである。

- I. 労務管理論の体系と歴史
 1. 労務管理の目的、機能、対象
 2. 労務管理論の歴史
- II. 戦後日本の労務管理
 1. 電産型賃金体系
 2. 戦後初期の労使関係と労務管理
- III. 高度経済成長期の労務管理
 1. 日本的労務管理の形成と展開
 2. 労使関係の転換
 3. 能力主義管理と年功制
- IV. 現代の動向
 1. 雇用の流動化と雇用形態の多様化
 2. 非正規雇用の拡大と均等処遇
 3. 採用・配置慣行と人事制度
 4. 職能資格制度と人事考課
 5. 賃金制度とその成果主義化
 6. 諸手当、賞与、退職金と企業年金
 7. 労働時間の現状と弾力化
 8. チーム作業方式の特徴
 9. 能力開発と教育訓練とキャリア形成
 10. 「新・日本的経営」と労使関係

成績評価の方法

原則としてレポートと定期試験で評価する。再試験は実施しない。

教科書

黒田兼一ほか著『現代の人事労務管理』（八千代出版）2001年

参考書等

講義中に適宜紹介する。

その他

言うまでもないが、他の受講生の迷惑となる私語などの行為は厳に慎むこと。注意してやめない場合は、以後の受講を認めない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営戦略論	た ぶち やす お 田 淵 泰 男	商・経A・経B2・3・4選	4

講義のねらい

企業をとりまく経営環境が、ダイナミックに変化している現代、経営戦略の優劣いかんが、企業の栄枯盛衰に重大な影響をもつようになってきました。企業がそうした環境に、いかにうまく適応すべきかを考える経営戦略は、現代企業にとっても最も重要なものであるとともに、現代経営学における中心的な研究分野の1つになっています。この講義では、これまでの経営戦略論の展開をふまえ、経済学部で経営戦略論を学ぶ皆さんにとって是非必要な重要論点にかんする知識を提供し、それらの考え方の理解をはかることをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

経営戦略論の下記のような主要分野について、それぞれの理論を事例ないしフィールドリサーチによる最近の実例などをまじえて解説します。前期が企業戦略論、後期が競争戦略論を中心とした内容で授業を進めます。

- ・経営戦略論への招待
戦略とは何か、経営戦略とは何か、経営戦略論の発展過程と概念の構築、経営戦略の体系。
- ・企業が生存していくために選択・決定すべき「企業戦略としての事業領域（ドメイン）の定義
- ・企業が成長戦略のなかで新しい製品・市場をめざして複数の事業分野に経営資源を展開していく「多角化戦略」
- ・多角化した企業が経営資源をどのような製品事業へ選択的に重点配分すべきかを考える「事業ポートフォリオ戦略」
- ・競合企業に対して競争上の優位な地位を獲得するための「競争戦略」
- ・その他
機能分野別の戦略（研究・技術開発戦略など）、経営戦略と組織、最新の経営戦略論の動向などについて、授業時間数の配分を考慮して取り扱います。

履修上の留意点

企業行動の論理を探究しようとする意欲をもって、その機会を常日頃意識的にさまざまな視点からとらえようとする姿勢が大切です。

成績評価の方法

学年末の定期試験により評価します。出席は加点対象とします。ただし、受講者の学習意欲や出席状況を参考にして、レポートを加点対象とした総合評価とすることがあります。

教科書

開講時に説明します。

参考書等

開講時に説明した後、適宜紹介します。

その他

毎回、プロジェクター（パワーポイント）を利用します。図表を多用するとき、詳細な説明を要するときはプリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
企 業 統 治 論	いわ なみ かみ たか 岩 波 文 孝	商・経A・経B2・3・4選	4

講義のねらい

グローバル化とIT革新など企業をめぐる社会・経済的環境が著しく変化しており、企業と経営活動のあり方が問い直され始めています。日本やアメリカにおいても、一連の企業不祥事が表面化し、企業経営や経営者の行動に対するチェックあるいはモニタリングの強化が求められています。

本講義では、トップ・マネジメントの観点から企業の全体構造を捉え、株式会社の発展に伴う企業間ネットワークとトップ・マネジメント機能の考察を通じて、企業の公正かつ効率的な運営システムの構築、すなわち企業統治（コーポレート・ガバナンス）の構築について追究していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 授業の概要・ガイダンス
- 2 企業統治論の対象
- 3 トップ・マネジメントの構造と機能
- 4 日本におけるトップ・マネジメントの法的形態と機能
- 5 欧米におけるトップ・マネジメントの法的形態と機能
- 6 現代企業の株式所有構造と支配構造
- 7 メインバンク制とガバナンス
- 8 機関投資家とガバナンス
- 9 企業間人的ネットワークとトップ・マネジメント
- 10 企業間ネットワークとガバナンス
- 11 コーポレート・ガバナンスの今後の課題

授業の進め方について、付言しておきます。授業の進行はテキストの順序とは異なります。

履修上の留意点

現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。

成績評価の方法

レポートおよび学年末の定期試験により総合的に評価します。

教 科 書

仲田正機編著『変わる日本型の企業統治』（中央経済社）2005年

参 考 書 等

仲田・細井・岩波共著『企業間の人的ネットワーク』（同文館）1997年
仲田・夏目編著『企業経営革新の新世紀』（同文館）2002年

そ の 他

随時レジュメ等配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営情報システム論Ⅰ(前期)	さいとう 齋藤 たかし 隆	商・経A・経B2・3・4選	2

講義のねらい

第4の経営資源として「情報」が挙げられますが、それはなぜでしょうか。今日の企業は高度情報化社会の真っ直中にあり、業種や規模のいかんを問わず、パソコンをはじめとする情報システムを何らかの形で利用しています。場合によっては、情報システムなしでは企業活動が成り立たない企業もあります。本講義では、企業経営における情報システムの役割とその効果的な活用法について、事例を踏まえて習得します。また、その過程を通じて、学生諸君にとっても、高度情報化社会における自身の職業観について考えてみる契機となるようにしたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

「企業経営活動の枠組みと情報システムの優位性」「ビジネス活動を遂行するための情報システム」「意思決定を支援するための情報システム」「企業コラボレーションのための情報システム」「戦略的優位性を創出するための情報システム」、等

履修上の留意点

パソコン中級者以上を想定して講義を進めますので、「基礎情報処理Ⅰ・Ⅱ」、「情報経済ネットワーク論」、「コンピュータ基礎」を履修済か、同等の能力を有することが求められます。

成績評価の方法

発表や討議などを通じての授業への参画状況、課題の提出状況、提出物の内容、定期テストの成績等を総合して評価します。なお、追・再試験は原則として実施しません。

教科書

特に指定せず、レジメを使用します。

参考書等

その都度、提示します。

その他

本講義はパソコンのある教場で行うため、履修者の人数を制限する場合があります。初回講義時にパソコン操作の簡単なテストを実施しますので、必ず出席して下さい。初回講義に出席できない学生や質問等がある学生は、saito@rsch.tuis.ac.jp宛メールして下さい。なお、本講義は総合情報センターに登録しないと受講できません。受講希望者は4月に4号館1F自習室にて登録して下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営情報システム論Ⅱ（後期）	さいとう 齋藤 たかし 隆	商・経A・経B2・3・4選	2

講義のねらい

前期開講の「経営情報システム論Ⅰ」に引き続いて、企業経営における情報システムの役割とその効果的な活用法について、事例を踏まえて習得します。なお、「ERPの事例紹介」では、本学に導入予定のERPパッケージ（SAP社製「R/3」）を利用してコンピュータ実習を行うことを予定しています。

講義の内容・
授業スケジュール

「ERP (Enterprise Resource Planning)」「ERPの事例紹介」「SDLC (System Development Life Cycle)」「BPR (Business Process Reengineering)」「EUC (End User Computing)」「システム監査」「情報化人材」、等

履修上の留意点

「経営情報システム論Ⅰ」を履修していること。また、パソコン中級者以上を想定して講義を進めますので、「基礎情報処理Ⅰ・Ⅱ」、「情報経済ネットワーク論」、「コンピュータ基礎」を履修済か、同等の能力を有することが求められます。

前期に開講される「経営情報システム論Ⅰ」の第一回目の授業に出席し、担当教員より受講許可書を得た上で、履修届に記入して登録してください。

成績評価の方法

発表や討議などを通じての授業への参画状況、課題の提出状況、提出物の内容、定期テストの成績等を総合して評価します。なお、追・再試験は原則として実施しません。

教科書

特に指定せず、レジメを使用します。

参考書等

その都度、提示します。

その他

本講義はパソコンのある教場で行うため、履修者の人数を制限する場合があります。初回講義時にパソコン操作の簡単なテストを実施しますので、必ず出席して下さい。初回講義に出席できない学生や質問等がある学生は、saito@rsch.tuis.ac.jp宛メールして下さい。なお、本講義は総合情報センターに登録しないと受講できません。受講希望者は4月に4号館1F自習室にて登録して下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財 務 会 計 論	お ぐり たか し 小 栗 崇 資	商2・3・4選 (16以降入学生)	4
		商1・2・3・4選必 (15以前入学生)	
		経A2・3・4選	

講義のねらい

企業の活動内容を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計である。外部報告会計とも言われ、報告内容による社会的な影響も大きいことから、財務会計については商法や証券取引法のような法律や規則によって社会的に規制されている。日本の財務会計を規制する企業会計制度は現在、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化のまっただなかにある。戦後、日本独自の発展をとげてきた企業会計制度もグローバルスタンダードの影響のもとに国際的に比較可能なものへと変わりつつある。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような発展をとげていくかが、現在、問われているところである。

講義の前半では、そうした制度変化を理解する上で必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みなどについて論じたのち、日本の企業会計制度の歴史と会計ビッグバンの概要について学習を進める。講義の後半では財務諸表（貸借対照表、損益計算書）の基本的な構成や内容について論じ、さらに現代会計のテーマである連結会計、金融商品会計、年金会計などを取り上げ検討する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

次のような構成で進めたい。

1. 財務会計とは何か
2. 経済社会と企業会計
3. 会計規制の仕組み
4. 日本の企業会計制度と会計ビッグバン
5. 財務諸表の仕組み
6. 貸借対照表の構造と内容
7. 損益計算書の構造と内容
8. キャッシュフロー計算書の構造と内容
9. 連結財務諸表の構造と内容
10. 金融商品会計
11. 退職給付会計
12. リース会計
13. 現代会計と会計の国際化

履修上の留意点

会計学は専門知識を積み上げていく学習スタイルが必要ですし、時々、副教材としてプリントを配布しますので、欠席しないこと。

成績評価の方法

中間試験および学年末試験により評価します。また、時々、小テストやレポートも実施し、成績評価に加算します。なお、再試験は行わないので注意して下さい。

教 科 書

遠藤・小栗・新谷・徳前著『新世紀の企業会計論（第2版）』（白桃書房）

参 考 書 等

小栗・熊谷・陣内・村井編著『国際会計基準を考える—変わる会計と経済』（大月書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 計 監 査 論	もり 森 たい 田 よし 佳 ひろ 宏	商・経A・経B2・3・4選	4

講義のねらい

会計監査とは、企業における会計記録および会計行為の全部または一部につき、それに関与しない独立の第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。これは、会計監査の一般的意義であるが、会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。財務諸表監査とは、企業が作成する財務諸表の適否について、監査人が公正な立場から検討を加えて専門家としての意見を表明し、もって財務諸表に対する社会一般の信頼を高めるための制度であり、主として、投資者、債権者その他の利害関係者の利益擁護を目的とする監査である。

いうまでもなく、財務諸表監査は、企業が作成する財務諸表をその対象としている。財務諸表とは、周知のとおり、毎事業年度に作成される貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等の財務に関する決算書類である。

これら財務諸表の適否の検討にあたって、監査人の判断の基礎となるものが、商法、財務諸表等規則、企業会計原則等の会計に関する法令および慣習規範であり、監査人の行為の尺度となるものが監査基準である。

講義の内容・授業スケジュール

職業監査人による財務諸表監査（特に証券取引法監査）を中心として、前期は会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度について、後期は監査基準の内容について講義を行う。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会計学総論・会計学基礎」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

原則としてレポートおよび期末試験により評価する。なお、再試験は実施する。

教科書

指定しない。必要に応じて資料を配布する。

参考書等

山浦久司『会計監査論（第3版）』（中央経済社）
 加藤恭彦、友杉芳正、津田秀雄編著『監査論講義（第5版）』（中央経済社）
 石田三郎編著『監査論の基礎知識（4訂版）』（東京経済情報出版）
 財務会計基準機構監修『企業会計規則集』（税務研究会出版局）

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名	配当学科	単 位
会計情報論	いし かわ じゆん じ 石 川 純 治	商・経A・経B2・3・4選	4

講義のねらい

今日の企業会計は歴史的にみても、「会計ビッグバン」（会計制度の大改革）という言葉が象徴するように、これまでにない大きな変革期に直面している。では、その変革はどこからくるのであろうか。そもそも、会計情報の存立基礎はどこにあるのだろうか。会計情報の性格や役割はこれまでとは異なった方向に進んでいくのであろうか。

本講義では、こうした今日の企業会計と会計情報をとりまく諸問題を、制度と理論の両面から取り上げる。特に、米国でおこったエンロン問題など不正会計疑惑の根っこにあるものや、国際会計基準の世界統合化問題の背後にあるものなど、さまざまな会計情報をめぐる時事問題もケースとして取り上げ（ホームページに掲載中）、そこにどのような問題が潜んでいるか、その洞察力を得ることを学習の目標にしたい。

講義の内容・授業スケジュール

前半の講義では新たな財務諸表の一角を担うようになったキャッシュ・フロー会計情報を取り上げ、その計算の仕組みとキャッシュ・フロー情報の役割、とりわけ企業価値（株主価値）とのかかわりについて学習する。

後半の講義では、社会のなかの「生きた会計」、とりわけ90年代から今日に続く会計ビッグバンを政治経済学的な視点から取り上げ、社会科学としての会計学習を行う。

〈前半の講義〉

- 1 キャッシュ・フロー計算書の作成方法
- 2 損益計算とキャッシュ・フロー計算
- 3 3つの財務諸表の動的相互関連
- 4 キャッシュ・フロー革命と企業経営
- 5 エクセルとアカウントティング

〈後半の講義〉

会計ビッグバンの政治経済学

履修上の留意点

前半は教科書にそって講義する。講義の最終回に私のホームページにある4つのデモンストラーションをおこなう予定。後半については会計学の基礎知識をもっていることが望ましい。

成績評価の方法

定期試験あるいはレポート。

教科書

石川純治『キャッシュ・フロー簿記会計論（3訂版）』（森山書店）2,800円

参考書等

講義で別途指示する。

その他

前半の講義では一方的授業を避けるため、まず「何が問題か」そしてそれを「どう解くか」を明確にするため設問を解いてもらい、そのあとで教科書にそって解説するという方式をとる。特に、「系統だって学習する」ことの重要性を強調する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
管理会計論	いし ^{かわ} めう ^じ 石川 祐二	商・経A・経B2・3・4選	4

講義のねらい

企業がそれを取り巻く社会の中で円滑に活動するためには、自社の状況を把握し、それに基づいて適切な管理をしていかなければならない。とりわけ、グローバル化が進展し、変化が激しい現代の社会環境に適切に対応するためには、よりの確な企業管理を行う必要性に迫られる。このとき、様々な情報の中でも、会計情報を利用することが一つの重要な鍵となる。というのも、企業は会計的な利益を獲得することを目的として活動しており、そのような目的と直接的に結びつく情報だからである。企業管理のために会計情報を利用するうえでは、その基本的な意味や、その背後にある基礎的論理を身につける必要がある。そこで、本講義においては、管理会計上の基礎的知識・基礎的論理の修得に主眼がおかれる。そして、それと同時に、その会計情報が社会的諸関係の中で果たす役割や意味を考える機会の提供を目指すものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、まず、管理会計をとらえる上での基本的な視点を明らかにする。つぎに、原価概念や利益概念といった基礎的な概念を取り上げる。そのうえで、伝統的に利用されてきた管理会計上の手法を取り上げる。後期においては、近年、管理会計上の中心的話題となっている手法を取り上げ、その社会的な意味を考えることにする。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、「簿記論」および「会計学総論・会計学基礎」を履修済みであることが望ましい。また、電卓を利用するので、持参すること。

成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。再試験は実施しない。

教科書

プリントを配布する。一年間の講義をつうじて蓄積されたプリントが、学生個々人の成果を反映したテキストとなる。

参考書等

講義において適宜指示する。

その他

講義においては問題練習を行い、知識の定着を目指す。

科目名	担当者名	配当学科	単位
税務会計論	やなぎ ^{ゆう} ^じ 柳 裕治	商・経A・経B2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、税務会計論の初学者を対象に、税法の基礎理論および法人企業の課税所得計算理論を体系的に理解することを目的とする。あわせて、租税の時事問題に触れ、租税に関する幅広い知識を修得できるようにしたいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール

税務会計とは、税法（特に法人税法）の規定に従って課税所得および税額を計算することによって租税債務を確定するための会計であり、法的側面と会計的側面との統合された理論をもつところにその特徴がある。企業会計は、通常、帳簿記入・決算・納税申告という一連の手続きによって完結するが、税法は企業の所得に課税するため、その計算過程において企業会計と密接な関わりをもっている。

そこで本講義では、経済学部の学生を対象とした税務会計の概論として、税法の基礎理論から始め、法人が課税所得および税額を計算し、申告し、納税する一連の税務会計手続きについて、企業会計と関連させながら系統的に説明していく。その内容は、税法総論と法人税法が中心となるが、所得税法および消費税法についても触れる。

成績評価の方法

中間試験および学年末試験により評価する。再試験を実施する。

教科書

柳裕治著『税法会計制度の研究』（森山書店）

参考書等

柳裕治ほか著『現代税法の基礎知識』（ぎょうせい）
柳裕治ほか著『税務会計の基礎』（創成社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上 級 簿 記	ふくしま たかし 福 島 隆	商・経A2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は、簿記論での学習内容を基礎にして、株式会社における簿記を学習します。具体的には、株式会社で必要な簿記技法について説明します。株式会社の取引は、その種類および内容とも複雑化しています。そのような複雑化した取引について、理論と技法の両方を理解し、習得することが本講義の目的です。そのため授業中は、講義と問題演習を行います。レベルとしては、日商簿記2級の商業簿記を想定していますが、1級の導入部分についても簡単に解説する予定です。なお、工業簿記の講義は行いません。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義では、テキストに沿って、次のようなスケジュールを予定しています。

(前期)
(1) ガイダンス (2) 現金預金 (3・4) 有価証券 (5) 債権債務 (6・7)
手形 (8) 引当金 (9・10) 商品売買 (11~13) 特殊商品売買取引

(後期)
(14) 固定資産 (15~18) 株式会社会計 (19) 税金 (20・21) 決算 (22・23) 本
支店会計 (24) 帳簿組織 (25) 伝票会計 (26) その他の論点

2004年度は1級の導入として、連結会計(2回)および税効果会計(1回)の導入部分を説明しました。2005年度は11月の日商簿記2級の試験までに、2級の範囲を終わらせたいと考えています。

履修上の留意点

簿記は積み重ねが重要であるので、毎回出席して、復習に時間を当てることを希望します。受講生は毎回電卓を持参して下さい。なお、受講生は簿記論またはこれに相当する科目を履修したという前提のもとに(つまり、日商簿記3級程度の知識があることを前提として)、講義を行います。講義では3級の復習は必要最低限しか行いませんので、各自復習しておいてください。遅刻は原則欠席扱いとするのでこの点注意すること(特別な理由がある場合を除く)

成績評価の方法

評価は、平常点(出席・課題)(20%)、中間テスト(30%)、定期試験(50%)を目安に総合的に評価します。なお、自主レポートを提出した場合には、最高で30点の評価を与えます。

教 科 書

『新検定簿記講義2級商業簿記』(中央経済社) 680円
『新検定簿記ワークブック2級商業簿記』(中央経済社) 680円
ワークブックは自宅学習用です。この他に必要に応じてプリントを随時配布します。

そ の 他

授業の詳細については、1回目のガイダンスで説明しますので、履修を考えている学生は出席してください。
再試験は行いません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ会計Ⅰ(前期)	すずき かつひろ 鈴 木 勝 浩	商・経A・経B2・3・4選	2

講義のねらい

今日、コンピュータをはじめとする情報技術の進展及び高度化はめざましく、あらゆる社会活動がその影響をうけている。このような高度情報化の到来に伴って、近年、コンピュータ会計は、企業の規模や業種にかかわらず広く普及している。本講義では、コンピュータを前提とした会計情報システムについて、その現状と問題点を検討したうえで、今後の展開を考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

(1) コンピュータ会計概論 (2) 情報処理システム (3) データ通信システム (4) 会計情報とデータベース (5) 会計情報とシステム設計 (6) 販売管理システムと会計情報 (7) 生産管理システムと会計情報 (8) 在庫管理システムと会計情報 (9) 原価管理システムと会計情報 (10) 財務会計と会計情報 (11) コンピュータ会計と内部統制

また、後期に開講する「コンピュータ会計Ⅱ」でのコンピュータを利用した会計処理システム構築に備え、本講義ではできる限りコンピュータ演習を取り入れていく。

履修上の留意点

パソコン中級者以上を想定して講義をすすめるため、「基礎情報処理Ⅰ・Ⅱ」、「情報・経済ネットワーク論」、「コンピュータ基礎」等を履修済みか、同等の能力を有することが求められる。また特に会計に関する知識を問わないが、簿記会計に関する基礎的な知識を有していればより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

出席率及び課題の提出状況・内容等を総合的に評価する。

教科書

志村正著『エクセルで学ぶ会計情報の作成と分析』(創成社)

参考書等

講義中に適時指示する。

その他

本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがありますので、初回講義時には必ず出席してください。初回講義に出席できない人や質問は、以下のアドレス宛にメール連絡してください。

k2szk@komazawa-u.ac.jp

また本講義は、総合情報センターに登録しないと受講できません。受講者は4月に4号館2F事務室に行き、登録してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ会計Ⅱ(後期)	すずき かつひろ 鈴 木 勝 浩	商・経A・経B2・3・4選	2

講義のねらい

今日、高度情報化の到来に伴い、コンピュータ会計は企業の規模及び業種にかかわらず広く普及している。本講義は、従来の手書き会計とコンピュータ会計の相違点を明確にし、リアルタイムで会計情報の入手とその利用が可能である点を解説したうえで、パソコン演習を通じて上記の点を検証していく。まず表計算ソフトを利用して簡単な会計データ処理システムを設計し、その後会計パッケージを利用してその有用性を体感していく。

講義の内容・授業スケジュール

(1) コンピュータ会計概論 (2) 表計算ソフトによる実習(基礎準備) (3) 表計算ソフトによる実習(勘定科目コード及びその他の会計情報コードの設計) (4) 表計算ソフトによる実習(仕訳データの作成) (5) 表計算ソフトによる実習(試算表の作成) (6) 表計算ソフトによる実習(決算処理) (7) 会計パッケージによる実習(概要と基礎準備) (8) 会計パッケージによる実習(会計取引の入力) (9) 会計パッケージによる実習(日常帳票の作成) (10) 会計パッケージによる実習(決算諸表の作成) (11) 会計パッケージによる実習(財務分析) (12) シミュレーションによる会計情報システムの実習

履修上の留意点

パソコン中級者以上を想定して講義をすすめるため、「基礎情報処理Ⅰ・Ⅱ」、「情報・経済ネットワーク論」、「コンピュータ基礎」履修済か、同等の能力を有することが求められる。

成績評価の方法

出席率及び課題の提出状況・内容等を総合的に評価する。

教 科 書

志村正著『エクセルで学ぶ会計情報の作成と分析』(創成社)

そ の 他

本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがありますので、初回講義には必ず出席してください。初回講義に出席できない人や質問は、以下のアドレス宛にメールしてください。

k2szk@komazawa-u.ac.jp

また本講義は、総合情報センターに登録しないと受講できません。受講者は4月に4号館2F事務室に行き、登録してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿 易 論	ふる さわ こう ぞう 古 沢 紘 造	商・経A・経B2・3・4選	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

I. 生産・消費と貿易

1. 農産物と貿易
2. 水産物と貿易
3. 林産物と貿易
4. 鉱物資源と貿易
5. 工業製品と貿易

II. 政治・経済・社会と貿易

1. 開発援助と貿易
2. 環境と貿易
3. WTOと貿易
4. グローバリゼーションと貿易
5. 持続可能な発展と貿易

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り 授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

再試験を実施しない。

教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
銀行システム論 (前期)	さいとう 藤 正 齋 藤 正	商・経A・経B2・3・4選	2

講義のねらい

「フリー、フェア、グローバルな金融市場」の実現を掲げた「日本版金融ビッグバン」及び小泉「構造改革」の下で日本の金融制度は大きく様変わりした。一方では、大手銀行の統合や合併、外資系金融機関の対日参入攻勢、異業種によるネットバンキングや決済専門銀行への参入、など、グローバル化とIT革命を背景とした激しい競争が「華々しく」繰り広げられている。他方では、バブル崩壊後の長期不況、不良債権処理の遅れのなかで、「銀行不倒神話」が崩壊し、金融システム不安も依然解消されていない。その影響は、特に地域金融機関において厳しく、地域経済は深刻な衰退状況にある。

不良債権の「最終処理」、ペイオフ解禁への対応、など、銀行を取り巻く状況はきわめて厳しいが、銀行は依然として「貨幣の供給および決済システム」を同時に担う唯一の主体であり、社会的に不可欠の存在であることには変わりはない。それゆえ、いまこそ21世紀における「持続的成長」を保証する金融システム、銀行の健全なあり方が問われなければならない。

本講義では、現代の銀行が直面している諸問題を銀行の基礎理論に関連づけながら検討し、あるべき銀行の姿を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) まず、講義へのガイダンスとして、1990年代以降、銀行が直面している諸問題を概観し、新聞紙上等でよく見聞きする基本的用語と「銀行論」との関連づけを行なう。
- (2) 講義では銀行の基礎理論の理解を中心に据える。
 - 1) 銀行経営の不振とは対照的に大手消費者金融会社や商工ローン会社（貸金業）は史上最高の収益を達成している。
銀行制度の成立以前からすでに存在していた「金貸し業者」や「高利貸し」と「銀行」の違いがどこにあるのかを考えながら、「銀行」の基本的機能および経済社会（メーカー、流通業、消費者、さらに国家など）との関連を明らかにする。
 - 2) 銀行が一方で預金を受け入れ、他方で貸出を行っていることは広く知られている。しかし、銀行は受け入れた預金をそのまま貸し出すのではなく、「信用創造」という銀行のみに認められた方法で行い、その際「預金通貨」という「マネー」を供給する。このメカニズムを明らかにするとともに、インターネットバンキングや電子マネーなど、エレクトロニクス技術の発展にもとづいた「キャッシュレス社会」の意味について考える。
 - 3) 地域金融機関の再編・淘汰が進む一方、地域経済の「疲弊」が深刻化している。経済発展に果たすべき銀行の役割について考える。

履修上の留意点

理解をさらに深めるために

- 1) 後期科目の「現代銀行事情」
 - 2) 通年科目の「金融論」、「証券市場論」、「保険論」
- を併せて履修されることが望ましい。

成績評価の方法

成績は、前期試験（またはレポート）による評価を基本とするが、出席状況、授業態度における積極性も十分に加味するので、講義に対する質問、疑問を大いに歓迎する。再試験を実施する。

教科書

教科書は特に指定しないが、最初の講義で紹介する。授業は毎回配布するレジメに沿って進める。

参考書等

齋藤正『戦後日本の中小企業金融』ミネルヴァ書房、2003年。
日本銀行『新版 わが国の金融制度』
吉田暁『決済システムと銀行・中央銀行』日本経済評論社、2001年。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代銀行事情(後期)	さいとう 藤 正	商・経A・経B2・3・4選	2

講義のねらい

「フリー、フェア、グローバルな金融市場」の実現を掲げた「日本版金融ビッグバン」及び小泉「構造改革」の下で日本の金融制度は大きく様変わりした。一方では、大手銀行の統合や合併、外資系金融機関の対日参入攻勢、異業種によるネットバンキングや決済専門銀行への参入、など、グローバル化とIT革命を背景とした激しい競争が「華々しく」繰り広げられている。他方では、バブル崩壊後の長期不況、不良債権処理の遅れのなかで、「銀行不倒神話」が崩壊し、金融システム不安も依然解消されていない。その影響は、特に地域金融機関において厳しく、地域経済は深刻な衰退状況にある。

不良債権の「最終処理」、ペイオフ解禁への対応、など、銀行を取り巻く状況はきわめて厳しいが、銀行は依然として「貨幣の供給および決済システム」を同時に担う唯一の主体であり、社会的に不可欠の存在であることには変わりはない。それゆえ、いまこそ21世紀における「持続的成長」を保証する金融システム、銀行の健全なあり方が問われなければならない。

本講義では、戦後の日本経済に果たしてきた銀行の役割を具体的に検証し、今後のあるべき銀行の姿を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は戦後の日本経済に果たした銀行の役割を時期ごとに検証する。

- (1) 「専門的金融機関制度」といわれる戦後日本の金融制度の特徴とそれぞれの専門機関(普通銀行、長期金融機関、中小企業金融専門機関、証券会社、保険会社など)の役割を理解する。
- (2) 時期区分は、おおまかに高度成長期(1974年まで)、低成長・自由化期(1985年まで)、バブル経済期(1990年まで)、グローバル期(1990年代以降)とし、欧米の動向も参考にしながらそれぞれの時期にどのような「銀行理論」が展開されていたのかを紹介する。
- (3) 現代の銀行制度が抱えている主要な問題を浮かび上がらせる契機となったのが、80年代後半以降の「バブル経済」と90年代以降の「バブル崩壊」、「グローバル化」である。戦後銀行制度の抜本的改革目指すビッグバン及び小泉「構造改革」を様々な角度から検討しながら望ましい銀行システムのあり方を考える。
- (4) 激しく変容している欧米諸国の金融制度との比較を試みる。

履修上の留意点

理解をさらに深めるために

- 1) 前期科目の「銀行システム論」
 - 2) 通年科目の「金融論」、「証券市場論」、「保険論」
- を併せて履修されることが望ましい。

成績評価の方法

成績は、後期試験による評価を基本とするが、出席状況、授業態度における積極性も十分に加味するので、講義に対する質問、疑問を大いに歓迎する。再試験を実施する。

教科書

教科書は特に指定しないが、最初の講義で紹介する。
なお、授業は毎回配布するレジメに沿って進める。

参考書等

齊藤正『戦後日本の中小企業金融』(ミネルヴァ書房) 2003年
大橋・小西・齊藤・田村・平沢著『日本のビッグインダストリー6 金融業』(大月書店) 2001年
川波・上川『現代金融論』(有斐閣ブックス) 2004年

科目名	担当者名	配当学科	単位
証券市場論	ひろたまさひと 広田真人	商・経A・経B2・3・4選	4

講義のねらい

ファイナンス理論の裏づけなくして証券制度の理解は在り得ない。そこで、講義の大部分はファイナンスの基礎理論の学習のために費やされる。最後に『金融ビックバン』の説明の際、“改革”の前提としての既存制度についても言及する。従つて、本講義のキーワードは、“資本コスト”発見の場としての証券市場の役割となる。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①「出席表—同様な事業内容を持つ日米両企業の株価等を毎週提出—」の説明
- ②株式市場の存在理由—資本コスト発見機能を中心に—
- ③資産価値の評価—NPV・IRR、債券と株式の評価—
- ④株式投資におけるリスク— σ と β —
- ⑤資本コストの計測とEVA
- ⑥デリバティブの初歩—オプションを中心に—
- ⑦株価指数とインデックス運用
- ⑧金融ビックバンの評価からみた日本の証券市場の特色

履修上の留意点

最初の授業で「出席表」の説明を行うので必ず出席すること

成績評価の方法

期末レポート（中間は未定）

教科書

特になく、授業中にプリント配布

参考書等

井手・高橋『経営財務入門』・『証券投資入門』（日本経済新聞社）2001—2003

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 險 論	ほん ま てる みつ 本 間 照 光	商・経A・経B2・3・4履	4

講義のねらい

現代社会において、保険は、わたくしたちの生活のすみずみにまで浸透しています。保険なしには、わたくしたちは生きることも死ぬこともできなくなっているし、現代社会と経済も機能しえません。また、私的保険のほかに、社会保険があり、日本の社会保障の中心を占めています。

本講義では、保険と社会保険の基礎的知識と今日的課題を学ぶとともに、保険を通じて現代社会のあり方をともに考えていきたい。講義の中で、受講生の意見を求めることがあります。

講義の内容・授業スケジュール

保険大国の生活
 保険の歴史
 私的保険・社会保険・社会保障の関係
 保険の仕組みと機能
 金融機関としての保険会社
 日米保険協議と規制緩和
 保険の監督行政
 生命保険（生命保険の商品 保険契約の当事者・関係者 他人の生命の保険 福利厚生と保険 団体生命保険問題）
 損害保険（損害保険の商品 自動車保険・自賠責保険 地震保険 原子力保険 再保険制度）
 共済（協同組合保険としての共済 消費者保護と消費者主権）
 社会保険（社会保険の歴史 健康保険 介護保険 年金制度 労災保険 雇用保険）
 社会保障の保険化政策

科 専
門 教
育 目

成績評価の方法

定期試験、レポート、小テストによる総合評価。

教科書

本間照光『保険の社会学——医療・くらし・原発・戦争』（勁草書房）3,800円

その他

履修希望者は、自分が学びたいことがらについて、400字2枚程度にまとめて提出してください（第3回目の授業時まで）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ビジネス事例研究	ひやく た よし はる 百 田 義 治	商・経A2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は、「トップ・マネジメント講座」として昨年度より新設されました。大企業、中小企業、ベンチャー・ビジネスの経営者に、それぞれの企業について、経営について、また人生について、幅広く語ってもらいます。また、個人で活躍する自立した職業人やNPO・非営利組織で活躍されている人達も講師として迎え、その経験や自立に必要なことなどを語ってもらいます。駒大出身の人達もできるだけ多く迎えます。そうした人達の話から、社会人として成長するために必要な貴重なアドバイスや体験や経営知識を学び取ることができるでしょう。また、いろいろな科目の学習に有益な事例が提供されます。ビジネスの世界で活躍する人達の実践的講義から「生きた知識」を学ぶことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

隔週ごとに講師を迎えて体験的講義を受けます。金融、流通、商社、メーカー、外食、ベンチャー、建設などさまざまな産業の経営者や、職業会計人（公認会計士）、経済ジャーナリスト、アナウンサーなど自立した職業人を予定しています。講師の詳細は日程などが決定次第以下のホームページでお知らせします。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~hyakuta/>

履修上の留意点

講師の企業や職業について隔週ごとに予備的講義は行いますが、学生諸君もインターネットや新聞・雑誌など活用し、積極的に予備知識を獲得して参加してください。

成績評価の方法

各講師の話についてレポートを提出してもらいます。それらのレポート評価と学年末の授業全体に関するレポートで総合的に評価します。

教科書

必要に応じてレジメやパンフレットなどを配布します。

参考書等

随時、紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ビジネス英会話Ⅰ(前期)	し み づ きの よ 清 水 絹 代	商・経A2・3・4選	2
ビジネス英会話Ⅱ(後期)			

講義のねらい

本講義では、ビジネスの現場で現在持っている英語運用能力を最大限発揮できるようになることを目標とします。目標を達成するために、履修者が発話している様子をビデオ・カメラで撮影し、それを見て分析する時間を作ります。同時に、シミュレーション・ゲームやスピーチ・コンテストを行ないます。

講義の内容・
授業スケジュール

講義1回目……………イントロダクション
 講義2回目……………個人目標の設定
 講義3～5回目……………ビジネス会話練習&スピーチ・コンテスト
 講義6回目……………シミュレーション・ゲーム
 講義7～9回目……………ビジネス会話練習&スピーチ・コンテスト
 講義10回目……………シミュレーション・ゲーム
 講義11～13回目……………ビジネス会話練習&スピーチ・コンテスト
 (前期、後期共同様のスケジュールで行ないます)

履修上の留意点

上記講義内容にあわせて、様々な課題が出されます。最終回のスピーチ・コンテストでは、全員、スーツで参加します。遅刻厳禁。携帯電話、PHSの電源は切ること(マナーモードは禁止)。履修希望者は初回講義に必ず出席して下さい。

成績評価の方法

出席、参加態度、課題レポート等の提出物、スピーチ・コンテストの内容などを総合的に評価します。欠席は各学期、原則2回まで。体調その他特別な理由で2回以上欠席する可能性がある人は初回講義で必ず申し出て下さい。

教 科 書

初回講義で案内します。

参 考 書 等

初回講義で案内します。

そ の 他

他者との関わりから学ぶことを重視しています。そのため、他の履修者と話したり、互いに評価する時間を作ります。

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
ビジネスインターンシップ	小栗 崇資・堀 龍二	商3選 (15入学生のみ)	4

講義のねらい

「ビジネスインターンシップ」は皆さんに企業や団体での現場研修を受けてもらい、そうした就業体験を通じて、活きた経済・経営の動向を理解し、より高度な専門学習への意欲を高めることをねらいとしたユニークな科目です。受講生の自覚と責任がきびしく要求されますが、そうしたハードルを越えることで貴重な体験学習をすることができます。研修先は、中小企業が中心ですが、そのほかにも商店、生協、NGO・NPO、自治体、農家など多様な体験のできる場を予定しています。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 前期では 教室での授業を通じて、インターンシップのための素養や基礎知識を修得し、最低限必要とされる準備トレーニングを行います。次のような点を目標にしています。
 - ・インターンシップの目標とプログラムについての理解
 - ・仕事のルールとビジネスマナーの修得
 - ・自己分析トレーニングと各自の目標・計画の設定
 - ・インターンシップ先についての研究
 - ・インターンシップ先の確定と研修計画の相談
- (2) 実際の研修は夏休み期間に実施されます。8月末ないしは9月初めに約2週間の研修を行います。
- (3) 後期は、研修についてのレポート作成を行います。またレポートにもとづく発表会も予定しています。

履修上の留意点

- 次の点を必ず確認して履修してください。
- (1) 無責任な受講はやめましょう。インターンシップは多くの企業・団体のご協力によって行われます。無責任な受講は、研修先に多大なご迷惑をかけることとなりますので、注意してください。
 - (2) 前期授業に必ず出席すること。欠席が続いたり教員の指示に従わない場合は、受講を認めないことがありますし、インターンシップを中止することがあります。その場合は単位となりませんので、了解してください。
 - (3) 研修の際の経費（交通費や被服費等）は受講生の自己負担となりますので、了解しておいてください。あくまで研修ですので、勤務報酬も出ません。

成績評価の方法

基本的には研修後のレポートによって成績評価しますが、研修先の評価や受講態度・出席点なども参考にして判断します。

教科書

特になし。前期授業では随時プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	あまの かつみ 浅野 克巳	経A・商2選	4

講義のねらい

- ゼミの目標は3つ
- ・はじめに経済学を基礎理論からしっかり勉強しよう
 - ・新聞の事例などを参考に理論を現実の経済に応用してみよう
 - ・練習問題を通して経済学をしっかりマスターしよう

講義の内容・授業スケジュール

1. マクロ経済学を基礎から学ぶ
2. ミクロ経済学を基礎から学ぶ
3. 経済学の理論を通して新聞や経済白書を読み経済学的に考える練習をする
4. インターネットで経済学を学ぼう
5. エクセルで需要曲線や供給曲線を描いてみよう
6. 国家試験などの過去問を実際に解いてみよう

履修上の留意点

演習は講義と違い学生諸君の参加によってはじめて成り立つ。授業には必ず出席することはもとより、授業はディスカッション形式で行うので、必ず予習しておくことが大事。また、エクセルを使った経済分析やシミュレーションも行うので「情報センター」を利用して活用できるようにしておくこと。

成績評価の方法

なにより授業にまじめに出席することが前提だ

教科書

経済学の入門書を授業の際に指示する

参考書等

必要に応じて参考書その他の資料については授業の中で指示する。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	あべ ひろし 阿部 弘	経A・商2選	4

講義のねらい

経済学の基本としての経済生活と文化との関係を探っていく。

講義の内容・授業スケジュール

- * 文化経済学について演習を行う。
- * ゼミ参加者のゼミ論を作成・報告をする。
- * 11月末から12月にかけてゼミ論発表会をおこなう。
- * 2月上旬にゼミ論集の作成を行う。
- * 春と夏の2回の合宿を行う。

履修上の留意点

ゼミナールであるから、出席・報告などは当然である。

成績評価の方法

出席・報告などを総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	あら き よし ひろ 荒 木 勝 啓	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

経済変動や数理ファイナンスなどのモデルをコンピュータ上でシミュレートするというテーマに向けて様々なコンピュータ技法をマスターしていく。

講義の内容・授業スケジュール

モデルをマルチメディア・プレゼンテーション可能にするため、全員に最低 DTP (デスクトップアプリケーション) の方法を習得させる。すなわち (1) 編集方法 (Page Maker、Quark Express) (2) グラフィックス (Illustrator) (3) レタッチ・修正 (Photoshop) を習得させる。ゼミ生は課題として、2 年次後期から DTP 検定 2 種試験にチャレンジする。時間があれば LATEX による組版の初歩も行う。演習 II からは Extd を使いシミュレーションモデル構築を行なう。

成績評価の方法

検定試験への挑戦と出席点。

教 科 書

指定なし。ただし必要な場合指示する。

そ の 他

Macintosh 教場を使う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	あり い ゆき お 有 井 行 夫	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

現代社会は、企業中心社会です。受験競争や消費競争、夫 or 妻の争奪競争からマイホーム獲得競争にいたるまで、競争社会の中心に実は企業への就職競争が位置しています。企業の内部もサラリーマンの出世競争・生き残り競争です。そして、最後に生き残って経営者に成り上がったサラリーマンにしても、企業自身の業績責任に不断に脅迫されて過労死寸前です。企業自身が、好況のときも不況のときも生き残り競争のただ中にあるのです。企業は、利潤のための利潤、生産のための生産をどこまでも続けていかなければなりません。日本型企业社会に構造変革を迫っている今日のグローバリゼーションも、この傾向をさらに強めるものにほかなりません。サラリーマンからも、経営者からも、株主からも独立して、自己拡大の衝動に駆りたてられて走り続ける企業。国民の豊かさに無縁の「利潤のための利潤」。地球環境や資源の制約にも無関心の「生産のための生産」。——これが現代社会の最大の謎であり、21世紀前半に解決しなければならない現代社会最大の課題のありかです。

講義の内容・授業スケジュール

前期 有井のプリント、新聞の読み方、川人博『過労死社会と日本』
夏合宿 野村正実『雇用不安』
後期 有井のプリント、新聞の読み方 (ファイルの作成)、奥村宏『法人資本主義』

履修上の留意点

最大のテキストは現代社会そのものです。新聞を読みこなす力を養います。併せて日本語を読む力、書く力、話す力を鍛えます。

成績評価の方法

ゼミへの積極的参加50%、各種レポートの評価50%

教 科 書

川人博『過労死社会と日本』(岩波新書)、野村正実『雇用不安』(岩波新書)。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	飯 田 泰 之 <small>いい だ やす ゆき</small>	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

演習のテーマは「日本経済への実証的アプローチ」である。近年、経済問題にとどまらずビジネス・社会・政治分野においても経済学的な思考は必須の教養になっている。そして、自身の意見を発表し、説得する（つまりは「自分がわかっている」ことを人に伝え、他の人を「納得させる」）際には十分な実証的根拠を示し、聞き手を考慮した発表を行うことが必要とされる。本演習は「経済理論の理解」「統計を用いた証拠づけ」「プレゼンテーション能力」の3つを柱に、「使える経済学」を身につけることを目標としたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- ・経済学以外の本を使ってのレジュメ作成・発表演習
- ・Word,Excel の基本操作に関する講義
- ・経済の基本書を使ってそれまでのゼミの内容を生かした発表

夏期合宿

- ・ディベート大会

後期

- ・ネットを利用した情報収集の講習と統計の基礎知識
- ・金融政策・産業政策・産業組織・金融工学のいずれかの本を輪読

履修上の留意点

「経済原論Ⅱミクロ経済学・マクロ経済学」「経済政策」等関連科目をあわせて履修することが望ましい。また、連絡のため駒澤大学総合情報センターのアカウントを取得しておくこと。

成績評価の方法

出席を中心に、発表内容・発言・ゼミへの貢献から判断する。

教科書

教科書は開講時に協議する。

参考書等

テキストのみにこだわらずゼミ生の興味に沿った論文を取り上げていく。

その他

経済学やパソコンの利用など基本知識のレベルには受講生ごとにばらつきがあると思うが、皆の希望を聞いた上で補充したいと思う。

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	石川純治 <small>いしかわじゅんじ</small>	経A・商2選	4

講義のねらい

企業会計の制度と理論を学習します。「制度」の基礎にある土台としての「理論」、この両者の関係において学習することが基礎にある視点です。また、社会経済における「生きた会計」を学習するために、「時事会計」を重視します。会計の基礎にある社会経済問題への関心が大切で、それとの関連で会計を学習します。会計をととして世の中の問題に発言できる洞察力が得られればと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

会計を本当に理解するには、まずもってその基礎にある社会経済に関する学習が大切です、したがって、会計学の学習に先立ち、社会経済に関する学習を行ないます。その後、会計学の基礎を学習します。

履修上の留意点

特にありませんが、将来、国家試験（税理士・会計士など）にも挑戦してみようとする意欲ある学生、また世の中の社会経済問題に関心をもっている真摯な学生を歓迎します。

成績評価の方法

出席・合宿・レポートなどゼミ活動の総合評価。

教科書

経済・法律の基本テキストなど、その都度指示します。

参考書等

『常識「日本の論点」』（文藝春秋）など、必要に応じて指示します。

その他

国家試験に挑戦する意欲ある学生、世の中の社会経済問題に関心をもっている真摯な学生が歓迎されます。私のプロフィールについては、駒澤大学のHPのトップページ「教員の紹介」から見るができますので参考にしてください。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	石川祐二 <small>いしかわゆうじ</small>	経A・商2選	4

講義のねらい

企業においては、会計情報が様々な目的を持って利用されている。その情報を生み出すための仕組みは、どのような構造をもっているのだろうか。その構造を探り、それが社会の多様な関係の中で果たす役割を研究する。そのことによって、社会現象を分析する視点の獲得を目指す。

特に、演習Iでは、そのような分析視点を確立するために、基本的なスキルと知識を身につけることが目標となる。

講義の内容・授業スケジュール

演習Iでは、会計に関する基礎知識を身につけることを目的としている。特に、会計に関わる現象を捉える上で不可欠な、基礎的な用語・概念を中心に扱う。基本的には、テキストを中心に、報告とディスカッションを行いたい。また、計算方法などの技術的な側面の学習に関してもフォローしていく。

履修上の留意点

積極的に参加すること。また、ゼミ生が相互に協力しあい、楽しいゼミ運営を行ってもらいたい。また、4年次には「卒業研究」を開設する予定である。

成績評価の方法

特に出席を重視するが、報告内容等も含め、総合的に評価する。

教科書

初回の演習時に指示する。

参考書等

必要に応じて紹介する。

その他

合宿その他のイベント等については、話し合いで決定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	いわ した ひろし 岩 下 弘	経A・商2選	4

講義のねらい

3年間のゼミのテーマは流通・流通政策の国際比較である。2年次には日本における流通問題を研究対象にし、3年次では国内の流通政策、4年次では流通政策の国際比較を対象とする。

日本における流通問題としては、大きな問題としてコンビニの光と影、小売商店数の減少、大手小売企業の資本蓄積構造、商店街の空洞化、中心市街地の活性化、海外大手小売企業の日本市場参入、などがある。

たとえば、「ヤオハン」は何故海外に進出し、倒産したのか。「そごう」は何故巨艦主義をとり、その結果何故倒産したのか。「ダイエー」は何故経営の危機に直面しているのか。コンビニは繁栄しているとはどういう意味なのか。商店街がシャッター通りになっているのは何故か。

このように、われわれの生活の周囲で流通をめぐるいろいろな問題が発生している。2年次では、まずこのような現象の事実を知り、その原因を調べる。

小売業の持つ市民生活にとっての意味を探る。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの輪読あるいは報告。

履修上の留意点

ゼミは参加することに意味がある、ということを忘れないこと。

成績評価の方法

ゼミ、合宿、コンパ等への出席およびレポートの提出回数により評価。

教科書

必要に応じて指定。

参考書等

その都度指示。

その他

卒業研究 有

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	いわ なみ ふみ たか 岩 波 文 孝	経A・商2選	4

講義のねらい

企業をめぐるビジネス環境は複雑・多様化するとともに、不祥事の続出や経営不振など経営システムの改革が企業に求められています。演習では、コーポレート・ガバナンスと経営システムを中核として、企業経営の仕組みを理解していくとともに、企業経営に関する興味・関心を深め、企業の社会的責任（CSR）を踏まえた公正・効率的な経営システムの構築にむけた課題について考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

経営学の基礎的な文献を用いて輪読形式により報告担当者・グループによるレジュメ報告を中心に討論を行います。夏期・春期合宿では、現代の企業経営が抱える諸問題について、討議していきます。

履修上の留意点

ゼミナールは受講生の主体的な学びの姿勢にもとづいて運営されます。専門の学習に向けて自らの課題を発見することや積極的な学習スタイルが求められます。受講の際には企業経営に関する興味・関心を持ちゼミナールに参加してもらいたい。

成績評価の方法

ゼミへの出席、発表内容、積極的な討議への参加などの平常点による総合評価を行います。

教科書

開講時に指定します。

参考書等

開講時に指定します。

その他

演習 III 履修時には「卒業研究」（4単位）を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	おおいしゆうじ 大石雄爾	経A・商2選	4

講義のねらい

10年以上続いた不況にも光が射してきた。深く長い不況の理解には、バブル経済の発生とその崩壊のナゾを解くことが不可欠だ。このゼミでは、そのようなナゾを追いながら、日本経済の特質と今後のあり方について考えてゆく。なお、経済理論の基礎的な知識を学ぶための時間も適宜もつことにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

演習 I では、森岡孝二著『日本経済の選択』をテキストとして用い、バブル経済の発生およびその崩壊の理由について学び、日本経済がかかえる主要な問題を検討する。また、地球環境保護、高齢化社会のあり方、日本の ODA 援助など、今日の重要問題についても学習する。

履修上の留意点

少人数で共通問題について学習するので、全員そろっていることが授業の前提となる。参加者はその点を自覚し、欠席や遅刻をしないよう心がけてほしい。

成績評価の方法

平常のゼミへの参加、合宿・コンパ等への出席およびレポートの点数により評価する。

教科書

森岡孝二『日本経済の選択』（桜井書店）2,400円＋税

参考書等

大西広他『政治経済学』（大月書店）

その他

- ①「卒業研究」を併設する。
- ②コース制との関連：いずれのコースを履修してもよい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	おおぐきかつお 大吹勝男	経A・商2選	4

講義のねらい

現代企業の物流管理、マーケティング戦略における物流、ロジスティクス・マネジメント、そしてサプライチェーン・マネジメントと物流、等々うんざりするほどカタカナの用語が出てきましたが、諸君は、どれだけ知っていますか？

ゼミの仲間と一緒に勉強し、考えていきましょう。そして卒業時には、単なる知識の習得だけでなく、それを生かすことのできる科学的な思考能力を身につけた人間になっていることを期待します。また、つぎの詩に共感できる学生を歓迎します。

私が両手を広げても／お空はちっとも飛べないが／飛べる小鳥は私のやうに／地面を速く走れない。

私がかつらだをゆすっても／きれいな音はでないけど／あの鳴る鈴は私のやうに／たくさんな唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、／みんなちがって、みんないい。

(金子みすゞ作)

成績評価の方法

平常点によるが、ときには感想文の提出がある。あとは諸君の勉強次第です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	小栗 崇 資	経A・商2選	4

講義のねらい

日本の企業会計制度は今、大きな転換期にさしかかっている。グローバル化の影響による会計制度の大改革は会計ビッグバンと呼ばれるが、計算構造の面でもディスクロージャーの面でもこれまでの財務会計の枠組みや原理・方法は大きく変容しつつある。会計の学習者にとっては、従来のような勉強だけでは変化についていくことができないので大変やっかいであるが、発想を変えれば、現代経済のなかでの会計の役割や仕組みを研究するチャンスである。演習では「日本の会計制度と会計ビッグバン」をテーマに学習を進めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

演習Iでは、まず企業会計の基礎を理解することに重点を置き、企業会計の従来の考え方や新しい考え方を比較しながら、現代の財務会計の原理や方法を学習する予定である。財務会計の理論を中心にディスカッションを重視してすすめるが、一方で、会計は基礎からの技術的積み上げが重要なので、簿記・会計の初心者にはまず、日商簿記検定2級、3級を取得できるように指導したい。

履修上の留意点

演習では討論を重視しているので、積極的に参加すること。夏季合宿やコンパ、企業見学などもゼミの大切なイベントとして取り組みたいので、企画力のある意欲的な学生の参加を希望したい。なお、「卒業研究」も開講する予定である。

成績評価の方法

総合的に判断する。①出席状況、②分担報告、③レポート。

教科書

演習の中で指示。

参考書等

演習の中で指示。

科専
門教
育

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	小杉 修 二	経A・商2選	4

講義のねらい

本ゼミは地球温暖化問題とその解決策を考える。
1万年前に農業が発明されて、文明が始まったと言われる。この間、地球の気候は15℃プラス・マイナス1℃の間という、極めて安定した状態の間にあった。森林伐採や化石燃料の使用によって、21世紀末までに最大5.8℃の昇温がおけると予測されているが、これは文明の崩壊の可能性をはらんでいると言える。さまざまな異常気象、熱帯の伝染病や害虫の北上、巨大台風、海面上昇、国土の浸食、農業の崩壊等その影響するところは非常に大きい。これらがその他の様々な環境問題と合わせて我々を襲うだろう。
我々の文化や経済学というのは豊かさが切望された貧しい時代にできたものである。そして、経済成長はたしかに我々の生活を豊かで便利なものにした。
しかし、どんな経済活動も自然の生命維持システムという土台を離れては存立が不可能であることが今明らかになりつつある。こうした課題の前では、今までの常識、文明、経済学も全面的見直しが必要になるだろう。
この先40~50年は生きるであろう諸君にとってこれらをどうするかは避けて通れない深刻な問題であろう。

成績評価の方法

出席率70%以上を中心にする。

その他

ビデオを使った授業で理解を深める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	こ ばやし まさと 小 林 正 人	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

テーマは「IT 経済の歴史と現状」。
IT バブルがはじけたあとも、ブロードバンドの普及や携帯電話の進化など、IT (情報技術) による経済革新は確実に進行しつつあり、IT を活用したビジネスや電子商取引が新しい展開を示している。これらの最新動向について、アメリカとの比較もまじえながら調査、研究する。あわせて日本経済の今後の発展について考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、インターネットによる情報検索や、各ゼミ生のホームページの開設に取り組み、インターネットのしくみを知る。ワープロによるレポート作成の技法も修得する。
後期は、IT 経済の歴史と現状について文献をもとに研究する。研究成果のプレゼンテーションや、グループ討論にも取り組み、学生の自発的な発言や発表、調査をうながす。
下記のサイトの「ゼミのひろば」にこれまでのゼミ活動の概要を載せている。<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>

履修上の留意点

駒澤大学の学内情報ネットワーク (KOMAnet) を使うためのユーザー ID とパスワードをいつでも使えるようにしておく。
ゼミの円滑な運営のためのルールを定める。

成績評価の方法

ふだんの発表やレポート、出席状況による総合評価。

教科書

授業の進行を見ながら授業中に決める。

参考書等

適時紹介する。

その他

「卒業研究」(卒業論文のみ) を演習Ⅲで併設。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	さいとう ただし 齊 藤 正	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

「金融大改革と銀行業」をテーマとし、金融の仕組みがどのように変化しているのか、それともなっていて銀行業務がどのように変化しているのかを学びます。

講義の内容・授業スケジュール

IT (情報通信技術) の発展が金融業務を大きく変え、ヘッジファンド、デリバティブなどの聞き慣れない用語を新聞紙上で目にすることが多くなりました。いまや金融業務は「資金の貸借」という意味だけではとらえきれない一大変革の時代にあり、銀行業務も大手銀行を中心に、「預貸業務」中心の伝統的銀行業務からデリバティブや M&A (合併) の仲介へと大きく変貌を遂げています。
演習Ⅰでは、金融業務の大変革をもたらしている「グローバル競争」のあり方を眺めながら、「預貸業務」中心の伝統的銀行業務が現代経済において、どのような意味で重要であるのかを考えます。

履修上の留意点

ゼミナールは少人数であり、討論を通じて具体的な問題についての理解を深めたり、議論の仕方を学ぶところに意義がありますので、積極的な諸君の参加を求めます。

成績評価の方法

年間を通した、ゼミナールへの参加の積極性を重視して評価します。

教科書

川波洋一・上川孝夫編『現代金融論』有斐閣ブックス

参考書等

日本銀行「わが国の金融制度」
日本経済新聞社「経済新語辞典」(毎年、新版が発行されています)

その他

「卒業研究」を併設します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	し ぬず たかし 清 水 卓	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

当ゼミは、ヨーロッパ経済を中心としたゼミです。とはいっても、ヨーロッパは大きくて懐の深い社会ですから、ゼミ参加者の問題関心も毎年実に様々で、欧州憲法、中東欧諸国の加盟、欧州連合（EU）の統一通貨ユーロ、北欧諸国の福祉社会など興味の対象はつきません。ですから、3年間をかけて、現代の経済社会を見る目を、基礎から徐々にレベルアップしていけるように運営しています。卒業時点で自分の得意分野でしっかり自己表現できるようになることを目指します。

担当教員は、様々な最新情報や、資料の所在、文献の紹介などを行います。ゼミの中心は参加者学生との自由な話し合いです。参加者の色々な個性が触れ合って、学びの楽しさを実感できる場になりたいと思います。

今後数年で EU に参加してくる中・東欧諸国、構成メンバー国数の増加に対応しての EU 自体の機構改革、EU 憲法制定への動きなど、現在のヨーロッパの様々な動きの意味について考えていきましょう。

講義の内容・授業スケジュール

演習 I では、ディベートと EU に関する基礎知識修得を課題とします。見学(昨年は裁判所、TBS、製鉄所)などの行事をしたり、春と夏には、楽しい合宿をやりま

履修上の留意点

「よく学びよく遊べ」をモットーにしたいと思っています。何事につけ前向きに取り組もうとする姿勢がほしいですね。

それと、昨年から、基礎的学力を充実させるため、ゼミ生には漢字検定の資格、英検、TO-FLE、TOEIC の資格に挑戦するように呼びかけています。

成績評価の方法

平常授業や合宿への参加や、研究発表への取組を評価して成績を決めます。

参 考 書 等

授業で紹介する。

そ の 他

「卒業研究」併設。

科 専
門 教
育 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	しろ た しゅん 代 田 純	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

このゼミ(代田ゼミ)では、金融をゼミのテーマにします。金融は不良債権問題に示されるように、今や経済の最重要領域である、と言っても過言ではありません。ゼミでは、この金融について、基礎から現状まで学びます。

講義の内容・授業スケジュール

まず2回生では、基礎をしっかり学ぶことが大事です。このために、4～7月ではマクロ経済と金融の関連がわかるような、新書程度を取り上げて勉強しましょう。9～12月に、すこし基礎から現状へとレベルアップしましょう。

夏合宿は9月中旬を予定しています。

履修上の留意点

資格取得についての指導をします。証券アナリスト、証券外務員、税理士を主たる狙いとしています。

成績評価の方法

まず出席が重視され、ゼミでの発表や発言などから平常点で評価する。

教 科 書

ゼミ生と話し合って決めるが、昨年は『ベーシック 金融入門』(日経文庫)。

そ の 他

後期から財務諸表論の学習に進む。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	すずき のぶ え 鈴 木 伸 枝	経A・商2選	4

講義のねらい

公共経済学のゼミです。講義よりも専門的なことを学ぶとともに、自ら問題を発見する能力を身につけることを目標とします。年金・医療・介護保険・環境・失業の諸トピックについて「どういう問題があって、何を為すべきか」を自分なりの意見をもてるようにしましょう。

講義の内容・授業スケジュール

二年生のうちは、公共経済学の理論の基礎となるミクロ経済学もしくはゲーム理論のテキストの輪読を中心にします。毎回、輪読の報告担当者にはレジュメを用意してもらいます。また、学年末には自分でトピックを選んでレポートを提出してもらいます。コンピュータを使った文書作成やインターネットでの情報検索についても指導します。

履修上の留意点

ゼミは勉強の場だけでなく、人前で自分の意見を言えるよう訓練したり、同じゼミの仲間と協力して何かを達成することを通じて人間的に成長する場でもあります。引っ込み思案にならず、常に積極的な態度で参加してください。

成績評価の方法

出席状況・予習状況・討論への参加度・レポートにより評価します。

教科書

受講者と相談して決定します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	せとおか ひろし 瀬戸岡 紘	経A・商2選	4

講義のねらい

「グローバル化」と「デジタル化」の時代に即応した経済、社会、経営などにかんする学習と研究の基礎的能力をやしなうとともに、そうして習得したものを話す力、書く力を高めることによって、実際にうまく表現できるようにすること。何を学習・研究の対象としてとりあげるかは、受講者の希望によります。かなり幅広くとめてるのが当ゼミの特徴です。「グローバル化」に対応するたてまえから、留学生を積極的に受け入れ、現在アメリカ人、中国人、モンゴル人、オーストラリア人などをふくめて多彩な顔ぶれでゼミをやっています。「デジタル化」に対応するたてまえから、パソコンを全員がゼミ開講後半年以内にひととおり使いこなせるように徹底的に講習します。

講義の内容・授業スケジュール

「基礎はしっかり、研究は自由に」のスローガンのもと、活気あるゼミ活動をしています。秘訣は、アメリカの大学（なかでも名門シカゴ大学）の演習の方式を採用しているからです。受講者の学習に有益な材料をふんだんに提供し、ゼミ生はそれらを活用し、相互に実践をとおして体得します。前半期は、スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートのしかた、レジュメ、小論、論文の書きかた、本のさがしかた、読みかた、資料のあつかいかたの習得が主になります。後半期は、グローバル化時代の特質と諸問題にかんする書物の輪読と討論が中心になります。ゼミで身につけた能力を上級のゼミ生とともに活用してみる場としてサブゼミ活動が、また、他大学の学生との交流をとおして学ぶ場として日本学生経済ゼミナールへの参加が、さらに、海外（とりわけアメリカ）の学生との交流と討論をとおして楽しく学ぶ場としてインターネットによる交流と遠隔授業がおこなわれます。そのほか、工場見学など多彩なイベントが用意されています。

成績評価の方法

ゼミ活動にたいする各自のあらゆる態度を総合して評価します。最大の眼目は当人のやる気です。

教科書

随時、有益な文献を紹介します。

その他

このゼミは、2003年には『世界週報』で全国で紹介され、1994年にはCNNテレビで世界120カ国で紹介されました。海外の大学への留学、日本の代表的な大学院への進学、第一志望の企業への就職の実現にむけ、早い段階から対応し、これまでに多くの実績をつんでいます。このゼミにかんする一層くわしい情報は、ゼミに直接きて見学したり問い合わせたりすることのほか、ゼミ生作成による下記のホームページにアクセスしてください。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~setooka/>

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	ちよん 鄭 ちやん 章 よん 淵	経A・商2選	4

講義のねらい

研究テーマは「現代東アジア経済研究」です。目的は、ゼミ生諸君に第二次世界大戦後の東アジア経済の発展過程について理解を深めてもらうことです。

ここでいう東アジアとは、東北アジアと東南アジアを合わせた地域を想定していますが、同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭に、アジアNIEs（新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール）、ASEAN 3（タイ、マレーシア、インドネシア）、中国、その他と続く発展の様は、しばしば「雁行型発展」と称されてきました。

ところが1997年に発生した「アジア通貨危機」を機に東アジア経済は混迷に陥り、専門家の間では先の「雁行形態」に乱れが生じているという指摘も出ています。今日の事態は、従来の研究スタイルに見られたように東アジア経済をただ「発展」の側面からのみ捉えるのではなく、「発展」と「危機」の両側面を視野に入れたアプローチが必須であることを示しているのではないのでしょうか。

日本の経済的パートナーとして今後ますます東アジア諸国の重要性が増していく現状において、特に若い世代である皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言えます。

講義の内容・授業スケジュール

東アジア経済に関する基礎知識を身につけるため、次の文献を輪読してもらいます。具体的には、予め報告分担を決め、報告者は各自が作成したレジュメに基づいて報告してもらいます。

大野健一・桜井宏二 著『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円＋税

また、夏期休暇にゼミ合宿を予定しています。そこでは別の文献を取り上げて講読し、ビデオ鑑賞なども予定しています。

成績評価の方法

出席率、レポート回数、合宿への参加状況などを加味して総合的に判定します。

その他

4年次に「卒業研究」を併設します。

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	とくながとしあき 徳 永 俊 明	経A・商2選	4

講義のねらい

アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国（発展途上諸国：第3世界）の国際関係とそこでの人々の生活の問題を研究します。第3世界の社会・経済や人々の暮らしを研究しながら、日本・日本人・私たち一人ひとりの人生・生活を考えます。国際政治・経済の中で人間と人間の関係、とくに第3世界の人々が直面しているさまざまな豊かさと貧困、そして彼らのたたかひについての検討を通じて、日本・日本人・私たち自身の豊かさと貧困を考えるのです。

春・夏2回の全学年そろってのゼミ合宿のテーマは「人生」です。幸福とは？ 自由とは？ 愛するとは？ 一人ひとりの意見がみんなからまじめに受けとられ、一人ひとりがみんなの意見を参考にして考えを深めます。

ゼミ最大のイベントは、これも全学年そろっての東南アジアへの研修旅行（自由参加）。これまでフィリピン・ベトナム・インドなど11か国へ行きました。いわゆる「観光旅行」ではなく、人々と交流し、人々の生活とその向上への努力や文化などを見聞することで、アジアの人々を知り、私たち自身の生活と考え方を再検討します。この旅で、私たちの頭のなかの〈世界〉は一挙に広がり、深くなります。

第3世界の人々と自分の現実のなかに〈夢〉を求め、見つけましょう。

講義の内容・授業スケジュール

上の趣旨に沿って、学生諸君と相談しながらすすめます。

履修上の留意点

何よりも〈考える〉努力が大切です。〈考える〉努力を惜しまない諸君を求めます。

成績評価の方法

〈考える〉努力をしたかどうかをもって評価します。

参考書等

討論のための資料・〈考える〉ための材料は、学生諸君と相談しながら用意してすすめます。

そ の 他

〈考える〉努力の成果を「卒業研究」としてまとめます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	とも まつ よし ひこ 友 松 憲 彦	経A・商2選	4

講義のねらい

経済史の基礎を学びます。現在、日本や世界にはさまざまな「経済問題」がありますが、これらはすべて過去の遺産を背負っており、歴史をもっています。経済史は「経済問題」の歴史を研究する学問ですが、それは必ずしも過去だけに興味を向けるということではありません。過去の経済を学ぶことは、現在の経済についての理解を深め、問題点を明らかにし、経済の今後の発展方向を考えることにつながります。経済学の基礎知識を習得しながら、経済史という学問の課題と方法を理解します。

講義の内容・授業スケジュール

まず、近代社会の経済システムがどのように誕生し発展してきたのか、経済史の基礎を学びます。それを前提にして、「流通の歴史」をテーマに研究を進めます。

わたしたちの生活はさまざまな財やサービスを生産し、それを消費することによって成り立っています。この生産と消費を結びつける行為が流通（商品の購入と販売）であり、商業がそれを担っています。歴史的にみると小売業はマーケットやフェア、行商人から店舗に移行し、近代にはデパート、チェーン・ストア、コンビニなどのさまざまな業態を生みだしました。近代の経済発展と関連させながら「流通の歴史」を研究します。

また、ゼミでは大学や社会で必ず必要とされる技術である資料や文献の探し方、本や資料の読み方、レジュメやレポートの書き方、発表や討論の仕方などを習得します。

履修上の留意点

「経済史」「西洋経済史」「日本経済史」「商業史」等をあわせて履修することが望ましい。

成績評価の方法

(1) 年度末のレポート、(2) 平常点（レジュメ、報告、討論の状態）(3) 出席状態、などを総合して評価します。

教科書

最初の授業で指示します。

参考書等

演習を通じて紹介します。

その他

卒業研究を併設します。

科 専 門 教 育
目 録

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	なかすみみつあき 中 濟 光 昭	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

経済を情報の観点から研究していきます。具体的なテーマとしては、インターネットマーケティング、ネットワークを活用した流通システム、サプライチェーンマネジメント、デジタル情報の著作権問題、電子決済があります。コンピュータに興味のある学生は、システム設計実習やホームページデザイン実習などをテーマとしています。このゼミでは、パソコンを活用した情報リテラシー向上のための演習を行います。また、課外活動も重視しています。合宿、学外の研究発表、展示会見学、インターンシップ参加など、様々な活動を通じて、社会人として必要なことを学びます。この演習の成果は、情報産業を始めとする様々な業種への就職に結びつきます。

講義の内容・授業スケジュール

担当者のシステムエンジニア時代の経験を活かした指導を行います。

- ・テーマの決め方、資料の探し方、レポートの書き方（アウトライン、レジュメ作成）
- ・レポーティング実習、発表の仕方
- ・各自設定したテーマについてレジュメ作成、発表

履修上の留意点

- ・合宿、課外イベント、サブゼミは、原則として出席していただきます。資格取得の自主ゼミも皆さんの希望によって実施しています。積極的なゼミ活動を期待しています。
- ・メールを読む、ワープロを打つといったことがゼミ活動上必須です。今、ワープロが出来なくても、身につけたいという意欲のある人は歓迎します。

成績評価の方法

出席と課題提出、夏季合宿、学年末に行う発表とレポート、ゼミ運営上の雑務、イベントへの参加、資格取得を総合評価します。

教科書

別途指示

参考書等

別途指示

その他

ゼミはパソコン教場を使用しますので、本ゼミを受講したい人は、総合情報センターへ利用登録を行う必要があります。演習 III では、卒業研究（論文及び作品）を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	ひやく た よし はる 百 田 義 治	経A・商2選	4

講義のねらい

現代日本の企業が直面するビジネス・マネジメント（経営管理）に関わるテーマを中心に、グローバル化・情報化（IT革命）の進展など経営環境が激変するなかで21世紀を迎え大きく変貌する日本企業とその経営の実態をリアルに学び、将来を展望します。

講義の内容・
授業スケジュール

次のようなテーマに取り組みます。

- (1) メガ・コンペティション、グローバル・スタンダードが叫ばれるなかで、日本企業の経営行動はどのように変化しているのか？
- (2) 企業不祥事がなぜ多発するのか？ その防止（コーポレート・ガバナンス）には何が必要なのか？株価至上主義経営の破綻は何を意味するのか？また、社会的責任投資とは何か？
- (3) いま、なぜ、能力主義・成果主義なのか？ 終身雇用・年功制はなぜ修正されなければならないのか？ 日本的経営の何を残し、何を変更すべきか？
- (4) なぜ、企業は海外進出するのか？ 経営が国際化するなかで異文化との共生には何が必要なのか？
- (5) 企業は環境問題にどのように取り組んでいるのか？
- (6) 21世紀のビジネス・モデルの特徴は何か？ネットワーク経営とは何か？ などなど

履修上の留意点

経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。

成績評価の方法

出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。

教科書

未定

参考書等

未定

その他

「卒業研究」（4単位）を併設します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	ふくはら よしのが 福原好喜	経A・商2選	4

講義の内容・
授業スケジュール

〔社会科学方法論研究〕 このゼミナールは経済学の基本となる社会科学方法論に関する基礎的な文献を読むことにしている。昨年は大塚久雄『社会科学の方法』、マックス・ウェーバー『社会科学方法論』、『職業としての学問』、カール・マルクス『経済学の方法』などを読んだ。主観を離れられない個人が如何にして学問の客観性を保証しうるのか？これがゼミの基本テーマである。ゼミはディスカッション方式で行うので何よりも学生の自主的な勉学態度を期待する。ガリ勉である必要はないが、勉学に情熱を持った学生に是非来てほしい。

夏の合宿では、研究会とともに、午後はテニスかゼミのヨットで操縦訓練を行っている。午前勉強、午後スポーツ、夜研究会という日課である。

「よく遊びよく学ぶ」というのが福原ゼミのモットーである。ヨットもテニスも初心者には手ほどきをする。福原ゼミで諸君が学ぶものは別にテキストからだけではない。教師や学生仲間とのつき合いを通して夫々の個性をのびのびと育ててほしいと思っている。

学生的、勉学はもとより、精神的、肉体的訓練も幾分かでも与えることが出来ればと思う。サブゼミとして、専門にとらわれない経済問題全般についての研究会を実施中である。春秋年2回、2・3・4年ゼミ、全メンバーによる駒沢公園一周のマラソン大会とそれに続く合同コンパが恒例行事となっている。3年という歳月はそう長くはない。自分を鍛えることにもっと意欲を持とう。

学生との人間的つきあいを大事にするゼミにしたいと思っている。

(福原ゼミナール十訓)

福原ゼミ生は以下の教えを胸に刻み、その実践を心掛けなければならない

1. 理想を高く掲げ、日々の努力を怠らざること
1. 人格の陶冶を心掛け、心身の鍛錬に努めること
1. すべての生命を慈しみ、無用の殺生をなさざること
1. 社会的貢献に努め、弱者の救済に役立つこと
1. 質素を旨とし、浪費をなさざること
1. 規則正しい生活を心掛け、早朝マラソンを欠かさざること
1. 親の葬儀以外は授業をさぼらざること
1. 隣に優しく、自らには厳しかるべきこと
1. 自らの責務を回避せざること
1. 酒を愛すも、深酒は慎しむこと

履修上の留意点

「卒業研究」併設。

成績評価の方法

成績は出席点とレポートでつける。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	ふる さわ こう ぞう 古 沢 紘 造	経A・商2選	4

講義のねらい

2年演習〔アフリカの社会と文化I〕
アフリカを知るおもしろさは、混沌とした世界にあるようだ。生活様式一つを取ってみても狩猟採集、遊牧、農耕というように実に多様だ。こうした異質な社会を理解することによって、私たちのものの見方、考え方を問い直す契機となれば得るものは大きい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 次のテーマについて研究発表を行う。
 - A 多様な人間社会（ライフスタイル）
1 狩猟採集民 2 牧畜民 3 農耕民 4 都市民
 - B 多様な人間関係
1 通過儀礼（大人と子ども） 2 親族（身内とよそ者） 3 経済活動（贈与と交換） 4 宗教と権力（まつりとまつりごと）
- (2) アフリカをテーマにしたユニークな雑誌を発行する。
- (3) 演習をアクティブなものとするため、楽しい企画（アフリカ・フェスティバル、コンサート、映画祭、サッカー大会）にチャレンジする。

成績評価の方法

研究発表、レポート提出、ゼミ活動への参加に基づき総合的に評価する。

そ の 他

「卒業研究」を併設する。

科 専
門 教
育 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	ほり りゅう じ 堀 龍 二	経A・商2選	4

講義のねらい

雇用、賃金、労働時間、能力開発、人事制度、労使関係といった労務管理論（人的資源管理論）に関する基本的知識を獲得するとともに、現代的な問題意識をもってもらうことをねらいとしています。現代日本企業の労務管理はいま大きく変化を遂げつつあるところです。従来の労務管理がどのような特徴と構造をもっていたのか、それがなぜいま、どのような方向へ変化しているのか。このような問題を考えるのに有用な知識を修得してもらいます。

講義の内容・授業スケジュール

適当なテキストを選んで、それを輪読し、また担当を決めて要旨を報告してもらうといった方法で知識を修得するとともに、ゼミとしての共通の認識を養ってもらう。また、基本的な統計資料の利用といった学習スキルの向上も図っていく。適切な時期に、グループを作り、グループごとに小さなテーマを決めて、メンバー同士の協力のもとに下調べを行って、ゼミで報告する方法も予定しています。

履修上の留意点

労務管理（人的資源管理）に関する基本的知識の修得が主眼とはいえ、ゼミでの私の説明、他のメンバーの報告、それに基づく議論において、理解しにくいと感じたことをうやむやにしないで、率直に質問する姿勢を大切にしたい。つまり、とにかく積極的な参加・協力姿勢を重んじます。

成績評価の方法

毎週のゼミへの参加、丹念な下調べ、レジュメ・レポートの提出、積極的な発言を中心に評価します。

教 科 書

初回ゼミで相談して決めます。

参 考 書 等

ゼミのなかで適宜指示します。

そ の 他

〈卒業研究の有無〉
演習Ⅱ・Ⅲまで引き続き履修した場合には、演習Ⅲ履修時に卒業研究を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	まつ い りゆう へい 松 井 柳 平	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

統計学の知識が経済、経営の分野でも必要不可欠なものとなっている。世界を舞台に経済は毎日めぐるしく変動し、激動している。こうした不確実な変動を分析するための統計的手法を、パソコンを用いることで実践的に習得する。

講義の内容・授業スケジュール

<前期>
 ガイダンス ゼミの概要等説明
 パソコンの使用方法
 Excel の使用方法
 データの要約と視覚化
 統計の基礎：基本統計量（平均・分散）
 確率分布
 <後期>
 推定と検定
 相関分析
 回帰分析
 集計表と適合度検定

履修上の留意点

駒澤大学の E メールアドレスをまだ取得していない受講生は、履修登録後、すみやかに自分の E メールアドレスを取得することを希望する。
 このゼミの履修にあたっては、数学の知識は事前にはまったく必要としない。

成績評価の方法

成績は授業中のゼミへの貢献によって評価する。具体的には、出席頻度、報告内容、質疑応答、討論への参加、課題達成度、ゼミ行事への積極的参加等を総合して評価する。
 基本的に、3分の2以上の出席があれば、授業態度にとくに問題がない限り、最低でも「可」の成績は与えられる。ゼミで学んだ内容を自分のものとして様々なデータに適用できるようになった学生には、「優」が与えられる。

教科書

開講時に、ゼミ生と面談の上、決定する。

参考書等

鳥居『はじめての統計学』日本経済新聞社 (ISBN 4 - 532 - 13074 - 3)
 縄田『Excel による統計入門』朝倉書店 (ISBN 4 - 254 - 12142 - 3)
 得津『はじめての統計』有斐閣 (ISBN 4 - 641 - 08667 - 2)

その他

パソコン教場でおこなう。レポーターによる報告に基づいて進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	みづ 手 よし かず 溝 手 芳 計	経A・商2選	4

講義のねらい

食品の安全、南北問題、環境問題、過疎地域問題といったさまざまな問題が、近年、注目を集めています。これらは、農業のあり方、特に多国籍アグリビジネス（農業・食料関連産業）の影響力の増大、WTO体制への移行などと大きく関わっています。ゼミでは、上に掲げたような諸問題の理解と対策の手がかりを求めて、一緒に考えていきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの輪読とディスカッションを中心に進めます。レジュメの作成、発表のやり方、議論の進め方など、集団学習のスキル取得も重視します。ふだんは2年次生だけで学習しますが、このほか上級生と合同の合宿で学習と交流を進めます。

履修上の留意点

ゼミは集団学習、相互修練の場です。世の中、答えが一つとは決っていません。異なる意見を出し合って一緒に考えていくうちに理解が深まり、当初は考えられなかった結論に達することもあります。学生の皆さんが相互に疑問を出し合い、教えあい、意見交換していくことを大切にしてください。
ひとりひとりを大切にすることは当然ですが、同時に集団としての規律を守ることも求めます。

成績評価の方法

出席状況、レポートと発表の内容・態度、議論への参加状況などを総合的に評価します。

教科書

ゼミ生と相談の上、決定します。

参考書等

食料、農業、農村、環境、そして経済が今直面している具体的な課題に取り組んでいる本や新聞・雑誌記事を読むことを勧めます。必要に応じて紹介します。

その他

演習Ⅲで「卒業研究」を併設します。

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	みつ おか ほう み 光 岡 博 美	経A・商2選	4

講義のねらい

演習Ⅰでは、現代日本の労働問題や社会保障を研究するための準備として、これらの分野に関する基礎的な学習を行うこととします。具体的には、参加者と相談しながらテキストを決定し、毎時間レポーターによる報告と討論を積み重ね、確実にテキストの内容が理解できるように努力します。1年間で、できるだけたくさんテキストを読んでいく予定です。ゼミ参加者は、毎時間きちんと出席し、同時に、自分自身がどのようなテーマで今後の研究を行っていくのかを考えて下さい。(例えば、「日本の労使関係」、「女性労働問題」、「日本の社会保障・福祉」)なお、春と夏にはゼミ合宿(2泊3日程度)を行います。強制はしませんが、ゼミ内での親睦を深め、4年生のゼミ生との交流の場とします。多数の参加を期待します。

履修上の留意点

通常の講義とは違って、演習は参加者自身が協力し、全員の努力で充実したものとなります。教員の話を一方向的に聞くのではなく、全員が発言し、活発な討論を期待します。

成績評価の方法

成績は(1)出席(2)レポーターとしての努力や工夫などを総合的に判断して評価します。通常の講義のような筆記試験は行いません。

教科書

演習参加者の意見や要望を参考にして決めたいと思えます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	もり おか じん 森 岡 仁	経A・商2選	4

講義のねらい

社会保障・人口問題研究所の平成14年人口推計によると、日本の人口は2006年の1億2,774万1,000人をピークに、その後は減少すると予測されている。少子化がいよいよ人口減少を引き起す時代に入るのである。この人口減少・少子高齢化の影響は多方面に及ぶと考えられるが、特に経済成長や社会保障への影響が注目される。

講義の内容・授業スケジュール

この演習では経済人口学の立場から、わが国の人口減少・少子高齢化が経済との間で持つ相互依存の関係を明らかにする。

履修上の留意点

休まず遅れず参加することが演習を履修する際の大前提である。

成績評価の方法

平常点

教 科 書

未定

参 考 書 等

演習の中で適宜紹介する。

そ の 他

「卒業研究」を併設する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	もり た よし ひろ 森 田 佳 宏	経A・商2選	4

講義のねらい

会計とは、企業の経営活動の状況を数字によって表現しようとするもので、その具体的な技術が簿記であり、その背後にある理論が会計学といわれるものである。会計学の領域は大きく財務会計と管理会計とに分けられる。本演習では、財務会計の基礎理論を学ぶことを目的とする。財務会計とは、投資者、債権者、税務当局、消費者など、企業外部の利害関係者に対し、会計情報という形で企業の実態を明らかにする外部報告会計である。さらに、このような外部報告会計に信頼性を付与するため、資本金5億円以上または負債総額200億円以上の会社、および有価証券の募集・売出しをしようとする会社または有価証券を上場している会社などに対して、公認会計士または監査法人による会計監査が義務づけられている。

講義の内容・授業スケジュール

テキストをベースとして、財務会計および監査の領域に属する基礎的な諸問題を取り上げ、解説および学生諸君による報告・討論を行う。必要に応じて簿記の学習（日商簿記検定試験3級程度）を取り入れることもある。1年間の演習の終了時にはレポートの提出を課す予定である。

履修上の留意点

特別な事情がない限り、毎回出席すること。

成績評価の方法

いわゆるゼミであるから出席を重視するが、そのほかに報告内容(レジュメを含む)、レポートなどを考慮に入れて総合的に評価する。

教 科 書

新井清光著、加古宜士補訂『現代会計学(第7版)』(中央経済社)2,600円

参 考 書 等

演習時に適宜紹介する。

そ の 他

演習Ⅲに「卒業研究」を併設する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	谷 敷 正 光	経A・商2選	4

講義のねらい

テーマ〔日本経済発展史入門〕
2年生の演習は日本の経済、産業、企業の驚異的な成長はいかにして可能だったのか、日本経済や産業の発展過程と経済システムの形成を通じて明らかにします。

講義の内容・
授業スケジュール

〔前期〕 日本経済発展の理解の手助けとして、例えば①和田英『富岡日記』、山本茂実『あ
あ野麦峠—ある製糸工女哀史』、中村隆英『昭和恐慌と経済政策』、邦光史郎『トヨタ王国』、
木下英治『東急王国』などの小説、②「ああ野麦峠」「若き日の豊田佐吉」「生きている昭和史」
などの映画、③「金融恐慌日本を揺るがす」「乗用車ゼロからの出発」などのビデオ、などを
教材として使用し、判別の課題発表やプレゼンテーションの練習をします。

〔後期〕 前期に学んだ先の「教材」にかかわる「学術論文」を読んだり、基本的文献を教
材に日本経済の形成期、産業資本の確立期を中心に日本経済の発展過程や経済システムの形成
を判別の課題発表やプレゼンテーションで明らかにします。

履修上の留意点

4年ゼミまで続けられる人を望んでいます。

成績評価の方法

出席を基本に、日頃の発表やレポートなどで総合評価します。

教 科 書

山本弘文『近代日本経済史』（有斐閣）
学術論文

参 考 書 等

速水融、宮本又郎編『日本経済史（全8巻）』（岩波書店）
『日本歴史大事典（全4巻）』（小学館）

そ の 他

4年ゼミでは、「卒業研究」を開設しますので希望する人は履修することができます。

科 専
門 教
育 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	山 縣 弘 志	経A・商2選	4

講義のねらい

比較経済論研究の入門

講義の内容・
授業スケジュール

専門的学習・研究へ向けての入門的トレーニングを行う。国際的な視野を獲得し、卒業時に
各自のテーマで論文作成することを目標とする。2年次においては、(1)社会科学の文献に
慣れる、(2)論理的思考を育てる、(3)プレゼンテーションを経験する、(4)問題意識を
明確にもつ、(5)世界経済の全体像をイメージできるようにする、(6)国際的な比較の観点
を常に意識する、を主な柱として授業を組み立てる。

成績評価の方法

出席、発表、討論への参加を点数化して総合評価する。

教 科 書

岡沢憲実『スウェーデンの挑戦』
西川潤『世界経済入門』
石弘之『地球環境報告』
暉峻淑子『豊かさとは何か』
以上岩波新書

そ の 他

非喫煙者が望ましい。
「卒業研究」有。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	よしだ けいいち 吉田 敬一	経A・商2選	4

講義のねらい

この演習は日本経済分析の入門を基本課題としています。バブル崩壊後の日本経済は長期にわたって深刻な不況に喘いでいます。90年代の世紀末大不況は単純な循環性の不況ではなく、日本経済の構造とりわけ日本型生産システムの抜本的再編成に基礎を置く「構造転換不況」として把握する必要があります。そこで本演習では、21世紀に入った今日、国際的な観点を含めて、日本経済の問題点がどこにあり、なにが、いかに、なぜ変化しようとしているのか、そしてそれが地域経済と中小企業に対してどのような影響を及ぼしつつあるのかを、ともに考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

講義とは異なり、演習は学生諸君の自主性・主体性が不可欠です。そこで演習生をグループ化し、班単位でレジュメを作成し、報告・議論を進めていきます。また共同研究を通して、演習生各自が自分自身の世界観・社会観(ものの見方・考え方)を確立することを目標として、また各自が個性的なプレゼンテーション能力とリーダーシップを高めることを目指して、演習を運営していきます。

履修上の留意点

受身でゼミに参加するのではなく、積極的に発言し、楽しく有意義なゼミを共に創り上げるという姿勢でチャレンジしてください。なお4年次には卒業研究にチャレンジしてもらいます。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、平常点(レジュメ、報告内容、討論への参加度など)およびレポートなどを中心にして総合的に評価します。

教科書

橋本寿朗『戦後の日本経済』(岩波新書)

参考書等

演習を進める中で適宜に紹介します。

その他

演習Ⅲでは「卒業研究」を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	よしの おきむ 吉野 紀	経A・商2選	4

講義のねらい

総合情報センターの機材を使いながら、金利と利回りの話や、現在価値に割引く考え方を導入点として、成長率、成長モデルなどテーマを徐々に拡大し、自らシミュレーション(模擬実験)を行えるよう指導してゆく。結果はフロッピー・ディスクに保存しておくので、後で自分で自由に拡張してゆくことができるであろう。

成績評価の方法

日常の授業姿勢を評価の基準とする。

参考書等

蓑谷千風彦他『パソコンによる数量分析』(数量経済分析シリーズ第6巻)多賀出版。

その他

「卒業研究」併設。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	わたなべ けいいち 渡邊 恵一	経A・商2選	4

講義のねらい

本演習では、近現代日本の経済史・経営史に関する研究を行う。演習Iでは、その入門編として比較的初学者にも取り組みやすい通史や概説書を輪読し、基本的事実や先行研究について理解することを目標にした。

講義の内容・
授業スケジュール

学生が主体となったレポート（報告）&ディスカッション（討論）形式を基本とする。司会進行も学生が行い、素朴な疑問などを遠慮なく出しあえる自由な雰囲気の場合にしていきたい。その他、ビデオ教材の視聴、工場・資料館等の見学も企画中。学年間の交流も随時行う予定である。

履修上の留意点

授業時間だけでなく、合宿、コンパなどを含めたゼミ活動全般への積極的な参加が求められる。アルバイトやサークル活動との調整がつけられない人は受講を遠慮されたい。演習IIIでは、「卒業研究」を併設する。

成績評価の方法

平常点。必要に応じてレポートを課すこともある。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

演習の中で、その都度紹介する。

その他

この3月までの9年間は鹿児島大学で日本経済史を教えていました。駒澤大学でも、雰囲気の良いゼミを作り上げていきたいと思っています。興味を持った人、一緒に勉強していきましょう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 II	あさの かつみ 浅野 克巳	経A・商3選	4

講義のねらい

基礎的な経済学をしっかりと勉強した上で現代経済社会の抱えるさまざまな問題に実際に応用し経済学の理解を確かなものとしよう

講義の内容・
授業スケジュール

1. 現代日本経済システムの特徴
2. 日本の企業と産業組織
3. 日本の企業システム
4. 日本企業とコーポレートガバナンス

履修上の留意点

演習は講義と違い学生諸君の参加によってはじめて成り立つ。授業には必ず出席することはもとより、授業はディスカッション形式で行うので、必ず予習をしておくことが大事。また、エクセルを使った経済分析やシミュレーションにも挑戦

成績評価の方法

出席率、授業態度、レポートの内容等を総合して評価する。

教科書

内閣府『経済財政白書』その他

参考書等

その他の資料については授業の中で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	あ べ ひろし 阿 部 弘	経 A・商 3 選	4

講義のねらい 日本経済の基本的枠組みの把握を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

- * 日本経済論のテキストを読む。
- * セミナール参加者の各自のゼミ論の作成・報告をおこなう。
- * 11月末から12月にかけてゼミ論の発表会をおこなう。
- * 春と夏の2回の合宿をおこなう。
- * 2月上旬にゼミ論の作成をおこなう

履修上の留意点 セミナールであるから出席・報告を重視する。

成績評価の方法 出席・報告などを総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	あ ら き よし ひろ 荒 木 勝 啓	経 A・商 3 選	4

講義のねらい 経済変動や数理ファイナンスなどのモデルをコンピュータ上でシミュレートするというテーマに向けて様々なコンピュータ技法をマスターしていく。

講義の内容・
授業スケジュール

モデルをマルチメディア・プレゼンテーション可能にするため、全員に最低 DTP (デスクトップアプリケーション) の方法を習得させる。すなわち (1) 編集方法 (Page Maker、Quark Express) (2) グラフィックス (Illustrator) (3) レタッチ・修正 (Photoshop) を習得させる。ゼミ生は課題として、2 年次後期から DTP 検定 2 種試験にチャレンジする。時間があれば LATEX による組版の初学も行なう。演習 II からは Extd を使いシミュレーションモデル構築を行なう。

成績評価の方法 検定試験への挑戦と出席点。

教 科 書 指定なし。ただし必要な場合指示する。

そ の 他 Macintosh 教場を使う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	ありいゆき 有井行夫	経A・商3選	4

講義のねらい

現代社会は、企業中心社会です。受験競争や消費競争、夫or妻の争奪競争からマイホーム獲得競争にいたるまで、競争社会の中心に実は企業への就職競争が位置しています。企業の内部もサラリーマンの出世競争・生き残り競争です。そして、最後に生き残って経営者に成り上がったサラリーマンにしても、企業自身の業績責任に不断に脅迫されて過労死寸前です。企業自身が、好況のときも不況のときも生き残り競争のただ中にあるのです。企業は、利潤のための利潤、生産のための生産をどこまでも続けていかなければなりません。日本型企业社会に構造変革を迫っている今日のグローバリゼーションも、この傾向をさらに強めるものにほかなりません。サラリーマンからも、経営者からも、株主からも独立して、自己拡大の衝動に駆りたてられて走り続ける企業。国民の豊かさに無縁の「利潤のための利潤」。地球環境や資源の制約にも無関心の「生産のための生産」。――これが現代社会の最大の謎であり、21世紀前半に解決しなければならない現代社会の最大の課題のありかです。

講義の内容・授業スケジュール

前期 有井のプリント、新聞の読み方、川人博『過労死社会と日本』
 夏合宿 野村正実『雇用不安』
 後期 有井のプリント、新聞の読み方（ファイルの作成）、奥村宏『法人資本主義』

履修上の留意点

最大のテキストは現代社会そのものです。新聞を読みこなす力を養います。併せて日本語を読む力、書く力、話す力を鍛えます。

成績評価の方法

ゼミへの積極的参加50%、各種レポートの評価50%。

教科書

川人博『過労死社会と日本』（岩波新書）、野村正実『雇用不安』（岩波新書）

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	いいだやすゆき 飯田泰之	経A・商3選	4

講義のねらい

演習のテーマは「日本経済への実証的アプローチ」である。近年、経済問題にとどまらずビジネス・社会・政治分野においても経済学的な思考は必須の教養になっている。そして、自身の意見を発表し、説得する（つまりは「自分がわかっている」ことを人に伝え、他の人を「納得させる」）際には十分な実証的根拠を示し、聞き手を考慮した発表を行うことが必要とされる。本演習は「経済理論の理解」「統計を用いた証拠づけ」「プレゼンテーション能力」の3つを柱に、「使える経済学」を身につけることを目標としたい。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰでの学習内容をふまえて、学生の興味に応じてより発展的な内容に取り組んでいく。

履修上の留意点

「経済原論Ⅱミクロ経済学・マクロ経済学」「経済政策」等関連科目をあわせて履修することが望ましい。また、連絡のため駒澤大学総合情報センターのアカウントを取得しておくこと。

成績評価の方法

出席を中心に、発表内容・発言・ゼミへの貢献から判断する。

教科書

教科書は開講時に協議する。

参考書等

テキストのみにこだわらずゼミ生の興味に沿った論文を取り上げていく。

その他

本演習は本年度より開講される新しいゼミである。したがって、経済学やパソコンの利用など基本知識のレベルには受講生ごとにばらつきがあると思うが、皆の希望を聞いた上で補充したいと思う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 II	いし かわ じゆん じ 石 川 純 治	経A・商3選	4

講義のねらい

企業会計の制度と理論を学習します。「制度」の基礎にある土台としての「理論」、この両者の関係において学習することが基礎にある視点です。

また、社会経済における「生きた会計」を学習するために、「時事会計」を重視します。会計の基礎にある社会経済問題への関心が大切で、それとの関連で会計を学習します。会計をとおして世の中の問題に発言できる洞察力が得られればと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

財務会計の基本テキストを学習し、その後、中級・上級のテキストへとレベルアップします。中級・上級では米国会計基準・国際会計基準も取り上げます。さらに、それらをより高い次元から見通す力を養うため、新聞・雑誌・小論文を素材にした学習も行います。

履修上の留意点

特にありませんが、将来、国家試験（税理士・会計士など）にも挑戦してみようとする意欲ある学生、また世の中の社会経済問題に関心をもっている真摯な学生を歓迎します。

成績評価の方法

出席・合宿・レポートなどゼミ活動の総合評価。

教科書

財務会計の標準的テキスト（その都度指示します）。

参考書等

その都度、指示します。

その他

国家試験に挑戦する意欲ある学生、世の中の社会経済問題に関心をもっている真摯な学生が歓迎されます。私のプロフィールについては、駒澤大学のHPのトップページ「教員の紹介」から見るすることができますので参考にしてください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 II	いし かわ ゆう じ 石 川 祐 二	経A・商3選	4

講義のねらい

企業においては、会計情報が様々な目的を持って利用されている。その情報を生み出すための仕組みは、どのような構造をもっているのだろうか。その構造を探り、それが社会の多様な関係の中で果たす役割を研究する。そのことによって、社会現象を分析する視点の獲得を目指す。

また、テキストの枠に縛られることなく、様々な書籍・データを用いてレジュメを作成し、発表するスキルを養うことも目標である。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅱでは、特に管理会計に関わる種々の技法を取り上げることにする。とりわけ、近年の管理会計研究上の議論の中心となっている技法に焦点を当てて、その意味を考えたい。さらに、その学習をつうじて、ゼミ生が各自のテーマを見つけだし、深く掘り下げていくための基礎固めをしたい。それにより、卒業研究に向けた足がかりを築くことを目指すものである。

履修上の留意点

積極的に参加すること。また、ゼミ生が相互に協力しあい、楽しいゼミ運営を行ってもらいたい。また、4年次には「卒業研究」を開設する予定である。

成績評価の方法

特に出席を重視するが、報告内容等も含め、総合的に評価する。

教科書

初回の演習時に指示する。

参考書等

必要に応じて紹介する。

その他

合宿その他のイベント等については、話し合いで決定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	いわ した ひろし 岩 下 弘	経A・商3選	4

講義のねらい

3年間のゼミのテーマは流通・流通政策の国際比較である。2年次には日本における流通問題を研究対象にし、3年次では国内の流通政策、4年次では流通政策の国際比較を対象とする。日本における流通問題としては、大きな問題としてコンビニの光と影、小売商店数の減少、大手小売企業の資本蓄積構造、商店街の空洞化、中心市街地の活性化、海外大手小売企業の日本市場参入、などがある。

たとえば、「ヤオハン」は何故海外に進出し、倒産したのか。「そごう」は何故巨艦主義をとり、その結果何故倒産したのか。「ダイエー」は何故経営の危機に直面しているのか。コンビニは繁栄しているとはどういう意味なのか。商店街がシャッター通りになっているのは何故か。

このように、われわれの生活の周囲で流通をめぐるいろいろな問題が発生しているが、これに対して政府および地方公共団体はどのような政策で対応しているのか。それらが市民生活の質の向上に役立っているのか、を探るのが3年次の課題である。

小売資本の蓄積構造にたいする公共政策の有効性を探る。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストの輪読あるいは報告。

履修上の留意点

ゼミは参加することに意味がある、ということを忘れないこと。

成績評価の方法

ゼミ、合宿、コンパ等への出席およびレポートの提出回数により評価。

教科書

必要に応じて指定。

参考書等

その都度指示。

その他

卒業研究 有

科 専
門 教
育 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	いわ なみ ふみ たか 岩 波 文 孝	経 A・商 3 選	4

講義のねらい

わが国では、「バブル経済」崩壊以降の不況下で経営破綻や不祥事などによる経営の行き詰まりなどの問題が続出しています。本演習では、コーポレート・ガバナンスと経営システムを中核として、現代の企業経営の課題を多面的に検討していきたい。それを通じて、現代の企業経営に関する問題意識を深めていき、企業の社会的責任（CSR）を踏まえた公正・効率的な企業経営システムの構築に向けた課題を追究していきます。

講義の内容・授業スケジュール

コーポレート・ガバナンスに関する文献の輪読形式により報告者・グループによる報告を中心に討論を行います。夏期・春期合宿では、現代の企業経営が抱える諸問題について、討議していきます。

履修上の留意点

ゼミナールは受講生の主体的な学びの姿勢に基づいて運営されます。ここでは専門の学習とともに、自らの課題を発見し、問題意識を深めていくという積極的な学習が求められます。受講の際には企業経営をめぐる諸問題について問題意識を持ちゼミナールに参加してもらいたい。

成績評価の方法

ゼミへの出席、発表内容、討議への積極的な参加などの平常点による総合評価を行います。

教科書

開講時に指定します。

参考書等

開講時に指定します。

その他

演習Ⅲ履修時には「卒業研究」（4単位）を併設します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	え がみ さとし 江 上 哲	経 A・商 3 選	4

講義のねらい

各自の報告と議論を中心に進めてゆきます。テキストは『ゼミナールマーケティング入門』（日本経済新聞社）が前期で後期は石井淳蔵著『ブランド』を使用して進めます。

講義の内容・授業スケジュール

上記のテキストを毎週各一章を報告し議論して進めます。

成績評価の方法

ゼミでの議論と報告の内容がなによりも評価の対象です。

教科書

石井淳蔵他著『マーケティング入門』（日本経済新聞社）
石井淳蔵著『ブランド』（岩波新書）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	大石雄爾	経A・商3選	4

講義のねらい

2年次の演習Ⅰでは現実の経済問題について幅広く学んだ。それをふまえて、演習Ⅱでは、市場経済のメカニズムについて検討し、資本主義経済の本質について理解を深めてゆきたい。また、グローバル化の過程で生じている国際的な経済問題を見る目を養うため、世界の動向にも注意を払ってゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

今や世界中が市場経済に組み込まれている。イスラム諸国のように、一部に座りのよくない部分はあるものの、これは地球的な規模で資本主義的商品経済の仕組みが成立したことを意味している。そのため、現代社会の動きを真に理解するには、市場経済の仕組みおよび運動法則を理解することがいっそう必要となる。

この演習Ⅱでは、マルクスが『資本論』において、ナゾ解きにも似た推理で明らかにしてくれた資本主義の経済法則を学び、前年に学んだ日本経済や地球環境問題の本質理解を深めてゆく。

履修上の留意点

少人数形式の演習では、欠席をしないこと・遅刻をしないことが各人に求められる。参加者はその点をまず自覚したうえで、さらに積極的に活動してほしいものである。

成績評価の方法

平常のゼミへの参加、合宿・コンパ等への出席およびレポートの点数により評価する。

教科書

大石雄爾『商品の価値と価格』（創風社）3,708円

参考書等

マルクス『資本論』（新日本新書）
西垣昭他『開発援助の経済学（新版）』（有斐閣）2,400円＋税

その他

- ①「卒業研究」を併設する。
- ②コース制との関連：いずれのコースを履修してもよい。

科 専
門 教
育 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	大吹勝男	経A・商3選	4

講義の内容・授業スケジュール

『情報化』と現代企業の『物流』。前年度の学習成果をふまえて、日本企業の『物流』についての研究を一層深めることを課題とする。価格及び企業利益への影響は勿論のことですが、特に、労働者・サラリーマンへの影響つまりは消費者に与える影響等々について研究をすすめたいとおもいます。「演習Ⅰ」のテーマの、より高度な内容とします。

成績評価の方法

平常点によるが、感想文の提出がある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	小栗崇資	経A・商3選	4

講義のねらい

演習Ⅰと同じねらい。演習Ⅱでも引き続き「日本の会計制度と会計ビッグバン」をテーマに学習を進めたい。新規募集せず。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅱでは、演習Ⅰに引き続き、現代の財務会計の原理や方法を学習する予定である。テキストを中心にディスカッションを重視してすすめるが、3年生後半には各自が研究テーマをもって学生自身で調査・研究を進めるように指導したい。

履修上の留意点

演習では討論を重視しているので、積極的に参加すること。夏季合宿やコンパ、企業見学などもゼミの大切なイベントとして取り組みたいので、企画力のある意欲的な学生の参加を希望したい。なお、「卒業研究」も開講する予定である。

成績評価の方法

総合的に判断する。①出席状況、②分担報告、③レポート。

教科書

演習の中で指示。

参考書等

演習の中で指示。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	小杉修二	経A・商3選	4

講義のねらい

本ゼミは地球温暖化問題とその解決策を考える。
 森林伐採や化石燃料の使用によって、21世紀末までに最大5.8℃の昇温が起これると予測されているが、これは文明の崩壊の可能性をはらんでいると言える。
 我々の文化や経済学というのは豊かさが切望された貧しい時代にできたものである。そして、経済成長はたしかに我々の生活を豊かで便利なものにした。
 しかし、どんな経済活動も自然の生命維持システムという土台を離れては存立が不可能であることが今明らかになりつつある。こうした課題の前では、今までの常識、文明、経済学も全面的見直しが必要になるだろう。
 この先40～50年は生きるであろう諸君にとってこれらをどうするかは避けて通れない深刻な問題であろう。
 暗い展望が描かれそうだが、当ゼミはあくまで明るく楽しい未来を考えるための知識・思考力と学生の交流をつちかうつもりである。
 また、時に応じて日本その他を例にとって、経済成長がこれまでどのようにおきてきたのかを学習する。2～3年次にかけては、環境問題、現代の労働・消費・生活・文化のいろいろな面を学習し、それらと経済成長とのかかわり具合を考える。

成績評価の方法

出席率70%以上を中心にする。

教科書

小宮山宏『地球温暖化問題に答える』（東大出版会）1,800円等を使う。

その他

ビデオを使った授業とデイバイトでメリハリをつけるようにしている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	こ ばやし まさ と 小 林 正 人	経 A・商 3 選	4

講義のねらい

テーマ：「戦後の日本経済と産業発展」
 戦後の日本経済の変化や動きを深く知るためには、その中での産業の発展や企業活動の内容について詳しく調べる必要があります。しかも現在、日本の経済システムと産業システムは大転換を迫られており、その詳細な分析が欠かせません。このゼミでは、戦後日本経済の歴史や産業発展の要因について調査し、経済発展において大きな役割をした産業や企業、その産業や企業がかかえている課題などを研究します。下記のウェブサイトの「ゼミのひろば」で、これまでのゼミの活動を見ることができます。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>

講義の内容・授業スケジュール

前期には、一定の文献にもとづいて日本産業の歴史について全般的に調べます。
 後期では、個々の産業ないし業界について、ゼミ生ごとやグループごとに調査研究を行います。
 以上の調査をふまえて、次年度の演習 III で卒業論文を完成させます。

履修上の留意点

ゼミ生の自発的な調査、発表、発言が基本です。また、ゼミの円滑な運営のためのルールに従うこと。

成績評価の方法

ふだんの発表や発言を基本にして評価します。各期末にレポートを求めることもあります。

参 考 書 等

授業中にゼミ生と相談して決めます。「テキストの候補」を、上記のウェブサイトの「ゼミのひろば」に掲載します。

そ の 他

「卒業研究」（卒業論文のみ）を演習 III で併設

科 専
門 教
育 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	さい どう ただし 齊 藤 正	経 A・商 3 選	4

講義のねらい

「金融大変革と銀行の役割」をテーマに、望ましい金融システムのあり方について考えます。

講義の内容・授業スケジュール

金融ビッグバンの展開後、巨大銀行同士の統合や合併、インターネット・バンキング、ソニーやヨーカ堂などによる銀行業務への参入など、金融制度は一大変革の時代を迎えています。
 他方、行政は不良債権の「最終処理」なくして景気回復はないという理由から、金融機関に不良債権の早期処理をせまっていますが、広範囲に及んでいる「貸し渋り」をさらに押し進め、とくに中小企業や地域経済に深刻な影響を及ぼしています。
 演習 II では、わが国における具体的金融問題を素材としながら、望ましい金融制度の再建方向について考えます。

履修上の留意点

日本社会は現在大きな変革期にあり、日本の将来をどのように描くのかという視点が求められています。金融問題を対象としながら、諸君一人一人が独自の視点を獲得されることを望みます。

成績評価の方法

年間を通した、ゼミナールへの参加の積極性を重視して評価します。

教 科 書

大橋・小西・齊藤・平澤・田村『日本のビッグインダストリー6 金融』（大月書店）

そ の 他

「卒業研究」を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	さとなか つねし 里中 恆志	経A・商3選	4

講義のねらい

この演習の内容は財政学である。演習のテーマは「国債を抱えた財政」とする。このテーマに関する基礎的知識の習得をねらう。

講義の内容・授業スケジュール

質疑応答方式で国債調達に関する資料を読み進む。全員が予習をしてこななければならない。国債累積の限界、国債価格と市場金利、財政乗数、非ケインズ効果、公共債務解消の歴史等について学ぶ。

履修上の留意点

この科目は本年度新規募集の演習である。履修者が演習Ⅰからの持ちあがりでないことを考慮して丁寧に進む。この演習の関連科目として「国民所得論」、「価格理論」、「財政学」の履修が望ましい。

成績評価の方法

平常点による。

教科書

最初の演習の時間に指示する。

参考書等

里中恆志=八巻節夫編著『新財政学』（文真堂）3,200円 ISBN4-8309-4195-2 C3303
富田俊基『国債累積のつけを誰が払うのか』（東洋経済新報社）ISBN4-492-62051-6

その他

4年次の「演習Ⅲ」の履修時には「卒業研究」を併設する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	しみず たかし 清水 卓	経A・商3選	4

講義のねらい

現代ヨーロッパ問題をより体系的にとらえるため、EU諸国の第二次大戦後の経済発展とEU統合の歴史と現状の二つの課題を柱に、グローバル化という名のアメリカナイゼーションに対抗し、アメリカや日本とは異なる、西洋の偉大な知恵の結晶である欧州社会の固有の伝統を基礎に「ヨーロッパ・モデル」を追求しているEUの動向と、我が国の「改革」路線との比較検討を踏まえて検討します。

また3年次後半からは就職活動が日程に上がりますが、教員やゼミの先輩、ゼミ仲間の間で有益な情報交換やアドバイスが得られるように運営します。

講義の内容・授業スケジュール

専門文献を精読と、各自のテーマ設定準備を行います。

履修上の留意点

演習Ⅰを参照のこと。

成績評価の方法

演習Ⅰを参照のこと。

教科書

演習Ⅰを参照のこと。

その他

演習Ⅰを参照のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	しろ代 いた田 じゆん純	経A・商3選	4

講義のねらい

代田ゼミでは金融について学習し、研究します。日本の金融が中心ですが、海外の金融の動向や日本との比較についても学習します。証券アナリスト、証券外務員の受験指導も実施します。

講義の内容・授業スケジュール

4～7月においては、財務諸表の入門書によって、財務の基礎を学ぶ。夏合宿を経て、9～12月には財務諸表論の本格的学習へと進む。3年生12月には卒業論文のテーマ設定をしてもらう。

履修上の留意点

金融の基礎知識がない人も歓迎します。ただし毎回出席することが前提です。

成績評価の方法

まず出席が基本です。さらにゼミでの発表、質問など発言によって日常点で評価します。

教科書

ゼミ生と話しあって決めますが、日経文庫『ベーシック財務諸表入門』、佐々木秀一が候補です。

参考書等

斉藤静樹、『財務会計入門』（有斐閣）

その他

全国学生証券ゼミナール大会などの参加も検討します。

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	すずき のぶ え 鈴 木 伸 枝	経A・商3選	4

講義のねらい

公共経済学のゼミです。講義よりも専門的なことを学ぶとともに、自ら問題を発見する能力を身につけることを目標とします。年金・医療・介護保険・環境・失業の諸トピックスについて「どういう問題があって、何を為すべきか」を自分なりの意見をもてるようにしましょう。

講義の内容・授業スケジュール

三年生のゼミでは、公共経済学のテキストの輪読を中心にします。毎回、輪読の報告担当者にはレジュメを用意してもらいます。また、学年末には自分でトピックを選んでレポートを提出してもらいます。コンピュータを使った文書作成やインターネットでの情報検索についても指導します。

履修上の留意点

ゼミは勉強の場だけでなく、人前で自分の意見を言えるよう訓練したり、同じゼミの仲間と協力して何かを達成することを通じて人間的に成長する場でもあります。引っ込み思案にならず、常に積極的な態度で参加してください。

成績評価の方法

出席状況・予習状況・討論への参加度・レポートにより評価します。

教科書

受講者と相談して決定します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	瀬戸岡 ^{せとおか} 紘 ^{ひろし}	経A・商3選	4

講義のねらい

「グローバル化」と「デジタル化」の時代に即応して、経済、社会、経営、文化を分析し、自分の意見をもてる人間を養成すること、また、そういう時代を生きぬく社会的正義感をもった人間を養成することがねらいです。何を検討の対象としてとりあげるかは、受講者の希望により決定します。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカの大学（なかでもシカゴ大学大学院）の演習の方式を大胆に採用したゼミです。前半期は思考に強くなるための方法、デジタル時代の学習と研究の方法、学ぶ者の社会的責任などを、ゼミ生との対話のなかで提示します。後半期は、それらを各自の関心あるテーマに実際に活用しながら、経済学の基礎学力も高める活動を共同でおこない、学習の成果を確かなものにします。ゼミで身につけた能力を後輩のゼミ生を指導するという形で活用してみる場としてサブゼミが、また、それらの能力を検証する場として日本学生経済ゼミナールの東京大会、全国大会への参加が、さらに、インターネットや遠隔授業をとおしてアメリカの学生との交流をつうじた学習がおこなわれます。工場見学など多彩なイベントもゼミ生が自主的に企画実行しています。

成績評価の方法

ゼミ活動にたいする各自のあらゆる態度を総合して評価します。最大の眼目は当人のやる気です。

教科書

随時、有益な文献を紹介します。

その他

ゼミでは、社会の第一線で活躍している人を招いて「出前ゼミ」をときどき実施しています。このゼミにかんする一層くわしい情報は、ゼミに直接きて見学したり問いあわせたりすることのほか、ゼミ生作成による下記ホームページにアクセスしてください。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~setooka/>

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	ちよん 鄭 ちやん 章 よん 淵	経A・商3選	4

講義のねらい

研究テーマは「現代東アジア経済研究」です。目的は、ゼミ生諸君に第二次世界大戦後の東アジア経済の発展過程について理解を深めてもらうことです。

ここでいう東アジアとは、東北アジアと東南アジアを合わせた地域を想定していますが、同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭に、アジアNIEs（新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール）、ASEAN3（タイ、マレーシア、インドネシア）、中国、その他と続く発展の様は、しばしば「雁行型発展」と称されてきました。

ところが1997年に発生した「アジア通貨危機」を機に東アジア経済は混迷に陥り、専門家の間では先の「雁行形態」に乱れが生じているという指摘も出ています。今日の事態は、従来の研究スタイルに見られたように東アジア経済をただ「発展」の側面からのみ捉えるのではなく、「発展」と「危機」の両側面を視野に入れたアプローチが必須であることを示しているのではないのでしょうか。

日本の経済的パートナーとして今後ますます東アジア諸国の重要性が増していく現状において、特に若い世代である皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言えます。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰで身につけた基礎知識を土台に、さらに東アジア経済に関する知識を深めるため、次の文献を輪読してもらいます。

今井宏・高安健一・板東達郎・三島一夫〔共著〕『テキストブック21世紀アジア経済』（勁草書房）2003年、2,800円＋税

また、夏期休暇にゼミ合宿を予定しています。そこでは別の文献を取り上げて講読し、ビデオ鑑賞なども予定しています。

成績評価の方法

出席率、レポート回数、合宿への参加状況などを加味して総合的に判定します。

その他

4年次に「卒業研究」を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	徳永俊明 <small>とくながとしあき</small>	経A・商3選	4

講義のねらい

アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国（発展途上諸国：第3世界）の国際関係と其中での人々の生活の問題を研究します。第3世界の社会・経済や人々の暮らしを研究しながら、日本・日本人・私たち一人ひとりの人生・生活を考えます。国際政治・経済の中での人間と人間の関係、とくに第3世界の人々が直面しているさまざまな豊かさや貧困、そして彼らのたたかひについての検討を通じて、日本・日本人・私たち自身の豊かさや貧困を考えるのです。

春・夏2回の全学年そろってのゼミ合宿のテーマは「人生」です。幸福とは？ 自由とは？ 愛するとは？ 一人ひとりの意見がみんなからまじめに受けとられ、一人ひとりがみんなの意見を参考にして考えを深めます。

ゼミ最大のイベントは、これも全学年そろっての東南アジアへの研修旅行（自由参加）。これまでフィリピン・ベトナム・インドなど11か国へ行きました。いわゆる「観光旅行」ではなく、人々と交流し、人々の生活とその向上への努力や文化などを見聞することで、アジアの人々を知り、私たち自身の生活と考え方を再検討します。この旅で、私たちの頭のなかの〈世界〉は一挙に広がり、深くなります。

第3世界の人々と自分の現実のなかに〈夢〉を求め、見つけましょう。

講義の内容・授業スケジュール

上の趣旨に沿って、学生諸君と相談しながらすすめます。

履修上の留意点

何よりも〈考える〉努力が大切です。〈考える〉努力を惜しまない諸君を求めます。

成績評価の方法

〈考える〉努力をしたかどうかをもって評価します。

参考書等

討論のための資料・〈考える〉ための材料は、学生諸君と相談しながら用意してすすめます。

その他

〈考える〉努力の成果を「卒業研究」としてまとめます。（希望者のみ）

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	友松憲彦 <small>ともまつよしひこ</small>	経A・商3選	4

講義のねらい

西洋社会経済史の研究を課題にしています。ヨーロッパやアメリカ経済史の基本文献を講読し、経済史の基礎理論や概念について学びます。

講義の内容・授業スケジュール

演習をおこなうと同時に、各自が設定したテーマについて研究をすすめ、卒業研究のための基礎づくりをします。

履修上の留意点

「経済史」「西洋経済史」「日本経済史」「商業史」等をあわせて履修することが望ましい。

成績評価の方法

年度末のレポートと平常点（出席、レジュメ、報告、討論の状態）で評価します。

教科書

最初の授業で指示します。

参考書等

演習を通じて紹介します。

その他

卒業研究を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 II	なか すみ みつ あき 中 濟 光 昭	経 A・商 3 選	4

講義のねらい

演習Ⅰの内容を前提に、具体的なテーマを研究していきます。インターネットマーケティング、ネットワークを活用した流通システム、サプライチェーンマネジメント、デジタル情報の著作権問題、電子決済といった経営・経済のテーマに加えコンピュータに興味のある学生は、システム設計実習やホームページデザイン実習などの情報系のテーマを扱います。就職のための個別指導や合宿、学外の研究発表、展示会見学、インターンシップ参加など、様々な活動を通じて、社会人として必要なことを学びます。この演習の成果は、情報産業を始めとする様々な業種への就職に結びつきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 担当者のシステムエンジニア時代の経験を活かした指導を行います。
- ・文献の輪講（レジュメ作成）
 - ・レポート発表
 - ・各自設定したテーマについてレジュメ作成、発表

履修上の留意点

- ・演習Ⅱでは、先輩の指導や就職のための準備など、様々な活動が要求されます。もちろん合宿、課外イベント、サブゼミは、原則として出席していただきます。資格取得の自主ゼミも皆さんの希望によって実施しています。積極的なゼミ活動を期待しています。追加募集は若干名を受け入れます（編入学・転部生が主な対象）。
- ・メールを読む、ワープロを打つといったことがゼミ活動上必須です。

成績評価の方法

出席と課題提出、夏季合宿、学年末に行う発表とレポート、ゼミ運営上の雑務、イベントへの参加、資格取得を総合評価します。

教科書

別途指示

参考書等

別途指示

その他

ゼミはパソコン教場を使用しますので、本ゼミを受講したい人は、総合情報センターへ利用登録を行う必要があります。演習Ⅲでは、卒業研究（論文及び作品）を併設します。

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 II	ひやく た よし はる 百 田 義 治	経 A・商 3 選	4

講義のねらい

現代日本の企業が直面するビジネス・マネジメント（経営管理）に関わるテーマを中心に、グローバル化・情報化（IT革命）の進展など経営環境が激変するなかで21世紀を迎え大きく変貌する日本企業とその経営の実態をリアルに学び、将来を展望します。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰの継続です。個別・グループ別に決定したテーマについて取り組みます。

履修上の留意点

経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。

成績評価の方法

出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。

教科書

未定

参考書等

未定

その他

「卒業研究」（4単位）を併設します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	ふくはら よしのぶ 福原好喜	経A・商3選	4

講義の内容・
授業スケジュール

〔ウェーバーとマルクス研究〕
このゼミナールではカール・マルクスの『資本論』やマックス・ウェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』の輪読を行う。専門の研究会以外に週1回自由テーマの読書会を持っている。合宿、コンパ、マラソン大会とゼミの行事は多彩であるが、そんな中から真の友人を得、自分なりの勉学態度を身につけてくれればと思っている。若干名募集。

履修上の留意点

「卒業研究」併設。

成績評価の方法

成績は出席点とレポートでつける。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	ふるさわ こうぞう 古沢 紘造	経A・商3選	4

講義のねらい

3年演習〔アフリカの社会と文化II〕
アフリカに関心を置いた卒業作品の制作に着手する。作品の形態は、個人の好みに合わせ、ルポ、エッセイ、評論など自由に選択する。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 卒業作品について数回の間接発表を行う
- (2) アフリカをテーマにしたユニークな雑誌を発行する。
- (3) アフリカに関連した企画の主要な担い手となる。

成績評価の方法

作品中間発表、レポート提出、ゼミ活動への参加に基づき評価する。

そ の 他

「卒業研究」を併設する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	ほり 龍 じ 堀 龍 二	経A・商3選	4

講義のねらい

わが国企業の人事・労務管理（人的資源管理）はいま大きく変化しつつあります。雇用、賃金、労働時間、昇進・昇格などの人事制度、能力開発、福利厚生、企業内労使関係といった労務管理のほとんどの領域で、かつて日本的労務管理（あるいは日本的経営）と特徴づけられた制度や慣行が改廃されつつあります。グローバリゼーション、メガコンペティション、情報技術革新、それらに伴う企業・職場組織の再編などがその背景にあります。新しい方向を示すキーワードは、多様化、弾力化（フレキシビリティ）、成果主義、個別化などです。こうした変化をどのように把握し、どのように評価するか、自らの働き方（社会への貢献の仕方）として何を望むのか、メンバー同士の語り合いのなかで模索することがねらいです。その際に、諸外国の制度や慣行も比較対照として学習していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミ生にワーキンググループを作ってもらおう。現代人事労務管理の変容を、①雇用、②賃金、③労働時間、④能力開発、⑤福利厚生（企業年金を含む）、⑥労使関係などの領域ごとに大別して、各グループが1つの領域を担当し、具体的なテーマを決めて下調べや報告をし、全員で議論するという形式で進める予定です。また、夏休みなどを利用して合宿（2泊3日程度）や工場・企業見学も行います。

履修上の留意点

1つのテーマのもとにグループメンバーがお互いに協力して調べものをする楽しい学習と思ってほしい。また、全員が自由に発言できる雰囲気大切にしたい。

成績評価の方法

日頃のゼミへの参加、丹念な下調べ、レジュメ・レポートの提出、積極的な発言と参加を中心に評価します。

教科書

共通テキストを用いるかどうかはゼミ生と相談して決めます。

参考書等

ゼミのなかで適宜指示します。

その他

〈卒業研究の有無〉
引き続き演習Ⅲを履修する場合には、履修時に卒業研究を併設します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	みづ 溝 手 芳 計	経 A・商 3 選	4

講義のねらい

食品の安全、南北問題、環境問題、過疎地域問題といったさまざまな問題が、近年、注目を集めています。これらは、農業のあり方、特に多国籍アグリビジネス（農業・食料関連産業）の影響力の増大、WTO 体制への移行などと大きく関わっています。ゼミでは、上に掲げたような諸問題の理解と対策の手がかりを求めて、一緒に考えていきたいと思ひます。演習Ⅱでは、これらの問題に関する代表的な見解を見ていきます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの輪読とディスカッションを中心に進めます。レジュメの作成、発表のやり方、議論の進め方など、集団学習のスキル取得も重視します。ふだんは3年次生だけで学習しますが、このほか演習Ⅰ（2年次生）等と合同の合符で学習と交流を進めます。

履修上の留意点

ゼミは集団学習、相互修練の場です。世の中、答えが一つとは決っていません。異なる意見を出し合って一緒に考えていくうちに理解が深まり、当初は考えられなかった結論に達することもあります。学生の皆さんが相互に疑問を出し合い、教えあい、意見交換していくことを大切にしてください。

ひとりひとりを大切にすることは当然ですが、同時に集団としての規律を守ることも求めます。

成績評価の方法

出席状況、レポートと発表の内容・態度、議論への参加状況などを総合的に評価します。

教 科 書

大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』有斐閣、2000円＋税
2冊目以降は、ゼミ生と相談の上、決定します。

参 考 書 等

食料、農業、農村、環境、そして経済が今直面している具体的な課題に取り組んでいる本や新聞・雑誌記事を読むことを勧めます。必要に応じて紹介します。

そ の 他

演習Ⅲで「卒業研究」を併設します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	みつ 岡 博 美	経 A・商 3 選	4

講義のねらい

演習Ⅰの勉強を前提として、各人のテーマをさらに深く研究していくことを目標とします。参加者は自分の研究テーマを登録し、順次報告してもらいます。各人の報告は討論に付し、担当教員がコメント、今後の研究についてのアドバイスを行います。また、研究テーマが近接している場合にはテーマ別のグループによる共同研究を組織し、グループ別の発表会なども予定しています。参加者はこの1年間の勉強にもとづいて、次年度のゼミ論文に取り組んでもらいたい。なお、春と夏にはゼミ合宿（2泊3日程度）を行います。強制はしませんが、ゼミ内での親睦を深め、2、4年生との交流の場とします。多数の参加を期待します。

成績評価の方法

(1) 出席は当然のことですが (2) 自分の研究テーマをどれだけ深くほりきげ研究に努力を払ったのかという点を重視します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	もり おか じん 森 岡 仁	経A・商3選	4

講義のねらい

現在世界の人口は60億を超え、増加速度は衰えたとはいえ、開発途上地域を中心になお増加を続けている。しかし、先進諸国では低出生率に伴う少子高齢化問題に悩み、日本も例外ではない。

講義の内容・授業スケジュール

3年次の演習では、これら相反する人口問題を抱える世界の人口を取り上げ、それが社会的にどのような問題を具体的に生み出しているのか議論してみたい。

履修上の留意点

休まず出席することが演習履修の第一条件である。

成績評価の方法

平常点。

教科書

濱英彦・河野稠果編『世界の人口問題』（大明堂）

参考書等

演習の中で適宜紹介する。

その他

「卒業研究」を併設する。
4年演習
4年次生は追加募集しない。

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	もり た よし ひろ 森 田 佳 宏	経A・商3選	4

講義のねらい

財務会計は、企業をとりまく利害関係者の利害調整およびその意思決定に貢献することを目的として発展してきている。さらに、財務会計によってもたらされる情報に信頼性を付与するために会計監査が行われている。したがって、財務会計と会計監査には密接なつながりがあり、財務会計の知識なくして会計監査を深く理解することはできない。本演習においては、財務会計および監査の領域に属する諸問題を、学生相互間の討論を中心として研究していく。

講義の内容・授業スケジュール

まずテキストを用いて財務会計の理論を習得し、その後に監査論の学習に進む。これらの学習は、次年度における卒業研究の基礎となるものである。

履修上の留意点

特別な事情がない限り、毎回出席すること。明るく楽しいゼミにしたいと思うので、自主的にゼミを運営できるような、積極的かつ協調の精神に富んだ諸君の参加を期待している。

成績評価の方法

いわゆるゼミであるから出席を重視するが、そのほかにゼミにおける報告（レジュメを含む）・発言内容やゼミ活動に対する取り組みなどを考慮に入れて総合的に評価する。

教科書

最初の演習時に指示する。

参考書等

演習時に適宜紹介する。

その他

演習Ⅲに「卒業研究」を併設する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	谷敷正光	経A・商3選	4

講義のねらい

テーマ〔日本経済の発展と高度工業化社会の研究〕
 3年ゼミは、戦後の日本経済の発展過程と各時期における発展要因、構造的特質を明らかにし、明治以降、西欧以外の諸国でなぜ日本だけが独立を維持し、高度工業国に脱皮しえたかを解明するとともに、戦後60年間の日本型経済システムの形成と破綻の過程、その要因を基礎文献や「学術論文」を使って明らかにします。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕 戦後の日本経済を中心に、経済復興期、高度成長期、経済構造転換期、安定成長期、バブル経済期の各推進要因と各段階の構造的特質を明らかにします。
 〔後期〕 「経済大国」が破綻し、戦後の日本経済を支えてきた日本型経済システムが破綻していった過程を考察します。

履修上の留意点

特になし（まじめに出席出来れば可）

成績評価の方法

出席を基本に、平日頃の発表やレポートなどで総合評価します。

教科書

橋本寿朗『戦後の日本経済』（岩波書店）
 佐和隆光『平成不況の政治経済学』（中公新書）
 学術論文

参考書等

速水融他『日本経済史（全8巻）』（岩波書店）
 『日本歴史大事典（全4巻）』（小学館）

その他

4年ゼミでは、「卒業研究」を開設しますので、希望する人は履修することができます。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	山縣弘志	経A・商3選	4

講義のねらい

比較経済論の専門的学習・研究

講義の内容・授業スケジュール

現代世界のリアリティをどうとらえるかは経済学の重要な責務となっている。テクノロジーの発展が生み出すヴァーチャリティと現実とのギャップをいかに埋めるか、わたしたちの知恵が問われているといえる。20世紀に顕在化した課題——環境、戦争、福祉、民族、競争と平等、これらどう取り組むべきか。市場主義の限界は明らかであり、他方で「20世紀社会主義」も対案となりえなかった。ヨーロッパ、ロシアの経験に学び、比較経済論の視点から、これらの問題を考えていきたい。後期は自主研究の発表の形で授業を進める。

成績評価の方法

出席、発表、討論への参加を点数化して総合評価する。

教科書

相談の上決める。

その他

非喫煙者が望ましい。
 「卒業研究」有。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	よしだ けいいち 吉田 敬一	経A・商3選	4

講義のねらい

この演習は日本経済の構造転換問題をグローバル化との関わりで共同研究し、併せて企業システムの変容の実態を理解することを目的としています。また共同研究を通じて、4年次の卒業研究にチャレンジするテーマをつかむことも3年次の重要な課題となります。

講義の内容・授業スケジュール

講義とは異なり、演習は学生諸君の自主性・主体性が不可欠です。そこで演習生をグループ化し、班単位でレジュメを作成し、報告・議論を進めていきます。また共同研究を通して、演習生各自が自分自身の世界観・社会観(ものの見方・考え方)を確立することを目標として、また各自が個性的なプレゼンテーション能力とリーダーシップを高めることを目指して、演習を運営していきます。

履修上の留意点

受身でゼミに参加するのではなく、積極的に発言し、楽しく有意義なゼミを共に創り上げるという姿勢でチャレンジしてください。なお4年次には卒業研究にチャレンジしてもらいます。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、平常点(レジュメ、報告内容、討論への参加度など)およびレポートなどを中心にして総合的に評価します。

教科書

共同研究のテキストは、最初のゼミの時間に指定します。

科 専
門 教
育 目 録

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	よし の おさむ 吉野 紀	経A・商3選	4

講義のねらい

経済状況を「かなり」とか「非常に」といった形容詞を用いて言い表わすのではなく、「数量」や「尺度」を用いることでより客観的に提示することが、私の手法であると、かつてケネーが表明していたが、そうした考え方に軸足を置きつつも、規範的(normative)な経済の論理を生かすか否かは、良くも悪くも、生身の人間の、教育で育まれたかあるいは伝統として社会全体に受け継がれてきたかの思想(身体に染みついた考え方であり、容易に変革しえない部分)に依存する。

日本社会の底流にあるこうした部分との接点にも目を向けてゆくことにしよう。

成績評価の方法

日常の授業にとり組む姿勢を評価の基準に置く。

教科書

開講時に指示する。

その他

「卒業研究」併設。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	わた なべ けい いち 渡 邊 恵 一	経A・商3選	4

講義のねらい

本演習では、近現代日本の経済史・経営史に関する研究を行なう。演習Ⅱで輪読する文献は、もう少し読みごたえのある専門書へとステップアップしたい。
文献輪読と並行しながら、グループ単位での共同研究にも着手できればと思っている。テーマは、参加者と相談の上で決定したい。

講義の内容・授業スケジュール

学生が主体となったレポート（報告）&ディスカッション（討論）形式を基本とする。事前に図書館で関連文献を参照するなど、演習Ⅰ以上に能動的な参加姿勢が求められる。また、後期には「卒業研究」の大まかな構想を発表してもらうので、あらかじめ計画的に準備しておくこと。学年間の交流も随時行う予定である。

履修上の留意点

授業時間だけでなく、合宿、コンパなどを含めたゼミ活動全般への積極的な参加が求められる。アルバイトやサークル活動との調整がつけられない人は受講を遠慮されたい。
演習Ⅲでは、「卒業研究」を併設する。

成績評価の方法

平常点。必要に応じてレポートを課すこともある。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

演習の中で、その都度紹介する。

その他

この3月までの9年間は鹿児島大学で日本経済史を教えていました。駒澤大学でも、雰囲気の良いゼミを作り上げていきたいと思っています。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
インターンシップ	あま の かつ み 浅 野 克 巳	経A3選 (15入学生のみ)	2

講義のねらい

インターンシップとは、学生が、在学中に、企業や各種団体などで〈就業（現場）体験〉をすることです。インターンシップによって、実社会＝現場の実態を知り、自らの専攻分野や関心分野についての具体的な知識を豊富にし、適性を的確に判断しながら、職業の選択や人生設計における主体性と問題解決能力の強化を図ろうとするものです。大学での普段の学習方式とは異なる〈体験学習〉で得たものはきっと一つの貴重な生きた知識になるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

- ・～4月——演習（Ⅱ）担当教員・受け入れ先・本人の3者間で実施についての基本的な合意
- ・4月——履修登録
- ・7月——事前研修
- ・8～9月上旬——就業（現場）体験（2週間程度）
- ・9月——事後研修（レポート作成など）

履修上の留意点

- (1) インターンシップでは、「3者」の間の確実な信頼関係の構築が大前提になります。したがって、受け入れ予定先の判断などで実施できなくなる場合もあります。
- (2) スケジュールのうちとくに就業（現場）体験は、受け入れ先の都合で時期・期間が当初の予定と変わることがあります。

成績評価の方法

受け入れ先からの報告と事後研修で提出するレポートなどで評価します。

教科書

事前研修・事後研修で必要な資料などを配付します。
また、受け入れ先から必要な資料・文献などが配付されることもあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
インターンシップ	あ べ 部 <small>ひろし</small> 弘	経 A 3 選 (15入学生のみ)	2

講義のねらい

インターンシップとは、学生が、在学中に、企業や各種団体などで<就業（現場）体験>をすることです。インターンシップによって、実社会＝現場の実態を知り、自らの専攻分野や関心分野についての具体的な知識を豊富にし、適性を的確に判断しながら、職業の選択や人生設計における主体性と問題解決能力の強化を図ろうとするものです。大学での普段の学習方式とは異なる<体験学習>で得たものはきっと一つの貴重な生きた知識になるはずです。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・～4月——演習（Ⅱ）担当教員・受け入れ先・本人の3者の間で実施についての基本的な合意
- ・4月——履修登録
- ・7月——事前研修
- ・8～9月上旬——就業（現場）体験（2週間程度）
- ・9月——事後研修（レポート作成など）

履修上の留意点

- （1） インターンシップでは、「3者」の間の確実な信頼関係の構築が大前提になります。したがって、受け入れ予定先の判断などで実施できなくなる場合もあります。
- （2） スケジュールのうちとくに就業（現場）体験は、受け入れ先の都合で時期・期間が当初の予定と変わることがあります。

成績評価の方法

受け入れ先からの報告と事後研修で提出するレポートなどで評価します。

教 科 書

事前研修・事後研修に必要な資料などを配付します。
また、受け入れ先から必要な資料・文献などが配付されることもあります。

科 専
門 教
目 育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
インターンシップ	お ぐり <small>なが</small> 栗 崇 資	経 A 3 選 (15入学生のみ)	2

講義のねらい

インターンシップのねらいは、企業や団体での現場実習を通して専門的な就業体験をすることにあります。受講生の自覚と責任がきびしく要求される科目です。

講義の内容・
授業スケジュール

- 次の予定で進めます。
- 4月～6月 ビジネスインターンシップの講義を受講
 - 7月 インターンシップ先の決定
 - 8月末～9月上旬 2週間程度のインターンシップ研修
 - 9月～10月 研修後のレポート作成

履修上の留意点

このインターンシップは私の演習Ⅱに所属する経済学科の学生しかとれません。演習の中で希望者と相談したいと思います。

成績評価の方法

事前の講義への出席点とインターンシップ研修および事後のレポートで評価します。

教 科 書

講義の際に必要な資料を配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
インターシップ	さいとう 藤 正 齊 藤 正	経A3選 (15入学生のみ)	2

講義のねらい

社会や産業の各分野の専門化が進み、他の人がどんな仕事をしているのか分かりづらくなってきています。さらに、テレビや情報機器の発達で断片的知識や印象は持てても、実感が伴わず、将来の進路について具体的なイメージを描くことが難しい時代となっています。インターシップは現実の職場を体験することで、自分の適正を発見し、職業や社会について再認識し、将来像を描くことができるような契機となることを目的として行われます。

講義の内容・授業スケジュール

4月までにインターシップの希望と受け入れ先の調整を進めます。
4月に履修登録。
7月に事前研修。
8月から9月上旬にかけて就業体験（2週間程度）
9月事後研修（レポート作成）など

履修上の留意点

受け入れ先や研修の日程など調整作業が必要です。それ自体、研修の一部と考えてください。

成績評価の方法

受け入れ先からの報告と、事後研修レポートで評価します。

教科書

必要な資料などは随時配布します。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
インターシップ	しみず たかし 清 水 卓	経A3選 (15入学生のみ)	2

講義のねらい

社会や産業の各分野の専門化が進み、他の人がどんな仕事をしているのか分かりづらくなってきています。さらに、テレビや情報機器の発達で断片的知識や印象は持てても、実感が伴わず、将来の進路について具体的なイメージを描くことが難しい時代となっています。インターシップは現実の職場を体験することで、自分の適性を発見し、職業や社会について再認識し、将来像を描くことができるような契機となることを目的として行われます。

講義の内容・授業スケジュール

4月までにインターシップの希望と受け入れ先の調整を進めます。
4月に履修登録。
7月に事前研修。
8月から9月上旬にかけて就業体験（2週間程度）
9月事後研修（レポート作成）など

履修上の留意点

受け入れ先や研修の日程など調整作業が必要です。それ自体、研修の一部と考えてください。

成績評価の方法

受け入れ先からの報告と、事後研修レポートで評価します。

教科書

必要な資料などは随時配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
インターンシップ	しろ 代 田 じゆん 純	経 A 3 選 (15入学生のみ)	2

講義のねらい

対象は代田ゼミ所属の学生。税理士事務所、その他で夏季休暇等で補助業務に従事する。

講義の内容・
授業スケジュール

簿記、情報処理の基礎知識を生かした業務に従事する。

履修上の留意点

簿記、情報系の資格取得者が優先される。言葉使いなど、社会性を持つ学生に限定される。

成績評価の方法

出席、レポートで評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
インターンシップ	とく なが とし あき 徳 永 俊 明	経 A 3 選 (15入学生のみ)	2

講義のねらい

インターンシップとは、学生が、在学中に、企業や各種団体などで〈就業（現場）体験〉をすることです。インターンシップによって、実社会＝現場の実態を知り、自らの専攻分野や関心分野についての具体的な知識を豊富にし、適性を的確に判断しながら、職業の選択や人生設計における主体性と問題解決能力の強化を図ろうとするものです。大学での普段の学習方式とは異なる〈体験学習〉で得たものはきっと一つの貴重な生きた知識になるはずです。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・～4月——演習（Ⅱ）担当教員・受け入れ先・本人の3者の間で実施についての基本的な留意
- ・4月——履修登録
- ・7月——事前研修
- ・8～9月上旬——就業（現場）体験（2週間程度）
- ・9月——事後研修（レポート作成など）

履修上の留意点

- （1）インターンシップでは、「3者」の間の確実な信頼関係の構築が大前提になります。したがって、受け入れ予定先の判断などで実施できなくなる場合もあります。
- （2）スケジュールのうちとくに就業（現場）体験は、受け入れ先の都合で時期・期間が当初の予定と変わることがあります。

成績評価の方法

受け入れ先からの報告と事後研修で提出するレポートなどで評価します。

教 科 書

事前研修・事後研修に必要な資料などを配付します。
また、受け入れ先から必要な資料・文献などが配付されることもあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
インターンシップ	とも まつ よし ひこ 友 松 憲 彦	経 A 3 選 (15入学生のみ)	2

講義のねらい

インターンシップとは、学生が在学中に企業や各種団体で就業体験し、単位認定をする科目です。これによって実社会（現場）の実情を知り、自分の専攻分野や関心領域についての知識を豊富にし、大学で学んだ理論や知識を活かした実践的な能力を身につけます。それは将来の職業選択や人生設計、あるいは問題解決能力を高めることにもつながります。

講義の内容・
授業スケジュール

企業や各種の団体や組織で2週間程度の就業体験をします。

成績評価の方法

受け入れ先からの報告、事後研修で提出するレポート等で評価します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 Ⅲ	あさの かつみ 浅野 克己	経A・商4選	4

講義のねらい

演習Ⅱの継続として以下の内容を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 現代日本経済システムの特徴 2. 日本の企業と産業組織 3. 日本の企業システム
4. 市場と取引コスト 5. 情報の経済分析 6. ネットワーク外部性 7. 巨大企業の誕生と「取壊通増」の波 8. 技術進歩と研究開発 9. 知的財産権と企業 10. 構造改革と日本経済 11. メインバンクシステムと資本市場 12. 日本企業とコーポレートガバナンス

履修上の留意点

演習は講義と違い学生諸君の参加によってはじめて成り立つ。授業には必ず出席することはもとより、授業はディスカッション形式で行うので、必ず予習をしておくことが大事。また、エクセルを使った経済分析やシミュレーションも行うので「情報センター」を利用して活用できるようにしておくこと。

成績評価の方法

出席率、授業態度、レポートの内容等を総合して評価する。

教科書

長岡・平尾『産業組織の経済学』（日本評論社）1998年
ポール・ミルグロム＝ジョン・ロバーツ『組織の経済学』（NTT出版）1997年
小田切宏之『企業経済学』（東洋経済新報社）2000年

参考書等

内閣府『経済財政白書』その他の資料については授業の中で指示する。

その他

卒業研究 有

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 Ⅲ	あべ ひろし 阿部 弘	経A・商4選	4

講義のねらい

日本経済の基本的枠組みの把握を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- * 日本経済論のテキストを読む。
- * セミナール参加者の各自のゼミ論の作成・報告をおこなう。
- * 11月末から12月にかけてゼミ論の発表会をおこなう。
- * 春と夏の2回の合宿をおこなう。
- * 2月上旬にゼミ論の作成をおこなう

履修上の留意点

ゼミナールであるから出席・報告を重視する。

成績評価の方法

出席・報告などを総合的に評価する。

その他

卒業研究を併設する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	あらき よしひろ 荒木 勝 啓	経A・商4選	4

講義のねらい

経済変動や数理ファイナンスなどのモデルをコンピュータ上でシミュレートするというテーマに向けて様々なコンピュータ技法をマスターしていく。

講義の内容・授業スケジュール

4年生は経済変動モデルや数理ファイナンスモデルを構築していく。昨年度は回帰分析モデル、移動平均モデルを使い株式の売買シミュレーションを行なった。

成績評価の方法

オリジナルモデルの作成

その他

C言語やコンピュータシミュレーションの実際をマスターした学生は、就職の際に圧倒的に希望の会社、職種につくことができるというのが実情である。DTPの技能についても同様である。本ゼミとは、そうしたプロフェッショナルな技能を身に付けた上で、その技術をもとにはじめてオリジナルな自己表現をすることができるという現実を知る場であると心得て欲しい。

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	あり い ゆきお 有 井 行 夫	経A・商4選	4

講義のねらい

現代日本社会は、経済問題にとどまらず、実に様々な社会問題をかかえています。少子高齢化、過労死、地域社会の荒廃、犯罪の増加、子供たちの学力の低下から、地球温暖化対策や地震災害対策にいたるまで容易に列挙することができますね。これら様々な社会問題の根底には実は企業中心社会という特殊な社会編成原理がすわっています。逆に様々な社会問題は企業中心社会の諸相であり、諸断面なのです。関心のある社会問題を自由に選んでその根底に潜む企業中心社会をえぐりだしてみましょう。演習Ⅰと演習Ⅱとの発展研究がこれです。演習Ⅲでは、以上の観点から卒業研究をまとめます。

成績評価の方法

平常点（出席、レポート、発言）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	いい だ やす ゆき 飯 田 泰 之	経A・商4選	4

講義のねらい

演習のテーマは「日本経済への実証的アプローチ」である。近年、経済問題にとどまらずビジネス・社会・政治分野においても経済学的な思考は必須の教養になっている。そして、自身の意見を発表し、説得する（つまりは「自分がわかっている」ことを人に伝え、他の人を「納得させる」）際には十分な実証的根拠を示し、聞き手を考慮した発表を行うことが必要とされる。本演習は「経済理論の理解」「統計を用いた証拠づけ」「プレゼンテーション能力」の3つを柱に、「使える経済学」を身につけることを目標としたい。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰ・Ⅱでの学習内容を継続的に発展させ、卒業論文またはゼミ論文の形で4年間の学習成果をまとめることを最終目標とする。

履修上の留意点

「経済原論Ⅱ 微观経済学・マクロ経済学」「経済政策」等関連科目をあわせて履修することが望ましい。また、連絡のため駒澤大学総合情報センターのアカウントを取得しておくこと。

成績評価の方法

出席を中心に、発表内容・発言・ゼミへの貢献から判断する。

教科書

教科書は開講時に協議する。

参考書等

テキストのみにこだわらずゼミ生の興味に沿った論文を取り上げていく。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 Ⅲ	いし かわ じゆん じ 石 川 純 治	経A・商4選	4

講義のねらい

卒業論文の指導を行います。

講義の内容・授業スケジュール

夏休み中に、卒業論文のテーマおよびおよ章別構成を仕上げる。後期になってそれを発表しながら完成させていくという作業をします。

履修上の留意点

成績評価の方法

卒業論文の内容評価。

教科書

その都度指示します。

参考書等

その都度指示します。

専 科
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 Ⅲ	いし かわ ゆう じ 石 川 祐 二	経A・商4選	4

講義のねらい

企業においては、会計情報が利用される場合、それによって様々な目的が果たされる。その目的と会計上の手法との関係を探ることで、会計が社会的な諸関係の中でいかなる意味を持つものであるのかを明らかにしたい。そのことによって、社会現象のもつ意味を考えるための視点を養うことに努めたい。

具体的には、「卒業研究」の論文作成に取り組むことで、社会現象を分析するための視点を身につけてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅲでは、ゼミ生各自が研究テーマに関する調査・分析を進め、それを基に「卒業研究」を作成する。

履修上の留意点

積極的に参加すること。また、ゼミ生が相互に協力しあい、楽しいゼミ運営を行ってもらいたい。また、「卒業研究」を開設する。

成績評価の方法

特に出席を重視するが、報告内容等も含め、総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。ただし、各自の研究に必要な書籍を利用すること。

参考書等

必要に応じて紹介する。

そ の 他

合宿その他のイベント等については、話し合いで決定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	岩 ^{いわ} 下 ^{した} 弘 ^{ひろし}	経A・商4選	4

講義のねらい

3年間のゼミのテーマは流通・流通政策の国際比較である。2年次には日本における流通問題を研究対象にし、3年次では国内の流通政策、4年次では流通政策の国際比較を対象とする。多国籍化している大手小売資本の企業行動＝経営戦略とそれに対する海外諸国の公共政策を、日本の政策と比較しながら検討する。
小売資本に対する公共政策の国際比較

講義の内容・授業スケジュール

テキストの輪読あるいは報告。卒論は別に指導。

履修上の留意点

ゼミは参加することに意味がある、ということを忘れないこと。

成績評価の方法

ゼミ、合宿、コンパ等への出席およびレポートの提出回数により評価。

教科書

必要に応じて指定。

参考書等

その都度指示。

その他

卒業研究 有

科 専
門 教
育 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	岩 ^{いわ} 波 ^{なみ} 文 ^{ふみ} 孝 ^{たか}	経A・商4選	4

講義のねらい

現代の企業は急速なIT革新の進展や企業活動のグローバル化に伴って、グローバルな事業の再構築を展開しています。近年では、企業合併もタイムラーとクライスラーのようにグローバルなレベルで展開しており、それが業界再編を加速しています。その一方で、わが国では、「バブル経済」崩壊以降の不況下で、経営破綻、不法融資、企業経営上の不祥事などによる経営の行き詰まりなどの問題も続出しています。本演習では、コーポレート・ガバナンスと経営システムをテーマとして、現代企業経営における戦略展開の課題を多面的に検討するとともに、企業経営のあり方、すなわち公正・効率的な経営システムの構築に関連してコーポレート・ガバナンスの構造について検討していきたい。これらを通じて、現代の企業経営の課題と展望を追究していきます。

講義の内容・授業スケジュール

各ゼミ生の「ゼミ論文」あるいは「卒業研究」報告を中心に討論し、「ゼミ論文」・「卒業研究」の作成に取り組みます。

合宿では、各ゼミ生のゼミ論文・卒業研究テーマの報告とともに、現代の企業経営が抱える諸問題について討議していきます。

履修上の留意点

ゼミナールは、受講生の主体的な学びの姿勢にもとづいて運営されます。ここでは専門の学習とともに、自らの課題を発見し、問題意識を深めていくという積極的な学習スタイルが求められます。受講の際には企業経営をめぐる諸問題について問題意識を持ちゼミナールに参加してもらいたい。

成績評価の方法

ゼミへの出席、発表内容、積極的な討議への参加など平常点による総合評価を行います。

教科書

開講時に指定します。

参考書等

必要に応じて指定します。

その他

「卒業研究」を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 Ⅲ	江 ^え 上 ^{がみ} 哲 ^{さとし}	経A・商4選	4

講義のねらい

卒業論文作成のためのゼミを進めます。各自の問題意識をまず明確にし、それについて各自が議論し、お互いの卒業論文の内容を高めてゆこうと思います。

講義の内容・授業スケジュール

各自の卒業論文を章立などを含め発表し議論しながら進めます。

成績評価の方法

卒業論文の内容を評価します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 Ⅲ	大 ^{おお} 石 ^{いし} 雄 ^{ゆう} 爾 ^じ	経A・商4選	4

講義のねらい

2年次・3年次の活動成果をゼミ論文（卒業研究）としてまとめること、そのための準備と執筆が主な活動となる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、各自就職活動に専念し、自分の性格や能力に適した、やりがいのある仕事や就職先を確保するために努力する。

後期には、卒業論文作成のために詳細なレジュメを作成し、執筆にとりかかる。提出された論文は、ゼミ活動の思い出として残るよう、『経済学ゼミ論集』（大石ゼミ発行）にまとめられる。

成績評価の方法

原則として平常点であるが、「卒業研究」が提出されない場合には、演習Ⅲの単位を取り消すことがある。

そ の 他

- ①「卒業研究」を併設する。
- ②コース制との関連：いずれのコースを履修してもよい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 Ⅲ	大 ^{おお} 吹 ^{ぶき} 勝 ^{かつ} 男 ^お	経A・商4選	4

講義の内容・授業スケジュール

現代日本企業の物流に係わる諸問題をテーマとして論文を作成することを課題とする。「演習Ⅱ」のテーマの、より高度な内容とする。

成績評価の方法

ゼミ論文の提出によって成績を評価する。「卒業研究」も併せて開講する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	小栗崇資	経A・商4選	4

講義のねらい

新規募集せず。

講義の内容・授業スケジュール

各自の研究テーマについて調査・研究を進め、卒業研究に結実するように指導したい。

成績評価の方法

総合的に判断する。①出席状況、②分担報告、③レポート。

教科書

演習の中で指示。

参考書等

演習の中で指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	小杉修二	経A・商4選	4

講義のねらい

問題の解決学習をする予定である。人類が工業文明の成果をひきつぎながら、衣食住の需要を満ち、なおかつ、楽しく暮らせる社会について考えられないかどうか検討してみよう。ゼミは学生のレポートと討論が中心になるが、その実現は学生諸君の熱意に頼るところが大きい。最近、本ゼミで重視しているのは、対立する正反対の意見を素材とするディベートである。これは仮想討論ではあるが、こうした経験を通じて、自分の意見を表明したり、他の意見とぶつかり合う訓練として役立つことを期待している。諸君の意欲的な参加を待つ。

成績評価の方法

出席率70%以上を中心とする。

その他

「卒業研究」を併設する。

科専門教育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	小林 正人 <small>こばやし まさと</small>	経A・商4選	4

講義のねらい

テーマ：「戦後の日本経済と産業発展」
このゼミでは「卒業研究」（卒業論文のみ）の作成を指導します。これにより各ゼミ生は、4年間の経済学部での学習と研究を集大成します。
3年生までのゼミでの調査や研究をふまえて、各ゼミ生が自発的に研究したい産業ないし業種についてテーマを決め（一般的な産業問題、あるいは生活経済の問題でもよい）、その特徴、歴史や現状、問題点や課題などを卒業論文にまとめます。

講義の内容・授業スケジュール

「卒業論文の提出までに必要な段階」として、文献研究発表、参考文献一覧の提出、論文の予定目次と題名の発表、卒論の本論の中間発表、指導教員による最終稿の事前審査などがあります。
審査を通った論文は、卒業論文集（仮称『現代産業学生論集』）として編集し、印刷、製本します。したがって、卒業論文の最終稿はワープロにより一定の書式に従って提出します。
詳細は下記のウェブサイトの「ゼミのひろば」に掲示します。<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>

履修上の留意点

ゼミの円滑な運営のためのルールに従うこと。

成績評価の方法

上記の「卒業論文の提出までに必要な段階」を踏んだかどうかを評価します。

参考書等

各ゼミ生が選んだ文献以外に、ゼミ全体で必要な参考文献があれば、授業中にゼミ生と相談して決めます。

その他

「卒業研究」（卒業論文のみ）を併設。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	齊藤 正 <small>さいとう ただし</small>	経A・商4選	4

講義のねらい

演習Ⅰ・Ⅱの集大成としてゼミナール論文の作成をめざします。テーマは自由ですが、第1回目の授業までにテーマを確定してもらいます。

講義の内容・授業スケジュール

前期は就職活動等で全員が揃うことは難しいですが、就職情報を交流したり、新聞記事を題材に議論するのが慣例となっています。就職活動を通じて社会への関心が深まったり、勉学への新たな意欲が湧いてくるケースも少なくなく、飛躍的に成長できる時期でもあります。
後期はゼミ論の執筆に向けて、報告・議論を積み重ねていきます。

履修上の留意点

4年生は学生時代の締めくくりの年です。勉学面でも、生活面でも社会人への備えが求められます。

成績評価の方法

年間を通した、ゼミナールへの参加の積極性を重視して評価します。

その他

「卒業研究」を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	さとなか つねし 里中 恆志	経A・商4選	4

講義のねらい

この演習のテーマは「国債を抱えた財政」である。各自の問題意識を財政経済の視点からとらえて検討思考し、主張を「卒業研究」の論文にまとめてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

6月段階で各ゼミ生の卒業研究の論題が決まるので、その後は順番を決めて、順次、論文の中間報告を求め、問題点を指導する。12月には「卒業研究」の論文発表会の機会を作る。

履修上の留意点

この演習の演習の関連科目として「国民所得論」、「価格理論」、「財政学」の履修が望ましい。

成績評価の方法

「演習Ⅲ」については平常点により成績評価する。「卒業研究」については論文により評価する。

教科書

富田俊基『国債累積のつけを誰が払うのか』（東洋経済新報社）ISBN 4-492-62051-6

参考書等

里中恆志＝八巻節夫編著『新財政学』（文眞堂）3,200円 ISBN 4-8309-4195-2 C3303

その他

授業の方法は「卒業研究」の論文指導が中心になる。

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	しみず たかし 清水 卓	経A・商4選	4

講義のねらい

自分が決めたテーマでゼミ論文あるいは「卒業研究」を作成するのが課題です。一生の思い出になるよう、大学時代の学習の総まとめとして真剣に取り組んでもらいたいと思います。

履修上の留意点

演習Ⅰを参照のこと。

成績評価の方法

演習Ⅰを参照のこと。

教科書

演習Ⅰを参照のこと。

その他

演習Ⅰを参照のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	しろ たじゅん 代田 純	経A・商4選	4

講義のねらい

金融についての研究

講義の内容・授業スケジュール

就職活動と両立させて、卒論完成をめざす。

成績評価の方法

卒業論文の提出、内容で評価する。

教科書

特に決めない。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	すずき のぶ へい 鈴 木 伸 枝	経A・商4選	4

講義のねらい

公共経済学のゼミで学んだ知識を生かし、自らの興味をもった事柄について論文を書いてもらいます。

成績評価の方法

出席状況・予習状況・討論への参加度・レポートにより評価します。

教 科 書

受講者と相談して決定します。

そ の 他

「卒業研究」を併設します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	せとおか ひろし 瀬戸岡 紘	経A・商4選	4

講義のねらい

「グローバル化」と「デジタル化」の時代に即応して、経済、社会、経営、文化など各自の学習と研究の成果を卒業論文にまとめます。何をテーマにとりあげるかは、各自の希望で決定します。現代経済過程の成功例、失敗例どちらも最も豊富にもっているアメリカの経験を参照するところから、意外な結論をひきだせるなら卒論は成功といえましょう。

講義の内容・授業スケジュール

卒業論文の検討と完成が年間の最大の課題です。各自の論文の構想は、ゼミ生全体からのコメントを受けることでねりあげられます。他方、各ゼミ生は他人のテーマに関与することで耳学問としての幅広い知識と教養を得ることができます。また数百人におよぶ当ゼミ卒業生との交流をつうじて、就職・進学・留学の準備をします。そのほか、日本学生経済ゼミナールへの後輩の参加を後援したり、インターネットや遠隔授業をつうじた海外の学生との交流をリードしたり、工場見学などゼミの各種イベントにスーパーバイザーとして後輩を支援します。

成績評価の方法

ゼミ活動にたいする各自のあらゆる態度を総合して評価します。最大の眼目は本人のやる気です。

教 科 書

卒業論文の作成に必要なあらゆる文献が教科書になりますが、それは個々人で異なります。

参 考 書 等

卒業論文の作成に必要なあらゆる文献が参考書になりますが、それは個々人で異なります。

そ の 他

このゼミは、卒業生のほか、外部の人も参加・協力してくれることの多いゼミです。このゼミにかんする一層くわしい情報は、ゼミに直接きて見学したり問いあわせたりすることのほか、ゼミ生作成による下記のホームページにアクセスしてください。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~setooka/>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	ちよん 鄭 ちやん よん 章 淵	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

研究テーマは「現代東アジア経済研究」です。目的は、ゼミ生諸君に第二次世界大戦後の東アジア経済の発展過程について理解を深めてもらうことです。

ここでいう東アジアとは、東北アジアと東南アジアを合わせた地域を想定していますが、同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭に、アジア NIEs (新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール)、ASEAN 3 (タイ、マレーシア、インドネシア)、中国、その他と続く発展の様は、しばしば「雁行型発展」と称されてきました。

ところが1997年に発生した「アジア通貨危機」を機に東アジア経済は混迷に陥り、専門家の間では先の「雁行形態」に乱れが生じているという指摘も出ています。今日の事態は、従来の研究スタイルに見られたように東アジア経済をただ「発展」の側面からのみ捉えるのではなく、「発展」と「危機」の両側面を視野に入れたアプローチが必須であることを示しているのではないのでしょうか。

日本の経済的パートナーとして今後ますます東アジア諸国の重要性が増していく現状において、特に若い世代である皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言えます。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰ・Ⅱでの学習を基礎に「卒業研究」の作成をします。ゼミ生各自のテーマに従い個別指導を行います。

成績評価の方法

出席率、卒業研究の内容を参考に評価します。

そ の 他

「卒業研究」を併設します。

専
門
教
育
目
録

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	とく なが とし あき 徳 永 俊 明	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国(発展途上諸国：第3世界)の国際関係と其中での人々の生活の問題を研究します。第3世界の社会・経済や人々の暮らしを研究しながら、日本・日本人・私たち一人ひとりの人生・生活を考えます。国際政治・経済の中での人間と人間の関係、とくに第3世界の人々が直面しているさまざまな豊かさや貧困、そして彼らのたたかひについての検討を通じて、日本・日本人・私たち自身の豊かさや貧困を考えるのです。

春・夏2回の全学年そろってのゼミ合宿のテーマは「人生」です。幸福とは？ 自由とは？ 愛するとは？ 一人ひとりの意見がみんなからまじめに受けとられ、一人ひとりがみんなの意見を参考にして考えを深めます。

ゼミ最大のイベントは、これも全学年そろっての東南アジアへの研修旅行(自由参加)。これまでフィリピン・ベトナム・インドなど11か国へ行きました。いわゆる「観光旅行」ではなく、人々と交流し、人々の生活とその向上への努力や文化などを見聞することで、アジアの人々を知り、私たち自身の生活と考え方を再検討します。この旅で、私たちの頭のなかの〈世界〉は一挙に広がり、深くなります。

第3世界の人々と自分の現実のなかに〈夢〉を求め、見つけましょう。

講義の内容・授業スケジュール

上の趣旨に沿って、学生諸君と相談しながらすすめます。

履修上の留意点

何よりも〈考える〉努力が大切です。〈考える〉努力を惜しまない諸君を求めます。

成績評価の方法

〈考える〉努力をしたかどうかをもって評価します。

参 考 書 等

討論のための資料・〈考える〉ための材料は、学生諸君と相談しながら用意してすすめます。

そ の 他

〈考える〉努力の成果を「卒業研究」としてまとめます。(希望者のみ)

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	ともまつよしひこ 友松憲彦	経A・商4選	4

講義のねらい

演習Ⅱ（3年）で開始した研究を継続発展させ、卒業研究をまとめます。

講義の内容・
授業スケジュール

文献講読と卒業研究の中間報告を並行しておこないます。

履修上の留意点

「経済史」、「西洋経済史」「日本経済史」「商業史」等をあわせて履修することが望ましい。

成績評価の方法

平常点（報告や討論の状態）と出席で評価します。

教科書

最初の授業で指示します。

その他

卒業研究を併設します。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	ながすみみつあき 中 濟 光 昭	経A・商4選	4

講義のねらい

進路指導と卒業論文の作成を行います。就職のための個別指導や合宿、学外の研究発表、展示会見学など、様々な活動を通じて、社会人として必要なことを学びます。この演習の成果は、情報産業を始めとする様々な業種への就職に結びつきます。

講義の内容・
授業スケジュール

就職活動と並行して、
・研究計画書作成、論題の提出
・レジュメ作成、レポーティング、発表
を行います。

履修上の留意点

・合宿、課外イベント、サブゼミは、原則として出席していただきたいと思います。資格取得の自主ゼミも皆さんの希望によって実施しています。積極的なゼミ活動を期待しています。
・追加募集は致しません。
・メールを読む、ワープロを打つといったことがゼミ活動上必須です。

成績評価の方法

出席と課題提出、夏季合宿、学年末に行う発表とレポート、ゼミ運営上の雑務、イベントへの参加、資格取得を総合評価します。

教科書

別途指示

参考書等

別途指示

その他

ゼミはパソコン教場を使用しますので、本ゼミを受講したい人は、総合情報センターへ利用登録を行う必要があります。卒業研究（論文及び作品）を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	ひやく た よし はる 百田 義治	経A・商4選	4

講義のねらい

現代日本の企業が直面するビジネス・マネジメント（経営管理）に関わるテーマを中心に、グローバル化・情報化（IT革命）の進展など経営環境が激変するなかで21世紀を迎え大きく変貌する日本企業とその経営の実態をリアルに学び、将来を展望します。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰ・Ⅱの継続です。各人のテーマについて「卒業研究」に取り組みます。

履修上の留意点

経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。

成績評価の方法

出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。

教科書

未定

参考書等

未定

その他

「卒業研究」（4単位）を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	ふく はら よし のぶ 福原 好喜	経A・商4選	4

履修上の留意点

原則として4年生の募集は行わない。

成績評価の方法

成績は出席点とレポートでつける。

参考書等

福原好喜『総理に忠告す——日本経済危機水域に入れり——』

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	ふる さわ こう そう 古沢 紘造	経A・商4選	4

講義のねらい

4年演習〔アフリカの社会と文化Ⅲ〕卒業作品を完成する。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 卒業作品について2回の中間発表会と、公開発表会を行う。同時に作品の展示会を開催する。
- (2) アフリカをテーマにしたユニークな雑誌を発行する。
- (3) アフリカに関連した企画のサポーター役を務める。

成績評価の方法

作品発表、ゼミ活動への参加に基づき総合的に評価する。

その他

「卒業研究」を併設する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	堀龍二	経A・商4選	4

講義のねらい	演習ⅠとⅡの履修を前提にし、その集大成として各自が興味あるテーマに関して論文ないし本格的レポートを作成することを目指す。テーマは広く労働に関連する問題が望ましい。
講義の内容・授業スケジュール	各自のテーマに沿って、調べたことや纏めたことを、逐次報告してもらい、全員で討論・アドバイスをする形式で進める。あわせて、問題意識の深め方、情報収集の仕方・整理、論理的な記述の方法、レポートや論文の作法なども身に付けていくことにする。
履修上の留意点	興味をもった問題の検討をまとめるという作業は考えることそのものである。そうした作業は必ずや役に立つ。
成績評価の方法	ゼミでの積極的な姿勢、レポート・論文への取り組みと成果で評価します。
教科書	ゼミ生と話し合って決定します。
参考書等	適宜指示します。
その他	「卒業研究」を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	溝手芳計	経A・商4選	4

講義のねらい	食品の安全、南北問題、環境問題、過疎地域問題といったさまざまな問題が、近年、注目を集めています。これらは、農業のあり方、特に多国籍アグリビジネス（農業・食料関連産業）の影響力の増大、WTO体制への移行などと大きく関わっています。ゼミでは、上に掲げたような諸問題の理解と対策の手がかりを求めて、一緒に考えていきたいと思います。演習Ⅲでは、ゼミ生自身の考えを整理し、表現する力の取得を目指します。
講義の内容・授業スケジュール	テキストの輪読とディスカッションを中心に進めます。レジュメの作成、発表のやり方、議論の進め方など、集団学習のスキル取得も重視します。
履修上の留意点	ゼミは集団学習、相互修練の場です。世の中、答えが一つと決っていません。学生相互の疑問の出し合い、教えあい、意見交換を大切にしてください。“みんな違ってみんないい”でいきましょう。
成績評価の方法	出席状況、レポートと発表の内容・態度、議論への参加状況などを総合的に評価します。
教科書	ゼミ生の希望を聞いて決定します。
参考書等	必要に応じて紹介します。
その他	「卒業研究」を併設します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	みつ 光 岡 博 美	経A・商4選	4

講義のねらい

演習Ⅰ、Ⅱの勉強をもとに、総仕上げとしてのゼミ論文を完成させることが演習Ⅲの最大の目的です。ゼミ論文については、その内容はもとより、論文としての形式や体裁についても指導します。なお、「卒業研究」を併設します。ゼミ論文の完成の直前の時期には合宿（2泊3日程度）を行い、また、ゼミ論文の発表会の場とします。ゼミでの勉強の総仕上げとしての意味をもつ合宿です。全員参加を原則とします。

成績評価の方法

ゼミ論文の完成度によって評価します。ゼミ論文未提出者は単位を認定しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	もり 森 岡 仁	経A・商4選	4

講義のねらい

現在世界の人口は60億を超え、増加速度は衰えたとはいえ、開発途上地域を中心になお増加を続けている。しかし、先進諸国では低出生率に伴う少子高齢化問題に悩み、日本も例外ではない。

講義の内容・授業スケジュール

3年次の演習では、これら相反する人口問題を抱える世界の人口を取り上げ、それが社会経済的にどのような問題を具体的に生み出しているのか議論してみたい。

履修上の留意点

休まず出席することが演習履修の第一条件である。

成績評価の方法

平常点

教科書

濱英彦・河野稠果編『世界の人口問題』（大明堂）

参考書等

演習の中で適宜紹介する。

その他

「卒業研究」を併設する。
4年演習
4年次生は追加募集しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	もり 森 田 佳 宏	経A・商4選	4

講義のねらい

本演習は「卒業研究」（卒業論文）の研究報告を中心に行う。卒業論文のテーマは演習Ⅰおよび演習Ⅱにおいて習得した財務会計および監査の知識にもとづき、これらの領域から各人が自由に決定することを原則とする。

講義の内容・授業スケジュール

卒業論文の報告は、テーマの選定、章立ての決定、内容の報告の順に進める。

履修上の留意点

特別な事情がない限り、毎回出席すること。なお、原則として4年生の新規募集は行わない。

成績評価の方法

最終的な卒業論文の内容はもとより、その作成過程における報告内容（レジュメを含む）、さらにはゼミ活動に対する取り組みなどを考慮に入れて総合的に評価する。

教科書

原則として使用しない。

参考書等

演習時に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	谷 敷 正 光 <small>やしきただみつ</small>	経A・商4選	4

講義のねらい

テーマ〔教育経済の研究〕

4年ゼミは、産業人の育成に大きな影響を与えた近代教育の発展を日本経済の構造分析、日本経済の発展との関連において各自が自由に論題を設定して研究し、ゼミ論文を完成することになっています。

講義の内容・授業スケジュール

〔4年ゼミ〕は、就職活動で欠席する人も多数いるので、ディスカッションが難しくなります。したがって文献を使って、人材養成の基礎をなす教育が日本経済の発展と不可分の関係においておし進められてきた過程を検証したいと思います。

〔卒業研究〕は、2年生からゼミで研究してきた集大成として各自が自由に論題を設定し、論文の作成をすすめます。詳細は3年ゼミで説明します。

研究の基礎資料は提供できるものは提供しますが、足りない所はインターネットを利用したり、図書館で資料収集をします。図書館での資料の収集の仕方は、授業中に指導します。

成績評価の方法

基本的には出席、平常でのゼミ活動状況と完成したゼミ卒業論文で評価します。

教科書

尾崎ムゲン『日本の教育改革－産業化社会を育てた130年』（中央公論新社）

参考書等

各自の論題によってその都度お知らせします。

その他

4年ゼミでは、「卒業研究」を開設しますので、希望する人は履修することができます。「卒業研究」の進め方は3年ゼミの終りに具体的に説明します。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	山 縣 弘 志 <small>やまがたひろし</small>	経A・商4選	4

講義のねらい

比較経済論の専門的学習・研究を進め、論文作成をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

3年次から継続。就職活動に取り組みながら、各自の自主研究の発表を行ない、論文の形にまとめていく。

成績評価の方法

出席、発表、討論参加を総合評価する。

その他

「卒業研究」有。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	吉田敬一	経A・商4選	4

講義のねらい

この演習では大学生生活の総決算として各自の問題意識を踏まえて、卒業研究の作成を行いません。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅲでは、これまでの共同研究を踏まえて、卒業研究の作成に向かって、個別指導の形で演習を行いません。

履修上の留意点

演習Ⅲは卒業研究の作成を中心課題としているため、少なくとも演習Ⅱをすでに履修していることが前提となります。

成績評価の方法

出席状況、平常点（卒業研究作成指導への対応姿勢など）、卒業研究の内容を中心にして総合的に評価します。

教科書

使用しません。

参考書等

卒業研究の課題に応じて個別に紹介します。

その他

演習Ⅲでは原則として「卒業研究」を作成することが求められます。

科専門教育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	吉野紀	経A・商4選	4

講義のねらい

基本的な方向は演習Ⅱの延長線上にある。変わりゆくものは事実であり、変わらぬものは美を与えるが、もし演習Ⅱに比べて色彩にいろどりが加わるとすれば、この真実と美の実像をより豊富に示すことにあるかもしれない。

成績評価の方法

日常の授業姿勢を評価の基準とする。

教科書

開講時に指示する。

科
專
門
教
育
目

Ⅲ 他学部履修科目

他学部
履修科目

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックスBの頁を参照してください。(→P.671)

*他学部履修科目は、3年次生以上を対象とします。

他履修科目
学部

Ⅲ. 他学部履修科目

西洋思想史	〈柴野博子〉	449
日本民俗学	〈谷口貢〉	449
時事英語	〈サンダース, L. P.〉	450
地理思想史	〈休講〉	
地形学	〈小池一之〉	450
人口地理学	〈江崎雄治〉	451
文化地理学	〈小田匡保〉	451
応用地理学	〈高木正博〉	452
現代地理学特論	〈佐藤哲夫〉	452
日本史特講Ⅶ〔近代〕	〈熊本史雄〉	453
考古学特講Ⅲ	〈休講〉	
西洋文化史	〈石田恵子〉	453
哲学史	〈山口祐弘〉	454
産業・職業社会学	〈休講〉	
マス・コミュニケーション論	〈川本勝〉	454
社会福祉発達史	〈林千代〉	455
行政法各論	〈金子昇平〉	455
比較憲法	〈西修〉	456
相続法	〈竹中智香〉	457
西洋法制史	〈北野かほる〉	458
英米法	〈北野かほる〉	459
ヨーロッパ政治論(1)	〈中野裕二〉	460
ヨーロッパ政治論(2)	〈中野裕二〉	460
国際政治学	〈小堀訓男〉	461
ヨーロッパ政治史	〈浦田早苗〉	461
地方自治法	〈富井幸雄〉	462
比較政治学	〈三竹直哉〉	463
現代国家論	〈大塚桂〉	464
比較憲法	〈休講〉	
国際経営論	〈茂垣広志〉	465
経営分析論	〈片桐伸夫〉	466
経営情報論	〈休講〉	
情報理論	〈西村和夫〉	467
経営統計	〈長国強〉	468
医療経済学	〈永山くに子〉	469
異文化コミュニケーション	〈奥原淳子〉	470
女性史	〈高嶋めぐみ〉	471
文化概論	〈藪部幹生・井上優・佐藤憲昭・内藤寿子・藤田和美〉	471
メディアと表現	〈松田直行〉	472
時事英語	〈岡本誠〉	472

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋思想史	しばのひろこ 柴野博子	経A・商・経B	4

講義のねらい

カント以後の西洋思想の流れをたどりながら、よりよく生きるための話題を提供したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに古代と中世思想を概観し（4・5月）、その後カントに入ります。前期は、カントの思想を中心に、ドイツ観念論までお話しする予定です。

後期は、ショーペンハウアー、ニーチェ（9・10月）、ベルクソン、デイルタイ（11月）など、生の哲学者の思想を見ていきます。そして最後に、現代の西洋思想を代表するガダマーの解釈学の一端にも触れたいと思っています（12月）。

成績評価の方法

年2回の試験と出席状況、学習態度などを総合して評価します。

教科書

久保陽一・河合淳『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本民俗学	たにぐちみつぎ 谷口貢	経A・商・経B	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。出席を重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

他
履修
科目
部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 英 語	サンダース, L.P.	経A・商・経B	4

講義のねらい

このクラスでは、様々なマスメディア（ドキュメンタリーフィルム、TVニュース、雑誌、タブロイドなど）で使われている英語を通じて、表現や文化を学んでいく。
media studiesのメソッドで行う。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを読み内容を把握し、ビデオを見てエクササイズを行う。後半はディスカッションを行う。

成績評価の方法

年に2回テストを行う。

教 科 書

教科書は使用せずプリントを配布する。

そ の 他

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 形 学	こ い け か ず ゆ き 小 池 一 之	経A・商・経B	4

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く輩出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・
授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである：
前期

地形学の成り立ち、地表を変化させる種々の営力と地形の分類、
地表水の働きと地表の変化（マスウエスティング、種々の河成地形）

後期

種々の河成地形、組織地形、海水の働きと地形、地球内部の力によって形成される地形（火山地形など）、地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点はあまり加味しないが、時に応じて簡単なテストや課題を課す。

教 科 書

小池一之ほか（1998）『地表環境の地学－地形と土壌』（東海大学出版会）2,500円＋税

参 考 書 等

貝塚爽平・小池一之ほか編（1985）『写真と図でみる地形学』（東京大学出版会）4,500円＋税

小池一之ほか訳（1984）『一般地質学2』（東京大学出版会）3,400円＋税

貝塚爽平（1998）『発達史地形学』（東京大学出版会）3,400円＋税

そ の 他

授業は講義形式で最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともにスライド、ビデオなどを使用する。

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
人口地理学	えさき ゆうし 江崎雄治	経A・商・経B	4

講義のねらい

人口現象が社会問題として表出する際には、少子化、高齢化、過密・過疎といった形をとるが、これらの理解のためには、出生、死亡、移動に関する概念や諸指標を理解する必要がある。前期ではこれらに関する基礎的な学習をもとに、日本の人口問題に関する様々な論点について理解を深める。また、地域の人口問題を扱う際には、人口の地域分布変動にもっとも大きな影響を与える地域間の人口移動についての理解が不可欠である。そこで後期では、戦後日本における人口移動の動向を学ぶとともに、移動発生と社会経済的諸要因との関連性について理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

- 〔人口分析の基礎〕人口学的方程式、人口構造の把握（性比、年齢構造）
- 〔少子化問題と出生の分析〕出生の指標（合計特殊出生率）、出生率の低下とその要因
- 〔人口高齢化と死亡の分析〕死亡の指標（生命表、平均寿命）、人口高齢化とその要因

(後期)

- 〔人口移動の概念とデータ〕人口移動の概念、人口移動データとその特徴
- 〔日本国内の人口移動〕戦後日本の人口移動の概観、地方圏と大都市圏の間の人口移動
- 〔日本人の居住地移動〕地方圏出身者の居住地移動プロセス、Uターン移動とその要因
- 〔将来人口の推計〕将来人口推計の理論、コーホート変化率法による人口推計の実際

履修上の留意点

あらゆる地域において、現在の人口ピラミッドの形は将来の地域人口のあり方を大きく規定する。例えば郊外のニュータウンにおいては今後急激な高齢化が不可避である。このような地域人口変化のメカニズムを本講義を通じて理解して欲しい。

成績評価の方法

授業時間内に複数回の試験を実施し、その結果に基づき成績評価を行う。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業時間内に適宜提示する。

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化地理学	おだ まさやす 小田匡保	経A・商・経B	4

講義のねらい

文化地理学の内容は幅広いが、特に宗教地理学の代表的な研究テーマについて研究例に基づき述べる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要
2. 宗教地理学
3. 宗教分布
4. 信仰圏
5. 宗教集落・宗教都市
6. 巡礼・社寺参詣
7. 墓地

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、レポート、試験によって行なうが、試験の点数が基本である。ただし、半分以上の出席と夏休みレポートの提出を必須条件とする。出席不足、レポートが受理されない場合は、単位も認定されない。

教科書

使用しない。

参考書等

授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用地理学	高木正博	経A・商・経B	4

講義のねらい

この科目は地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマを考えている。講義では「河川」を対象とし、これの専門分野である河川工学や農業水利学などの成果をふまえて、地理学として河川をどのように扱うかを考える。河川は、河道だけでなく流域全体を捉えることが必要である。流域(地域)における自然的特性とその土地の人々とのかかわりあいを、水災害・水資源・河川環境などの視点から講ずる。

講義の内容・授業スケジュール

まず、河川の流出に関する基本特性について水文学的に講ずる。つぎに、いくつかの具体的な河川を事例として、利水・災害・河川環境などの視点からそれぞれの河川特性を考える。また、都市の水環境など、川をめぐる現実的な課題について考える。年間の授業内容は下記の通り予定している。

1. 河川と関連学問分野 2. 河川流域の水収支 3. 日本の河川流況特性 4. 河成平野の地形分類と防災 5. 河道治水から流域治水へ 6. 水防の再構築 7. ダムと森林 8. 日本の水利用 9. 農業用水の利用と問題点 10. 渇水とは… 11. 水資源の有効利用 12. 農業用水を考える 13. 多摩川における水利権の変遷 14. 地域用水と環境用水 15. 河川環境など

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

成績評価の方法

試験は、年末の授業最終日に実施する教場試験の1回。その他、夏休みのレポート、授業中の課題など平常点も加算する。

教科書

授業時間にプリントを配布する。

参考書等

配布プリントをとおり随時紹介する。

その他

講義中心。事例紹介のためのスライドやOHP、ビデオも使用する。

他学部履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代地理学特論	佐藤哲夫	経A・商・経B	4

講義のねらい

東南アジアの環境問題について知ると同時に、海外での地域調査の方法について学ぶ授業です。実習的な作業課題を通じて、海外の地形図やリモートセンシング画像を利用する技術も学びます。

講義の内容・授業スケジュール

東南アジアの環境問題について概観しながら、タイでの地域調査を想定して、地形図の読図やリモートセンシング画像の判読、土地利用図の作成などの作業を行ないます。なお希望者がいれば、相談のうえ、タイで巡検を行います。その場合、参加は任意で、成績評価の対象とはしません。

履修上の留意点

課題の作業を行なうために、パソコン操作の初歩の技術(佐藤担当の人文地理学実習程度)が必要です。地図の読図・作図作業の嫌いな人には向いていません。

成績評価の方法

出席状況(50%)と課題(50%)によって評価します。

参考書等

授業に必要な資料は配布します。なお在学中にこの分野の知識・技術をマスターして、就職や進学に生かしたいと考えている人には、下記の参考書は必携です。講義の中でもランダムに参照します。

長澤良太「リモートセンシングによる土地資源評価－東南アジアの土地利用－」(古今書院)

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史特講Ⅶ 〔近代〕	くまもと ほん おほ 熊本史雄	経A・商・経B	4

講義のねらい

第一次大戦から第二次大戦を経て、戦後のサンフランシスコ平和条約締結に至るまでの日本外交につき史料を交えて講述し、その外交方針の根底に潜む思想を解明する。戦前期の外交については、対外機構の改変問題も関連づけながら当該期日本外交の中心であった対中関係を考察しつつ、日本が如何なる途を模索し最終的には戦争に進んでいったのかを検討する。戦後期の外交については、占領下において、当時の外務省さらには戦後日本の政治指導者として大きな役割を担った吉田茂が如何にして日本再生の途を模索したかを、条約締結交渉とその準備過程を通じて検証する。

講義の内容・授業スケジュール

前期：第一次大戦と日本／「新外交」の模索／対中文化政策への視線／ワシントン体制の成立と対米英関係／満州事変から日中戦争へ／日米交渉と太平洋戦争
後期：終戦工作／占領の開始／「自主外交」の模索／平和条約締結の準備／サンフランシスコ平和会議／安保条約と行政協定

履修上の留意点

史料の講読を通じて外交政策の決定過程を追体験して欲しい。外交指導者が下した決断の理由は何か、その根底にある主張とは何か、といった問題意識を常に持つことが重要。

成績評価の方法

前・後期2回の定期試験の成績、および出席状況で評価する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義形式で進め、レジュメと史料を毎回配布する。

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋文化史	いしだ けいこ 石田恵子	経A・商・経B	4

講義のねらい

東洋に対する西洋文化のルーツをたどっていくと、ギリシャ・ローマの地中海世界を経て、古代西アジア地域の文化にまでたどっていくことが出来る。特に西アジアに起源する印章文化の展開を柱として、それにまつわる古代オリエントの歴史、印章の種類、役割の多様性などを紹介しつつ、ヨーロッパ世界に伝えられていった指輪型印章や封ロウをルネサンス時代まで追い、今日まで残る印章の意義を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期はメソポタミアで誕生したスタンプ印章の使用開始から円筒印章の登場、メソポタミアに栄えた円筒印章の変遷、その素材と技術、メソポタミア周辺の印章文化も紹介する。後期は書写材料・文字の変遷による円筒印章の終焉とスタンプ印章の復活、ギリシア・ローマ世界、ビザンチン・イスラム世界、中世ヨーロッパ及びそれ以降の印章及び印章に関わる文化を概観する。

履修上の留意点

広く興味を持って本や展覧会など見るようにすること。

成績評価の方法

出席点と課題レポート、試験

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
哲 学 史	やまぐち まさひろ 山 口 祐 弘	経A・商・経B	4

講義のねらい

カントを源とするドイツ観念論の諸思想は現代に様々な照明を与えてくれる。今日確実な思索を行おうとするならば、繰り返しそこに立ち返ることが求められ、またその意義は尽きない。だが、その発展を一望のもとに収めることはたやすいことではない。その根本にあった問題は何か、それを駆動したものは何か、が問われねばならない。そうした問題論的展開として捉ええた時に、ドイツ観念論は一つの歴史となるのである。本講は、この意味でドイツ観念論に歴史を発見しようとする試みである。カントが提起しかつ後世に残した課題を明らかにし、それが如何なる方向に解決を求めていったかをフィヒテ、シェリング、ヘーゲルを軸として考察する。

成績評価の方法

定期試験は行なわない。小論文を課し、評価する。平常点も加味する。

参 考 書 等

山口祐弘『カントにおける人間観の探求』、『ドイツ観念論における反省理論』（勁草書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マス・コミュニケーション論	かわもと まさる 川 本 勝	経A・商	4

講義のねらい

社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュニケーションの社会的機能、効果、影響過程を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、社会生活とコミュニケーションの関連を考える。私たちの社会生活は、コミュニケーション活動による他者との相互作用によって成り立っている。現代社会におけるメディア状況を整理し、メディア環境の変容とそれらを利用してどのようなコミュニケーション活動が営まれているかを考察する。パーソナル・コミュニケーション、マス・コミュニケーションなど社会的コミュニケーションの特質を講義する。

後期は、マス・コミュニケーション活動が社会や人びとに対してどのようなインパクトや社会的機能を果たしているか、問題点は何かについて論じる。特に、マス・コミュニケーションの受容過程研究を扱いながらその効果、影響について考える。

履修上の留意点

他学部・学科履修ができる科目ですが、他学部・学科の学生は、社会学の科目をすでに履修しているなど社会学の基礎知識を修得しておくことが望ましい。

成績評価の方法

講義中に課する小レポート、出席を配慮し、試験によって行う。

教 科 書

特に使用しない。

参 考 書 等

適宜紹介する。

他履修科目
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉発達史	はやし 林 千代	経A・商・経B	4

講義のねらい

いつの時代にも人々の生活不安は、自然の変化と社会の変動によって生じる。社会の変動期には、常に多くの生活問題が発生し、大多数の人々は、生活困難におちいった。それに対応する社会福祉は一定の歴史的産物であること、そしてその理解に立って本質を把握し、現状と今後の方向を考える力をつけたい。

講義の内容・
授業スケジュール

主に、英国と日本を中心に、資本主義社会の成立とともに生成した社会事業から社会福祉へ至る歩みを講述する。さらに、こんにちの福祉社会をも検証したい。単に事実の羅列ではなく、対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす思想、それらの関連などを立体的、構造的にとらえるというのが本講義の内容である。なお今も存在しつづける慈善（事業）をもとり上げたい。

特に日本の場合、社会福祉（事業）の前段階は、厚生事業といった。きわめて日本の特質を示すものとして深い考察が必要であると考えている。

履修上の留意点

熱心にとり組もうという意欲を持ってもらいたい。

成績評価の方法

最後にレポート提出を課す。

教科書

特に無い。

参考書等

その都度紹介する予定である。

その他

特に無し。

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
行政法各論	かね 金子 昇平	経A・商・経B	4

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない、新たな法分野が続出している。例えば、行政手続法、情報公開法等の制定をはじめ、各行政分野ごとの基本法が整備されようとしている。また現実の行政需要も変化、発達し、その適正化が求められている。

講義は、行政紛争解決の手法として、行政救済法を、主な内容として行う。そこで具体的に、どのような国家賠償事件、行政事件が存在し、何が法律上の問題となっているのか、また、どのように法的解釈を、すべきかについて解明していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

行政法の基本的な原理や原則に対する、再学習をし、総論と各論とのリンケージを確認しながら講義を行う。

- (1) 国家補償（国家賠償法、損失補償）
- (2) 行政上の苦情処理
- (3) 行政上の不服申立（行政不服審査法）
- (4) 行政訴訟（行政事件訴訟法）

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教科書

原田尚彦『行政法要論』（学陽書房）

その他

塩野宏他編『行政判例百選Ⅰ・Ⅱ』第四版（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 憲 法	にし 西 おさむ 修	経A・商・経B	4

講義のねらい

比較憲法は、世界の憲法動向を知り、日本国憲法を広い視野から眺めるといって非常に大きな効用をもっている。本講義は、主要諸国のみならず、アジアや発展途上国の憲法をも対象にして、立体的に組み立てる。

講義の内容・
授業スケジュール

おおむね以下の内容になる。(1) 比較憲法とは(研究の意義、比較の対象、方法、限界など) (2) 主要諸国の憲法(アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国など)の概要、(3) アジアおよび発展途上国の憲法(韓国、北朝鮮、タイ、イスラム圏)の概要、(4) 項目別の比較(平和主義、人権条項、有事対処、憲法改正など)。

履修上の留意点

- (1) 開講時にシラバスを配付するか、KOMSY に詳細を記載するので、よく読んでおくこと
- (2) 日本国憲法との関連で問題意識をもつこと (3) 私語は絶対に慎むこと
- (4) 途中からの入退室はしないこと。

成績評価の方法

- (1) 出席・レポート 30点 (2) 前期試験 30点 (3) 後期試験 40点。

教 科 書

年度内に作成の予定だが、コピーなどを配付する。

参 考 書 等

- (1) 西修著『ここがヘンだよ！日本国憲法』(アスキー) 2001年。とくにPART 3「世界の憲法はこうなっている！」
- (2) アルバート・ブラウスタイン著、西修訳『棋界の憲法—その生成と発展—』(成文堂) 1994年
- (3) 西修著『憲法体系類型的研究』(成文堂) 1997年

そ の 他

授業中に試験をする可能性があるので、注意すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
相 続 法	たけ なか ち が 竹 中 智 香	経A・商・経B	4

講義のねらい

民法典第五編「相続法」は第4編「親族法」と深く関連していることから、前期に親族法を概説したうえで、後期で相続法の説明に入ります。親族法は、われわれにとって最も身近な家族生活を規制する法律であり、「家制度」の存在とその解体、高度・低度経済成長期やバブル前後の経済的变化、さらには少子化・超高齢化、女性の社会進出といったさまざまな社会の動向に影響を受けています。社会の変化に伴って生じてきた問題に対して、親族法がどのように対応しているかを、具体的な裁判例の紹介も交えながら、検討していきます。一方、後期に取り上げる相続法も、第二次大戦の敗戦後、戦前の家督相続が庶子均分共同相続へと変遷し、さらに近年、遺言制度の利用も増加するなど、著しく変化している分野です。本講義では、こうした変遷の内容とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

- [前期]
- (1) 家族法と財産法の相違と家族法の特徴、欧米家族法との比較とわが国の家族法の特徴
 - (2) 氏と戸籍、親族
 - (3・4) 婚姻：婚約、婚姻成立の要件
 - (5・6) 婚姻：婚姻の効果、夫婦財産制
 - (7) 婚姻解消
 - (8・9) 親子：実親子関係
 - (10・11) 親子：養親子関係
 - (12) 後見・保佐・補助、扶養
- [後期]
- (1) わが国の相続法の変遷とその背景
 - (2) 相続人
 - (3～5) 相続の効力：相続財産の範囲
 - (6) 相続の効力：相続分
 - (7) 相続の効力：遺産の共有
 - (8・9) 相続の効力：遺産分割、相続回復請求権
 - (10) 相続の承認・放棄、財産分離、相続人の不存在
 - (11・12) 遺言と遺留分

履修上の留意点

身近な問題を取り上げる分野とはいえ、難解なテクニカルタームが多用されています。講義を受ける際には、教科書の該当部分を読んだうえで、分からない文言を調べておくことが望まれます。

成績評価の方法

学年末の筆記試験の他、出席状況などの平常点も重視します。

教科書

有斐閣双書『民法（8）親族 [第4版増補補訂版]』（有斐閣）1,600円
有斐閣双書『民法（9）相続 [第4版増補版]』（有斐閣）1,600円

参考書等

六法
久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選 [第6版]』（有斐閣）2,200円
『法律学小辞典』（有斐閣）4,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 法 制 史	きたの 北野 かほる	経A・商・経B	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066 - 1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 封建制
 - 第3節 統治構造 封建制の解体
 - 第4節 法構造
 - 第3章 近世 (1350 - 1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

他履修
学部科目

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験 (後期試験期間・年1回)

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英米法	きたの 北野かほる	経A・商・経B	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、判例法を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1章 法系
 - 第1節 近代法の法系
 - (1) 西洋近代法 (2) 二大法体系 (3) 大陸法系あるいはローマ法系
 - (4) 英米法系あるいはコモン・ロー法系
 - 第2節 イギリス法の特徴
 - (1) 一般的特徴 (2) 歴史的特徴
 - 第3節 英米法の分類
 - (1) 法域 (2) 法源 (3) コモン・ロー
- 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内容の歴史性
 - (1) 歴史的連続性 (2) 法系としての特徴
 - 第2節 法観念の社会性
 - (1) 法の観念 (2) 法システムにおける裁判の位置 (3) 救済と権利
 - 第3節 法思考の実務性
 - (1) 総論 (2) 法曹一元
- 第3章 判例法の理論
 - 第1節 判例法
 - (1) 判例法 (2) 判決における法考察 (3) 判例法の考察
 - 第2節 判例法の理論
 - (1) 外枠 (2) 内実 (3) 先例性の判断
 - 第3節 制定法の解釈
 - (1) 制定法の位置づけ (2) 厳格な文理解釈の理論
- 第4章 裁判所制度
 - 第1節 イギリスの裁判所制度
 - 第2節 アメリカ合衆国の裁判所制度

他
学
部
履
修
科
目

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円
その他の参考書：年度当初に指示する。

その他

試験準備には講義ノートが最も有効である。各自注意して出席し、ノートをとること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治論(1) (前期)	なかのゆうじ 中野裕二	経A・商・経B	2

講義のねらい

本年度の「ヨーロッパ政治論(1)」「ヨーロッパ政治論(2)」はともにフランスを対象とします。そのうち、「ヨーロッパ政治論(1)」では「フランスにおける移民・外国人問題」と題して講義します。

基礎となる学問的傾向は政治社会学です。国民の「外部者」たる移民・外国人の抱える問題、国や政治勢力の対応・施策を通して、「国民とは何か?」、「国とは何か?」を考えます。

講義の内容・授業スケジュール

現時点では正確な授業スケジュールは固まっています。しかし、次のような項目を扱う予定です。

- ・外国人労働者から移民へ
- ・1990年代以降の新しい移民 ・移民・外国人の直面する諸問題
- ・移民・外国人排斥勢力とその論理 ・移民・外国人に対する施策

履修上の留意点

政治制度論を受講済みであることを前提として講義します。フランスを直接の対象としますが、「日本の移民・外国人問題は?」という問題関心をつねに持って受講してください。時間が許せば、日本の状況を紹介し、比較します。

成績評価の方法

期末試験と授業時間中の小テストを評価します。学生に期待される到達レベルを初回の授業で示し、それをもって評価基準とします。なお、授業中の意見・質問などの授業への積極的参加は、補助的に評価します。

教科書

教科書は使用しません。毎回プリントを配布し、その内容にそって講義を進める予定です。参考文献は適宜紹介します。

他履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治論(2) (後期)	なかのゆうじ 中野裕二	経A・商・経B	2

講義のねらい

本年度の「ヨーロッパ政治論(1)」「ヨーロッパ政治論(2)」はともにフランスを対象とします。そのうち、「ヨーロッパ政治論(2)」では「フランスにおける新しい共和制像の模索」と題して講義します。

基礎となる学問的傾向は政治社会学です。文化的・宗教的・民族的に多様なフランスで、各個人が自らの多様性を享受しながら、フランス社会が一つの社会としてまとまる原理は何か?ということの問題関心とします。

講義の内容・授業スケジュール

現時点では正確な授業スケジュールは固まっています。しかし、次のような項目を扱う予定です。

- ・伝統的「共和制モデル」 ・移民問題の衝撃 ・ヨーロッパ統合の衝撃
- ・フランス型多文化主義 ・寛容の共和主義 ・新しい共和制像の模索

履修上の留意点

「政治制度論」を受講済みであることを前提として講義します。なお、講義の内容上、「ヨーロッパ政治論(1)」の授業内容を前提とすることもありますので、連続して受講することが望ましいです。

フランスを直接の対象としますが、「多民族社会・多文化社会=日本」における社会統合の原理は何か?という問題関心をつねに持って受講してください。

成績評価の方法

期末試験と授業時間中の小テストを評価します。学生に期待される到達レベルを初回の授業で示し、それをもって評価基準とします。なお、授業中の意見・質問などの授業への積極的参加は、補助的に評価します。

教科書

教科書は使用しません。毎回プリントを配布し、その内容にそって講義を進める予定です。参考文献は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際政治学	こぼりのり 小堀訓男	経A・商・経B	4

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治史	うらたきなえ 浦田早苗	経A・商・経B	4

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点—ルネサンス期と18世紀
- ・英国革命とIRA
- ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程
- ・英国における政治腐敗防止過程
- ・フランス革命と国家の概念
- ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点—ドイツの場合—
- ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

年5～6回とる出席点は学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した4問から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地方自治法	とみ い ゆき お 富 井 幸 雄	経A・商・経B	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかを、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40%）と学年末試験（60%）で総合的に評価する。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

そ の 他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

他履修
学部科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較政治学	三竹直哉	経A・商・経B	4

講義のねらい

比較政治学は、いろいろな国や地域の事例を比較して、政治現象の因果関係の解明を目指す分野です。この授業では、その一端をご紹介しますとともに、みなさん自身が比較研究するのに役に立つ勉強をすることを目標にします。

「比較」という手法は、あらゆる分野に使える方法ですので、まじめに勉強すると卒業後も役に立つことが多いと思います。

講義の内容・授業スケジュール

この文章は2004年12月の時点で書いています。授業には、現在世界や日本で起きている出来事を反映させたいです。また、よいドキュメンタリー番組などが放映できれば、積極的に使っていきたく考えています。

そうしたことから、2004年12月の時点で詳細な授業スケジュールは出せません。

基本的には、はじめに方法論を扱い、その後、民主化、民族問題、移民政策と言ったテーマで授業を進めていきたくと思っています。

授業のやり方は、人数や大学からあてがわれる教場の設備によっても大きく変わってきます。参加人数が非常に少なければ、ゼミのような雰囲気でもやることがあります。

履修上の留意点

基本的事項は自分できちんと調べることが前提です。

文献を読む課題がたくさん出ますが、読まなければ単位を取れません。

中学校の社会科レベルのことが身につけていない人には単位を出せません。新聞を読んでいない人も同様です。(テストでチェックします。)

また、高校の社会科レベルのことで、授業に関連することは自分で学習することが前提です。

成績評価の方法

平常点と定期試験によります。

教科書

高根正昭『創造の方法学』講談社現代新書。
他にも指定する可能性はあります。

その他

この文章は2004年12月時点に書いています。変更もあり得ることを了承のうえ、読んでください。詳しい授業案内・スケジュールは、2005年4月に授業用ホームページに掲載します。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

URLが変更になる可能性があります。その場合、Googleなどで三竹直哉と入れて検索してみてください。見つからなければ、下記までメールでご連絡ください。

mitake@komazawa-u.ac.jp

他学部
履修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 国 家 論	おお つか かつら 大 塚 桂	経A・商・経B	4

講義のねらい

近年、政治制度の諸改革（1府12省庁、地方分権、規制緩和 etc）がすすんでいます。これにより、21世紀型国家が構築されたものと評価されています。ところで、第2次大戦後、新生日本国家がスタートしました。民主化の徹底、人権意識の高揚がはかられました。これにより、大日本帝国体制が清算されたと考えられています。しかし、果たしてそうといえるでしょうか。明治国家のフレームワークは、今日にあっても直接間接に影響を与えていますし、その痕跡もはっきりと残っています。現代国家を理解するにあたっては、明治国家の構造を知ることが有益です。本講義では、明治国家における制度、思想、運動について究明していきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 国家論の課題 2. 幕末政治過程 3. 幕末政治思想（水戸学、国学） 4. 公議政体論
5. 太政官制・内閣官制 6. 大日本帝国憲法 7. 法典整備・司法制度 8. 統帥権・戒厳（令）
9. 地方官官制 10. 自由民権運動 11. 帝国議会 12. 財政制度 13. 教育勅語
14. 国家神道 15. 社会主義運動 16. 大正デモクラシー 17. 天皇機関説 18. 天皇制ファシズム
19. 統制経済 20. まとめ

成績評価の方法

受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。
A方式（レポートによる単位認定）～年4回の課題報告を提出してもらい成績を評価します。
レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。
B方式（試験による単位認定）～中間、期末試験により評価します。
※なお、B方式のみ追・再試験を実施します。

教 科 書

大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3,300円

参 考 書 等

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）ならびに、『明治国家と岩倉具視』（信山社）

そ の 他

私の研究室は、第2研究館8階（2835）です。電話は3418-9377（直）です。

他履修科目
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際経営論	茂垣広志 <small>もがきひろし</small>	経A・商・経B	4

講義のねらい

国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。

1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営(日米欧多国籍企業比較)、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣（出向）者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

教科書

茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

参考書等

根本孝・茂垣広志・池田芳彦『国際経営を学ぶ人のために』（世界思想社）

その他

プロジェクターを用いて授業を進行する。また、授業には教科書を携帯のこと。必要に応じて資料を配布する。この科目は、再試験を実施しません。

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営分析論	かた ぼり のぶ お 片 桐 伸 夫	経A・商・経B	4

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析を取りあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

*レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」

：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

*テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教科書

開講時、指示します。

参考書等

随時、紹介します。

その他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報理論	にしむらかずお 西村和夫	経A・商・経B	4

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量（情報量）を定義したシャノン（C.E.Shannon）流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として（シャノンという単位で）計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値（平均値）であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をしします。現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解説
- 9月2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月2回 符号化（JISコード、国際符号化文字集合）、対数・情報量の中間試験
- 10月2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月2回 遷移確率と同時確率
- 11月1回 エントロピーの定義
- 12月2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月1回 検査桁（CD）、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

他
学
部
履
修
科
目

履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています（上表5月参照）。

成績評価の方法

10月の中間試験（30％）と定期試験（70％）との合計点によります。

教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクタとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参考書等

そのつど紹介します。

その他

〔関連科目〕→ 経営情報論 この科目は、再試験を実施しません。
講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 統 計	ながこ きょう 長 国 強	経A・商・経B	4

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意思決定をサポートすることである。経営的意思決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微・積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・
授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

経営統計について：経営統計の役割、基礎概念

統計特性値：平均、分散、正規分布

市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理

経営時系列：傾向成分の測定、季節指数の計算、時系列予測

経営指数：物価指数、数量指数

統計的意思決定理論：意思決定基準、期待効用理論

履修上の留意点

年間5回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教 科 書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

そ の 他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。
この科目は、再試験を実施しません。

他履修
学部
科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
医療経済学(前期)	ながやま 永山 くに子	経A・商・経B	2

講義のねらい

日本の医療制度を基軸とした病院マネジメントを科学する

講義の内容・
授業スケジュール

SBOs

- ① 国民医療費とは何かが説明でき、日本における課題が理解できる
 - ② 日本および海外の医療制度が理解でき日本における課題が説明できる
 - ③ 医療サービス生産の特性と病院組織が説明できる
 - ④ 病院組織はどうすれば活性化するかについて考えることができる
 - ⑤ どうして病院マーケティングが必要かについて説明できる
 - ⑥ 医療の財政的な側面を理解する
 - ⑦ 病院のリスクマネジメントについて医療事故・医療過誤の側面から理解する
- ①～⑦は2回の授業で実施する。尚、⑮は試験とする

履修上の留意点

一方的な講義ではなく、実践に即した内容にするために参加型の授業にしますので、積極的な参加を求めます。

成績評価の方法

- (ア) 出席
- (イ) レポート
- (ウ) グループワークへの参加度

教科書

特に指定はしませんが、授業の際に紹介します。

参考書等

- ① 鶴田忠彦『日本の医療経済』（東洋経済新報社） 3,296円
- ② 川淵孝一『進化する病院マネジメント』（医学書院） 3,000円
- ③ 池上直己『日本の医療』（中公新書） 720円
- ④ 厚生統計協会『国民衛生の動向2004年版』

その他

履修上の留意点に準じます

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
異文化コミュニケーション	おくはらじゆんこ 奥原淳子	経A・商・経B	4

講義のねらい

目的は「外へ目を向けること、そして同時に内を知ること」です。「外」と「内」は、それぞれ「外国」に対する「日本」であり、「他」に対する「自己」でもあります。

近年、国際化が進み、異なる文化を背景とした人との交流が盛んになってきました。しかも、私たちが接する対象は、国籍、年齢、文化背景、ステータスなど実に多様化しています。このような状況下にあって、今後必要となってくるのは、「異なる文化を理解し、受容すること」であり、同時に、「自己の文化を理解し、発信すること」だと言えます。

しかし、理解すること、受容すること、そして、発信することは容易なことではありません。それらについて、一つ一つ考えていきたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

以下の点について考えていきます。

- 「日本人」とは？
日本人というのは誰をさすのか。
日本にはどんな「日本人ではない人」がいるのか。
- 「コミュニケーション」とは？
それぞれの状況での自分（相手）の態度はどのような価値判断に根ざしているのか。
- 「日本」と諸外国との関係は？
日本はどのようにメディアに映されているのか。
我々は諸外国をどう捉えているのか。
- 非言語コミュニケーションとは？
非言語コミュニケーションはどんなことを指すのか。
日本人の非言語コミュニケーションにはどのような特徴があるか。
- 異なる文化背景を持った者同士は共生していくことができるか？また、そのためにはどうしたらいいのか？

また、上記の内容を探ると同時に、自分の意見を持つこと、それを論理的に伝えること、そして、レポートを書くこと等についてその方策を提示していきます。

履修上の留意点

授業は教師側からの一方的な知識の伝達ではなく、学生自身が考え、調べ、発言する形をとります。具体的には、多くの文献を読むこと、グループでの意見交換や考察、発表などが授業の中心的な活動となります。従って、受身でなく、自ら積極的に学ぶ姿勢を持って授業に臨むことを期待します。

尚、受講者の人数、能力などに応じて一部授業内容を変更する可能性があります。

成績評価の方法

出席（毎回とります）・授業態度・発表・試験・レポート

教科書

プリント使用。

参考書等

開講時指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
女性史	高嶋 めぐみ	経A・商・経B	4

講義のねらい

日本古代・中世・近世・近代・現代の家族・婚姻の具体像を探りながら女性の生き方を考える。また新聞などの記事・統計をもとに、現在わきあがっている女性周辺のさまざまな問題について考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

時代を①原始古代②中世③近世④近代⑤現代に分け、各時代の社会、家族、そして女性の社会的地位の変遷などについて実態面および法的側面などから講述していく。

履修上の留意点

講義に集中すること。他人を思いやり、迷惑をかけること。

成績評価の方法

総合評価 ((1) 出席、受講の状況 (2) レポートまたは試験)

教科書

特に指定はしない。

参考書等

講義内容と関連して、適宜指示する予定。

その他

ビデオ・OHP など適宜使用する予定。

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文化概論	<small>そのべ</small> 蘭部 幹生・井上 優 <small>さとう</small> 佐藤 憲昭・内藤 寿子 <small>ふじた</small> 藤田 和美	経A・商・経B	4

講義のねらい

「タブー」(taboo) を共通のテーマとして、下記のような日程と担当者によって、それぞれの専門とする立場からアプローチがなされる。

講義の内容・授業スケジュール

以下に示す日程にしたがって授業を進める。講義の内容をはじめとするその他の詳しいことからは、各担当者により指示があるのでそれにしたがうこと。

本年度の日程と内容は以下の通りである。

◎4月13日(水) オリエンテーション

①文学とタブー《4/20、4/27、5/11、5/18、5/25、6/1(6回)》

②タブーと宗教《6/8、6/15、6/22、6/29、7/6、7/13(6回)》

③メディアとタブー《9/21、9/28、10/5、10/12、10/19(5回)》

④慣習のタブー《10/26、11/2、11/9、11/16、11/30、12/6(6回)》

◎12月15日 まとめ

◎1月8日 レポート提出(資料室)

蘭部幹生
井上 優
佐藤憲昭
内藤寿子
藤田和美
蘭部幹生

履修上の留意点

最初の授業時(4/13)にオリエンテーションを行うので、受講者は必ず出席すること。

成績評価の方法

レポート及び出席状況等により評価する。

教科書

各担当者より指示する。

参考書等

各担当者より指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
メディアと表現	まつだ なおゆき 松田直行	経A・商・経B	4

講義のねらい

マルチメディア社会における多様な表現形態の全体像を俯瞰するとともに、実際の表現現場における仕事の具体性に触れることによって、メディアと表現の現在を多角的に考察する。

講義の内容・授業スケジュール

担当者からのガイダンスと総論の講義のあと、現在様々なメディアと表現にかかわる分野で、実際に仕事をされている方々を毎回ゲストとしてお招きし、現場の具体的な状況についてのお話をうかがう特殊形態授業となる。ゲストのスケジュールは初回の授業で発表するが、1人1回から3回で交代し、テレビ局、広告代理店、出版社、通信会社、映画・演劇・音楽関係、俳優ほか、できる限り多様な職種の方々をお招きしたい。

履修上の留意点

受講希望者が教場の定員を越える場合は、他学部履修生については抽選とすることもある。初回の授業でガイダンスと受講生の確認を行うので、必ず出席すること。

成績評価の方法

学年末の定期試験期間中に提出していただくレポートによって採点する。

教科書

指定しない。

参考書等

教場で適宜指示する。

他履修科目
学部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時事英語 (前期)	おかもと まこと 岡本誠	経A・商・経B	4

講義のねらい

「時事英語」なる英語があるわけではない。英語でしいて言えば“Current English”ということになるか。文学作品でお目にかかるような構成や文体のものではないわけである。メディアの英語と考えてよい。

小説やドラマには起承転結というか、順を追ってプロットが展開され、終りに近くなってクライマックスに達する。時事英語では、これとは逆に、最初に話の内容を全部さらけ出し、重要な点から説明していく。この最初の部分を lead という。

かくして、内容の構成や文体の点で新聞・雑誌・放送といったメディアで接する英語についてはそれなりの認識が必要となる。本講義ではそういった分野の英語にふれることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

その日の朝のアメリカからの短波放送のニュースを聴き、そのニュースキャスターの原稿を作ってみる。インターネットも利用した内外の新聞やNewsweekなどの記事も併用する。受講する諸君はこの分野の語法である journalese に親しみ、新聞英語ぐらいは読み慣れるようにしてほしい。

履修上の留意点

世界の政治・経済の動きに注意を払ってほしい。それが社会の事象に対して問題意識をもつことに通ずる。こういう態度はいいよ社会人になるときにモノを言う。講義中にケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

受講中の発表、小テスト、出席情况等を総合的に勘案する。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

『時事英語講座』(研究社)

Ⅳ 「日本語」・「日本事情」科目

「日本語」
「日本事情」

〔日本事情〕
〔日本語〕

IV. 日本語・日本事情科目 (対象：外国人留学生・海外帰国子女)

《日本語科目》

日本語入門Ⅰ a	〈吉田 露子〉	477
日本語入門Ⅰ b	〈吉田 露子〉	477
日本語入門Ⅱ a	〈吉田 露子〉	478
日本語入門Ⅱ b	〈吉田 露子〉	478
日本語Ⅰ a・Ⅰ b	〈佐野 典子〉	478
日本語Ⅰ a	〈多田羅 哲子〉	479
日本語Ⅰ b	〈多田羅 哲子〉	479
日本語Ⅱ a・Ⅱ b	〈佐野 典子〉	479
日本語Ⅱ a	〈多田羅 哲子〉	480
日本語Ⅱ b	〈多田羅 哲子〉	480
日本語Ⅲ a	〈多田羅 哲子〉	480
日本語Ⅲ a・Ⅲ b	〈湯村 礼子〉	481
日本語Ⅲ b	〈多田羅 哲子〉	481
日本語Ⅳ a	〈石川 守〉	481
日本語Ⅳ a	〈湯村 礼子〉	482
日本語Ⅳ b	〈石川 守〉	482
日本語Ⅳ b	〈湯村 礼子〉	483
日本語Ⅴ a	〈石川 守〉	483
日本語Ⅴ a	〈多田羅 哲子〉	483
日本語Ⅴ b	〈石川 守〉	484
日本語Ⅴ b	〈多田羅 哲子〉	484
日本語Ⅵ a	〈石川 守〉	485
日本語Ⅵ a	〈多田羅 哲子〉	485
日本語Ⅵ b	〈石川 守〉	486
日本語Ⅵ b	〈多田羅 哲子〉	486

「日本語」
「日本事情」

《日本事情科目》

日本事情Ⅰ〔地理〕	(後期)	〈高橋 健太郎〉	487
日本事情Ⅱ〔自然〕	(前期)	〈清水 善和〉	488
日本事情Ⅲ〔歴史〕	(後期)	〈浅倉 直美〉	489
日本事情Ⅳ〔思想〕	(前期)	〈赤羽 由規子〉	489
日本事情Ⅴ〔社会〕	(前期)	〈坪井 健〉	490
日本事情Ⅵ〔政治・法律〕	(後期)	〈中野 裕二〉	490
日本事情Ⅶ〔文学〕	(後期)	〈相澤 貴之〉	491
日本事情Ⅷ〔文化・芸術〕	(後期)	〈赤羽 由規子〉	491
日本事情Ⅸ〔経済〕	(前期)	〈吉田 敬一〉	492
日本事情Ⅹ〔経営〕	(前期)	〈宮城 徹〉	492

〔日本事情〕
〔日本語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語入門 I a (前期)	よし だ ふき こ 吉 田 落 子	経 A・商	1

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、授業や生活に必要な日本語の基本語彙、文型から各学生の足りない部分を補いながら、基礎的な日本語を用いて、必要な言語活動ができるようになることを目指す。教室活動の説明において、必要であれば、英語による解説をまじえる場合もある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・基本語彙、文型の復習
- ・ビデオや印刷物から有用な情報の取得
- ・授業や生活において行う発話とその文章化の訓練

履修上の留意点

基本事項は積み重ねが大切なので、毎週の授業には必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、授業参加態度を重視

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語入門 I b (後期)	よし だ ふき こ 吉 田 落 子	経 A・商	1

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、授業や生活で出会う日本語の基本語彙、文型の中で、各学生にとって使用語彙、文型の幅を広げていく。基礎的な日本語を用いて、有用な言語活動ができるようになることを目指す。教室活動の説明において、必要であれば、英語による解説をまじえる場合もある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・基本語彙、文型の確認
- ・ビデオや印刷物から有用な情報の取得
- ・授業や生活における発話に自信を持たせ、平易な文章表現が容易にできるような訓練

履修上の留意点

基本事項は積み重ねが大切なので、毎週の授業には必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、授業参加態度を重視

教科書

必要に応じてコピーを配布

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語入門Ⅱ a (前期)	よし だ かき こ 吉 田 蒔 子	経 A・商	1

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、来日間もない学生でも大学生活で戸惑うことがないよう、日本文化、習慣の紹介を取り入れた教室活動を通して、日本語の受容能力（聴く、読む）と、産出能力（話す、書く）をバランスよく伸ばしていく。学習対象者および授業内容の性質上、英語による学習ツールを使用する場合がある。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・日本の学年暦を追って日本文化や習慣を紹介
- ・日本の文化、習慣と学生自身のものの比較を交えて理解を深める
- ・学生主導によるコースワーク、発表

履修上の留意点

授業は話し合い、学生共同のコースワークによって進行するので、毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、コースワーク

教 科 書

必要に応じてコピーを配布

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語入門Ⅱ b (後期)	よし だ りき こ 吉 田 蒔 子	経 A・商	1

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、来日間もない学生でも有意義な大学生活が体験できるよう、日本文化、習慣の紹介を取り入れた教室活動を通して、日本語の受容能力（聴く、読む）と、産出能力（話す、書く）をバランスよく伸ばしていく。学習対象者および授業内容の性質上、英語による学習ツールを使用する場合がある。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・固有の文化に外来のものを適度に織り交ぜて発展してきた日本文化や習慣を紹介
- ・日本の文化や習慣、日本人の考え方と、各学生の出身地のものの比較を交えて相互理解を深める
- ・学生主導によるコースワーク、発表

履修上の留意点

授業は話し合い、学生共同のコースワークによって進行するので、毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、コースワーク

教 科 書

必要に応じてコピーを配布

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語 I a (前期)	さ の のり こ 佐 野 典 子	経 A・商	1
日本語 I b (後期)			

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語 I a (前期)	たたらあきこ 多田羅 哲子	経A・商	1

講義のねらい

語彙表現を豊かにし、日本語の理解力、表現力を高める。

講義の内容・授業スケジュール

衣・食・住・学生生活など日常の場面ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・擬音語・擬態語・機能語・慣用表現などを紹介し、実際にどう使われているかを知り、より豊かな表現ができるようにする。

成績評価の方法

出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末テストの成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語 I b (後期)	たたらあきこ 多田羅 哲子	経A・商	1

講義のねらい

語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力・表現力を高める。

講義の内容・授業スケジュール

政治・経済・文化・社会問題などの分野ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・省略語・慣用表現など日本語の知識を高めるより深く理解できるようにする。

成績評価の方法

出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末試験から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

「日本語」
「日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語 II a (前期)	さのりのこ 佐野 典子	経A・商	1
日本語 II b (後期)			

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅱa(前期)	たたらあきこ 多田羅 哲子	経A・商	1

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を高める。
言うべきことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。
発音・アクセント・イントネーション等、自分で見直し矯正する習慣をつける。

講義の内容・
授業スケジュール

紹介・インタビュー・情報提供のスピーチをして、質疑応答・意見交換を行う。ほかの人のスピーチの内容・感想・意見などを限られた時間内に文章にまとめる。
テープで自分が話した日本語を聞く。

履修上の留意点

授業活動が大切なので出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅱb(後期)	たたらあきこ 多田羅 哲子	経A・商	1

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を高める。
言いたいことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。
発音・アクセント・イントネーション等を自分で見直し矯正する習慣をつける。

講義の内容・
授業スケジュール

意見表明や提案のスピーチ・ディベートを行う。スピーチのあと質疑応答・検討を行い、自分の意見とその根拠を文章にまとめる。話し言葉と書き言葉の違いを知る。
テープで、自分が話した日本語を聞く。

履修上の留意点

授業活動が大切なので出席し積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲa(前期)	たたらあきこ 多田羅 哲子	経A・商	1

講義のねらい

聞き取ることを中心に日本語の総合能力を強化する。
聞き取った内容を把握すると共に、相手や立場、場面を考えてそれにふさわしい言葉で話せるようになることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

ビデオでドラマ・映画・ドキュメンタリーなどを聞き取り、自然な話しかたに慣れる。どんな敬語を使うのか、くだけた言い方がいいのか、どういえば自然かなど、相手や立場などによって使い分けられるよう練習をする。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ a (前期)	湯村礼子	経A・商	1
日本語Ⅲ b (前期)			

講義のねらい

これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようにすること。さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。国語辞典を持参すること。調べてくる宿題が出る。

成績評価の方法

期末試験、小レポート、授業での発表、授業活動、授業態度などを総合的に評価する。

教科書

最初の授業時に指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ b (後期)	多田羅哲子	経A・商	1

講義のねらい

聞き取ることを中心に日本語の総合的能力を強化する。
ビデオの内容を把握すると共に、文章力を強化する。

講義の内容・授業スケジュール

ドキュメンタリー、ニュース関連番組などのビデオを用い、今話題になっている問題の内容を聞き取る。
聞き取った内容、自分の感想、意見とその根拠を話し合い、文章に書き表す。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳ a (前期)	石川守	経A・商	1

講義のねらい

日本語の基礎を振り返り、よりしっかりした日本語の基礎を身につけるため日本語Ⅴ・Ⅵの続きの部分をやっていきます。内容は日本語の基礎文法の最終部分です。

講義の内容・授業スケジュール

日本語の基礎を日本語Ⅴ・Ⅵに引き続いて深くじっくりやっていきます。同時にことわざを毎時間のはじめにやっていくつもりです。

履修上の留意点

日本語Ⅴ・Ⅵを履修した上で取るのが理想的です。なお、基礎能力をしっかりつけるため、基礎をゆっくりやっていきます。はやくたくさんやりたい人は他の授業を取ってください。

成績評価の方法

試験50%、平常点(出席、授業態度)50%の合計。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

今年から、受講態度を厳しくチェックしていきます。私語など授業態度が悪いときは、授業中でも、欠席措置の上退室を命じます。

「日本語」
「日本語事情」

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語Ⅳa(前期)	湯村礼子	経A・商	1

講義のねらい

読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

要約文、報告文を学習する。事実・情報を正確に伝える文章を書くために、文、段落、構成などの基本から始める。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。

履修上の留意点

授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

課題作文(3回)
提出物
授業活動(授業での発言、授業態度など)

教科書

教科書は授業時に指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語Ⅳb(後期)	石川守	経A・商	1

講義のねらい

日本語の中上級文法を中心にその使い方について考えていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

日本語Ⅳaの続きの部分を行っていきます。同時にことわざを毎時間授業のはじめにやっていくつもりです。

履修上の留意点

日本語Ⅳaの続きの内容を行います。

成績評価の方法

試験の成績50%、授業態度、出席などで50%をつけていきます。評価は厳しいので、要注意。

教科書

特になし。授業中に自作のプリントを配ります。

参考書等

辞書を持参してください。

その他

授業中の私語など、授業態度の悪いものは欠席処置の上、退室を命ずることもあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 IV b (後期)	湯 村 礼 子 <small>ゆむら れいこ</small>	経 A・商	1

講義のねらい

読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

説明文、意見文を学習する。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。

履修上の留意点

授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文（3回）
提出物
授業活動（授業での発言、授業態度など）

教科書

教科書は授業時に指定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 V a (前期)	石 川 守 <small>いしかわ まもる</small>	経 A・商	1

講義のねらい

日本語の文法の基礎を呼称や指示詞などはじめからやり、しっかりとした日本語の基礎を作ることを目ざします。

講義の内容・授業スケジュール

日本語の基礎文法の前半部分からやっていきます。

履修上の留意点

主に1年生向き。日本語の文法をもう一度振り返り、しっかりした基礎を作るため、より深くやっていきます。その関係で進度はあまり速くありません。速くたくさんやりたい場合は、他の先生の授業を取ってください。

成績評価の方法

試験の成績50%、平常点（受講態度、出席など）50%の合計でつけます。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

今年から、受講態度も厳しくチェックしていくことにしました。授業中の私語など欠席にしたらうえ、退室を命ずることもあります。

「日本語」
「日本事情」

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 V a (前期)	多 田 羅 哲 子 <small>ただたら あきこ</small>	経 A・商	1

講義のねらい

読むことを中心に日本語の表現力も高める。
レポートを書くための基礎を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

各種の新聞記事など時事問題を中心に自分で調べながら読み、内容について説明したり、意見発表を行う。
それらを文章にまとめる。

成績評価の方法

平常点（小テスト・提出物・授業の参加度）を重視する。

教科書

プリント配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語 V b (後期)	いし かわ まもる 石 川 守	経 A・商	1

講義のねらい

日本語の文法の、しっかりした基礎をつくることを目標にしています。

講義の内容・
授業スケジュール

日本語 Va の続きをやっていきます。

履修上の留意点

主に1年生中心の内容を考えています。しっかりした基礎を作るために、じっくりとやっていきます。速く、たくさんやりたい人は、他にも、日本語 V があるので、そちらを取って下さい。

成績評価の方法

試験の成績50%、平常点（受講態度、出席など）50%。

教科書

特になし。授業中にプリントなどを配ります。

参考書等

辞書を持ってきて下さい。

その他

今年から、受講態度も厳しくチェックしていくことにしました。授業中の私語など欠席にしたうえ、退室を命ずることがあります。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語 V b (後期)	たたら あき こ 多田羅 哲子	経 A・商	1

講義のねらい

読むことを中心に日本語の表現力も高める。
レポートを書くための基礎を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

各自関心のある内容の文章を集めて読み、内容を発表する。その内容について話し合い、文章にまとめる。

成績評価の方法

平常点（小テスト・発表・提出物・授業への参加度）を重視する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 VI a (前期)	いし かわ まもる 石 川 守	経 A・商	1

講義のねらい

日本語の基礎文法を日本語Vに引き続き行い、正確な日本語文法の基礎を作ることを目標としています。

講義の内容・
授業スケジュール

日本語Vで行った日本語の後の部分をやっていきます。

履修上の留意点

この授業は日本語Vの続きの内容なので、日本語Vを履修してから取るのが理想的です。授業はじっくりやっていきますので、進度はあまり速くありません。速くやりたい人は他の先生の授業を取ることをお勧めします。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席点、授業態度）50%の合計で出します。

教 科 書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参 考 書 等

辞書を持ってきてください。

そ の 他

今年から受講態度を重視していきます。受講態度が悪いときは、授業中でも欠席にした上で退室を命じます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 VI a (前期)	たたら あき こ 多田羅 哲子	経 A・商	1

講義のねらい

文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・
授業スケジュール

雑誌・小説等さまざまな文章を速読し、その内容・感想・意見を発表する。
漢字の読み、語句の意味や使い方、文法事項等についても各自調べ、確認する。

成績評価の方法

平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教 科 書

プリントを配布する。

「日本語」
「日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅵb(後期)	いし ^{かわ} 石川 ^{まもる} 守	経A・商	1

講義のねらい

日本語のⅥaの続きを行い、しっかりした日本語文法の基礎を作ります。

講義の内容・
授業スケジュール

日本語Ⅵaの残りの部分を行っていきます。
授業のはじめに「ことわざ」をやっていきます。

履修上の留意点

この授業は、日本語Ⅵaの次の部分をやっていきます。じっくりやっていくため、進度はあまり速くありません。速くたくさんやりたいときには他の先生の授業を取ってください。

成績評価の方法

試験50%、平常点(出席、受講態度)50%。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

今年から受講態度を厳しくチェックしていきます。私語をするなど態度の悪いものは授業中でも欠席にした上で、退室を命じます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅵb(後期)	たたら ^{あき} 多田羅 ^こ 哲子	経A・商	1

講義のねらい

文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・
授業スケジュール

雑誌・小説等さまざまな文章を速読し、その内容・感想・意見を発表する。
漢字の読み、語句の意味や使い方、文法事項等についても各自調べ、確認する。

成績評価の方法

平常点(提出物・小テスト・授業への参加度)、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

〔日本語〕
〔日本事情〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情 I 〔地理〕(後期)	たか 高 橋 けん たろう 健太郎	経 A・商	2

講義のねらい

人々の生活や地域社会の特徴と変化などを、空間的側面と関連づけて考えるという人文地理学の視点から、日本の諸地域に対する理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の文化や人々の生活、地域社会の取り組みについて、主に次の項目について検討する。
 (1) 日本の地域性、(2) 都市の構造と変容、(3) 農山村の生活と地域振興、(4) 観光開発、(5) 地図と地名。
 日本の地域的な特徴についての理解を深めてもらうために、統計資料の計算や地図作りなどの作業も取り入れる。また、大学の外に出て、特徴のある地域や施設の見学も行う。

履修上の留意点

第1回日に授業の案内を行うので必ず出席のこと。また、学外見学の際の交通費や施設入場料は各自の負担となる。

成績評価の方法

ほぼ毎回教場で作成してもらう小レポートと学期末のレポートで評価。

教科書

使用しない。授業中にプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 II 〔自然〕(前期)	し み ず よ し か ず 清 水 善 和	経 A・商	2

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わせり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1) アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2) 現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3) 自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や環境保全のあり方等についても適宜言及する。

講義の内容・ 授業スケジュール

第I章 位置

1. 国土の範囲
2. 行政区分
3. 位置の特徴

第II章 気候

1. 気候帯
2. 日本近海の海流
3. 気候の特徴
4. 気候と季節
5. 気象観測
6. 気候と文化

第III章 地質・地形

1. 弧状列島
2. 変動の歴史
3. 多様な地形
4. 火山
5. 地震

第IV章 生物

1. 気候帯と植生帯
2. 生物多様性
3. 生物地理区
4. 里山の生物
5. 帰化生物

第V章 環境保全の諸制度

1. レッドデータブック
2. 国内の法律
3. 国際条約

成績評価の方法

レポート（2回）と出席回数に基づいて評価する。

教 科 書

講義の内容を日本語の文章で著わした「web版教科書」（清水執筆）を紹介する。また、それを英語に翻訳した英語版教科書も用意する。これらは清水のHPから自由にダウンロードできる。

参 考 書 等

「web版教科書」で分野ごとの参考書を紹介する。

そ の 他

講義に必要な図表をまとめた補助教材のプリントを適宜配布する。講義は日本語で行い、板書には漢字も使用する。漢字にはできるだけ読みがなをつける。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅲ 〔歴史〕(後期)	あさ くら なお み 浅 倉 直 美	経A・商	2

講義のねらい

日本の歴史を学ぶにあたって、とくに日本史上の大変革期である16世紀から17世紀前半を取り上げ、テーマを設けて、日本の諸事情および朝鮮半島・中国大陸と日本との関係について考えていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 京と江戸
- (2) 織田信長と室町幕府の滅亡
- (3) 豊臣秀吉と天下一統
- (4) 城
- (5) 中世後期の文化
- (6) 古文書
- (7) 徳川家康と江戸幕府
- (8) 環日本海と鎖国
- (9) 江戸の大名と長屋
- (10) 江戸の町人文化 など

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートを提出してもらいます。

教科書

随時プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅳ 〔思想〕(前期)	あか ぼ ゆきこ 赤 羽 由規子	経A・商	2

講義のねらい

日本人が古くから伝承してきた民族音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。
民族音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の間で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

その他

その都度知らせる。

「日本語」
「日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情 V 〔社会〕(前期)	つばい つよし 坪井 健	経A・商	2

講義のねらい

この講義は、外国人留学生、日本人帰国子女学生等を対象に、日本社会の現状について理解を深めてもらうことを目的に実施します。具体的には、日本人の生活者の視点から、敗戦後の復興期、高度成長期などを経て現在に至る生活変動の概略をビデオ等で紹介し、その後、地域社会、学校教育、高齢社会の現実などを現地見学やビデオを使いながら、視覚的・体験的理解を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

1. はじめに－講義の仕方と注意事項－
2. 戦後民衆の生活変動1－講義－
3. 戦後民衆の生活変動2－ビデオと討論－
4. 地域社会の実情1－講義－
5. 地域社会の実情2－見地見学またはビデオ視聴－
6. 地域社会の実情3－討議とまとめ－
7. 学校教育の実情1－講義－
8. 学校教育の実情2－見地見学またはビデオ視聴－
9. 学校教育の実情3－討議とまとめ－
10. 高齢社会の実情1－講義－
11. 高齢社会の実情2－見地見学またはビデオ視聴－
12. 高齢社会の実情3－討議とまとめ－
13. 日本社会事情－全体のまとめ－

履修上の留意点

この授業は、講義だけでなく、現地見学やビデオ機器などを利用して、体験的・視覚的理解を深めることを目的としています。従って、積極的に参加し、体験と感動を共有してもらい、楽しい授業になることを期待しています。現地見学は、なるべく近隣の施設を利用し、正規授業時間内に収まるよう工夫する予定です。他の授業時間に影響しないようにしますので、安心してください。

成績評価の方法

参加度 (60%) + 課題レポート (40%)

教科書

特定の教科書は使用しない。適宜プリントを配布する。

参考書等

授業中に指示する。

その他

特に、英語や他の外国語での補足説明はしませんが、日本語能力に不足する学生にも十分配慮して進める予定です。講義内容は詳細なプリントで説明し、事例的内容はビデオや現地見学など視覚教材や体験学習を通して理解できるよう配慮する予定です。日本語能力に関係なく十分楽しめる授業になるはずで。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情 VI 〔政治・法律〕(後期)	なかの ゆうじ 中野 裕二	経A・商	2

講義のねらい

この講義の目標は次の二点にあります。第一は、日本の政治制度の概要を理解すること。第二は、日本の今の政治状況を自分なりに説明できること。

講義の内容・授業スケジュール

現時点では正確な授業スケジュールは固まっていません。しかし、次のような項目を扱う予定です。
・国会 ・内閣 ・裁判制度 ・政党制 ・国際社会の中の日本

履修上の留意点

日本の政治制度に関する基礎知識を前提とはしません。しかし、毎日のニュースをチェックするなど、日本政治に興味を持っていることを前提とします。

成績評価の方法

毎回の出席、期末試験と授業中の発言などを総合的に判断し、成績評価とします。

教科書

教科書は使用しません。毎回プリントを配布し、その内容にそって講義を進める予定です。参考文献は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅶ 〔文学〕(後期)	あいざわ たかゆき 相澤 貴之	経A・商	2

講義のねらい

本講義は、日本語・日本文学を通して、日本の文化や他の国の文化への理解を深めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義は、日本の小説・詩歌・演劇・食文化等について、その特徴を説明する。受講する学生は、その講義の内容に基づいて他の国の小説・詩歌・演劇・食文化等を日本の文化と比較し、毎月レポートを提出する。

履修上の留意点

講義をよく聞き、その後討議をするので、活発な発言を期待する。欠席しないこと。

成績評価の方法

出席状況を特に重視し、提出したレポートと授業態度等によって評価する。

教科書

必要に応じてプリントを用意する。

参考書等

授業中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅷ 〔文化・芸術〕(後期)	あかば ゆきこ 赤羽 由規子	経A・商	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。

また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を目差している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

「日本語」
「日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅸ 〔経済〕(前期)	よし だ けい いち 吉 田 敬 一	経A・商	2

講義のねらい

第2次世界大戦に破れ、廃墟の中から経済復興に挑戦し、80年代には「Japan as No. 1」と称されるに至った経済発展の秘密を、できるだけ分かりやすく説明し、留学生諸君が母国に帰った後で役に立つ経済的知識を身につけてもらうことが、この講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

- I 日本経済入門の入門
- II 戦後日本の高度経済成長の秘密
- III 経済大国日本とバブル景気
- IV 空洞化問題に苦しむ日本
- V 21世紀の日本経済の課題

履修上の留意点

難しい経済学の予習・復習は必要ありませんが、日々の経済動向に対する鋭い感受性を磨くことが必要です。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

レポートと平常点・出席点で評価します。再・追試験は実施します。

教科書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。必要に応じてプリント資料を配布します。

その他

本講義は受講生の日本語能力向上を目的の一つとしていますので、講義はすべて日本語で行います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅹ 〔経営〕(前期)	みや ぎ てつ 宮 城 徹	経A・商	2

講義のねらい

日本企業の特徴と問題点について講義する。日本語で分かりにくいということになれば、英語で講義する。当然、受講生は英語で発言してよい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、講義の初日に指定する。また、必要な資料・文献はコピーして配布し、講義を進める。

成績評価の方法

出席を重視する。成績評価は、論述式である試験の結果による。

参考書等

参考文献は随時指定する。

経済学科フレックスB

I 全 学 共 通 科 目

1. 宗教教育科目

1. 宗教教育科目

仏教と人間〈熊本英人〉	501
仏教と人間〔再クラス〕	
仏教と人間〔再クラス〕〈松本史朗〉	501
仏教と人間〔再クラス〕〈村松哲文〉	502
仏教と人間〔再クラス〕〈四津谷孝道〉	502
仏教と人間〔再クラス〕〈池田魯参〉	503

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間 仏教と人間〔再クラス〕	くまもと えい にん 熊本英人	経B1必 経B2・3・4年	4

講義のねらい

仏教の教えと歴史を知ることによって、自分にとって宗教とは何かを考える。

講義の内容・
授業スケジュール

仏教に限らず、宗教は、社会の変容と相互関係をもって展開してきた。仏教の開祖ブツダの伝記や、日本における仏教の歴史や人物などを取り上げて、現代につながる話題として解説していく。

日本人は、なぜ宗教に無関心なのか。実は、意識していないだけで、日常生活の中で宗教的要素に囲まれて生きている。仏教を学ぶことによって、宗教に対する無関心、無自覚が何を意味しているのかを考えてもらいたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間〔再クラス〕	まつもと し ろう 松本史朗	経B2・3・4年	4

講義のねらい

本学の建学の理念である「仏教の教義と曹洞宗立宗の精神」を学生諸君に理解してもらうことが、この講義のねらいである。従って、仏教とは何か、それは人生において如何なる意味をもつのかを、分かりやすく説明したい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は、仏教成立以前のインド思想から始めて、仏教の開祖である釈尊の思想、さらに大乘仏教の教典の思想、及び、日本仏教の思想の説明へと進みたい。

成績評価の方法

年度末の試験によって、成績を評価する。

教科書

松本史朗『仏教への道』（東京書籍）1,400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間〔再クラス〕	むら まつ てつ ふみ 村 松 哲 文	経B2・3・4年	4

講義のねらい

東洋世界で生きている我々にとって、仏教は身近な宗教のはずである。ところが案外と知らないことが多いのではないだろうか。いうまでもなく駒沢大学は、仏教精神により建てられた大学である。本学に在籍していることも何かの縁であり、これを機会に仏教を知り、深遠な仏教世界を理解してもらいたい。本講義では、釈尊の生涯、仏教の伝播などについて考察し、宗教の存在意義や宗教と人間との関わりについて考えを深めてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕 釈尊の生涯（1～3）、釈尊の教え（4～8）、経典の内容（9～12）、仏教的世界観（13～14）、大乘仏教と小乗仏教（15・16）
〔後期〕 中国の仏教受容（17）、中国仏教の展開（18）、日本の仏教受容（19）、日本仏教の展開（20）、仏教と映画で見る仏教（21～30）

履修上の留意点

仏教が日常の社会・生活に如何に関わっているのか考えながら講義に臨むこと。

成績評価の方法

定期試験、レポート、授業態度、出席率などを総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間〔再クラス〕	よつ や こう どう 四津谷 孝 道	経B2・3・4年	4

講義のねらい

受講生諸君は、今後少なくとも4年間の大学生活において、様々な機会に仏教というものに接することとなるであろう。そのような機会のひとつであるこの授業において、「仏教と自分との接点を探る」という営みの端緒を見出ししてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

この授業においては、下記のテーマについて順を追って、できるだけわかりやすく説明を加えていきたい。

- ・宗教について
- ・宗教と科学
- ・宗教と仏教
- ・仏教の歴史
- ・仏教の基本的な教え
- ・仏教と輪廻思想
- ・仏教と自然
- ・仏教と社会

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

特になし。必要な資料等は、授業において随時配付する。

参考書等

授業において随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間〔再クラス〕	いけ だ ろ さん 池 田 魯 参	経B2・3・4年	4

講義のねらい

受講生諸君は、今後少なくとも4年間の大学生活において、様々な機会に仏教というものに接することとなるであろう。そのような機会のひとつであるこの授業において、「仏教と自分との接点を探る」という営みの端緒を見い出してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

この授業においては、仏教が現代社会の諸問題に対して如何に関わっているかをできるだけわかりやすく説明してゆきたい。まず、仏教というものを「文明の発展」という脈絡の中で理解し、更に他の宗教、特にキリスト教やイスラム教等との比較の中でその宗教としての特色を浮き彫りにする。そして、現代社会の諸問題、特に「死」を巡る様々な問題に仏教をはじめとする諸宗教がどのように対処しているかについて検討を加えてゆきたい。その他、「環境問題と仏教」、「仏教にみられる女性差別」等のテーマも扱ってみたい。

履修上の留意点

授業において、小作文を書いてもらうことがある。

成績評価の方法

学年末の試験。

教 科 書

特になし。必要な資料等は、授業において随時配付する。

参 考 書 等

授業において随時指示する。

宗教教育

2. 教養教育科目

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、
フレックスAの頁を参照してください。(→P. 25)

教養教育

2. 教養教育科目

(1) 人 文 分 野

宗 教 学	[比較宗教文化]	〈田 中 かの子〉	509
文 学	[日本文学「古典」]	〈田 中 伸 作〉	509
文 学	[日本文学「近代」]	〈保 明 陽 子〉	510
歴 史 学	(1) [日本近代史]	〈林 彰 彰〉	510
歴 史 学	(2) [中国史概観]	〈小 林 惣 八〉	511
歴 史 学	(3) [アジア史概観]	〈小 林 惣 八〉	511
哲 学	[西洋思想の源流]	〈河 谷 淳〉	511
哲 学	[近代の人間観と世界観]	〈伊 古 田 理〉	512
哲 学	[現代文明と人間]	〈鈴 木 聡〉	512
論 理 学	[科学方法論と現代論理学]	〈伊 古 田 理〉	513
論 理 学	[科学方法論と現代論理学]	〈麻 生 享 志〉	513
倫 理 学	[現代と倫理]	〈古 田 知 章〉	514
倫 理 学	[人生と倫理]	〈水 口 拓 寿〉	515
教 育 の 思 想		〈伊 藤 茂 樹〉	515
教 育 と 社 会		〈伊 藤 茂 樹〉	516
発 達 と 学 習 の 心 理 学		〈三 國 隆 子〉	516
力 キ ュ ラ ム と 学 習		〈三 國 隆 子〉	517

(2) 社 会 分 野

法 学 ・ 憲 法	[法 と 権 利]	〈鶏 德 啓 登〉	517
法 学 ・ 憲 法	[法 と 社 会 生 活]	〈長 谷 川 日 出 世〉	518
社 会 科 学 論	[社会認識の思想]	〈枝 松 正 行〉	518
経 済 学	[現代経済と人間]	〈明 瀬 政 治〉	519
社 会 学	[現代社会を考える]	〈呉 炳 三〉	520
社 会 学	[現代文化を考える]	〈橋 爪 敏〉	520
統 計 学	[社会現象の統計的分析]	〈新 行 内 康 慈〉	521
文 化 人 類 学	[文化と人間]	〈川 上 新 二〉	522
文 化 人 類 学	[諸民族とコスモロジー]	〈杉 井 純 一〉	523
政 治 学	[政治システムと政治参加]	〈三 船 恵 美〉	524
政 治 学	[国際社会と日本]	〈山 村 恒 雄〉	524

(3) 自 然 分 野

心 理 学	(1) [ヒューマン・ウォッチング]	〈鈴 木 順 一〉	525
心 理 学	(2) [人間関係を考える]	〈鈴 木 順 一〉	526
生 物 学	[生態と進化]	〈清 水 善 和〉	527
生 物 学	[生物と環境]	〈中 村 敏 枝〉	528
コ ン ピ ュ ー タ 基 礎	[コンピュータと情報]	〈澤 口 隆〉	529
コ ン ピ ュ ー タ 基 礎	[コンピュータと情報]	〈坂 野 井 和 代〉	530
地 球 科 学	[地球の素顔と地球環境問題]	〈加 藤 潔 潔〉	530
自 然 環 境 論	[宇宙から見た地球環境]	〈篠 原 正 雄〉	531
自 然 環 境 論	[生命と環境]	〈中 村 敏 枝〉	532
情 報 数 学	[情報と論理]	〈小 沢 誠〉	532

教養教育

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 〔比較宗教文化〕	田 中 かの子	経B・経A選 商選(12以降入学生)	4

講義のねらい

「～教」という名称に慣れていると、あたかもそれが視えない壁をなして他宗教との境界をつくっているかのように思えてくる。けれども諸宗教のおこなわれている現地に行ってみると、そこには「～教徒」である以前の、「人間」として限りある生命（いのち）をまっとうするための様々な生き方がみられ、宗教の多様性よりもはるかに個性豊かで、意外性に富んでいる。宗教文化は、そのような「人間」の諸相を信仰生活によりまとめあげるものであるが、共に生きる信仰の異なる人々との交流をとおして伝播する思想の影響力は測りがたく、実際の「～教」というのは、世界地図では表示できない範囲と次元において展開してゆくものである。本講は、このように融通性のある宗教観にもとづき、世界の主要な宗教文化を誤解や偏見を廃した正しい観点から理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

現代世界に生きつづける諸宗教のなかから、講義担当者自身の現地調査と人々との交流経験をともなうゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教を選び、それぞれの歴史・思想・文化を仏教との比較において講ずる。

履修上の留意点

生きた諸宗教の実相を垣間見るため、祈りの声や聖歌（録音テープ）を聴き、スライドを鑑賞することを重視する。

成績評価の方法

出席状況、夏休みのレポート（B5版に収まる短文のなかで自己表現できるような課題）、各自の創意工夫を「答え」とする論述式の学年末試験（たんなる答案であるにとどまらず、在学中の貴重な時間を費やした一つの作品となるような問いをたてる予定）。

教科書

田中かの子著『比較宗教学—「いのち」の探究』（北樹出版）2004年

科目名	担当者名	配当学科	単位
文 学 〔日本文学「古典」〕	田 中 しん さく 伸 作	経B・経A選 商選(12以降入学生)	4

講義のねらい

軍記物語の代表として知られる『平家物語』は、平家一門をとりまく人々のドラマを実に生き生きと描き出している。その内容・叙述において『平家物語』は非常に中世らしい文学作品であると言えるだろう。この作品を読むことで、古典文学に親しみ、中世における文学のあり方を考えることを目的とする。

また、史実が文学に取り込まれたとき、どういう世界として描かれるのかという歴史文学としての側面も考察したい。

講義の内容・授業スケジュール

『平家物語』の代表的な句を読み、内容と特色を把握する。また、関連する史料を紹介し、時代背景や文化的な問題も追及する。

成績評価の方法

定期試験の成績による評価。出席状況も重視する。

教科書

『平家物語抄』（おうふう）

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 〔日本文学「近代」〕	ほ保 あき明 よう陽 こ子	経B・経A選 商選(12以降入学生)	4

講義のねらい

明治期以降における日本の「近代化」を、「文学」という切り口で考える。これまで日本という国は、西欧の「近代化」に多大な影響を受けてきた。しかし昨今の風潮は、その流れを端に押しやる勢いがある。そこで、これまでの過去の歴史的経緯を考慮しつつも、近代社会において文化後進国ゆえの、曖昧かつ複雑な構造をもつ日本独自の「近代化」を、文学的視座から改めてとらえ直す。主に、啓蒙色の強い明治三十年代の文学的素材をもとに、現代社会の背景をかいま見る。

講義の内容・授業スケジュール

文学作品に現れた「英雄」「恋愛」「家」「武士道」「宗教」「癒し」「救い」といった様々なテーマは、作品の古今にかかわらず、現代社会を個人レベルで読み解く鍵である。このような日常にある「文学」的なものという身近な視点から、敢えて通俗性という枠組をとおして、そこに潜む「社会」の様相をかいま見る。近年話題になっている現代作家の作品と、明治時代の文学作品を比較しながら、そこにある「文学」とは何かを探究するが、具体的な作品についてはそのテーマごとに適宜講義において明らかにする。

履修上の留意点

この講義では、みなさんと共に年間を通して、文学作品について本格的に考えることになる。授業に出席することで新しい考え方を探究し、そして実際に本を読み、そこで獲得した考察の成果を表現することが望まれる。

成績評価の方法

毎回の授業を通して話題になるテーマについて、その都度みなさんが考察してきたことが、不定期に課されるレポート提出という形で問われ、その提出状況と内容が成績に反映される。

教科書

畑有三・山田有策・長野隆『作品で綴る近代文学史』双文社出版 2,000円
随時プリントも配布する。

参考書等

適宜講義で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 (1) 〔日本近代史〕	はやし林 あきら彰	経B・経A選 商選(12以降入学生)	4

講義のねらい

幕末から明治・大正時代にかけての歴史的な流れを、思想・思潮を中心に政治社会の動向をふまえて概観していく予定である。西欧から輸入された近代思想が日本でどのように浸透し、知識人・民衆がどう受容し、在来の伝統的な思想といかに対立・錯綜・混在していくのか。それらを人物・ジャーナリズムなどを中心にみていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、幕末から明治・大正・昭和前期の、いわゆる近代史の概説をこころみる。後期には、人物・メディアを中心に具体的に近代の思想の流れをおっていく。とくに、体制側の思想と運動、反体制側の思想と運動に留意しながらみていく。

成績評価の方法

レポートと定期試験。

教科書

講義中に指示する。

参考書等

『日本の近代—国家と民衆』(粹出版) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 (2) 〔中国史概観〕	小林 惣八 こばやし そう ばち	経B・経A選 商選(12以降入学生)	4

講義のねらい

中国史の歩みを大別すると、黄河文明、殷周時代、秦漢時代、魏晉南北朝時代、隋唐時代、五代・宋時代、元・明・清時代、新生中国とに分けられる。本講義ではその歩みを多角的にとらえ通観するものである。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。
詳細は追って指示する。

教科書

特別定めないが、中国史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを望む。

その他

出席を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 (3) 〔アジア史概観〕	小林 惣八 こばやし そう ばち	経B・経A選 商選(12以降入学生)	4

講義のねらい

ユーラシア大陸の歴史の歩みは、中国を中心に北アジア、中央アジア、西南アジア、東南アジア、インドが相互に影響しあいながら進展していく。本講義では、中国の歩みを多角的にとらえ、時に周辺諸民族の歩みにも触れながらこれらを通観するものである。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。
詳細は追って指示する。

教科書

特別定めないが、アジア史の概説書や図表を座右において聞くことを望む。

その他

出席を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔西洋思想の源流〕	滝沢 正之 たきざわ まさゆき	経B・経A選 商選(12以降入学生)	4

講義のねらい

西洋古代中世哲学史を概説する。
古い哲学者では2500年前にまでさかのぼることになる。しかし、哲学というものは不思議なもので、古い人より新しい人のほうがより正しいことを言っているのかというと、そうでもない。科学とは事情が違うわけだ。古代や中世の哲学者たちは、現代でも十分に現役で通用する面白い考えを示してくれている。
古代中世哲学の時代を超えた洞察を紹介していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

西洋古代中世哲学史から、主要な哲学者を何人か取り上げ、解説する。古代哲学、そのなかでも、プラトンとアリストテレスが中心となる予定。

成績評価の方法

基本的に中間および期末試験により評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
哲 学 〔近代の人間観と世界観〕	いこた まさる 伊古田 理	経B・経A選 商選(12以降入学生)	4

講義のねらい

現代文明の形成にあたって中核をなした思想である、近代ヨーロッパ思想を紹介し、その問題点を探る。今年度は、特に「世界」について検討する。われわれ人間の住む場である世界の理解のしかたを検討することは、人間の自己理解にもつながるが、こうした「世界」概念がどのように形成され、現代文明を考えるうえでどのような意義と問題点を持っているかを解説する。

講義の内容・授業スケジュール

まず、ヨーロッパ思想の源流である古代ギリシャ哲学、キリスト教思想について、必要などころをおさえ、そのうえで近代以降の思想の発展を解説する、という方針をとる。

成績評価の方法

夏期中間試験と冬期定期試験の成績を素点とし、100点満点での素点に対する失点の一定割合を、夏期レポート課題によりカバーする。

教 科 書

久保他編『原典による哲学の歴史』（公論社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
哲 学 〔現代文明と人間〕	すずき さとる 鈴 木 聡	経B・経A選 商選(12以降入学生)	4

講義のねらい

本講義では、イギリス経験論・プラグマティズム・現象学・生の哲学・分析哲学などにおける素材の中で厳選されたものを叩き台として、一つの問題をとことん考え抜くという態度を学生諸君が身につけるための機会を提供したいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

以下の素材のうちのいくつかを叩き台として講義を進める予定である。

1. ヒュームの因果論
2. 演繹
3. 帰納
4. 仮説形成
5. グループのパラドクス
6. 懐疑的パラドクス
7. ニューカムのパラドクス
8. 囚人のディレンマ
9. 言語哲学

履修上の留意点

毎回の出席が要求される。

成績評価の方法

成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。

教 科 書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

そ の 他

本講義は、講義→小テスト（チュートリアル）→前回の講義の復習→小テストの解説→…という形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	いこた まさる 伊古田 理	経B・経A選 商選(12以降入学生)	4

講義のねらい

現代論理学の内容を、「ことばの正しさ」のうちで「推論の正しさ」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。

具体的には、「推論の正しさ」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで（時間の許すかぎり）こうした領域の位置づけについて論ずることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 古典的三段論法 (2) 公理系Ⅰ～命題論理 (3) 公理系Ⅱ～述語論理
(4) コンピュータと論理

成績評価の方法

年2回の試験（夏期中間試験＋年度末定期試験）を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題を出す。

詳細については、授業開始時のガイダンスの際に説明する。

教科書

野矢茂樹著『論理学』（東京大学出版会）

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	あさ お なが し 麻 生 享 志	経B・経A選 商選(12以降入学生)	4

講義のねらい

西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものとするか、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本性への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで(1)論理とは何かを考え、(2)変化する論理学の各内容についての知識を持ち、(3)日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

論理の本性、真理論、論理パズルとパラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概観、日常生活における正しい推論、学問と論理などの話題を考えています。

履修上の留意点

大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、練習問題をこなし、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。

成績評価の方法

平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味します。

教科書

なし。

参考書等

多数。講義内にて詳細に説明します。

その他

講義と問題演習（ないし論述筆記）。早退は、許可のない限り認めません。主体的な質問を大いに歓迎し、期待します。初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倫 理 学 〔現代と倫理〕	ふるたともあき 古 田 知 章	経B・経A選 商選(12以降入学生)	4

講義のねらい

今日、多くの領域で、倫理の確立、再構築が求められている。これは、言い換えると、現代において倫理というものが分からなくなっていることの現れである。そして、このような状況のもと、われわれは、ひとつの人格をもつ個人として、自らの倫理観を模索していかなければならない。しかし、倫理とは何かを考えると、個々の領域、場面での「正しさ」の中身を検討すると同時に、その際の倫理的主体となるべき「自己」のあり方が知らなければならない。逆に言うと、この生きている自分が外的世界や他者と結んでいる関係、あるいは、自分が自分自身について考えることの意味などを明確にすることで、現代社会に生きるわれわれの向かうべき方向も見えてくる。そして、この見通しの上でこそ、個々の領域での倫理観も意義あるものとなると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。

〔前期〕 倫理的原理についての検討

1. 倫理学における問題の所在 —倫理的であること—
2. 古代ギリシアにおける様々な倫理思想
3. 中世における宗教的倫理観
4. ルネサンスと宗教改革 —個としての人間—

〔後期〕

- I. 倫理的原理についての検討（前期の続き）
 - 近・現代における倫理思想 —主体性と自由の問題—
- II. 応用倫理学の諸問題への基礎的な検討
 1. 生命の尊厳
 2. 人間の環境との関係
 3. 情報と倫理

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 〔人生と倫理〕	みなくちたくしゅ 水口拓寿	経B・経A選 商選(12以降入学生)	4

講義のねらい

「無礼者」や「親孝行」という言葉には、皆さんもなじみがあるでしょう。この授業では、私たち東アジア人の思考や行動を二千年以上にわたり規定してきた「礼」と「孝」の精神を採りあげ、その原像・伝統・現在を見つめてみましょう。歴史的にも思想的にも、これら二文字に含まれる意味は、思いがけないほど深いのです。

講義の内容・授業スケジュール

初めに「倫理」という概念そのものや、「道徳」「規範」との異同について考察します。次に「礼」をめぐる、教科書Aの章節に沿いながら講義します。続いて「孝」をめぐる、教科書Bの章節に沿いながら講義します。教科書は共に「儒教」を表題にしていますが、この授業では儒教という言葉に必ずしもこだわらず、東アジアに今も息づく「礼」や「孝」を、身近なところから探り当てることに務めましょう。

履修上の留意点

私は教科書を朗読するだけの係ではありませんし、著者たちの代弁役でもありません。むしろ学説の一例として批評的に吟味する態度を、皆さんにも共有してほしいと思います。

成績評価の方法

学期末に提出してもらったレポートを、主な評価材料にします。授業中には出席状況の調査も兼ねて、講義内容の感想などを書いてもらう場合があります。

教科書

- A 小島毅『東アジアの儒教と礼』（山川出版社、世界史リブレット）
B 加地伸行『儒教とは何か』（中央公論社、中公新書）
受講時には必ず持参して下さい。いずれも持ち運びやすく廉価な本です。

参考書等

必要に応じて、主に授業中に指示します。私の作成したプリントを、参考資料として配る場合もあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	いとうしげき 伊藤茂樹	経B・経A2選 商2選(12以降入学生)	2

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的帰納について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・授業スケジュール

- とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
- ・近代社会と教育
 - ・学校という場

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後期)	伊藤 茂樹 <small>いとう しげき</small>	経B・経A 2選 商2選(12以降入学生)	2

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
・現代の教育問題
・教育改革の現在

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	三國 隆子 <small>みくに りゅうこ</small>	経B・経A 2選 商2選(12以降入学生)	2

講義のねらい

・子どもから大人へ。人の発達過程について概観する。
・発達や個に応じた学習や教育について学ぶ。
・以上を踏まえ、学校現場で行われる教育や指導のあり方について学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

・発達とは何か
・発達の特徴と発達理論
・発達観の変遷と教育
・学習とは何か
・学習と評価
・意欲と学習 (1) 動機づけ理論
・意欲と学習 (2) 自己効力感

成績評価の方法

・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。
・学期末に筆記試験を行う。
・小テストや課題の提出状況と学期末テストを総合して評価を行う。

教科書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	三 國 隆 子	経B 2選(12以降入学生)	2
		経A・商2選(12以降入学生)	

講義のねらい

- ・学習指導要領から読み取れる、日本の教育課程を理解する。
- ・カリキュラムと学習の効果について学ぶ。
- ・学校現場で行われているカリキュラムの実際と課題について理解する。

講義の内容・ 授業スケジュール

- ・我が国の教育課程
- ・学習指導要領の変遷
- ・教授と学習の効果
- ・カリキュラムと学習の効果
- ・学校教育（1）教育制度・カリキュラムの実際について
- ・学校教育（2）教育評価・今後の課題について

成績評価の方法

- ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。
- ・学期末に筆記試験を行う。
- ・小テストや課題の提出状況と学期末テストを総合して評価を行う。

教科書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法 学 ・ 憲 法 〔法と権利〕	い 徳 啓 登	経B・経A選	4
		商選(12以降入学生)	

講義のねらい

人間は社会の中で生まれ、他の人と利害を対立しながら社会生活を営むものである以上、そこには相互の利害を調整し、紛争を解決するためのルール（規範）が必要である。「社会あるところ法あり。」（法諺）といわれるのはそれを如実に示すものである。この授業では、法の概論と基礎的な実定法上の権利・義務との二つに分けて、「法」とそこに認められる「権利」を講義する。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 法の概論は次の内容を中心として行う。
 - (1) 法の意義 (2) 法発生の背景 (3) 法とその近辺の社会規範 (4) 法の種別と解釈 (5) 法の適用
2. 実定法上の権利・義務の講義は次の内容を中心として行う。
 - (1) 民法上の権利－権利の主体と客体、権利能力・行為能力、権利の種類と内容（財産法上の権利、親族法上の権利、相続法上の権利）、権利の発生・消滅。
 - (2) 憲法上の権利－自由権（経済的自由権、精神的自由権、身体的自由権）、平等権、社会権（生存権、教育権、勤労権、労働者の権利）、参政権（選挙権、被選挙権）、受益権（請願権、国家賠償請求権、裁判を受ける権利、刑事補償請求権）。
 - (3) 国家・地方公共団体の権利－国家作用と三権分立制の意義・統治機構、立法権と立法機関、行政権と行政機関、司法権と司法機関、地方公共団体の自治権と住民の権利。

成績評価の方法

出席状況と試験。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種類）、その他参考書等については教場にて説明。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と社会生活〕	はせがわ ひでよ 長谷川 日出世	経B・経A選 商選(12以降入学生)	4

講義のねらい

我々は、好むと好まざるにかかわらず、法と密接なかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の修得を目指す。具体的には法と道德の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	えだ まつ まさ ゆき 枝 松 正 行	経B・経A選 商選(12以降入学生)	4

講義のねらい

社会科学には自然科学や人文科学とは独自の対象把握の方法や体系がある。社会現象を形成する個々の人間は、生産的労働を中心とする活動の担い手としてつねに目的意識的な社会活動を行う能動的主体であるにもかかわらず、総体としての社会現象は、市場メカニズムに象徴されるように人間の意識を超えた物理現象の如き客観的な運動法則に従っている。しかもそれは連続的であると同時に、飛躍や発展を伴う固有の歴史法則でもある。グローバトリレンマに直面した現代世界は過去に例を見ない大転換期であるが、社会科学こそは歴史科学であると同時に未来科学なのであり、社会の変化・生成・発展法則の先見とリスクの回避には大きな責任がある。

講義ではマルクス経済学、ヴェーバー社会学、ドラッカー経営学などに学びつつ、現代の社会経済システムの転換メカニズムを解明し、オルタナティブな持続可能社会への移行を展望する。

講義の内容・授業スケジュール

上記のような社会科学的視座を基礎として、これらを現代社会に適用し、同時多発テロ以降の世界情勢や日本「構造改革」の歴史的性格を解明するとともに「循環型・男女共同参画社会」への現実的転換を加速しうる実践的な政策・管理科学についても明らかにしていく。

履修上の留意点

日々の経済・社会報道に関心を注ぎ、たえず生の現実素材をとりいれておくこと。

成績評価の方法

前・後期の中間試験ないしレポートと平常点により評価する。

教科書

とくに指定しないが、参考文献はその都度紹介する。

参考書等

大塚久雄著『社会科学の方法』（岩波新書）など。

その他

毎回授業の冒頭でカードによる前回授業時の学生諸君の質問・意見・要望を紹介し、出来るだけ授業内容に反映させていく。個別の質問・相談は授業終了時に対応する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 〔現代経済と人間〕	みよう せ まさ はる 明 瀬 政 治	経B・経A選 商選(12以降入学生)	4

講義のねらい

本講義は、理論体系を近代経済学に依拠し、私たちがその中で日々生活している現代の市場経済の仕組み・機能をできるかぎり平易に解説し、結果として受講生諸氏の「経済を見る目」を培うことをねらいとしています

講義の内容・授業スケジュール

受講生にあつては、本講義を単に教養科目の一つとしての経済学と考えている人もいれば、これをさらに本格的な経済学へ向かう導入部と理解している人もいると思います。

講義を進めるにあたり、前者に対しては「教養は身につけてこそ教養」と考えて、単なる「知識」の習得ではなく現実の生活の中で生かせる「知恵」となるよう工夫しています。つまり、テクニカルタームの解説に墮することなく、具象から学問のコアを浮かび上がらせる手法を採っています。

また、この講義は、それ自体、完結した現代経済学への入門を企図していますので、平易な表現の中に押さえるべき主要事項はきっちりと盛り込んでいます。したがって、「経済原論Ⅱ」、「価格理論」、「国民所得論」、「財政政策」のような、経済学部で開講されているもっと上級レベルの科目への橋渡し役を意図しています。

上記の趣旨から、ここではテクニカルタームによるテーマの羅列は致しません。

講義に臨んで、私の信条らしきものを掲げておきます。

- (1) 難しいことを、あーそうか、と言わせたい
- (2) きょうは「経済学」か、と言わせたい

そして、

- (3) 結構おもしろい(じゃん)、と言わせるぞ

成績評価の方法

成績は、学期末に行う試験を中心に評価しますが、予告有りて業間チェック(クイズ)を行い、平常点として考慮します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代社会を考える〕	お 呉 <small>びよん さん</small> 炳 三	経B・経A選 商選(12以降入学生)	4

講義のねらい

社会学が対象とするのは個人、集団、社会などである。その分野においても、「恋愛」「家族」「教育」「文化」「政治」「犯罪」「法律」「経済」「宗教」など様々である。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何だろうか。また、これらの諸問題を解決するためにはどのような手段が有効であろうか、本講義で分析していく。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では、前期は社会学の基礎について講義する。後期は、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な諸問題について考察を深めていく。

- (1) 社会の変動にともなう家族の変化をおう。これは、乳幼児における親との関わりや家族生活における様々な要因によって、青春期や高齢期に様々な問題が現れる。また、少子・高齢社会といった家族に関する諸問題などを検討する。
- (2) 近年、凶悪な少年犯罪が多く、犯罪と家族との関係についても分析する。
- (3) 「恋愛」「性」「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー：社会的な性」などの諸問題を考える。
- (4) 現代のIT文化が若者文化（ユース・カルチャー）に与える影響について、または現代社会において果たす役割とは、など日本の若者の心を分析していく。
- (5) 現代における企業活動の意義、または企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題について考える。

履修上の留意点

この講義は、出来る限り受講生自分自身で調べ、考え、答えを出す方向で講義を持つていくので、授業を聴く、考える姿勢が望まれる。または毎回辞書を持参すること。曖昧な日本語を使う学生、日本のことを知らない学生のために宿題を出すことがあるので、宿題が出来る学生の受講を勧める。

成績評価の方法

前・後末に筆記試験を行うなど。詳細は開講時に説明する。

教科書

労働・福祉研究会『21世紀の労働と福祉』（学文社） 2,500円

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代文化を考える〕	はし づめ さとし 橋 爪 敏	経B・経A選 商選(12以降入学生)	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題－文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等－を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』（学文社）

参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』（犀書房）
R. ニスベット『現代社会学入門1～4』（講談社学術文庫）
その他授業中に適宜指示したい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計学 〔社会現象の統計的分析〕	しんぎょうち こうじ 新行内 康 慈	経B・経A選 商選(12以降入学生)	4

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 統計学の概要 (2) 度数分布表とヒストグラム (3) 基本統計量
(4) 確率の定義 (5) 場合の数 (6) 和事象・積事象の確率
(7) 演習 (8) 確率変数と確率分布 (9) 平均・分散と期待値
(10) 確率変数の標準化 (11) 正規分布表問題 (12) 演習 (13) まとめ
- (後期) (14) 母集団と標本 (15) 点推定と区間推定
(16・17) 正規母集団の区間推定 (18) 仮説検定
(19・20) 正規母集団の検定 (21) 推定・検定の応用 (22) 演習
(23) 散布図と相関係数 (24) 回帰分析 (25) 回帰分析の応用 (26) まとめ

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

3回の演習と期末試験を総合的に評価します。

教科書

テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。

参考書等

適時指定します。

その他

配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするために課題演習を実施します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 人 類 学 〔文化と人間〕	かわ 川 かみ 上 しん 新 じ 二	経B・経A選 商選(12以降入学生)	4

講義のねらい

国境を越えての交流がますます活発になっている現代社会では、私たち一人一人もこれからさまざまな国や地域の友人と出会うことになるであろうし、また既に出会っている人もいると思います。それらの友人を理解し、交流をさらに深めるためには、彼らが生まれ育った社会の生活様式（すなわち文化）を理解する必要があります。なぜなら人はそれぞれの生活様式の影響を大きく受けて暮しているからです。そのような生活様式の中には、私たちから見て不思議に思うものもあるかもしれません。しかし、なぜそのような生活様式の中で人々は暮しているのかということを考えずに、好奇心や奇異な目だけで眺めると、思わぬ誤解を招くことにもなりかねません。この講義では、世界各地の人々のさまざまな生活様式（文化）を客観的に理解するための視野を養うことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

前期では文化人類学の概要や文化人類学による異文化の見方を中心に紹介します。①文化人類学とは、②人間と文化、③言語、④異文化と自文化、⑤文化人類学による異文化理解（例として、〈a〉男女の性差と文化、〈b〉生物学的な親と社会的な親、〈c〉結婚と住居、〈d〉父方の苗字と母方の苗字、〈e〉親族など）について、それぞれ1回ないし2回の講義時間をあてて紹介します。

後期では、異文化の理解を具体的に試みるための例として、主に韓国や中国や台湾・漢族などの文化を取り上げて、人と文化の関わりについて検討します。韓国の人々の①結婚、②親族、親戚、③家族、④相続、⑤中国・台湾漢族の場合との比較、⑥韓国や台湾・漢族の女性、⑦祖先祭祀と死後結婚、⑧日本の場合との比較について、それぞれ1回ないし2回の講義時間をあてて紹介します。

履修上の留意点

しばしばレポートの提出を課します。

成績評価の方法

定期試験と課題レポートを総合して評価します。

教 科 書

教科書は特に指定しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔諸民族とコスモロジー〕	すぎ 井 い じゆん いち 杉 井 純 一	経B・経A選 商選(12以降入学生)	4

講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、むずかしさを味わいながら、「異質なものとの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

I 文化人類学の基礎

1. 文化人類学とは何か
2. 文化人類学の歩み (1)
3. 文化人類学の歩み (2)
4. 文化とコミュニケーション
5. 環境と人間 (1) 狩猟採集民
6. 環境と人間 (2) 牧畜民
7. 環境と人間 (3) 農耕民
8. ジェンダー
9. セクシュアリティ
10. 婚姻の形態
11. 家族の多様性
12. 親族と社会

II 民族とコスモロジー

1. 呪術と宗教
2. アニミズム
3. シャーマニズム
4. シンクレティズム
5. 儀礼の構造
6. コスモロジー
7. 神話
8. 政治組織
9. 民族とエスニシティ
10. 民族紛争と戦争
11. 開発と文化
12. 移動の民族誌

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート (20%)、期末試験 (60%)、平常点 (20%) で評価します。

教科書

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書) 800円
 山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣) 1,700円
 佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』(新曜社) 2,200円

その他

できるだけ、ビデオを利用します (年に4~5回程度)。

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 〔政治システムと政治参加〕	三船恵美	経B・経A選 商選(12以降入学生)	4

講義のねらい

本講義の目的は、政治学を専攻していない学生が、教養としての政治学というものとはどのような学問であるのかを理解し、政治システムや政治参加についての基本的な理論や概念を学ぶことにあります。現代の政治が如何なる問題に直面しているのか、またそれを解決していく上で、現代政治学がいかなることを示唆しているのか、現代政治学が現実の政治課題を如何に捉えているのかを学びましょう。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 政治を理解するための基本的な知識を講義します。具体的には、政治学とはどのような学問か、政治体制と変動、政治と国家と政府、議院内閣制・大統領制・半大統領制、社会主義国家と独裁国家の政治制度、代表制と議会：二院制と一院制、選挙制度の類型と比較、選挙と世論、利益集団の圧力活動、公共政策と行政、政党と政党制、政治意識と政治文化、集権と分権、などについて講義していきます。
- ② 最近の政治事件・トピックを取り上げて、実際に分析します。

成績評価の方法

学期末試験（前期50%+後期50%）。ただし、時々、教場レポートを課すので、それに学問的誠意をもって解答した学生には、テストの得点に加算点を与えていきます。

教科書

加茂利男・大西仁・石田徹・伊藤恭彦『新版・現代政治学』（有斐閣）2003年

参考書等

必要に応じて、教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 〔国際社会と日本〕	山村恒雄	経B・経A選 商選(12以降入学生)	4

講義のねらい

「法学」や「経済学」とは違い、「政治学」に対して抱くイメージは、人によってかなり異なるようである。この授業は副題にある通り「国際社会」のなかで日本が直面するさまざまな課題を取り上げ、それを素材として「政治を見る眼」を養うことを目的とする。具体的には、近代国際社会成立以降第二次世界大戦終了後に至るまでの国際政治の主な出来事を解説し、それを基にして現在生じている時事問題を考える素材を提供しようとするものである。したがって、授業は時事問題の解説が目的ではなく、受講生のひとりひとりが、政治問題に対して自分の意見を形成できるよう、「分析の道具」を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

時事問題を素材として用いるため、具体的な問題を予め示すことはできないが、分析のための基本的な知識として、以下の項目を取り上げる。

- 1 ウェストファリア体制の形成
- 2 近代の国際政治
- 3 地球的問題群
- 4 第二次世界大戦後の国際政治の変容
- 5 冷戦と核兵器
- 6 食糧問題
- 7 環境破壊と持続可能な開発
- 8 日本をめぐる諸問題

履修上の留意点

受け身ではなく、積極的に授業に参加できる意欲のある人を歓迎します。

成績評価の方法

夏休み明けのレポートと学期末試験による。なお、夏休み明けのレポートを提出しない者は、学期末試験の受験資格を失うので注意すること。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

授業中、随時指定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 (1) 〔ヒューマン・ウォッチング〕	すずき じゆん いち 鈴木 順 一	経B・経A選 商選(12以降入学生)	4

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受身のバケツの学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方向的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強すること）ではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を持った人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子その他に「遺伝子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩みだすようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスと、遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見から得られるモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。ヒューマン・ウォッチング（人間観察）の対象は、他者の行動ばかりではない。自己の内面の動きや行動を観察することでも、深い人間理解が得られるのである。

講義の内容・授業スケジュール

学習計画は、進行状況により変更することがあります。

- [前期] (1) 学習とは？ 授業方針 (2) 心とは何か (3) 性格検査による自己理解
(4) パーソナリティ理論 (5) 精神分析的人格理論 (6) グループ形成とエンカウンター (8) コミュニケーションの促進 (8) 感覚・知覚・認知
(9) 自己認知 (10~11) カウンセリングの理論と技法 (11~12) 発達の心理
[後期] (13) 心の病と心理療法 (14) 交流分析による自己理解 (15) 自他肯定の人間関係 (16~17) 学習理論と行動療法 (18) relaxation 法 (19~22) 社会的行動

履修上の留意点

単独・聴講学習ではなく、グループによる協学習・相互学習・体験学習ですので、毎回、グループごとに自筆で出席を取ります。欠席しがちな人は履修しないでください。

成績評価の方法

出席点と平常の小試験・小レポート・グループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。

教科書

中村昭之編著『心理学概説』（八千代出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 (2) 〔人間関係を考える〕	すずき じゅんいち 鈴木 順 一	経B・経A選 商選(12以降入学生)	4

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受身のバケツの学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める(勉強すること)ではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証(反証)し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を持った人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩みだすようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスと、遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見から得られるモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具(理論と技法)を体験的に学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

学習計画は、進行状況により変更することがあります。

- [前期] (1) 学習とは? 授業方針 (2) 心とは何か (3) 性格検査による自己理解
(4) パーソナリティ理論 (5) 精神分析的人格理論 (6) グループ形成とエンカウンター (8) コミュニケーションの促進 (8) 対人関係の心理
(9~10) カウンセリングの理論と技法 (11) 生涯発達の心理 (12) 親子関係の心理
- [後期] (13) 青年の心理 (14) 交流分析による自己理解 (15) 自他肯定の人間関係
(16~17) 学習理論と行動療法 (18) relaxation 法 (19) 職場の人間関係
(20) 恋愛と結婚の心理 (21) 流行とマス・コミュニケーション (22) 社会病理と犯罪

履修上の留意点

単独・聴講学習ではなく、グループによる協力学習・相互学習・体験学習ですので、毎回、グループごとに自筆で出席を取ります。欠席しがちな人は履修しないでください。

成績評価の方法

出席点と平常の小試験・小レポート・グループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。

教科書

蓮見将敏・小山望編著『人間関係の心理学—体験をとおして学ぶ心理学—』(福村出版)

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物学 〔生態と進化〕	清水善和	経B・経A選 商選(12以降入学生)	4

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後には連綿と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この複雑、多様な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の進化、多様性、遺伝子を3つのキーワードにして、生物の分類や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟
 - (1) 生命の歴史性 (2) 遺伝子と生命現象 (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡
 - (1) 地質年代図 (2) マーグリスの共生説 (3) カンプリアの爆発
 - (4) 生物の上陸 (5) 大量絶滅
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない
 - (1) リンネ式分類体系 (2) 生物五界説 (3) 種の定義と属性 (4) 分子時計
 - (5) 動物と植物の系統
- 第4章 行動と進化－生き物は誰がために生きるか
 - (1) 動物行動学の歩み (2) 適応度とゲーム理論 (3) 性選択と性比
 - (4) 利他的行動と血縁淘汰 (5) 利己的遺伝子
- 第5章 生物の人口論－産めよ殖えよ地に満てよ
 - (1) 潜在的な増殖率 (2) 密度効果とr-K淘汰 (3) 食う・食われる関係
 - (4) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲
 - (1) 種間関係(共生と寄生) (2) 花と昆虫の共進化 (3) 菌根 (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り
 - (1) 霊長類の系統 (2) ヒトの発展段階 (3) ホミニゼーション(ヒト化)
 - (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する
 - (1) ダーウィン以前 (2) ダーウィン進化論 (3) ネオ・ダーウィニズム
 - (4) 進化論と宗教
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で
 - (1) 生態系(エコ・システム) (2) 食物連鎖と生物濃縮 (3) 光合成と呼吸
 - (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも
 - (1) 物質循環の大原則 (2) 水の循環 (3) 炭素の循環 (4) 窒素の循環
 - (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に
 - (1) 遷移のモデル (2) 遷移の実例 (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり
 - (1) 3つの多様性 (2) 多様性の尺度 (3) 生物地理区と植生帯
 - (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバリゼーション
 - (1) 里山の生物 (2) 都市化と生物 (3) 帰化種の侵入

教養教育

成績評価の方法

前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。

教科書

講義内容を記述した「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。受講者は清水のHPより自由にダウンロードして利用できる。

参考書等

「web版教科書」で章ごとに紹介する。

その他

講義で必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物学 〔生物と環境〕	なかむらとし 中村敏枝	経B・経A選 商選(12以降入学生)	4

講義のねらい

この地球が誕生したのは46億年の昔といわれる。40億年前にはすでに生命が誕生し、以後それは地球の環境を変えつつ、自らも進化の歴史を歩みながら現在に至っている。この長い歴史の中で、種の構成は変わり、あるものは絶滅してしまったけれど、現存する生物は40億年の間、生まれ・成長し・繁殖し・死ぬ ということを営々と繰り返してきた。この生物たちの営みをいろいろな段階（細胞・個体・個体群・生態系）で紹介したい。

後期には、環境問題を取りあげる。科学技術は私たちに快適で豊かな生活をもたらした。しかしその負の部分が近年私たちを脅かしている。その一つである人工化学物質の功罪について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- (前期) 生物の生活
 (1-5) 地球の歴史と生命の期限
 (6-13) 生態系のしくみ
 (後期) 化学物質の功罪—豊かな生活とそのつけ
 (14-21) ゴミ処理とダイオキシン汚染
 (22-23) 水銀汚染と水俣病
 (24-25) 人工放射性物質汚染

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教科書

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』(宣協社) 2,700円

参考書等

授業時間内に随時紹介します。

その他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 〔コンピュータと情報〕 (前期) (後期)	さわぐち たかし 澤 口 隆	経B選	2

講義のねらい

DTP (DeskTop Publishing)をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用した CAD イメージ、映画などで用いられるリアルな CG 映像や、インターネットブラウザ上での FLASH アニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理や CG でのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CG の基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OS は Windows を使い、アプリケーションは Adobe Photoshop および Adobe Illustrator を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。Web サイトを構築する上でのデザイン手法や HTML (Hyper Text Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

初心者を対象とするので予備知識は必要としない。最低限、Windows の基本操作はマスターしているほうが望ましい。授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 〔コンピュータと情報〕 (前期)(後期)	さかのい かず 坂野井 和代	経B選	2

講義のねらい

コンピュータの基礎的な操作方法、およびインターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

コンピュータの基礎的な操作方法を学んだ後、多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。具体的に電子メールやwwwなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってよいのか、何をやってはいけないのか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は授業中にも使用するため、必ず携帯すること。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地球科学 〔地球の素顔と地球環境問題〕	かとう きよし 加藤 潔	経B・経A選 商選(12以降入学生)	4

講義のねらい

最近、地球史にロマンを感じて博物館へ足を運ぶ人や化石や鉱物に興味を持つ人が増えていきます。自然災害や環境問題に関心を持つ人も増えていきます。家族を守るためにはある程度の知識が必要です。今後の生活をより豊かにかつ安全に過ごすために、地球科学を学ぶのも一法ではないでしょうか。

本講義の目標は、受講者が地球科学の基礎的な概念を再確認しつつ、新聞やTVによる災害などの報道に対して所見を持てるようにすることです。また、グローバルな視点から諸現象を捉えることができるように教養を養ってもらうことにあります。これまで地学を学ぶ機会が少なかった受講者にも理解できるように心がけます。いつでも質問して下さい。

講義の内容・
授業スケジュール

前半は、地球の誕生、内部構造、プレートテクトニクス、ブルームテクトニクス、火山、地震、自然災害、予知について触れます。後半は、地殻の物質、造山運動、アジア大陸や日本列島の形成環境、生命の歴史、環境問題(地球温暖化など)について触れます。

成績評価の方法

主に期末試験で評価されます。また、前・後期に2回ぐらいずつ、ビデオ鑑賞時の簡単な感想文や実習レポートを授業中に提出してもらいます(各5点)。

教科書

特に定めない。適宜プリントを配布。

参考書等

『最新 図表地学』(浜島書店)

その他

OHP、スライド、ビデオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔宇宙から見た地球環境〕	篠原 正雄 <small>しの はら まさ お</small>	経B・経A選 商選(12以降入学生)	4

講義のねらい

現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち、宇宙を視点に地球の自然環境について講義します。

太陽系の惑星の一つである地球の現在の自然環境は46億年の太陽系の歩みと地球の進化の産物です。現在も、太陽はもちろんのこと、太陽系内外の宇宙からのさまざまな影響の下にあります。また、過去40年間の太陽系探査により多くの天体が調べられ、地球をこれらの天体と比較しながら研究できるようになってきました。最近では、太陽系外の惑星系も見つかっています。その成果をふまえて、「地球環境」とはそもそもどんなものであり、どのように形成され、変化してきたかを中心に取り上げます。

日常生活でのある行為が「地球に優しい」のか逆に「地球を傷つける」のかという判断は立場により、また時代により異なります。環境問題は「健康法」と似ていて、仕組みもわかっていないうちに、効果も立証されていない手段でともかく対処しなければいけないという場合もあります。その結果、認識が少し進むと「善」と「悪」が入れ替わることも起こります。表面だけを見ていると、環境に確かなものは何もないかのように思われてきます。

多くの要因が複雑に絡みあう地球規模の環境問題について、原因や対策がすでにわかっているとは到底言えません。しかし、地球環境の基礎を形作る事柄についての研究は着実に進んでいます。この講義を通して個別の環境問題の背後にある地球環境システムについて理解し、より深いところから地球環境を考えられるようになっていただきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 宇宙と地球地球環境
宇宙の中の地球 宇宙の起源と進化 太陽系と地球の起源
太陽 地球磁気圏 海と大気 生命 地球環境の進化
2. 地球環境の変動
宇宙環境と地球環境変動 地球システムと地球環境変動 人類と地球環境変動
3. 地球環境問題
オゾン層破壊問題 地球温暖化問題 エネルギー その他の環境問題
4. 宇宙と地球の未来
文明の未来 地球と宇宙の未来 SETI (地球外文明探査)

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教科書

御代川貴久夫著『環境科学の基礎 改訂版』(培風館) 2,100円+税

参考書等

小宮山宏著『地球持続の技術』(岩波新書) 660円
その他、講義の中で適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔生命と環境〕	なかむらとしえ 中村敏枝	経B・経A選 商選(12以降入学生)	4

講義のねらい

米国同時多発テロ事件が起きた2001年9月、国内ではBSE問題が浮上した。BSEは牛の致死性の感染症であるが、病原体がプリオンというたんぱく質であること、ヒトおよび他の生物に種の壁を越えて感染することが、生物学的には興味深い。英国でこれが蔓延したのは罹病した牛の屍体を飼料として用いたことによるという。つまり、経済性・効率性の追及の結果である資源の有効利用が、草食動物である牛に肉食をさせた結果、生じた人災なのである。増え続ける人口、豊かな食生活への欲求、それが、生物と環境に何をもたらしているのかを考えてみよう。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 人間の活動と自然環境
 (1-6) 自然のしくみ
 (7-12) 自然の改変
 (後期) 食をめぐる問題
 (13-18) 農業—有機農業・灌漑・遺伝子組み替え作物
 (19-22) 畜産業—肉食とは何か・BSE・クローン動物
 (23-25) 漁業—海外依存度・環境ホルモン汚染

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教科書

使用しません。

参考書等

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』(宣協社) 2,700円
 その他については授業時間内に随時紹介します。

その他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報数学 〔情報と論理〕	おざわかまこと 小沢誠	経B・経A選 商選(12以降入学生)	4

講義のねらい

コンピュータサイエンスにおける数学の概要を知ること为目标とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、コンピュータサイエンスと符号化理論の基礎・論理学の基礎・集合論の基礎を学ぶ。後期に、形式言語理論の基礎・オートマトン理論の基礎・グラフ理論の基礎・プログラミング論の基礎を学ぶ。

履修上の留意点

毎回必ず出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の期末試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

河村一樹『図解雑学コンピュータ科学の基礎 図解雑学シリーズ』(ナツメ社) 1,260円

参考書等

河村一樹『情報とコンピューティング IT Text—般教育シリーズ』(オーム社) 2,625円

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

3. 外 国 語 科 目

外国語

3 . 外国語科目

[英 語]

英語 I A	〈笹 倉 貞 夫〉	537
英語 I A	〈山 縣 裕 裕〉	537
英語 I A	〈杉 本 誠 誠〉	538
英語 I A	〈熊 沢 和 明〉	538
英語 I A	〈町 田 成 男〉	538
英語 I B	〈林 明 人〉	539
英語 I B	〈高 見 陽 子〉	539
英語 I B	〈町 田 成 男〉	540
英語 I B	〈狩 野 晃 一〉	540
英語 I B	〈林 明 人〉	540
英語 I A・I B [再クラス]	〈濱 口 真 木〉	541
英語 I A・I B [再クラス]	〈伊勢村 定 雄〉	541
英語 I A・I B [再クラス]	〈伊勢村 定 雄〉	542
英語 I A・I B [再クラス]	〈山 縣 裕 裕〉	542
英語 I A・I B [再クラス]	〈本 間 俊 一〉	543
英語 II A	〈吉 川 直 澄〉	544
英語 II A	〈大 淵 利 春〉	544
英語 II B	〈町 田 成 男〉	545
英語 II B	〈熊 沢 和 明〉	545
英語 II A・II B [再クラス]	〈大 淵 利 春〉	546
英語 II A・II B [再クラス]	〈町 田 成 男〉	546
英語 II A・II B [再クラス]	〈飯 沼 好 永〉	546
英語 II A・II B [再クラス]	〈萩 原 輝 輝〉	547

[ド イ ツ 語]

ドイツ語 I A	〈清 水 修 修〉	548
ドイツ語 I B	〈篠 原 敏 昭〉	548
ドイツ語 I A・I B [再クラス]	〈薮 下 紘 一〉	549
ドイツ語 II A	〈清 水 修 修〉	549
ドイツ語 II B	〈篠 原 敏 昭〉	550
ドイツ語 II A・II B [再クラス]	〈薮 下 紘 一〉	550

[フ ラ ンス 語]

フランス語 I A	〈八 木 明 美〉	551
フランス語 I B	〈木 下 雄 介〉	551
フランス語 I A・I B [再クラス]	〈谷 川 かおる〉	551
フランス語 II A	〈八 木 明 美〉	552
フランス語 II B	〈木 下 雄 介〉	552
フランス語 II A・II B [再クラス]	〈長谷川 光 明〉	552

[中 国 語]

中国語 I A・I B	〈秋元 翼・王 聡〉	553
中国語 I A・I B	〈塩旗伸一郎・上原かおり〉	553
中国語 I A・I B [再クラス]	〈大久保 明 男〉	554
中国語 I A・I B [再クラス]	〈曹 泰 和〉	554

中国語ⅡA	〈秋元 翼〉	554
中国語ⅡB	〈上原 かおり〉	555
中国語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈弘兼 加奈子〉	555

〔スペイン語〕

スペイン語ⅠA	〈荻野 雅司〉	556
スペイン語ⅠB	〈中山 直次〉	556
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈栗林 ゆき絵〉	557
スペイン語ⅡA	〈荻野 雅司〉	557
スペイン語ⅡB	〈中山 直次〉	558
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈栗林 ゆき絵〉	558

〔ロシア語〕

ロシア語ⅠA・ⅠB	〈廣田 英靖〉	559
ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈杉山 秀子〉	559
ロシア語ⅡA	〈廣田 英靖〉	560
ロシア語ⅡB	〈廣田 英靖〉	560
ロシア語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈杉山 秀子〉	560

《選 択 科 目》

英会話Ⅰ	〈永野 光一〉	561
英会話Ⅱ	〈永野 光一〉	562
英語LLⅠ	〈甲斐 捷子〉	563
英語LLⅡ	〈山縣 裕〉	564

英 語 I A

<英語 I A の授業内容と履修上の留意点>

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。文章表現の場合、文から段落へ、会話表現の場合、日常基本表現から、多様な会話表現の理解と運用能力を目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	ささ くら さだ お夫 笹 倉 貞 夫	経 B 1 年	2

講義のねらい

近年ますます国際化していく現代社会に即応しうのような洗練された国際感覚の育成とともに英語の実践的な運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

平易な現代アメリカ英語で書かれたテキストを用いて、英語による文章表現を学ぶ。テープ教材併用。

履修上の留意点

予習・出席重視

成績評価の方法

前・後期末テストの他、場合によっては、レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら総合的に最終評価を出す。

教 科 書

M.Vogel『珍しい事実・記録のビッグブック』(太陽社)

そ の 他

金曜日・6 講時

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	やま がた ゆたか 山 縣 裕	経 B 1 年	2

講義のねらい

大学生にふさわしい質と量の英単語・熟語を修得し、同時に日常会話・作文力も身につける。

講義の内容・授業スケジュール

英単語・熟語集とテキストを併用する。小テストも行う。

履修上の留意点

予習をしてこること。辞書を持ってくること。

成績評価の方法

平常点・小テスト・定期テストを総合的に評価する。

教 科 書

『英語へのパスポート』(朝日出版社) 1,400円 ISBN4-255-15058-3

『基礎から学ぶ TOEIC テスト英単語熟語』(南雲堂) 1,100円 ISBN4-523-26418-X

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	すぎもと まこと 杉 本 誠	経B1年	2

講義のねらい

新聞という人間生活のあらゆる面を取り扱う媒体をわたしたちの日常生活の情報源として活用することに視点を置いて、時事英語、特に新聞英語やメディア英語への理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は容易に、しかも楽しく英字新聞が読めることを重視し、旅行、環境、健康、スポーツなどの日常生活に密接な関わりのある記事を取り上げる。後期は、政治、経済、文化、社会生活などの記事をできるだけ多く読み、大意を把握し、読む速度をあげるようにする。内容把握、語法、リスニング、英訳などの練習問題を通じて、総合的な英語力を身につけることを目的とする。

履修上の留意点

速読が進むので、かならず毎時間の予習が必要である。

成績評価の方法

前・後期定期試験、レポート、小テスト、出席率などを総合して評価する。

教 科 書

『What a Story!』（南雲堂）1,300円 ISBN4-523-17452-6 C0082

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	くま さわ かず あき 熊 沢 和 明	経B1年	2

講義のねらい

平易な日常会話のテキストを用いて、日常基本表現を習得します。簡単なダイアログの形式で自分を表現できることを目標にします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読みながら、各ダイアログを実演し、そこに自分の情報を入れ、自分自身のダイアログにつくり換えて行くトレーニングの方式です。

履修上の留意点

トレーニング科目となるので積極的な参加姿勢が求められます。

成績評価の方法

平常点重視。単語テストもあります。

教 科 書

『Activator』（金星堂）

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔基礎英語特別クラス〕	まちだ しげ お 町 田 成 男	経B1年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をめざす。文章表現の場合、センテンスからパラグラフへ、会話表現の場合、日常基本表現から多様な会話表現の理解と運用能力をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読みすすめると共に、カセット・テープやビデオ教材も時々使用する。

履修上の留意点

英和辞典を持参すること。

成績評価の方法

出席、発表、試験の総合評価とする。

教 科 書

現在、検討中のため未定。

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。読解力の場合、精読に加えて段落、章などの大意が把握できること、聴解力の場合、大意が把握できることを目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	はやし 林 あきと 明 人	経 B 1 年	2

講義の内容・ 授業スケジュール

各ユニットが、1～2ページの本文と練習問題で構成されているテキストを読みます。あらかじめ皆さんに試訳を提出してもらい、それを用い質問をしながら授業を進めます。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、試訳、出席の総合評価。

教 科 書

『アメリカの背景を読む』（金星堂）ISBN 4-7647-3786-8 C1082
『ロングマンアクティブ・スタディ英英辞典』（南雲堂フェニックス）

そ の 他

木曜日・6時限

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	たか 高 みようこ 見 陽 子	経 B 1 年	2

講義のねらい

英文を速く的確に読むための基礎を身につけることを目標とします。

講義の内容・ 授業スケジュール

「理解しながら読む」方法に慣れるために、はじめ英文全体をすばやく読んで要点を把握したあと、再び詳しく読み直して内容を確認します。

履修上の留意点

辞書を必ず持参すること。授業は速読を中心として進めますので、日本語訳については各自で復習する必要があります。

成績評価の方法

前・後期試験の結果に、授業中の取り組み姿勢などの平常点や小テスト・レポート等の結果を加えて、総合的に評価します。全授業回数のうち3分の2以上の出席が必要です。

教 科 書

第一回目の授業で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	まち だ しげ お 男 町 田 成 男	経B1年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解とスピード・リーディングの基礎を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読みすすめると共に、カセット・テープ・CD、ビデオ教材なども時々使用する。

履修上の留意点

3分の2以上は出席すること。

成績評価の方法

出席＋発表＋試験の総合評価とする。

教 科 書

検討中のため未定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	か のう こう いち 一 狩 野 晃 一	経B1年	2

講義のねらい

音読・精読等を通して英語の基礎力の定着をはかります。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを正確に読むことを中心にしてゆきます。必要に応じてプリント等を配布します。

履修上の留意点

予習をすること。常に辞書を携帯すること。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、前期・後期の試験の結果に加えて評価します。3分の2以上の出席が求められます。

教 科 書

『Gary B.Rodgers／米田絃一／森 茂 *European Vacation*』（松柏堂）1,680円
ISBN4-88198-565-5

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔基礎英語特別クラス〕	はやし あき と 林 明 人	経B1年	2

講義の内容・授業スケジュール

簡単な読み物を使用しながら、英文の構造を学び、さらに自ら英文を書けるようになることを目的とします。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、発表、小テスト、出席の総合評価。

教 科 書

『構文から学ぶやさしい日常英語』（南雲堂）ISBN4-523-17440-7

そ の 他

木曜日・7時限

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I A [再クラス]	はまぐち まさき 濱 口 真 木	経B2・3・4年	2
英語 I B [再クラス]			

講義のねらい

入学時の英語力を基礎として、英語の運用能力の向上を目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを中心に進めていき、授業は予習を前提とした発表形式でおこないます。

履修上の留意点

予習をして授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

平常点50%、前期・後期の試験50%による総合評価とします。

教 科 書

『The Unchanging Face of Great Britain—イギリスの背景を読む—』（金星堂）1,500円
ISBN4-7647-3797-3

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I A [再クラス]	いせむら さだお 伊勢村 定 雄	経B2・3・4年	2
英語 I B [再クラス]			

講義のねらい

実際のE-mailを通して、英語の基礎と日米の考え方の違い等にふれる。

講義の内容・
授業スケジュール

進め方は特に変わったやり方はしないが、音読なども取り入れつつ英語の音と内容把握もめざす。

1課を2～3時間で進む。

履修上の留意点

予習必要！辞書持参のこと！

成績評価の方法

年2回のペーパーテスト及び授業態度。

教 科 書

Sadao Isemura, Dennis R. Kogge『アメリカンライフを英語で』（北星堂書店）1,900円
ISBN4-590-01115-8

参 考 書 等

中型英語辞典なら何でも可。

そ の 他

水曜日・6時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A [再クラス]	いせむら さた お 雄 伊勢村 定 雄	経B2・3・4年	2
英語 I B [再クラス]			

講義のねらい

アメリカン・ストーリーを通して、アメリカ英語を学ぶ。及び英語の基礎や辞書のひき方にもふれる。

講義の内容・授業スケジュール

音読と訳読を交互に混えて進めるが、演習形式という授業形態上、受講者は全員参加することになる。1課を2～3時間で進む。

履修上の留意点

予習必要！辞書持参のこと！

成績評価の方法

年2回のペーパーテスト及び授業態度。

教科書

丸橋 他編注『映像で楽しむオーストラリア (Touring Australia)』(英光社) 1,890円
ISBN4-87097-024-4

参考書等

中型英語辞典なら何でも可。

その他

水曜日・7時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A [再クラス]	やま がた ゆたが 山 縣 裕	経B2・3・4年	2
英語 I B [再クラス]			

講義のねらい

大学生にふさわしい質と量の英単語・熟語を修得し、同時に日常会話のリスニングにも慣れる。

講義の内容・授業スケジュール

英単語・熟語集と映画シナリオを併用する。小テストも行う。

履修上の留意点

予習をしてくること。辞書を持ってくること。

成績評価の方法

平常点・小テスト・定期テストを総合的に評価する。

教科書

『シャイン』(松柏社) 2,100円 ISBN4-88198-561-2
『基礎から学ぶ TOEIC テスト英単語熟語』(南雲堂) 1,100円 ISBN4-523-26418-X

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A [再クラス]	ほんま 本間 俊一	経B2・3・4年	2
英語 I B [再クラス]			

講義の内容・
授業スケジュール

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を公表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書

『愛の諸相』(朝日出版社) 1,700円 ISBN4-255-15154-7

英 語 Ⅱ A

〈英語ⅡAの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。文章表現の場合、段落から自由作文へ、会話表現の場合、ダイアログからディスカッションを目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 Ⅱ A	きつかわ なお ずみ 吉川直澄	経B2年	2

講義のねらい

英語 IA を基礎として、より高度な英語運用能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な基本表現を復習しつつ、英語での自己表現を拡大させる。前期は、主に音声を通じて、目から覚えられていた英語表現が“運用可能”となっているかどうか確認してゆく。後期は、前期の目標を継承しつつ、可能な限りプレゼンテーションを学生諸君にしてもらう。

履修上の留意点

とにかく繰り返し練習すること。付属の CD は聞くだけではなく、声に出して練習するためにある。練習する場合には、英語のリズムとイントネーションを極力“模倣”するように心掛けること。

成績評価の方法

3分の2以上の出席、授業内提出物、プレゼンテーション、前期試験もしくは夏休みレポート、後期末試験を総合して評価する。なお、欠席と遅刻の回数についての問い合わせには一切応じない。

教科書

『Expanding Tactics for Listening Test Booklet with CD』(Oxford University Press)
ISBN0-19-438836-0

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 Ⅱ A	おお ぶち とし はる 大 淵 利 春	経B2年	2

講義のねらい

英作文の練習をとおして、英語によるコミュニケーション能力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

毎回テキストの問題を解いていくのと同時に小テストも行います。

履修上の留意点

予習は必ず行って下さい。また、辞書は必ず携帯して下さい。

成績評価の方法

前、後期2回のテストの結果をもとにしながら、出席状況、授業態度なども考慮に入れ、総合的に評価します。

教科書

『コミュニケーションのための口語英作文』(成美堂) 1,600円

英 語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading：I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	町田成男 <small>まち だ しげ お</small>	経 B 2 年	2

講義のねらい

IB を基礎として、さらに多くの量を読めるように、大意の把握をして、読む速度を上げる。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読みすすめると共に、CD やビデオ教材も時々使用する。

履修上の留意点

3 分の 2 以上は出席すること。

成績評価の方法

出席 + 発表 + 試験の総合評価とする。

教科書

現在、検討中のため未定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	熊沢和明 <small>くま さわ かず あき</small>	経 B 2 年	2

講義のねらい

英文読解のための方法を学びつつ、様々なタイプの英文を読むための読解力を身につけます。また読んだ内容をまとめる能力をつけることもめざしています。

講義の内容・授業スケジュール

学生の訳読実習と同時に内容をまとめる作業、大意要約などの作業を行います。

履修上の留意点

レポート形式の課題が出ます。メールによる指導にも対応します。

成績評価の方法

単語テスト、年 2 回の期末試験を実施しますが、基本的に平常点を重視した総合評価をします。

教科書

『Basic Interactive Reader』（金星堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA〔再クラス〕	おお ぶち とし はる 大 淵 利 春	経B3・4年	2
英語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい

総合的な英語力（リスニング、スピーキング、ライティング、リーディング）の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

毎回テキストを読み進め、リスニングの小テストを行う。

履修上の留意点

予習はしっかり行って下さい。辞書は必ず携帯して下さい。

成績評価の方法

前、後期2回のテストの結果をベースにしながら、出席状況その他の日常の授業態度を考慮に入れ、総合的に評価します。

教科書

『New Moments in Science』（成美堂）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA〔再クラス〕	まち だ しげ お 町 田 成 男	経B3・4年	2
英語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい

IAを基礎として、より高度な英語の運用能力を身につける。文章表現の場合、パラグラフから自由英作文を年に3～5回程度提出できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読みすすめると共に、CDやビデオ教材も時々使用する。

履修上の留意点

英和・和英辞典を持参すること。

成績評価の方法

出席＋発表＋試験の総合評価とする。

教科書

現在、検討中のため未定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA〔再クラス〕	いい ぬま よし なが 飯 沼 好 永	経B3・4年	2
英語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい

様々な英語の文章を読みながら、より速く、正確に内容を把握する力を養うことを目指していきたい。また、リーディングの英文は、一種のライティングのお手本でもありますので、ライティングに活かせるよう、基本的な文法事項を踏まえつつ英語の文章構造も丁寧に捉えていきたい。

履修上の留意点

受け身の姿勢では自己の英語力を向上させることは困難ですから、積極的に授業に参加して下さい。そのためには予習をしっかりと行うよう心がけて下さい。

成績評価の方法

成績は、出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価(50%)、前期・後期試験(50%)

教科書

Charles L. Clark 三原京、福本由紀子、莊中孝之、木村博是著
Basically America, Basically Japan (南雲堂) 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 Ⅱ A [再クラス] 英 語 Ⅱ B [再クラス]	はら 原 輝	経B3・4年	2

講義のねらい

これまで学んできた英語を基礎として、自分の考えや意見を英語で表現できる能力の習得を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

4月から6月は、“Happiness”と“Money”と“Work”についての章を学ぶ。7月は前期のまとめと、前期試験を実施。9月から12月は、“Love and Hate”と“Humor and Laughter”と“Experience”についての章を学ぶ。1月は後期試験を実施する。

履修上の留意点

いつでも自分の考えや意見を英語で表現出来るようにするために、自主的に勉強する態度を身に付けて欲しい。なお、教科書、英和・和英辞典を毎時間持参すること。

成績評価の方法

成績の評価は、3分の2以上の出席、授業態度、試験の結果等の総合評価。

教 科 書

Jim Knudsen 著『名句で英語を学ぶ』（南雲堂）1,957円

[ドイツ語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A	しみず おさむ 清水 修	経B1年	2

講義のねらい

ドイツ語でのコミュニケーションのために必要な文法を、特に日本語および英語と比較対照させながら理解し、身に付け、また基礎的な語彙を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

ドイツ語でコミュニケーションするためには何が重要で、何が重要でないかを明確に示しながら授業を進めていきます。

また、ほとんどの学生が大学生になって初めて第二外国語としてドイツ語を学び始めるということを考慮して、常に「なぜ」という問題意識を提起しながら授業を進めていきます。

そこでは当然、日本語と英語との比較対照が問題になり、これが日本語や英語への理解をさらに深める契機になればと考えています。

履修上の留意点

必ずしも教科書に沿った授業はしません。また、常に参加者の意欲と関心が反映される授業を心がけますので、進度は予測できません。

したがって、やむを得ず欠席した時は必ず自分の責任で補うのが原則ですが、自分で解決できないときは必ず教師に相談するようにしてください。

成績評価の方法

普段の授業への参加と貢献、および年に2回実施する予定の試験等で総合的に判断します。

教科書

早川東三『完全ドイツ文法（改訂版）』（朝日出版社）

参考書等

ヴォルフガング・シュレヒト『独検突破単語集』（三修社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B	しの はら とし あき 篠原 敏 昭	経B1年	2

講義のねらい

簡単なドイツ語の文を口に出して言うことを通じて、語彙や文法の基礎的な知識とドイツ語による表現の習得をねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて授業をおこないます。ドイツ人の生活や考え方などもテキストをとおして学んでいきたいと思っています。

履修上の留意点

欠かさず出席すること、予習・課題をやってこること、辞書を必ずもってくることを。

成績評価の方法

毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になるでしょう。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。

教科書

『CD付き モデル1 問題発見のドイツ語』（三修社）2,600円

参考書等

授業の中で指示します。

その他

CDやビデオをつかった授業をおこなう予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	やぶ した こう いち 敷 下 紘 一	経B2・3・4年	2
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい

ドイツ語と一戦して負けましたね。今年こそは単位とってやると意気込んで下さい。教科書も変わるでしょうし、土曜日の午後、皆が遊んでいるのに学校へ出て来るのはなんともおもしろいものではないですが、今年だけはガマンして単位とって、3年生からの専門科目に立ち向かいましょう。

履修上の留意点

休まないで出て来る事！

成績評価の方法

成績は前期・後期の試験及び平常点で決めます。

教科書

教科書は別のものを使います。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡA	し みず おさむ 清 水 修	経B2年	2

講義のねらい

ドイツ語でのコミュニケーション能力の養成をめざします。基本的な会話能力と、辞書の助けを借りて簡単な文章が読めるようになるのが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

最初は特に、基礎的な能力の復習に力を入れます。受講者の習熟度、意欲に合わせて授業を進めて行きます。

履修上の留意点

ドイツの文化を知り、それについて考えるということは、日本の文化を知り、それについて批判的に考えるということです。受講者には自分自身の意見を持つこと、主体的に考えるという態度を期待します。

成績評価の方法

主に平常点で評価します。

教科書

プリントを用意します。

参考書等

授業中に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II B	しの はら とし あき 篠 原 敏 昭	経B2年	2

講義のねらい

ドイツ語 I A・I B で習った基礎的なことからをもとに、少し進んだレベルのドイツ語の文章が理解できるようになることをめざします。あわせてより進んだレベルの文法項目の学習もおこないます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて授業をおこないますが、ドイツの風土、ドイツ人の考え方、行動スタイルなどもテキストをとおして学んでいきたいと思っています。ドイツ語検定試験（4級）の受験も勧めています。後期には受験対策の教材も授業に採り入れる予定です。

履修上の留意点

予習を必ずやってくること、欠かさず出席すること、辞書を必ずもってくること。

成績評価の方法

毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になります。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。ドイツ語検定試験合格者および受験者には相応の評価の追加を行う予定です。

教 科 書

『体験するドイツ語』（郁文堂）2,600円

参 考 書 等

授業の中で指示します。

そ の 他

CDをつかった授業をおこなう予定です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 II A [再クラス]	やが した こう いち 藪 下 紘 一	経B3・4年	2
ドイツ語 II B [再クラス]			

講義のねらい

ドイツ語は今年で決着つけて4年生になってもらいたいものです。その為には是非出席して下さい。ノートを1冊用意して下さい。

履修上の留意点

土曜日に出て来るのは今年で終わりにしましょう。

成績評価の方法

前期・後期の試験及び平常点で決めます。

教 科 書

教科書も変わるでしょうから（4月に決めます）

[フランス語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A	八木 明美 <small>やぎ あけみ</small>	経B1年	2

講義のねらい

初めてフランス語を学ぶ学生を対象に、フランス語の初級文法の説明と演習を行う。日常語は理解でき、辞書を使用すれば簡単な文章なら読めるようにしたい。出席を欠かさないこと。積極的に授業に参加すること。予習・復習、特に復習を欠かさないこと。

成績評価の方法

期末に行う試験ほかに、レポート、小テスト、授業中の積極性なども考慮して評価する。

教科書

斉藤昌三著『新版ル・フランセ』（白水社）1,750円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I B	木下 雄介 <small>きのした ゆうすけ</small>	経B1年	2

講義のねらい

フランス語の基本文法を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね教科書の章立てにそって授業を進める。

履修上の留意点

初めて学ぶ外国語である以上、予習復習が必要なことは言うまでもない。その反面、扱うのは初歩的な事項ばかりであるから、地道な努力を怠らなければ、修得はさほど困難ではない。学生諸君の努力に期待するゆえんである。

成績評価の方法

期末・学年末試験の成績に平常点を加味して採点する。かならず予習をして出席すること。

教科書

滑川明彦『新・街角のフランス語12課』（三修社）1,650円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A〔再クラス〕	谷川 かおる <small>たに がわ</small>	経B2・3・4年	2
フランス語 I B〔再クラス〕			

講義のねらい

フランス語の基礎をゆっくりと学び直します。

講義の内容・授業スケジュール

基本文法を学んだのち、練習問題やテキスト読解にとりくみ、基礎力を養います。毎回小テストを行い、学んだことを確実に覚えます。

履修上の留意点

全員参加の演習方式。辞書は毎回持参すること。

成績評価の方法

前期・後期試験の点数に、小テスト、授業への取り組み態度などを加算し、総合的に評価する。

教科書

『彼女は食いしん坊』藤田裕二著（朝日出版社）2,500円。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA	八木明美	経B2年	2

講義のねらい

初級文法をひととおり学習した者を対象にさらに文法学習を通してフランス語を理解することを目的として授業をすすめる。

出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。

成績評価の方法

出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。

教科書

『ル・フランセ』（白水社）1,750円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡB	木下雄介	経B2年	2

講義のねらい

1年次の授業で修得した文法の知識をもとに、辞書と相談しながら文章を読み解く練習をする。

講義の内容・授業スケジュール

平易な文章で書かれた短編小説をテキストに用いる。

履修上の留意点

予習復習が必要なことは言うまでもない。テキスト中のすべての単語について、意味ばかりでなく、品詞・用法をきちんと確認して授業にのぞむこと。

成績評価の方法

平常点を重視し、期末・学年末の試験成績を加味して採点する。かならず予習をして出席すること。

教科書

土居・石井編『プチ・ニコラ』（駿河台出版社）922円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA〔再クラス〕	長谷川光明	経B3・4年	2
フランス語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい

ビデオ教材を用いながら、フランス語初級文法を複合過去から復習していきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。試験は前期と後期二回行います。

履修上の留意点

基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口頭問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。

成績評価の方法

前期、後期試験及び平常点。

教科書

藤田裕二『彼女は食いしん坊！2』（朝日出版社）2,500円

中 国 語

中国語ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB

(P.134) 参照

【辞書について】

(P.134) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 Ⅰ A	秋 元 翼	経B1年	2
中 国 語 Ⅰ B	王 聡		

講義の内容・
授業スケジュール

ピンイン（中国式ローマ字表記）で発音の基礎を学んでから、簡単な文法や基本的な表現を学ぶ。主に秋元が文法を、王が応用練習を担当する。各課を文法、応用練習各一回の割合で進み、一年間で教科書一冊を学ぶ。また、後期の後半にはプリントで文法の補充を行う。

履修上の留意点

中国語は発音が重要なので、授業では積極的に声を出して正確な発音を身につけて欲しい。4分の3以上の出席を要する。

成績評価の方法

平常点と、中間・期末のテストの結果によって総合的に評価する。

教 科 書

尹景春・竹島毅『《最新版》《中国語初めの一步》』（白水社）2,310円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 Ⅰ A	塩 旗 伸一郎	経B1年	2
中 国 語 Ⅰ B	上 原 かおり		

講義のねらい

中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や、表現の背景にある文化、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解すること。それは私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことにも繋がるだろう。

講義の内容・
授業スケジュール

一年生3人のキャンパスライフを映したビデオを見ながら、生きた中国語を場面に戻して練習する。課ごとの仕上げはビデオに合わせたバーチャル会話。

音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の相当部分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを盛大に行う。

履修上の留意点

中国語ⅠAとⅠBは連動するので、必ずセットで履修すること。
なお、携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、缺席扱いとする。

成績評価の方法

定期試験+小テスト+平常点-缺席点。
「平常点」とは「出席点」ではない。ただ坐っていれば評価されると思ってしまうのは大いなる誤解である。

缺席が年間3回を超えると10点ずつ減点する。遅刻は2回で缺席1回に換算する。

教 科 書

相原・陳・飯田『一年生のころ（改訂版）』（朝日出版社）2,625円

外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA〔再クラス〕	おおくぼ あき お 大久保 明 男	経B2・3・4年	2
中国語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい	正確な発音と基礎文法の習得、中国語コミュニケーション能力の養成をめざす。
履修上の留意点	毎回予習、復習が必要。
成績評価の方法	出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。
教科書	塚本慶一監修・劉穎著『新版 一年生のコミュニケーション中国語』（白水社） 2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA〔再クラス〕	そう たい わ 曹 泰 和	経B2・3・4年	2
中国語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい	バラエティに富む楽しいテキストで、実際に役立つような会話文を習う。基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	授業を通して、北京のことを中心に中国のさまざまなことを学ぶ。
履修上の留意点	元気よく、積極的に授業に参加すること。
成績評価の方法	テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。
教科書	相原茂・李貞愛『北京コレクション』（朝日出版社）2,500円
参考書等	開講時に説明する。
その他	中国語の辞書を一冊買ったほうがよい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	あき もと たすく 秋 元 翼	経B2年	2

講義の内容・授業スケジュール	初級の復習をしながら語彙や表現力を増やし、より上の段階へ進める力を養う。会話文を主にした教科書を用いるので、楽しく役に立つ表現が学べる。
履修上の留意点	予習・復習をして授業で習うことを確実に覚えて欲しい。また、音声面もおろそかにしたくないので、目で字を追うだけでなく、授業中、積極的に声を出して欲しい。出席を重視する。4分の3以上の出席を要する。
成績評価の方法	平常の学習態度や到達度と、期末テストの結果によって総合的に評価する。
教科書	荒川清秀『美香 in China』（同学社）2,310円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	上原 かつら	経B2年	2

講義のねらい

一年次に学んだ基本表現や文法事項の定着を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

使用する教科書は簡単な対話文を通して中国語の基礎を習得するよう構成されています。各課の基本会話文を口頭で繰り返し練習した後、会話文に含まれる文法事項を確認したうえで練習問題に取り組みます。

履修上の留意点

授業中は恥ずかしがらず大きな声で積極的に授業に参加してください。

成績評価の方法

年間4回以上のテスト（前後期末試験を含む）、宿題、出席率で総合評価します。

教科書

陳淑梅、蘇明著『中国を歩こう』（金星堂）2,730円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA〔再クラス〕	ひろかね かなこ 弘 兼 加奈子	経B3・4年	2
中国語ⅡB〔再クラス〕			

講義の内容・授業スケジュール

中国人の生活を「出生」に始まり、「教育制度」や「結婚」等、8項目に分けて授業を行なう。翻訳が中心となるが、発音・声調も重視していく。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

池上貞子・張国璐『中国人のくらし』（朝日出版社）1,995円

[スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A	おきの 荻野 雅司	経B1年	2

講義のねらい

スペイン本国のスペイン語に限らず、中南米で今日常用されているものも含めて、スペイン語の全体を概観することを狙いとしています。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って初級スペイン語を学習して行きますが、言葉のみでなく、出来るだけヒスパニック圏の人々の物の考え方や文化、習慣を学ぶことで、communication がより容易に行えるようにします。

さらに、このクラスはスペイン語の理解を促進するために、英語の語法との対比を常時行なうことを特徴の一つとしています。

成績評価の方法

原則として年2回正規のテストを行いますが、総合的な成績の評価に当たっては、良くても、悪くてもテストの結果のみによってこれを行いません。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価します。

教科書

橋本定久 他著『スペイン語の広場』（大学書林）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B	なかやま 中山 直次	経B1年	2

講義のねらい

初めて学ぶ受講生が対象なので、まずはスペイン語に親しみ、楽しみながらスペイン語の総合力を身につけることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

一通りスペイン語の発音を学習したあと、場面別の会話文を使って音読や訳読の練習をします。次に、その会話文から取り出した文法を解説します。最後に、関連問題を解いたり、応用演習を行ったりします。

履修上の留意点

初習の語学は、途中が抜け落ちると続けにくくなります。なるべく欠席しないようにしてください。また、必ず予習をして授業に臨むように心がけてください。

成績評価の方法

平常授業中の演習や応答の状況、および宿題や小テストの成績などを記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とします。(いわゆる学期末の定期試験は行いません)。

教科書

中山『トーレス一家の人たち』（芸林書房）

参考書等

宮城他編『現代スペイン語辞典』（白水社）

中山『初級スペイン語』（白水社）

特に上気の本でなくても構いませんが、辞書のほかに手頃な自習参考書を一冊併用することをお勧めします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	栗林 ゆき絵	経B2・3・4年	2
スペイン語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい

年間で約60の基本会話表現を修得する。そのために必要な基本的な文法事項を整理して、スペイン語のことばのしくみを学習する。

講義の内容・授業スケジュール

授業は文法事項の説明とそれを応用した練習問題という構成で進める。前期は現在形、後期は過去形、未来形、現在完了を中心に学習する。毎回時間の初めに小テスト（基本文、活用・単語）を実施。

履修上の留意点

少しずつ文法や単語を身につけられるよう、毎回、授業の最初に2問程度の小テストを行う。途中でわからなくなってもめげずに授業に出席するように心がけてほしい。

成績評価の方法

小テスト30%、前後期試験70%の配分で評価。全体の合計が60点以上で合格とする。出席が6割に満たない者には単位を与えない。

教科書

小池和良『多国籍スペイン語入門』（同学社）2,700円

参考書等

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）
*辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するように。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA	萩野 雅司	経B2年	2

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々で行う communication の術を身に付けることを狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Ⅰで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接して行きます。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。

成績評価の方法

テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

教科書

寺崎英樹著『スペイン語文法システム』（同学社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡB	<small>なか やま なお じ</small> 中山直次	経B2年	2

講義のねらい

スペイン語文法の体系を、できる限り能率よく修得することをねらいとします。

講義の内容・
授業スケジュール

昨年度スペイン語ⅡBで使用した『やさしいスペイン語』の前半を簡単に復習した後、その後半を学習します。これまで通り、スペイン語文法の基本項目を解説し、関連問題を解きます。ただし今年度は、文法学習の単調さを避けて授業に変化をもたせるために、毎回副読本を使って簡単なスペイン語会話の演習をはさみます。

履修上の留意点

外国語の学習には「継続は力なり」という格言がよくあてはまります。「勉強する」というよりは「つきあう」という感覚で結構ですので、気楽に、しかし「気長に」取り組んでください。

成績評価の方法

平常授業時の演習や応答の状況、および宿題や小テストの成績などを記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とします。(いわゆる学期末定期試験は行いません)。

教科書

中山著『やさしいスペイン語』(白水社) 昨年度からの継続受講者は購入不要
中山著『250語でできるやさしいスペイン会話』(白水社) 副教材

参考書等

辞書・参考書等は、現在持っているもので十分間に合うと思います。ただ、参考書類を一冊も持っていない人は、何か手頃な自習参考書を一冊購入し、予習・復習の際に常時参照することをお勧めします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	<small>くり ばやし え</small> 栗林ゆき絵	経B3・4年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい

会話表現60文の習得に重点をおく。動詞の活用形を学びながら、基本表現の応用の仕方を理解し、それを用いて様々なニュアンスの文を作ることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

活用・文法事項・重要表現の確認→応用作文の順に学習を進める。毎回授業の初めに小テストを実施。

履修上の留意点

辞書(和西つきが望ましい)は授業中に使用するので必ず持ってくる。基本表現は口をついて出るよう発音練習を繰り返してほしい。

成績評価の方法

出席日数が6割に満たないものは、試験の採点を行わない。小テスト(30%)、前後期の期末試験(70%)を合わせて60点以上で合格とする。

教科書

木村琢也『スペインへのパスポート』(同学社)

参考書等

『プログレッシブスペイン語辞典』(小学館)
*辞書を所有しない者は上記の辞書を購入するように。

〔ロシア語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A	ひろた ひでやす 廣田英靖	経B1年	2
ロシア語 I B			

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A〔再クラス〕	すぎやま ひでこ 杉山秀子	経B2・3・4年	2
ロシア語 I B〔再クラス〕			

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に重点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円＋税

参考書等

『露和辞書』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	経B2年	2

講義のねらい

ロシア語ⅠAで学んだ基本的な語尾変化、基礎文法を復習しながら、複文（関係代名詞、形動詞、副動詞など）をさらにわかりやすく具体的に解説し、辞書の引き方を学び、辞書をたよりに簡単な文章を読んだり、日常会話も試みます。

授業の合間には、ロシア文化圏を紹介するビデオを鑑賞し、また Windows で日本語ワープロソフト Word を用いてロシア語の文書を作り、「パソコンでロシア語の処理ができる」ことを実感します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

教場にてプリントを配布。

参考書等

『露和辞書』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡB	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	経B2年	2

講義のねらい

ロシア語ⅠBで学んだことを基礎に、新聞・雑誌などから選んだ生の興味ある見出しや短い文章を教材として利用し、ロシア語の理解力を向上させるために、辞書を実用的な文章の学習に取り組みます。

授業の合間には、旧ソ連、新しいロシアおよびその近隣諸国の文化、歴史の理解に役立つビデオを鑑賞し、またユーモアあふれるロシアのアネクドット（小話）や含蓄に富んだことわざにもふれ、生き生きとした実践的なロシア語学習を目指します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

教場にてプリントを配布。

参考書等

『露和辞書』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	すぎ やま ひで こ 杉 山 秀 子	経B3・4年	2
ロシア語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

既習の教科書と文法表。

参考書等

『露和辞書』

その他

プリント配布。教場にて指示します。

英 会 話 I

初級の会話クラスです。基本的な日常表現ができることを目指します。達成目標の目安は英検2級合格、TOEFL®のスコアー450点、TOEIC®のスコアー500点程度です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	なが の こう いち 永 野 光 一	経B1・2・3・4選	2

講義のねらい

英会話の基礎的な力を養成。

講義の内容・授業スケジュール

Q&A やペア・ワーク、グループ・ワーク、ロール・プレイなどを通して英語を聞く・話すことに慣れていきます。会話表現の学習やスピーチ・ライティングと発表も行います。

履修上の留意点

授業中の様々な学習活動に積極的に参加すること。

成績評価の方法

出席と授業中の学習活動への積極的な参加を重視。スピーチ・ライティングと発表の成績を入れて総合的に評価。

教科書

初回授業時に指定。

英 会 話 II

初級の会話クラスです。基本的な日常表現ができることを目指します。達成目標の目安は英検2級合格、TOEFL®のスコアー450点、TOEIC®のスコアー500点程度です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	なが の こう いち 永 野 光 一	経B1・2・3・4選	2

講義のねらい

中級レベルの英会話力を養成。前年度、英会話Iを終了していることが望ましい。

講義の内容・授業スケジュール

Q&A やペア・ワーク、グループ・ワーク、ロール・プレイなどを通して英語を聞く・話す力に更にもがきをかけていきます。会話表現の学習やスピーチ・ライティングと発表も行います。

履修上の留意点

授業中の様々な学習活動に積極的に参加すること。

成績評価の方法

出席と授業中の学習活動への積極的な参加を重視。スピーチ・ライティングと発表の成績を入れて総合的に評価。

教 科 書

初回授業時に指定。

英 語 L L I

情報メディア機器（1号館3・4階のPC教場）を使用し、英語の発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。I、IIともTOEFL®で450点、TOEIC®500点、英検2級合格程度を達成目標とする初級レベルのクラスです。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	甲 斐 捷 子 <small>か づ こ</small>	経B1・2・3・4選	2

講義のねらい

外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音の習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から初めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同様な発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なリスニング力、会話力が身につきます。小中学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは全22章からなり、各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期はゆっくり、後期は力がついてきますので、進度を早めながら、全章を終了します。

履修上の留意点

別売りのカセットテープを繰り返し聴いて、リスニング力を高める自己努力が必要です。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

教 科 書

Sounds Right! Sounds Good!
Hisako Murakawa 著 MacMillan Languagehouse ¥2,000

英 語 L L II

情報メディア機器（1号館3・4階のPC教場）を使用し、英語の発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。TOEFL®で450点、TOEIC®500点、英検2級合格程度を達成目標とする初級レベルのクラスです。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	やまがた ゆたか 山 縣 裕	経B1・2・3・4選	2

講義のねらい

大学生にふさわしい質と量の英単語・熟語を修得し、同時にクローズド・キャプションのついた映画のビデオを使い、日常会話を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

映画を使った授業だが、単語・熟語の小テストも行う。

履修上の留意点

予習をしてくること。辞書を持ってくること。

成績評価の方法

平常点・小テスト・定期テストを総合的に評価する。

教 科 書

『シャイン』（松柏社）2,100円 ISBN4-88198-561-2
『データベース5500』（桐原書店）950円 ISBN4-342-01330-4

4. 保 健 体 育 科 目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

保健体育科目時間表

(於：本校体育館)

	月 曜 日		火 曜 日		水 曜 日		木 曜 日	
6 時 限	※大石	ニュースポーツ			※村松	卓球	鈴木	健康・スポーツ論*
	秋 田	バドミントン			高 橋	空手道		
	山 口	室内球技			三 幣	バドミントン		
7 時 限	※秋田	バドミントン	田 中	健康・スポーツ論*	※高橋	空手道		
	大 石	ニュースポーツ			村 松	卓球		
	山 口	室内球技			三 幣	バドミントン		

※は、科目の主担当者

*時間表で教場を確認のこと。

4 . 保健体育科目

健康・スポーツ論 (前期)	〈鈴木 淳 平〉	569
健康・スポーツ論 (前期)	〈田 中 佳 孝〉	570
健康・スポーツ実習 (卓球)	〈村 松 誠〉	571
健康・スポーツ実習 (バドミントン)	〈秋田 浩一・三幣 晴三〉	572
健康・スポーツ実習 (室内球技)	〈山 口 良 博〉	573
健康・スポーツ実習 (空手道)	〈高 橋 俊 介〉	574
健康・スポーツ実習 (ニュースポーツ)	〈大 石 武 士〉	575
生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎/応用)	〈 休 講 〉	
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用)	〈 休 講 〉	
生涯スポーツ演習 (シーズン前期) (ゴルフ)	〈村松 誠 他〉	576
生涯スポーツ演習 (シーズン後期) (スキー・スノーボード)	〈竹田 幸夫 他〉	577

保健体育

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ論(前期)	すずき しゆん べい 鈴 木 淳 平	経B1選必	2
健康・スポーツ論(再クラス)(前期)		経B2・3・4年	

講義のねらい

健康であるための条件の追求と、それに深くかかわる体育・スポーツの本質を見つめて、その科学的、医学的知識を持って、将来の社会的な生活拡充化の意識の育成を図る。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を認識する。
- 3 時限目：スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、各々の特徴、分類について
- 4 時限目：スポーツと体力の関係について
- 5 時限目：運動能力発達の原理
- 6 時限目：運動能力の領域
- 7 時限目：運動能力の構造
- 8 時限目：運動能力とスポーツ技能の分析
- 9 時限目：総合力の定義と要素
- 10 時限目：スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ生涯について
- 11 時限目：トレーニング理論全般
- 12 時限目： 〃
- 13 時限目：応急処置の実際、テーピング、アイシング等の実習
- 14 時限目： 〃
- 15 時限目：まとめ

成績評価の方法

出席を重視し、学期末のレポートとの総合評価をする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ論(前期)	たなか よし たか 田 中 佳 孝	経B1選必	2
健康・スポーツ論(再クラス)(前期)		経B2・3・4年	

講義のねらい

煩雑な現代社会の中で、人間が健康を維持しながら日常生活を営む為には安定した栄養摂取、十分な休養(睡眠)と適度な運動が必要である。これら三つは全て不可欠なものであるが、この講義では殊に栄養の観点から健康に係る諸問題を識り、より積極的な健康維持の為の栄養学的方法を学び、ストレスの多い現代社会生活に対抗できる食生活や健康な学生生活を送る為の栄養学をビタミンを中心に学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 人間に必要な栄養素
- 2 戦前・戦後に於ける栄養不足の違いについて
ビタミンとは
- 3 ビタミンの生理作用と薬理作用について
- 4 ビタミン欠乏症について
潜在性ビタミン欠乏症と自律神経失調症について
- 5～7 主なビタミンの働きについて
A、B群、C、D、E、K、U等
- 8～10 健康な学生生活を送る為のビタミン
○飲酒
○喫煙
○スポーツ
○外食、甘党
○ダイエット
○妊娠
- 11～12 健康を保つ食べ物
- 13 筆記試験

履修上の留意点

1. 遅刻は認めない。
2. 授業中の携帯電話の使用は厳禁。違反者は不合格とする。

成績評価の方法

2/3以上の出席をした者に対し筆記試験を行ない、評価を行なう。出席回数が不足した者は不合格とする。

教科書

なし

参考書等

『健康科学ライブラリー』1、4、7、8、9巻(大修館)
『0歳からのビタミンバイブル』/『貝原益軒の養生訓』/『サーロインステーキ症候群』
『食事療法』/『新健康になるシリーズ』(女子栄養大学)

その他

授業は、主に講義形式で進めるが、テーマによっては受講生の見解を発表してもらう場合もある。また、バイオフィードバック装置(脳波測定装置)等の機器を利用して実験的な内容の授業も試みたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 (卓球)	むら まつ まこと 村 松 誠	経B1選必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(卓球)		経B2・3・4年	

講義のねらい

卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：ダブルスゲーム
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

その他

30分以上の遅刻は認めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (バドミントン)	あきた こういち みぬま はるみ 秋田 浩一・三幣 晴三	経B1選必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(バドミントン)		経B2・3・4年	

講義のねらい

バドミントンは、大衆スポーツとして日本人には非常に親しい存在である。幼いころからバドミントンラケットとシャトルコックで遊びとしてラリーを楽しんでいる。にもかかわらず、バドミントンを正式のルールのもとで実施できる人は非常に少ない。これは、おそらく学校体育の中で実施している学校がすくないことによるものであろう。

本講義では、手軽に実施できて、しかも運動量も予想以上に多く、虚々実々の駆け引きを必要とするバドミントンを、生涯スポーツとして長く楽しめるように、そのための基礎知識と技術を提供しようとするものである。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション・バドミントンの基礎知識・ラリー練習
(バドミントンのスイング技術・グリップ)
- 2 時限目：サーブの基本技術・フォアとバックスイングの基本技術
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 3 時限目：スマッシュの基本技術/ネット際のプレー技術
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 4 時限目：バドミントンコートの説明・ダブルスゲームの運び方、ルールの説明
正式ルールでのダブルス練習試合
- 5 時限目：ダブルスゲーム、1部リーグから4部リーグまでのリーグ戦第1日目
- 6 時限目：同 第2日目
- 7 時限目：同 第3日目
- 8 時限目：同 第4日目
- 9 時限目：同 第5日目
- 10 時限目：シングルスゲームの運び方、ルールの説明、正式シングルスゲームでの練習試合
- 11 時限目：シングルスゲーム、1部から7部までのリーグ戦
- 12 時限目：同 第2日目
- 13 時限目：同 第3日目
- 14 時限目：ダブルス、トーナメント優勝戦
- 15 時限目：シングルス、トーナメント優勝戦

履修上の留意点

服装：一般的な運動服装
シューズ：運動靴 (体育館用として中履きのシューズを使用すること)

成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

そ の 他

バドミントンラケット・シャトルコックは大学で用意する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	やま ぐち よし ひろ 山 口 良 博	経B1選必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)		経B2・3・4年	

講義のねらい

バスケットボール、バレーボールを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフコート2対1、ゲーム（1次リーグ）
- 4 時限目：ハーフコート3対2、ゲーム（1次リーグ）
- 5 時限目：ハーフコート4対3、ゲーム（1・2次リーグ）
- 6 時限目：ハーフコート3対3、ゲーム（2次リーグ）
- 7～9 時限目：ゲーム（2次リーグ）
(バレーボール)
- 10 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム（リーグ戦）
- 11 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム（リーグ戦）
- 12 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム（リーグ戦）
- 13～15 時限目：ゲーム（トーナメント）

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技点（20点）、態度点（10点）、60点以上を合格とする。

そ の 他

種日の内容については、第1回目の授業時に決定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (空手道)	たか はし しゅん すけ 高 橋 俊 介	経B1選必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(空手道)			

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11時限目：総合的に反復して練習
- 12時限目：総合的に反復して練習
- 13時限目：総合的に反復して練習
- 14時限目：総合的に反復して練習
- 15時限目：実技試験

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ニュースポーツ)	おお いし たけ し 大 石 武 士	経B1選必	2
健康・スポーツ実習 [再クラス](ニュースポーツ)		経B2・3・4年	

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時限目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時限目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時限目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時限目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時限目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 9 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 10時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 11時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 12時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズについてはオリエンテーションの時に説明する。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) (ゴルフ)	むら まつ まこと 村 松 誠 他	経日選	2

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。
生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良い人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション1回目 4月9日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2回目 4月16日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業 7月22日(金) 13:00~16:00 2研-102教場「ゴルフの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 9月5日(月) 実技:12:50~17:20 打撃練習
講義:10:40~12:10 17:30~18:00《ゴルフスイングの基本》
※注意:1日目は、玉川校舎で実施する。
 - 2日目 9月6日(火) 実技:13:30~16:30 打撃練習
講義:19:00~21:00 《ゴルフのマナーやエチケット》
 - 3日目 9月7日(水) 実技:9:00~16:30 打撃練習・ラウンド
講義:19:00~21:00 《ゴルフのルール・ラウンドについて》
 - 4日目 9月8日(木) 実技:9:00~16:30 打撃練習・ラウンド
講義:19:00~21:00 《ラウンドの反省と総括》
 - 5日目 9月9日(金) 実技:9:00~12:00 ラウンド

履修上の留意点

- 生涯スポーツ演習シーズン前期・基礎/応用 ゴルフを履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。
- 実習日程:9月5日(月)~9月9日(金)の3泊5日(現地集合解散)
 - 場 所:(1)宿 泊 ホテル安比グランド電話0195-73-6400 FAX0195-73-5025
岩手県岩手郡松尾村安比高原
(2)練習場 玉山ゴルフクラブ電話019-683-3100 FAX019-683-3100
(3)コース 安比高原ゴルフクラブ電話0195-73-5311
FAX0195-73-5044
 - 定 員:40名
 - 集合解散:現地(ホテル安比グランド)
※希望者多数であれば、格安なバスの利用も可能です。詳細については、オリエンテーションにおいて説明します。
 - 受講料:39,350円(左記金額には、交通費は含まれない)
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間:5月23日(月)~6月4日(土)
 - 服装・用具
 - 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
 - ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - グローブは、必ず各自で用意すること。
 ※ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)によって2単位が認められる。成績は、講義・実技の出席状況、講義・実技テスト、実習参加態度等、総合的に評価される。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階資料室)に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) (スキー・スノーボード)	たけだ ゆきお 他 竹田 幸夫 他	経B選	2

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

○スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。

○スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション 1 回目 4月9日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2 回目 4月16日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1 回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2 回目を実施します。
- 事前授業 12月21日(水) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1 日目 2月13日(月)
午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2 日目 2月14日(火)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3 日目 2月15日(水)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4 日目 2月16日(木)
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5 日目 2月17日(金)
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習シーズン後期・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成18年2月13日(月)～2月17日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話(0195)73-5019
- 3) 定 員：スキー 30名
スノーボード 20名(但し、初心者に限る)
- 4) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：平成17年5月23日(月)～6月4日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生の追再試、1～3年生の追試験と重なっているので特に注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

保健体育

Ⅱ 専 門 教 育 科 目

経 済 学 科 フ レ ッ ク ス B

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、
フレックスAの頁を参照してください。(→P.281)

科
專
門
教
育
目

Ⅱ. 専門教育科目

※印の科目については、経済学科フレックスAの頁を参照してください。

基礎ゼミ	ミ	〈岩下弘〉	585
基礎ゼミ	ミ	〈友松憲彦〉	585
基礎ゼミ	ミ	〈渡邊恵一〉	586
基礎ゼミ	ミ	〈森田佳宏〉	586
基礎ゼミ	ミ	〈福原好喜〉	587
基礎ゼミ	ミ	〈清水卓〉	587
経済学入門	ミ	〈渡邊恵一〉	588
経済学入門	ミ	〈友松憲彦〉	588
経済学概説	ミ	〈森田成也〉	589
キャリア・デザイン		〈前期：竹下睿騏・後期：光岡博美〉	590
経済理論ⅠA・資本の原理		〈休講〉	
経済理論ⅠB・経済システムの原理		〈有井行夫〉	591
経済原論Ⅱ・ミクロ経済学		〈松井柳平〉	592
経済原論Ⅱ・マクロ経済学		〈休講〉	
経済学史		〈休講〉	
経済数学		〈池田宏〉	593
応用ミクロ経済学		〈休講〉	
応用マクロ経済学		〈休講〉	
計量経済学		〈休講〉	
統計原論		〈田中正光〉	593
景気循環論		〈野村信廣〉	594
現代資本主義論		〈休講〉	
社会思想史		〈休講〉	
経済史		〈斎藤英理〉	595
日本経済史		〈休講〉	
西洋経済史		〈休講〉	
経済政策		〈飯田泰之〉	596
農業政策		〈溝手芳計〉	597
工業政策		〈休講〉	
経済地理		〈休講〉	
中小企業論		〈吉田敬一〉	598
環境経済論		〈山口由二〉	599
公共経済学		〈鈴木伸枝〉	600
財政学		〈休講〉	
財政政策		〈休講〉	
地方財政論		〈休講〉	
金融論		〈若園智明〉	601
国際金融論		〈休講〉	
社会政策		〈休講〉	
人口論		〈森岡仁〉	602
教育経済論		〈休講〉	
労働経済論		〈休講〉	
日本経済論		〈小林正人〉	603
国際経済論		〈徳永俊明〉	604
アジア経済論		〈休講〉	

中国経済論	〈休講〉	
アメリカ経済論	〈瀬戸岡 紘〉	605
ヨーロッパ経済論	〈休講〉	
EU統合論	〈休講〉	
現代西欧経済論	〈休講〉	
ロシア・東欧経済論	〈休講〉	
情報・経済ネットワーク論	〈中 濟 光 昭〉	606
プログラミング論	〈休講〉	
情報処理論	〈岩 瀬 弘 和〉	607
※応用情報処理Ⅰ	〈岩 瀬 弘 和〉	(341)
※応用情報処理Ⅱ	〈岩 瀬 弘 和〉	(341)
商学総論	〈大 吹 勝 男〉	608
経営学総論	〈岩 波 文 孝〉	609
※企業論基礎	〈安 藤 陽 陽〉	(305)
会計学総論	〈小 栗 崇 資〉	610
簿記論	〈鈴 木 勝 浩〉	610
※ファイナンス基礎	〈須 藤 時 仁〉	(306)
貿易実務	〈荒 畑 治 雄〉	611
通関実務	〈荒 畑 治 雄〉	612
憲法	〈内 田 真 利 子〉	612
民法第一部	〈織 田 晃 子〉	613
民法第二部	〈小 野 健 太 郎〉	614
商法第一部	〈鈴 木 千 佳 子〉	614
商法第二部	〈川 口 幸 美〉	615
経済法	〈荒 井 登 志 夫〉	615
労働法	〈藤 本 茂 茂〉	616
行政法	〈金 子 昇 平〉	617
国際法	〈王 志 安 安〉	618
社会保障法	〈原 田 啓 一 郎〉	619
保険・海商法	〈山 田 泰 彦 彦〉	620
商法総則・商行為法	〈川 口 幸 美〉	621
税法Ⅰ	〈奥 村 正 郎〉	622
税法Ⅱ	〈奥 村 正 郎〉	623
※原書講読Ⅰ・Ⅱ	〈岩 波 文 孝〉	(349)
※原書講読Ⅰ・Ⅱ	〈鈴 木 伸 枝 枝〉	(350)
※原書講読Ⅰ・Ⅱ	〈溝 手 芳 計 計〉	(350)
※原書講読Ⅰ・Ⅱ	〈福 原 好 喜 喜〉	(351)
※原書講読Ⅰ・Ⅱ	〈山 縣 弘 志 志〉	(351)
※原書講読Ⅰ・Ⅱ	〈鄭 章 淵 淵〉	(351)
現代経済事情Ⅰ	〈休講〉	
現代経済事情Ⅱ〔日本の中小企業とアジア経済〕	〈高 田 好 章 章〉	624
現代経済事情Ⅲ〔エネルギー資源最前線〕	〈兼 松 通 彦 彦〉	625
現代経済事情Ⅳ	〈休講〉	
現代産業事情Ⅰ	〈阿 部 弘 弘〉	626
現代産業事情Ⅱ	〈休講〉	
※現代産業事情Ⅱ	〈代 田 純 純〉	(353)
会計資格特別演習	〈鈴 木 勝 浩 浩〉	627
情報資格特別演習Ⅰ	〈永 井 勇 勇〉	628
情報資格特別演習Ⅱ	〈井 川 俊 実 実〉	629

教員試験特別演習	〈谷 敷 正 光〉	630
※流通経済論	〈大 吹 勝 男〉	(354)
商業政策	〈 休 講 〉	
マーケティング	〈江 上 哲〉	631
商品学	〈 休 講 〉	
交 通 論	〈 休 講 〉	
商 業 史	〈幸 野 保 典〉	632
消費経済論	〈 休 講 〉	
※口ビジネス	〈石 原 伸 志〉	(359)
経営管理論	〈百 田 義 治〉	633
労務管理論	〈堀 龍 二〉	634
経営戦略論	〈 休 講 〉	
企業統治論	〈 休 講 〉	
※現代企業論	〈 休 講 〉	
財務管理	〈白 坂 亨〉	635
経営学	〈小 阪 隆 秀〉	635
※非営利組織論	〈 休 講 〉	
※経営情報システム論Ⅰ	〈斎 藤 隆〉	(364)
※経営情報システム論Ⅱ	〈斎 藤 隆〉	(365)
財務会計論	〈 休 講 〉	
会計監査論	〈 休 講 〉	
会計情報論	〈 休 講 〉	
管理会計論	〈石 川 祐 二〉	636
原価計算論	〈鈴 木 勝 浩〉	637
税務会計論	〈 休 講 〉	
経営分析	〈渡 邊 智〉	637
上 級 簿 記	〈福 嶋 隆〉	638
※コンピュータ会計Ⅰ	〈鈴 木 勝 浩〉	(371)
※コンピュータ会計Ⅱ	〈鈴 木 勝 浩〉	(372)
貿易論	〈古 沢 紘 造〉	639
銀行論	〈 休 講 〉	
銀行システム論	〈 休 講 〉	
現代銀行事情	〈 休 講 〉	
証券市場論	〈 休 講 〉	
保険論	〈 休 講 〉	
ビジネス事例研究	〈百 田 義 治〉	640
ビジネス英会話Ⅰ・Ⅱ	〈清 水 絹 代〉	641
インターシップ	〈阿 部 弘〉	641
インターシップ	〈徳 永 俊 明〉	642
インターシップ	〈友 松 憲 彦〉	642
インターシップ	〈清 水 卓〉	643
演習Ⅰ	〈岩 下 弘〉	643
演習Ⅰ	〈大 吹 勝 男〉	644
演習Ⅰ・Ⅱ	〈百 田 義 治〉	645
演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	〈阿 部 弘〉	645
演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	〈有 井 行 夫〉	646
演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	〈飯 田 泰 之〉	647
演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	〈荒 木 勝 啓〉	647
演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	〈石 川 純 治〉	648

演習	I	·	II	·	III	〈岩	波	文	孝	648
演習	I	·	II	·	III	〈江	上	修	哲	649
演習	I	·	II	·	III	〈小	杉	正	二	649
演習	I	·	II	·	III	〈小	林	正	人	650
演習	I	·	II	·	III	〈齊	藤	正	正	650
演習	I	·	II	·	III	〈里	中	恆	志	651
演習	I	·	II	·	III	〈清	水	卓	卓	652
演習	I	·	II	·	III	〈代	田	純	純	652
演習	I	·	II	·	III	〈鈴	木	伸	枝	653
演習	I	·	II	·	III	〈瀬	戸	岡	絃	653
演習	I	·	II	·	III	〈鄭	章	淵	淵	654
演習	I	·	II	·	III	〈德	永	俊	明	655
演習	I	·	II	·	III	〈友	松	憲	彦	656
演習	I	·	II	·	III	〈中	濟	光	昭	657
演習	I	·	II	·	III	〈福	原	好	喜	658
演習	I	·	II	·	III	〈古	沢	絃	造	659
演習	I	·	II	·	III	〈堀	龍	二	二	659
演習	I	·	II	·	III	〈松	井	柳	平	660
演習	I	·	II	·	III	〈溝	手	芳	計	661
演習	I	·	II	·	III	〈光	岡	博	美	661
演習	I	·	II	·	III	〈森	岡	仁	仁	662
演習	I	·	II	·	III	〈谷	敷	正	光	662
演習	I	·	II	·	III	〈山	縣	弘	志	663
演習	II	·	III	·	III	〈森	田	佳	宏	663
演習	II	·	III	·	III	〈大	吹	勝	男	664
演習	II	·	III	·	III	〈吉	田	敬	一	664
演習	III	·	III	·	III	〈大	石	雄	爾	664
演習	III	·	III	·	III	〈小	栗	崇	資	665
演習	III	·	III	·	III	〈百	田	義	治	665

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 ゼ ミ (前期)	岩 ^{いわ} 下 ^{した} 弘 ^{ひろし}	経B1選 (17入学生のみ)	2

講義のねらい 経済学部で学ぶために必要な知識、方法、資料収集などを学ぶことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 書物、新聞、実地見学等を通して学習する。

履修上の留意点 欠席しないこと。

成績評価の方法 出席。

教科書 必要に応じて指示する。

参考書等 必要に応じて指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 ゼ ミ (前期)	友 ^{とも} 松 ^{まつ} 憲 ^{よし} 彦 ^{ひこ}	経B1選 (17入学生のみ)	2

講義のねらい 経済学をなぜ学ぶのか、どのように学ぶのかをゼミを通じて考えます。
自己表現、情報入手、レポート作成、発表、議論等の方法を習得し、それを通じて日本語の能力を高めます。

講義の内容・授業スケジュール 社会経済問題の資料を使いながら、次の事柄について実践的に学びます。
 (1) 言葉で表現をする。
 (2) 文章を読む。
 (3) 情報を探す。
 (4) 調べたことを文章にまとめる。
 (5) 調べたことを発表する。
 (6) 質問や意見をいう。
 (7) 議論をする。

履修上の留意点 経済学を学ぶうえで新聞は非常に大切です。毎日、目を通すようにしてください。

成績評価の方法 平常点（出席重視）とレポートで評価します。

教科書 使用しません。資料を配布します。

その他 追再試験は実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎ゼミ (前期)	わた なべ けい いち 渡 邊 恵 一	経B1選 (17入学生のみ)	2

講義のねらい

大学生として求められる基本的素養を身につけることを唯一の目標とする。具体的には、①レジュメを作成し、人前で発表が出来るようになること、②文献に記されていることや人の意見を、自分の考えと突き合わせ、質疑・討論・司会進行が出来るようになること、③図書館等を活用し、自分の力で参考文献や資料を探せるようになることである。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、多くの参加者が関心を持てるようなテキストを素材に文献輪読を進め、上記①および②のトレーニングを積む。後半は③にもとづく自由テーマの報告(グループ発表)を行い、半期かけて上記の目標を達成していききたい。

履修上の留意点

「お通夜」にならないよう、毎回必ず何か発言するつもりで教室に来ること。

成績評価の方法

平常点(「出席点」ではない)。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎ゼミ (前期)	もり た よし ひろ 森 田 佳 宏	経B1選 (17入学生のみ)	2

講義のねらい

大学で学びながら知識を増やし、これをもとに自分の考えを確立していくためには、自ら学ぼうという積極的な姿勢が求められると共に、そのための方法を身につける必要があります。より具体的には、経済学部の授業の中で取り上げられる多くの事柄はもちろんのこと、私たちを取り巻く経済社会で日々起こっている事件・事象にも関心を持ち、過去と現在を時系列的に結びつけながら将来を考えられる力を養うことが大切です。このためには、まず新聞や雑誌などの媒体から情報を入手する習慣を身につけなければなりません。次に、わからなかったことなどを調べて解決しなければなりません。このようにして集めたものや調べたものが自分の知識となり、これをもとに自分の考えをまとめていくのです。こうして自分の中に蓄積されたものが、新たな問題を考える時の足がかりになっていきます。また、自分の考えを文章にしたり、口頭で発表してみると、勉強が足りなかった点がわかったり、新たな発見があったりします。基礎ゼミでは、大学で学ぶ上での考え方や方法を習得していきます。

講義の内容・授業スケジュール

大きく、読む、書く、話すの3つにポイントを置き、文献の集め方、図書館の利用方法、レジュメの作り方、レポートの書き方等の説明の後、各自がテーマを設定し、それについてレポートを書き、発表するという順で進めます。説明の素材として、現代の企業についての入門書を用いることを予定しています。

履修上の留意点

毎回必ず出席してください。

成績評価の方法

出席とレポートを総合して判断します。

教科書

最初のゼミで指示します。

参考書等

必要な場合には適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 ゼ ミ (前期)	ふく ほん よし のぶ 福 原 好 喜	経 B 1 選 (17入学生のみ)	2

講義のねらい

経済学に関心を持ってもらうことを第一目的とする。現在の日本経済及び世界経済に関する基本的問題を取り扱う。

講義の内容・授業スケジュール

その時々最新の経済ニュース、論文、その他を使用して経済問題についての認識を深める。

履修上の留意点

楽しいゼミにしたいと思っているが、出席を重視する。サボリ癖のある人はとらないでほしい。

成績評価の方法

出席点とレポートでつける。

教 科 書

福原好喜著「総理、お間違えではありませんか？—銀八教授内閣への直言—」(現代図書)他。

そ の 他

一年次のゼミなので、良い友達の出来るゼミにしたいと思っている。ハイキング、コンパ、合宿等を行なって親睦を深めたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 ゼ ミ (前期)	し みず たかし 清 水 卓	経 B 1 選 (17入学生のみ)	2

講義のねらい

経済学部に入學された1年次の皆さんに、1) 経済学とはどんな学問か、2) 現在、私たちはどんな経済問題に直面しているのか、3) どのようにして経済学を学んでいけばよいのか、4) 駒澤大学経済学部での学び方などを紹介・説明することで、皆さんが経済学部学生として有意義に4年間を過ごせるようにアドバイスすることが目的です。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、資料を配布して、それに基づき講義、意見交換を行います。

履修上の留意点

出席することが、もっとも効率的な学習であること、これは大学生活の基本です。

成績評価の方法

出席とレポートで評価します。

教 科 書

特になし。

参 考 書 等

池上彰『情報力』ダイヤモンド社

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 入 門 (後 期)	わた なべ けい いち 渡 遣 恵 一	経 B 1 選	2

講義のねらい

経済学部に入学生に、経済学という学問分野の基本的な考え方や分析対象について理解してもらおうとともに、今後専門科目を順次履修していくための指針を与える。

講義の内容・
授業スケジュール

新聞あるいはニュースで目や耳にしたことがあるような事象を中心に毎回テーマを設定し、経済学的に理解するために必要となる基本的知識を確認していくスタイルをとる。担当者の専門分野は経済史であるので、取り上げる経済現象の歴史的 성격についても、必要に応じて解説していきたい。

成績評価の方法

平常点。場合によってはレポートを課す。

教 科 書

使用する場合は、開講時に指定する。

参 考 書 等

その都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 入 門 (後 期)	とも まつ よし ひこ 友 松 憲 彦	経 B 1 選	2

講義のねらい

はじめて経済学を学ぶ1年生に経済学の基礎を説明します。まず、皆さんが興味をもっている現実の経済問題と関係させながら、経済学の基礎的な知識と理論を解説します。これによって、経済学はどのような問題を扱うのか、経済学ではどのように考えるのか、経済学を学ぶとなりがわかるのか、を理解します。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 日本経済の歩み (2回)
2. 現在の日本経済 (6回)
3. 日本経済と世界 (4回)

履修上の留意点

経済学を学ぶうえで新聞は非常に大切です。毎日、目を通すようにしてください。

成績評価の方法

平常点 (出席重視) と期末試験で評価します。

参 考 書 等

日本経済新聞社編『Q&A 日本経済100の常識』(日本経済新聞社) 2004年
 南山大学経済学部編『大人になるための経済学入門』(NHK 出版) 2002年
 角田修一『社会経済学入門』(大月書店) 2003年

そ の 他

再試験は実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学概説	もり た せい や 森 田 成 也	経B1選(16以降入学生)	4
		経B1必(15以前入学生)	

講義のねらい

経済学は、生活や仕事にとって最も重要な領域を理論的に解明しようとするものです。経済学は決して、難しいカタカナ用語や数式が飛び交う世界だけではありません。労働と生活に密着し、人々がより人間らしい生活と労働を実現していくために必要不可欠なものです。しかしながら、この学問は同時に、自然科学などと違って、経済を論じるその人の立場によって大きく左右されるものでもあります。普通の生活者や働く人々の視線で経済を見ていくことが重要です。

講義ではまず、前期で、基本的な経済学の基礎理論を講義し、資本主義経済の基礎的な運動法則を学びます(多少、後期にくい込む可能性あり)。後期では、それをふまえて実際に日本のいくつかの経済現象を具体的に理論に照らし合わせて検討し、どこまでが一般理論で説明ができ、どこからが特殊な日本の条件によって説明されるべきなのかを学んでいきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 基礎的な経済理論を学ぶ

(1) はじめに (2, 3) 商品・貨幣 (4, 5, 6) 資本と剰余価値 (7) 賃金
(8, 9) 資本の蓄積 (10, 11) 利潤と利潤率 (12, 13) 利子生み資本と株式資本
(14, 15) 独占資本、国家、外国貿易 (16) 世界市場と帝国主義 (17) 19世紀資本主義
と20世紀資本主義

(後期) 日本経済の基本構造を学ぶ

(18, 19) 戦前の日本と戦後日本経済の出発 (20, 21) 現在の日本の基本形を作り出した
高度経済成長 (22, 23) 企業社会の形成と日本的働き方の確立 (24) 低成長期以降の
企業社会の肥大化 (25) 企業社会と女性 (26) クルマ社会日本 (27, 28) 経済大国
日本とバブル経済 (29, 30) 長期不況と構造改革下の日本経済 (31) 日本経済の未来

履修上の留意点

ノートをこまめにとってください。試験にも役立ちます。

成績評価の方法

学年末の試験が中心です。

教科書

とくにありません。

参考書等

松石勝彦『現代経済入門』(青木書店)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
キャリア・デザイン	前期：竹下 睿 駿 後期：光岡 博美	経B・経A・商1・2選 (16以降入学生)	4

講義のねらい

- 【前期】講義「キャリア・デザイン」——「キャリア」とは、組織の一員として自分の能力を発揮し、自分自身の人生を生きていくことを意味します。自分らしい生き方を実現するためには、どのような知識・技能を身につければよいか考え、実践することが「キャリア・デザイン」(人生設計)です。21世紀の生涯学習社会において個人が自立するためには、職業人として、家族やコミュニティの一員として、遊びや学びの主体として、自分の能力を生かし、「キャリア・アップ」や「キャリア・チェンジ」を行うことが重要になります。この講義では、個性的創造的キャリア形成のために自ら考え、判断し、意思決定をしていくうえで必要な基礎能力を身につけてもらいたいと思います。
- 【後期】ゲスト講師による「キャリア・デザイン(人生設計)論」——後期は、広く各分野で生きる人々をゲスト講師として迎え、さまざまな「キャリア」=それぞれの方の労働・生活・人生の喜怒哀楽の実際を紹介・評価してもらいます。各講師の個性あふれる「人生」の姿はきっと大きなヒントになるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

- 【前期】
1. 21世紀はどんな時代・社会になるのか?——生涯学習社会と「キャリア・デザイン」
 2. ライフサイクルと職業生活——就職と就労の意味について
 3. 企業による雇用システムの変化と「就職戦線超水河期」への対応——学業と就職準備活動の両立
 4. 「キャリア・デザイン」と大学の役割——学問を学び、多様な人びとと交流することの意義
 5. 大学生活をどのように過ごすか?——進路選択(職探し)は自分探しである。
- 【後期】各ゲストの講義は1回ずつです。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

前期・後期各50点満点とし、合算して100点満点とします。

【前期】記述形式の試験を行います。出席点と試験の結果を総合して評価します。

【後期】毎回の出席と期末のレポートによる評価を予定していますが、履修人数や講義の展開の状況などによって変更されることもあります。

教科書

【前期】教科書は使用しません。講義のつど参考書を紹介します。

【後期】教科書・参考書とも、特にありません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済理論ⅠB・経済システムの原理	あり い ゆき お 有 井 行 夫	経B・経A1・2・3・4選 商2・3・4選(12以降入学生)	4

講義のねらい

今日の経済システムは、かぎりない利潤追求を活動動機とする企業による商品生産、すなわち資本の運動にもとづいて実現されています。理論経済学ⅠAは、資本のシステムの基礎的諸条件をあきらかにしました。資本のシステムは、それ自身、人間の生命のように生きたシステムです。人間が生命を実現するのに頭脳や神経組織、消化諸器官、運動諸器官など、身体の諸器官を展開しておこなうのと同様に、資本のシステムは資本の自己増殖運動という独特の生命原理を実現するのに、自己の独特の身体諸器官、すなわち社会的諸姿態を発達させています。価格や商業、利子、土地所有、国家、市場などは、歴史的に資本のシステムに先行して形成された社会的諸形態ですが、今日では、資本のシステムという社会的有機的身体の独特の自己諸器官になっています。理論経済学ⅠBは、このような観点から、経済システムの諸姿態をとらえかえします。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1-4) 第1章=理論経済学Ⅰの3つの精神(理論経済学ⅠAの復習)。(5-7) 第2章=価格と利潤。(8-10) 第3章=商業資本と商業利潤。(11-13) 第4章=利子生み資本と信用制度。
(後期) (14-17) 第5章=土地所有と地代。(18-22) 第6章=資本の国家。
(23-25) 第7章=世界市場と恐慌。(26) まとめ

履修上の留意点

この科目は、経済理論ⅠAの発展科目ですが、ⅠAの未修者にも配慮した授業を行います。

成績評価の方法

成績評価は、授業で強調したポイントのみから出題して実力試験によっておこないます。なお、この科目は、卒業年次生について、「再試験」を実施しません。

教 科 書

大谷禎之介著『図解社会経済学』(桜井書店) 3,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済理論Ⅱ・ミクロ経済学	まついりゅうへい 松井柳平	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

理論的な経済分析の基礎となるミクロ経済学の理論を、ゲーム理論をベースとして解説する。消費者や企業などの個別経済主体が自発的かつ合理的に行動しているとき、どのような社会・経済状態が実現するか考察する。その際、その帰結の理解よりもむしろ、その帰結に至る論理展開、つまり分析方法の理解に重点を置く。

講義の内容・授業スケジュール

<前期>

ガイダンス 講義の概要等説明
あるパン屋の話
支配戦略
ナッシュ均衡
バックワード・インダクション
サブゲーム完全均衡
交渉ゲーム

<後期>

不完備情報ゲーム
ベイズ完全均衡
オークション
市場取引
消費者理論
金融市場と一般均衡

履修上の留意点

数の大小比較、四則演算（足し算、引き算、かけ算、わり算）、分数の計算、簡単な方程式の変形について、完全な理解ができていることが、受講生には求められる。

公務員試験、経済学検定試験、その他各種資格試験を将来、受験しようという学生は、この科目やマクロ経済学を履修した後、さらに、価格理論、国民所得論、公共経済学などの科目を履修することが望まれる。

成績評価の方法

成績は基本的に、100点満点の後期試験に基づく。さらに、追加点として、授業中に発表して内容がよかった人には、1回につきプラス10点を与える。

また、夏期休暇中のレポート課題も1点～10点で評価する。

以上より、素点としては100点を超える学生も出るであろうが、そのような学生の、成績の最大値は、最終的な成績評価の段階で、100点とする。

成績評価は、絶対評価であり、したがって、好成績の学生がいるからといって、それによって他の学生の評価が相対的に悪くなるということはない。

教科書

梶井・松井『ミクロ経済学—戦略的アプローチ』（日本評論社）ISBN4-535-55202-9

参考書等

岩田『経済学を学ぶ』（筑摩書房）ちくま新書 ISBN4-480-05602-5

船木『演習ゲーム理論』（新世社）ISBN4-88384-072-7

神戸『入門ゲーム理論と情報の経済学』（日本評論社）ISBN4-535-55414-5

その他

基本的に講義形式で行うが、問題演習等において自発的に解答を発表してくれる受講生を歓迎する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経済数学	池田 宏 いけだ ひろし	経B1・2・3・4選	4
		経A2・3・4選	
		商2・3・4選(12以降入学生)	

講義のねらい

経済学で必要な道具としての数学、およびその道具として使う数学を修得するために必要な数学的基礎の理解を目的とする。経済学で使う道具としての数学で基礎となるのは線形代数と微分積分である。本講義ではこの2分野のなかで経済学で使う手柄のうちの基本的方法の修得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期：線形代数 1. ガイダンス (2. 3) ベクトルと行列の定義と計算 (4. 5. 6) 1次変換と固有値、固有ベクトル (7. 8) 行列式の定義と計算 (9. 10) 連立1次方程式(掃き出し方) (11. 12) 線形計画法 (13) 試験
後期：微分積分 (1. 2. 3) 微分の基礎 (4. 5) 接線、増減、極値 (6. 7. 8. 9) 基本関数の微分 (10) 高次導関数 (11. 12) 多変数関数と偏微分 13. 試験

履修上の留意点

高校2年までに学習した程度の微分の基礎知識が必要である。

成績評価の方法

前後期に各一回行う試験(70%)と平常点(30%)

教科書

田代嘉宏著『数学概論 線形代数/微分積分』(裳華房) 2,060円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
統計原論	田中 正 光 たなか まさみつ	経B1・2・3・4選	4
		経A2・3・4選	
		商2・3・4選(12以降入学生)	

講義のねらい

現代社会では、様々な場面でデータの統計的整理・分析などが必要とされている。これら大量のデータを有用に活用するためには、統計的知識が不可欠である。そのための統計学の基礎的な理解を目指す。

なお、講義の内容は「21640統計学」(社会現象の統計的分析)とかなり重複がある旨理解されたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. 統計学の基礎 | 2. 統計データの読み方と作成等 |
| 3. 統計データの整理 | 4. 統計データの特性値 |
| 5. 標本と確率分布 | |

【後期】

- | | |
|------------|----------|
| 1. 標本分布と推定 | 2. 統計的検定 |
| 3. 行列演算 | 4. 回帰分析 |
| 5. 判別分析 | |

以上の内容をできる限り具体例を交えて、統計学の基本をマスターできよう努める。

履修上の留意点

講義中に簡単な計算を行う場合があるので、電卓などの持参が望ましい。

成績評価の方法

前期末と後期末に試験を実施し、この結果に通常授業における練習問題の結果を加味して判断する。

教科書

なし。

参考書等

稲葉三男・稲葉敏夫・稲葉和夫著『経済・経営・統計入門』(共立出版)
東京大学教養学部統計学教室編『統計学入門』(東京大学出版会)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
景 気 循 環 論	のむら のぶ ひろ 野 村 信 廣	経B1・2・3・4選	4
		経A2・3・4選	
		商2・3・4選(12以降入学生)	

講義のねらい

景気（循環）への関心が極めて高い。それは（１）景気循環が多くの人の生活に影響する（２）景気循環の姿がその時々で変化する（３）景気循環が経済・政治の諸問題に影響する一などのためである。講義では（１）景気循環を把握する方法（２）景気循環を引き起こす原因とメカニズム（３）景気循環を応用しての景気の現状把握や将来予測などを学ぶ。学生達が一般の景気判断に対する理解・評価能力を習得し、自分自身で景気判断や予測が出来るようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 景気の見方
- (2) 景気の現状認識
- (3) 景気循環と景気指標
- (4) 景気循環を引き起こす要因とメカニズム
- (5) 景気循環の歴史
- (6) 景気循環の理論
- (7) グローバリゼーションと景気循環
- (8) 財政・金融政策と景気循環
- (9) 景気予測の方法と実践

履修上の留意点

日々の経済動向に興味を持つ。

成績評価の方法

レポート（前期）、定期試験（後期）、出席状況を加味して評価する。

教 科 書

景気循環学会・金森久雄『ゼミナール・景気循環入門』（東洋経済新報社）

参 考 書 等

適宜参考資料を配布する。

そ の 他

講義中心だが、質問や討議を歓迎する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 史	さいとう えいり 斎藤英里	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

資本主義経済はどのような歴史的条件のもとで成立・展開し、各国に影響を与えてきたのか？その動向を長期的かつ国際的視野のもとで講義する。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 以下の各テーマで数回ずつ講義する
- 前期
- ・経済史の方法と課題
 - ・大航海時代とその影響
 - ・近世におけるヨーロッパ列強の興亡（1）
－ポルトガルのアジア進出－
 - ・近世におけるヨーロッパ列強の興亡（2）
－植民地帝国スペインの繁栄と没落－
 - ・近世におけるヨーロッパ列強の興亡（3）
－中継貿易国家オランダの繁栄と没落－
 - ・イギリスにおける資本主義の成立と展開
 - ・産業革命期イギリス社会の諸相
- 後期
- ・後発国の工業化－ドイツ・ロシア・日本－
 - ・イギリス経済の衰退
 - ・アメリカの台頭と成長
 - ・大恐慌と世界経済
 - ・第二次大戦後の世界経済
 - ・東アジア諸国の発展
 - ・社会主義体制の解体
 - ・グローバル化の時代

履修上の留意点

世界史の基礎知識が必要。受講の際には、マナーを守ること。定刻主義。

成績評価の方法

筆記試験を中心に評価する。

教科書

使用しない

参考書等

講義のなかで指示する。

その他

できるだけ関連資料を提示したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 政 策	飯 田 泰 之 <small>い いい た やす ゆき</small>	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

経済に関する諸問題についてその政策的な対応のあり方を論じる。

複雑な現状を理解し、対応策を探るためにも問題を整理し、論理的に把握することが必要である。経済問題に関してその導きの糸となるものこそが経済理論に他ならない。本講では基本的なミクロ経済学・マクロ経済学の知識を援用し「経済学的に妥当な政策」を論じることを中心的な課題とする。

講義全体に必要な基本ツールの学習後

- (1) 理論的な枠組みを解説し
- (2) それを用いて政策的課題を論じ
- (3) 現実の事例・データで確認する

というプロセスを繰り返すことで講義を進めていく。

講義の内容・
授業スケジュール

0. 経済学の基本思考
1. データを用いた議論
2. 需給均衡分析
3. 市場の失敗
4. 情報の経済学
5. 価格硬直性
6. 法と経済学 (時間に余裕があれば)
7. GDP 統計
8. マクロ経済学の基礎知識
9. 金融市場と金融政策
10. 国際収支統計
11. 日本経済の現状
12. デフレ危機とその対策
13. 昭和恐慌とリフレーション (時間に余裕があれば)
14. おわりに

履修上の留意点

出席は問わないかわりに講義中の私語等には厳しく対応する。

成績評価の方法

2回のレポート提出と後期試験。再試験は行わない。

教 科 書

飯田泰之『経済学思考の技術』(2003年 ダイヤモンド社)

参 考 書 等

その他の参考文献に関しては講義の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
農 業 政 策	みぞ 溝 て よし かず 手 芳 計	経B1・2・3・4選	4
		経A2・3・4選	
		商2・3・4選(12以降入学生)	

講義のねらい

“工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、、、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO 農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していくことが必要です。

授業では、現代の主要な農業問題と農業政策をいくつか取り上げて、経済学の視点から説明します。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「農業政策」とは（2回）
2. 食料問題と食料政策（5回程度）
3. 農産物価格問題と価格・所得政策（5回程度）
4. 農業の特質と現代農業（4回程度）
5. 戦後日本の農業問題と農業政策－農業構造問題を中心に－（6回程度）

履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は定期試験を基本とします。再試験は行いません。

教科書

田代洋一『新版農業問題入門』（大月書店）
※ 授業中には使いませんが、予復習してください。

参考書等

大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』（有斐閣）
F. マグドフ他編（中野一新監訳）『利潤への渴望』第5章（大月書店）
梶井功『新基本法と日本農業』（家の光協会）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 小 企 業 論	よし だ けい いち 吉 田 敬 一	経B1・2・3・4選	4
		経A2・3・4選	
		商2・3・4選(12以降入学生)	

講義のねらい

本講義では、戦後日本の経済発展において中小企業が果たしてきた重要な役割を自動車工業を事例として明らかにすること、これまでの中小企業政策の特徴を学ぶこと、最後に下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容・授業スケジュール

〈前期の講義概要〉

- I 中小企業の基礎理論、
 - I-1 独占段階固有の中小企業問題、
 - I-2 中小企業の法的規定、
 - I-3 中小企業の経営類型、
 - I-4 中小企業の企業形態、
 - I-5 日本型下請構造の特質、
- II 日本型下請システムの形成過程、
 - II-1 日本経済復活期の生産分業構造、
 - II-2 高度経済成長期の下請管理の合理化、
 - II-3 自動車工業の急成長と日本型下請構造の確立、

〈後期の講義概要〉

- II-4 自動車大国への飛躍と下請構造の成熟
- II-5 グローバル化と下請構造の大転換
- III 戦後日本の中小企業政策、
 - III-1 復興期の中小企業政策、
 - III-2 高度成長と中小企業近代化政策、
 - III-3 中小企業政策の大転換、
- IV 中小企業の経営問題、
 - IV-1 不正取引と下請問題、
 - IV-2 中小企業の金融問題

履修上の留意点

中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているため、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は学年末試験を基準とし、夏季休暇中のレポートを加味して行なう。また再・追試験は実施します。

教 科 書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。毎年刊行される『中小企業白書』を読んでおくことが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
環境経済論	やまぐちゆうじ 山口由二	経B1・2・3・4選	4
		経A2・3・4選	
		商2・3・4選(12以降入学生)	

講義のねらい

産業革命以降、人類は無限とも思える生産力を得て、それまでとは比べものにならない急速な経済発展・成長を成し遂げてきた。この大量生産、大量消費を美德とする社会における経済成長は、すべての人々に文化的で豊かな生活を与えるものとして、これまで、声高に異議を唱える者はほとんどいなかった。しかし、21世紀が間近にせまる現在、様々な矛盾が露呈してきている。そのもっとも大きな問題が、環境問題である。

現在の環境問題は、かつての水俣病に代表される公害問題のように加害者と被害者が明確に分離されるものばかりではなく、地球温暖化のように、ほとんどすべて人々が加害者であると同時に被害者となりうる問題や、熱帯雨林の破壊や、酸性雨問題のように、貧しさゆえに引き起こされ、そのことが南北問題にまで発展しているより複雑な問題もある。

本講義では、経済成長と環境の相互関係を歴史的視点と理論的視点の両視座から論じると共に、様々な事例を提示して経済成長の意味や、経済成長と環境破壊とのトレードオフの関係について論じる。この講義を通して、受講者の方々に環境経済学への問題意識を喚起したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、おもに、資源・環境問題、及び環境経済学を理論的に論じる。その上で、後期では、地球温暖化問題、国有林や東京湾の漁業のコスト・ベネフィット分析、捕鯨問題、自動車の社会的費用、ダイオキシンの問題、農業の環境問題など様々な事例を取り扱う。

履修上の留意点

本講義は、近経の基礎的知識を必要とするが、講義過程でその都度、簡単に復習を行いたい。環境経済学は、まだ確固とした学問体系が出来上がっておらず、発展的余地があり今後ますます重要となる研究分野である。この講義で積極的な質問や議論がであることを希望する。

成績評価の方法

前期はレポート、後期はテストを行う。
また、適宜に簡単なレポートを提出していただき、これも考慮する。再試験を実施する。

教科書

未定、最初の授業時に指定する。

参考書等

- ・K.W. カップ著 篠原泰三訳『私的企業と社会的費用』（岩波書店）
環境経済学の古典的名著。生産過程で第三者や社会が受ける、公害、環境汚染による損失を社会的費用として、大気汚染、水質汚染、動植物の絶滅、人災、エネルギーの枯渇、森林の濫伐等について理論と実際の両面で分析を試みている。1905年に原著は刊行されている。
- ・宇沢弘文著『自動車の社会的費用』（岩波書店）
若い人ならば皆大好きで、現代社会においてこれなしには成り立たないと思われている自動車の外部不経済性を徹底的に追求した名著。私が自動車の免許を取らないのもこの本を読んだため？。宇沢氏は日本の近経の一人者で、ノーベル賞をもらってもまさか文化勲章はもらうまいと思っていました…。ちょっと古い本だがおすすめ。
- ・宮本憲一著『環境経済学』（岩波書店）3,600円ぐらい
筆者は公共経済学者、政治経済学者の立場から長年様々な公害問題に立ち向かってこられた。環境経済学を「容器の経済学」と称し、環境をあらゆる経済活動の“容器”としてとらえている。やはり、読んでおいてほしい本。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公 共 経 済 学	すずき のぶ 鈴 木 伸 枝	経B1・2・3・4選	4
		経A2・3・4選	
		商2・3・4選(12以降入学生)	

講義のねらい

社会福祉や環境政策はなぜ必要か。どのような政策が望ましいのか。理想をすべて満たすような政策はあるのか。ないとすれば、どのような政策なら実現可能なのか。そして実施された政策はどんな効果をもたらすのか。公共経済学では、こうした問題を経済学的手法を用いて考えます。

この講義では、まずは最低限の基礎的な理論を学びます。そして次に、環境問題や年金などの現実の諸問題に関連付けながら、より高度な理論を紹介していきます。この講義をしっかり理解すれば、講義時間内で扱いきれない多くの政策についても習得した理論を応用して自分で考えたり、専門書を読んでさらに知識を深めることができますはずです。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|-----------------|--|
| 1. ガイダンス | 7. 外部性 |
| 2. 政府の役割 | 8. 公共財 |
| 3. 日本の政府 | 9. 環境問題 |
| 4. 数学 | 10. 医療 |
| 5. ミクロ経済学 | 11. 年金 |
| 6. 競争均衡の効率性・公平性 | 12. 時間に余裕があれば、寡占・独占、所得再分配政策、課税の理論、政治過程・政府の失敗、分権化・民営化、地方財政、政策の動学的整合性の中から、多数決で1～2つ選んでとりあげます。 |

履修上の留意点

板書の間には合わない学生は、講義ノートを自分でダウンロードして持ち込んで下さい。

成績評価の方法

出席点・レポート・試験で評価します。(再試験あり)

教 科 書

特に指定しません。講義ノートは <http://hakuba.int.komazawa-u.ac.jp/~nsuzuki/pub/>にて公開します。

参 考 書 等

適宜紹介します。

そ の 他

授業情報ページ：<http://hakuba.int.komazawa-u.ac.jp/~nsuzuki/pub/>

科目名	担当者名	配当学科	単位
金融論	若 ^{わが} 園 ^{その} 智 ^ち 明 ^{あき}	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

経済の成長には、安定的な金融システムが不可欠である。本講義では、このような金融システムを構成する金融機関の役割を中心に解説し、金融システムのあり方を展望する。また、企業や家計の金融行動を解説し、金融機関とこれら主体との関係を議論する。本講義の到達目標は、金融市場を通して金融機関の機能と役割を把握し、企業や家計の行動と金融機関との関係を論理的に理解することである。

講義の内容・授業スケジュール

基本的に以下の講義計画に沿って進行する。Ⅰ～Ⅲが前期、Ⅳ～Ⅵが後期。

- Ⅰ 金融の基礎
 - 1-1 貨幣の機能と経済
 - 1-2 貨幣の流通と経済
- Ⅱ 金融取引と金融システム
 - 2-1 金融システム（金融取引の円滑化）
 - 2-2 金融システムの仕組み
 - 2-3 金融市場の機能と効果
 - 2-4 金融機関の構造と機能
 - 2-5 新しい金融技術の登場
- Ⅲ 中央銀行
 - 3-1 中央銀行の機能
 - 3-2 金融政策の独立性・透明性と説明責任
 - 3-3 日本銀行の金融政策手段
- Ⅳ 銀行の機能と現状
 - 4-1 資金創出と決済機能のメカニズム
 - 4-2 不良債権問題と金融行政
- Ⅴ 企業と金融機関の関わり
 - 5-1 企業の金融行動と金融機関
 - 5-2 企業の資金調達とコストの概念
 - 5-3 コーポレート・ガバナンスの変遷
- Ⅵ 家計と金融機関の関わり
 - 6-1 家計の金融行動と金融機関
 - 6-2 高齢化の進展と家計の金融行動の変化

履修上の留意点

経済や金融に興味を持ち、新聞等で時事問題をチェックすることを望みます。

成績評価の方法

定期試験、レポート、出席状況等から総合的に評価する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

参考文献については、講義中に適宜指示する。

その他

講義形式で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人 口 論	もり おか じん 森 岡 仁	経B1・2・3・4選	4
		経A2・3・4選	
		商2・3・4選(12以降入学生)	

講義のねらい

人口に関わる学問分野は数多く存在するが、とくに経済学との関係から接近しようとするところにこの授業の特徴がある。経済と人口との関係はどちらかが一方的に他に働きかけるというのではなく、互いに作用しあう相互依存の関係にある。1970年代に成立しその後大きな発展を遂げた経済人口学は、この点に注目する人口学の一分野であるが、本講義も経済人口学の立場に立って、経済と人口の相互依存の関係を理論的、実証的に追求するものである。そこにおいては、日本を含む世界全体の人口について、過去から現在、そして可能なかぎり将来に及ぶ人口現象にまで論及してみたい。ことに、先進工業諸国に現在共通してみられる少子化と年齢構造の高齢化の問題は、わが国においても経済との関係から早急に解決を迫られている関心事であり、将来益々その重要度を高めていく。

一方発展途上諸国に生じている人口増加の問題は、貧困からの脱却のため、あるいは資源・環境の観点からも緊急に解決しなければならない困難な課題を提起している。このようにみえてくると、今や人口問題は地球規模で考え、そして解決していかなければならないことが理解されよう。しかしながら、人口を取り巻く関連分野が広範囲に及ぶことから、はたしてどこまでが人口の問題であり、どこまでが他の分野の問題であるのかを的確に見極めることが重要になってくる。真の人口問題が不明確だとすれば、それに対応する政策も不適切なものにならざるをえない。的確な事実判断の下に適切な政策を施すには、しっかりとした理論的知識を備えていなければならない。ここでは、経済人口学の成立と発展の過程を辿ることによって、人口理論の基礎的知識を養い、政策論にも言及してみたい。

この授業では人口という眼鏡を通じて経済をじっくりと眺めることによって、一人でも多くの学生諸君が人口に関心を抱くようになってほしいと考えている。なぜなら近年の先進諸国においては子供を公共財的に扱う傾向があり、人口問題が国民一人一人の問題になっているからである。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経済人口学の生成と発展
- II. 日本の人口と経済発展
- III. 人口高齢化の経済的諸問題
- IV. 人口政策

履修上の留意点

履修に当たっての条件というものはとくに無いが、近年大きな関心事になっている人口の“高齢化”や“少子化”に関する知識を、どのような手段をつうじてでも良いから得ておくことが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験、出席状況。
再試験を実施する。

教 科 書

大淵 寛・森岡 仁『経済人口学』（新評論）1981年

参 考 書 等

大淵寛『少子化時代の日本経済』（日本放送出版協会）1997年
阿藤誠『現代人口学』（日本評論社）2000年

そ の 他

授業の方法：講義

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本経済論	小林 正人 <small>こばやし まさと</small>	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

日本経済の（第二次世界大）戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本的経営システムの役割について検証する。さらに、平成不況のなかで浮き彫りになってきた日本の経済システムの課題について述べる。

日本経済は高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」――とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高――をのりこえてきた。しかし長年の平成不況の中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。これまでの発展の条件が、地球規模での技術発展と競争環境の中で、逆の条件に転化したのである。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむために、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- 戦後日本経済の展開過程
景気の現状と雇用情勢
戦後改革
日本の高度経済成長：歴史とその原因
産業政策の役割
石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
- 日本の経済発展とイノベーション
イノベーションと産業構造の変化
主要産業の歴史と現状：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械
日本的経営システム／経済システム（欧米諸国との比較）
製品の安全性とPL法
- 日本の経済発展の総括と展望
平成不況の意義
IT革命のインパクト

履修上の留意点

講義資料をひんばんに配布する。一度しか配布しないので確実に収集し、保管しておいて、定期試験にそなえることが必要である。教場の前面のスクリーンに講義資料を表示しながら講義をすすめるので、見やすい位置に着席すること。板書はあまりせず、プレゼンテーション中心の講義である。なお、ほとんどの講義資料は「小林研究室」のウェブサイト (<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>) の「講義」の「日本経済論」のサイトにもできるだけ載せるようにしている。

成績評価の方法

定期試験の成績と、講義の節目に実施する数回の小テストとの総合評価による。試験は主に論述式である。再試験は実施しない。

教科書

なし

参考書等

適時紹介する。なお、経済学概念や経済用語に関する辞典あるいは事典を一つは用意しておきたい（有斐閣、岩波書店、東洋経済新報社などから出版されている）。

その他

講義についての質問や成績質疑応答への参加を歓迎します。ただしそのときは、関連する講義資料を持参することが必要です（有意義な回答のため）。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国際経済論	徳永俊明 <small>とくながとしあき</small>	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

学問への出発点は「私はどこにいるのか?」という問いにあります。実際、私たちはアマゾンの密林で生活しているわけでもありませんし、江戸時代の農村に生きているわけでもありません。では「どこ」にいるのでしょうか。

「世界の中にいる」と言っても、「日本にいる」と言ってみても、これらは答えになりません。どのような世界なのか、どのような日本にいるのか——少なくともこれをつかまなければ先の問いに対する答えにはなりません。今日の世界社会、今日の日本社会の〈内容〉を理解しなければなりません。

ところで、世界経済は、今日、世界社会・日本社会の〈土台〉をなしているものです。世界経済という〈土台〉なしには、世界社会も日本社会も成り立ちません。世界と日本を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本構造〉の解明をめざします。ただし、私の力量からして“社会主義”経済に十分言及することはできません。資本主義世界経済に限定して検討します。

この講義のキーワードは〈階級的支配関係〉と〈民族的支配関係〉です。世界経済は、資本主義という社会の誕生とともに成り立ち始め、資本主義社会の〈土台〉として、またその〈産物〉として推移してきました。資本主義社会は、言うまでもなく、〈階級的支配関係〉を命綱としています。同時に、世界の諸民族の間の〈民族的支配関係〉をもう1本の命綱としていることが重要な特徴です。これら二つの支配・従属の関係は資本主義社会のいわば2本柱をなすものです。そして、〈民族的支配関係〉こそ世界経済の〈基本構造〉として機能してきたのです。そこで、この講義では、この〈民族的支配関係〉の問題を座標軸にして世界経済の基本的な理論と歴史、現状そして展望を検討したいと思います。

〈国際化〉の問題がいよいよ重大になっているいま、多くの諸君の主体的な受講を期待します。

講義の内容・授業スケジュール

〈講義のテーマ (予定)〉

前期は、世界経済の歴史を跡づけ、今日の世界経済の歴史的段階を確認します。

後期は、歴史的知識を念頭において、今日＝第2次世界大戦後の世界経済の〈基本構造〉を形づくっている主な柱を一つずつ検討します。

前期——世界経済の歴史的推移

- (1) 〈講義の趣旨〉および〈講義テーマ〉の説明
- (2) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制
- (3) 産業革命と自由貿易植民地体制
- (4) 帝国主義と帝国主義植民地体制
- (5) 第1次世界大戦と世界経済
- (6) 戦間期の世界経済

後期——今日の世界経済

- (1) 第2次世界大戦と世界経済
- (2) 「アメリカ中心体制」
- (3) 新植民地主義と世界経済

貿易・国際通貨制度・資本輸出——〔援助〕と多国籍企業・〈南北問題〉と新国際経済秩序

- (4) 世界経済の現段階
- (5) 日本経済と世界経済
- (6) われわれの選択

〈講義の方法〉

教場では毎回資料をプリントして配布し、それを説明するという形で講義をすすめます。

成績評価の方法

成績は、読書ノート(2～3回)および講義の基本的内容の理解を確認する学年末レポートで評価します。(追・再試験は行ないません。)

参考書等

講義の中で適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア メ リ カ 経 済 論	せとおか 瀬戸岡 ひろし 絃	経B1・2・3・4選	4
		経A2・3・4選	
		商2・3・4選 (12以降入学生)	

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の前備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・ 授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。
 ◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇
 ヴェンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学
 技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリ
 ティー、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、
 ◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリ
 カとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、
 つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとりいれ
 た授業です。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためまえか
 ら、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。それゆえ再試験
 も実施しません。

教 科 書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随
 時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカ
 ものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、
 グリーンバーグ『資本主義とアメリカの政治理念』(瀬戸岡訳 青木書店) 1994年
 瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』(桜井書店) 2003年
 をおすすめします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報・経済ネットワーク論	なか すみ みつ あき 中 濟 光 昭	経B1・2・3・4選	4
		経A2・3・4選	
		商2・3・4選(12以降入学生)	

講義のねらい

この講義では、情報が経済学でどのように扱われているかについて議論します。具体的には「経済学と情報」「デジタルエコノミーとはなにか」「ITによって何が変わるのか」「情報ネットワーク経済の基盤となる情報システムとは」「電子商取引とは」について理解し、事例を通じてインターネット上の電子商取引、オンラインバンキング、オンライントレーディングなどについて理解を深めていきます。講義では、コンピュータを操作して情報システムについて実習し、また電子掲示板などを活用し教員と皆さんが双方向に意見を交換するようにしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 教場のパソコンの使い方、受講上の注意など
- 2) グループウェアで共同作業を行なう
- 3) インターネットで株取引シミュレーションをやってみる
- 4) 経営情報システムの実例 (SAP R/3)
- 5) 情報経済システム論 - 情報とは、カジノテーブルと収穫逓増の法則、情報の非対称性、デジタルエコノミーとは
- 6) 情報システム概論 - コンピュータのコスト構造、組織変革論、技術概論
- 7) 電子商取引概論 - 電子商取引のインパクト、電子決済概論、法制度
- 8) インターネットビジネス概況 - マイクロソフトにみる情報ビジネス戦略、インターネットビジネスを覆う危機
- 9) 事例研究 (amazon.com, yahoo.com などについてビジネスモデルを調査・分析する)

履修上の留意点

ワープロ、表計算、メール、ホームページ検索などの基本的操作ができる前提で講義を行います。課題提出や講義中の議論には、パソコンやインターネットを活用します。パソコン初心者には、まず基礎情報処理Ⅰ・Ⅱやコンピュータ基礎を履修することをお勧めします。

成績評価の方法

講義時の課題と小テスト、夏季・冬季休業時に課すレポートによります。実習を含むため、追・再試験は行いません。卒業年次生においても期限までにレポートを提出しないものは、単位を認めません。

教科書

初回の講義で指示

参考書等

初回の講義で指示

その他

- ・本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがあります。初回の講義に「必ず」出席すること。卒業年次生についても例外は認めません(事前に相談すること)。
- ・KOMAnetに登録している前提で講義を行なうので、KOMAnet未登録者は4月初旬に4号館1F自習室に行き、登録手続きを行なうこと(登録なしに受講することは講義内容上困難)。
- ・講義に関する質問などは、事前予約の上、第二研究館4F 2437研究室(tel: 03-3418-9352)に来室するか、nakasumi@komazawa-u.ac.jpにメールすること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報処理論	いわせひろかず 岩瀬弘和	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

高度情報化社会といわれている現代社会において、コンピュータグラフィックス（CG）は様々なところで利用されており、今後、インターネットにおける技術向上やコンピュータの家庭内への普及とともに、CGを作成したり鑑賞する機会が急速に増大するものと予想される。

この講義では、CGの概要から始まり、CG作成のための基本的な理論を学習していく。その際、既存のCG作成ソフトを使用しながらその技術を習得するとともに、CG理論の理解を深めていく。さらに、現在CGが応用されている分野を知り、今後どのようにCGが活用され、発展していくのかについて議論する。

講義の内容・授業スケジュール

- ・コンピュータグラフィックスとその展開
- ・2次元CGの作成と変換理論の習得
- ・3次元図形の表示技術（投影方法と透視変換、陰線処理と陰面処理など）
- ・自由曲線の種類とその理論（ベジエ曲線、Bスプライン曲線など）
- ・自由曲面の種類とその理論（ベジエ曲面、Bスプライン曲面など）
- ・3次元モデリングの実際、コンピュータアニメーションなど

上記の理論を学習するとともに、Photoshop、VRML、Java Scriptなどの使用方法についても習得する。

履修上の留意点

パソコン使用経験者が望ましい。

成績評価の方法

出席状況および提出課題にて評価する。

教科書

配布資料。

参考書等

田中成典、小林孝史（編）『VRMLの達人』（森北出版）
黒瀬能幸『3次元図形処理工学』（共立出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
商学総論	おおぶきかつお 大吹勝男	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

大学は、「企業に貢献する人材を育成」しなければならない、として大学は社会的要請に応えねばならないというが、その実、社会ではなく、会社・企業のために諸君を育成しろというマスコミや評論家等々、そして学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は君たち自身のためにあり企業のためにあるものではありません。大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を身につけることです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。諸君が、悩みに悩み、迷いに迷い、そして考え大人になっていくところが、大学という場です。「即戦力になる人材の育成」をうたい文句にした大学も続々と出現していますが、企業は即戦力が必要ならば、そのような人材を中途採用します。キャリアを積んだビジネスマンから多く聞くことは、学生時代に「学問」をしておくべきであったということです。諸君も、過労死や過労自殺をすることなく、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に物事を考える能力を身につけてください。そして、社会人として現実には困難な問題に直面しても、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策を学習するための基礎理論を提供するものでもあります。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目のようになります。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・商品在庫と保管費用・市場と商品輸送）
- (4) 商業資本の本質・機能論
- (5) 商業資本の自立化論・卸売り排除論（中抜き論）
- (6) 商業利潤論
- (7) 商業労働論・ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）
- (8) 商業資本の回転と価格。

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねたレポートの提出も評価します。また、各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とします。期末試験では、テキストおよびノートの参照は可とします。しかし、この措置は、私自身、学生時代に非常に疑問に思っていたことではありますが、君たちに、受験生のような暗記の勉強を早く卒業してもらい、十分な準備（学習）をして試験に望んでもらいたいということがあります。いうならば、問題のわからないレポート試験とでもいえばよいかもしれません。したがって、容易に単位が取得できるという意味ではありませんから誤解のないように。再試は実施する。

教科書

大吹勝男著『流通諸費用の基礎理論』（梓出版社）1,500円
大吹勝男著『商業資本の基礎理論』（梓出版社）4月刊行予定

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営学総論	岩波文孝 <small>いわた なみ ふみ たか</small>	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

21世紀の企業経営は、グローバル化とIT革新の進展という急激な経営環境の変化や企業の社会的責任(CSR)に対応することが求められています。長期的な不況など実感を持って企業経営のあり方を学ぶ機会でもあるといえます。

経済学部には、現代企業の経営に関連する科目が多く開講されています。とくに経営学史、経営管理論、労務管理論、経営戦略論、企業統治論、財務管理論、マーケティングなどは現代企業の構造と機能、あるいは企業経営に関連する諸問題の系統的・体系的理解に不可欠な科目です。経営学総論では経済学部において経営学関連科目を学ぶことの意義について講義します。また、はじめて経営学を学ぶ学生に向けて、企業経営の仕組みについて身近な例を取り上げながら授業を進めていきます。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 授業の概要・ガイダンス
2. 株式会社論 (企業形態論)
3. コーポレート・ガバナンス
4. 中小企業論 (ベンチャー論)
5. 協同組合論
6. 非営利組織論 (NPO 論)
7. 経営思想の発展
8. 経営戦略論
9. リーダーシップ論
10. 生産管理論
11. 人的資源管理論
12. 日本的経営論
13. 小集団活動
14. 情報化と企業経営
15. 国際化と企業経営
16. 環境経営
17. 企業倫理・CSR
18. 企業経営をめぐる諸課題

履修上の留意点

現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。

成績評価の方法

レポートおよび学年末試験により総合的に評価します。

教科書

百田義治編著『経営学基礎』(中央経済社) 2005年

参考書等

仲田正機・夏日啓二編著『企業経営変革の世紀』(同文館) 2002年

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計学総論	小栗 崇 資	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい 「会計学総論」は会計学入門のための講義です。会計学の基礎知識を身につけることをめざして、興味深いケースステディもまじえてわかりやすく講義します。財務会計を中心に進め、会計の高度な学習に向けた基本的能力や経営分析能力を養成します。

講義の内容・授業スケジュール 次のテーマに沿って講義を進めます。

1. 会計とは何か
2. 簿記・会計の仕組み
3. 会計理論と会計制度
4. 財務諸表の仕組み
5. 貸借対照表の内容
6. 損益計算書の内容
7. キャッシュフロー計算書の内容
8. 連結財務諸表の内容
9. 会計監査の基礎
10. 経営分析の基礎

履修上の留意点 会計学は専門知識や技術を1つ1つ理解し身につけていく学習方法が重要です。教科書中心に進めますが、副教材としてプリントも配布して使います。必ず出席してください。

成績評価の方法 中間試験および学年末試験により評価します。また時々、小テストやレポートも課して、成績評価に加算します。なお、再試験は行わないので注意してください。

教科書 永野則雄『ケースブック会計学入門（第2版）』（新世社）1,650円

科目名	担当者名	配当学科	単位
簿記論	鈴木 勝 浩	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい 簿記は、企業の経済活動を貨幣価値的に把握し、一定の記帳原理に基づいて記録・計算する方法である。現在企業ではコンピュータによる会計処理が主流となっているが、その基本には複式簿記の原理があり、マニュアル方式による簿記と何の変わりもない。また簿記は会計関連科目を学ぶ上で基礎的前提となるものであるため、初めて会計を学ぶ学生を考慮に入れ、複式簿記の原理をわかりやすく解説を行っていく。

講義の内容・授業スケジュール 本講義では、まず簿記の歴史と複式簿記の原理を解説した後、日商簿記検定3級程度の知識を得るべく、簿記一巡の手続きに従い、記帳演習を取り入れながら個別事項を学習していく。また現在の実務状況を勘案し、コンピュータ環境下における簿記会計の在り方についても触れていきたい。

履修上の留意点 簿記はその性格上、知識の積み重ねが必要であるためなるべく欠席しないこと。また簿記は一定のルールさえ習得してしまえばその後の理解は容易である。したがって講義のスタートを大事にしたいと考えており、学生諸君もそのつもりでいて欲しい。

成績評価の方法 出席率及び定期試験の総合評価で行う。
再試験は実施する。

教科書 新井清光『入門簿記』中央経済社

参考書等 『要点整理 日商簿記検定練習問題集3級』（一橋出版）

その他 講義の際には、電卓を持参すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿 易 実 務 (前期)	あら はた はる お 荒 畑 治 雄	経B1・2・3・4選	2
		経A2・3・4選	
		商2・3・4選(12以降入学生)	

講義のねらい

貿易取引の基本は、どこで、何を、どのような方法で売買するかにある。企業が生産する製品は買手志向の観点から把握される傾向が強くなっており、相手市場の需要動向を正確に把握し、顧客のニーズに合致する商品の取引を行うことが必要となる。

近年、アジア諸国の経済発展、EUの拡大、電子商取引の進展等国际ビジネス環境の変化が著しくなってきた。そこで、本講において、変化しつつある取引方法を念頭に入れ、貿易実務を考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 貿易実務の戦略
 - (1) 有力市場の選定 (2) 貿易戦略の設定
- 2 取引関係の創設
 - (1) 取引先の選定 (2) 信用調査
- 3 引合から成約までの実務
 - (1) 見本の価格表 (2) 一般的取引条件の協定
- 4 売買契約の成立に伴う実務
 - (1) 売買契約の確認 (2) 売主・買主の義務
- 5 通関・船積み・陸揚げ
 - (1) 輸出通関と船積み (2) 陸揚げと輸入通関
- 6 貿易決済

履修上の留意点

国際ビジネスの変化に常に関心を持ち、国際的な視野を広げるように努力する。

成績評価の方法

授業への参加度、試験の結果等による。

教 科 書

椿弘次『入門・貿易実務』(日経文庫) ISBN4-532-10845-4
随時、プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
通関実務（後期）	あらはたはるお 荒畑治雄	経B1・2・3・4選	2
		経A2・3・4選	
		商2・3・4選(12以降入学生)	

講義のねらい

わが国は、世界の多くの国々と貿易を行っており、海外諸国との貿易を増大することにより、わが国の経済が発展してきたのである。
日本から外国へ、外国から日本へという国際的な商取引には、いくつかの規制があり、必ず税関を通ることになっている。貨物を輸出入する時には、税関に申告してその許可を受けることが必要である。
本講義では、輸出の許可、輸入の許可、関税の徴収、保税地域の許可等通関手続きの業務を修得する。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|--------------|---------------|
| (1) 通関業務の定義 | (2) 通関士の義務 |
| (3) 関税法 | (4) 関税額の確定の方式 |
| (5) 関税の納付・徴収 | (6) 保税制度 |
| (7) 課税価格 | (8) NACCS |
| (9) 輸出申告書 | (10) 輸入申告書 |

履修上の留意点

貿易実務講義を履修しておくことが望ましい。

成績評価の方法

授業への参加度、最終試験。

教科書

菊池文司・朝比奈高一『通関士試験』（ナツメ社）1,800円 ISBN4-8163-3540-4

参考書等

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
憲法	うちだまりこ 内田真利子	経B1・2・3・4選	4
		経A2・3・4選	
		商2・3・4選(12以降入学生)	

講義のねらい

市民と公権力との関係、個人と集団との関係、少数者と多数者との関係において、憲法の存在意義を再確認すること。受講者が、自分自身に関わる問題として憲法に興味を持つためのきっかけにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

政治の動向、社会的事件、受講者にとっての身近な関心事などを題材に選び、「憲法」の視点から問題点の整理および検討を行う。具体的なテーマは、現実社会の変化に応じて、また受講者からの要望に応じて、適宜選択していく。網らする領域は幅広い、というよりほとんど制限がないと言ってもよい。あくまでも一例を以下に挙げる。環境、平和、象徴（日の丸・君が代・天皇制）、家族と法、子どもの人権、職場における人権、医療と人権、性愛の自由、外国人の人権、宗教と人権、犯罪と法、報道と人権、表現の自由、性差別……。

履修上の留意点

授業に毎週出席できることが履修の最低条件。また、単に教室に来るだけでなく、主体的に授業に参加できる人にも受講してほしい。

成績評価の方法

通常授業時間中に年数回、テストを行う。このテストのほか、授業中の発言、授業後の質問、自主提出レポート等についても成績評価の対象とする。

教科書

授業で指示する。ここでは、参考のため、昨年度のテキストを紹介しておく。川人博編著「テキストブック現代の人権 [第二版]」（日本評論社）

参考書等

六法（出版社、サイズは問わない）、少なくとも日本国憲法の全条文。

その他

追試は行わない。やむをえない理由によりテストを欠席した場合、レポート提出をもってテスト受験に替えることを認める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 法 一 部	お だ て る 織 田 晃 子	経B1・2・3・4選	4
		経A2・3・4選	
		商2・3・4選(12以降入学生)	

講義のねらい

このクラスは民法及び民法1が講義の対象とされている。そこで、民法総則を中心に行うが、具体的には取引行為、特に契約を通して必要があれば物権にもふれながら、下記の講義内容を進める。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 権利の主体
 - (1) 自然人
 - (1) 権利能力 (2) 意思能力、行為能力 (3) 不在者、失踪宣言
 - (2) 法人
 - (1) 法人の意義・本質 (2) 法人格否認の法理 (3) 権利能力なき社団・財団
 - (4) 法人設立とその能力 (5) 法人の不法行為責任
- 2 権利の客体
 - (1) 物の概念 (2) 不動産と動産 (3) 主物と従物 (4) 元物と果実
- 3 権利の変動
 - (1) 法律行為 (2) 意思表示 (3) 代理 (4) 無効及び取消 (5) 条件及び期限、期間
 - (6) 時効

履修上の留意点

六法は必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績による。再試験を実施する。

教 科 書

河野弘矩著改訂版『民法総則講義』（八千代出版）3,100円＋税

参 考 書 等

コンパクト六法（岩波）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 法 二 部	おのの 小野 健太郎	経B1・2・3・4選	4
		経A2・3・4選	
		商2・3・4選(13以降入学生)	

講義のねらい

債権法は、物権法と共に、市民生活のうち財産関係を規律する法で、財貨の移動関係を定めた法です。この債権法は、民法の条文構成からみると、第三編「債権編」がそれに該当し、399条から724条までを対象としています。そして、講学上、債権編第一章総則の部分を「債権総論」といい、そこでは、債権の目的、効力、多数当事者の債権関係、債権の譲渡、債権の消滅などが規定されています(399条～520条)。また、債権編第二章以降の部分を「債権各論」といい、契約、事務管理、不当利得、不法行為などが規定されており、これらは、債権発生原因と解されています。債権総論は、民法典がパンデクテン方式により規定されているため、抽象度が高く、わかりにくいと言われています。そこで、本講では、講義の中で契約等の例示を多く登場させ、極力具体的な理論を説明するようにしたいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期(1)～(5) 後期(5)～(8))
- (1) 民法の全体像
 - (2) 債権の意義及びその性質
 - (3) 債権の目的
 - (4) 債権の種類 (a 特定債権 b 種類債権 c 金銭債権)
 - (5) 債権の効力 (a 強制履行 b 債務不履行 c 第三者による債権侵害 d 責任財産の保全)
 - (6) 多数当事者の債権関係 (a 連帯債務 b 保証債務)
 - (7) 債権関係の移転 (a 債権譲渡 b 債務の引受)
 - (8) 債権の消滅 (a 弁済 b 供託 c 相殺)

履修上の留意点

必ず続けて受講すること。六法持参すること。

成績評価の方法

期末試験により評価する。出席点を加味するか否かは今後検討したい。

教科書

『民法(5)債権総論』(有斐閣双書)を使用する。

参考書等

授業のなかで紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 法 一 部	すずき 鈴木 千佳子	経B1・2・3・4選	4
		経A2・3・4選	
		商2・3・4選(13以降入学生)	

講義のねらい

商法第二編会社編(通称会社法)について講義する。会社の成立から消滅に至るまでのさまざまな法律関係について考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

会社法の中でも株式会社を中心に取り上げたいが、設立方法、株式やさまざまな株主の権利、会社の運営機構、資金調達方法、企業結合など、受講者が身近に感じているであろう問題を取り上げて、興味をさらに広げるきっかけとなるようにしたい。

成績評価の方法

成績評価は期末試験によって行うが、時々授業時間内で簡単なレポートを書いてもらうことも考えている(成績評価に反映させるか否かは未定)。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
商 法 二 部	かわぐちゆきみ 川 口 幸 美	経B1・2・3・4選	4
		経A2・3・4選	
		商2・3・4選(12以降入学生)	

講義のねらい

現代の企業間取引では、手形や小切手等の有価証券が多数用いられている。手形には為替手形と約束手形があり、わが国では為替手形はほとんど用いられていない。したがって本講義では約束手形を中心に振出から裏書、支払いについて説明し、最後に小切手を取り扱うものとする。

講義の内容・授業スケジュール

手形法は第1編が替手形と第2編約束手形から構成されるが、本講義では約束手形を中心に、以下のトピックスをそれぞれ1～2回に分けて解説する。

- | | |
|-----------------|------------|
| ①講義ガイダンスと手形の仕組み | ②手形法のキーワード |
| ③手形行為と意思表示の瑕疵 | ④手形行為独立の原則 |
| ⑤他人による手形行為 | ⑥変造と抹消 |
| ⑦裏書 | ⑧善意取得 |
| ⑨取り立て委任裏書 | ⑩手形抗弁 |
| ⑪支払い | ⑫利得償還背請求権 |
| ⑬白地手形 | ⑭小切手 |

履修上の留意点

授業には必ず六法を持参すること。

成績評価の方法

成績評価は中間試験(50点)と期末試験(50点)で行う。日程については授業内で連絡し、また1ヶ月前には掲示をするので注意すること。

教科書

川村正幸「手形小切手法(第2版)(新法学ライブラリ)」(新世社)

参考書等

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経 済 法	あらいとしお 荒 井 登 志 夫	経B1・2・3・4選	4
		経A2・3・4選	
		商2・3・4選(12以降入学生)	

講義のねらい

規制緩和・グローバル化の下で独占禁止法を中心とする経済法の分野はいよいよ重要性を増し、近年、相次いで法改正等が行われあるいは行われようとしています。本講では、独占禁止法を中心に、景品表示法、下請法及び官製談合防止法の規定を、①実体経済の動きや歴史的視点をバックに、②規定の意味内容を平易に解説するとともに、③具体的な適用事例を挙げて説明して行きます。

講義の内容・授業スケジュール

- 〔前期〕(1～3)前史、全体像・基本的概念 (4～5)私的独占 (6～10)不当な取引制限等(価格カルテル・入札談合、事業者団体カルテル、官製談合防止法、課徴金)(11～14)不公正な取引方法・前半
〔後期〕(15～17)不公正な取引方法・後半(景品表示法・下請法) (18)寡占問題(独占的状态・価格の同調的引上げ) (19～20)第四章規定(株式所有・合併・持株会社)(21～24)適用除外・域外適用、公正取引委員会、手続規定・訴訟 (25)国際的環境 (26)事例研究 (27)まとめ

成績評価の方法

学期末試験の結果と前期末の受講者の提出物の内容に基づいて行います。問題の作成及び成績評価に当たっては、講義に出席し実態的な理解を深めた方が有利になるよう配慮します。

教科書

根岸哲・舟田正之『独占禁止法概説[第2版]』(有斐閣)3,800円
なお、適宜プリントを配付し、理解の促進と新たな情報提供に役立つよう努めます。(六法全書をできる限り持参してください。)

科目名	担当者名	配当学科	単位
労働法	藤本茂 <small>ふじもと しげる</small>	経B1・2・3・4選	4
		経A2・3・4選	
		商2・3・4選(12以降入学生)	

講義のねらい

今日、労働関係は、リストラ、成果主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。

労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

この時期、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。労働基準法改正、解雇法制や男女雇用平等などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に授業を進め、その基礎的知識を身につけることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、下記事項について、行います。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 労働条件の集団的決定－就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外・休日労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 労働災害など

履修上の留意点

出席を心がけてください。私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo、そして無断で席を立つことはNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。

憲法、民法、社会保障法、社会政策は、近接科目であるので、ぜひ履修してください。

成績評価の方法

成績は、学年末試験がメインで、出席、レポートなどとともに、総合的に評価します。追・再試験は実施します。

教科書

浜村彰ほか著『ベーシック労働法』（有斐閣）か浅倉むつ子ほか著『労働法』（有斐閣）のうち1冊は用意してください。受講者は必ず1冊は用意してください。

参考書等

第1回目の授業で、プリントで紹介します。

六法は、最新のもの（法律改正や制定があるので特に）。そして労基法施行規則の載っているものを用意してください。

その他

皆さんが各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を揚げながら、授業を進めます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
行政法	かねこしょうへい 金子昇平	経B1・2・3・4選	4
		経A2・3・4選	
		商2・3・4選(12以降入学生)	

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない新たな法分野が続出しているといえる。例えば、行政手続法の制定をはじめ、情報公開法、個人情報保護法、環境アセスメント法等を挙げることが出来るが、これらの法領域に対応すべく行政法の理論を考えていかなければならない。

そこで講義においては、行政法総論での、基本的な原理や原則に対する、よりアップ・トゥ・デートな課題を積極的に揭示し、諸君とともに、問題発見と問題解決のための法的手法を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 行政と法の関係
 - ①法による行政の原理 ②行政法の意義と範囲 ③行政法の法形式 ④行政上の法律関係
- 2) 行政主体と私人
 - ①行政主体と行政客体 ②国の行政組織 ③地方公共団体の行政組織 ④行政機関・公務員
 - ⑤行政情報と法
- 3) 行政手段法
 - ①行政立法 ②自治法 ③行政計画 ④行政行為 ⑤行政契約 ⑥行政指導 ⑦行政調査
 - ⑧行政強制 ⑨行政罰
- 4) 行政手続の法

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教科書

原田尚彦『行政法要論』(学陽書房)

参考書等

塩野宏他編『行政判例百選Ⅰ、Ⅱ』(第四版)(有斐閣)

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際法	おう 王 志 安	経B1・2・3・4選	4
		経A2・3・4選	
		商2・3・4選(12以降入学生)	

講義のねらい

国際法学の基礎知識を修得し、国際関係の現状を法的側面から理解する能力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

国際法学の全体を様々な基礎的課題に細分し、毎回の講義においてできるだけ一つの課題を絞り、それぞれ基礎概念、理論体系、そして事例分析の形で解明する。前期においては、国際法の史的展開、国際法と国内法との関係、国際法の法的性質といった基礎知識から着手し、国家および国際機構にかかわる様々な法的問題を取り上げていきたい。たとえば、国家の分裂や統合に生じた国家の承認や承継の問題、違憲的な政府変更やクーデターに関する国際的対応の法的性格、国内裁判における未承認政府や国家の地位、そして国連を中心とした国際機構の法的地位や機能の形態などを分析する。

後期では、前期の基礎知識の修得を踏まえて、領域に関する管轄権、国際的人権保障、条約関係の理論および外交関係の法的仕組みを検証する。具体的には、国家領域の法的地位や取得に関する理論および実行、国際地域、国際海域および宇宙空間といった国際区域の法的地位、外国人の法的地位、人権保障に関する国際制度の展開、条約の締結、形式および効力に関する法規制、外交関係および領事関係における特権および免除などを取り上げる。

履修上の留意点

国際関係を法的側面からとらえる視点の養成を常に心構えとする。個々の概念、理論、事例を解明する戦術的な能力がまず重要視されるべきであるが、政治、外交、経済、文化といった様々な形態で展開される国際関係を法という枠内でとらえる戦略的な資質をのばすことも見失われてはならない。そのためには、教科書に取り上げられた学説を理解するだけでなく、講義に取り上げられた課題の視点、問題意思をしっかりと修得する必要もある。配布される参考資料や聴講ノートを参照しながら、教科書の理解を深めてもらいたい。

成績評価の方法

成績は年末の定期試験で決定する。ただし、前期小テストや講義出席の状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版(上)(東信堂)2002年 2,800円

参考書等

松田幹夫編著『現代国際法』(八千代出版)1997年 2,700円
市販されている国際条約集

その他

授業はすべて power point を使って講義方式で行い、適宜に参考資料を配付する。power point で使われる簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 保 障 法	はらだ けいいちろう 原 田 啓 一 郎	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

今日の社会保障制度が本格的に構築されたのは、第二次世界大戦後であったこともあり、社会保障法学が本格的な法学の一研究領域として認知されたのはごく最近である。

社会保障は、第一義的には国民の生活保障を目的とする制度であり、その重要性は私たちの日常生活において無視し得ないものになっている。本講義では、社会保障法の基礎と個別制度の特質・内容の理解を通して、社会保障の法的理解を深めることを目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- I 社会保障とその特質
- II 社会保障法の理論と課題
- III 年金制度——国民年金、厚生年金、企業年金
- IV 社会手当制度
- V 医療保障制度——国民健康保険、健康保険
- VI 労災保険制度
- VII 雇用保険制度
- VIII 社会福祉制度
- IX 公的扶助制度

履修上の留意点

社会保障の法政策論は、同担当者による「社会政策」で詳細に取り扱う。

成績評価の方法

原則、筆記試験の結果によって成績判定を行う。出席はとらない。ただし、出席せずして単位を取得できるほどやさしい評価ではないことに留意されたい。

教 科 書

教科書は講義開講時に指定する。

六法は、『社会保障関係法規集』（労働新聞社）を必ず携帯すること。

参 考 書 等

適宜紹介する。

そ の 他

履修にあたっては、憲法、行政法、民法、労働法、社会政策、法哲学などの科目を既修若しくは本科目と平行履修していることが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 險 ・ 海 商 法	やま だ やす ひこ 山 田 泰 彦	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

私達の生活は、いろいろな危険に満ちています。危険が現実のものになったとき、損害が発生しますが、これにどのように対処して克服すればいいのでしょうか。これは、古くから私たちが悩ませてきた問題です。保険は、危険克服のもっとも洗練されたシステムとであり、それゆえ広く社会に定着しているのです。この講義では、保険というシステムを法制度の視点から概観します。他方、四圍を海に囲まれ、資源の乏しいわが国では、海外との取引が大きな比重を占めています。海外との輸出入の99パーセントは、外航船舶の運送によって支えられており、船舶による運送を行う海上企業の役割は、わが国の経済活動、ひいては国民生活にとって、決定的な重みがあるといえましょう。海商法は、船舶を手段とする海上企業に関する法であり、この講義では、海上企業のあり方とその活動内容を、法的視点から見てみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、保険法を中心にします。1 保険総論（保険とは何か）、2 保険法総論（損害保険と生命保険に共通する制度の概観）、3 損害保険総論（各種損害保険に共通する特有の制度）、4 古典的損害保険（火災保険）、5 現代的損害保険（責任保険と自動車保険）、を見る予定です。後期は、海商法を中心にします。1 海上企業の意義と発展（海商法とは何か）、2 海上企業組織（海上企業とはどのようなものか）、3 海上企業の責任制度、4 海上物品運送契約の意義と種類、5 海上企業の契約責任、を中心に概観します。

履修上の留意点

六法は、必ず持参して講義に臨んでください。なお、言うまでもないことですが、授業中の私語は厳禁します。毎回、出席を取る予定です。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価します。なお、成績評価にあたっては、出席状況も考慮しますが、毎回出席していても、ペーパー試験の結果が悪い場合には、不可となります。

教 科 書

山野・山田編著「現代保険・海商法30講（第6版）」中央経済社を使用します。

参 考 書 等

平出・田村編著「現代法講義保険法・海商法（第2版）」青林書院

そ の 他

授業スケジュールに挙げた項目は、その重要度・内容に応じて、1回から4回の講義回数を予定しています。講義回数としては、保険法が若干多くなるかと思えます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商法総則・商行為法	かわぐちゆきみ 川口幸美	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

民法は私人の一般的な法律関係を規律する法であると言えるのに対して、商法は、営利を目的とする商人・会社の法律関係を規律する法と言える。商法は、商法総則、会社法、商取引の3つの分野から構成される。本講義では、商法総則と商取引を中心に扱うものとする。また、商法の対象には消費者取引も含まれるから、消費者保護法と商法の関係についても概観する。

講義の内容・授業スケジュール

①～⑥は商法総則、⑦～⑨は商取引法、⑩は消費者保護法であり、各テーマを1～2回にかけて講義を行う。

- | | |
|----------|---------------------|
| ①商法の意義 | ②商法の適用（商行為の概念と商人概念） |
| ③商号と営業譲渡 | ④商業登記の効力 |
| ⑤商業使用人 | ⑥商号の保護 |
| ⑦商取引法の意義 | ⑧ファイナンス・リース |
| ⑨フランチャイズ | ⑩消費者取引 |
| ⑪その他 | |

履修上の留意点

教科書と最新の六法（判例付きのものは除く）を必ず持参すること。また、商法は民法の特別法であり、体系的な理解を得るためにも、民法科目を同時履修するか、履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

期末試験の成績をもって評価する。また、試験は後期授業期間内（最終授業）に行う予定なので、留意すること。

教科書

大塚秀夫・川島いずみ・中東正文共著 有斐閣アルマ「商法総則・商行為法」

参考書等

鴻常夫著「商法総則」（弘文堂）
江頭憲治郎著「商取引法（第三版）」（弘文堂）
別冊ジュリスト 商法総則・商行為法判例百選（第4版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
税法 I (前期)	おくむらまさろう 奥村正郎	経B1・2・3・4選	2
		経A2・3・4選	
		商2・3・4選(12以降入学生)	

講義のねらい

本講義は、我々の身近な法律である税法について、その基礎的な理論と計算方法の習得を目的とする。また将来、税理士試験を目指すものにとっても有用な知識が提供できるような内容にしたい。本年度は、税法I(前期)で個人を納税義務者とする相続税を中心に講義、計算演習を行う。相続税は、平成15年度、シャープ勧告以来の大きな改正があり、今後この新しい制度がどのように推移していくのか関心が寄せられている。

講義の内容・
授業スケジュール

- | | |
|---------------|------------------------|
| 1. 相続税の意義 | 8. 贈与税の課税原因と納税義務者、課税財産 |
| 2. 納税義務者 | 9. 生前贈与と相続時精算課税制度 |
| 3. 相続税の課税財産 | 10. 贈与税の課税価格と税額計算 |
| 4. 相続税の課税価格 | 11. 相続税・贈与税の財産評価(1) |
| 5. 相続税額の計算(1) | 12. 相続税・贈与税の財産評価(2) |
| 6. 相続税額の計算(2) | 13. その他 |
| 7. 相続税額の計算(3) | |

履修上の留意点

簿記の知識は必須ではないが、なければ簿記(3級レベル)の講義も履修することを勧める。

成績評価の方法

出席、期末試験により評価する。再試験は実施しない。

教科書

速水昇他著 仮題『政府の役割と租税』(学文社)

参考書等

授業を進める中で適宜紹介する。

その他

計算演習等プリントを随時配布する。電卓を使用することがあるので持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
税法Ⅱ（後期）	おくむらまさろう 奥村正郎	経B1・2・3・4選	2
		経A2・3・4選	
		商2・3・4選(12以降入学生)	

講義のねらい

本講義は、我々の身近な法律である税法について、その基礎的な理論と計算方法の習得を目的とする。また将来、税理士試験を目指すものにとっても有用な知識が提供できるような内容にしたい。本年度の税法Ⅱ（後期）では、個人を納税義務者とする所得税を中心に講義、計算演習を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 所得の概念 | 8. 各種所得金額の計算（4） |
| 2. 納税義務者 | 9. 所得控除及び税額の計算（1） |
| 3. 課税所得の範囲等 | 10. 所得控除及び税額の計算（2） |
| 4. 各種所得の種類 | 11. 所得控除及び税額の計算（3） |
| 5. 各種所得金額の計算（1） | 12. 申告、納付 |
| 6. 各種所得金額の計算（2） | 13. 源泉徴収、その他 |
| 7. 各種所得金額の計算（3） | |

履修上の留意点

簿記の知識がある方がよいが、なければ簿記（3級レベル）の講義も履修することを勧める。

成績評価の方法

出席、期末試験により評価する。再試験は実施しない。

教科書

速水昇他著 仮題『政府の役割と租税』（学文社）

参考書等

授業を進める中で適宜紹介する。

その他

計算演習等プリントを随時配布する。電卓を使用することがあるので毎回持参のこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代経済事情Ⅱ(前期) [日本の中小企業とアジア経済]	たか だ よし あき 高 田 好 章	経B1・2・3・4選	2
		経A2・3・4選	
		商2・3・4選(12以降入学生)	

講義のねらい

日本の経済の国際化は、アジア、特に東アジア地域を中心に、輸出入から技術移転・直接投資さらに海外進出にすすみ、その波は中小企業をも巻き込んでいます。それは、資本のあり方だけでなく、技術のあり方、経営のあり方、労働のあり方、生活のあり方を大きく変貌させてきています。そのような視点から、中小企業とアジアを一緒に考えましょう。

講義の内容・授業スケジュール

以下のテーマを軸に、時事的問題に関連させながら講義いたします。◇日本経済の国際化と海外展開 ◇海外進出と地場産業、産業空洞化 ◇グローバル化と東アジア地域 ◇東南アジアの中小企業の視点から ◇技術移転と経済の自立化 ◇海外展開と労働問題 ◇東アジア広域化と地域の不均等発展 ◇経済の国際化と国際分業 ◇国際的ネットワークと中小企業の経営戦略 ◇日本における競争と共生、アジアとの共存

履修上の留意点

授業中の質問は大歓迎。専門用語、時事用語等、わからない言葉はその場で解決しましょう。複雑な問題は講義後も考えて、次回に質問するか、メールで問い合わせてください。

成績評価の方法

成績評価はレポートによりますので、追試験・再試験は行いません。レポートは受講中に適宜課題を出します。また自発的に提出されたレポート・感想文・質問文等は評価に加味します。

教科書

出来れば、以下を読んでおいてください：鈴木茂・大西広・井内尚樹編『中小企業とアジア』（昭和堂）3,000円。

参考書等

参考文献等は講義の中で、随時紹介いたします。

その他

図や表などの具体的な資料を紹介し、時事問題のビデオも使って講義をすすめます。毎講義にアンケートをお願いし、それらを取り上げながら双方向の授業を念願しています。また、受講生からの講義テーマに関するレポート、感想文、質問文（以上メールでも可）は大いに歓迎します。講義に使用したレジュメ、図・表などの資料はホームページに掲載いたしますので、復習・レポート執筆等の参考にして下さい。

E-mail: ytakada@komazawa.com

ホームページ: <http://homepage1.nifty.com/ytakada/>

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代経済事情Ⅲ(後期) 〔エネルギー資源最前線〕	かね まつ みち ひこ 兼 松 通 彦	経B1・2・3・4選	2
		経A2・3・4選	
		商2・3・4選(12以降入学生)	

講義のねらい

人類はエネルギーを活用することによって、文明を發展させてきた。その結果20世紀末でエネルギー資源の消費は頂点に達し、環境破壊が急激に進んでいる。人類が破滅を回避するためには、エネルギー資源の賢明な利用を地球的規模で実行しなければならない。

講義の内容・
授業スケジュール

9月～12月12回にわたり、エネルギー資源の変遷、今世紀中に化石燃料(石炭、石油)は枯渇する見通し、石油代替燃料(天然ガス、原子力発電)の特質、天然ガスへの期待(利用技術の進展)、省エネルギー政策の推進、エネルギー市場の自由化、エネルギーと地球環境のバランス、温室ガス(気候変動の最大の要因)削減への挑戦、水素エネルギー社会への展望

履修上の留意点

ロシアの参加により京都議定書が2月に批准されると、エネルギー関連情報が、来年は質量ともに激変する。日々の新聞、月刊誌、テレビ報道特集に注目してもらいたい。

成績評価の方法

理解度、関心の度合いを試すために小論文の提出で成績評価したい。

教科書

森島宏著『天然ガス新世紀』(ガスエネルギー新聞)1,800円
傍島眞著『原子力は何が問題か』(ERC出版)1,800円

参考書等

日本科学者会議編『原子力発電』(合同出版)
林健著『燃料電池のすべて』
昇昭三『隠れたる成長産業・都市ガス』(ガスエネルギー新聞)
山口正康著『LNGチェーン物語』(ガスエネルギー新聞)

その他

授業の方法：講義による。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代産業事情Ⅰ(後期)	あべ ひろし 阿部 弘	経B1・2・3・4選	2
		経A2・3・4選	
		商2・3・4選(12以降入学生)	

講義のねらい

テーマ：私の天職さがし——職業 identity の確立を目指して

この講義では、人間としての必須条件として考えられている「労働」を軸にして、自分にとって最もふさわしい職業とは何か、を考えていきます。私たち日本の地域で生活している人々と、アジア・ヨーロッパそしてアメリカ等の地域で生活している人々とは、「労働」そして「職業」について異なったイメージを抱いています。このことについて、皆さんの先輩の方々から、自らの経験を土台にして、どうしてそのようなことができたのか、種々話をしてもらい、皆さん方受講生諸君とともにディスカッションを通じて明らかにしていこうと思います。

日本人は伝統的に自分の殻に籠もってしまう癖があります。昨今の国際化の中で、私たち日本人も今こそ自分のアイデンティティを広く知らしめて世界人になっていく時です。そのような能力を培うにはダイアログ方式を取り入れて講座を進めることが重要になってきます。この講座のもう一つのねらいはこの点にあります。

講義の内容・授業スケジュール

基本的に3～4人の講師がそれぞれ2～3回サブテーマを設定して、2～3課程の講義体系とします。受講生にはこの課程に沿ったレポート作成を通じて講師と交流をし、またダイアログに参加するという形をとって、授業を参加型の講座にしていきます。

最初に、ダイアログ形式で複数の講師からの問題提起を受けて講座は開始されます。次いで講師から、各々、その問題提起に沿った講義をもらい、その後で再び総括を兼ねたディスカッションの後、第2回目の講座が始まり、同様にして第3回、そして最後に総括をするという形です。

成績評価の方法

課題および問題提起の連続性・系統性が要求されますので、出席が重んじられます。そしてレポートが重要な評価基準となります。

なお「定期試験」・「追試験」などはありません。

教科書

原則として用いませんが、広く新聞などは目を通しておいください。

その他

[連絡体制]

連絡をとりやすいようにするため、「講座担当者」の住所などを記載しておきます。

阿部 弘

〒179-0072 練馬区光が丘6-1-4-204

TEL(自宅) : 03-3976-7984 (FAX 兼用)

TEL(職場) : 03-3418-9360 (第2研究棟5F No. 2538研究室)

03-3418-9343 (経済学部事務室)

E-mail : xupabe@nifty.com

科目名	担当者名	配当学科	単 位
会計資格特別演習	すずき かつひろ 鈴木 勝 浩	経B1・2・3・4選	4
		経A2・3・4選	
		商2・3・4選(12以降入学生)	

講義のねらい

本講義は、税理士試験の法人税法について、基礎的な理論及び計算方法を理解した上で、できる限り受験可能なレベルの知識の習得を目指すものである。法人税は、企業会計において算出された決算利益を基礎に、税務上の調整を行って求められた課税所得に対して課せられる。したがって法人税法は企業会計と有機的に結びついており、その理解には企業会計の理論や会計処理を習熟していることが必要とされる。本講義では、企業会計の理論に関連付けながら、法人税法について理解を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず課税所得と法人税の算定に至るまでの流れを、特に別表1及び4を利用して体系的に理解をしていく。その後、課税所得算定に必要な個別調整事項を対象に詳細な解説を行うと共に、具体的な計算問題を通じて理解を深めていく。また税理士試験は計算に加えて理論も出題されるため、計算の根底にある税法上の理論的裏付けを条文に照らし合わせながら確認していく。また法人税法は計算問題のウエートが高いため、計算演習を多く取り入れながらより確実な知識を求めていきたい。授業スケジュールについては、受講生の理解を考慮しながら柔軟に対処していく予定である。

履修上の留意点

本講義を履修するに当たっては、特に株式会社に関する会計理論を理解していることが必要であり、日商簿記2級の商業簿記（工業簿記の知識は不要）程度の知識を有していることが望ましい。積み上げ方式により講義を進めていくので、できるだけ欠席しないこと。

成績評価の方法

出席率と講義中の演習で評価する。

教科書

渡辺淑夫著『法人税法の要点整理〔平成17年受験用〕』（中央経済社）
『法人税法 個別問題集〔平成17年度版〕』（TAC 出版）

参考書等

『法人税法 理論マスター〔平成17年度版〕』（TAC 出版）

その他

法人税法は税理士試験の中でも特にボリュームの多い科目であり、難しいといわれています。しかし法理念と体系さえ把握できれば必ず理解できます。また実務上必ず必要となりますから、資格取得に対して高い目的意識をもって講義に参加してほしいと思います。疑問点については遠慮せずに積極的に質問をして早期に解決してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報資格特別演習Ⅰ	なが い 永 井 勇	経B1・2・3・4選	4
		経A2・3・4選	
		面2・3・4選(12以降入学生)	

講義のねらい

本講座は経済産業省「基本情報技術者試験」受験を希望する学生への対策講座です。同時に、情報処理技術（IT）の基礎的な知識・学力の習得を目的としています。当試験の合格を目指す学生はもとより、現在の社会で必要不可欠なITの基礎を学びたい学生が対象です。

「基本情報技術者」の資格はソフトウェア開発技術者、さらにはシステムアナリストなどの上級の情報関連技術者をめざすための登竜門の資格です。情報関連企業に限らず、金融期間、商社に至るまで、就職活動には非常に有利な資格となります。

講義の内容・授業スケジュール

前期では午前問題基礎対策講座として、主に午前問題のコンピュータサイエンス基礎とハードウェア/ソフトウェア基礎に力を入れて学習します。

後期では午後問題対策講座として、特にアルゴリズムの基礎の習得に力を入れ、その後に午後問題を中心に演習を行います。

ただし平成17年度秋期本試験の受験者を想定し、前期においても適時に午後問題や下記スケジュール範囲外の問題演習を前倒して実施します。

前後期ともに講義に加え、その時点における最新の午前午後問題を中心に演習を実施します。またコンピュータを利用したオンラインテストも適時併用します。

【前期】午前問題基礎対策講座の目安

第1回	ガイダンス	【講義/演習】
第2回	コンピュータ概論	【講義/演習】
第3回	アルゴリズムの表現法	【講義/演習】
第4～5回	コンピュータの基礎理論 その1	【講義/演習】
第6～8回	コンピュータの基礎理論 その2	【講義/演習】
第9～11回	ハードウェアの基礎	【講義/演習】
第12～13回	ソフトウェアの基礎	【講義/演習】

【後期】午後問題対策講座の目安

第1回	午後問題解説	【講義/演習】
第2～3回	基礎的なアルゴリズム	【講義/演習】
第4～6回	代表的なアルゴリズム	【講義/演習】
第7回	データ構造	【講義/演習】
第8～10回	プログラム設計と内部設計	【講義/演習】
第11～12回	総合演習	【演習】

(上記スケジュールは状況により変更することがあります)

履修上の留意点

「基本情報技術者試験」は、午後問題においてCOBOL、C言語、CASL、JAVA等の言語のうち少なくとも1ヶを習得していることが前提です。そのため高等学校等で何らかの言語を経験している学生以外は、「プログラミング論」の単位を修得していることが望ましい。また時間上の制約から、講義内容の一部（データベース、ネットワーク、システム開発）を情報資格特別演習Ⅱ（初級システムアドミニストレータ試験対応）で補うため、同講座を同時履修している事が望ましい。

今後の受験勉強に備え、平成17年度秋期の本試験を受験することが望ましい。特に後期後半はこの秋期本試験を受験したことを前提に講義を進める。

成績評価の方法

定期試験では、基本情報技術者試験の過去の問題から抜粋した模試を実施し、評価します。また講義への出席率も評価の対象となります。

教科書

『コンピュータシステムの基礎』（㈱アイテック）4,000円（予想値段）

参考書等

・基本情報技術者試験の過去の問題を適時に配布

その他

基本情報技術者試験の合格やITに興味のある人が望ましく、またパソコンを使用した講義があるため、履修制限を行なう場合もあります。

情報資格特別演習Ⅱは来期以降に履修することもできますが、内容的に本講座と補っているため（(3)参照）、同時履修することをお勧めします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報資格特別演習Ⅱ	井川俊実	経B1・2・3・4選	4
		経A2・3・4選	
		商2・3・4選(12以降入学生)	

講義のねらい

パソコンの普及により、誰でもがコンピュータを仕事や趣味に利用する時代になっています。「初級システムアドミニストレータ試験」は、コンピュータ（パソコン）を道具として利用し、事務作業の効率化を推進する人のためにできた国家試験であり、この試験に合格することは就職にも有利になります。

本講座は「初級システムアドミニストレータ試験」の合格を目指す人は勿論ですが、「基本情報技術者試験」受験でも必要になる「ネットワーク」、「データベース」、「システム開発」の分野も取り上げますので、その合格を目指す人も履修することが望めます。

講義の内容・授業スケジュール

講義は説明を行い、演習で講義内容の理解を確実にする形で進めていきます。演習は過去の情報処理技術者試験の午前問題、午後問題を取り上げ、本試験に対応できるようにします。表計算とデータベース（SQL）については、パソコン上でExcelとAccessを使った実習も行います。

また、10月上旬及び12月上旬に講義内容の理解度を確認するための小テストを実施します。

【前期】平成17年秋の本試験受験を考慮した講義を行います。

第1回 ガイダンス

第2～4回利用者から見たハードウェア/ソフトウェア
コンピュータシステムの仕組み、OSの機能など

第5～7回問題発見・解決技法

データの収集・整理、DFD、ER図、デシジョンテーブル

第8～12回データベース

DBMS、関係データベース、データの正規化、
SQL（Accessを使用した演習による確認も含む）

第13回 システム開発のプロセス

【後期】平成18年春の本試験受験を考慮した講義を行います。

第1～2回システム開発手法とテスト手法

第3～7回ネットワークとセキュリティ

ネットワーク概要、LAN、インターネット、セキュリティ

第8～10回表計算

本試験に頻出する重点項目（Excelによる演習を含む）

第11～12回午後試験問題対策（表計算、データベースなど）

（上記スケジュールは状況により変更することがあります）

履修上の留意点

本講座は主に「初級システムアドミニストレータ試験」を受験する人向けの講座であるので、ハードウェアやソフトウェアについてはコンピュータの利用者側の視点で講義を行います。コンピュータの基礎理論をじっくり学習するには、情報資格特別演習Ⅰの同時履修が望まれません。

成績評価の方法

主に初級システムアドミニストレータ試験の過去問題を使用したテスト及び講義への出席率によって評価します。

教科書

『完全合格初級シアド対策テキスト&問題集2005年版』（アスキー）1,580円（予想価格）

参考書等

『徹底解説初級シアド本試験問題』（アイテック）

『コンピュータシステムの基礎』（アイテック）

テキストを補足する資料を適時配布します。

その他

初級システムアドミニストレータ試験の合格を目指す人は勿論ですが、パソコンを利用する上でもっと知識を深めたいと望んでいる人にもお勧めできる講座です。
なお、本講座は応募人数によっては履修制限を行う場合があります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教員試験特別演習	や 谷 敷 正 光	経B1・2・3・4選	4
		経A2・3・4選	
		商2・3・4選(2以降入学生)	

講義のねらい

この講義は、教員採用試験を目指して努力している人に、教師としての資質・力量の形成と教員試験に必要な基礎学力を育成することを主眼としている。

近年、教員採用試験はより優れた、魅力ある教師を求めて選考試験も多様化・高度化し、筆記試験のみならず、面接、論作文、実技試験その他全般にわたって、さまざまな工夫がなされている。

そこで、本講は「今なぜ教師を目指すのか」「どんな教師になりたいのか」「どんな教育をしたいのか」といった教師をめざすのに不可欠な教育理念の形成をはじめとして、教職教養、一般教養、専門教養の学習方法、面接・論作文演習などの試験対策、模擬授業実践、先輩教師との交流、学校見学、ボランティア活動などさまざまな活動を通して将来の教師としての資質・力量の涵養につとめたい。模擬授業実践、ボランティア活動など実践経験を要するものはサブゼミでも行います。教職を目指す人ならば学部、学科を問わないので、いっしょに勉強し、教員志望者の夢を叶えたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

1. 教育の意義
2. 教師の資質と能力
3. 教員試験の心構えと学習計画
4. 西洋教育史の要点整理と問題演習
5. 日本教育史の要点整理と問題演習
6. 教育法規の要点整理と問題演習
7. 教育心理の要点整理と問題演習
8. 教育原理の要点整理と問題演習
9. 同和教育の要点整理と問題演習
10. 道徳教育の要点整理と問題演習
11. 学習指導要領の要点整理と問題演習
12. 一般教養の取り組み法
13. 専門教養の取り組み法
14. 集団討論の実際 (演習)
15. 個人面接の実際 (演習)
16. 集団面接の実際 (演習)
17. 教育論作文演習
18. 模擬授業実践
19. 総合問題演習
20. 学校見学
21. ボランティア活動実践

履修上の留意点

講義問題演習、討論などさまざまな活動を行うので、出席を重視する。

成績評価の方法

授業中実施する小テスト、討論の内容、小論文などを参考にすが、基本的には真剣さ、真面目さ＝出席状況なども加味して総合的に評価するので、追・再試験は実施しない。

教科書

必要に応じて講義教材としてプリントを配布するので、教科書は使用しない。

参考書等

- (1) 『教育小六法』(学陽書房、三省堂など)
- (2) 小学校、中学校、高等学校の学習指導要領

科目名	担当者名	配当学科	単 位
マーケティング	江 ^え 上 ^{がみ} 哲 ^{さとし}	経B2・3・4選	4

講義のねらい

前期ではマーケティングの基礎というべき4Pを中心に講義します。後期においては、①マーケティング管理 ②マーケティングと経営組織 ③マーケティングとブランドを講義します。本講義の目的は、マーケティングの諸活動を通じて社会を見る眼を培うことです。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- 第1回目 寡占経済とマーケティングの生成
- 第2回目 マーケティング論研究の発展
- 第3回目 フォーダイズムとマネーヅリアルマーケティング
- 第4回目 製品戦略—製品差別化論
- 第5回目 製品戦略—市場細分化論
- 第6回目 価格戦略—非価格競争論
- 第7回目 価格戦略—管理価格論
- 第8回目 流通経路戦略—商業排除論
- 第9回目 流通経路戦略—流通系列化論
- 第10回目 販売促進戦略—広告と情報
- 第11回目 販売促進戦略—人的販売と営業
- 第12回目 前期まとめ

後期

- 第1回目 市場創造とマーケティング
- 第2回目 マーケティング組織論
- 第3回目 マーケティング活動と経営組織
- 第4回目 製品ポートフォリオ論
- 第5回目 消費者行動論
- 第6回目 ブランドマーケティング①
- 第7回目 ブランドマーケティング②
- 第8回目 日本型消費者のマーケティング
- 第9回目 ウェブマーケティング①
- 第10回目 ウェブマーケティング②
- 第11回目 マーケティングと消費者問題
- 第12回目 後期まとめ

成績評価の方法

レポートを前期と後期に1回課します。基本的には定期試験を評価の対象の主たるものとします。

教科書

講義がはじまって指定します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 史	こ 幸 の 野 やす 保 の り 典	経B・経A2・3・4選 商2・3・4選(12以降入学生)	4

講義のねらい

広い意味での商業とは、商品（あるいはサービス）を円滑に生産者から消費者（あるいはサービスの受益者）に社会移転させる行為を指す。生産者から消費者へ商品が移転する過程、すなわち、商品取引過程で介在する倉庫業・運輸業や金融業・保険業も広義の商業の中に含まれる。

本講義では、いわゆる狭義の商業とされる問屋・卸と小売業を中心として、これらの歴史的展開を幕末維新期から戦前期（1859年～1945年）までを四期に区切り検討する。そして当該期に、社会経済構造の変容と係わせながら問屋・卸と小売業が、商業機構の内部で役割をどのように変化したか、また新たな商業形態をいかに出現させたかを考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1期 外圧への権力・商人的対応。1. 自由貿易の開始から産業革命へ。2. 外圧の下で拡大する国内市場。3. 問屋＝卸商主導の商業機構の再編。
- 第2期 日清・日露戦争より第一次大戦期。4. 産業革命の進行と生活・社会に現出する諸変化。5. 商業関連政策・制度の整備。6. 交通・通信網の発達と商業の再編。7. 第一次大戦期の商業と消費。
- 第3期 戦間期の商業と消費―不況・恐慌から景気回復へ―。8. 戦間期の商業政策。9. 市民生活の洋風化と消費構造の変化。10. 関東大震災以後の商業の展開。11. 商業使用人問題。
- 第4期 戦時下の商業。12. 日中戦争の開始と商業。13. 統制経済の進展と転廃業。

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

前期にレポート、後期に筆記試験を行う。

教 科 書

授業の中で指示する。

参 考 書 等

石井寛治『日本流通史』有斐閣、2003年。鈴木安昭『昭和初期の小売商問題』日本経済新聞社、1980年。

そ の 他

授業の方法－講義形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営管理論	ひやく た よし はる 百田 義 治	経B2・3・4選	4

講義のねらい

21世紀を迎えて、企業経営は大きく変貌しています。IT革命やグローバル化の進展を底流に、20世紀型の規模の経済性を追求したビッグ・ビジネスだけが競争優位を確立できた時代から、コア・コンピタンスを武器に競争優位を発揮するネットワーク型経営が現実化し、産業構造、経営組織、労働組織のあり方を大きく変容させています。グローバルな市場統合はメガ・コンペティション（大競争）を現出し、日本の経営の根本的変革を生みだしています。頻繁かつ大規模な企業再編（合併・提携）、持株会社化、猛烈なリストラ、能力主義・成果主義の台頭・普及など企業経営の変貌が日々マスメディアで報じられています。本講義では、このような激動の中にある企業の経営管理の問題について、その現状と今後の課題について講義します。

講義の内容・授業スケジュール

- ①現代企業と経営管理（経営管理とは何か）
- ②大量生産体制と経営管理（テイラー・システム、フォード・システム、トヨタ・システム）
- ③経営管理と人間性（人間関係論、行動科学、労働の人間化、モチベーション論）
- ④経営組織の基本問題（官僚制、民主制、など）
- ⑤IT革命とネットワーク型組織
- ⑥グローバル化と企業経営の課題
- ⑦市民社会の成熟と企業の社会性

履修上の留意点

新聞を毎日読んで授業に参加してください。
「ビジネス事例研究」と併せて履修することを勧めます。

成績評価の方法

夏季レポートと学年末試験で評価します。
再試験はありません。

教科書

稲村毅・百田義治編著『経営組織の論理と変革』（ミネルヴァ書房）2005年
小林俊治・百田義治編『社会から信頼される企業』（中央経済社）2004年

参考書等

百田義治編著『経営学基礎』（中央経済社）2005年

科目名	担当者名	配当学科	単位
労務管理論	ほり 堀 龍 二	経B2・3・4選	4

講義のねらい

最近急激な変化をみせているわが国の労務管理の基本的動向と特徴を把握することをねらいとしている。高度経済成長期に形成されたいわゆる「日本的経営」ないし「日本的労務管理」は年功賃金、終身雇用、企業別組合を柱としていた。1970年代以降、大企業は基本的にはこうした労務管理慣行ないし制度の利点と有効性を認識しながらも、他方で「画一的年功制からの脱皮」を目指して「能力主義管理」を推進して、その再編・強化を図った。こうして「日本的労務管理」は今まで「良好なパフォーマンス」を示してきた。ところが、近年における日本経済の低迷のなかで、中高年層を中心に正規従業員の大量リストラが断行されるとともに、雇用形態の多様化、年俸制の導入などにみられる賃金・処遇の成果主義化、職能資格制度の再編、採用方法の柔軟化、退職金・年金制度の改編等々、雇用と賃金・処遇に関する基本的な制度・慣行にかつてない変化が進行してきている。これらの変化は従来の「日本的労務管理」からの脱却であり、そこにみえるのは人事労務への市場原理の導入、内容的にはその流動化、個別化、成果主義化という傾向である。こうした傾向・特徴の内実を明らかにし、その背景にあるものと今後の展望を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

大略すれば、まず「日本的労務管理」の形成過程とその構造や機能についてまとめる。ついで能力主義管理に関して同様のまとめを行う。とくに、職務給、職能給・職能資格制度、人事考課といった賃金・処遇制度に焦点を当てる。これら日本的労務管理と能力主義管理の整理を踏まえて、現在進行中の労務管理の「地殻変動」の現状と特徴を把握するという段取りを考えている。なお、初回講義において具体的なガイダンスを行う予定であるが、およその予定は以下のとおりである。

- I. 労務管理論の体系と歴史
 1. 労務管理の目的、機能、対象
 2. 労務管理論の歴史
- II. 戦後日本の労務管理
 1. 電産型賃金体系
 2. 戦後初期の労使関係と労務管理
- III. 高度経済成長期の労務管理
 1. 日本的労務管理の形成と展開
 2. 労使関係の転換
 3. 能力主義管理と年功制
- IV. 現代の動向
 1. 雇用の流動化と雇用形態の多様化
 2. 非正規雇用の拡大と均等処遇
 3. 採用・配置慣行と人事制度
 4. 職能資格制度と人事考課
 5. 賃金制度とその成果主義化
 6. 諸手当、賞与、退職金と企業年金
 7. 労働時間の現状と弾力化
 8. チーム作業方式の特徴
 9. 能力開発と教育訓練とキャリア形成
 10. 「新・日本的経営」と労使関係

成績評価の方法

原則としてレポートと定期試験で評価する。再試験は実施しない。

教科書

黒田兼一ほか著『現代の人事労務管理』（八千代出版）2001年

参考書等

講義中に適宜紹介する。

その他

言うまでもないが、他の受講生の迷惑となる私語などの行為は厳に慎むこと。注意してやめない場合は、以後の受講を認めない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
財務管理	しらさか 白坂 とおる	経B・経A2・3・4選 商2・3・4選(12以降入学生)	4

講義のねらい

財務管理は企業の資本についての諸問題を研究対象とする学問です。しかも、企業側からすれば、この財務管理はその企業の形態や業種、規模によっても変化します。したがって、学問領域も広く、商法および税法、証券取引法、独占禁止法といった法制度とも密接に関連しています。またその奥も深いものとなっています。

このような状況のもと、財務管理は利益管理（費用管理と収益管理）と資本管理（調達管理と運用管理）の両側面において発生する問題の背景や、要因を解明すべく、企業を取り巻く金融・証券市場の構造解明と役割の認識を深めることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

そのため、本講義においては次にしめす項目を2・3回に分けて検討します。

1. 財務管理論の枠組み
2. 会社制度
3. 財務管理の役割
4. 資金調達の実態－株式資本－
5. 資金調達の実態－借入れ資本－
6. 資金調達の実態－社債資本－
7. 資金調達の実態－自己金融－
8. 配当政策
9. コーポレート・ガバナンス

履修上の留意点

履修するにあたり、学生諸君に望むことはただ一つ、積極的な授業参加です。

成績評価の方法

成績評価は出席、小テスト、レポート等により総合的に評価します。再試験を実施します。

教科書

教科書・参考書は開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営学史	こさか たか ひで 小坂 隆 秀	経B・経A2・3・4選 商2・3・4選(12以降入学生)	4

講義のねらい

アメリカ経営管理論の歴史的な展開を中心として、経営学の発展史を跡付けていくことが、この講義の目的です。経営管理の理論は、企業の成長とともに変化し、発展してきた。すなわち、企業はその管理に必要な理論を生み出すことで成長し、その成長によって従来の理論は古いものとなり、新しい理論を必要とするようになる。そして、新しい理論がさらに企業の成長を可能にしていく。このようにして、経営学の発展史が形成されてくる。

前期では、アメリカ企業の革新者を中心にして経営学の発展史を跡付けていく。後期では、企業活動の思想家を中心にしてそれらの理論の発展を跡付けていくことにする。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 発明の天才、製造の革新者、販売の革新者、運輸の革新者、通信の革新者、金融の革新者
(後期) エフィシエンシーの思想家、オーガニゼーションの思想家、モチベーションの思想家、リーダーシップの思想家、クオリティの思想家、マネジメントの思想家

履修上の留意点

これまでに習った経営学や管理の理論を復習するとともに、これから習うさまざまな管理の理論の基礎としてしっかり身につけることで、経営学の体系が理解できるようになります。

成績評価の方法

学年末試験80%、夏休みのレポート20%、この他に授業中に行う4回の小テストによって点数の上乗せ措置を設けている。

教科書

教科書は特に指定しない。

参考書等

参考図書は授業の中でそのつど指示するが、とりあえず
D. レン/R.G. グリーンウッド『現代ビジネスの革新者』（ミネルヴァ書房）と
J. シェレドレイク『経営管理論の時代』（文真堂）を挙げて置く。

科目名	担当者名	配当学科	単位
管理会計論	いし ^{かわ} 川 ^{ゆう} 祐 ^じ 二	経B・経A2・3・4選 商2・3・4選(12以降入学生)	4

講義のねらい

企業がそれを取り巻く社会の中で円滑に活動するためには、自社の状況を把握し、それに基づいて適切な管理をしていかなければならない。とりわけ、グローバル化が進展し、変化が激しい現代の社会環境に適切に対応するためには、よりの確な企業管理を行う必要性に迫られる。このとき、様々な情報の中でも、会計情報を利用することが一つの重要な鍵となる。というのも、企業は会計的な利益を獲得することを目的として活動しており、そのような目的と直接的に結びつく情報だからである。企業管理のために会計情報を利用するうえでは、その基本的な意味や、その背後にある基礎的論理を身につける必要がある。そこで、本講義においては、管理会計上の基礎的知識・基礎的論理の修得に主眼がおかれる。そして、それと同時に、その会計情報が社会的諸関係の中で果たす役割や意味を考える機会の提供を目指すものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、まず、管理会計をとらえる上での基本的な視点を明らかにする。つぎに、原価概念や利益概念といった基礎的な概念を取り上げる。そのうえで、伝統的に利用されてきた管理会計上の手法を取り上げる。後期においては、近年、管理会計上の中心的話題となっている手法を取り上げ、その社会的な意味を考えることにする。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、「簿記論」および「会計学総論」を履修済みであることが望ましい。また、電卓を利用するので、持参すること。

成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。再試験は実施しない。

教科書

プリントを配布する。一年間の講義をつうじて蓄積されたプリントが、学生個人々の成果を反映したテキストとなる。

参考書等

講義において適宜指示する。

その他

講義においては問題練習を行い、知識の定着を目指す。

科目名	担当者名	配当学科	単位
原価計算論	すずき かつひろ 鈴木 勝浩	経B・経A 2・3・4選 商2・3・4選(12以降入学生)	4

講義のねらい

原価計算は「目的」に対する「手段」の体系にはかならないから、原価計算はその目的との関連において理解されなければならない。多くの企業において、原価計算システムは経営情報システムのコアを形成し、経営管理に関連するさまざまな情報ニーズに応えることができるように、システムの構築が考えられるべきである。原価計算システムに対する情報ニーズは、経営環境や経営戦略の変化に応じて絶えず変化する。特にFA化が進んだ今日では、伝統的な原価計算の中にはその有用性が失いつつあるものもある。そこで本講義では、伝統的な原価計算を解説しその問題点を把握した後、原価計算の新しい潮流について話を進めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本講義の内容とスケジュールは概ね以下の通りである。

- I 原価計算の歴史
- II 原価計算総論
- III 財務諸表作成のための原価計算
- IV 経営管理のための原価計算
- V 原価計算の新しい潮流

履修上の留意点

教科書にある計算事例を使いながら講義を進めていくので、当然のことではあるが、教科書は必ず購入すること。

成績評価の方法

出席率及び定期試験の総合評価で行う。再試験は実施する。

教科書

山田庫平編著『原価計算の基礎知識』（東京経済情報出版）

参考書等

参考文献については必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営分析	わたなべ さとし 渡 遺 智	経B・経A 2・3・4選 商2・3・4選(12以降入学生)	4

講義のねらい

企業は財務諸表を開示することによって、財政状態や経営成績などの会計情報を広く一般に伝えています。しかし、財務諸表の見方を知らなければ、そのような情報を正確に把握することはできません。経営分析とは、分析対象となる企業の財務諸表や必要な資料を収集し、それらを正確に分析し、当該企業がどのような状態にあるのか判断するものです。この講義では、経営分析に関する基本的な知識を身に付け、自ら簡単な分析を行うことができるようにすることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) ガイダンス (2・3) 財務諸表 (4～6) 収益性 (7～9) 効率性
(10～12) 安全性 (13) まとめ
(後期) (14～16) 損益分岐点 (17～19) 生産性 (20～22) 成長性
(23～25) 分析の実施 (26) まとめ

履修上の留意点

日頃から企業に関心を持つと良いでしょう。また、財務諸表や資料を収集する労力を惜しまないことも必要だと思います。

成績評価の方法

出席状況、学習意欲、レポートの内容および試験の結果などから総合的に判断して評価します。再試験は実施しません。

教科書

必要な資料があれば配布します。教科書は開講時に指示します。

参考書等

参考書等は開講時に紹介します。

その他

授業の方法は講義形式です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級簿記	福島隆 <small>ふくしま たかし</small>	経B2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は、簿記論での学習内容を基礎にして、株式会社における簿記を学習します。具体的には、株式会社で必要な簿記技法について説明します。株式会社の取引は、その種類および内容とも複雑化しています。そのような複雑化した取引について、理論と技法の両方を理解し、習得することが本講義の目的です。そのため授業中は、講義と問題演習を行います。レベルとしては、日商簿記2級の商業簿記を想定していますが、1級の導入部分についても簡単に解説する予定です。なお、工業簿記の講義は行いません。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、テキストに沿って、次のようなスケジュールを予定しています。
(前期)

(1) ガイダンス (2) 現金預金 (3・4) 有価証券 (5) 債権債務 (6・7) 手形 (8) 引当金 (9・10) 商品売買 (11~13) 特殊商品売買取引

(後期)

(14) 固定資産 (15~18) 株式会社会計 (19) 税金 (20・21) 決算 (22・23) 本支店会計 (24) 帳簿組織 (25) 伝票会計 (26) その他の論点

2004年度は1級の導入として、連結会計(2回)および税効果会計(1回)の導入部分を説明しました。2005年度は11月の日商簿記2級の試験までに、2級の範囲を終わらせたいと考えています。

履修上の留意点

簿記は積み重ねが重要であるので、毎回出席して、復習に時間を当てることを希望します。受講生は毎回電卓を持参して下さい。なお、受講生は簿記論またはこれに相当する科目を履修したという前提のもとに(つまり、日商簿記3級程度の知識があることを前提として)、講義を行います。講義では3級の復習は必要最低限しか行いませんので、各自復習しておいてください。遅刻は原則欠席扱いとするのでこの点注意すること(特別な理由がある場合を除く)

成績評価の方法

評価は、平常点(出席・課題)(20%)、中間テスト(30%)、定期試験(50%)を目安に総合的に評価します。なお、自主レポートを提出した場合には、最高で30点の評価を与えます。

教科書

『新検定簿記講義2級商業簿記』(中央経済社) 680円
『新検定簿記ワークブック2級商業簿記』(中央経済社) 680円
ワークブックは自宅学習用です。この他に必要に応じてプリントを随時配布します。

その他

授業の詳細については、1回目のガイダンスで説明しますので、履修を考えている学生は出席してください。
再試験は行いません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
貿易論	ふるさわ こうぞう 古沢 紘造	経B・経A 2・3・4選 商2・3・4選(12以降入学生)	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされる場所まできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

I. 生産・消費と貿易

1. 農産物と貿易
2. 水産物と貿易
3. 林産物と貿易
4. 鉱物資源と貿易
5. 工業製品と貿易

II. 政治・経済・社会と貿易

1. 開発援助と貿易
2. 環境と貿易
3. WTOと貿易
4. グローバリゼーションと貿易
5. 持続可能な発展と貿易

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り 授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

再試験を実施しない。

教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ビジネス事例研究	ひやく た よし はる 百 田 義 治	経B2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は、「トップ・マネジメント講座」として昨年度より新設されました。大企業、中小企業、ベンチャー・ビジネスの経営者に、それぞれの企業について、経営について、また人生について、幅広く語ってもらいます。また、個人で活躍する自立した職業人やNPO・非営利組織で活躍されている人達も講師として迎え、その経験や自立に必要なことなどを語ってもらいます。駒大出身の人達もできるだけ多く迎えます。そうした人達の話から、社会人として成長するために必要な貴重なアドバイスや体験や経営知識を学び取ることができるでしょう。また、いろいろな科目の学習に有益な事例が提供されます。ビジネスの世界で活躍する人達の実践的講義から「生きた知識」を学ぶことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

隔週ごとに講師を迎えて体験的講義を受けます。金融、流通、商社、メーカー、外食、ベンチャー、建設などさまざまな産業の経営者や、職業会計人（公認会計士）、経済ジャーナリスト、アナウンサーなど自立した職業人を予定しています。講師の詳細は日程などが決定次第以下のホームページでお知らせします。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~hyakuta/>

履修上の留意点

講師の企業や職業について隔週ごとに予備的講義は行いますが、学生諸君もインターネットや新聞・雑誌など活用し、積極的に予備知識を獲得して参加してください。

成績評価の方法

各講師の話についてレポートを提出してもらいます。それらのレポート評価と学年末の授業全体に関するレポートで総合的に評価します。

教科書

必要に応じてレジュメやパンフレットなどを配布します。

参考書等

随時、紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ビジネス英会話Ⅰ(前期) ビジネス英会話Ⅱ(後期)	清水 絹代 しみず きぬよ	経B2・3・4選	2

講義のねらい

本講義では、ビジネスの現場で現在持っている英語運用能力を最大限発揮できるようになることを目標とします。目標を達成するために、履修者が発話している様子をビデオ・カメラで撮影し、それを見て分析する時間を作ります。同時に、シミュレーション・ゲームやスピーチ・コンテストを行ないます。

講義の内容・
授業スケジュール

講義1回目……………イントロダクション
 講義2回目……………個人目標の設定
 講義3～5回目……………ビジネス会話練習&スピーチ・コンテスト
 講義6回目……………シミュレーション・ゲーム
 講義7～9回目……………ビジネス会話練習&スピーチ・コンテスト
 講義10回目……………シミュレーション・ゲーム
 講義11～13回目……………ビジネス会話練習&スピーチ・コンテスト
 (前期、後期共同様のスケジュールで行ないます)

履修上の留意点

上記講義内容にあわせて、様々な課題が出されます。最終回のスピーチ・コンテストでは、全員、スーツで参加します。遅刻厳禁。携帯電話、PHSの電源は切ること(マナーモードは禁止)。履修希望者は初回講義に必ず出席して下さい。

成績評価の方法

出欠席、参加態度、課題レポート等の提出物、スピーチ・コンテストの内容などを総合的に評価します。欠席は各学期、原則2回まで。体調その他特別な理由で2回以上欠席する可能性がある人は初回講義で必ず申し出て下さい。

教科書

初回講義で案内します。

参考書等

初回講義で案内します。

その他

他者との関わりから学ぶことを重視しています。そのため、他の履修者と話したり、互いに評価する時間を作ります。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
インターンシップ	阿部 弘 あべ ひろし	経B3選 (15入学生のみ)	2

講義のねらい

インターンシップとは、学生が、在学中に、企業や各種団体などで<就業(現場)体験>をすることです。インターンシップによって、実社会=現場の実態を知り、自らの専攻分野や関心分野についての具体的な知識を豊富にし、適性を的確に判断しながら、職業の選択や人生設計における主体性と問題解決能力の強化を図ろうとするものです。大学での普通の学習方式とは異なる<体験学習>で得たものはきっと一つの貴重な生きた知識になるはずです。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・～4月——演習(Ⅱ)担当教員・受け入れ先・本人の3者の間で実施についての基本的な留意
- ・4月——履修登録
- ・7月——事前研修
- ・8～9月上旬——就業(現場)体験(2週間程度)
- ・9月——事後研修(レポート作成など)

履修上の留意点

- (1) インターンシップでは、「3者」の間の確実な信頼関係の構築が大前提になります。したがって、受け入れ予定先の判断などで実施できなくなる場合もあります。
- (2) スケジュールのうちとくに就業(現場)体験は、受け入れ先の都合で時期・期間が当初の予定と変わることがあります。

成績評価の方法

受け入れ先からの報告と事後研修で提出するレポートなどで評価します。

教科書

事前研修・事後研修に必要な資料などを配付します。
 また、受け入れ先から必要な資料・文献などが配付されることもあります。

科専門
教育

科目名	担当者名	配当学科	単位
インターンシップ	徳永俊明	経B3選 (15入学生のみ)	2

講義のねらい インターンシップとは、学生が、在学中に、企業や各種団体などで〈就業（現場）体験〉をすることです。インターンシップによって、実社会＝現場の実態を知り、自らの専攻分野や関心分野についての具体的な知識を豊富にし、適性を的確に判断しながら、職業の選択や人生設計における主体性と問題解決能力の強化を図ろうとするものです。大学での普段の学習方式とは異なる〈体験学習〉で得たものはきっと一つの貴重な生きた知識になるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

- ・～4月——演習（II）担当教員・受け入れ先・本人の3者の間で実施についての基本的な合意
- ・4月——履修登録
- ・7月——事前研修
- ・8～9月上旬——就業（現場）体験（2週間程度）
- ・9月——事後研修（レポート作成など）

履修上の留意点

- （1） インターンシップでは、「3者」の間の確実な信頼関係の構築が大前提になります。したがって、受け入れ予定先の判断などで実施できなくなる場合もあります。
- （2） スケジュールのうちとくに就業（現場）体験は、受け入れ先の都合で時期・期間が当初の予定と変わることがあります。

成績評価の方法 受け入れ先からの報告と事後研修で提出するレポートなどで評価します。

教科書 事前研修・事後研修に必要な資料などを配付します。
また、受け入れ先から必要な資料・文献などが配付されることもあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
インターンシップ	友松憲彦	経B3選 (15入学生のみ)	2

講義のねらい インターンシップとは、学生が在学中に企業や各種団体で就業体験し、単位認定をする科目です。これによって実社会（現場）の実情を知り、自分の専攻分野や関心領域についての知識を豊富にしながら、大学で学んだ理論や知識を活かした実践的な能力を身につけます。それは将来の職業選択や人生設計、あるいは問題解決能力を高めることにもつながります。

講義の内容・授業スケジュール 企業や各種の団体や組織で2週間程度の就業体験をします。

成績評価の方法 受け入れ先からの報告、事後研修で提出するレポート等で評価します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
インターンシップ	しみず たかし 清水 卓	経B3選 (15入学生のみ)	2

講義のねらい

社会や産業の各分野の専門化が進み、他の人がどんな仕事をしているのか分かりづらくなってきています。さらに、テレビや情報機器の発達で断片的知識や印象は持てても、実感が伴わず、将来の進路について具体的なイメージを描くことが難しい時代となっています。インターンシップは現実の職場を体験することで、自分の適性を発見し、職業や社会について再認識し、将来像を描くことができるような契機となることを目的として行われます。

講義の内容・
授業スケジュール

4月までにインターンシップの希望と受け入れ先の調整を進めます。
4月に履修登録。
7月に事前研修。
8月から9月上旬にかけて就業体験（2週間程度）
9月事後研修（レポート作成）など

履修上の留意点

受け入れ先や研修の日程など調整作業が必要です。それ自体、研修の一部と考えてください。

成績評価の方法

受け入れ先からの報告と、事後研修レポートで評価します。

教科書

必要な資料などは随時配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	いわした ひろし 岩 下 弘	経B2選	4

講義のねらい

ゼミでは流通政策を中心に流通分野（流通論、マーケティング、中小企業論等）についての研究を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

具体的な内容は開講時に相談して決める。

履修上の留意点

第1回目のゼミ時に名簿、資料等を作成するので必ず出席すること。なお、第1回目に欠席の者は原則としてその後のゼミへの参加を認めない。基本的に無断欠席は認めない。

成績評価の方法

演習の成績評価は出席状況、ゼミへの貢献度、研究状況等を合わせて総合的に行うが、課題研究の成績評価は提出された論文の内容に限定して行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	お お ぶ き か つ お 大 吹 勝 男	経 B 2 選	4

講義のねらい

情報化と現代企業の物流。現在、製造業、商社、卸売業から小売業まで、物流の合理化が叫ばれている。そして「世間」はIT革命とやりにウカレ、ノボせているが、その革命によって、企業間の電子商取引・eコマースだけではなく、消費者と企業間でもeコマースがひろがり、インターネット上での買物が日常化し、消費者のライフスタイルが一変し、また産業活動や産業構造が変化するという。そうなると、従来の商業や物流そしてそこで働く人々にどのような影響を及ぼすのかを研究しなければならない。そこで現代企業の経営戦略において重要性を増している『物流』と『情報経済化』を中心テーマとしながらこれに関連して卸売業、百貨店、スーパー、デスカウント・ストア、一般小売商、総合商社等々の今後の動向についても学習する。卒業時には、学問をした人間として、いかなる困難な問題にあってもきちっと解決することのできる科学的な思考能力を身につけた人間になっていることを期待します。また、次の詩に共感できる学生を歓迎します。

私が両手をひろげても／お空はちっとも飛べないが／飛べる小鳥は私のやうに／地面を速く走れない。

私がかからだをゆすっても／きれいな音はでないけど／あの鳴る鈴は私のやうに／たくさんな唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、／みんなちがって、みんないい。(金子みすゞ作)

講義の内容・授業スケジュール

現代企業の物流管理、マーケティング戦略における物流、ロジスティクス・マネジメント、そしてサプライチェーン・マネジメントと物流、等々うんざりするほどカタカナの用語がでてきましたが、諸君は、どれだけ知っていますか？

ゼミの仲間と一緒に勉強し、考えていきましょう、そして卒業時には、単なる知識の習得だけでなく、それを生かすことのできる科学的な思考能力を身につけた人間になっていることを期待します。また、つぎの詩に共感できる学生を歓迎します。

私が両手をひろげても／お空はちっとも飛べないが／飛べる小鳥は私のやうに／地面を速く走れない。

私がかからだをゆすっても／きれいな音はでないけど／あの鳴る鈴は私のやうに／たくさんな唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私／みんなちがって、みんないい。

(金子みすゞ作)

成績評価の方法

平常点によるが、ときには感想文の提出がある。あとは諸君の勉強次第です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	ひやく た よし ける 百 田 義 治	経B 2選	4
演習 II		経B 3選	
演習		経B 3選	

講義のねらい

現代日本の企業が直面するビジネス・マネジメント（経営管理）に関わるテーマを中心に、グローバル化・情報化（IT革命）の進展など経営環境が激変するなかで21世紀を迎え大きく変貌する日本企業とその経営の実態をリアルに学び、将来を展望します。

講義の内容・授業スケジュール

次のようなテーマに取り組みます。

- (1) メガ・コンペティション、グローバル・スタンダードが叫ばれるなかで、日本企業の経営行動はどのように変化しているのか？
- (2) 企業不祥事がなぜ多発するのか？ その防止（コーポレート・ガバナンス）には何が必要なのか？ 株主至上主義経営の破綻は何を意味するのか？ 企業の社会的責任とは何か？
- (3) いま、なぜ、能力主義・成果主義なのか？ 終身雇用・年功制はなぜ修正されなければならないのか？ 日本の経営の何を残し、何を変革すべきか？
- (4) なぜ、企業は海外進出するのか？ 経営が国際化するなかで異文化との共生には何が必要なのか？
- (5) 企業は環境問題にどのように取り組んでいるのか？
- (6) 21世紀型ビジネス・モデルの特徴とは何か？ ネットワーク経営とは何か？ などなど

履修上の留意点

経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。

成績評価の方法

出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。

教科書

未定

参考書等

未定

その他

「課題研究」を行います。「ビジネス・マネジメント」専修課程の認定を行います。専修課程認定のための系統的学習に必要な科目は、経営学総論、経営学史、経営管理論、労務管理論、経営戦略論、財務管理論、演習などです。

企業経営に関心を抱き、学習意欲が旺盛で、演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを継続して履修できる学生の参加を希望します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	あ べ ひろし 阿 部 弘	経B 2選	4
演習 II		経B 3選	
演習 III		経B 4選	

講義のねらい

ゼミナール参加者の現在社会生活上の問題意識を明確なものにしていく。

講義の内容・授業スケジュール

- * ゼミナール参加者のゼミ論の作成・報告を主体にする
- * ゼミ論発表会を11月末から12月にかけて行う。
- * 春と夏の2回の合宿を行う。
- * 2月上旬にゼミ論集の作成を行う。

履修上の留意点

出席・ゼミ論報告は必須である。

成績評価の方法

出席・ゼミ論報告などで総合的に評価する。

その他

課題研究有り

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	あり い ゆき お 有 井 行 夫	経 B 2 選	4
演 習 II		経 B 3 選	
演 習 III		経 B 4 選	

講義のねらい

現代社会は、企業中心社会です。受験競争や消費競争、夫 or 妻の争奪競争からマイホーム獲得競争にいたるまで、競争社会の中心に実は企業への就職競争が位置しています。企業の内部もサラリーマンの出世競争・生き残り競争です。そして、最後に生き残って経営者に成り上がったサラリーマンにしても、企業自身の業績責任に不断に脅迫されて過労死寸前です。企業自身が、好況のときも不況のときも生き残り競争のただ中にあるのです。企業は、利潤のための利潤、生産のための生産をどこまでも続けていかなければなりません。経済のグローバルゼーションは、企業のこの傾向をさらに純化し強めるものにほかなりません。サラリーマンからも、経営者からも、株主からも独立して、自己拡大の衝動に駆りたてられて走り続ける企業。国民の豊かさには無縁の「利潤のための利潤」。地球環境や資源の制約にも無関心の「生産のための生産」。——これが現代社会の最大の謎であり、21世紀前半に解決しなければならない現代社会最大の課題のありかです。

諸君の人生のかなりの部分で関わらざるをえない企業中心社会の課題に、思い切って真正面からぶつかってみましょう。

成績評価の方法

平常点（出席、レポート、発言）。

教 科 書

テキストは特に使わず、日々の新聞に報じられる「日本型企业社会の変貌」に着目します。

そ の 他

課題研究を併設します。

専修課程有り。以下の指定科目の単位取得者について、専修課程「企業社会研究」修了を認定します。

〔専修課程認定指定科目〕有井演習（I、II、IIIのうち1つ以上）、理論経済学 I A、I B、マーケティング、経営管理論、中小企業論、社会政策、経済政策、金融論、ヨーロッパ経済論、アメリカ経済論。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	いい だ やす のき 飯 田 泰 之	経B 2選	4
演 習 II		経B 3選	
演 習 III		経B 4選	

講義のねらい

演習のテーマは「日本経済への実証的アプローチ」である。近年、経済問題にとどまらずビジネス・社会・政治分野においても経済学的な思考は必須の教養になっている。そして、自身の意見を発表し、説得する（つまりは「自分がわかっている」ことを人に伝え、他の人を「納得させる」）際には十分な実証的根拠を示し、聞き手を考慮した発表を行うことが必要とされる。本演習は「経済理論の理解」「統計を用いた証拠づけ」「プレゼンテーション能力」の3つを柱に、「使える経済学」を身につけることを目標とした。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- ・経済学以外の本を使ってのレジュメ作成・発表演習
- ・Word,Excelの基本操作に関する講義
- ・経済の基本書を使ってそれまでのゼミの内容を生かした発表

夏期合宿

- ・ディベート大会

後期

- ・ネットを利用した情報収集の講習と統計の基礎知識
- ・金融政策・産業政策・産業組織・金融工学のいずれかの本を輪読

履修上の留意点

「経済原論Ⅱミクロ経済学・マクロ経済学」「経済政策」等関連科目をあわせて履修することが望ましい。また、連絡のため駒澤大学総合情報センターのアカウントを取得しておくこと。

成績評価の方法

出席を中心に、発表内容・発言・ゼミへの貢献から判断する。

教科書

教科書は開講時に協議する。

参考書等

テキストのみにこだわらずゼミ生の興味に沿った論文を取り上げていく。

その他

経済学やパソコンの利用など基本知識のレベルには受講生ごとにはばらつきがあると思うが、皆の希望を聞いた上で補充したいと思う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	あら き よし ひろ 荒 木 勝 啓	経B 2選	4
演 習 II		経B 3選	
演 習 III		経B 4選	

講義のねらい

EXTDを使い、回帰、非線形回帰、移動平均までを行なうソフトを開発し、それをもとに経済予測の基礎を研究する。EXTDはプログラミング言語のC言語をさらに簡単にした開発環境ソフトである。既成のソフトを与えられて使うのではなく、自分で自分好みのソフトを作りたいと考えている人にはEXTDは世界中で最も易しい開発環境ソフトのうちの1つであろう。パソコンやプログラミングをしたことのない者でもキーボードのブラインドタッチから指導するので問題ない。

成績評価の方法

成績評価は出席点+（実データをもとにした予測研究）で行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	いし かわ じゆん じ 石川純治	経B2選	4
演習Ⅱ		経B3選	
演習Ⅲ		経B4選	

講義のねらい

企業会計の制度と理論を学習します。「制度」の基礎にある土台としての「理論」、この両者の関係において学習することが基礎にある視点です。

また、社会経済における「生きた会計」を学習するために、「時事会計」を重視します。会計の基礎にある社会経済問題への関心が大切で、それとの関連で会計を学習します。会計をとおして世の中の問題に発言できる洞察力が得られればと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

会計を本当に理解するには、まずもってその基礎にある社会経済に関する学習が大切です。したがって、会計学の学習に先立ち、社会経済に関する学習を行ないます。その後、会計学の基礎を学習します。

履修上の留意点

特にありませんが、将来、国家試験（税理士・会計士など）にも挑戦してみようとする意欲ある学生、あるいは世の中の社会経済問題に関心をもっている真摯な学生を歓迎します。

成績評価の方法

出席・合宿・レポートなどゼミ活動の総合評価。

教科書

『日本の論点』（文藝春秋）、および会計の基本テキスト。

参考書等

その都度指示します。私のホームページ (<http://www.komazawa-u.ac.jp/~ishikawa/profile.htm>) も参考にしてください（大学のホームページの経済学部教員紹介にあります。写真やプロフィールなどがでています）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	いわ なみ みみ たか 岩波文孝	経B2選	4
演習Ⅱ		経B3選	
演習Ⅲ		経B4選	

講義のねらい

企業をめぐるビジネス環境は複雑・多様化するとともに、不祥事の続出や経営不振などを解決するために経営システムの改革が企業に求められています。演習では、コーポレート・ガバナンスと経営システムを中核として、企業経営の仕組みを理解していくとともに、企業経営に関する興味・関心を深め、企業の社会的責任（CSR）を踏まえた公正・効率的な経営システムの構築にむけた課題について考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

経営学の基礎的な文献を用いて輪読形式により報告担当者・グループによるレジュメ報告を中心に討論を行います。夏期・春期合宿では、現代の企業経営が抱える諸問題について、討議していきます。

履修上の留意点

ゼミナールは受講生の主体的な学びの姿勢に基づいて運営されます。ここでは専門の学習とともに、自らの課題を発見し、問題意識を深めていくという積極的な学習が求められます。受講の際には企業経営をめぐる諸問題について問題意識を持ちゼミナールに参加してもらいたい。

成績評価の方法

ゼミへの出席、発表内容、討議への積極的な参加などの平常点による総合評価を行います。

教科書

開講時に指定します。

参考書等

開講時に指定します。

その他

演習Ⅱまたは演習Ⅲに課題研究を併設しています。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	え がみ さとし 江 上 哲	経 B 2 選	4
演 習 II		経 B 3 選	
演 習 III		経 B 4 選	

講義のねらい

各自の報告と議論を中心に進めてゆきます。テキストは前期が石井他著『マーケティング入門』（日本経済新聞社）で、後期は石井淳蔵著『ブランド』（岩波新書）をつかいます。

講義の内容・
授業スケジュール

上記のテキストを毎週各一章を報告し議論して進めます。

成績評価の方法

ゼミでの議論と報告の内容がなによりも評価の対象です。

教 科 書

石井淳蔵他著『マーケティング入門』（日本経済新聞社）
石井淳蔵著『ブランド』（岩波新書）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	こ すぎ しゅう じ 小 杉 修 二	経 B 2 選	4
演 習 II		経 B 3 選	
演 習 III		経 B 4 選	

講義のねらい

演習は講義と違って自分たちで物事を調べたり、計算したり、根拠を確かめたり、議論をして違う考え方や見方を知る場です。1年間だけのゼミでそれができるかどうかは不安ではありますが、一緒に取り組んでみましょう。

講義の内容・
授業スケジュール

このゼミは「地球温暖化問題」を考えます。人類は文明を1万年前の農業とともに始めましたが、この間の気候は平均気温15度プラスマイナス1度の範囲の中で推移してきました。文明はこの安定した気候に支えられていました。これは地球の歴史の中でいつもあったことではないようです。

この安定した気候が今急速に変わろうとしています。この変化が中くらいのものになるか、「激変」になるかによって私たちの生活環境が極めて大きな影響を受けます。また、経済活動も大きな制約を受けます。原因は何か？どのようなメカニズムでそれがおこるのか？防止する方法にはどんなものがあるのか？そのとき人々の利害はどうかかわるのか？これらを順に考えます。

あまりにも大きな課題ですが、解決策の入り口ぐらいには踏み込みたいものです。

履修上の留意点

出席の悪い人は単位を認定できません。

成績評価の方法

出席点とゼミへの参加意欲を総合して認定。

教 科 書

『よくわかる地球温暖化問題』（中央法規社）

参 考 書 等

小宮山宏『地球温暖化問題に答える』（東大出版会）

そ の 他

課題研究あり。3・4年次に履修。別に4単位が与えられる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	こ ばやし まさ と 小 林 正 人	経 B 2 選	4
演 習 II		経 B 3 選	
演 習 III		経 B 4 選	

講義のねらい

テーマは「日本経済・産業の歴史と現状」

戦後の日本経済の発展の歴史と、その過程で発生した諸問題について検討する。とくに日本企業のイノベーションの実際や、国際競争力の展開、最近の中国経済との関連などについて考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

最初は下記の本を手がかりに、日本経済の諸問題について初歩的な知識を学ぶ。

- ・橋本俊詔『家計からみる日本経済』岩波新書、2004年
- ・島本慈子『ルポ 解雇』岩波新書、2003年

その上で、新たな文献はゼミ生と相談して決めるが、今のところ下記の文献を想定している。

- ・湯本雅士『基礎から学ぶ日本経済』東洋経済新報社、2002年
- ・後藤晃『イノベーションと日本経済』岩波新書、2000年
- ・米倉誠一郎『経営革命の構造』岩波新書、1999年

日本企業の活動の実際についてビデオを視聴する機会も取り入れる。参考図書の例として、
・NHK プロジェクト X 制作班『プロジェクト X 挑戦者たち 1：執念の逆転劇』日本放送出版協会、2003年

履修上の留意点

ゼミ生の確実な出席を求める。

成績評価の方法

ふだんの発表やレポート、出席状況による総合評価。

教科書

上記のとおり。

参考書等

上記のとおり。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	さい とう ただし 齊 藤 正	経 B 2 選	4
演 習 II		経 B 3 選	
演 習 III		経 B 4 選	

講義のねらい

「日本経済の構造改革の方向」をテーマとし、日本の「何を」「どのように」改革すべきなのかを主に新聞・雑誌記事を素材にしながら考えます。

講義の内容・授業スケジュール

世界経済は「大競争時代」といわれる激しい変化の時代がありますが、それは一方では、ソ連・東欧型社会主義の崩壊によって「市場経済化」が急速に拡大したこと、他方では、情報通信技術の発展によって産業構造や経済取引のあり方が大きく変化していることに由来しています。

そうしたなかで、日本経済はバブル経済崩壊後の不況をいまだ克服できておらず、企業のリストラによって勤労者の労働条件（就業機会、賃金、労働時間）がますます厳しくなっています。戦後50年あまりにわたって展開され、世界から「脅威」とも目されてきた「日本的経営」のあり方が、根本的に問われているのです。「6大改革」に代表されるさまざまな改革論議が飛び交うゆえんです。

履修上の留意点

ゼミナールは少人数であり、討論を通じて具体的な問題についての理解を深めたり、議論の仕方を学ぶところに意義がありますので、積極的な諸君の参加を求めます。そして、討論を通じて諸君が自らの「見解」を獲得することを大いに期待します。

成績評価の方法

年間を通した、ゼミナールへの参加の積極性を重視して評価します。

参考書等

日本経済新聞社『経済新語辞典』：毎年新版が発行されており、新聞記事を理解するために役立ちます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	さと なか つね し 里 中 恆 志	経B 2選	4
演習 II		経B 3選	
演習 III		経B 4選	

講義のねらい

この演習の内容は財政学である。演習のテーマは「国債を抱えた財政」とする。このテーマに関する基礎的知識の習得をねらうと同時に、「課題研究」の論文指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前半期は質疑応答方式で国債調達に関する資料を読み進む。全員が下調べをしておこななければならない。国債累積の限界、国債価格と市場金利、財政乗数、非ケインズ効果、公共債務解消の歴史等について学ぶ。後半期は各ゼミ生の課題研究の論題を決めて、順次、論文の中間報告を求め、問題点を指導する。

履修上の留意点

この演習の関連科目として「国民所得論」、「価格理論」、「財政学」の履修が望ましい。

成績評価の方法

平常点による。「課題研究」については提出論文により評価する。

教科書

最初の演習の時間に指示する。

参考書等

里中恆志＝八巻節夫編著『新財政学』（文眞堂）3,200円 ISBN4-8309-4195-2 C3303
 富田俊基『国債累積のつけを誰が払うのか』（東洋経済新報社）ISBN4-492-62051-6

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	しづみず たかし 清水 卓	経B2選	4
演習Ⅱ		経B3選	
演習Ⅲ		経B4選	

講義のねらい

フレックスAのゼミと全く同じように運営します。当ゼミは、ヨーロッパ経済を中心テーマとしたゼミです。とはいえ、ヨーロッパは大きくて懐の深い社会ですから、ゼミ参加者の問題関心も毎年実に様々で、欧州憲法制定、加盟国拡大問題、欧州連合（EU）の統一通貨ユーロ、北欧諸国の福祉社会など興味はつきません。ですから、3年間をかけて、現代の経済社会を見る目を、基礎から徐々にレベルアップしていけるように運営しています。卒業時点で自分の得意分野でしっかり自己表現できるようになることを目指します。

2年次はディベート、3年次は専門書購読、4年次は論文作成が中心です。

担当教員は、様々な最新情報や、資料の所在、文献の紹介などを行います。ゼミの中心は参加者学生の自由な話し合いです。参加者の色々な個性が触れ合って、学びの楽しさを実感できる場にしたいと思います。

今後数年でEUに参加してくる中・東欧諸国、構成メンバー国数の増加に対応してのEU自体の機構改革、EU憲法制定への動きなど、現在のヨーロッパの様々な動きの意味について考えていきましょう。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰでは、ヨーロッパ経済とEUについての基礎的文献・資料をじっくりと学びます。自分なりの考えを分かりやすく他のメンバーに伝えられるようになるために、要旨を発表する形式で行います。見学（昨年は日本銀行、貨幣博物館）などの行事を行ったり、春と夏には、楽しい合宿をやりま。

履修上の留意点

「よく学びよく遊べ」をモットーにしたいと思っています。何事につけ前向きに取り組もうとする姿勢がほしいですね。

それと、昨年から、基礎的学力を充実させるため、ゼミ生には漢字検定の資格、英検、TO-FLE、TOEICの資格に挑戦するように呼びかけています。

成績評価の方法

平常授業や合宿への参加や、研究発表への取組を評価して成績を決めます。

参考書等

- (1) 田中友義・久保広正「ヨーロッパ経済論」ミネルヴァ書房、2004年刊、3,200円
- (2) 田中素香・長部重康・久保広正・岩田健治「現代ヨーロッパ経済論」有斐閣、2001年刊、2,500円

その他

「課題研究」併設。

ヨーロッパ経済論 専修課程。

ヨーロッパ経済論、清水演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、理論経済学ⅠA・ⅠB、国際経済論、日本経済論

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	しろた じゅん 代田 純	経B2選	4
演習Ⅱ		経B3選	
演習Ⅲ		経B4選	

講義のねらい

金融についての研究

講義の内容・授業スケジュール

就職活動と両立させて、卒論完成をめざす。

履修上の留意点

毎回、出席すること。

成績評価の方法

出席、発言によって評価する。

教科書

特に決めない。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	すずき のぶ 枝 鈴 木 伸 枝	経 B 2 選	4
演 習 II		経 B 3 選	
演 習 III		経 B 4 選	

講義のねらい

公共経済学のゼミです。講義よりも専門的なことを学ぶとともに、自ら問題を発見する能力を身につけることを目標とします。年金・医療・介護保険・環境・失業の諸トピックについて「どういう問題があって、何を為すべきか」を自分なりの意見をもてるようにしましょう。

講義の内容・授業スケジュール

公共経済学のテキストの輪読を中心にします。毎回、輪読の報告担当者にはレジュメを用意してもらいます。また、学年末には自分でトピックを選んでレポートを提出してもらいます。コンピュータを使った文書作成やインターネットでの情報検索についても指導します。

履修上の留意点

ゼミは勉強の場だけでなく、人前で自分の意見を言えるよう訓練したり、同じゼミの仲間と協力して何かを達成することを通じて人間的に成長する場でもあります。引っ込み思案にならず、常に積極的な態度で参加してください。

成績評価の方法

出席状況・予習状況・討論への参加度・レポートにより評価します。

教 科 書

受講者と相談して決定します。

そ の 他

「課題研究」を併設します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	せとおか ひろし 瀬戸岡 紘	経 B 2 選	4
演 習 II		経 B 3 選	
演 習 III		経 B 4 選	

講義のねらい

「グローバル化」と「デジタル化」の時代に即応した経済、社会、経営などにかんする学習と研究。

講義の内容・授業スケジュール

「基礎はしっかり、研究は自由に」がスローガンです。前半期は、スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートのしかた、レジュメ、小論、論文の書きかた、本のさがしかた、読みかた、資料のあつかいかたの習得が主になります。後半期は、思考に強くなるための方法、デジタル時代の学習と研究の方法、学ぶ者の社会的責任などを習得します。それと並行して、各自の自由研究の発表を恒常的におこないます。何を学習・研究するかは、かなり幅広くとめます。4年生は、卒業研究の報告を随時してもらいます。

成績評価の方法

ゼミ活動にたいする各自のあらゆる態度を総合して評価します。最大の眼目は当人のやる気です。

教 科 書

随時、有益な文献を紹介します。アメリカには、成功例も失敗例も世界一豊富にあります。企業活動から文化運動にいたるまで、アメリカの事例を知っておくことが、ゼミ生がどんなテーマを選んで研究する上でも役に立ちます。だから、アメリカの事例研究になる文献を多くとりあげます。

そ の 他

《卒業研究の有無》

4年次生は卒業論文を作成します。

《その他》

このゼミにかんして参考となる情報は、下記のホームページにアクセスすることで得られます。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~setooka/>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	ちよん ちやん よん 鄭 章 淵	経B 2選	4
演 習 II		経B 3選	
演 習 III		経B 4選	

講義のねらい

研究テーマは「現代東アジア経済研究」です。目的は、ゼミ生諸君に戦後（第二次世界大戦）東アジア経済の発展過程に関する知識を身につけてもらうことです。ここでいう東アジアとは、東北アジアと東南アジアを合わせた地域を想定していますが、同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭にアジア NIEs（新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール）ASEAN 3（タイ、マレーシア、インドネシア）中国その他と続く発展の様は、しばしば「雁行型発展」と称されてきました。

ところが1997年に発生した「アジア通貨危機」を機に東アジア経済は混迷に陥り、専門家の間では先の「雁行形態」に乱れが生じているという指摘も出ています。今日の事態は、従来の研究スタイルに見られたように東アジア経済をただ「発展」の側面からのみ捉えるのではなく、「発展」と「危機」の両側面を視野に入れたアプローチが必須であることを示しているのではないのでしょうか。

日本の経済的パートナーとして今後ますます東アジア諸国の重要性が増していく現状において、特に若い世代である皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言えます。

講義の内容・授業スケジュール

下記の文献を輪読してもらいます。具体的には、予め報告分担を決め、報告者は各自が作成したレジュメに基づいて報告してもらいます。

また、夏期休暇にゼミ合宿を予定しています。そこでは別の文献を取り上げて講読し、ビデオ鑑賞なども予定しています。

成績評価の方法

出席率、レポート回数、合宿への参加状況などを加味して総合的に判定します。

教 科 書

大野健一・桜井宏二郎著『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円＋税

そ の 他

「課題研究」を併設します。

アジア経済論専修課程：系統学習に必要な科目

アジア経済論、演習Ⅱ・Ⅲ、国際経済論、中国経済論、日本経済論、国際金融論、アメリカ経済論

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	とく <small>なが</small> とし <small>あき</small> 徳 永 俊 明	経B 2選	4
演 習 II		経B 3選	
演 習 III		経B 4選	

講義のねらい

アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国（発展途上諸国：第3世界）の国際関係とそこでの人々の生活の問題を研究します。第3世界の社会・経済や人々の暮らしを研究しながら、日本・日本人・私たち一人ひとりの人生・生活を考えます。国際政治・経済の中で人間と人間の関係、とくに第3世界の人々が直面しているさまざまな豊かさと貧困、そして彼らのたたかひについての検討を通じて、日本・日本人・私たち自身の豊かさと貧困を考えるのです。

春・夏2回の全学年そろってのゼミ合宿のテーマは「人生」です。幸福とは？ 自由とは？ 愛するとは？ 一人ひとりの意見がみんなからまじめに受けとられ、一人ひとりがみんなの意見を参考にして考えを深めます。

ゼミ最大のイベントは、これも全学年そろっての東南アジアへの研修旅行（自由参加）。これまでフィリピン・ベトナム・インドなど11か国へ行きました。いわゆる「観光旅行」ではなく、人々と交流し、人々の生活とその向上への努力や文化などを見聞することで、アジアの人々を知り、私たち自身の生活と考え方を再検討します。この旅で、私たちの頭のなかの〈世界〉は一挙に広がり、深くなります。

第3世界の人々と自分の現実のなかに〈夢〉を求め、見つけましょう。

講義の内容・授業スケジュール

上の趣旨に沿って、学生諸君と相談しながらすすめます。

履修上の留意点

何よりも〈考える〉努力を求めます。

成績評価の方法

〈考える〉努力をしたかどうかをもって評価します。

参 考 書 等

討論のための資料を使ってすすめます。

そ の 他

〈考える〉努力の成果を「課題研究」としてまとめます。（希望者のみ）
〈現代国際経済〉専修課程認定に必要な科目——国際経済論、貿易論、アジア経済論、中国経済論、日本経済論

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	ともまつ よしひこ 友松 憲彦	経B2選	4
演習Ⅱ		経B3選	
演習Ⅲ		経B4選	

講義のねらい

現在、日本や世界にはさまざまな「経済問題」がありますが、これらはすべて過去の遺産を背負っており、歴史をもっています。経済史は「経済問題」の歴史を研究する学問ですが、それは必ずしも過去だけに関心を向けるということではありません。過去の経済を学ぶことは、現在の経済についての理解を深め、問題点を明らかにし、経済の今後の発展方向を考えることにつながります。経済学の基礎知識を学びながら、経済史という学問の課題と方法を理解します。

講義の内容・授業スケジュール

2年次から3年間の継続履修を原則としますが、3年次からの参加もできます。
 2年次は、経済史の初歩的な概念や理論を説明しながら、近代社会の経済システムがどのように誕生し発展してきたのか、経済史の基礎を学びます。
 3年次は、特定のテーマを決めて全員で本を講読します。今年度のテーマは「産業革命と民衆生活」でした。
 4年次は、自分でテーマを決めて課題研究をまとめます。

成績評価の方法

(1) 年度末のレポート (2) 平常点 (レジュメ、報告、討論の状態)、(3) 出席で評価します。

教科書

最初の授業で指示します。

参考書等

演習のなかで紹介します。

その他

(1) 課題研究を併設します。
 (2) 専修課程 (社会経済史専修) の認定をします。
 演習Ⅰ、演習Ⅱ、演習Ⅲ、経済史、西洋経済史、日本経済史、商業史、社会思想史、経済学史

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	なか すみ みつ あき 中 濟 光 昭	経 B 2 選	4
演 習 II		経 B 3 選	
演 習 III		経 B 4 選	

講義のねらい

経済を情報の観点から研究していきます。具体的なテーマとしては、インターネットマーケティング、ネットワークを活用した流通システム、サプライチェーンマネジメント、デジタル情報の著作権問題、電子決済があります。コンピュータに興味のある学生は、システム設計実習やホームページデザイン実習などをテーマとしています。このゼミでは、パソコンを活用した情報リテラシー向上のための演習を行います。この演習の成果は、社会人には、新たなキャリアに、これから就職する学生には、情報産業を始めとする様々な業種への就職に結びつきます。

講義の内容・授業スケジュール

- ・テーマの決め方、資料の探し方、レポートの書き方・実習、発表の仕方
- ・各自設定したテーマについてレジュメ作成、発表

履修上の留意点

- ・メールを読む、ワープロを打つといったことがゼミ活動上必須です。今、ワープロが出来なくても、身につけたいという意欲のある人は歓迎します。

成績評価の方法

出席と課題提出、中間発表、総合発表とレポートを総合評価します。

教科書

別途指示

参考書等

別途指示

その他

ゼミはパソコン教場を使用しますので、本ゼミを受講したい人は、総合情報センターへ利用登録を行う必要があります。

[情報デザイン論] 専修課程

系統学習に必要な科目 演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、情報経済ネットワーク論、基礎情報処理Ⅰ・Ⅱ、応用情報処理Ⅰ・Ⅱ、コンピュータ会計Ⅰ・Ⅱ、経営情報システム論Ⅰ・Ⅱ、プログラミング論、論理学、科学史、統計学、情報数学、コンピュータ基礎・応用、情報資格特別演習Ⅰ・Ⅱ、経営情報論、情報理論

専修課程を選択する学生への注意・要望 基本情報技術者試験合格を目標に取り組んでください。

「課題研究」併設

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	ふくはら よしのが 福原好喜	経B2選	4
演習Ⅱ		経B3選	
演習Ⅲ		経B4選	

講義の内容・
授業スケジュール

(社会科学方法論研究)

このゼミナールは経済学の基本となる社会科学方法論に関する基礎的な文献を読むことにしている。昨年は大塚久雄『社会科学の方法』、マックス・ウェーバー『社会科学方法論』、『職業としての学問』、カール・マルクス『経済学の方法』などを読んだ。主観を離れられない個人が如何にして学問の客観性を保証しうるのか？これがゼミの基本テーマである。ゼミはディスカッション方式で行うので何よりも学生の自主的な勉学態度を期待する。ガリ勉である必要はないが、勉学に情熱を持った学生に是非来てほしい。

夏の合宿では、研究会とともに、午後はテニスかゼミのヨットで操縦訓練を行っている。午前勉強、午後スポーツ、夜研究会という日課である。

「よく遊びよく学ぶ」というのが福原ゼミのモットーである。ヨットもテニスも初心者には手ほどきをする。福原ゼミで諸君が学ぶものは別にテキストからだけではない。教師や学生仲間とのつき合いを通して夫々の個性をのびのびと育ててほしいと思っている。

学生に、勉学はもとより、精神的、肉体的訓練も幾分かでも与えることが出来ればと思う。サブゼミとして、専門にとらわれない経済問題全般についての研究会を実施中である。春秋年2回、2・3・4年ゼミ、全メンバーによる駒沢公園一週のマラソン大会とそれに続く合同コンパが恒例行事となっている。3年という歳月はそう長くはない。自分を鍛えることにもっと意欲を持とう。

学生との人間的つきあいを大事にするゼミにしたいと思っている。

(福原ゼミナール十訓)

福原ゼミ生は以下の教えを胸に刻み、その実践を心掛けなければならない

1. 理想を高く掲げ、日々の努力を怠らざること
1. 人格の陶冶を心掛け、心身の鍛練に努めること
1. すべての生命を慈しみ、無用の殺生をなさざること
1. 社会的貢献に努め、弱者の救済に役立つこと
1. 質素を旨とし、浪費をなさざること
1. 規則正しい生活を心掛け、早朝マラソンを欠かさざること
1. 親の葬儀以外は授業をさぼらざること
1. 隣に優しく、自らには厳しかるべきこと
1. 自らの責務を回避せざること
1. 酒を愛すも、深酒は慎むこと

履修上の留意点

「課題研究」併設。

成績評価の方法

成績は出席点とレポートでつける。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	ふるさわこうぞう 古沢紘造	経B 2選	4
演習Ⅱ		経B 3選	
演習Ⅲ		経B 4選	

講義のねらい

アフリカを知るおもしろさは、混沌とした世界にあるようだ。生活様式一つを取ってみても狩猟採集、遊牧、農耕というように実に多様だ。こうした異質な社会を理解することによって、私たちのものの見方、考え方を問い直す契機となれば得るものは大きい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①次のテーマについて研究発表を行う。
- A 多様な人間社会（ライフスタイル）
1 狩猟採集民 2 牧畜民 3 農耕民 4 都市民
- B 多様な人間関係
1 通過儀礼（大人と子ども） 2 親族（身内とよそ者） 3 経済活動（贈与と交換）
4 宗教と権力（まつりとまつりごと）
- ②スワヒリ語を学ぶ

成績評価の方法

研究発表、レポート提出、ゼミ活動への参加に基づき総合的に評価する。

その他

「課題研究」を併設する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	ほりりゅうじ 堀龍二	経B 2選	4
演習Ⅱ		経B 3選	
演習Ⅲ		経B 4選	

講義のねらい

労務管理や人的資源管理に関する基本的知識の習得、現代的問題意識の喚起、それらに基づいてテーマを設定してアプローチすることなどをねらいとしている。現代の日本企業で働くとき、企業の働かせ方やねらいと自らの望む働き方をいかに調和させていくかを考えてもらいたい。雇用はどうあるべきか。賃金・処遇は何を基準にすべきか。仕事をする能力をどのように育成していくのか、企業が考える問題は、働く者の職業人生に大きく関係・影響する。労働のあり方を身近な問題として考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

最初は適当なテキストや資料を利用して、輪読や要旨報告の形で知識の習得と問題意識の喚起を図る。次にゼミ生の数にもよるが、グループ研究を行う。グループごとに小テーマを決めて、下調べをしてその成果をゼミで報告し、全員で討論する。適宜、統計資料の利用方法の実践、諸外国との比較、夏合宿（2泊3日程度）も行う。

履修上の留意点

テキスト・資料・新聞記事などを読んで、分かりにくいと感じたところをそのままにしないで、ゼミで疑問をぶつけるような積極的姿勢の持ち主を歓迎する。

成績評価の方法

ゼミへの出席・参加、丹念な下調べ、レジュメ・レポートの提出、積極的な発言を中心に評価する。

教科書

初回到相談して決める。

参考書等

適宜、紹介する。

その他

課題研究を併設する。
専修過程「企業労働」を認定する。系統学習に必要な科目は、社会政策、労働法、経営管理論、企業統治論、労務管理論、演習などである。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	まついりゅうへい 松井柳平	経B2選	4
演習Ⅱ		経B3選	
演習Ⅲ		経B4選	

講義のねらい

統計学の知識が経済、経営の分野でも必要不可欠なものとなっている。世界を舞台に経済は毎日めまぐるしく変動し、激動している。こうした不確実な変動を分析するための統計的手法を、パソコンを用いることで実践的に習得する。

講義の内容・授業スケジュール

<前期>

ガイダンス ゼミの概要等説明
パソコンの使用方法
Excelの使用方法
データの要約と視覚化
統計の基礎：基本統計量（平均・分散）
確率分布

<後期>

推定と検定
相関分析
回帰分析
集計表と適合度検定

履修上の留意点

駒澤大学のEメールアドレスをまだ取得していない受講生は、履修登録後、すみやかに自分のEメールアドレスを取得することを希望する。
このゼミの履修にあたっては、数学の知識は事前にはまったく必要としない。

成績評価の方法

成績は授業中のゼミへの貢献によって評価する。具体的には、出席頻度、報告内容、質疑応答、討論への参加、課題達成度、ゼミ行事への積極的参加等を総合して評価する。
基本的に、3分の2以上の出席があれば、授業態度にとくに問題がない限り、最低でも「可」の成績は与えられる。ゼミで学んだ内容を自分のものとして様々なデータに適用できるようになった学生には、「優」が与えられる。

教科書

開講時に、ゼミ生と面談の上、決定する。

参考書等

鳥居『はじめての統計学』日本経済新聞社（ISBN4-532-13074-3）
縄田『Excelによる統計入門』朝倉書店（ISBN4-254-12142-3）
得津『はじめての統計』有斐閣（ISBN4-641-08667-2）

その他

パソコン教場でおこなう。レポーターによる報告に基づいて進める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	みぞ て よし がつ 溝 手 芳 計	経 B 2 選	4
演 習 II		経 B 3 選	
演 習 III		経 B 4 選	

講義のねらい

食品の安全、南北問題、環境問題、過疎地域問題といったさまざまな問題が、近年、注目を集めています。これらは、農業のあり方、特に多国籍アグリビジネス（農業・食料関連産業）の影響力の増大、WTO体制への移行などと大きく関わっています。ゼミでは、上に掲げたような諸問題の理解と対策の手がかりを求めて、一緒に考えていきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの輪読とディスカッションを中心に進めます。レジュメの作成、発表のやり方、議論の進め方など、集団学習のスキル取得も重視します。

履修上の留意点

ゼミは集団学習、相互修練の場です。世の中、答えが一つとは決っていません。異なる意見を出し合って一緒に考えていくうちに理解が深まり、当初は考えられなかった結論に達することもあります。学生の皆さんが相互に疑問を出し合い、教えあい、意見交換していくことを大切にしてください。

ひとりひとりを大切にすることは当然ですが、同時に集団としての規律を守ることも求めます。

成績評価の方法

出席状況、レポートと発表の内容・態度、ゼミ運営や議論への参加状況などを総合的に評価します。

教科書

ゼミ生と相談の上、決定します。

参考書等

食料、農業、農村、環境、そして経済が今直面している具体的な課題に取り組んでいる本や新聞・雑誌記事を読むことを勧めます。必要に応じて紹介します。

その他

演習Ⅱ、演習Ⅲに、「課題研究」を併設します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	みつ おか はく み 光 岡 博 美	経 B 2 選	4
演 習 II		経 B 3 選	
演 習 III		経 B 4 選	

講義のねらい

日本の福祉、社会保障、労働問題を中心とした日本経済の学習。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに従って各自に報告してもらい、討議する。具体的なゼミの進め方については、参加人数などを考慮して必要な工夫を行う。多数の希望があれば必要に応じて合宿なども実施する。

履修上の留意点

各自の関心に応じて自主的に学習することが望ましいが、最低でもテキストは事前に精読しておくこと。

成績評価の方法

出席状況、レポート報告など総合的に判断する。

教科書

参加者の意見や希望も考慮して決める。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	もり おか じん 森 岡 仁	経B 2選	4
演 習 II		経B 3選	
演 習 III		経B 4選	

講義のねらい

日本の人口は2006年をピークにその後は減少すると予測されている。少子高齢化が進んできたわが国の人口もいよいよ絶対的減少の時代に入る。しかもその減少が極めて急速であることが危惧される点である。

講義の内容・授業スケジュール

この演習では経済人口学の立場から、わが国の人口減少・少子高齢化経済とは一体どのような社会なのかを探ってみたい。

履修上の留意点

休まず遅れず参加することが演習履修の大前提である。議論への積極的参加が要求される。

成績評価の方法

平常点。

教科書

未定

参考書等

演習の中で適宜紹介する。

その他

「課題研究」を併設する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	や しき ただ みつ 谷 敷 止 光	経B 2選	4
演 習 II		経B 3選	
演 習 III		経B 4選	

講義のねらい

テーマ「日本経済の発展過程と高度工業化社会の研究」

2年生の演習は日本経済、日本産業の驚異的成長はいかにして可能だったのか、日本経済の発展過程と経済システムを明らかにしていきたいと思えます。

3・4年ゼミは、戦後の日本経済の発展過程と各時期における発展要因、構造的特質を明らかにするとともに、戦後60年間の日本型経済システムの形成と破綻の過程を基本文献や「学術論文」を使って明らかにします。

講義の内容・授業スケジュール

〔2年生〕 日本経済発展の理解の手助けとして、例えば①和田英『富岡日記』、山本茂実『あゝ野麦峠—ある製糸工女哀史』、邦光史郎『トヨタ王国』などの小説、②「あゝ野麦峠」「若き日の豊田佐吉」「生きている昭和史」などの映画、③「乗用車ゼロからの出発」などのビデオを教材、などを使用して課題発表で明らかにします。

〔3・4年生〕は戦後の日本経済を中心に、経済復興期、高度成長期、経済構造転換期、安定期、バブル経済期の各推進要因と各段階の構造的特質を明らかにします。

履修上の留意点

4年ゼミまで続けられる人を望んでいます。

成績評価の方法

出席を基本に、常日頃の発表や論文などで総合評価します。

教科書

山本弘文『近代日本経済史』（有斐閣）〔2年生〕
橋本寿郎『戦後の日本経済』（岩波書店）〔3年生〕
学術論文

参考書等

速水融、宮本又郎『日本史経済（全8巻）』（岩波書店）
『日本歴史大事典（全4巻）』（小学館）
参考文献などは必要に応じて適宜紹介します。

その他

課題研究有り。（4年生に併設）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	やま がた ひろ し 山 縣 弘 志	経B 2選	4
演 習 II		経B 3選	
演 習 III		経B 4選	

講義のねらい

比較経済論

講義の内容・
授業スケジュール

テクノロジーの発展が生み出すヴァーチュアリティと現実（リアリティ）とのギャップをいかに埋めるか、わたしたちの知恵が問われている。20世紀に顕在化してまだ未解決の課題——環境、戦争、福祉、民族、競争と平等、これらとどう取り組むべきか。市場主義の限界は明らかであり、他方で「20世紀社会主義」も対案となりえなかった。ヨーロッパ、ロシアの経験に学び、比較経済論の視点から、これらの問題を考えていきたい。

2年次生は入門の文献、3年次生は専門の文献、4年次生は自主研究のそれぞれ発表によって授業を進める。

成績評価の方法

出席、発表、討論への参加を総合評価する。

教 科 書

相談の上決める。

そ の 他

非喫煙者が望ましい。

「課題研究」有。

〔比較経済論〕専修課程

系統学習に必要な科目 ロシア・東欧経済論 ヨーロッパ経済論 アジア経済論 日本経済論 国際経済論 アメリカ経済論 貿易論 中国経済論

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	もり た よし ひろ 森 田 佳 宏	経B 3選	4

講義のねらい

会計とは、企業の経営活動の状況を数字によって表現しようとするもので、その具体的な技術が簿記であり、その背後にある理論が会計学といわれるものである。したがって、簿記と会計学とは表裏の関係にある。会計学の領域は、大きく財務会計と管理会計とに分けられる。本演習では、財務会計の基礎理論を学ぶことを目的とする。財務会計とは、投資家、債権者、税務当局、消費者など、企業外部の利害関係者に対し、会計情報という形で企業の実態を明らかにする外部報告会計である。

さらに、このような外部報告会計に信頼性を付与するため、資本金5億円以上または負債総額200億円以上の会社、および有価証券の募集・売出しをしようとする会社または有価証券を上場している会社などに対して、公認会計士または監査法人による会計監査が義務づけられている。こうした会計監査も、主として財務会計の領域に属するものである。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストをベースとして、財務会計(会計監査を含む)に関する基礎的な諸問題を取り上げ、解説および学生諸君による報告・討論を行う。

履修上の留意点

特別な事情がない限り、毎回必ず出席すること。

成績評価の方法

いわゆるゼミであるから出席を重視するが、そのほかにレジュメや報告の内容等により、総合的に評価する。

教 科 書

最初の演習時に指示する。

参 考 書 等

演習時に適宜紹介する。

そ の 他

演習Ⅲに「課題研究」を併設する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	おおぐさかつお 大吹勝男	経B3選	4
演習Ⅲ		経B4選	

講義の内容・授業スケジュール

「情報化」と現代企業の『物流』。前年度の学習成果をふまえて、日本企業の『物流』についての研究を一層深めることを課題とする。価格及び企業利益への影響は勿論のことですが、特に、労働者・サラリーマンへの影響つまりは消費者に与える影響等々について研究をすすめたいとおもいます。「演習Ⅰ」のテーマのより高度な内容とします。

成績評価の方法

平常点によるが、感想文の提出がある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	よしだけいいち 吉田敬一	経B3選	4
演習Ⅲ		経B4選	

講義のねらい

この演習は日本経済の構造転換問題をグローバルゼーションとの関わりで共同研究し、併せて企業システムの変容の実態を理解することを目的としています。また共同研究を通じて、4年次の卒業研究にチャレンジするテーマをつかむことも3年次の重要な課題となります。

講義の内容・授業スケジュール

講義とは異なり、演習は学生諸君の自主性・主体性が不可欠です。そこで演習政をグループ化し、班単位でレジュメを作成し、報告・議論を進めていきます。また共同研究を通して、演習生各自が自分自身の世界観・社会観(もの見方・考え方)を確立することを目標として、また各自が個性的なプレゼンテーション能力とリーダーシップを高めることを目指して、演習を運営していきます。

履修上の留意点

受身でゼミに参加するのではなく、積極的に発言し、楽しく有意義なゼミを共に創り上げるという姿勢でチャレンジしてください。なお4年次には課題研究にチャレンジしてもらいます。

成績評価の方法

出席状況、平常点(レジュメ、報告内容、討論への参加度など)およびレポートなどを中心にして総合的に評価します。

教科書

共同研究のテキストは、最初のゼミの時間に指定します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	おおいしゆうじ 大石雄爾	経B4選	4

講義のねらい

2年次・3年次のゼミ活動・学習の成果をゼミ論文(課題研究)としてまとめること、そのための準備と論文執筆が中心となる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は各自、就職活動に専念し、自分の性格や能力に適したやりがいのある仕事および就職先を確保するべく努力する。
後期にはいると、課題研究のためのレジュメを作成し、論文の執筆にとりかかる。提出された論文は、ゼミ活動の成果として共有できるよう『経済学ゼミ論集』にまとめられる。

成績評価の方法

原則として平常点であるが、「課題研究」が提出されない場合には、演習Ⅲの単位を取り消すことがある。

その他

- ①「課題研究」を併設する。
 - ②「専修課程」を開設する。
- 〈経済学と経済政策〉以下の科目の中から選択履修
 経済理論ⅠA、経済理論ⅠB、経済理論ⅡA、経済理論ⅡB、経済学史、経済政策、社会政策、財政学、金融論、日本経済論、中小企業論、農業政策、現代資本主義論、人口論

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	小栗崇資	経B4選	4

講義のねらい

日本の企業会計制度は今、大きな転換期にさしかかっている。グローバル化の影響による会計制度の大改革は会計ビッグバンと呼ばれるが、計算構造の面でもディスクロージャーの面でもこれまでの財務会計の枠組みや原理・方法は大きく変容しつつある。会計の学習者にとっては、従来のような勉強だけでは変化についていくことができないので大変やっかいであるが、発想を変えれば、現代経済のなかでの会計の役割や仕組みを研究するチャンスである。演習では「日本の会計制度と会計ビッグバン」をテーマに学習を進めたい。新規募集せず。

講義の内容・授業スケジュール

演習では、まず企業会計の基礎を理解したうえで、現代の財務会計の原理や方法を学習する予定である。経営分析の基礎についてもあわせて学習し応用能力を付けるようにしたい。テキストを中心にディスカッションを重視してすすめるが、一方で、会計は基礎からの技術的積み上げが重要なので、受講者の状況を見て、日商簿記検定2級、3級を取得できるように指導したい。

履修上の留意点

演習では討論を重視しているため、積極的に参加すること。企画力のある意欲的な学生の参加を希望したい。なお、「課題研究」も開講する予定である。

成績評価の方法

総合的に判断する。(1)出席状況、(2)分担報告、(3)レポート。

教科書

演習の中で指示。

参考書等

演習の中で指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	百田義治	経B4選	4

講義のねらい

現代企業のビジネス・マネジメント（経営管理）に関わるテーマを中心に、グローバル化・情報化（IT革命）の進展など経営環境が激変するなかで21世紀を迎え大きく変貌する日本企業とその経営の実態をリアルに学びます。課題研究では、卒業論文を作成します。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、次のようなテーマに取り組むことになります。

- (1) メガ・コンペティション、グローバル・スタンダードが叫ばれるなかで、日本企業の経営行動はどのように変化しているのか？
- (2) 企業不祥事がなぜ多発するのか？ その防止（コーポレート・ガバナンス）には何が必要なのか？ 株価至上主義経営の破綻は何を意味するのか？ 企業の社会的責任とは何か？
- (3) いま、なぜ、能力主義・成果主義なのか？ 終身雇用・年功制はなぜ修正されなければならないのか？ 日本的経営の何を残し、何を変革すべきか？
- (4) なぜ、企業は海外進出するのか？ 経営が国際化するなかで異文化との共生には何が必要なのか？
- (5) 企業は環境問題にどのように取り組んでいるのか？
- (6) 21世紀型ビジネス・モデルの特徴は何か？ ネットワーク経営とは何か？ などなど

履修上の留意点

本ゼミは、2年次、3年次、4年次と継続的に履修することを前提にゼミを進めています。課題研究を提出することになります。

成績評価の方法

ゼミは平常点で評価します。課題研究は作成・提出した論文の内容で評価します。

教科書

未定

参考書等

未定

科
專
門
教
育
目

Ⅲ 他学部履修科目

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、
フレックス A の頁を参照してください。(→P.449)

※他学部履修科目は、3年次以上を対象とします。

Ⅲ. 他学部履修科目

国際紛争解決法	〈王志安〉	671
法思想史	〈高橋洋城〉	672
日本法制史	〈休講〉		
西洋法制史	〈北野かほる〉	673
国際関係論	〈三船恵美〉	674
地方自治法	〈富井幸雄〉	675
倒産処理法	〈木川裕一郎〉	676
アメリカ経営学	〈休講〉		
経営組織論	〈休講〉		
公益企業論	〈菅谷実〉	677

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際紛争解決法	おうしあん 王 志 安	経A・商・経B	4

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で説明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。power pointで講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）（東信堂）2002 2,000円

参考書等

市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

その他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のもまとめ報告を求めることもある。

板書かわりに、powerpointを利用した講義を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 思 想 史	たかほしひろき 高橋洋城	経A・商・経B	4

講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだということも自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にはほぼ限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

講義の内容・授業スケジュール

- [1] 簡単に講義の意義・注意事項などについての説明したのち、プラトン思想の背景として、ソフィストとソクラテスの問題について概観する。
- [2] プラトンの法思想：『国家』を中心にその意義を検討する。
- [3] アリストテレスの法思想：まずアリストテレス哲学の基礎理論を形相質料論を中心に紹介する。その後、『ニコマコス倫理学』『政治学』等を題材として、正義論、政治体制論を中心に検討する。
- [4] ローマ法の思想史的意義：現代に至るまでヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたローマ法上の諸概念、思考方法について概説的な紹介を行なう。
- [5] キリスト教の法思想への影響を概念史的に考察する。
- [6] 中世自然法論：トマス・アクィナスの思想をとりあげ、古典的自然法論への理解を深める。また後半では、唯名論思想と近代的世界像への転換についても言及する。
- [7] 社会契約説総論とホブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心にホブズの議論を紹介し、またその現代的意義について考察する。
- [8] ロックの法思想：『統治論』を中心に、ホブズとの比較を念頭に置きつつ考察を行なう。
- [9] ロックの所有権論に関連させつつ、同時に所有権論史全般について考察する。
- [10] ルソーの法思想：題材としては『社会契約論』『不平等起源論』が中心になる。
- [11] カントの哲学と法思想：法理論におけるカント思想の重要性を論じ、さらに現代のカント主義的理論の展開をとりあげる。

履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んだ上で講義に臨むことが要求される。

成績評価の方法

年度末の定期試験によって評価する。それ以外に課題レポート等を設定する可能性もあるが、その場合は自由提出課題とし加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手元に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

参考書等

法思想史に関する概説書の例として
 ・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。
 ・田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ）1,800円：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。
 講義開始時に、上記の他にもいくつかの概説的な入門書について、それぞれの特徴などを紹介するが、書店・図書館などで手に取って見て自分にあったものを選ぶと良いと思う。また講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 法 制 史	また の 北 野 かほる	経A・商・経B	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066 - 1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 封建制
 - 第3節 統治構造 封建制の解体
 - 第4節 法構造
 - 第3章 近世 (1350 - 1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

年度当初に指示する。

そ の 他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際関係論	三船恵美	経A・商・経B	4

講義のねらい

国際関係論の基本的な概念と理論を学ぶとともに、《9・11》以後の国際関係の枠組について講義します。

国際関係を学ぶ目的の一つは、国際紛争・危機・対立を平和的に処理したり国際平和を維持するためには如何なるシステムを案出していけばいいのか、を考えることです。21世紀の国際関係を見据え、また、国際関係の教訓を探り出すために必要な「基本的な視角」を学ぶことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

前期の前半は、国際関係論の基本的な概念（国際関係のアクター、国益とパワー、安全保障の概念と類型、リアリズム、ネオ・リアリズム、リベラリズム、ネオ・リベラリズム、リアリストとリベラリストの論争）について講義します。後半は、《9・11》以後のアメリカ極支配体制の世界政治的意味合い、《9・11》以後のアメリカ安全保障戦略、中国脅威論とブッシュ政権の対東アジア戦略、中国の対米安全保障戦略について講義します。

後期前半は、《9・11》以後の国際テロリズム、大量破壊兵器の拡散と国際関係、一極国際システムにおける国連の可能性と限界、台湾問題をめぐる米中関係、アメリカと朝鮮半島、米軍再編と日米同盟、エネルギー戦略と武器拡散から見た中国の対中東関係の強化、東アジア共同体の可能性と限界、上海協力機構から見た中国・ロシア・中央アジア関係、を講義します。後半は、国際関係論の基本的な概念（ゲーム理論、リンケージ・ポリティックス論、デモクラティック・ピース論、グローバル・ガバナンス論）を講義します。

成績評価の方法

学期末試験(50%+50%)。ただし、時々教場レポートを課すので、それに学問的誠意をもって解答した学生には、テストの得点に加算点を与えていきます。

教科書

五味俊樹・滝田賢治編『9・11以後のアメリカと世界』（南窓社）2004年

参考書等

必要に応じて、教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方自治法	とみ い ゆき お 富井 幸 雄	経A・商・経B	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版以降を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倒 産 処 理 法	木 川 裕一 郎 <small>きがわ ゆういちろう</small>	経A・商・経B	4

講義のねらい

本講義では、倒産処理制度の中核を構成する破産制度につき、重要な基本概念およびこれに関連する解釈論を学修してもらう。債務者の財産状況が悪化した場合に、債権債務関係における利害の対立は著しい。その利害対立を調整し、債権者の公平な満足を図るために設けられたのが破産手続である。それは、手続規定たる性格から一見して無味乾燥であるが、その利害対立を調整する仕組みは実にエキサイティングである。近時、倒産件数が急激に増加してきたことから、この領域の知識は社会生活上にも不可欠となりつつある。また、これまでの諸君の実体法に関する知識を実践的に活用する場面としてこの領域は非常に重要である。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回：ガイダンス
- 第2回：倒産処理制度の概要と選択基準
- 第3回：破産法と破産手続
- 第4回：破産手続の主体と機関（1）
- 第5回：破産手続の主体と機関（2）
- 第6回：破産手続の開始要件と開始決定（1）
- 第7回：破産手続の開始要件と開始決定（2）
- 第8回：破産債権の意義・要件・順位
- 第9回：多数債務者関係と破産債権（1）
- 第10回：多数債務者関係と破産債権（2）
- 第11回：破産財団と自由財産
- 第12回：破産者をめぐる法律関係（1）
- 第13回：破産者をめぐる法律関係（2）
- 第14回：賃貸借契約・リース契約と破産
- 第15回：請負契約・雇用契約と破産
- 第16回：その他の特殊契約と破産
- 第17回：取戻権（破産管財人の第三者性に関する法律問題を含む）
- 第18回：別除権と担保消滅請求制度
- 第19回：否認制度（1）
- 第20回：否認制度（2）
- 第21回：否認制度（3）
- 第22回：相殺制度（1）
- 第23回：相殺制度（2）
- 第24回：消費者倒産・国際倒産

履修上の留意点

倒産法（破産法）には、手続的規定のみならず実体的な規定が含まれている。従って、講義を理解するためには、民法・商法などの規定の理解が不可欠である。民商法を学習していない者は、その予習が必要となろう。

成績評価の方法

成績は、前期終了後に実施される試験と学年末に実施される定期試験の結果を考慮に入れて評価する。その際には、前者を4割、後者を6割の割合で斟酌する。

教科書

教科書は指定しない。推薦するのは、伊藤眞『破産法（第4版）』有斐閣（3月下旬公刊予定）。

参考書等

判例集として、『倒産判例百選（第3版）』別冊ジュリストNo.163（有斐閣）。破産法改正関連の参考書として、『新破産法の実務Q&A』別冊NBL97号（商事法務）、小川秀樹編著『一問一答 新しい破産法』（商事法務）。

その他

授業は講義形式で実施する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公 益 企 業 論	すが や みのる 菅 谷 実	経 A・商	4

講義のねらい

本講義ではエネルギー、情報通信などの公益企業における政府・企業間関係について学ぶ。具体的には、政府・企業間関係に関わる基礎理論、さらに、公益事業規制の実態も、現実のトピックに関連しながら学んでいく。本講義は応用ミクロ経済学の一分野として位置づけられる。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション (1)
(総論)
2. 公益企業とは (1)
3. 公益企業規制理論 (2)
4. 公益企業とネットワーク産業 (2)
5. ネットワーク理論 (2)
(企業各論)
6. エネルギー・水道 (3)
(規制課題)
7. 情報通信 (4)
8. 交通・運輸 (4)
9. ネットワークアクセス (1)
10. リストラクチャリング (1)
11. 民営化 (2)
12. ユニバーサルサービス (2)
13. 環境問題 (2)
14. NPO の役割 (1)
15. まとめ (1)

履修上の留意点

経済学の基礎知識があることが望ましい。

成績評価の方法

期末試験と平常点

教科書

『日本の公益企業』(白桃書房) 2005年3月刊行予定

参考書等

講義の必要に応じて紹介する。

その他

この科目は、再試験を実施しません。

